

相馬永胤家文書の基礎的研究

研究成果報告書

平成  
28  
年  
3  
月

研究  
代  
表  
者

大  
谷

正

# 相馬永胤家文書の基礎的研究

-私立学校創立者の多面的分析のためのアプローチ-

課題番号 25370792

平成 25 年度～平成 27 年度  
科学研究費補助金 基盤研究 (C)

研究成果報告書

平成 28 年 3 月

研究代表者 大谷 正  
(専修大学文学部教授)

# 目 次

## I. 研究概要

1. 研究組織	5
2. 研究経費	5
3. 研究目的	5
4. 研究会の経過	5
5. 研究発表	6
6. デジタル化作業	7

## II. 本文編

1. 瀬戸口龍一「専修大学所蔵相馬家文書の現状と課題 —大学アーカイブズの保存と活用についての一考察—」	11
2. 永江雅和「相馬永胤と横浜正金銀行—『相馬永胤伝』の記述を中心に—」	32
3. 大谷正・黒沢眞里子・永江雅和「相馬永胤ニューヨーク事績調査報告」	48

## III. 資料編

1. 相馬永胤日記 1876～1877年（監修：黒沢眞里子）	61
2. 相馬永胤日記 1897～1899年（監修：大谷正）	183
3. 相馬家文書目録	242



## I. 研究概要



## 1. 研究組織

研究代表者

大谷 正 専修大学文学部教授

研究分担者

黒沢 眞里子 専修大学文学部教授

永江 雅和 専修大学経済学部教授

瀬戸口 龍一 専修大学総務部大学史資料課

## 2. 研究経費

平成 25 年度 2210 千円 (直接経費 : 1700 千円, 間接経費 : 510 千円)

平成 26 年度 1950 千円 (直接経費 : 1500 千円, 間接経費 : 450 千円)

平成 27 年度 910 千円 (直接経費 : 700 千円, 間接経費 : 210 千円)

合 計 5070 千円 (直接経費 : 3900 千円, 間接経費 : 1170 千円)

## 3. 研究目的

本研究は専修大学が所蔵する明治・大正期にかけて教育者・弁護士・銀行家として活躍した相馬永胤に関わる資料群の整理・調査・目録作成および明治 9 年から大正 13 年という約 50 年にわたって書き綴られた日記の翻刻作業を行う。この基礎的作業および公開体制の確立、資料群の分析・研究を通して、①士族と旧藩の関わりの実態解明。②明治初期の海外留学生の実態解明。③私立法律学校の設立・経営実態。④横浜正金銀行の経営実態および明治政府の財政との関係性。⑤明治・大正期における地縁・血縁ネットワークの形成過程と実態解明が期待される。

しかし今回の研究計画は、人的・時間的な制約もあるため、上記 5 点の研究テーマの中で、彦根藩士としての側面 (藩政史的)、海外留学生としての側面 (教育史的)、銀行家としての側面 (経済史的) の 3 つの側面にしぼって研究を行う。本研究により近代日本の教育・経済・政治を考える一つの手がかりとしたい。

## 4. 研究会の経過

平成 25 年度

第 1 回 平成 25 年 5 月 7 日

場所 専修大学生田校舎 6 号館 1 階 文学部歴史学科古文書研究室

報告者 : 瀬戸口龍一 (専修大学総務部大学史資料課)

テーマ : 専修大学所蔵の相馬永胤文書について

出席者 : 大谷正・黒沢眞里子・永江雅和・瀬戸口龍一

第 2 回 平成 25 年 7 月 2 日

場所 専修大学生田校舎 11 号館 2 階 談話室

報告者：黒沢眞里子（専修大学文学部教授）

テーマ：相馬永胤先生コロンビア大学留学時代の調査報告

報告者：大谷正（専修大学文学部教授）

テーマ：相馬永胤日記に鰻会・鮫鱈会の記述はあるのか？

出席者：大谷正・黒沢眞里子・永江雅和・瀬戸口龍一

第3回 平成26年2月25日

場所 専修大学神田校舎6号館3階 共同応接室

報告者：櫻井良樹（麗澤大学教授）

テーマ：明治17年ロンドンの日本人 - 相馬永胤の周辺 -

出席者：大谷正・黒沢眞里子・永江雅和・瀬戸口龍一

平成26年度

第1回 平成26年7月1日

場所 専修大学神田校舎6号館3階 大学史資料課事務室

出席者：大谷正・黒沢眞里子・永江雅和・瀬戸口龍一

第2回 平成26年9月12日

場所 専修大学神田校舎6号館3階 大学史資料課事務室

出席者：大谷正・黒沢眞里子・永江雅和・瀬戸口龍一

第3回 平成26年12月13日

場所 専修大学神田校舎6号館3階 共同応接室

報告者：北井辰弥（中央大学教授）

テーマ：大学創立者がのこした史料から何を学ぶか

出席者：大谷正・黒沢眞里子・永江雅和・瀬戸口龍一

平成27年度

第1回 平成27年9月21日

場所 専修大学神田校舎6号館3階 大学史資料課事務室

出席者：大谷正・黒沢眞里子・永江雅和・瀬戸口龍一

第2回 平成27年12月13日

場所 専修大学神田校舎6号館3階 大学史資料課事務室

報告者：瀬戸口龍一（専修大学総務部大学史資料課）

テーマ：相馬家文書にみる彦根藩士たち

出席者：大谷正・黒沢眞里子・永江雅和・瀬戸口龍一

第3回 平成28年3月4日

場所 専修大学神田校舎6号館3階 大学史資料課事務室

出席者：大谷正・黒沢眞里子・永江雅和・瀬戸口龍一

## 5. 研究発表

(1) 学会誌等

・瀬戸口龍一「大学アーカイブズの保存と活用についての一考察 - 専修大学所蔵相馬家文書の現状と課題 -」(『専修大学史紀要 第6号』2014年3月)

・大谷正・黒沢眞里子・永江雅和「相馬永胤ニューヨーク事績調査報告」(『専修大学史紀要 第7号』2015年3月)

・瀬戸口龍一「明治期における井伊家と士族たち - 「相馬永胤日記」から見る彦根藩士族たちの動向 - 」(『専修大学史紀要 第7号』2015年3月)

・上符達紀・イソンウ・加藤美和子・立石睦世・大谷正「《史料紹介》相馬永胤日記 - 1900年(明治33)1月から1901年(明治34)12月 - 」(『専修大学史紀要 第8号』2016年3月)

(2) 口頭発表

・瀬戸口龍一「相馬家文書にみる横浜正金銀行関係資料について」(横浜正金銀行ニューヨーク支店資料研究会 平成27年3月14日)

## 6. デジタル化作業

(1) 平成25年度

【撮影資料】

①資料番号

1～25、27～62、110～116、209～221

②内容

- ・日記(明治9～18年、21年、23～45年、大正3～13年)
- ・宿所帳(明治4～12年頃、明治20年代頃、大正4～12年頃)
- ・彦根出身在官者名簿
- ・小遣帳(明治8年)
- ・銀行小切手帳(明治10～12年)
- ・相馬永胤翁懐旧記
- ・滞米中の資料(講義筆記、判例研究ノートおよびメモ、日本法律会社記録・会計簿憲法、法律語彙、法詞訳集)

【スキヤニング資料】

①資料番号

26、117、123～126-2、128～132、134～142、176～181、183～185、189、191、193～208、222～234、236～328-1、329～425、459～472、474～477

②主な内容

- ・日記(明治27～28年)
- ・巡廻記(欧米視察日記)
- ・相馬永胤宛書簡(横浜正金銀行関係者、大蔵省関係者、司法省関係者、専修学校関係者、留学中の知人、親族、彦根藩関係者ほか)
- ・相馬勝夫宛書簡(薄田斬雲、鶴岡伊作、森作太郎、今村力三郎、小泉嘉章、阪谷芳郎)
- ・相馬永胤先生略伝田尻稻次郎先生年譜
- ・相馬信齋墓碑、大祥忌展
- ・履歴書(明治14年、明治39年、大正6年)
- ・相馬永胤への弔辞(小林丑三郎、学生会・山本覚逸、専修大学同窓会、同窓会台湾支



部長・津久井誠一郎)

- ・ 専修大学相馬田尻文庫図書目録
- ・ 相馬先生還暦記念文庫寄付人名、息軒先生会ノ会員宿所ほか
- ・ 卒業証書（ピークスキルアカデミー、コロンビアカレッジ、東京馬術練習所）
- ・ メダル類（大札記念章、アメリカ造幣局製メダル、紐育陸軍士官学校徽章）
- ・ 表彰状（学制頒布五十年記念）
- ・ 叙勲関係
- ・ 留学中の稿本
- ・ 元老院における法律調査資料
- ・ 各種辞令
- ・ 大蔵大臣松方正義宛の意見書や演説ほかの草稿
- ・ 専修学校学則、社団法人専修大学定款、募金趣意書ほか
- ・ 衆議院関係（明治 23 年）
- ・ 専修学校校地の地券
- ・ 井伊直弼公銅像建設関係
- ・ 相馬永胤 書
- ・ 写真（明治、大正）

※デジタル化資料の合計 356 点

(2) 平成 26 年度

【撮影資料】

- ・ 63～105 は英文日記の和訳本
- ・ 106～109-2 は相馬勝夫および相馬重子による日記の写本
- ・ 118～122 は『相馬永胤翁遺風』原稿
- ・ 127 は 126 の複写物
- ・ 133 は 132 の複写物
- ・ 143～175 は書籍およびその草稿など  
『英米売買法』『動産売買法』『売買法』『英米流通証書法』『相続法』『米国紐育州訴訟法』『米国訴訟法』『日本現行訴訟法』『英国破産法』『科外講義筆記』『法律大意』『国際私法』『強認法要領』『英国倒産法』『為替手形』『英国結婚ノ財産法』『横浜正金銀行史』
- ・ 182 『安井息軒先生』書籍
- ・ 186～188 『明法志林』雑誌
- ・ 190、192 は 189 と 191 の卒業証書の複写物
- ・ 328-2 は 328-1 の学則と同資料
- ・ 426～458 までは相馬勝夫の資料（昭和）
- ・ 478～482 はマイクロ未撮影（彦根藩関係および写真）

※番号はすべて相馬家文書Aの旧番号による。

以上

## Ⅱ. 本文編



## 専修大学所蔵相馬家文書の現状と課題 —大学アーカイブズの保存と活用についての一考察—

瀬戸口龍一（専修大学総務部大学史資料課）

### はじめに

現在、多くの大学に資料センターや史料室、または大学史編纂課など名称は様々であるが、自らの大学の歴史に関する資料の収集・保存・活用を主な業務とする部署（以後、大学史資料保存機関と称す）が存在する。そこには創業者や教職員、卒業生に関する資料群が所蔵されていることが多い。例えば早稲田大学、慶応大学や同志社大学は創業者である大隈重信・福沢諭吉・新島襄に関わる資料群を所蔵しているし、明治大学では卒業生で総理大臣を務めた三木武夫に関するまとまった資料群を所蔵している。また京都大学や広島大学などの国公立大学は教員に関する資料を多く所蔵している。

では、こうした大学史資料保存機関では、資料群をどのように整理・保存し、どのような方法で公開・活用しているのか。大学史アーカイブズの整理・保存・活用方法については、平成13年の「情報公開法」および平成22年の「公文書管理法」の施行もあって、特に国公立大学を中心に近年多くの議論がなされている。

とはいえ、まだまだどの大学も試行錯誤の状態であり、現状では各大学における事例報告を積み重ね、そのうえで各大学が所蔵する資料群に適合した整理・保存方法を探っていく必要があるだろう。もちろん公開や活用方法についても同様である。

本稿は、そうした問題意識から専修大学が所蔵する「相馬家文書」と呼ばれる資料群の現状を明らかにしたうえで、整理・保存・活用、そして公開のあり方を考察することを目的とする。これまでも専修大学では相馬家文書を含め、所蔵する専修大学の歴史に関わる資料群を研究の一助とすべく、広く一般に公開することが議論されてきたが、残念ながら人的および経費的な理由から、公開の前提となる資料群の整理や目録化が進まず、またそれらをどのようにしていつ頃から公開していくのかというような具体的な議論もなされてこなかった。

しかし、平成25年度より「相馬永胤文書の基礎的研究—私立学校創立者の多面的分析のためのアプローチ」（研究代表者：大谷正（専修大学文学部教授））を研究課題名とした科学研究費助成事業・基盤研究（C）の採択を得ることが出来、本格的に調査・研究・公開へ向けて動き出すこととなった。提出した研究目的は次の通りである。

本研究は専修大学が所蔵する明治・大正期にかけて教育者・弁護士・銀行家として活躍した相馬永胤に関わる資料群の整理・調査・目録作成および明治9年から大正13年という約50年にわたって書き綴られた日記の翻刻作業を行う。この基礎的作業および公開体制の確立、資料群の分析・研究を通して、①士族と旧藩の関わりの実態解明。②明治初期の海外留学生の実態解明。③私立法律学校の設立・経営実態。④横浜正金銀行の経営実態

および明治政府の財政との関係性。⑤明治・大正期における地縁・血縁ネットワークの形成過程と実態解明が期待される。

しかし今回の研究計画は、人的・時間的な制約もあるため、上記5点の研究テーマの中で、彦根藩士としての側面（藩政史的）、海外留学生としての側面（教育史的）、銀行家としての側面（経済史的）の3つの側面にしぼって研究を行う。本研究により近代日本の教育・経済・政治を考える一つの手がかりとしたい。

この研究目的にあるように、まずは「相馬永胤に関わる資料群」（相馬家文書）を研究するための基礎的作業として整理・目録化したうえで、公開できる体制をつくることから始めたいと考えている。そのためには、まず相馬家文書の来歴を含めた概要、現在の保存状態、そしてこれまでの活用方法をまとめ、今後の課題について明らかにする必要がある。本稿では相馬家文書の基礎的研究を行うための前提とすべく、相馬家文書を題材として大学アーカイブズの保存・公開と活用について考察したい。

## 1. 大学史資料保存機関の変遷とその意義

大学史資料の最も大きな課題は、その存在が知られていないことにある。というのもこれまで大学史に関わる資料が活用される場のほとんどが、五十年史、百年史といった年史編纂物であったからである。現在、大学図書館で OPAC (Online Public Access Catalog) と呼ばれる公共利用に供されるオンライン蔵書目録システムを導入していない館は皆無と言って良い。またホームページを持っていない館も皆無であろう。コレクションなどをホームページで紹介している大学図書館も多い。

しかし、大学史資料保存機関は図書館や博物館のように、閲覧・公開を建前としていないこと、またはそうした閲覧・公開に従事出来る人員が足りないという理由などから、所蔵する資料を積極的にアピールしてこなかったし、また出来なかった。それは大学史資料保存機関の歴史とも深く関わっている。

大学に関わる資料を本格的に収集・活用を目的として設置された部署の古い例として、慶応義塾の塾史編纂所が挙げられる。昭和 26 年のことである。百年史編纂を目的に「史実の調査。資料の整理および蒐集を始めた」<sup>1)</sup> という。早稲田大学も百年史編纂を目的に昭和 36 年に校史資料係を設置、翌々年に校史資料室と改組している。さらに明治大学も大学史編纂を目的として昭和 37 年に歴史編纂資料室を立ち上げている。このように当初は、大学史資料の保存ではなく、大学史編纂のための資料調査・収集を主たる目的として部署が設置されたことがわかる。

こうした流れは、昭和 50～60 年代にかけて創立百年を迎えることとなった明治初期に誕生した私立大学においてますます顕著になっていく。東京大学、法政大学、中央大学、同志社大学などがそうである。

ちなみに専修大学には、昭和 44 年に 90 年史編纂のための資料の収集と整理を目的に「年史編纂室」が設置されたものの、刊行後はその役目を終えたとして解散。昭和 48 年に改

めて百年史編纂のために「年史編纂室」がつけられた。何度か名称変更を経て、現在は大学史資料課という名称になっているが、専修大学は百年史編纂以降、5年ごとに年史を編纂しているので、その主な業務がその時々々の年史編纂であったことは間違いない。

さて、この時期の大学史資料の活用方法としては、当然のことながら年史編纂物の刊行であるが、収集した資料の目録や資料集や研究紀要の刊行も行われている。百年史のなかの資料編のような立派な装丁ではなく簡易製本ではあるが、法政大学では法政大学百年史編纂委員会資料部会編纂の「法政大学史資料集」を昭和53年から、中央大学は中央大学百年史編集委員会専門委員会編纂の「中央大学史資料集」を昭和59年から刊行している<sup>2</sup>。ともに、この時期を代表する大学史資料保存機関の仕事と言えよう。自校が所蔵する資料ではなく、国立公文書館や東京都公文書館の所蔵資料、また新聞記事などを取り上げたものが多いことがこの時期の資料集の特徴とも言える。まずは自校内部の調査よりも、他機関の調査を優先していたことがわかる。

ただし、この時期に設置された部署は、専修大学の年史編纂室のように刊行とともに解散した例も多く見られる。つまり年史編纂のために収集された資料（資料情報も含む）やそれを行った人々のスキルが蓄積・継続されなかったという点が大きな問題であった。恒常的に大学史資料を収集・保存・活用する部署の設置が声高に叫ばれたのも当然のことである。

こうした状況が大きく変わり出したのは平成12年前後のことである。先に挙げた「情報公開法」の制定もその背景として挙げられる。それ以前にも慶応義塾が塾史資料室（塾史編纂所の後身）を昭和58年に福沢研究センターに改組発展させた例はあるが、歴史学または教育学の専門的知識を持った人材を教員や職員として配置し、恒常的に大学史資料を収集・保存・活用するための部署が誕生していく。

私立大学では、平成10年の早稲田大学大学史資料センター、同12年の立教学院史資料センター、同15年の明治大学史資料センターなどが代表例として挙げられる。国立大学では、平成12年に全国で初めて本格的な大学文書館として設置された京都大学大学文書館を皮切りに大学文書館が次々につくられていった。

これらの大学史資料保存機関は自校の歴史に関わる様々な資料の収集・整理・保存、そして閲覧を目的としており、これまでのように年史編纂のみを目的としない点に大きな違いがある。そして専門的知識を要する人材を配したことで調査・研究が行われるようになった。この点も着目すべきであろう。

活用方法にも変化が見られるようになった。一つは閲覧の問題である。大学文書館では主要業務として閲覧を明記している。そのために所蔵資料の目録化・検索のシステム化が進められ、利用者への便宜が図られるようになった。もう一つは展示である。常設展示・企画展示を問わず、展示施設を併設した大学史資料保存機関が増えたことがその要因であるが、現在、展示は大学アーカイブズの主要な活用方法になったと言って良いだろう。

早稲田大学大学史資料センターを例に挙げると、その業務は「資料の整理と公開」「資料

の閲覧・複写サービス」「資料の収集」「企画展示・講演会等の開催」「出版・刊行」とある。そしてその組織を見ると、所長の下に、運営委員を置き、専任の助教と助手が業務を行うという体制になっている<sup>3</sup>。

このように現在、大学史資料保存機関は大きく変わりつつある。そこには当然、大学側の思惑も反映されている。これまで周年事業の際にしかあまり顧みられることの無かった大学の歴史を積極的に発信するようになった背景としては、少子化および大学全入時代の到来という問題がある。大学、特に私立大学にとっては大学の歴史をアピールすることで外部の人々に自校の存在を広めたいという狙いがある。また近年、多くの大学で導入している自校史教育は、在学生および卒業生、教職員や保護者に自校の関係者であるというアイデンティティを持ってもらうためであることも多い。「スクールアイデンティティ」という言葉がよく使われているが、まさにそれである。

もちろん、そうした動きが少なからず問題を含んでいることは事実であるが、大学史活動<sup>4</sup>に大きな変化を与えたことは間違いなく、大学史資料の積極的な活用という流れは今後も進んでいくと考えて良いだろう。専修大学としてもこうした他大学の状況を踏まえ、相馬家文書の研究・公開という問題が持ち上がったことは言うまでもない。

## 2. 相馬家文書研究の背景

今回、相馬家文書を研究対象として取り上げようとした背景を述べておくと、多くの大学では、これまでもそれぞれの創立者に関する資料を収集・保存・調査してきたが、前述したように近年の特徴として挙げられるのは、それらの資料を積極的に公開するようになってきたことである。従来のような年史編纂物、目録や資料集の刊行だけでなく、展示やホームページの開設など、その方法は様々であるが、その要因は大学そのものが研究・教育機関としてだけでなく、社会貢献を求められているという現状もある。つまり「知」の発信である。

さらに公開のもう一つの大きな理由として、各大学が所蔵する資料群が、日本近代史研究において重要な意味を持つということが認知されてきたことが挙げられる。例えば全国大学史資料協議会編『日本の大学アーカイヴズ』（京都大学学術出版会 2005）では各大学における方法論や成果を詳しく見ることが出来るが、それも大学史資料保存機関に専門的知識を持った研究者が配属されるようになったことが大きな要因である。明治大学史資料センターのように、寄贈された資料群を整理・保存し、閲覧させるだけでなく、学内の研究者を集めて研究会を立ち上げたという例も見られるようになった。その成果として『大学史紀要 第14号 三木武夫研究I』（2010）や、『大学史紀要 第16号 木村礎研究I』（2012）がある。

大学史研究の潮流は、大学が持つ社会的意義などを考える高等教育機関としての「大学」研究と、大隈重信や福沢諭吉に代表される大学創立者研究の大きく二つに分けることが出来る。特に大隈や福沢、さらには新島襄といった高校日本史の教科書に登場するような人

物は早くからクローズアップされ、研究も進められてきた。そして慶応義塾や早稲田大学もそうした研究の一助となるべく、創立者の書簡集などを刊行している<sup>5)</sup>。

大隈や福沢に限らず、私立大学の創立者の多くは教育者でありながら、官僚や財界人、政治家として活躍している。さらにそうした私立学校の創立者たちは各学校の行事や政府との種々の交渉などを通して繋がりを持っており、その意味では「教育者ネットワーク」を形成し、情報共有を行っていたとも考えられる。まさに近代社会を形成した人々の集まりであった。そして専修大学創立者の相馬永胤もその一人であった。

つまり従来の大学史研究に加えて、大学および大学関係者が、学内外で果たした仕事によって近代社会の形成・発展や学問の発達にどのように関与してきたのかという視点からの大学史研究が行われるようになったことで、資料群そのものも重要視されるようになってきたということが言えよう。

このように考えるならば、専修大学が所蔵する相馬永胤に関する資料群はまさに大きな研究上の価値を持つ資料群であると言えることが出来る。そのため、相馬家文書に関心を持つ学内の研究者に参加してもらい、それぞれの分野からの研究を行うべく研究会を設置した。現在、文学部教授・大谷正（日本近現代史）、文学部教授・黒沢真理子（アメリカ史）、経済学部教授・永江雅和（日本経済史）、大学史資料課・瀬戸口龍一（大学史）の4人でやっているが、研究が進み、新たな問題点などが出てきた際にはその都度、研究者に参加してもらえればと考えている。

### 3. 相馬家文書の来歴

それではまず、相馬家文書の来歴から述べていく。相馬家文書は、前述したように専修大学創立者である相馬永胤に関わる資料群であるが、もともと専修大学が所蔵していたわけではない。代々相馬家に保存されてきた。相馬家文書が今に残った大きな要因の一つである。

専修大学は明治13年（1880）に京橋区木挽町（現中央区）で誕生し、明治15年には神田区中猿楽町、同17年に現在の神田キャンパスがある神田区今川小路（ともに現千代田区）に移ってきた。明治10年代から20年代にかけて神田地区には専修大学のほか、法政大学・明治大学・中央大学・獨協大学・日本大学・共立女子大学などの前身となる私立学校があったが、実はこれらの学校には創立者に関わる資料はもちろん、明治・大正初期の学校資料はあまり残っていない。というのも明治25年の神田大火に代表される度重なる火災被害、そして何より関東大震災による甚大な被害によって、学校が所蔵していた資料は灰燼に帰したためである。

専修大学も震災によって図書館の外壁の一部を残してすべての校舎が潰滅。当時の職員の手によって学生簿など重要な書類の一部が持ち出されたのみで、ほとんどが焼失したと言われている。つまり相馬家文書が早くから、例えば相馬永胤の生存中から専修大学が保管していたならば震災で焼失していた可能性が高かったのである。明治初期に誕生した大



学創立者の資料群としての相馬家文書の稀少性はこの点からも指摘することが出来よう。

話を相馬家文書の来歴に戻す。相馬の生涯は後述するが、相馬は明治4年にアメリカに留学し、帰国後の明治12年に京橋区南紺屋町（現中央区）に居を構え、明治14年には四谷区四谷仲町（現新宿区）に転居、明治34年に豊多摩郡戸塚村（現新宿区）に別荘を構え、明治43年に四谷からこの別荘に移転する。このあたりは関東大震災のとき、比較的被害が少なかった場所であり、相馬の屋敷は僅かな破損ですんだと言う<sup>6</sup>。相馬は大正13年（1924）、震災の翌年、静岡県沼津の別荘で亡くなった。

この相馬永胤に関する資料群を専修大学に寄贈したのが相馬勝夫氏である。勝夫氏は永胤の孫に当たる。簡単に略歴を記しておく。

相馬勝夫氏<sup>7</sup>は永胤の孫に当たるが、少し複雑になるため家系図を参照していただきたい。勝夫氏の父に当たる石川又二郎は、当初、永胤の次女・亘と結婚。勝夫氏自身も三歳まで石川姓を名乗っていた。永胤には男子が2人いたが、早世したため、明治39年、又二郎を養嗣子とする。その際に勝夫氏も相馬家へ入籍することになったのである。以後、勝夫氏は相馬姓を名乗った。

勝夫氏の母・亘は明治43年に逝去するも、又二郎は明治45年、永胤の三女・鈴子と再婚。大正10年には又二郎、さらに同13年には永胤が死去。永胤の遺言によって勝夫氏が相馬家の家督を相続することとなった。このときに永胤に関する資料も勝夫氏が相続したと考えて良いだろう。

勝夫氏が専修大学に関わるようになったのは昭和5年（1930）、東京商科大学（現一橋大学）を卒業後、講師として「商業英語」と「商業概論」を担当するようになってからである。昭和13年には教授（専門は「保険学」）に就任。戦争による疎開を経て昭和26年には専修大学に復帰する。そして昭和30年から商経学部長、同36年に学長および短期大学学部長に就任し、昭和51年までの長きに渡って創立者・永胤の意志を引き継ぎ学長として専修大学を主導した。さらに昭和51年から58年までは総長も務めている。

昭和49年に専修大学創立百年記念事業の一環として専修大学百年史刊行運営委員会が発足する。その委員長が相馬勝夫氏であった。『専修大学百年史』の「あとがき」<sup>8</sup>に次のような文章がある。

当初は昭和五十三年末刊行の予定で作業が進められたが、各委員のご努力にもかかわらず、本学としては百年史編纂は初めての事業であるため、資料収集ならびに執筆には予想以上の困難をきわめた。

しかし相馬家に長く大切に保存されていた古文書（創立者相馬永胤が明治九年米国留学中から大正十三年死去するまで書き綴った日記ならびに懐旧記、日本法律会社憲法等）の寄贈によって大いにたすけられた。

とあるように相馬家文書は百年史編纂を機に専修大学に寄贈されたことがわかる。ただ

し、年史編纂室（昭和 48 年から 56 年までの呼称）にいた職員の話によると、相馬家文書はまとめて寄贈されたわけではなく、勝夫氏が少しずつ、「こんなものもあるよ」という感じで、折に触れて資料を持ってきたということであった。また百年史編纂中のことであり、寄贈なのか、預かったのかが不明であったため、きちんとした受入記録は取っていないとのことである。そのため、個々の資料がいつ専修大学に入ったかは不明である。

大学史資料課に「相馬永胤関係文書」と題された資料目録が残っている。作成年代は不明であるが、おそらく百年史編纂の際に作成されたものであろう。資料の所蔵先は 3 つある。「東京・相馬勝夫所蔵」「専修大学年史編纂室所蔵」「専修大学図書館所蔵」である。その多くは「相馬家所蔵」となっていることから、当時の職員の言葉の通り、当初、編纂のために勝夫氏が家から持ってきた資料については預かったという意識が高かったのだろう。これが最初に専修大学に入った相馬家文書の第一段となった。これを相馬家文書 A と呼ぶことにする。

実は専修大学には相馬家に関わる資料群はもう 2 つある。1 つは大学史資料課書庫の棚に風呂敷に包んであった近世期の資料群である。これについてはなぜ別にしてあったのか、いつ専修大学に入ったのかが不明である。これを相馬家文書 B と呼ぶこととする。そして最後に、近年、勝夫氏のご子息・光之氏から寄贈いただいた資料群である。これを相馬家文書 C とするが、この 3 つを合わせて今後、専修大学では相馬家文書と称することとしたい。

#### 4. 相馬家文書の概要とその資料的価値

次に相馬家文書が日本近世・近代史研究上、どのような意味を持っているかを相馬永胤の生涯と資料群の内容に触れながら概説する。

明治 10 年代から 20 年代にかけて近代的な国家づくりのための法整備や法曹育成といった声に応えるべく、次々と私立法律学校が開校する。法政大学・明治大学・早稲田大学・中央大学・日本大学などである。専修大学もその一つであるが、その特徴は法律科だけでなく、経済科を併設したことにあった。この特徴は創立者が修めてきた学問と大きな繋がりがある。そして後述するが、その特徴は「相馬家文書」にも通ずる。

専修大学は現在、創立者を相馬永胤、田尻稻次郎、目賀田種太郎、駒井重格の 4 人としているが、なかでも相馬永胤は学校経営および教育において中心的な役割を果たし、初代校長・初代学長も務めるほど専修大学とは深い関わりを持っている。また前述したように永胤の令孫である相馬勝夫氏は相馬家文書 A の寄贈者であり、専修大学総長も務めている。相馬家そのものが専修大学の歴史を考える際に重要な家であると言えよう。相馬家文書が専修大学にとって重要な資料群とされてきた訳はそこにある。

相馬永胤について簡単に触れておくと、嘉永 3 年（1850）、彦根藩士・相馬右平次の長男として誕生。戊辰戦争の際には新政府側についた彦根藩兵の一員として北関東と東北地方で参戦している。その後、江戸時代後期から明治初期を代表する儒学者であり、谷干城

や陸奥宗光など多くの逸材を門下生として輩出した安井息軒や、後に東京大学において国史科を創設した重野安繹に学んだほか、藩の命を受け薩摩藩で兵学修行も行っている。この薩摩留学中にまたもや藩から洋行の命を受け、明治4年（1871）にアメリカに渡った。当初は陸軍大学を志望するも外国人の入学を拒否され、専攻を法律学や経済学に変更し、ニューヨーク州の私立学校・ピークスキル学院（商業課程）を経て、コロンビア大学で法律を、イェール大学大学院で法律と経済を学び、最終的には法学士の学位を得て帰国した。

専修大学の創立者たち四人が出会ったのはアメリカ留学中のことで、日本人留学生たちが集まって結成された研究会「日本法律会社」において法律学校や法律図書館設立などの構想が練られた。これが後の専修学校設立に繋がっていく。

帰国後は、明治13年に専修大学の前身となる専修学校を仲間たちとともに開校。生涯、学校教育と学校経営に力を注ぐ一方で、司法省附属代言人や横浜裁判所判事などを経て、法律家から銀行家へと転身する。横浜正金銀行には当初、官選取締役として入行。途中、衆議院議員に当選するも議員を体調不良のため辞職し、正金銀行に戻った。銀行家としては正金銀行頭取にまで上り詰め、正金銀行海外支店の開設や松方財政の一環である金本位制の確立にも関与している。創立した学校同様に自らが学んだ法律学と経済学を実践した人物と言える。

こうした経歴のため相馬家文書にはいくつかの特徴を見ることが出来る。①彦根藩士としての相馬家の史料を含むこと。②アメリカ留学時代の史料を含んでいること。③弁護士活動がわかる史料を含んでいること。④横浜正金銀行役員および頭取としての史料を含んでいること、などである。つまり法制史・経済史・教育史など多元的な視点から資料を研究出来るということである。そして、資料の形態は書簡・日記・原稿・愛用品・蔵書・写真など多岐にわたっている。

①は相馬家文書Bがその中心となるが、彦根藩士時代の相馬家に関する史料群が残っている。その多くは永胤の祖父・隼人と父・右平次に関する史料が主で辞令や褒状など2人の役務を知ることが出来る。隼人と右平次は御城使役（留守居）という、彦根藩と幕閣や旗本・諸大名家との間を取り持つ重要な役目を与えられていた。特に隼人は万延元年

（1860）、藩主・井伊直弼が惨殺された桜田門外の変において事後処理に奔走した人物でもあった。また相馬家文書Aには後述するが近代における旧彦根藩士たちの繋がりを知ることの出来る史料が含まれている。このように相馬家文書の研究は彦根藩の幕末史、さらに明治期における士族と旧藩の関係性などを解明する手がかりとなるだろう。

②からは明治初期の日本人海外留学生の様子を同時代史料で見ることが出来る。明治初期、数多くの日本人がアメリカやヨーロッパに留学した。私立法律学校の創立者にもそういった人物は多い。法政大学や明治大学の創立者はフランスに、中央大学の創立者はイギリスに、日本大学の創立者はドイツに留学し、法律学を学び、帰国後、学校を設立した。しかし留学時の史料はほとんど残っていない。しかし相馬家文書Aには卒業証書やコロンビア大学在学時の判例研究ノート、先に挙げたニューヨーク近郊に暮らす日本人法学徒た

ちが設立した法律学研究会「日本法律会社」に関する規約や記録、宿帳に書簡などが残っている。教育史において類を見ない貴重な資料群と言える。

また③について述べると、相馬は、当時国内に3人（星亨・目賀田種太郎）しかいなかった司法省附属代言人を務めた人物である。司法省附属代言人とは、司法省が任命した民間の代言人（弁護士）のことで、官庁関係の訴訟を担当したと言われているが、その実態はよくわかっていない。明治13年に、代言人規則が大幅に改正され、試験の合格者のみが代言人を名乗ることが出来るようになったことや、翌14年にはその制度が廃止されたこともあり、相馬家文書Aは司法省附属代言人を含め明治初期の弁護士の活動内容を知ることが出来る唯一とも言える資料群である。特に相馬が書き残した日記がその役目を果たすことだろう。

④は、近代日本において政治的・経済的に大きな役割を果たした横浜正金銀行の明治から大正初期の実態を知るうえで大いに役立つ資料群である。明治12年に貿易金融や外国為替の取引を専門として誕生した横浜正金銀行（営業開始は明治13年）に関する資料群としては、その本店の建物を使用している神奈川県立歴史博物館には「旧横浜正金銀行コレクション」が、東京大学経済学図書館・経済学部資料室（横浜正金銀行資料）、同じく東京大学東洋文化研究所図書館には横浜正金銀行時代の資料を引き継いだ旧東京銀行調査部旧蔵書が残っている。しかし横浜正金銀行の関係者の個人史料としては、管見の限りまとまった史料を見ることは相馬家文書Aしかない。正金銀行員としての海外調査記録、辞令、時の大蔵大臣・松方正義との書簡などが相馬家文書Aには収録されている。

このように相馬家文書は日本近世・近代史研究において重要な資料群であることは間違いないが、後述するように、これまで専修大学の記念誌や専修大学関係者の伝記のみに利用され、それ以外の研究にはあまり活用出来ていないのが現状である。その理由としては全件目録が作成されていないこと、公開するための電子化作業が進んでいないことが挙げられる。特に相馬家文書BおよびCについては手つかずのままである。

## 5. 相馬永胤日記の現状と重要性

相馬家文書Aの中核をなすと言っても良いのが相馬永胤日記（以後、「日記」と略）である。基盤研究「相馬永胤文書の基礎的研究—私立学校創立者の多面的分析のためのアプローチ—」では、基礎的作業の一つとして、この「日記」の翻刻・公開を行うことを明記した。

「日記」は明治9年（1876）年1月1日から始まり、永胤が亡くなる間際の大正13年（1924）1月17日に終わっている。その期間は実に48年におよぶ。明治18年8月から明治21年までの約2年半分のほか、何年かの抜けがあるが、ほぼ毎日記述されているという大部なものである。その詳細は文末の表にある通りである。

古記録の一つである日記が同時代史料として歴史学研究のうえで重要な意味を持っていることは言うまでもない。その意味では「日記」の翻刻・公開は多くの研究者にとって意

味のあるものであろう。「日記」が英文と和文で書かれている点も特徴の一つである。つまり当時の日本人の英語力を知ることにも出来、歴史学のみならず英語学研究にも一役買うことが出来るだろう。

ただしその量が膨大であることもあり、基盤研究においては、海外留学生に関する研究および横浜正金銀行研究に重点を置く意味から、まず留学時期（明治9年～12年）の英文日記および明治27～29年の全文翻刻を行う予定であるが、最終的には全期間の「日記」の翻刻・公開をめざすこととする。

なぜ明治27年から29年の「日記」を翻刻するのかという理由について少し触れておく。この時期、相馬永胤は横浜正金銀行取締役として海外支店開設のための調査旅行に出掛けしており、本人も生涯「最良の日」であったと後年述べている。当該期の日記を詳細に見ていくことで、正金銀行がどのような理由で、またどのようにして海外支店を開設していくかを知ることが出来るのではないかと考えたからである。後述する相馬永胤の「巡回記」と比較する意味もある。

では、現在、「日記」はどのようなになっているのかを述べる。現在、「日記」については、科研のスケジュール通り、デジタルカメラによる全頁の写真撮影が終了、閲覧しやすいように画像処理を施した。また昭和57年10月にマイクロフィルムでの撮影が行われており、その紙焼きも製本してあるため、閲覧は可能であるが、こちらはモノクロ画像となっている。

しかし問題点がないわけではない。相馬家文書には鉛筆書きの史料が多く含まれている。「日記」のなかにも市販の手帳に鉛筆書きで日々を記しているものがあり、経年劣化のために今では薄くなって文字がほとんど判読出来ないものもある。こうした史料については、今後、赤外線撮影などを含めて復元していく必要があるだろう。

また革製表紙を用いたものもいくつかあり、これらもかなり劣化している。ただし修復のために多額の費用がかかるため、これらをどのようにすべきかは今後の課題としたい。出来るだけ保存を考え、原資料の閲覧は避け、展示のための複製を作成するなどの対応を考えたい。

## 6. 相馬家文書の整理・修復保存作業について

現在、相馬家文書は前述したように3つに分類されている。繰り返しになるが、一つは百年史編纂過程において相馬勝夫氏から寄贈された日記類を含む相馬永胤に関わる資料群（相馬家文書A）、2つ目は、大学史資料課書庫に風呂敷で包んだ状態で保管されていた相馬家に関わる近世文書（相馬家文書B）、そして3つ目は、相馬勝夫氏のご子息より寄贈された相馬勝夫氏に関わる資料群（相馬家文書C）である。相馬家文書Cのほとんどは勝夫氏が所蔵していた専修大学に関わる書籍類（年史、専修大学出版局で出版した自著など）で若干、書簡、写真アルバムなども含まれている。また『相馬永胤伝』の稿本もある。

これらの保存・整理現況について述べる。相馬家文書Aは現在、紙資料についてはすべ

て1点ずつ中性紙封筒もしくは桐箱に収められ、モノ資料についてもその資料の大きさに合わせて作成した桐箱に入れ、温度・湿度が管理された大学史資料課書庫のキャビネットおよび棚に収められている。

それまで通常の手紙封筒に入れられ、耐火金庫に収蔵された相馬家文書Aが、現在のような保存・整理状況になったのは平成18年のことである。洋紙を使った日記などの酸性化が進んでいたこと、鉛筆やペンが薄くなって読めなくなったものが出てきたこと、さらに紙資料以外のモノ資料についてもカビなどの汚れが目立つようになってきたことをその理由として、専修大学創立者である相馬永胤関係資料を後世に残していくため、つまり保存のための修復作業を行ったのである。

業者に依頼した作業内容としては、①クリーニング処理（中性紙ケース、テープ・養生処理含む）、②とじ金具はずし（はずし後処理含む）、③脱酸性化処理、④革表紙保存処理、⑤修復処理、⑥締め直し、⑦修理製本、⑧桐箱作成、である。482点の資料に対してこれらの作業が適宜行われた。

この修復作業は、相馬家文書Aの保存のためになっただけでなく、相馬家文書Aにはどのような資料があるのかをリスト化したという副次的な効果ももたらした。この作業を行うために各資料に表題を付け、サイズを測り、どのような材質（紙ならば和紙・洋紙などの選別）なのか、そして資料がどのような状態（どこがどの程度傷んでいるのかを調査）にあるのかの詳細な調査が行われたのである。その際、照合のためのデジタルカメラによる簡単な資料撮影（表紙のみ）も行われている。これにより現在、相馬家文書Aについては資料の大まかな概要を把握することが出来ている。

相馬家文書Bは、現在、風呂敷に入っていた資料を1点ずつ仕分けしたうえで、中性紙封筒に袋詰めを行い、中性紙の保存箱に入れてあるが目録化はまだである。そして相馬家文書Cについては、脱酸性化を行ったうえで、中性紙の保存箱（4箱）に入れたが、仕分け作業および目録化は行っていない。これらは相馬家文書Aと同様に温度・湿度が管理された大学史資料課書庫のキャビネットおよび棚に収められている。

今後の整理方法としては、まず相馬家文書としてすべての資料を一括する必要がある。前述したように専修大学が所蔵する相馬家文書は相馬勝夫氏およびその後は勝夫氏のご子孫から大学に直接、または宅急便などで送られてきたものである。そのため従来の文書整理の際に使用するような保存の原型を尊重し、現状を復元するための番号を付す必要性はない。もとの保存方法が不明だからである。

また唯一リスト化されている相馬家文書Aも修復の際に、業者が分類（例えば日記なら日記、写真なら写真というように）しているためにどのような順番で相馬勝夫氏から寄贈いただいたのかを復元することももはや不可能である。この番号を継続して使用する意味もあまりない。現状復元のための番号（ここでは「整理番号」と呼ぶ）を考慮しないならば、資料の年代順、または分類別に並び替えた後に適宜、番号（「分類番号」と呼ぶ）を振っていく方法が利用者にとっては最も見やすい目録ということになるだろう。

そこで相馬家文書については、まず3つに分かれている資料群をひとまとめにし、袋詰めした順番に整理番号を付すこととする。次にすべての資料の表題・年代などを目録化したうえで、分類を施し、年代の古い順番に並べ替え、整理番号とは別に分類番号を付していくことにしたい。利用者向けの目録は分類番号を付した方を提供する。利用者の便宜を図るためである。

ただし、今後新たに相馬家から資料が寄贈された場合には、受入順に整理番号を付けることとし、そのうえでそれまでの資料と同様に分類作業を施すことにしたい。

公開方法については議論を必要とするが、他大学の例にならって目録を刊行するとともに、ホームページ上でその目録から資料を検索出来るようなシステムを構築することが望ましいだろう。しかし現在、専修大学大学史資料課では独自のホームページを開設していない。この点も今後の大きな課題である。

## 7. 相馬家文書のこれまでの活用事例

前述したように、専修大学として相馬家文書の存在を積極的にアピールしてこなかったこともあり、それほどその存在を知られているわけではないが、まったく活用してこなかった訳ではない。ではどのように活用されてきたのか。

昭和34年に発行された『専修大学八十年小史』には「相馬日記」「日本法律会社憲法」、さらには創立者たちによる法律用語の翻訳辞典である「法詞訳集」の写真が掲載されている。管見の限り、これが初めて「相馬家文書」が専修大学の大学史に活用された例と思われるが、その後の年史編纂では必ず使用されるようになる。その意味でも相馬家文書Aの活用の第一は年史編纂ということになるだろう。

そのほかにも『相馬永胤伝』『回想相馬勝夫』などの相馬家の伝記にも使われている。専修大学のなかではその存在は認知されていたことがわかる。

では外部からの活用はどうだったのか。平成16年、神奈川県立歴史博物館が特別展「重要文化財旧横浜正金銀行本店本館創建100周年記念 横浜正金銀行 - 世界三大為替銀行への道 -」を開催している。このとき、24点の資料を専修大学が貸し出しているが、すべて相馬家文書Aである。

相馬永胤は、明治30年(1897)から39年にかけて横浜正金銀行の第6代頭取を務めたほか、明治15年から大正13年(1924)、その間26ヶ月ほどの空きはあるが、約41年間もの間、取締役も務めている。また相馬は横浜正金銀行本店建物の設計者である妻木頼黄とも旧知の間柄であり、展示ではかなり相馬を大きく取り上げている。

相馬が頭取を務めていた時期は松方財政の一環である金本位制が実施され、欧米との為替取引高も順調に伸びるなど、正金銀行にとっても順風満帆な時期であった。相馬家文書Aに収められている「日記」、海外支局開設のための欧米調査旅行の記録や辞令、慰労金目録、書簡などが展示された。

相馬家文書Aにおける横浜正金銀行時代の史料はそのほかにも前述した『専修大学史紀

要』の第4号および第5号に、相馬が横浜正金銀行海外出張所の検査などのために明治27年4月13日から翌年1月27日にかけてアメリカ・ヨーロッパ・インド・香港を巡回した際の日記「巡回記」を翻刻したものが掲載されている。この翻刻は本研究会の代表者である専修大学文学部教授・大谷正氏と専修大学大学院文学研究科に在籍している院生が中心になって行ったもので、相馬家文書が大学院の研究教材として活用されたという点に大きな意味を持つ。

そのほかにも相馬家と彦根藩という視点からの活用がある。平成21年に彦根城博物館が開催した特別企画展「政治の時代 - 井伊直弼と幕末の群像 -」において、直弼没後の相馬ら旧彦根藩士による顕彰活動に関する事例を取り上げている。それが明治42年、横浜開港50周年を記念して戸部山（現在は掃部山）に建設された井伊直弼の銅像である。このとき、この銅像の除幕式において相馬は建設委員総代として経過報告を行っているが、この件に関する史料が相馬家文書Aには残っており、それをこの企画展では展示している。

同事例の紹介は、『新修彦根市史 第3巻 通史編 近代』（2009）および『新修彦根市史 第8巻 史料編 近代1』（2003）でもなされており、その史料の一つとして相馬家文書が使用されている。彦根城博物館や彦根市史編さん室においては相馬家文書Aの存在が認知されていることを物語っている。『新修彦根市史 第8巻 史料編 近代1』の史料解題では「専修大学総務部大学史資料課所蔵文書」と呼んでいる。

同市史には、もう一つ別の事例で相馬家文書が使用されている。それが明治21年、旧幕臣で、当時、ジャーナリストとして活躍していた島田三郎が書いた『開国始末 - 井伊掃部頭直弼伝』をめぐる旧彦根藩士たちの対応問題である。『開国始末』は井伊家が所蔵する史料を使って直弼の大老時代を描いた伝記として、研究史的にも非常に評価の高い作品である。島田は、『開国始末』の刊行に先立って、旧彦根藩や旧幕府関係者に稿本を送り、批評を求めているが、そのなかの一人が相馬永胤であった。その際、相馬は井伊直弼の評価は『開国始末』を上梓せずとも時が来ればその罪は晴れるだろうと考えていたことが、相馬家文書Aに残る書簡から知ることが出来る。それをこの本では紹介しているのである。

このように相馬家文書Aは日本近代社会において旧藩士と藩との関係を知るうえで重要な資料群であることを展示や市史での活用から知ることが出来る。

彦根藩士としての相馬家の研究は残念ながらそれほどないが、青木美智男「創業者・相馬永胤家と祖父隼人について」（『専修大学史紀要 第2号』2010）がある。これは桜田門外の変に関わった永胤の祖父・隼人から永胤までを彦根藩の史料「侍中由緒書」（彦根城博物館所蔵）からその動向を探り、相馬家がどのような家柄であったのか、また彦根藩士としてどのように位置づけ出来るのかを考察した論文である。今後、こうした史料をもとにした実証的な研究を積み重ねていくことで、彦根藩における相馬家の意義、そして日本近代史における士族の社会的役割を考えていく必要があるだろう。

以上、これまで述べてきたように、相馬家文書は専修大学史、横浜正金銀行史、そして近代における旧彦根藩士の動向を考える彦根地域史においては注目・活用されてきた。し



かしそれらはまだ史料の紹介が中心で、研究史のなかに位置づけられてはいない。それは相馬家文書の全体像が知られていないからである。つまり位置づけようにも資料の性格がわからないため位置づけられないという事情がある。それは所蔵する専修大学が全資料目録を作成・公開していないことに大きな原因がある。だからこそ公開するための体制を早急に確立しなければならない。

## おわりに

これまで何度も述べてきたように、現時点での相馬家文書の最大の課題は目録を公開していないことにある。どんなに歴史的に価値のある資料群であったとしても、その全体像を広く社会に向けて発信していかない限り、限定的な活用がされるだけの「宝の持ち腐れ」となってしまう。ただし目録を公開するという事は、閲覧に応じるということにはほかならない。しかし保存と公開が相反する概念であることはこれまで言われてきた通りである。

まずは保存のための脱酸性化や修復などの処置を施し、資料を1点ずつ中性紙封筒に入れ、中性紙の保存箱に収めたうえで、状態の良い場所で管理する。そして資料目録を作成して資料群の概要を明らかにする。またマイクロフィルムやデジタルカメラなどで撮影し、原史料を見せることなく、手軽に資料が閲覧出来るようにする。現時点ではこれが保存と公開を考えるうえで最適な方法と言えるだろう。当たり前のことであるが、相馬家文書もそのようにすべきであることは言うまでもない。

ただし資料を所蔵する資料保存機関によってそれぞれの事情がある。本報告では相馬家文書をめぐる専修大学のこれまでの対応、今後の課題や展望を述べたが、そのうえで費用や人員といった問題を考慮しなければならない。保存と公開の問題を考えるうえで最も重要なことは費用と人員をどのように確保するのかに尽きると言っても過言ではない。その点、相馬家文書の今後の公開・活用などのあり方については科研費の採択を受けたことによって大きく変わっていくことになるだろう。

費用と人員を確保するために必要なことは何か。結局、その資料群が費用と人員をかけるほどの価値があるということアピールするしかない。金銭的価値だけを問題にするのではなくその資料群が持つ歴史的意義を明らかにするためには、専門的知識を持つ人材が必要である。現在、大学史資料保存機関に所属する人間がその資料群の持つそれぞれの特性を知り、それを積極的に発信していかなければならない。そうして多くの人々に活用してもらうことでまたその資料群の歴史的価値が高まっていく。保存が大切であることは言うまでもないが、公開も同じように大切であるのはそういった意味を持つからである。

科研費申請書類では、「本研究の学術的な特色・独創的な点および予想される結果と意義」として次のように述べた。相馬家文書の研究が何をもたらすのか。それを掲げて本稿を終えたい。

本研究は前述の通り、以下の点を今後、深めていくための基礎的研究である。

①士族と旧藩の関わりの実態解明／②明治初期の海外留学生の実態解明／③私立

法律学校の設立・経営実態／④横浜正金銀行の経営実態および明治政府との関係性／  
⑤明治・大正期における地縁・血縁ネットワークの形成過程と実態解明。

一つの資料群を用いて複数の研究者が学際的かつ多面的な研究を行うという手法自体は珍しいものではない。しかし本研究で用いる「相馬永胤家文書」のような資料群の分析を行う際には最も有効な手段であることも間違いない。「2 相馬家文書の概要とその資料的価値」で述べたようにあくまでも本研究は上記の五点の問題を深めていくための基礎的研究ではあるが、「相馬永胤家文書」は幕末・明治・大正を生きた一個人の資料として、非常に重要な資料群と思われる。特におよそ 50 年にもおよぶという他に類を見ない「相馬永胤日記」の翻刻・公開は、個人史という枠を大きく飛び越え、教育史・経済史・政治史・法制史・文化史などのあらゆる近現代史研究の一次史料として非常に大きな役割を果たすと確信している。

(註)

- 1 時子山常三郎「大学史編纂研究の新発足に当って」(『早稲田大学史記要 第1巻第1号』1965)
- 2 2014年2月現在で『法政大学史資料集』は第34集まで、『中央大学史資料集』は第25集まで刊行されている。
- 3 早稲田大学大学史資料センターの業務内容および組織については、ホームページ(<http://www.waseda.jp/archives/>)に拠った。
- 4 大学史活動という概念については、鈴木秀幸『大学史および大学史活動の研究』(日本経済評論社 2010)によると、大学史に関わる編纂事業はもちろん、「資料の調査・収集、整理・保存、利用・応用など」の様々な活動を指す。
- 5 慶応義塾は平成13年から岩波書店より『福沢諭吉書簡集』(全9巻)を刊行。早稲田大学史資料センターはみすず書房から『大隈重信関係文書』と題して大隈宛ての書簡約6000通を平成16年より毎年、翻刻・編纂し、刊行している。
- 6 専修大学相馬永胤伝刊行会編『相馬永胤伝』(専修大学出版局 1982)
- 7 相馬勝夫氏の生涯については、専修大学相馬勝夫先生追想録編集委員会編『回想相馬勝夫』(専修大学出版局 1984)に拠った。
- 8 専修大学編『専修大学百年史 下巻』(専修大学出版局 1981)
- 9 整理作業については、神谷智「大学史資料の「整理番号」について - 名古屋大学史資料室における事例紹介 - 」(『名古屋大学史紀要 第5号』1997)を主に参考にしたが、そのほかにも大藤修・安藤正人著『史料保存と文書館学』(吉川弘文館 1986)、国文学研究資料館史料館編『史料の整理と管理』(岩波書店 1988)に詳しい。

## 相馬永胤家文書

今年度から科学研究費助成事業・基盤研究(C)「相馬永胤文書の基礎的研究  
—私学創設者の多面的分析のためのアプローチ—」が採択された



創立者の一人である相馬永胤が、留学中の明治9年から亡くなる直前の大正13年まで書き綴った日記。およそ50年分が大学史資料課に残されている。

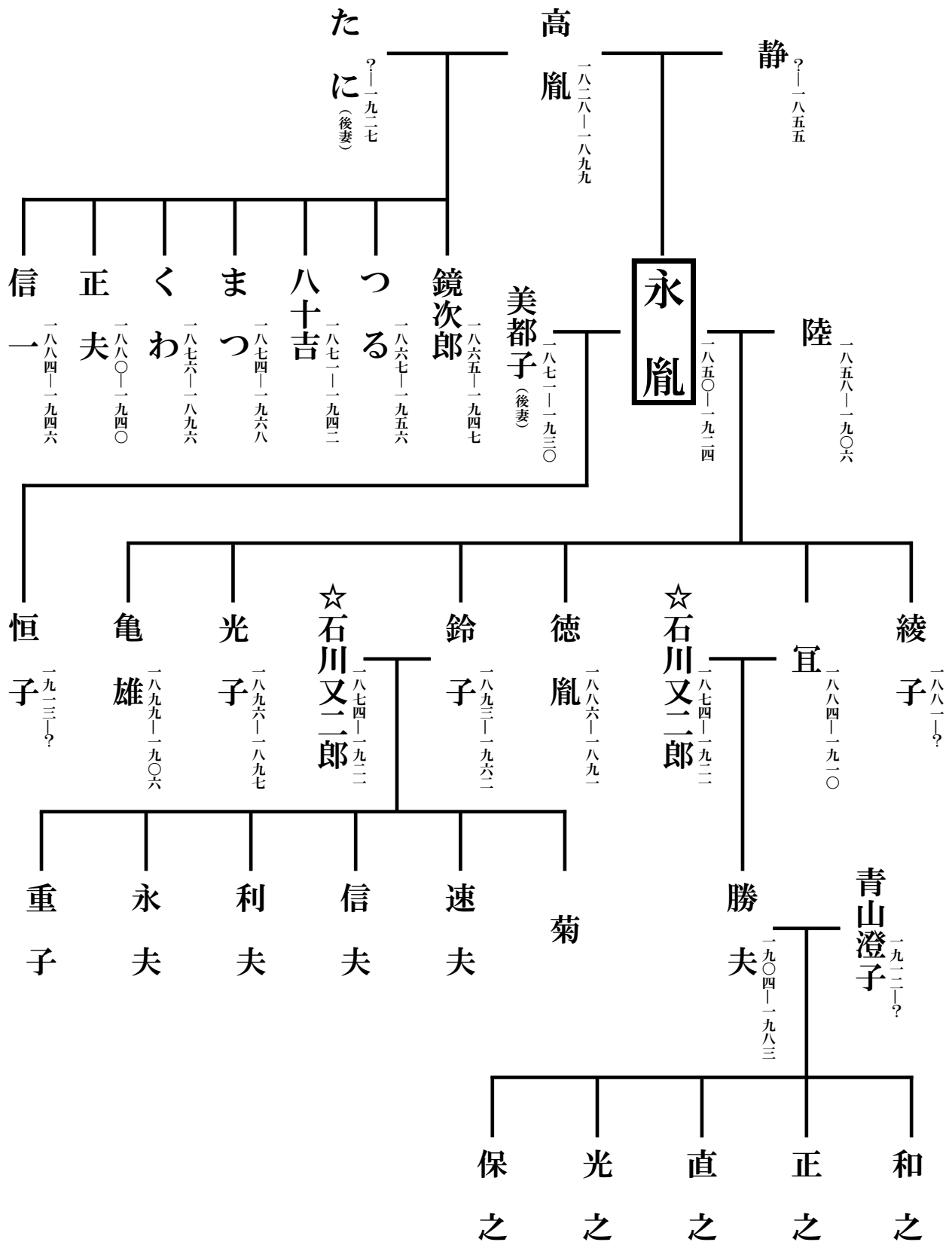
Agent	代理人	Agent	代理人
Agreement	契約	Agent-land	代理人地
Alien	外國人	Agent-law	代理人法
Alimony	養育費	Agent-possessor	代理人所有
Allegation	訴状	Agency	代理
Alumina	沙	Answer	答
Allegation	訴状	Anti-Litum system	訴訟法
Appellate	控訴	Appal	控訴
Appellate	控訴	Apparance of Authority	代理權
Appellate	控訴	Appellate jurisdiction	控訴管轄
Appellate	控訴	Apparitee	控訴人

留学中の相馬たちが法律用語を翻訳するために手がけた「Dictionary of Law Terms Vol. I」。



資料の大きさに合わせて作成された桐箱（左）とその桐箱に収納された資料（右）。写真の資料は、相馬の還暦を祝して設立された文庫に対する寄付者の人名録。

# 相馬家系図



※1. 『相馬永胤伝』、『回想 相馬勝夫』を基に作成したが、没年の一部はご遺族の方々から伺った話を基にした。  
 ※2. ☆印の石川又二郎は同一人物であり、明治39(1906)年に相馬家の養嗣子となった。

相馬家文書所蔵「日記」の記載年月日一覧

タイトル	記載日	未記入日	言語	備考	相馬年表
The CENTENNIAL DIARY 1876	1876年1月1日～12月31日	無し	英文	住所録・会計簿あり	コロンビア大学在学
EXCELSIOR DIARY 1877	1877年1月1日～12月31日	4月4・5・9・22～26日, 5月7日, 7月4・5・18・27・29日, 8月2・3・7～10・12・13・20～23日, 9月20・24～26・29日, 10月5・6・9・12・13・19・20・23・30・31日, 11月2・5・7・8・10・16・20・22・25・26・28日, 12月2～4・6・10・11・15・21日	英文	住所録・会計簿あり	5月コロンビア大学卒業, 9月イエール大学入学
THE STANDARD DIARY 1878	1878年1月1日～12月31日	7月19・20・26日, 8月3・11・20・21・27～29日, 9月1日, 10月24日, 11月3～5・22日, 12月5・6・13・14・21～24	英文	住所録・会計簿あり	法律事務所で修習
THE STANDARD DIARY 1879	1879年1月1日～12月31日	2月20・21・24・27・28日, 3月1・20・21日, 4月2・3日, 5月2・3日, 6月21・22・29・30日, 7月1～3日, 8月8～19・24～31日, 9月1～13・15・16日, 10月11・13・16・24～28・31日, 11月5・18日, 12月1・24～26日	英文	住所録・会計簿あり	9月アメリカより帰国, 11月目賀田と共同法律事務所設立, 12月慶応義塾に夜間法律科設置
(手帳)	1880年1月1日～6月30日	1月23日, 2月8・9・11・13日, 3月18・19日, 4月15日, 5月4・13・21・27日, 6月6・7・15～19日	英文	住所録・会計簿あり	1月元老院雇・三汊塾で講義担当, 6月司法省附属代言人
(日記メモ)	1880年11月26日～27日		和文		
(手帳)	1880年7月1日～12月31日 1881年1月1日～10月24日	7月1～6・22・23日, 10月6・13～17・22日, 11月1日, 12月27～29日 3月27日, 5月21日, 6月8～10・17・22・29・30日, 7月5～15日	英文 和文	会計簿あり	9月専修学校開校, 11月東京代言人組合副会長 3月横浜裁判所詰判事, 10月東京始審裁判所詰
当用日記簿 明治十五年壬午年	1882年1月1日～12月29日	2月22・23日, 4月11・12・24～30日, 5月～10月, 11月1・2日	和文	会計簿あり	10月横浜正金銀行取締役
明治十五年壬午懐中日記	1883年1月1日～4月3日	2月12～14日, 3月20～31日	和文	会計簿あり	
(日記メモ)	1883年7月12日～8月23日	7月14～16・20・23～28日, 8月3・9～21	和文	銀行関係覚書あり	
(日記メモ)	1883年8月16～18・21・22・27日, 9月1・3・7日, 10月11・16・20日, 11月1・2・8・27日		和文	銀行関係覚書あり	
(手帳)	1883年9月4日～22日		和文	長野県上田出張日記	
明治十七年甲申閏年 懐中日記	1884年1月1日～8月24日	3月5～8日, 4月28～30日, 5月20・21日, 6月4日, 7月7日, 8月7・8・11・12・17～22	和文	会計簿あり	
(手帳)	1884年9月14日～12月31日	11月22日	英文	取締役決議ほか銀行関係覚書あり	9月欧米へ出張
(日記メモ)	1884年8月13日～20日		和文	鎌倉・箱根旅行記	
(手帳)	1885年4月5日～7月28日	5月20日	英文	6月分会計簿あり	7月ロンドンより帰国
明治廿一年戊子閏年 懐中日記	1888年1月1日～12月31日	2月17・26日, 3月25～31日, 4月1・2日, 5月28日, 6月5～9・19・21～23日, 7月5～7・23日, 8月1・5～10・28～31日, 9月8・13・14日, 10月11・20～26・31日, 11月1・7～9・14～16日, 12月7・17～19・28・29日	和文	会計簿あり	1月横浜正金銀行取締役退任, 4月横浜正金銀行内外法律相談役, 8月専修学校初代校長

相馬家文書所蔵「日記」の記載年月日一覧

タイトル	記載日	未記入日	言語	備考	相馬年表
明治二十三年 当用日記	1890年1月1日 ～4月20日	1月7～31日, 2月1～28日, 3月28～31日, 4月1・2 日	和文	会計簿あり (1～12 月)	3月横浜正金銀 行取締役, 7月衆 議院議員
明治二十四年 当用日記	1891年1月1日 ～4月14日	2月2～7・24・25日, 3月17～19日, 4月1～11日	和文	会計簿あり (1～12 月)	2月衆議院議員 辞任
(手帳)	1891年5月19日 ～6月11日		英文	会計簿ほか あり, 上海 出張記	
(日記メモ)	1892年11月17 日～12月9 日, 21～27日		和文 英文	関西出張記 ほか	
(手帳)	1893年1月1日 ～5月24日	2月6・17～28日, 3月1～31日, 4月1～3日	和文	「本店へノ 用事」ほか メモ書きあり	
(手帳)	1894年5月5日 ～6月30日		和文	欧米旅行記	
(手帳)	1894年7月1日 ～10月31日	10月12日	和文	欧米旅行記	
(手帳)	1894年11月1日 ～12月31日, 1895年1月1日 ～27日, 2月5 日, 5月2日		和文	欧州旅行記	
巡回記 其一	1894年4月13日 ～5月31日		和文	欧米旅行記	
巡回記 其二	1894年6月1日 ～8月8日		和文	欧米旅行記	
巡回記 其三	1894年8月9日 ～10月12日		和文	欧米旅行記	
巡回記 其四	1894年10月13 日～1895年1月 27日		和文	欧米旅行記	
(手帳)	1896年5月1日 ～12月26日	7月3～7・14・28・29日, 11月12～14	和文	住所録・メ モ書きあり	
(手帳)	1897年4月19日 ～9月25日		和文	メモ書きあり	4月横浜正金銀 行頭取
(手帳)	1897年9月26日 ～1898年3月31 日		和文	住所録・メ モ書きあり	
(手帳)	1898年4月1日 ～10月31日	8月9～16日	和文	メモ書きあり	
(手帳)	1898年11月1日 ～1899年7月31 日		和文	住所録・メ モ書きあり	
(手帳)	1898年8月1日 ～12月31日	12月21日	和文	メモ書きあり	
(手帳)	1900年1月1日 ～9月3日	5月26日, 6月26・27日, 8月27日	和文 英文	メモ書きあり	4月欧米へ出 張, 6月従五位
(手帳)	1900年9月3日 ～1901年12月 31日		和文	住所録・ 「上海要 事」ほかメ モ書きあり	

相馬家文書所蔵「日記」の記載年月日一覧

タイトル	記載日	未記入日	言語	備考	相馬年表
(手帳)	1902年1月1日 ～12月31日	1月23日	和文	「北京支店 ニ関スル 件」ほかメ モ書きあり	3月清国へ出 張, 12月勲五等 瑞宝章
(手帳)	1903年1月1日 ～11月7日	2月25～28日	和文	メモ書きあ り	
(手帳)	1903年11月8日 ～1904年6月30 日	2月5～8日	和文	住所録・メ モ書きあり	
(手帳)	1904年7月1日 ～1905年6月30 日		和文	住所録・メ モ書きあり	
(手帳)	1905年7月1日 ～1906年3月31 日	11月24日	和文	メモ書きあ り	3月横浜正金銀 行頭取退任(取 締役へ), 4月勲 三等旭日中綬章
(手帳)	1906年4月1日 ～11月30日	4月5・6日, 9月21・23日, 11月15日	和文	住所録・メ モ書きあり	
(手帳)	1906年12月1日 ～12月31日		和文	メモ書きあ り	
(手帳)	1906年8月27日 ～9月5日		和文	箱根旅行記	
銃獵日記 SPORTING DIARY.	1906年10月15・ 17・19・30・31 日, 11月1～8・ 10・29・30日, 12 月1・5日, 1907 年1月7・8・10・ 11・13・14・23・ 28・29, 2月2・ 20・23日, 3月1・ 7・8・27・28・30 日, 4月2日		和文		
(手帳)	1907年1月1日 ～11月30日	1月3～5日, 4月24・25日, 6月11日, 9月20日	和文	住所録あり	9月勲三等旭日 中綬章
銃獵日記 SPORTING DIARY.	1907年10月15・ 19・26・30・31日		和文		
(手帳)	1907年12月1日 ～1908年12月 31日	1907年12月14～16日, 1908年1月10日, 2月3～ 19・21～28日, 3月28日, 6月3・5～7日, 7月17日, 9 月18・19日, 11月15日	和文	住所録あり	
(手帳)	1909年1月1日 ～12月28日	2月14～19日, 3月30日, 4月5～6・13～17・27～30 日, 5月1～6日, 6月11・20～25日, 10月12・21・22 日	和文	住所録・メ モ書きあり	
明治四十三年 懷中日記	1910年1月1日 ～12月31日	3月5～9・11・14・15日, 4月28日, 5月11・28～31 日, 6月25～29日, 9月15・16・30日, 10月13～16・ 24・25・28日, 11月14～30日, 12月2・3日	和文		
明治四十四年 懷中日記	1911年1月1日 ～12月31日	2月22～25日, 3月3～5・15・17日, 4月10・12日, 6 月6・7・14・23・29・30日, 7月1～31日, 9月25～26・ 30日, 10月1～17日, 11月14・15日, 12月6・7・12・ 13・19日	和文	メモ書きあ り	
明治四十五年 懷中日記	1912年1月1日 ～4月4日	2月2・16・26・28, 3月10～12日	和文	日記補遺・ 住所録あり	
大正三年 懷中 日記	1914年1月1日 ～3月27日	1月20日	和文	住所録あり	(大正2年8月か ら日本興業銀行 監査役)

相馬家文書所蔵「日記」の記載年月日一覧

タイトル	記載日	未記入日	言語	備考	相馬年表
(手帳)	1915年1月1日 ～8月12日	2月17日, 4月7・26～28日, 5月4・5・10～12・22～ 25・27・28日, 6月8～30日, 7月1～19・29～31日, 8 月1～6日	和文	卒業式に於 ける演説 案・メモ書 きあり	
(手帳)	1916年1月1日 ～12月31日	1月18日, 4月29日, 6月26～27日	和文	住所録あり	12月北米大学会 長
(手帳)	1917年1月1日 ～12月31日	3月29～31日, 4月3～8・24・25・28日, 6月4～6 日, 8月12日, 10月15～17日	和文	メモ書きあ り	
(手帳)	1918年1月1日 ～4月17日	2月14日	和文 英文		2月維新史料編 纂会委員
(手帳)	1919年1月1日 ～12月31日		和文		
(手帳)	1920年1月1日 ～12月31日		和文	会計簿・メ モ書きあり	
(手帳)	1921年1月1日 ～12月31日		和文	住所録・メ モ書きあり	
(手帳)	1922年1月1日 ～12月31日		和文	住所録・専 修学校横浜 支部講演会 の祝詞メモ ほかあり	8月専修大学初 代学長, 10月教 育功労者として 表彰
(手帳)	1922年3月16日 ～12月25日	3月18・22・23・27～31日, 4月3・4・10・12～17・21・ 24・26・27・29日, 5月1・2・4・7～20・23・25・31日, 6 月2・3・5～9・11～17・19～25・27～30日, 7月1・3 ～5・9・10・14・18・19・22～26・29～31日, 8月1～ 31日, 9月1～13・17～22・25～27・29・30日, 10月 1・4・7・9・12・13・16・17・19・21・23・25日, 11月1・ 6・8・10・13～17・20・22・24・25・27～30日, 12月1・ 2・4～16・20・21・23・24日	和文	「大正十一 年四月九日 園遊招待人 数」あり	
Pocket Diary 1923	1923年1月1日 ～12月31日		和文	住所録・日 記補遺・メ モ書きあり	
(手帳)	1924年1月1日 ～1月17日		和文		1月死去, 正五位 及び勲二等



# 相馬永胤と横浜正金銀行－『相馬永胤伝』の記述を中心に－

永江雅和（専修大学経済学部教授）

## はじめに

専修大学の創立者の一人である相馬永胤は、大学の創設者、法律家としての経歴の他に横浜正金銀行の取締役、頭取としての経歴が知られている。横浜正金銀行は、明治期以降、戦前期日本の対外金融業務の重要な一角をなした金融機関である。本稿では主として『相馬永胤翁懐舊記』<sup>1</sup>、『相馬永胤伝』<sup>2</sup>の記述のなかから横浜正金銀行に関わる記述を、可能な限り時系列に沿ってまとめたノートである。他にも横浜正金銀行の研究については『横浜正金銀行史』全5巻<sup>3</sup>、『横浜正金銀行全史』全6巻、『横浜市史』<sup>4</sup>をはじめとする、数多くの研究が残されているが、これら先行研究との差別化を今回は行っていない。予め了とされたい。

本稿で主に取り上げる文献について簡単に説明する。『相馬永胤翁懐舊記』（以下『懐舊記』）は、相馬永胤による自叙伝であり、大正9年から大正13年にかけて執筆されたものを専修大学年史資料室が翻刻したものである。原本は「相馬文書」（専修大学年史資料室所蔵）に含まれている。『相馬永胤伝』は専修大学創立百年記念事業の一環として編さんされたものであり、執筆は有澤和夫（元、毎日新聞記者）によるものである。同書の横浜正金銀行関連の記述は主として『横浜正金銀行全史第一巻』<sup>5</sup>、及び『原六郎翁伝』<sup>6</sup>等の文献、及び専修大学年史資料室所蔵の『相馬日記』に依拠している。この『相馬日記』は日本語、英語の原本に加え、翻刻版が存在し、同書ではこの翻刻版が参照されたものと思われる。本稿における叙述は基本的に『相馬永胤伝』の記述を頼りに進め、脚注は同書の頁数を記載してゆくが、上記文献、日記に依拠している部分については原史料として引用場所を合わせて注記する体裁で進めることとする。

## I 横浜正金銀行官撰取締役としての相馬永胤

### 1. 横浜正金銀行の設立と官撰取締役

『懐舊記』において、相馬は横浜正金銀の設立と自身の同行取締役就任の経緯について、次のように述べている。「横浜正金銀行ノ設立ハ、明治十三年（一八八〇）ニシテ、其目的ハ海外貿易ノ機関タルニ在リテ、本店ヲ横浜ニ置キ、支店ヲ神戸ニ設ケ、追々欧米、支那、其他世界ノ貿易地ニ支店ヲ設置シテ、為替事業ヲ取扱フニ在リタレドモ、未タ其業務ニ着手スルニ到ラサルニ、既ニ本店ニ於テ、資金ノ停滞ヲ生シ、株主中ニ騒動ヲ起シ危険ノ場

<sup>1</sup> 相馬永胤『相馬永胤翁懐舊記 翻刻版』（専修大学年史資料室 平成9年）。

<sup>2</sup> 相馬永胤伝刊行会編『相馬永胤伝』（専修大学出版局、昭和57年）。

<sup>3</sup> 横浜正金銀行編『横浜正金銀行史』全五巻（西田書店、昭和51年）。以下引用する場合は、特に断りのない限り、本巻の頁数である。

<sup>4</sup> 『横浜市史 第3巻下』（昭和38年）。

<sup>5</sup> 株式会社東京銀行『横浜正金銀行全史 第1巻』（東洋経済新報社、昭和55年）。

<sup>6</sup> 板沢武雄・米林富男編『原六郎翁伝 上・中・下巻』（昭和12年）。

合ニ立至リタレハ、大蔵省ノ関渉スル所トナリ、其整理ノ為メ、余ハ大蔵卿ノ命ニ依リ、白洲退蔵、村田一郎両氏ト共ニ官撰取締役トシテ、同行ニ入レリ」<sup>7</sup>。

横浜正金銀行の創業は明治13年(1880)2月28日のことである。設立当初は特別の制度によらず、国立銀行条例に準拠し、資本金300万円をもって横浜に発足した。当時日本の貿易は日本人商人と外国商館との間で銀貨で行われ、為替業務は外国銀行が独占する状況であった。また日本人商人は銀貨と紙幣(当時多くは不換紙幣)の価格差に悩まされることが多かった。このような状況下で正金による堅実な金融の途を開き、取引の円滑と貿易の増進を促すことを目的として設立されたものであった<sup>8</sup>。資本金300万円中、100万円は政府出資であり、その監督のため、正金銀行管理官が任命された。この管理官は明治13年1月に廃止され、代わって3人の官撰取締役が置かれ、政府の持ち株分に対する利害を代表する存在として機能することが期待された<sup>9</sup>。相馬永胤は白洲退蔵、村田一郎とともにこの官撰取締役として横浜正金銀行に入ることとなったのである<sup>10</sup>。

相馬永胤は東京始審裁判所に勤めていたが明治15年9月1日に辞表を提出し、同年10月14日に横浜正金銀行官撰取締役に就任した。相馬の就任を推薦したのは、専修大学創設者として同志的關係にあった田尻稲次郎・目賀田種太郎らであったと記されている。また当時大蔵卿松方正義から大蔵権大書記官として横浜正金銀行管理掛を兼任しており、後に総裁となる富田鉄之助もアメリカ留学時代に相馬と親交を結んだ人物であった<sup>11</sup>。つまり相馬は大蔵卿松方正義より官撰取締役として横浜正金銀行の公的性格を担うことを目的として送り込まれた形の人物であった。それはそれ以前の民間銀行としての同銀取締役、株主とは距離があった可能性が指摘されるし、また同銀と日銀が連携して業務を行ってゆくことに、当初より賛同しやすい位置にいたことを意味している。

## 2. 横浜正金銀行の経営危機とその再建

相馬が入行した当時の同銀は、いわゆる「松方デフレ」による取引先倒産が続出し、金融機関も経営難となり、とくに生糸、茶の輸出前貸しと、その為替取組を主業とする正金銀行の経営は困難に直面していた<sup>12</sup>。明治15年末の経営状況として、内外荷為替貸出金1695千円中損失見込みが774千円、貸付金総計2092千円中、損失見込みが937千円、さらに早急に取立不可能分が735千円分と資本金3000千円の同銀は破たん寸前の状態にあったといえる<sup>13</sup>。

明治15年7月10日には初代頭取中村道太が辞職し、副頭取であった小野光景が継承したが、経営の立て直しが見込めぬまま株価が下落し、明治16年1月に官撰取締役の白洲退蔵に交代することとなった。その後、大蔵卿松方正義の介入もあり、頭取に第百銀行頭

<sup>7</sup> 前掲『相馬永胤翁懐舊記 翻刻版』21頁。

<sup>8</sup> 前掲『相馬永胤伝』214頁。出典元は前掲『横浜正金銀行全史 第1巻』97頁。

<sup>9</sup> 前掲『相馬永胤伝』215頁。

<sup>10</sup> 当初の官撰取締役には河瀬秀治が任命されたが、短期間で辞職し、白洲退蔵と交代した(前掲『相馬永胤伝』220頁)。

<sup>11</sup> 前掲『相馬永胤伝』189頁。

<sup>12</sup> 前掲『相馬永胤伝』217頁。なお、同頁には相馬が「大蔵省から入行した」との記述があるが、これは誤記と考えられる。

<sup>13</sup> 前掲『相馬永胤伝』219頁。

取であった原六郎を新たな官撰取締役として起用し、同年3月に原六郎が新頭取として経営立て直しを断行することとなった<sup>14</sup>。原六郎は松方大蔵卿の支持のもと同銀の改革に取り組み、銀資本金および銀積立金を1円30銭の相場で売却し、その後松方財政による紙幣相場上昇差益によって欠損の大部分を補填することに成功した<sup>15</sup>。

この立て直し策は松方財政による銀紙幣価（銀貨と紙幣の価格均衡）の実現がなければ成功しなかったものであり、松方正義との連携なくば実現しなかったものと言える。相馬永胤は白洲退蔵、原六郎よりも前任の官撰取締役であったにも関わらず、この間頭取として起用されることはなかった。これは同じ海外留学経験者のなかでも、法学を専門とした相馬に対し、経済学・銀行学を専攻し、さらに第百銀行頭取として銀行業経営の実績があった原の力量が高く評価されていた結果といえようし、逆に白洲退蔵の場合は原頭取就任までの「つなぎ」的性格が強く、退任後は岐阜県大書記官に転任し、横浜正金銀行から離れることとなる。しかしすぐに頭取となることがなかった結果、相馬は誰よりも長く同銀取締役の任に就くこととなったし、徐々に業務に対する知識を蓄積していった結果、後に頭取の座につくことにもなったのである。

原六郎による負債整理時に、相馬が一度だけ原に忠告したことがあったというエピソードが残されている。明治15年時点に、大蔵省が正金銀の経営に不満を持つ株主の株式の持株6400余株を買い上げたことがあり、これは整理が一段落した明治16年11月に同銀に原価で売り渡されたが、その売り渡された株の行方が問題となった。6400余株のうち、5000株を原頭取が個人資格で買い戻すこととなったが、その後の配分につき相馬が原頭取に、外部からの公平性に万が一にも疑われるべき余地を無くすよう、厳しく注意を求める一幕が存在したという<sup>16</sup>。

## II 松方財政下の海外荷為替取組推進とロンドン支店の設置

### 1. 「準備金」運用による海外荷為替取組み

日本経済史研究において、横浜正金銀行は松方財政期における正貨蓄積に貢献した機関と位置付けられている。松方財政とは西南戦争（1877年）後に発生したインフレーションと不換紙幣の膨張に対策するため、明治14年（1881年）に大蔵卿の就任した松方正義が実施した財政・通貨改革を意味する。財政面では官業払下げの推進と増税により財政を改善し、輸出促進策による正貨蓄積を通じて1885年に銀兌換紙幣の発行を実現、通貨価値を安定させ、インフレの終息と財政の安定化、日本円の国際的信用向上をもたらしたことをもって成果とされている。このなかの正貨蓄積において松方が活用したのが横浜正金銀行であった。松方は政策目標のなかで、国庫準備金を運用し、横浜正金銀行の輸出荷為替を利用して正貨を蓄積し、それをもって兌換銀行券を発行する日本銀行の設立を構想した。正金銀行は国庫準備金400万円の預入を受け、独占的に輸出荷為替業務を担当することとなった<sup>17</sup>。

輸出荷為替とは、主に遠隔地貿易に際して金融機関が売主から為替手形を買い取る形で

<sup>14</sup> 前掲『相馬永胤伝』220頁。

<sup>15</sup> 前掲『相馬永胤伝』221頁。

<sup>16</sup> 前掲『相馬永胤伝』259頁。原史料は前掲『原六郎翁伝 中巻』57頁。

<sup>17</sup> 前掲『相馬永胤伝』222頁。

販売代金を前貸しし（その際、利子部分は割り引かれる）、積み荷到着後現地で買主から代金を受領する形で行われる貿易金融業務である。銀行にとっては、手形買取時点で割り引かれる利子部分が基本的収入となるが、当時の場合、海外の買主から払い込まれる代金は正貨で支払われ、国内の売主に支払われる為替手形の購入代金は不換紙幣で支払われたことから、不換紙幣を正貨に交換する機能を持つものであった。正金銀行は外国人商人の荷為替も受け付け、その場合は正貨が支払われたが、利子分が正貨で獲得できるメリットが存在した。この外国荷為替利用による正貨蓄積が進められた結果、松方就任後4年間で不換紙幣と交換された正貨は約3300万円に達したという<sup>18</sup>。以上、正金銀行は国庫預り金の運用により獲得した正貨を政府、あるいは日本銀行に還元することで、正貨、今日でいうところの外貨獲得機関として松方財政の一翼を担ったのである。また国内商人にとっては、それまで貿易仲介業務を独占していた外国人貿易商を経由しないことで中間搾取を排除できる点がメリットであり、民間企業の発展という観点からも国内銀行による荷為替業務取り組みには意味があったのである。

## 2. 横浜正金銀行ロンドン支店の開設

『懐舊記』において、相馬が正金銀における自身の活動として多くの文字数を割いているのは、同銀の海外業務拡大に対する貢献であり、次のように記している。「又一方ニハ海外ニ向テ、為替事業開始ノ準備ヲ為セリ。（中略）余カ同行ニ入りタル迄ハ、外国為替ハ総テ内国人ニ関スルモノノミニテ、外国人ニ関スル為替ヲ取扱ヒタル事ナク、又、紐育、龍動等ニハ、一二出張員派出シ在リタルモ、未タ支店ト云ヘキ程ノモノナカリセバ、余ハ、右兩地、其他ニ支店設置、并ニ外国人ニ関スル為替取扱ノ手續ヲ付ケ、又、当時破産シタル『ヤーリエントナル・バンク』ニテ、取扱ヒ居タル、本邦外債元利支払ノ事務ヲ、政府ヨリ横浜正金銀行へ委任セラレタルニ依リ、其引継并其事務取扱ノ手續ヲ定付ル為メ、明治十六年、余ハ欧米ニ出張セリ」<sup>19</sup>。

日本の金融機関による海外荷為替業務が確立するためには、海外において代金回収を実行し、また反対に代金支払いを代行する海外支店の存在が不可欠であった。また当時、日本の貿易輸出相手国はアメリカであったが、金融業務における世界の中心地はイギリスのロンドンであり、横浜正金銀行は明治17年にそれまで出張所であったロンドン出張所を支店に昇格し、輸出荷為替の決済をはじめ、いっさいの海外業務を統括する支店として位置付けた。このロンドン出張所の支店昇格のための責任者として相馬永胤は渡欧し、主にロンドンにおいて支店開設のための実務作業に尽力している<sup>20</sup>。相馬は横浜正金銀行の海外業務展開において、その手腕を発揮するようになったのである。また当時のロンドン領事が後に正金頭取となる園田孝吉である点は示唆深い。この時期に相馬と園田は情報を共有しながら、ロンドンにおける海外金融業務の重要性についての認識を深めていったのだろう。また相馬はこれに先立つ明治16年、取締役の一人として国内の製糸、養蚕産地のうち、長野県の上田、松代、飯田地方を巡回し、横浜正金銀行を通じた輸出荷為替業務の

<sup>18</sup> 前掲『相馬永胤伝』225頁。

<sup>19</sup> 前掲『相馬永胤翁懐舊記 翻刻版』21頁。

<sup>20</sup> 前掲『相馬永胤伝』224頁。

取り組みと、その募集を行った<sup>21</sup>。相馬は現地第十九国立銀行と連携を取りながら、諏訪地方、伊那地方を中心とする新興製糸業地域から新規の荷為替取引顧客を獲得することに貢献したのである<sup>22</sup>。

### 3. 政府関係支払い業務の請負

横浜正金銀行がロンドン支店を開設させたことは、同銀にもう一つのチャンスを与えることになった。明治 17 年 5 月に、それまで日本政府の対外支払いに密接な関係を持っていた英国オリエンタル・バンクが倒産・閉店したのである。それによって、政府公債元利支払をはじめとする政府関係の対外支払業務を担当する新たな金融機関が必要となったのである<sup>23</sup>。横浜正金銀行では取締役会において、従来オリエンタル・バンクに委託されていた政府関係の支払い業務および正金銀行の取り扱う輸出荷為替に関する業務一切を、新設された同銀ロンドン支店に委託されるよう請願することを決し、5 月 31 日に請願、8 月 11 日に政府より承認された<sup>24</sup>。これによって横浜正金銀行は、新たに政府支払い業務の代行という大きな業務を獲得することができたのである。

その後、政府は明治 18 年 2 月にロンドン支店に官金保管を命ずることとなり、その預け金手続きを条文化して令達した。これによって政府は海外御用金の全部を正金銀行に委託することとなり、大蔵省がロンドンで収入する海外荷為替金、送金為替、輸出米売却代金をはじめ、在米仏領事館からの回送金なども、すべてロンドン支店に預け入れられることになったのであるという<sup>25</sup>。ロンドン支店は 12 月 1 日に開業し、政府出先機関として幅広い業務を行うようになったことに加え、その内外の信用も大幅に強化されることとなったのである。この政府委託は正金銀行のロンドン支店がこのタイミングで設立されていなければ為しえないものであり、その点でロンドン支店設立を遂行した相馬永胤の同銀に対する功績は大であると評価できるであろう。

相馬永胤は前述のロンドン支店開設のため、明治 17 年 10 月 30 日から翌 18 年 6 月 13 日までロンドンに滞在している。この間、ロンドンに出張した人物として日本銀行の初代総裁である吉原重信がいる。吉原はロンドンにおける政府起債を目的として都英したのであり、相馬は滞英中、連日吉原と会談し、政府起債の可能性について議論を重ねたとされている<sup>26</sup>。結果としてこの時期での政府起債は失敗に終わるが、その理由は当時の日本が銀本位国であったことに求められている<sup>27</sup>。相馬は後に貨幣制度調査会に参画し、田尻稻次郎らと共に金本位制を主張する立場に立つが、背景には海外起債という点において銀本位制が不利であることをこの時期に体験したことがあったのかもしれない。

---

<sup>21</sup> 前掲『相馬永胤伝』226 頁。

<sup>22</sup> 前掲『相馬永胤伝』228 頁。

<sup>23</sup> 前掲『相馬永胤伝』233 頁。

<sup>24</sup> 前掲『相馬永胤伝』234 頁。

<sup>25</sup> 前掲『相馬永胤伝』238 頁。原史料は前掲『横浜正金銀行史』80 頁。

<sup>26</sup> 前掲『相馬永胤伝』241 頁。原史料は『相馬日記』明治 18 年 5 月～6 月 13 日。

<sup>27</sup> 前掲『相馬永胤伝』242 頁。

#### 4. 御用為替取扱期限延長問題と日銀との摩擦

横浜正金銀行の経営を立て直し、なおかつ大幅に業績を伸長させたのは前述したように外国為替事業への取り組みであったが、その資金は「準備金」を財源とする政府預入の御用為替資金であったが、これには当初明治 19 年 6 月末までという取扱い期限が設けられていた。そのため正金銀行は明治 19 年 1 月、御用為替資金取扱の 5 年間延長を政府に申し出た<sup>28</sup>。これに対して日銀の吉原重俊総裁と明治 20 年に後任となった富田鉄之助は海外為替事業を日銀が行いたい意向から正金銀への御用為替取扱延長に難色を示すが<sup>29</sup>、最終的に、新会計法の施行により「準備金」が廃止される明治 22 年 3 月末までの延長が認められることとなった。その一方で事業拡大に伴い正金も自己資本拡大の必要に迫られ、明治 20 年 3 月末の臨時株主総会において資本金 300 万円を 600 万円に倍増する増資（新株には毎株 100 円の割増金をつけ、旧株 1 に新株 1 を割り当てる形で発行した）を実行した<sup>30</sup>。

その後政府は明治 20 年 7 月 6 日勅令第 29 号をもって、横浜正金銀行条例を制定した。同条例により政府は正金業務のなかに、海外における公債、官金の取扱い業務が含まれることを明文化し、正金銀行の御用為替業務に法的根拠を与えた。さらに日銀と正金の円滑な連携のため、必要に応じて正金銀行頭取を日銀副頭取が兼ねること、正金銀頭取が日銀理事を兼ねることなどを認めた（条例第 16 条）<sup>31</sup>。また同条例により、正金銀の官選取締役制度が廃止され、相馬永胤も取締役を解任される形となったが、条例制定と同月 30 日の株主臨時総会において再び一般の取締役に選出されることとなった。その後明治 21 年 1 月の株主総会で若尾逸平の取締役就任と入れ替わる形で、相馬は一時取締役を退くが、同年 4 月には同銀法律相談役として招聘されることになる<sup>32</sup>。株主と経営陣の対立や日銀との摩擦のなかで相馬の地位が盤石であったと言うことはできないが、海外業務と法律に通じる相馬の実務能力は正金銀にとって不可欠と評価されていたものと言えるだろう。

ところで前述したように、政府準備金による御用為替業務は、準備金制度の廃止により明治 22 年 3 月末で終了した。その後、正金銀は不足資金の融資を日銀に要請するが、日銀の富田鉄之助総裁はこれを拒絶する姿勢をみせ、正金銀を外国為替銀として養成しようとする松方正義蔵相と、外国為替業務を自ら推進したい日銀富田総裁の間の対立は激化し、結局同年 9 月 3 日に富田総裁が辞職する事態に至ることとなった<sup>33</sup>。

### III 明治 23 年恐慌と日清戦争期の横浜正金銀行

#### 1. 園田頭取誕生と明治 23 年恐慌

明治 23 年 3 月 10 日の株主総会において、相馬は再び正金銀取締役に選任された。その

<sup>28</sup> 前掲『相馬永胤伝』261 頁。

<sup>29</sup> 前掲『相馬永胤伝』262 頁。原史料は前掲『原六郎翁伝 中巻』96 頁。

<sup>30</sup> 前掲『相馬永胤伝』264 頁。

<sup>31</sup> 前掲『相馬永胤伝』266 頁。ただし実際に正金銀頭取を日銀副総裁が兼任したのは、明治 39～44 年間の高橋是清の事例のみであり、正金銀行頭取が日銀理事を兼務することはなかった。

<sup>32</sup> 前掲『相馬永胤伝』267 頁。原史料は前掲『横浜正金銀行史』102 頁。

<sup>33</sup> 前掲『相馬永胤伝』271 頁。

後の取締役会において原六郎頭取は退任し、園田孝吉取締役が就任した<sup>34</sup>。薩摩藩出身で松方正義の信任厚く、また長くロンドン総領事を務めた園田の経歴は、頭取に適任であったろう。原頭取と吉原・富田総裁時代の正金銀と日銀の対立の時代の経験を踏まえ、川田小一郎日銀総裁と、園田孝吉正金銀頭取時代は、正金銀が日銀総裁を大蔵省の代理とみなすという原則に立ち、正金銀が日銀の意向を重視する形で両者の協調が模索される時代となった<sup>35</sup>。

しかし明治 23 年は、日本で初の資本主義恐慌が発生した年でもあった。綿産業の生産過剰の顕在化による操業短縮、アメリカにおける恐慌による生糸輸出不振、さらにアメリカによる銀貨自由鑄造要求の高まりによる銀価高騰が、いずれも正金銀行の経営を悪化させる要因となった<sup>36</sup>。その結果、正金銀の外国為替取扱高は明治 23 年の 5066 万円から 24 年の 4625 万円、25 年の 4117 万円と急減することとなった<sup>37</sup>。そのため明治 24 年 3 月の株主総会では園田頭取の辞任論が浮上することとなるが、相馬は松方正義大蔵大臣、川田日銀総裁を支持を得ることで園田頭取続投の線で調整を行っている<sup>38</sup>。ただしその動きは正金銀の独立性を高める方向ではなく、日銀への従属性を高める方向のものであったことは留意する必要がある。それを象徴する出来事が、日本銀行の小泉信吉を正金銀本店支配人に選定したことである<sup>39</sup>。正金銀の経営を立て直すためにも、日銀との摩擦を解消し、連携を強化する方向で、相馬は園田頭取を補佐する形で経営改革を助けてゆくこととなったのである。

また明治 23 年恐慌の影響で発生した取引先の破たん等によって生じた不良債権の処理についても相馬取締役は奔走することとなる。明治 24 年 5 月に日本と清国で生糸輸出業に従事していた英商、アダムソン・ベル商会の破たん処理のため、相馬は上海に出張している。ここでは結果として 50 余万円の貸し倒れ損失を余儀なくされたが、この出張は、その 2 年後に正金銀が上海出張所を開設するための準備となった<sup>40</sup>。そのほか、明治 25 年 10 月の灘酒家銀行の破たん処理（滞貨 35 万円のうち、元金 5 万円を放棄し、残金を無利息 5 か年賦で解決）<sup>41</sup>、明治 26 年 6 月の英商ヒュース商会の破たん処理（同商会破たんに伴う債権の返済を三井銀行から請求されることとなったが、日銀川田総裁の仲介により、日銀低利融資資金を三井銀に転貸し、この資金で国債を購入して利子をもって損失を補填させる調停案を成立させた）<sup>42</sup>などを相馬取締役が担当している。恐慌下における、今日でいうところの不良債権処理の実務において、相馬は手腕を発揮したのである。

## 2. 日清戦争と長期海外出張

日清戦争の始まった明治 27 年、相馬は海外支店および出張所の検査と海外各地の商況、

<sup>34</sup> 前掲『相馬永胤伝』293 頁。

<sup>35</sup> 前掲『相馬永胤伝』295 頁。

<sup>36</sup> 前掲『相馬永胤伝』297 頁。

<sup>37</sup> 前掲『相馬永胤伝』298 頁。

<sup>38</sup> 前掲『相馬永胤伝』313 頁。原史料は『相馬日記』明治 24 年 3 月 13 日、25 日。

<sup>39</sup> 前掲『相馬永胤伝』314 頁。

<sup>40</sup> 前掲『相馬永胤伝』316～318 頁。原史料は前掲『横浜正金銀行史』132 頁。

<sup>41</sup> 前掲『相馬永胤伝』320 頁。原史料は前掲『横浜正金銀行史』143 頁。

<sup>42</sup> 前掲『相馬永胤伝』320～321 頁。原史料は前掲『横浜正金銀行史』139 頁。

金銀貨問題などの調査のため、欧米を周遊する。旅程はニューヨーク滞在 36 日、ロンドン滞在 124 日を含む 4 月 13 日から翌 28 年 1 月 25 日の横浜着まで、9 か月に及ぶ長期出張であった<sup>43</sup>。ロンドン滞在中は日清戦争の戦況を同地で見聞することとなった。出張中の調査事項は「欧米ニ於ケル経済上之變動」と題する報告書にまとめられ、正金銀行や大蔵省に提出された<sup>44</sup>。

日清戦争の勝利により、日本は清国から 2 億 3150 万両の賠償金を受けるとこととなったが、その支払いは英貨に換算され（約 3800 ポンド）、ロンドンにおいて受領されることとなった。政府はこの賠償金処分に関わる出納事務を日本銀行に命じ、日本銀行はその海外事務を横浜正金銀行に依頼した。明治 29 年 2 月、日銀、正金銀間で賠償金の保管出納事務代理取扱に関する約定が締結され、5 月には償金の回送およびロンドンにおける運用に関する契約が結ばれた。この一連の事務のために園田頭取が 5 月、ロンドンに出張し、相馬取締役は頭取代理となった<sup>45</sup>。明治政府はこの資金をもって明治 30 年 10 月に金本位制を確立させた。正金銀行は償金の保管回収取扱業務を認められることによって対外的信用が大幅に向上し、従来外国銀との直接取引を忌避する傾向にあったイングランド銀行に、預金勘定口座開設を認められるまでになった<sup>46</sup>。

また明治 29 年 3 月の株主総会において、第 2 回の増資を決議し、従前資本金 600 万円を 1200 万円とすることとした。新株は旧株主に 1 対 1 の比で割り当てられたが、第 1 回増資と異なりプレミアムは付かず、額面 100 円に対して 100 円の等価での割り当てとなった<sup>47</sup>。

#### IV 相馬頭取期の横浜正金銀行

##### 1. 相馬永胤頭取誕生と日銀との協調

相馬の横浜正金銀におけるキャリアの頂点は明治 30 年から 39 年にかけて就任した頭取時代であると言えるだろう。しかしこの時期は日清戦後経営期から日露戦争期という、近代日本において最も舵取りの難しい時期のひとつであった。この時期について相馬は『懐舊記』において次のように述べている。「其後頭取トナリ、明治三十年ヨリ三十九年迄、十ヶ年間、同行ノ事業ヲ総括セリ。此間、英国龍動ニ於ケル本邦公債募集ニ関シ、銀杯ヲ賜リ、五位ニ叙セラレ、又、日清戦争ニ関シ勲五等瑞宝章ヲ賜リ、又日露戦役ノ功ニ依リ勲三等ニ叙セラレ、旭日中綬章ヲ賜ハレリ。余ハ明治三十九年三月頭取ヲ辞シタレドモ今尚ホ取締役ノ員ニ加ハリ居レリ」<sup>48</sup>。

賠償金処理関連事務のためロンドンに出張した園田頭取は明治 30 年 1 月に帰国するが、病気のため、同年 3 月まで相馬が頭取代理を務めることとなった<sup>49</sup>。3 月の株主総会にお

<sup>43</sup> 前掲『相馬永胤伝』323 頁。なおこの時の旅行の記録については相馬文書（専修大学史資料課）の中に『相馬日記』とは別に『巡回日記』として所蔵されている。

<sup>44</sup> 前掲『相馬永胤伝』345 頁。原史料は相馬文書。

<sup>45</sup> 前掲『相馬永胤伝』360 頁。原史料は前掲『横浜正金銀行史』169 頁。

<sup>46</sup> 前掲『相馬永胤伝』362 頁。

<sup>47</sup> 前掲『相馬永胤伝』357 頁。

<sup>48</sup> 前掲『相馬永胤翁懐舊記 翻刻版』22 頁。

<sup>49</sup> 前掲『相馬永胤伝』361 頁。原史料は前掲『横浜正金銀行史』169 頁。



いて園田頭取は辞意を表明し、取締役会の選挙の結果、明治 30 年 4 月 26 日に相馬永胤が新頭取に選出された<sup>50</sup>。相馬の頭取就任については日銀の岩崎弥之助総裁の意向も働いたとみられている<sup>51</sup>。岩崎は相馬頭取就任直前の 4 月 23 日付の「横浜正金銀行ノ方針ニ対スル希望」という文書において、正金銀行の重役会議への日銀の重役及び営業局長の参加をはじめとする諸要求を行っており、相馬はこれに対して正金銀行重役会において、それを受け入れる旨の意思表示を行っている<sup>52</sup>。つまり相馬頭取の就任は正金銀の活動を日銀のコントロール下に置きたい日銀の意向を受けて行われた人事である可能性が高く、相馬自身も原則的にその意向に反する意思はなかったもののように思われる。

相馬永胤が頭取であった明治 30 年から 39 年までの 10 年間は、概ね日清戦争が終結し、日本が金本位制を確立した時期から日露戦争終結するまでの時期と位置づけることができる。これは日本経済史上では「日清戦後経営期」とも呼ばれる、日本の財政規模、経済規模が急拡大する時期であったと言え、明治 32 年から 40 年の対比で、日本の貿易高は 2.31 倍、為替取扱高は 2.41 倍となっている<sup>53</sup>。相馬はこの日本経済の急成長期に正金銀の舵取りを担うこととなったのである。

相馬頭取となって最初の決算期である明治 30 年 9 月、正金銀行では創業以来初の特別配当 150 万円（株式払込額の 2 割）を株主に分配した。さらに明治 33 年 3 月創立 20 年記念として 1 株につき 25 円、総額 300 万円の特別配当を行い、株主の信頼獲得に務めた<sup>54</sup>。

## 2. 外債発行業務の拡大

また相馬が頭取となった明治 30 年は日清戦争の賠償金等を根拠とし日本で金本位制が確立した時期でもあった。これによって、日本は外債の発行が容易化し、公債の海外発行、すなわち外債の発行が活発化した。従来から外債発行の事務処理や元利支払い業務を担当してきた正金銀はこれらの業務を拡大してゆくことになった。たとえば明治 30 年 5 月に国庫預金部所有の軍事公債額面 4300 万円をロンドン市場で売却（1 円につき 2 シリング 2 分の 1 ペニー）した事例や、明治 32 年 4 月の特別法により海外販売が定められた鉄道公債、事業公債、北海道鉄道公債のポンド建て四分利付公債の販売、利払い業務などが正金銀によって定められた<sup>55</sup>。これら公債の海外発行の成功により、相馬は明治 32 年 11 月 10 日に国の論功行賞を受け、銀杯一組を下賜された<sup>56</sup>。ただしこの時期になると、日本の外債引き受け業務には正金銀以外にパースバンク、香港上海銀行、チャータードバンクなどが参入してきたため、正金銀としても業務引受けに競合が生じる状況となったのである。また相馬頭取時代の明治 32 年 9 月株主総会では、1200 万円の株主をプレミアムなしで 2400 万円とする第 3 回増資の決議が採択された<sup>57</sup>。

---

<sup>50</sup> 前掲『相馬永胤伝』371 頁。

<sup>51</sup> 前掲『相馬永胤伝』371 頁。原史料は『相馬日記』明治 30 年 4 月 19 日。

<sup>52</sup> 前掲『相馬永胤伝』373～374 頁。

<sup>53</sup> 前掲『相馬永胤伝』377 頁。

<sup>54</sup> 前掲『相馬永胤伝』379 頁。

<sup>55</sup> 前掲『相馬永胤伝』381 頁。

<sup>56</sup> 前掲『相馬永胤伝』382 頁。

<sup>57</sup> 前掲『相馬永胤伝』358 頁。

### 3. 頭取在任中の海外出張

頭取時代の相馬は明治 33 年 4 月から 9 月にかけて海外各店視察のため欧米に出張し、同年 11 月、12 月には上海に出張している。この欧米出張は相馬個人にとっても最後の欧米渡航であり、その後、日露戦争期に入ると相馬は国内で外債発行関連事務に忙殺されることになる。欧米出張ではニューヨークにおいて日本政府公債をニューヨーク証券市場に上場させることについて、市場関係者と会合を持っているが<sup>58</sup>、正金銀の活動にとってより重要であったのはその後の上海出張であったかもしれない。上海出張の直接の目的は明治 31 年に発生した義和団の乱（北清事変）により被害を受けた天津支店、牛莊（現在の營口）支店と統括店である上海支店の事後処理視察と検査を兼ねた出張であったが、これは正金銀行の清国における業務拡大の準備を兼ねるものでもあった<sup>59</sup>。

義和団の乱鎮定後の明治 34 年 9 月、正金銀行は臨時株主総会において、持参人払い手形、すなわち実質上の銀行券発行を取締役権限に加え、これに基づいて天津、上海、牛莊の各支店において持参人払い手形を発行した。これはのちに清国内で流通した横浜正金銀行券の先駆をなすものであった。また同年 10 月に正金銀行は政府から義和団の乱における賠償金取扱を委任され、上海支店の支配人が同地の列国銀行業者委員会で日本政府を代表し、事務を取り扱うことになった<sup>60</sup>。

## V 日露戦争期の正金銀行と相馬頭取の退任

### 1. 日露戦争期の公債発行業務

相馬頭取の任期終盤は日露戦争期に重なる。開戦直前の明治 36 年 12 月末、『相馬日記』にイギリスの斡旋によりイタリアで建造中であったアルゼンチン巡洋艦 2 隻（日本名は「日進」「春日」）代金支払い業務に関する記述が紹介されている<sup>61</sup>。これは契約締結時に代金 150 万ポンドの全額支払いが必要であったにも関わらず、正金銀行ロンドン支店が 1 割 15 万ポンドの手付金だけでよいものと誤認して、あわや契約破棄という事態に陥ったものである。最終的に林董駐英公使が約束手形を振り出して造船所に渡すことで解決をみたが、これは正金銀の失態であったと見なすことができる。

翌明治 37 年 1 月、戦費にあてる第一回国庫債券の募集について、引受け銀行側の協議が行われた。1 月 22 日には発行高 1 億円、利子年 5 分、発行価格 95 円、利回り 6 分 3 厘、五年償還と決まった。ただこの時、相馬は園田、原両元頭取と、日銀との協調を巡り意見の対立を生じ、辞意を表明する一幕があった。これは元頭取等に日銀との協調をより緊密なものにするようとの指示を受けたことに反発したものとされているが、従来日銀との協調路線を推進してきたと言える相馬がどのような点でこのような指摘を受けるに至ったのかについて、詳細は明らかでない。最終的に 1 月 27 日、日銀総裁、副総裁に両元頭取を加えた協議の結果、相馬の留任が決まった<sup>62</sup>。

この辞任騒動直後の 2 月 10 日、日本はロシアに宣戦し、同月 24 日には日銀副総裁の高

<sup>58</sup> 前掲『相馬永胤伝』387 頁。原史料は『相馬日記』明治 33 年 8 月 8 日。

<sup>59</sup> 前掲『相馬永胤伝』389 頁。

<sup>60</sup> 前掲『相馬永胤伝』391 頁。

<sup>61</sup> 前掲『相馬永胤伝』449 頁。原史料は『相馬日記』明治 36 年 12 月 27～29 日。

<sup>62</sup> 前掲『相馬永胤伝』450 頁。原史料は『相馬日記』明治 37 年 1 月 25～27 日。

橋是清が外債募集のために渡欧するということもあり、この時期に内紛により人事を動かすことが得策でないという判断は関係者に働いたのかもしれない。高橋是清の現地での活躍により外債の募集に成功したことは広く知られている史実であるが、ロンドンでの高橋の活動をサポートしたのは正金銀行ロンドン支店であった。同支店は同年5月、ロンドンのパース・バンク、及び香港上海銀行と共同してポンド建公債 1000 万ポンドの発行を引受け、内 500 万ポンドはロンドンで発行し、残りの 500 万ポンドはニューヨークのクーン・ローブ商会がロンドンの引受銀行から再引受の上、ニューヨークにおいて同商会とナショナル・シティ・バンク及びナショナル・バンク・オブ・コマーズとが発行銀行となって発行することに成功した。正金銀行はこれら公債の引受け、販売を行ったのみならず、日銀の代理店として明治 37 年7月に契約を締結し、元利支払業務をロンドン支店、ニューヨーク支店において担当した<sup>63</sup>。外債募集の成功は、莫大な戦費を支出しながらも金本位制を停止することなく維持することを可能ならしめた。そのうえ高利の戦費内国債を低利の外債に借り換えてゆくことにより、日本政府の利子負担を軽減することに貢献した。例えば明治 38 年2月と4月に発行された2度の内国債は六分利と非常に高利であったが、この2度の内国債計 200 万円は、同年 11 月に発行された第2回四分利付英貨公債によって借換え償還されたのである<sup>64</sup>。また内国債の発行に関しても相馬は、その発行条件、引受銀行の調整について、三菱銀行の豊川良平らと積極的に接触して交渉を行ったのである。外債発行の成功は日銀の高橋是清頭取の功績であるとしても、その背景にある上記の実務活動は相馬頭取時代の横浜正金銀行の貢献であると言って良いだろう。

## 2. 「満州」における正金銀行の活動

日露戦争期の正金銀の活動で、公債とならんで重要なものは軍票と銀行券発行に関わる業務である。明治 37 年7月の牛荘（營口）占領後、「満州」の占領地において、政府保有の銀を担保とする銀円表示の軍票を発行することとなり、正金銀行は日本銀行代理店としてこの金庫事務と軍票交換事務を引受け、従来の牛荘支店の再開に加え、戦線の拡大に伴い7月に青泥窪（大連）、11月遼陽（明治 38 年5月に閉鎖）、明治 38 年4月に旅順、5月奉天、8月鉄嶺に順次出張所を開設した<sup>65</sup>。政府は軍票の流通を広げるため、明治 38 年1月に正金銀牛荘支店において軍票を預金に組み入れることを命じ、また天津、芝罘で定期預金に扱うこと、また「満州」各出張所で吸収した軍票預金は、大蔵省預金として年5分の利子をつけることが定められた。しかし戦争が終局に向かうに連れ、今度は軍票の償却の問題が浮上することとなる。明治 38 年の1月から5月にかけての『相馬日記』には軍票の処分方法について、相馬が活発に活動している様子が見て取れる<sup>66</sup>。同年7月、正金銀行は政府所有の円銀をもって兌換に応じる一覽払手形を発行することとともに、明治三九年八月、軍票の回収整理業務を担当することとなった。九月には一覽払手形発行事務

<sup>63</sup> 前掲『相馬永胤伝』452～453頁。原史料は前掲『横浜正金銀行史』242、247頁。

<sup>64</sup> 前掲『相馬永胤伝』456頁。

<sup>65</sup> 前掲『相馬永胤伝』460頁。『相馬日記』明治 37 年7月 13 日に青泥窪出張所開設についての記述がある。

<sup>66</sup> 前掲『相馬永胤伝』460～461頁。『相馬日記』明治 38 年1月 5 日、5月 5 日、13 日、17 日、6月 21 日。

と軍票勘定総合店事務を牛莊支店から大連に移し、40年2月には長春に出張所を開設し、政府から交付された引換資金を元に買上、引換または為替収入等の手段で軍票の回収に尽力したのである<sup>67</sup>。その後、日本政府は「満州」地域における貨幣制度の統一を目指し、明治39年10月以降、正金銀は政府所有の銀をもって引き換える銀行券を発行できることとなった。この横浜正金銀行発行の銀行券による「満州」地域における幣制改革のもくろみは地域の小銀貨の流通を排除できず、また日本からの移住者の金兌換日銀券持ち込みの影響もあって事実上の失敗に終わることとなった<sup>68</sup>。

### 3. 日露戦争終結と相馬頭取の退任

日露戦争期のその他の事件としては、海軍省寄託金の主管者としてロンドンに駐在していた海軍主計少監が寄託預金の内、3万ポンド（約336千円）を不正使用したまま37年11月に行方不明となった事件に関連し、明治39年9月大蔵大臣から1万7700ポンド余の弁償命令を受けた事件がある<sup>69</sup>。これは正金銀行ロンドン支店が当該の主計少監に海軍内規で定められた限度額以上を払い渡した点を同銀の瑕疵としたものである。この限度額はあくまで海軍の内規であり、正金銀行をしばるものではないと考えられたが、相馬はこの問題で政府と争うことを避け、右の弁償額を支出することを承認することとなった<sup>70</sup>。

明治38年9月のポーツマス条約によって日露戦争は終結し、翌39年3月10日の株主総会において、相馬は頭取復選を辞退した<sup>71</sup>。辞任は元老井上馨の意を受けた大蔵大臣阪谷芳郎から打診されたものであったようである<sup>72</sup>。後任頭取は日銀副総裁で外債募集を成功させ、名声をあげた高橋是清が就任することとなった。相馬はこの後も大正13年1月に逝去するまで同銀取締役の地位に残ることとなるが、正金銀における本格的活動はこの時期までと考えて良いだろう。退任から1年半を経た明治40年9月、日露戦争時の外債発行事務の功績を評価され勲三等日中綬章を授与された。

### おわりに

相馬永胤は、頭取を退任した後も、取締役として正金銀行に残り、大正13年1月に没するまで同銀に貢献した。相馬の正金銀行との関係は、当初官撰取締役として同行に参画したことから、一貫して同行の公的性格に貢献する型の経営者であったように思われる。そのことは政府と日本銀行が正金銀行に対する影響力を強めようとすることに、基本的には同調する行動を一貫して取っていたことから伺えよう。人脈的には松方正義との繋がりが強く、盟友の一人である田尻稻次郎との関係もあって、薩摩閥と良好な関係のもとで業務を遂行する位置にあったと言えるだろう。反面長州閥との関係は薄く、正金銀行に対する影響力が松方から井上に移ってゆくに従い、井上の推挙する高橋是清に道を譲ってゆく形となった。

<sup>67</sup> 前掲『相馬永胤伝』462頁。原史料は『横浜正金銀行全史 第一巻』271、273頁。

<sup>68</sup> 前掲『相馬永胤伝』464頁。原史料は『横浜正金銀行史 第1巻』311頁。

<sup>69</sup> 前掲『相馬永胤伝』405頁。

<sup>70</sup> 前掲『相馬永胤伝』407頁。原史料は『相馬日記』明治39年9月10日。

<sup>71</sup> 前掲『相馬永胤伝』477頁。

<sup>72</sup> 前掲『相馬永胤伝』477頁。原史料は『相馬日記』明治39年3月2日。

とはいえ相馬の本領は藩閥的立ち回りにあったのではなく、米国留学の経験を経て獲得した英語力と法律に対する知識に裏付けられた海外における企業法務のエキスパートという点にあったと言うべきである。ロンドン出張所の支店昇格をはじめとする海外支店網形成に対する貢献は、正金銀の外国為替事業への進出に欠くことができなかつたものであり、それは正金銀の発展に資するものであつたと同時に、その後の海外公債引受け業務の途を拓いたことを含め、明治期日本の経済発展にとって重要な貢献をなしたものと評価できよう。日清・日露戦争期には軍事公債の発行業務で尽力したことが最も重要な業績であることは言うまでもないが、日露戦争期以降は中国における業務拡大に取り組むなかで、同国の幣制問題に関心を深めてゆくこととなつた。

以上『相馬日記』の記述を中心として相馬永胤の業績を追つてきたが、今後『相馬日記』の翻訳・翻刻が進められることによって、その業績に対する理解はより精緻なものとなつてゆくであろう。本稿は未だその準備段階をなすものにすぎない。

相馬永胤と横浜正金銀行に関わる略年表					
元号	西暦	正金頭取	横浜正金銀行	相馬永胤	政治・経済情勢
明治10年	1877年				西南戦争発生。
明治11年	1878年				
明治12年	1879年				
明治13年	1880年	中村道太 1880(明治13)年 1月～1882(明 治15)年7月	横浜正金銀行創 業		
明治14年	1881年				明治十四年政 変・松方財政開 始。
明治15年	1882年	小野光景 1882(明治15)年 7月～1883(明 治16)年1月		東京始審裁判 所に辞表提出 (9月1日)	松方デフレ(1886 年頃まで)
				横浜正金銀行 官撰取締役 に就任(10月14 日)	日本銀行開業 (10月10日)
明治16年	1883年	白洲退蔵 1883(明治16)年 1月～3月		輸出荷為替業 務の取組と募 集のため、長 野県蚕糸業地 域を巡回。	
明治17年	1884年		政府関係支払業 務、輸出荷為替 に関する業務 の、同銀ロンド ン支店への委託 請願が政府より 承認(8月10日)		英国オリエン タル・バンク破綻 (5月)
			ロンドン支店開業 (12月1日)	ロンドン支店 開業のため出 張(10月30日～ 85年6月13日)	
明治18年	1885年	原六郎1883(明 治16)年3月～ 1890(明治23)年 3月	政府正金ロンドン 支店に官金保管 命令(2月)		日銀が銀兌換銀 行券発行。
明治19年	1886年				
明治20年	1887年		第一回増資300→ 600万円(3月)	横浜正金銀行 条例により官撰 取締役廃止	
		横浜正金銀行条 例発布(7月6日)	臨時株主總會 で取締役に選 任(7月30日)		
明治21年	1888年			株主總會にて 取締役解任(1 月)	
				正金銀法律相 談役として招聘 (4月)	
明治22年	1889年				
明治23年	1890年			株主總會にて 取締役に再任 (3月10日)	1890年恐慌の 発生

元号	西暦	正金頭取	横浜正金銀行	相馬永胤	政治・経済情勢	
明治24年	1891年	園田孝吉 1890(明治23)年 3月～1897(明 治30)年4月		英アダムソン・ ベル商会破綻 処理のため上 海出張。		
明治25年	1892年					
明治26年	1893年					
明治27年	1894年					日清戦争開戦 (7月)
				海外支店・出張 所の検査と海 外商況、金銀貨 問題などの調 査のため欧米 出張(4月13日 ～95年1月25 日)		
明治28年	1895年					日清戦争終戦 (3月)
明治29年	1896年		日銀、正金銀間 で賠償金の保管 出納事務代理取 扱に関する約定 が締結(2月)			
			第二回増資(600 万→1200万) 賠償金回送およ びロンドンにお ける運用に関する契 約が締結(5月)	園田頭取海外 出張により頭取 代理に就任(5 月)		
明治30年	1897年	相馬永胤 1897(明治30)年 3月～1906(明 治39)年3月	特別配当150万円 実施(9月)	正金銀頭取に 選出(4月26日)	金本位制確立 (10月)	
明治31年	1898年					
明治32年	1899年			第三回増資1200 →2400万円(9月)	論功行賞により 銀杯一組を下 賜される(11月 10日)	
明治33年	1900年			創立20周年特別 配当300万円実施 (9月)	欧米及び上海 に出張	義和団事件(6 月～01年9月)
明治34年	1901年		天津、上海、牛 荘の各支店にお いて持参人払い 手形を発行(9月)			
			政府から義和団 事件における賠 償金取扱を委任 され、上海支店 支配人が列国銀 行業者委員会で 日本政府を代表 し、事務を取り 扱うことに(10 月)			

元号	西暦	正金頭取	横浜正金銀行	相馬永胤	政治・経済情勢
明治35年	1902年				
明治36年	1903年				
明治37年	1904年		第1回日露戦争 軍事外債をロンドンで募集(5月10日)以後計4回日露戦争軍事外債を募集 満州占領地位において軍票の発行(7月以降) 青泥窪(7月)遼陽(11月)出張所開設	辞意を表明するも慰留される(1月)	日露戦争開戦(2月10日宣戦)。日銀副総裁高橋是清が外債募集のため渡欧
明治38年	1905年		牛莊支店において軍票の預金組入を実施(1月) 旅順(4月)、奉天(5月)、鉄嶺(8月)出張所開設 一覽払手形(横浜正金銀行券)発行を政府が指示(9月)		日露戦争終戦(9月)
明治39年	1906年		軍票の整理回収業務を政府から指示(8月) 海軍主計少監横領に関連し大蔵大臣より弁償命令(9月)	株主総会において頭取を辞任(3月)	
明治40年	1907年	高橋是清 1906(明治39)年3月～1911(明治44)年6月	長春出張所開設(2月)	日露戦争戦功により勲三等日中綬章を授与(9月)	
明治41年	1908年				
明治42年	1909年				
明治43年	1910年				
明治44年	1911年				



## 《調査報告》相馬永胤ニューヨーク事績調査報告

大 谷 正（文学部教授）  
黒 沢 眞里子（文学部教授）  
永 江 雅 和（経済学部教授）

「相馬永胤文書の基礎的研究－私立学校創設者の多面的分析のためのアプローチ」（科学研究費助成事業・基盤研究（C）・課題番号 25370792）研究会では、専修大学創立者の1人であり、明治・大正期にかけて教育者・弁護士・銀行家として活躍した相馬永胤について、専修大学所蔵資料群の整理・調査・目録作成および明治9年から大正13年という約50年間にわたって書き綴られた日記の翻刻作業を行っている。同研究の一環として2014年8月、研究会メンバーのうち、大谷、黒沢、永江の3名はニューヨーク調査を行い、日記等に記録されている相馬の滞米事績の裏付け調査を行うことになった<sup>1</sup>。調査期間は8月24日から28日までの5日間であった<sup>2</sup>。

### 1. 相馬永胤のNY時代居住地の追跡作業

この日（8月24日）は相馬永胤がコロンビア大学在学中の居住地を辿る調査を行った。相馬の滞米期間は1871（明治4）年7月28日から1879（明治12）年8月までであるが、その間コロンビア大学法律学校で学ぶためにマンハッタン島で過ごしたのは1875年8月から1877年5月までの間であったとされている<sup>3</sup>。しかし日記等の記録によれば、この間相馬は数度の引っ越しを行っており、この日の調査はその足跡を確認する作業となった。ガイドはRomi Nakayama氏、元不動産会社の在米駐在員で、米国における宅地建物取引資格を持つ、不動産に造詣の深い人物であり、我々の調査にとって大変有難いガイドであった。Nakayama氏から得られた重要な情報に、マンハッタンの建物はそのすべてがオンライン上で設立年代や所有者を確認できるようになっているというものがあつた。これは主に不動産取引の便をはかるものであるそうだが、歴史研究にとっても有効なツールと成り得るものといえよう。

#### 445 East 86th St.

1875年8月、ピークスキルからマンハッタンに移った相馬が最初に居住したのは、大学から4.6マイル（7.4キロ）北上したイーストサイドであった。この地区は現在のアップタウン、セントラルパークの東側に位置し、少し歩けばセントラルパークやイーストリバーに出ることができる。現在は瀟洒な住宅地区だが、当時のマンハッタン島の開発が南方から進められてきたことを考えると、比較的北側にあるこの地区は、鬱蒼とした未開発地域であったのではないかと思われる。またこの位置から、当時コロンビア大学法律学校建物があつた位置まではかなりの距離があるため、通学にはかなり不便であり、当時現地の地理に明るくなかつた相馬等が一時的に滞在したものと考えられる<sup>4</sup>。



445 East 86th St. 付近。現在は閑静な住宅街。少し東に歩くとイーストリバーを散策することができる。

### ジャクソン夫人宅 (62 West 22nd St.)

相馬が次に移った住居は、ミッドタウン南部のチェルシー地区にあるジャクソン夫人宅であった。相馬はここで江木高遠、朝比奈一、三浦（鳩山）和夫らと同宿する。この住所に現在ある建物は2階建ての商業建築であり、現在1FではファーストフードのSUBWAYが営業している。ガイドのNakayama氏によると、建物の補強材の構造から判断すると、築年はかなり古く、オリジナルは19世紀末の建築である可能性が高いとのことであったが、そのまま相馬等が居住していた建物であるか否かは判断できない。



ジャクソン夫人宅付近62 West 22nd St.

### クリントン街33号 (33 Clinton St.)

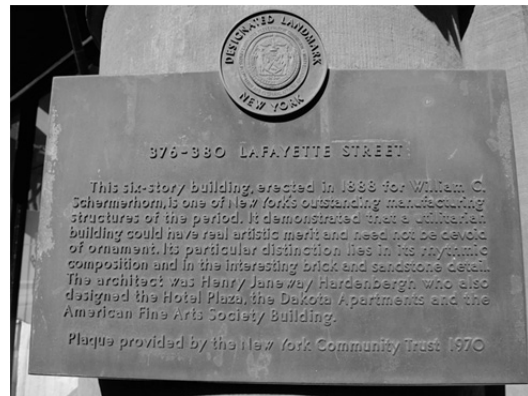
相馬永胤と朝比奈一は、1876年2月5日、ロウワー・イーストサイドにあるクリントン街33号の建物にある部屋へと2度目の引っ越しをしている。ジャクソン夫人宅での4人以上の同居生活が狭隘であったことと、大学からの距離が原因であっただろう。クリントン街は法律学校の建物から充分徒歩圏の位置にある。現在のこの地区は建物番号が合筆されている関係で、33号の正確な位置の特定が難しいが、周囲の建物は少なくとも20世紀初頭の風情を残している。



クリントン街33号付近。建物番号が合筆されているため、正確な位置の特定は難しい。

### 旧コロンビア大学法律学校の建物（8 Great Jones St.）

現在のコロンビア大学キャンパスはマンハッタン北部アッパーウエストにあるが、それ以前、設立当初は現在のトリニティ・チャーチ付近、1857年から1897年までマンハッタンのミッドタウン、現在のロックフェラー・センター付近にコロンビア法律学校として立地していた。その後、相馬が在籍した時代にはメインキャンパスから離れたこの建物の位置に立地していた（1873-1883年）。この建物は1888年に建て替えられ、プラザホテル、ダコタハウスの設計で有名なヘンリー・ジェーンウェイ・ハーデンバーグ設計のシャーマー・ホーム・ビルとして現在に至っている。市の歴史的建造物に指定されている。



旧コロンビア大学法律学校建物付近。現在はマンハッタン北部にあるコロンビア大学だが、相馬の留学中にはミッドタウン南部に建物が位置していた。



- ① 445 E. 86<sup>th</sup> St.  
1875 - 76年
- ② 62 West 22 St. 1876年
- ③ 33 Clinton Street 1876年
- ④ 30 Great Jones St.  
1877 - 78年
- ⑤ 8 Great Jones Street  
(法律学校建物)

マンハッタン島で相馬が居住した4カ所の位置 (⑤ 8 Great Jones Street は法律学校のあった場所)。



- ① モーニングサイド・ハイツ  
1897～現在まで
- ② 1857年 マジソン通り49丁目  
(相馬留学当時のメインキャンパス)
- ③ 相馬留学当時の法律学校住所  
8 Great Jones Street
- ④ Park Place  
(現在 NY 市庁舎のある場所)
- ⑤ 1754年トリニティー教会内

設立当初からのコロンビア大学メインキャンパスと法律学校の位置。

## グレート・ジョーンズ街30号 (30 Great Jones St.)

卒業を控えた1876年10月、相馬は朝比奈とともにグレート・ジョーンズ街30号の建物へと、マンハッタン滞在中最後の引っ越しをする。この住居は当時の法律学校建物前のグレート・ジョーンズ通りを挟んで向いの左寄りにある。30号の建物があったと考えられる場所は、現在は建物を取り壊されて駐車場になっており、その面影は失われている。マンハッタンに移り、コロンビア大学で法律を学んだ相馬は学業に便利な場所を求めて、少なくとも4度の引っ越しを繰り返したものと思われる。



グレート・ジョーンズ街30号付近。相馬の居住地のなかで最後の場所であり、最も当時の大学に近い場所であるが、現在は駐車場となっている。

## 2. コロンビア大学訪問 (8月25日 10:30~12:00、参加者: 大谷、黒沢、永江)

相馬が留学中はマンハッタン南部のダウンタウンに立地していたコロンビア大学であるが、現在はセントラルパークの北西、ハーレム地区の西側にキャンパスを構えている。調査を実施した8月25日の同大は新入生入寮イベント中であった。キャンパス内のC.V. スター東アジア図書館(程健館長、野口幸生館員)に大学史資料課が所蔵する相馬関連資料のデジタルデータを寄贈した。併せて相馬の在学中の記録が図書館に残されているかどうかを照会したところ、東アジア図書館では19世紀に遡る日本人留学生の史料は所蔵していないとの回答を受けた。その後野口館員より同図書館書庫の案内を受けた。同図書館はかつてロースクール図書館であった建物を使用している(現在のロースクールは図書館とともに新校舎に移転している)。寒冷地であるため、書庫は地下室が充実しており、現在では地下スペースを上下2層区分して書庫として活用している。東アジア領域としては日・中・韓およびチベットの文献を収集しているが、近年では中国、韓国の文献増加が著しいのだという。同大教授であった日本文学研究者・ドナルド・キーン氏は退職にあたり、日本関連文献収集資金として50万\$を寄附している。日本関連についても野口館員の努力により収集が続けられているが、全ての分野は難しく、文学方面(除く漫画。キーン教授が寄附金の条件として課したリクエストであったという)に重点を置き収集を継続しているとのことであった。



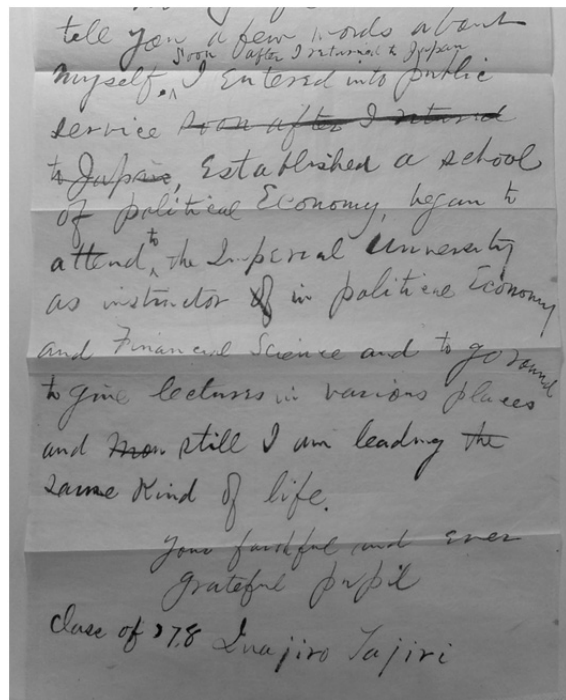
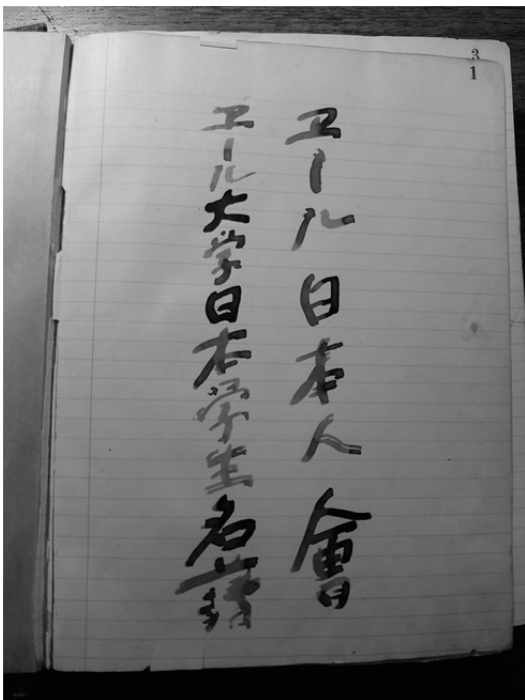
コロンビア大学C.V. スター東アジア図書館。程健館長に相馬関連資料のデータを寄贈した。

### 3. イェール大学訪問（8月26日 10:30~12:00、参加者：大谷、黒沢、永江）

コロンビア大学でバチュラー・オブ・ローズ（法学士）の学位を取得して卒業した相馬は、ニューヨークを離れ、1877年6月、コネチカット州ニューヘブーンにあるイェール大学の大学院へと進んだ。同大学は1701年というアメリカでも有数の歴史を持つ大学であるが、相馬が三浦、津田、目賀田らと米国で学んだ近代法律の知識を日本の青年に伝えるため、日本での学校設立の構想を抱いたのは同大学院在学中の77年夏休み合宿のことであったといい、また同大学院在学中の田尻稲次郎やラトガース大学在学中の駒井重格らとともに邦語をもって法律・経済を教育する協議を交わしたのは翌78年4月のことであったというから、同大は専修大学設立にとって重要な意思決定が行われた地であるといえる。同地で相馬は1877年6月にスミス家に寄宿、8月にはボードン・タットル家に移ったという記録があるが、今回の調査ではこれらの居住地ではなく、イェール大学マニユスクリプト・アンド・アーカイブスで所蔵されている相馬・田尻関係の史料を確認することを主目的として調査を行った。8月26日、マンハッタンからアムトラックでコネチカット州ニューヘブーン駅に到着し、その後タクシーにてイェール大学に到着した。同大では東アジア図書館員中村治子氏に面会し、案内を受けた。同大出身者で歴史学者、キュレーターとして知られる朝河貫一が使用していた研究室、ゲーテンベルグの聖書などの貴重書を所蔵する保存用図書館であるバイナキー図書館を見学した後、マニユスクリプト・アンド・アーカイブスにて相馬・田尻関連の史料を閲覧、撮影した。撮影した主な史料は①イェール日本人会名簿（明治期に同大に在籍した日本人留学生の名簿。相馬、田尻についても記載がある）。②同窓会誌（同大の同窓会誌は、卒業生個々の卒業後の経歴を掲載している。田尻稲次郎については記載があるが、相馬についての記載はない）。③大学史については、アジア系留学生として田尻について短い言及がある。④田尻稲次郎の直筆書簡（紹介状である）。ただし全ての史料は今関調査の際に確認済みのものであり、今回新たな関連資料を発掘することはできなかった。史料撮影後、オールドキャンパス内のストリートホール（田尻の在学時代から存在していたと伝えられる校舎）を視察。大学常設のアートギャラリーを見学した後、マンハッタンへと帰還した。



写真左：イエール大学キャンパス。写真右：イエール大学ストリート・ホール。同大のなかでも最も古い建物であり、相馬、田尻の在学中にも存在していた。



写真左：イエール日本人會名簿。相馬、田尻の情報も記載されている。写真右：田尻の署名のある書簡。

#### 4 . ピークスキル、ハイランドフォールズ調査（8月27日 8：30～17：00、参加者：大谷、黒沢、永江）

相馬永胤は渡米してすぐにマンハッタン島に向かったわけではなかった。1871年7月に太平洋を海路横断してサンフランシスコに上陸した相馬は、同地でカリフォルニア大学教授のカール氏宅で英語を学び、翌72年の岩倉使節団一行に加わり大陸を横断してワシントンに到着した。相馬の当初の目的はニューヨーク州にあるウェストポイント陸軍士官学校で学ぶことであったため、ウェストポイントに隣接するハイランドフォールズという街でドナルドという人物が運営する私立学校に寄宿し、ウェストポイントの受験準備を行ったという。その後、相馬は眼病の発症と学費調達のため一時帰国したものの、74年に再渡米し、ニューヨーク州の私立学校ピークスキルハイスクールに入学し、大学進学のための勉強を重ねた。この1872年から75年までの間、相馬が過ごしたハイランドフォールズ、ピー

クスキルはマンハッタン島西側を流れるハドソン川を北上し、現在のベアー・マウンテン国立公園付近に位置する。ピークスキルは東岸の街であり、ハイランドフォールズはそこからベアーマウンテンブリッジでハドソン川を渡河し、さらに北上した西岸の街である。ハドソン川では1807年にロバート・フルトンによる蒸気船の運航が開始されており、またピークスキルにはハドソン川東岸沿いに鉄道も通じていたことから、マンハッタンとのアクセスは良好な場所であったといえる。

8月27日、バンをチャーターし、ウェストサイドをハドソン川沿いに北上し、ワシントンブリッジで渡河し、ニューヨーク州ピークスキルへと向かった。9号線を北上し、ピークスキルに到着。ピークスキルはストーブ（石炭）生産で栄えた町であり、ペンシルバニアから鉄や石炭が流通してくる一方、前述したマンハッタンとの良好なアクセスも発展の条件となっていたようである。街の高台にあるピークスキルハイスクールに到着した。かつてここにピークスキル・ミリタリー・アカデミーが存在し、相馬はここで1874～75年の間、学んだとされる。隣接するPeekskill City School District Administration Centerは1926年築の建物。敷地に隣接するDepew Fieldsはアカデミーに付属する運動公園であり、煉瓦造りの門柱には1852年の刻印を確認することができた。相馬も滞在中この運動公園でスポーツに取り組む学生たちの姿を眺めたことだろう。



写真左：ピークスキルハイスクール、写真右：Peekskill City School District Administration Center.

その後街の図書館であるThe Fields Libraryに移動し、参考係のRobert J. Boyle氏に、ピークスキルハイスクールおよび私学校の校長であったロバート・ドナルド氏（Robert Donald）にまつわる文献を紹介された。前述したように相馬がピークスキルに移る前、1872年にドナルドという人物の運営する私立学校に通い、寄宿した地であるからである。Boyle氏の協力によりヴァーモント州ミドルベリー・カレッジの卒業生名簿からRobert Donaldの経歴が明らかとなった。1838年ニューヨーク州ウェスト・ゴールウェイ（West Galway, N.Y.）生まれ。1854-1855年ミドルベリー・カレッジで学んだ後、1859年ユニオン大学に進学、1862年学士取得。1864-1866年ニューヨーク州サンド・レイク・カレッジエイト・インスティテュート（Sand Lake Collegiate Institute）の副校長を務めた後、ハイランドフォールズで寄宿制男子校を数年経営。ピークスキル・ミリタリー・アカデミーでは、1873年チャールズ・J・ライト大佐とともに4代目の校長となるが、1880年にパートナーシップを解消し経営から退く。1885-1888年ミネソタ州レーンズボロにて『レーンズボロ・ジャーナル』の



編集者。1888-1890年ニューヨーク州コーンウォール＝オン＝ハドソンにあるニューヨーク・ミリタリー・アカデミーの英文学教授。生涯独身とある。

また、相馬が通ったドナルド氏の私学校 (Donald-Highland Institute) の宣伝を1871年出版されたニューヨーク州のガイドブックの中に見つけることができた。ドナルドの経歴から、これから向かうハイランドフォールズの私学校はサンド・レイク・カレッジエイト・インスティテュートの副校長を辞めた1866年以降に開校し、ミネソタに移住する1885年前に閉校したと思われる。

ピークスキルの名士であり、先ほどの運動公園の名称にもなっているデフュー氏 (Chauncey Mitchell Depew) は、1865年31歳の若さで駐日大使を打診された (後に辞退) 経験のあった人物であったという。図書館近くにあるピークスキル・ミュージアムは19世紀のアメリカ家屋の中にかつての街の発展の足跡を展示する小型博物館であるが、調査日は閉館日であり、外観のみ眺めることとなった。

次にハドソン川を渡り、ハイランドフォールズへ移動。ハイランドフォールズには、先に述べたドナルド氏が経営した私学校 (Donald-Highland Institute) が存在し、さらに北方には、相馬が入学を志望するも果たせなかったウェストポイント (陸軍士官学校) が存在した。近接するとはいえ、ピークスキルからハイランドフォールズへの移動は徒歩ではかなりの距離がある (ドナルド氏は騎馬にてこの間を通ったとの記録もあるが、距離に加えて高低差の大きな地形であり、その移動がかなりの困難を要したように思われる)。ただしハイランドフォールズからウェストポイントは徒歩圏内と言って良い。図書館で確認した当時の旅行ガイドブックによると、ドナルド氏の学校は、ウェストポイント陸軍士官学校合格を目指す人たちの、いわば予備校のような存在だったことがわかる。ハイランドフォールズ図書館にて、図書館員に照会したところによると、ドナルド氏の私立学校は現ウェストポイントミュージアムのある場所ではないか (かつて同地に古い女学校が存在した) という意見を得た。(前回今関氏らの調査では現小学校のある場所という説であった)。ウェストポイントミュージアム、ウェストポイント入口を見学・確認した後、マンハッタンに帰投した。



写真左：ハイランドフォールズ図書館、写真右：ウェストポイントミュージアム

## 5. NY公共図書館調査 (8月28日 11:00~13:00、参加者：黒沢、永江)

合同調査の最終日は、大谷教授が別途調査のためワシントンD.C.に移動したため、黒沢教授の発案で、ニューヨーク公共図書館にて、1870年代の「家主」と「住居者」調査史料

(City Directory) を閲覧した。この「家主」と「住居者」調査史料とは、マンハッタン内の不動産家主および間貸り人が掲載されている一覧表であり、同図書館では19世紀に遡って閲覧することができる。24日調査の相馬住居の記録の裏付けの可能性について調査を行った<sup>6</sup>。



ニューヨーク公共図書館

## おわりに

以上、限られた日数であったが、相馬永胤、田尻稲次郎の米国留学についての足跡を辿る調査は一定の成果をあげることができた。相馬については、コロンビア大学、イエール大学においてこれ以上の史料を発掘するためには、より長期間の腰を据えた調査の必要があるだろう。また1871年、72年のサンフランシスコ滞在と岩倉施設団への同行、さらに73年のランシング農学校での足跡の追跡など、今後調査すべき論点も存在する。本調査の成果と限界を踏まえて、相馬永胤と他の専修大学創立者、および明治期の在米日本人留学生のネットワークと学習実態についての歴史的理解が一層深まることを期待したい。

### (註)

- 1 本報告書は原文を永江が執筆し、大谷、黒沢が加筆・修正したものである。
- 2 本調査に近い目的で専修大学では2008年に、「書籍『専修大学創立者物語（仮題）』刊行に伴う創立者留学先大学等における調査・取材」が実施されている。報告書作成者は校友・育友事務部育友課課長今関進（以下、今関報告書と呼ぶ）。本調査の準備段階、報告書の取りまとめにおいても、同報告書の記述に依るところ、重複する部分も多いことを明記する。
- 3 専修大学相馬永胤伝刊行会『相馬永胤伝』（専修大学出版会、1982年）799頁年譜より。以下相馬の足跡に関する年号については、断りのない限り、同書年譜に記載されたものを元に整理を行っている。
- 4 コロンビア大学は、1857年今の市庁舎があるところから、49丁目とマジソン通り（ロックフェラーセンターあたり）に移り、ここがその後40年間キャンパスとなった。法学部は大学キャンパスとは別の、1873-1883年までグレートジョーンズとラファイエット通りの建物であった。
- 5 今関報告書では、この学校の位置について、現小学校のある場所という推定がなされている。現時点では両説に決め手が見つからない状態である。
- 6 帰国後、黒沢教授が同資料に基づき、1875年時点でJacksonの名前で相馬らが滞在したらしい住居を検索したが、本報告書執筆時点で特定することはできなかった。

(参考資料)

本報告書で紹介したコロンビア大学への相馬永胤日記(複製)の寄贈の様子については、『ニュース専修 第530号』(発行:平成26年11月15日)にも掲載された。以下はその記事である。

<p>専修大学創立者の一人である相馬永胤先生は、1875年から2年間、ニューヨークのコロンビア大学に留学し、法律を学んだ。2年間のマンハッタン滞在を、米国製の手帳に英語で記録してい</p>	<h2>相馬永胤科研グループ→コロンビア大学 相馬永胤の英文日記を寄贈</h2>	
<p>1876年1月1日(土)「A beautiful morning. Thermo. 45°」(快晴、華氏45度)から始まる日記には、日々の行動が几帳面に記されている。授業や模擬裁判のこと、ときには新講座「政治学」の講義スタイルが好きではない、など当時の大学の様子を伝え、興味深い。</p>	<p>当時の学生が書き写した講義記録なども保管されており、相馬日記も初期日本人留学生によるコロンビア大学生生活の貴重な記録である。</p>	<p>▲ コロンビア大学のチェン館長に相馬日記CD版を寄贈。左から永江教授、大谷教授、チェン館長、日本研究司書の野口幸生氏、黒沢教授</p>
<p>同大学ロースクールには、相馬先生が留学した現地調査を行った。その活動の一環として英文日</p>	<p>相馬永胤科研グループ「大谷正(文学部)、黒沢眞里子(文学部)、瀬戸口龍一(大学中資料課、永江雅和(経済学部)」では、8月に相馬先生来国留学中の足跡に関する</p>	<p>記をコロンビア大学に寄贈して役立ててもらおうことに。同大学は日本研究が盛んで、関連コレクションも全米で最大級。寄贈先はその拠点C・V・スター東アジア図書館。8月25日、大谷、永江、黒沢の3人は、日高義博理事長からの書状とともに相馬英文日記CD版2部を図書館長のジム・チエン氏に手渡した。1部はロースクールに保管される。</p> <p>同図書館を飾るステンドグラスは、天秤と剣を持った正義の女神が描かれ、チェン館長によると、ロースクールの図書館だったとのことである。</p> <p>相馬先生留学中のコロンビア大学は、現住所より南の地区にあり、相馬先生が学んだ場所と地理的には異なるが、相馬日記が旧ロースクール図書館に保存されることには縁を感じさせる。コロンビア大学で相馬日記が活用されることを期待したい。(黒沢眞里子)</p>

### Ⅲ. 資料編



## 《史料紹介》相馬永胤日記

—1876年（明治9）1月1日から1877年（明治10）12月31日—

黒沢眞里子（専修大学文学部教授）

この度翻刻した相馬永胤日記は、相馬が2回目の米国留学中に英語で書き残した日記である。1876年（明治9年）1月1日から1877年（明治10年）12月31日までの2年間の日々の記録が英語で綴られている。日記の前半部分（1年5ヶ月）はコロンビア大学法律学校で学ぶ為にニューヨークに滞在した記録、後半の7ヶ月分はコロンビア大学卒業後、長い夏休みを挟んで移り住んだコネチカット州ニューヘブンのイエール大学における記録である。

縦15×横8cmのアメリカ製ポケットサイズの日記（クロス装）は、各頁に日付が付され、最後に「Memoranda」と「Cash Account」が月ごとに見開きで12ヶ月分設けられ、最後の頁が「Summary of Cash Account」となっている。相馬は前者を住所メモに、後者を日々の金銭出納に使った。1877年の日記帳には、その後に「Cash Memoranda」1頁、次に見開きで各月の「Bills Receivable」「Bills Payable」、最後に再び「Memoranda」が設けられている。日記の後に続くこの部分は掲載していないが、当時の留學生生活を知るうえで興味深い資料である。

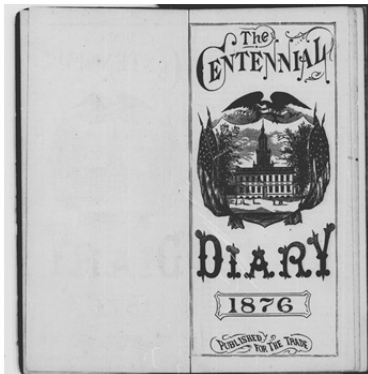
1876年の日記は一日も抜けがなく366日分、1877年は316日分（記入されていない日付が49日分）の記録が残されている。今回のタイプ入力では、すでに原文から書き起こされた手書原稿を使用し、判読不明な箇所や意味が通らないところなどを原文に照らして手書原稿の誤りを訂正、補完した。すべてを原文と照らし合わせることは時間的な制約があり今回は行っていない。

日記に記されている主な事項は、天気、気温（1876年1月1日から6月4日まで）、起床時間、一日（午前中、午後、夕方）の行動、就寝時間、訪問者、訪問相手など交友記録、手紙・葉書の通信記録、金銭の送金・換金・貸借等である。今回の日記の電子化により、単語の検索が可能となり、その頻度によって相馬の行動・交友範囲や特徴がより客観的に把握できるようになった。この時期の相馬のアメリカ留学、とくに法律の授業の様子や勉強については、『相馬永胤伝』（専修大学出版部局）で、また明治初期のイエール大学日本人留學生が学んだカリキュラムについては北口由望「明治初期のイエール大学日本人留學生—一田尻稲次郎が学んだカリキュラムを中心に—(1)」(『専修大学史紀要 第6号』2014)で詳しく述べられているので、ここではそれ以外の観点から相馬日記について紹介したい。本稿では、とくに1876年のニューヨーク滞在期に焦点を当てる。また、前述したように単語検索が可能となったので、単語が使用される頻度から相馬の留學生生活を浮彫させる試みを行った。

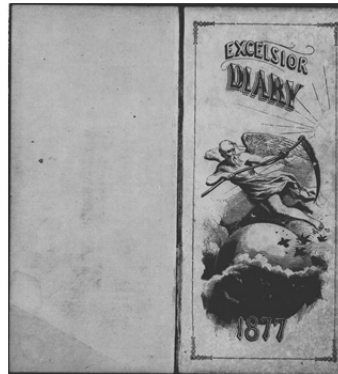
### (1) 使用された日記について

1876年（明治9年）は、アメリカ独立からちょうど100周年にあたるため、日記帳の中表紙には、「(アメリカ合衆国建国) 100周年日記 1876年」と書かれた特別版となっている。アメリカのシンボル白頭ワシが「1776年 1876年」と書かれたリボンをくわえ、その下にはフィラデルフィアのインデペンデンス・ホールが描かれた図案だ(図版1)。翌年1877年（明治10年）には大鎌をもった時の翁(旧年の象徴)が描かれた「エクセルシア日記」が使われている(図版2)。ニューヨークを拠点にしたKiggins and Kellogg社が販売して広く出回っていた普及版ダイアリーである。この「エクセルシア」という名称は、南北戦争直後、ダイアリー市場におけるさらなる飛躍の意味を込め「さらに高く」という意味の「エクセルシア」に名称変更されたものである<sup>1</sup>。ちなみに、「エクセルシア」はニューヨーク州のモットーでもある。

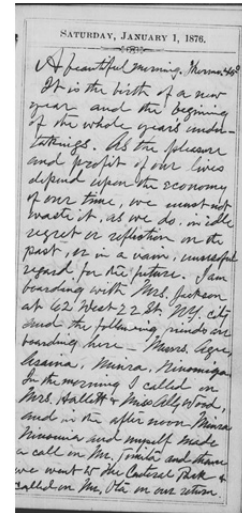
<sup>1</sup> Molly A. McCarthy, *The Accidental Diarist: A History of the Daily Planner in America* (Chicago: University of Chicago Press, 2013), pp. 163-4



図版1 1876年の日記帳の中表紙



図版2 1877年の日記帳の中表紙



図版3 日記の原本1876年1月1日

## (2) 気候と気温について

日記の冒頭には必ず天気記されている(図版3)。1876年を見てみると晴れが97日(A beautiful day 36日、A fine day 36日、A nice morning 13日、A beautiful morning 9日、A pleasant day、A fair morning、A lovely morningがそれぞれ1日ずつ)、曇りが52日(A clouded day 38日、A cloudy day 6日、A clouded morning 5日、A cloudy morning 1日、and clouded after noon 2件)、雨が92日(A rainy day 32日、A rainy morning 7日、他年間を通じてrainの言及92回)、雪は21日(A snowing day、A snow morning、snowing afternoon/after noon/at noonなど24回の言及)であった。初雪は10月14日夜半で、12月には9日間、1月には3日間、2月には5日間、3月には3日間の降雪があった。現代のマンハッタンの年間降雪日数(1981年から2010年までの平均)11.6日と比べると<sup>2</sup>、140年前は2倍近くの雪が降っていたことが分かる。吹雪で雪が4インチ(10.2cm)も積もった2月3日の夕方には、勉強を終えた後に、雪景色を見にマディソン・スクエアまで1時間歩いて行ったと書かれている。

気温(華氏)も記録され、1876年1月1日から6月3日まで温度が分かる。6月4日以降は書かれていないが、3日に同宿していた朝比奈一が相馬の元を離れ、新たな寄宿先(7 West 32 St.)に引越をしているので、朝比奈が温度計をもっていったのではないかとと思われる。1月4日は氷点下2度(摂氏換算)、部屋に火がなかったので、起きたら非常に寒かったと記されている。クリントン・プレイスに引越した2月5日は氷点下9度、引越先の食事がまずく部屋が非常に寒いとある。翌日も氷点下7度で、夜中に火が消えてしまったとみえ朝起きたら部屋が恐ろしく寒かった、火をおこすために多くの木材を使ったと書かれている。その翌日はさらなる問題が生じ、ストーブ(料理用か)のガス漏れが発覚し部屋から退去させられている。しかし、翌日は夜中に火が消えなかったので暖かい朝を迎えた。石炭が木材に代わって燃料源となり建物全体を暖める蒸気暖房がマンハッタンで開始されるまでには次の80年代まで待たねばならず、部屋の寒さで苦労した様子が日記から伝わってくる。「寒い」

(cold)という単語は1876年の日記に35回登場するが、7月や8月でも「寒い」と感じられる日があり、年間を通じて使われている。

<sup>2</sup> 「ニューヨーク」ウィキペディアの「ニューヨーク市(セントラルパーク)、1981-2010の気候」(NOAAのデータ)より。

[<https://ja.wikipedia.org/wiki/ニューヨーク>](2016.2.28)

### (3) 一日の行動

朝は通常7時起床である。週末、特に日曜日は8時起床が多い。それが夏休みの6月末になると、5時、6時台と急に起床時間が早まる。旅行や外出などの予定が入るからだろう。起床の後は、朝食をとり (breakfast 101回)、勉強、手紙執筆、散歩などを行う。ちなみに、昼食 lunch は32回、夕食 dinner は111回、supper は6回使われている。就寝時間は、11時から12時の間がもっとも多く、10時台や12時過ぎの日もある。

一日の行動に関して頻繁に使われている語・語句は以下の通りである。

勉強 (study, studies, studied, studying 等) 231回

書く (wrote) 148回、ほとんどが手紙・葉書を書くこと。

歩く (walk, walked) 129回

訪問する/される (visit 14回、call, call on 69回) 計83回

もっとも頻繁に使われている語・語句はやはり勉強関係である。「勉強」(study 他) 231回に加え、「学校」(school) は、226回、「学校に行った」(went to [the] school) 147回と、月曜日から金曜日まで体調の悪い日を除いて毎日、土曜日は月に1、2回大学に行っている。年初から2月1日までは、ほとんど毎回三浦、江木と連れ立って大学に行っている。大学の授業に関するタームの使用頻度は以下の通りである<sup>3</sup>。

レクチャー (一方的口授) (lecture) は168回使用されている。講義のノートを家で書き写す、あるいは清書する (copy という言葉が使われている) ことも含まれる。

模擬裁判 (moot court) は56回。実際の模擬裁判よりも準備のための言及が多い。日記では1月7日 (金) から始まり、主に金曜日に開催。相馬が進級したシニアクラス (2年生) の最初の模擬裁判は11月3日 (金)。10日 (金) のジュニアクラス (1年生) の模擬裁判にも出席し、どちらの側も議論が不十分だったと感想を述べている。模擬裁判の為の勉強と準備を行ったという言及も多い。

レッスン (教科書を理解した上での演習) (lesson) は68回であるが、相馬から井伊や石黒へのレッスンに関するものが47回あるので、大学のレッスンに関するものは21回である。三浦と一緒に、あるいは三浦からレッスンを受けたことも書かれている。

レシテーション (復唱と質疑) (recitation, recite) は13回。

教授名の言及頻度は、ドワイト教授 (Prof. Dwight) 44回、チェイス助教授 (Prof. Chase) 36回、バージェス講師 (Prof. Burges) 23回である。

### (4) 手紙のやりとり

1876年1年間で「手紙」(letter) は262回、「葉書」(card) は55回使われ、日記には手紙 (葉書も含める) のやり取りが頻繁に記録されている。ほとんどの場合、送付先と送り主が書かれてあるので、その記録をたどると相馬の留学時代の人的ネットワークが浮かび上がってくる。1月を例にとると、22人に手紙を書き、19人から手紙を受け取っている。手紙を書いている日は9日、一日当たり2.4人、受け取っている日は16日、一日当たり1.4人である。もっとも頻繁に手紙を交わしているのは、相馬が教育指導と生活の世話をしていた井伊直達と石黒太郎の二人の少年たちである。彼らはマンハッタンからハドソン川沿いを約41マイル (66キロ) 北上したピークスキルの学校に通っていた (地図2)。相馬がコロンビア大学入学前に学んでいた学校である。半年に一回彼らについての報告を日本に送っている。家族関係では、父親には月に一度のペースで13回手紙を送っているが、父からの手

<sup>3</sup> 授業の分類と括弧内の説明は、『相馬永胤伝』pp. 72-3を参考にした。



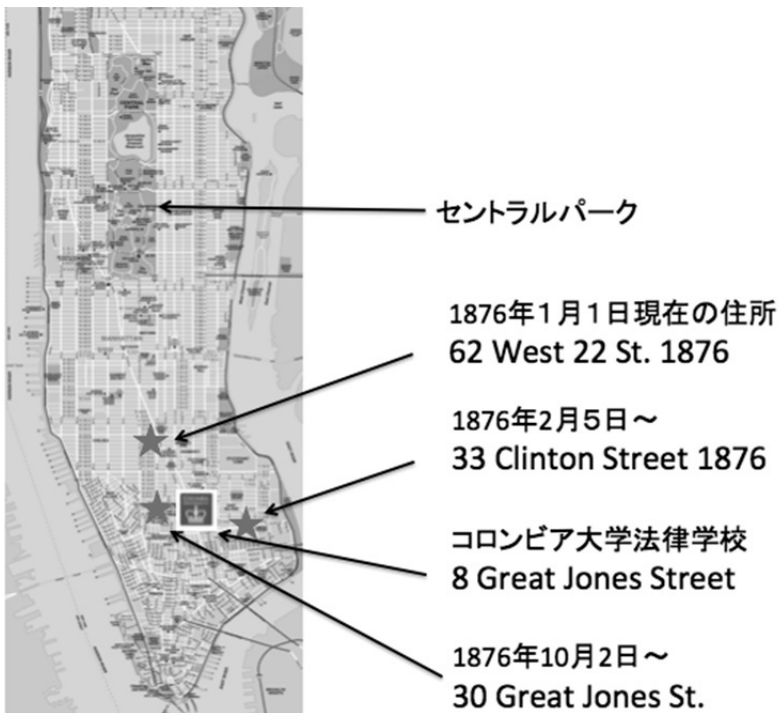
紙は一回限りであった。祖母には2回手紙をだし、1回返事をもらっている。7月7日の伯母からの手紙には9日に返信している。婚約者広瀬従子との文通は、5月8日に彼女から手紙を受取り、13日に返信している。次は8月30日広瀬から手紙があり、9月15日に返信し、その翌日にまた彼女からの手紙が届いている。広瀬従子（Hirose）の名は5回登場している。

### （5）歩くこと

歩く(walk, walked)という言葉が129回登場するように、相馬はマンハッタンをよく歩いている。友人が来ると散歩に誘い、散歩に誘う為に友人を訪れている。同宿だった朝比奈とはよく散歩に出かけ、ワシントン・スクエアまで遠出したこともある。3月26日には、後に共に大学設立者となる目賀田種太郎が訪ねて来たので、散歩にでかけ、楽しい時間を過ごしたという記載もある。

散歩の目的地の一つはセントラルパークであった。マンハッタンのほぼ中央部に位置するセントラルパークは1858年に開園しているが、工事は続き、拡張工事も含めすべてが完成して正式にオープンしたのはちょうど1876年であった。またこの年には、ロウワーマンハッタンのボーリンググリーンからセントラルパークまで、高架鉄道が完成している。

セントラルパークに行ったのは7回（1月1日、2月13日、3月22日、4月8日、5月14日、6月9日、10月7日）である。相馬が住んでいた西22番通り62番地からセントラルパークの南端まで1.9マイル（約3キロ）徒歩で37分位の距離だったが、2月にNo. 33 Clinton Placeに引越をしたので、3.8マイル（約6キロ）歩くと1時間16分近くかかるようになった。夏休み明けの新住所30 Great Jones St.からは3マイル（4.8キロ）歩いて1時間とほんの少しだけ近くなっている（地図1）。恐らく散歩を楽しみながら歩いたと思われるが、日記の最後の小遣い帳を見ると「car」（馬に引かれるstreet carか）の支出があるので、どこかの時点でcarも利用したかもしれない。高架鉄道を利用したかどうかは分からない。



地図1 マンハッタンの相馬の住所（2月と10月に引越している）とコロンビア大学法律学校の住所

### （6）食事

相馬の留学中の食事について（3）「一日の行動」で述べた通りであるが、具体的には、肉(meat)

が2回言及され、いずれも少し (little) という形容詞がついている。卵については3回の言及があり、健康の為に毎朝生卵を食べるように1ダース購入したという記載がある(2月24日)。野菜の言及はなく、フルーツは2回言及されているが、贈答用である。1877年には、バナナが一回だけ登場する。お土産にピークスキルにもって行ったという書き込みである(3月10日)。Bananaと大文字で強調されているように、1870年代バナナはまだ珍しい果物で、1876年の建国100年記念アメリカ初の万国博覧会で初めて一般大衆向けに販売された歴史をもつ<sup>4</sup>。バナナの木の見学とともに、バナナ1本を銀紙につつんで10セントで販売したらしい。相馬もこの万博を見学しており、その際にアイスクリームを食したという記録もある。これもまた万博で初めて紹介されたソーダとソーダファウンテンとも関わりがあることが相馬の文章から推測されるが、この興味深い体験については別の機会に述べることとする。アイスクリームへの言及は1876年のみで3回である。1回はニューヨーク、2回は万博見学中のフィラデルフィアにおいてであった。フィラデルフィアはアイスクリーム・ソーダ誕生の地でもありアイスクリーム商売の中心地であった。のこのように、相馬の日記に淡々と書かれているモノや日用品からわれわれは、当時の社会、モノの背後にある文化的コンテクストを知ることができる。

日本食に関する記載もある。スシ(Sushi)は8回登場し、スシの材料を買いに行ったのが1回、7回はスシをつくって相馬の部屋で日本人仲間と食べている。その他、ソーメン(Somen)はよく食べている(8回言及)。友人といっしょにつくり、また体調が悪い時にソーメンをつくって食べて寝たという記述や、井伊、石黒少年たちにつくってやって喜ばれたなど書かれている。朝比奈に2回つくってもらっている。目賀田と平岡と日本食(Jap. Meshi)を食べたという記述もある(5月11日)。

外食ではレストランに5回行っており、2回はフレンチ・レストランである。ニューヨークの食事によく登場するのは、オイスター・ハウスである。1月に5回、2月に2回、4月に1回、その後は11月に3回、合計11回出かけている。今では考えられないことだが、ニューヨークではかつて牡蠣が収穫され、大量の牡蠣が消費された。牡蠣は19世紀を通じて価格も大幅に変動することなく安定的に供給されていた<sup>5</sup>。牡蠣は値段も安く大衆向けの食材であったが、高級なレストランもありニューヨークを訪れたイギリス貴族に「あれほど魅力的な食べ物を提供するところは、私の知る限り、世界のどこにもない」言わせたほどである<sup>6</sup>。相馬たち日本人留学生もその牡蠣を堪能している。

パーティーもよく楽しみ12回記載されている。3月19日には、江木、清水、太田が訪ねてきて、スシを食べ、ティーパーティーを大いに楽しんだとある。江木氏の送別会の食事会や、アメリカ人友人宅での小さなパーティー、日本茶でのティーパーティー、夏休み中の林間ダンスパーティー(相馬は疲れて欠席)などであった。

## (7) その他の日常生活

相馬は、日々の生活の買物の記録もまめに記録している。「買った」(bought)は、56回使われ、法律書など勉強関係以外のものとして次のようなものを購入している。引越用の箱、ピークスキルの土産のお菓子、1ポンドのバーミセリ(細いスパゲッティ)、スイカ、タバコ、ビール、生活の面倒を見ている井伊と石黒の衣服やソックス、井伊の為に空気銃、自分用に下着やズボン、靴(サイズが合わずに女性用の靴を買ったときもあった)、スリッパ、帽子、手袋、卒業式用に絹のハンカチーフとネクタイ、3ドルで時計、封筒一箱、切手、ペン、葉書一セット、クロケーター一式、プレゼント用にティーセットとナイフ、クリスマスプレゼント用に日本の湯飲みとコロン、本、ドワイト教授のために日本の写真、ライト夫人のためにティーポットなどである。

<sup>4</sup> Steve Striffler, et. al., *Banana Wars: Power, Production, and History in the Americas* (Durham: Duke University Press, 2003), p. 51

<sup>5</sup> マーク・カーランスキー著、山本光伸訳『牡蠣と紐育』(扶桑社、2011年)、p. 196.

<sup>6</sup> Ibid., p. 174に引用。

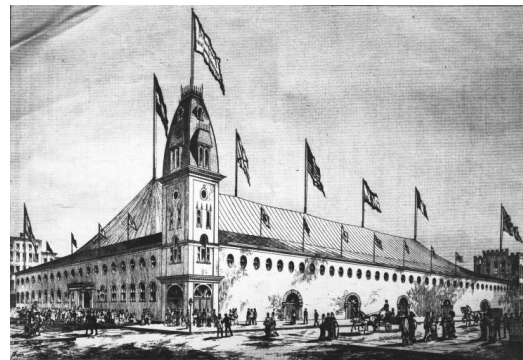
アメリカ滞在中もっとも高価な買物は、20ドルという大金をはたいて購入した *American Picturesque* である（10月2日）。コロンビア大学の学費が年間100ドルであるから、20ドルというのは破格の金額であることが分かるだろう。ペック夫人から譲ってもらう約束を取り付けている。それほど執着したものは、*Picturesque America* というタイトルの豪華本だと思われる。詩人で編集者のウィリアム・カレン・ブライアントが編者となってアメリカのピクチャレスクな風景を集めてロマンチックな説明を加えたもので、1872年と74年にニューヨークで出版された。定期購読の形で配布され完了時に1冊の本に装丁され、全部で2巻ある。美しい風景の挿絵が人々を魅了し、観光や自然保護に大きな影響を与えた本である。また、国を二分した南北戦争後の再建期において、国民にアメリカの類い稀な自然美を再認識させ、国家への愛着と自信を回復させ、ひとつの国家への再建に心理的な拠り所を与えるような役割を担った本でもある。日本のナショナリズムと結びついた志賀重昂の『日本風景論』が世に出るのはこれより18年後の明治27年であることを考えると、相馬が明治初期の留学時代にアメリカ風景論の本にこれほど心引かれた事実には興味深いものがある。

### （8）余暇活動

相馬が日々勉学に励んでいたことは日記から明らかであるが、ニューヨーク生活も折に触れ楽しんでいる。6月3日（土）には朝比奈とオペラ鑑賞に出かけている。劇場には6回行った。金曜日の夜に友人たちとでかけ、夜遅く帰宅している。2回はユニオンスクエア劇場、1回はライシウム劇場、残る3回は劇場名の記載はない。相馬が留学した1870年代ニューヨークは、娯楽産業が爆発的に成長した時代であり、ユニオンスクエア周辺に近代的な娯楽施設が多く造られ始めていた<sup>7</sup>。その代表的な14番通り沿いのユニオンスクエア劇場（1870年建設）（図版4）に3月2日（木）と12月1日（金）、同じく14番通り沿いのライシウム劇場に11月24日（金）に行っている。ライシウム劇場では、有名なシェイクスピア役者エドウィン・ブース（リンカーンを暗殺したブースの兄）の『ハムレット』を観劇し大いに楽しんだとある。12月1日（金）は、井伊、石黒少年たちと、ダウントウンの大繁華街パワー通り（現ブロードウェイ）に繰り出し、大女と小人のショーを見ている。そして夕方にはユニオンスクエア劇場にでかけ大いに楽しんだと述べられている。



図版4 ブロードウェイから14番通りを東に臨む。右手のアメリカ国旗のある建物がユニオンスクエア劇場。絵を取り囲んでいるのは人気スターたちである。1882年8月12日『ニューヨーク・ミラー』紙より。



図版5 P.T. バートラムのローマン・ヒポドローム、マディソンスクエア・ガーデンの前身。1871年頃。

また、有名なゴスペルのデュオ、ムーディとサンキーをヒポドロームに聞きに行っている。大衆伝道師ドワイト・ムーディとゴスペル歌手で作曲家のアイラ・サンキーがコンビを組んだ伝導集会で、

<sup>7</sup> Luther S. Harris, *Around Washington Square: An Illustrated History of Greenwich Village* (Baltimore: The Johns Hopkins University Press, 2003), pp. 107-8.

3月31日(金)にピークスキルから相馬を訪ねてきたドナルド氏とともに聞きにいった。よほど印象深かったとみえ、2日後の日曜日(4月2日)にも今度は一人で「ムーディとサンキー」を聞きにいった。何千人もの人々が集まり大きな建物を埋め尽くしていたと感想を述べている。この建物ヒポドローームは、名高い興行師P. T. バーナムが1871年に鉄道駅の跡地をリースして巨大な楕円形のアリーナを造り、「グレイト・ローマン・ヒポドローーム」と命名してサーカスなどのショーを行っていた場所である。現在のマディソンスクエア・ガーデンの前身である。当時の新聞によると、時間によって男女別々の礼拝が行われていたようだ。夜の8時は男性のみ、9時は若い男子のみと告知されている<sup>8</sup>。

様々な games—トランプや将棋、バックギャモン、ビリヤードなど—も楽しんでいる。夏休みもとても頻繁に登場する game はクロッカーで、6月から8月まで17回この言葉が使われている。クロッカーは南北戦争以前にすでにイギリスからアメリカに紹介され、徐々に普及して1870年代に人気のピークとなったスポーツである<sup>9</sup>。日本のゲートボールの原型となったもので、男女共にゲームに興じられることや家庭の裏庭などで簡単にできることから人気が増した。相馬はそのようなクロッカーゲームの中で、若い女性たちや友人家族たちとともに楽しんだのである。

8月25日は学校の行事に参加し、寄宿先から半マイル離れたシャープの森にピクニックに行き、8月の終りにはビールの原料ホップの実の収穫、ホップピッキングを見物に行き、セント・ジョン夫人のために自分でも少し摘んだと書き残している。ホップは当時カリフォルニアとともにニューヨークが主要生産地で、収穫の季節には多くの労働者がホップ摘みに従事した。数日後に、友人アビシヤの家で、ホップピッカーたちのお茶に招待されている。

魚釣りも8月に2回体験した。1877年になると、夏休み中はほとんど毎日のように魚釣りにでかけ、6月9日から、9月27日まで、fishing が21回使われている。6月には4回ウナギを釣った。多くのウナギが獲れた日もあった。夕食に加え、お茶の時間に供する為に料理したとも書いてあるので(6月30日)、ウナギのパイやジェリー寄せのようなものをつくったのだろうか。

ハンティングも3回やった。リス3匹を撃ったと書いている(9月23日)。

## (9) 観光

相馬はマンハッタンを拠点としてその周辺地域を訪れている。フィラデルフィアには、建国100周年の万国博覧会見学に6月30日(金)から7月7日(金)まで一週間訪れた。相馬が体験した万博に関しては他の機会に詳しく述べることにする。

8月15日には、オールバニから西に64キロのハウズ洞窟に馬車で行っている。洞窟は10マイルほど続いているらしいが、2マイルを探検したとある。ケイヴ・ハウスで昼食をとり5時に帰宅している。

8月17日には、日帰りのサラトガ観光にアメリカ人4人(J. Lencks, Miss Frunky, Mrs. Billings, Abisha)を招待している。朝5時に起床し、馬車でコブルスキルに向かい、そこから8時15分の観光列車(excursion car)に乗って11時45分サラトガ到着。サラトガは、ニューヨーク北部に位置する温泉で有名な観光地で、すべての温泉とその他の観光名所をまわり大変楽しかったと日記に書き残している。サラトガを4時45分に発ち、9時30分に帰宅した。大変疲れたのですぐに寝たとある。

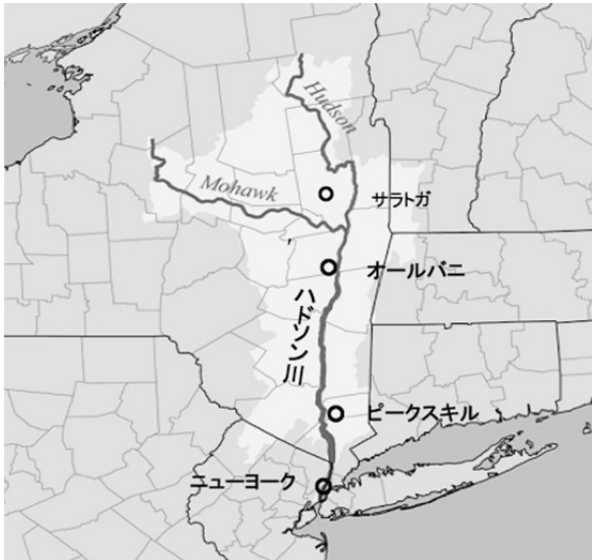
アメリカの観光の歴史の中でもハドソン川流域は古くから人々を引きつけてきた。オランダ人の植民時代からの長い歴史と、奥深い自然の山々、豊かな農地や栄えた村々、大きな屋敷などが広がっていた。荒野と田園と大都市と三拍子そろった環境が、ハドソン川流域地域の観光を発展させる原動力となった。

アメリカ最初の風景画家たちが活躍したのもこの地域であり、いみじくもハドソンリヴァー派と呼

<sup>8</sup> *The New York Herald*, February 13, 1876, p. 13.

<sup>9</sup> Richard F. Selcer, *Civil War America, 1850 To 1875* (New York: Infobase Publishing, 2014), p. 412

ばれた所以である。彼らはヨーロッパとは異なるアメリカ独自の自然風景を追及し、荒々しい自然を描くことが特徴であった。その代表的画家トマス・コールと同じ志を共有していた友人がウィリアム・カレン・ブライアントであり、ブライアントは大都市のなかに自然のスペースが必要だとしてセントラルパーク設立を推進した中心人物であった。*Picturesque America* の編集者でもあり、その豪華な本を相馬が大枚をはたいて購入した事実は、日本からの一留学生をも、このようなアメリカ文化の大きな流れの中につながっていたことを示している。



地図2 ニューヨーク (マンハッタン) と、ピークスキル、オールバニ、サラトガの位置関係

### 10) まとめと今後の課題

相馬の英文日記の1876年マンハッタン滞在を中心に紹介してきたが、この1年間の日記の内容をここに書き出しただけでも、相馬が本来の目的である法律の勉強以外にさまざまな体験をして驚く程豊かな世界を広げていることが理解できただろう。留学という形であれ、その時代、その場所に身をおくことは、いやおうなしにその時代精神・風土文化にどっぷりと浸かるということなのだ。われわれは相馬の英文日記の中に崇高な意志と共に記録されている様々なモノや日用品と出会う面白さを体験でき、そこからアメリカ文化、さらには日本文化を語るができるのである。

最後に今後の課題としては、今回の日記紹介では1876年の英文日記を中心に行った為に、1877年の日記の内容分析もさらに進める必要がある。とくに、交友関係については、本稿では事実を示すに留まったので、手紙の文通も含めた人的ネットワークの構築を、GPS機能を使って地図上で表すなどの視覚化も含め、さらに考察を深める予定である。また、日本からの金建ての送金とアメリカでの換金についても細かく記録されているので、「明治初期留学生の経済状況」として別に考察する。相馬の留学時代はすでにアメリカはデフレが進行中で20年もすると、金本位制を廃止して金銀本副本位制導入の議論が大統領選の争点となる。そのような観点からも相馬のアメリカ留学を考察することも必要だろう。このように、相馬の英文日記は明治初期の日本人留学生の生活を知る上でも、アメリカ社会・文化のより広い文脈のなかで、その意味を探る上でも、貴重な記録である。

## 【凡例】

1. 相馬の手書原稿で判読不明な単語については、[ ]で表示されている。[ ]の中に単語が入っている場合は、e. g. [Fuchia]、翻刻者が推測したもっとも可能性の高い綴りを入れている。
2. 原文中で現代英語に照らした綴りの誤りは [sic] (ママ) で示した。地名など正しい綴りを示した場合もある。e. g. Lenseror[sic:Rensselaer]。
3. 原文中の文法上の間違いや抜けは、原則的に ( ) で補うか、[sic] (ママ) で表記した。ただし、文法的に間違っているにもかかわらず意味理解に大きな支障がない場合は、何も表記せず原文のままとした。
4. 上記とも重なるが、原文で明らかに抜けていると思われる単語は、( ) で補った。
5. 温度の英語 thermometer の短縮形として、Thermo., Ther., Th., Thr. 等に加えて、Thero. が頻繁に登場するが、theromometer と誤って綴られた単語が見受けられるので、それに起源するものと考えられる。[sic]を入れずに原文のまま記した。
6. Afternoon に関しては、after noon と 2 語で書かれている場合と、1 語の場合がある。
7. Newspaper に関しては、news paper がほとんどであるが、newspaper と一語で綴られる場合も見られた。
8. 日記には、&+記号が頻繁に使われているが、Mr. & Mrs. 等を除いて、and に変換した。
9. 句読点が省略される場合が多々あるが、原則的にそのままとしたが、混乱を避ける為に (,) や (.) を挿入した場合もある。
10. 人名の綴りも現代のローマ字表記と異なるものや同一人物でも異なる綴りが 2、3 種類存在するものもある。以下、日記に記載された主な人名のローマ字表記と漢字表記をアルファベット順にリストした。
11. 日本語の単語の最初は大文字で書かれ、アンダーラインが引かれる場合と無しの場合があるが、翻刻は原文に沿っている。e. g. Sushi, Sushi.
12. 時刻、金額等の表記として、上付き文字で書かれている場合には (アンダーラインありと無しがある)、アンダーライン無しの上付き文字とした。上付き表示がされていない場合もあり、それは変換せずに原文のままとした。

Agee, Agie	→	江木高遠
Arima	→	有馬幹太郎カ
Asaina, Asahina,	→	朝比奈一 (清水篤守の随従者)
Fukazawa	→	深沢勝興カ
G. Hirose, Miss Ogin Hirose	→	広瀬徒子 (婚約者)
Hiraoka	→	平岡熙
Ii	→	井伊直達
Jeu shi Ii, Jeushi Ii	→	井伊直憲 (従四位上左近衛権中将)
Ikuta	→	幾田 (伯母、右平次の姉)
Inouye	→	井上良一
Ishigro	→	石黒太郎
Iwanaga	→	岩永省一
Kaneko	→	金子堅太郎
Katsu	→	勝子鹿 (勝海舟の子で、アナポリス海軍兵学校留学中)
[Master] Kikkawa	→	吉川重吉カ
Komai	→	駒井重格

Komuchi	→	神鞭知常
Matsudaira	→	松平定教
Matsui	→	松井直吉
Megata	→	目賀田種太郎
Mito		
Miura	→	三浦（鳩山）和夫
Miyabara	→	宮原二郎カ
Mokuhara		
Mukasa	→	武笠資節
Muramatz, Muramatsz	→	
Nishimura	→	西村捨三
(Mrs.)Ohigashi	→	大東義徹
Ohta	→	太田昇平
Sato	→	佐藤百太郎
Shimidz、Shimiz, Simidz	→	清水篤守
Tagai		
Takahashi	→	高橋健三カ
Taku	→	多久乾一郎
Tanaby, Tanabe	→	田辺太一
Taneda	→	種子田清一
Tani	→	谷鉄臣
Tomita	→	富田鉄之助（後の日本銀行総裁）
Tsuda , Tsda	→	津田純一
Tsumagi	→	妻木頼黄
Tuchiya	→	土屋挙直
Tutchiura		
Yamawaki	→	山脇正勝
Yegawa	→	江川英武カ
Wyegima		

## ① Diaries of Nagatane Soma – 1876 Diary

### Daily Memoranda

January 1876

SATURDAY, January 1

A beautiful morning. Thermo. 45°

It is the birth of a new year and the beginning of the whole year's undertaking. As the pleasure and profit of our lives depend upon the economy of our time, we must not waste it, as we do, idle regret or reflection on the past, or in a vain, unuseful regard for the future. I am boarding with Mrs. Jackson at 62 West 22 St. N.Y. City. And the following friends are boarding here—Messrs. Agee, Asaina, Miura, Ninomiya. In the morning I called on Mrs. Hallett and Miss Ally Wood, and in the after noon Miura Ninomiya and myself made a call on Mr. Tomita and thence we went to the Central Park and called on Mr. Ota on our return.

SUNDAY, January 2

A fair morning and little rain after noon. Ther 48°

Soon after the breakfast I commenced the writing of letters. One to Mrs. Smith and others to Japan. Finished the list of the last 8 months expenditure of N. Ii and T. Ishigro. In the after noon when I was writing to Messrs. Nishina and Mukasa, Mr. Ota came to see me and we went out to take a little walk. I finished the letter. It was just a few minutes before the tea. After the tea I wrote two letters—one to Ishigro and the other to Father. Called Mr. Tsuchiya at St. Omar Hotel. And had a nice time at home—Went to bed about 12 o'clock.

MONDAY, January 3

A nice morning and good after noon. Ther. 48°

Right after the breakfast, I commenced the writing of a letter to Jewshi (從四位) N. Ii and finished it before noon. After the lunch I went out with Mr. Miura to take a walk and got to home about 4 p.m. Then commenced the reading of the Japanese news paper. When we were taking the tea, Mr. Tsuchiya called on us. After we had several talks we went to have a nice time and got hoe about 10<sup>50</sup> p.m. I got two letters from T. Ishigro and one from N. Ii. Mr. Asaina went to Boston this morning. As we have to commence our studies from tomorrow morning we hurry to bed.

TUESDAY, January 4

A beautiful morning and pleasant all the day. Th. 28°

As the L. School commenced from today I got up quite early this morning, and commenced my study till 2.30 p.m. and went to the school with Mr. Miura. Prof. Dwight was away and Prof. Chase heard our recitation. The lecture on Political Science commenced today, but I did not know that it was to begin today. It will continue every school day from 2 to 3 p.m. Mr. Taku and Hart called. I was vaccinated on the 27<sup>th</sup> Dec. last and it was getting very nicely now. I feel cold this morning without the fire in the room. As I expect to get up early tomorrow morning I shall go to bed soon—

WEDNESDAY, January 5

A beautiful day. Ther 22°

I got up at about 7 a.m. and commenced my studies. Mr. Tsuchiya came to see us for he intended



to return to Boston today. I went with Mr. Miura to the school. Prof. Burgess delivered the lecture and there was a large number of attendants. But I did not like much the style of the lecture. It was on the subject of "The imperial era of Rome." Prof. Dwight was still away and Prof. Chase heard our recitation again. I sent three s away, one to Ishigro and the others to Mr. Pick and Ii. I got a letter from Ii in which he enclosed the letters to home. I expect to go to bed at 11 p.m. this evening.

THURSDAY, January 6

A nice day. Thero. 40°

Commenced our study at about 7 a.m. as usual. Received a letter from Mrs. Smith. Went to (the) school with Mr. Agee at the usual time. Prof. Burgess gave the lecture on the political history of the Germanic tribes. It was little more interesting than yesterday. Prof. Dwight was still away and Prof. Chase heard our recitation. I got my pictures which had taken on the 30th last Dec. I gave one of them to Mr. Miura. After the dinner, I went to see Mr. Hart and we went together to attend in the Barnard Club and I signed my name in the constitution, and we went again to his room and had the interesting talks. Got home 11 p.m. and found the wash in the room.

FRIDAY, January 7

A pleasant day. Thero. 30°

It was little later than my usual time when I got up, still it was not very much after 7 a.m. About 9 a.m. I went to school to read some books in regard to the moot courts case, but I found not any of them. After noon at the usual time I went to the school. Prof. Burgess delivered the lecture on the development of the political society of the Merovingian and Carlovingian races. It was quite interesting. Prof. Dwight was still away and Prof. Chase heard the discourses of the moot court. I got a letter from Mrs. Whitney. We had a nice meeting at the 23<sup>rd</sup> St. and I was a judge at the time being. Came home at 11:<sup>30</sup>.

SATURDAY, January 8

A clouded day. Thero. 32°

I got up at about 7 a.m. Soon after the breakfast I wrote a letter to Mr. A. L. Whitney in reply and then copied the lecture which delivered in Friday and read a law book a little while. After we finished the lunch Mr. Miura and myself went down to the post office to mail letters to Japan. On the way we stopped at the Photographic establishment and Jan. [sic] Consulate. It rained little when we were coming home. After the tea, I wrote letter to Mrs. Smith, Peck. Photographer said Ishigro's pictures were sent to P.M.A. (Peekskill Military Academy)  
We had a nice time in the evening. Went (to) bed about 1 a.m. night.

SUNDAY, January 9

A [sic] unpleasant day. Thero. 38°

I was awaked by the sound and when I opened my eyes I found Mr. Asaina in the room. It was about 7 a.m. I wrote a letter to Mr. Donald in requesting about Ii. I went with Mr. Miura to a church. After the dinner, I called on Mr. Tomita and others but they were out. So I returned home immediately. I read a little of the Japanese news paper. After the tea I intended to read the Parson's [sic], but I was prevented by the loud talkings [sic] in the room. We continued our talkings [sic] quite long and when I commenced my study it was about 11 p.m. and finished at 12:<sup>30</sup>

p.m. Mailed letters to P.M.A.

MONDAY, January 10

A clouded day. Thero. 54°

Got up about 7 a.m. and went to the study. Received letters by a morning mail from Miss Hoyt and Ishigro, in the letter there are inclosed letters to Japan. Right after the tea, I went to the school with Miura. Prof. Burgess delivered the lecture on the political development of the Carorengian dynasty. Prof. Dwight was returned in the school and heard our recitation. The weather has been quite changed since the after noon and the theromometer [sic] indicate(d) 30° at 5 p.m. Got letters from Ii and Ishigro, the latter wanted to get taken a half dozen picture more. And his letter made me indebted 6<sup>ct</sup> to a post-man. The sad news of Akamatsu's death, which was untrue. I stopped my reading at 11 p.m. and went to bed.

TUESDAY, January 11

A beautiful day. Thero. 22°

Got up at the usual time and studied as usual. After the tea I went to the school with Mr. Agee. Prof. Burgess' lecture was on the same subject as yesterday and it extended even to the time of the Capetian dynasty. Prof. Dwight was in the school. On return I stopped at the photographic establishment and order pictures of Ishigro and myself 1 dozen each (of) which is \$3.<sup>00</sup> each. As it became quite cold we made fire in the room. After the dinner I studied (in) a little while and went on few minutes to take walk and after that studied again till 11:<sup>15</sup> p.m. and went to bed.

WEDNESDAY, January 12

A clouded morning and little snow from noon. Thr 21°

Got up at about 7 o'clock and commenced my study as usual. Received two letters, one from Lencks and the other from Kaneko. After the tea I went to the school with Miura. Prof. Burgess' lecture was on the development and construction of the feudal system in England. Prof. Dwight and Chase were in the school. After the dinner I went out with Mr. Asaina to take a walk and stopped a few minutes at Mr. Shimizu's room and returned. Commenced again my study and stopped at about 10<sup>30</sup> p.m. After the dinner I had a game of Japanese chess with Miura and hit him. As I expect to get up little earlier than the usual time to-morrow I hurry to bed.

THURSDAY, January 13

A fine day but cold. Thero. 18°

Got up at the usual time and studied. After the tea went to the school with Mr. Miura. Prof. Burgess delivered his lecture as usual. It was down to the political changes in Germany and the troubles with Popes. The other lessons are as usual. After the dinner called on Mr. Hart and went (with) him to attend in the Barnard Club. The meeting was quite interesting. On return we stopped a few minutes at his room and had a talking on the moot court case. After got home I went with Ninomiya to the oyster's house and brought some for Agee and Asaina. I went to bed at 12 p.m.

FRIDAY, January 14

A nice morning and little snow at noon. Thero. 18°

Got up little later than at the usual time. The morning works were copying the lecture and

studying of the case. After the tea I went to the school with Miura. The Prof. Burgess' lecture was on the political advances and changes in Germany, France and Spain during 12, 13, 14 and 15<sup>th</sup> centuries. Prof. Chase was in the school and read the lecture and presided in our moot court. The moot court was quite interested today. After the dinner Miura, Agee and myself went to the Jap. L. C. meeting and we had nice discussions of the case. After the meeting is over, Mr. [Comuch] made a speech. On return we had a nice time and went to bed at 12 p.m.

SATURDAY, January 15

A beautiful day Thero. 25°

It was about 7.<sup>30</sup> a.m. when I got (up) and I had my breakfast right away. Prof. Burgess delivered his lecture this morning from 9<sup>30</sup> to 10<sup>30</sup>, so Agee, Miura, and myself went to the school. On the way I stopped at [Bogardus] to get pictures. I got 1 doz. of Ishigro and half doz. of mine and ordered 1 doz. of Ii. The lecture was on the political movement in regard to the Reformation in England, France, Spain and Germany. I got \$50<sup>00</sup> from the Seaman's Saving Bank. I stopped to see Mr. Hallett. I gave my pictures to Miss Hoyt, Bard, Mr. Komuchi(, ) Ishigro's to Asaina Agee and Miura. Got a letter from Mr. Smith, Wrote letters to Misses Hoyt and Bard. We sat quite late I went bed 1<sup>36</sup> a.m.

SUNDAY, January 16

A beautiful day Thero. 35°

Got up at 8 a.m. After the breakfast I wrote letters to Mr. Smith, Ii and Ishigro, then studied a little while. When we had finished our dinner Mr. Tomita called on us and Asahina and myself went out with him to take a walk for which we enjoyed very much. I gave one of Ishigro's pictures to Mr. Tomita. After the tea I studied a little while and went to see Mr. Tomita with Mr. Asaina(.) Ninomia and Matsui, and I enjoyed very much with the visit. We stopped on return at the oyster's house. After we came home, we had talking a few minutes and went to bed at 12 p.m.

MONDAY, January 17

A nice day. Thero. 43°

Got up at 7 a.m. and immediately went to my study. After the tea I went out to the school with Mr. Miura. Prof. Burgess' lecture was on the political improvement in England in 17<sup>th</sup> and 18<sup>th</sup> centuries. Prof. Dwight and Chase were in the school. I get [sic] mended my cane and got my remaining pictures but still left one. After the dinner I went out to buy tobacco and paper. I studied from 8<sup>50</sup> to 10<sup>30</sup>. After I finished my study, we had a nice time. I got letters from Ii and Ishi. I went bed at 12 p.m.

TUESDAY, January 18

A clouded day. Thero. 39°

Got up at about 7 a.m. I studied right through till the tea. At 1<sup>36</sup> p.m. I went to the school with Agee and Miura. Prof. Burgess gave a lecture on the political changes in England during the 17<sup>th</sup> century. Profs. Dwight and Chase were in the school. I got a letter from Mr. Donald. He sent to me Ii's composition. A letter and a picture from Mr. Tsuda. As Mr. Asaina wanted to change our room we went out to see our room at 10<sup>th</sup> St. On way home, we stopped in an oyster house. It was about 12<sup>15</sup> when I went bed. I expect to get up quite early tomorrow.

WEDNESDAY, January 19

A rainy day Thero. 57°

Got up at 7<sup>15</sup> a.m. Went to study as usual. After the tea, I went to the school with Mr. Agee. Prof. Burgess' lecture was on the American independence and the political organizations at the time. The principles of the American government were clearly given. Prof. Dwight and Chase were in the school. Soon after I got home I studied a little while in preparing for our J. L. Club. After the dinner I continued this study little larger and changed into my regular study for tomorrow's lesson. We made the tea and had some talks about Jap. customs. Went to bed at 12 p.m.

THURSDAY, January 20

A fine day Thero. 36°

Got up as the usual time and studied. After the tea we went to the school. Prof. Burgess' lecture was on the French revolution. Prof. Dwight and Chase were in the school. We finished Person's [sic] on contract today. After the dinner Miura and I went to attend in Barnard Club. On way to home, I stopped in the University with Hart to see a moot court there. Mr. Ninomiya left for San Francisco. Got a letter from S. Bard. After I get home, went out again to get drink. I have not finished my case for tomorrow so I must get up early tomorrow. Went bed 12 p.m.

FRIDAY, January 21

A nice day Thero. 33°

I was up at the usual time and studied as usual. In morning I went to the school to read some cases for my moot court. After the tea, I went to the school again with Agee and Miura. Prof. Burgess' lecture was on the French revolution. Prof. Dwight and Chase were in the school. We had a nice moot court. Got a letter from C. Bettman. After the dinner went to our J. L. C. meeting. I was appointed for a counsel for defendant and Mr. A. Shimizu for plaintiff. After our discourse, Agee proposed a new plan—every member shall pay a certain amount of money at every meeting to raise money for our future purposes. The amount was decided 25<sup>c</sup>. Communication to Boston students was voted and decided. I was appointed for a treasurer. Had a nice time in our room.

SATURDAY, January 22

A clouded morning and snow noon. Thero. 28°

I got up at about 8 a.m. I went out with Mr. Asaina for shopping. I bought a cash book for our J. L. C and pictures for Ii. Wrote letter to Ishigro, Mukasa and Nishimura and father and sent Taro's pictures. After the dinner Asaina, Miura and myself went out to buy things for tomorrow's use. Mr. Megata called on us and we had a nice time. It is the object of our law club to carry out our legal plans when we get home. We strongly expect and hope to make this club, a large and permanent institution. I went bed at about 1 p.m.

SUNDAY, January 23

A clouded and dark morning. Thero. 31°

When I got up at about 8 a.m., there was still remained on the ground. I copied my lecture before noon. After the dinner I went out to take a walk. I wrote letters to Mr. Donald, Ii and Ishigro Messrs. Megata and Ota called here and they stayed little while. I settled all money account with Mr. Asaina. After the tea, we made Japanese Sushi and we had a nice time. Messrs. Agee and Asaina and myself went out and had a walk about 1 ½ hours. I went bed at 11p.m. It rained little

during the day, but the weather is not very cold.

#### MONDAY, January 24

A beautiful day. Thero. 36°

I was waked up by Mr. Asaina at about 7 a.m. I studied as usual. Our lesson turned back to the Blackstone again and today we commenced from Bookll Ch I. After the tea I went to the school with Mr. Agee. Prof. Burgess' lecture was on the political changes in Europe during the fist [sic] part of the present century. Profs. Dwight and Chase both were in the school. I got a card from Fukazawa and letters from Mr. Smith, Ii and Ishigro. After the dinner I went to take a walk with Miura. Wrote cards to Fukuzawa, Ii and Ishigro. Went bed before 11 p.m.

#### TUESDAY, January 25

A clouded day. Thero. 27°

Mr. Asaina called me up little before 7 a.m. and I got up immediately and went to my study as usual. After the tea, I went to the school with Mr. Agee. Burgess' lecture continued as far as the time of Louis Napoleon III. It was quite interested. Prof. Dwight and Chase both were in the school. Mr. Agee bought legal paper for us—60 sheet cost 44<sup>ct</sup>. After the dinner when I finished the copying of lecture I went out with Mr. Asaina and stopped a few minutes at No.156 23 St. Then we had a long walk. I bought ½ doz. socks of Ii and 2 quail pens for myself. I went bed at 11<sup>30</sup>.

#### WEDNESDAY, January 26

A fine day Thero. 26°

I got up at 7 a.m. and studied as usual. After the tea I went to the school with Miura. Prof. Burgess' lecture was on the political changes on the German union. Profs. Dwight and Chase both at the school. After the dinner when I finished copying of the lecture I went to take a walk and went so far as to the Washington Squire [sic]. When Mr. Asaina informed us that it was a new year's day of our old calendar, we thought that we must have some nice time so we went out to the oyster house and enjoyed. I went bed at 12 p.m. I got letter from Ishigro in which he had enclosed translation of Jap. news paper.

#### THURSDAY, January 27

A clouded day Thero. 37°

Got up at 7 a.m. and studied as usual. After the tea went to the school with Agee and Miura. Prof. Burgess' lecture was on the latest political changes in France and Germany. Prof. Dwight went up to Albany and Prof. Chase took his place. I got a letter from Mr. Peck. Yesterday I gave a picture to Mr. Shimizu. After the dinner I copied my lecture book and then wrote some briefs for J. L. C. Mr. Asaina made Somen for us. It was very nice indeed. I took the bath before the dinner. I went bed 12<sup>30</sup>.

#### FRIDAY, January 28

A clouded day Thero. 43°

When I got up it was about 7<sup>15</sup> a.m. and I hurried to study. I wrote a brief of my argument in last meeting. After the tea, we all there went to the school. Prof. Burgess' lecture was on the political system of the N. S. The moot court was not very interesting. I got a letter from Mr. Donald in

which enclosed Ii's composition on the subject of the village Peekskill. After the dinner we all went to our J. L. C. meeting. The discourses were very interested. Our discourse in the subject of an organization of Chihokan and its pavers were postponed till next meeting. I bought candy to take to Peekskill. Went bed at 12<sup>30</sup>.

SATURDAY, January 29

A clouded day Thero. 37°

I got up at about 7<sup>30</sup> and had my breakfast. While I was waiting for Mr. Megata, I wrote a part of a letter to C. Bettman. We started home little after 9 a.m. He took the 10<sup>30</sup> a.m. train while I took 11 a.m. I found all friends at the academy well. I settled Ii and Ishigro's account of the school expense, which amounts to \$302.91. We had a nice time in Mrs. Smith's room. I draw from the Peekskill Saving's Bank \$350<sup>00</sup> I made Japanese Kudzu for Ii and Ishigro. Mr. Wright was in a sick-bed. I gave my picture to Mr. Donald, Wright, Misses Wright - Peck and Smith. Went bed 1 a.m.

SUNDAY, January 30

A beautiful day. Thero. 21°

I was awaked by the morning bugle at 7 a.m. After the breakfast I examined Ii a little while I stayed at academy with Mrs. Smith and Peck. I gave a talk to Ii and Ishigro about their studies. Mr. Donald spoke to me about Ii in regard to the next summer. I took the 4<sup>36</sup> train from Peekskill and got home about 6<sup>30</sup>. As I found that the pocket money of Ii and Ishigro for last half year had been paid. I wrote to Col. Wright about it and sent the bill. I went to take my lunch at the oyster house. I wrote a letter to Miss C. Bettman and Kikuchi. Went bed at 11<sup>30</sup>

MONDAY, January 31

A fine day. Thero. 26°

Got up at about 7 a.m. Studied as usual. Went to the school. Prof. Burgess' lecture was on the political changes and advancement in N.S. in regard to Tariff laws and Slavery. Prof. Dwight announced that the lecture will be ended by tomorrow and also he wrote down our names in a paper. Prof. Chase delivered the lecture as usual. Got letters from Miss Hoyt, Ii and Ishigro. After the dinner Asaina and myself went out to look for a boarding place house, but found not. As I have not paid my board last week I paid today \$16.<sup>00</sup>. I went to bed at about 12<sup>15</sup> p.m.

## February 1876

TUESDAY, February 1

A clouded day and rained little. Thero. 31°

Got up at about 7 a.m. studied as usual. Went to the school with Agee and Miura. Prof. Burgess' lecture closed today. He announced that those students who will take a part in the prize examination this year, cannot take again next year. The subject of essay was "Political revolution". Profs. Dwight and Chase both were at the school. After the dinner, I went out with Mr. Asaina to see boarding places. We have decided to take our stopping place at No.33 Clinton street. There were two rooms, one was \$14 and the other \$16. We had decided to take the former one, but after we got home, changed our mind and decided to take the latter. All the friend [sic] got letters from Japan. Went bed at 12 p.m.

WEDNESDAY, February 2

An unpleasant day and snowed little. Thero. 32°

I was up at 7 a.m. and went to my study as usual. After the tea we went to the school about one hour before the time, and looked for cases at the library, but found no suitable case. I stopped at 33 Clinton and told that we had decided to take the large room. Mr. Asaina bought boxes for the packing boxes. I expected letters from Japan all day but did not come. Profs. Dwight and Chase were at the school. We had decided to remove here by next Saturday. At about 11 o'clock Asaina and myself went out. I went bed at 11<sup>30</sup>.

THURSDAY, February 3

A fine morning and clouded after noon. Thero.

I got up at the usual time and studied as usual. Mr. Asaina packed my books in the new box. We went to the school as usual. Prof. Dwight and Chase both were in the school. At about 7 p.m. the snow storm commenced and it was about 4 inches deep at 10 p.m. After we finished our studies we went out to see the evening view of snow and we walked in the Madison Square about one hour. On way the home we stopped at an oyster-house and had a nice time. We sat a quite long time in our room. I got my washing \$.75 I went bed at about 11 o'clock. This after noon I took a bath.

FRIDAY, February 4

A clouded morning and nice after noon Thero.

I was little later than other day. It was 7<sup>30</sup> a.m. when I got up. I proposed little for our J. L. C. meeting this evening. The subject was Rights and the Change of [Pen]. Mr. Miura and I went to the school. Prof. Chase was in the school and heard our moot court. Mr. Asaina packed all things for me so as to get ready to remove by tomorrow. I called a gasman to fix gas-burner for which paid 50¢. After the dinner we went over to the 23 St. to attend in J. L. C. meeting Mr. Megata being absent and we had very short discourses. Though we stayed till 11<sup>30</sup>. After we got home we talked a little while and went to bed at 12<sup>30</sup>.

SATURDAY, February 5

A beautiful day. Thero. 16°

Got up at about 7.30 a.m. After we had finished, I went out to get an express man to carry our trunks to 33 Clinton Place. I met with Mr. Imadate last evening. He came to see us this morning and we talked about my visit at Fukui and [Fuchia]. I wrote a card to Ii and Ishigro and a letter to Mrs. Smith in informing my new address. After the tea we left the house and came to here-No.33 Clinton Place. N.Y City. The rooms are just suit to us, but the food is not good and rooms are very cold. We received \$4.<sup>00</sup> from Agee and Miura for the coal, and we paid \$5.<sup>00</sup> for the express. Agee and Imadate called on us and we went to take a walk and stopped at an oyster house. Went bed at 11<sup>30</sup>.

SUNDAY, February 6

A clouded day. Thero. 19°

Got up at 8 a.m. It was fearfully cold in the room for the fire had gone at the midnight and we had a great timber in starting the fire. As I could not stay in the room, Asaina and myself went out to Mr. Shimizu's house. I wrote a letter to Miss Hoyt last night and a letter to Mr. Donald this morning. After the dinner I went to call on Mr. Hallett but as he was out I called at Mrs. Wood's

house. They were all well and got home at the tea time. After the tea we went to Mr. Ota's room for we could not stay in our room on account of escaping gas [sic] and got home about 11 p.m. and immediately went to bed.

MONDAY, February 7

A beautiful day. Thero. 34°

Got up at 7 a.m. —The room was very cold for the fire had gone again last night. As the gas escaped from the stove and prevented us from staying in the room, we went in the parlor to study and stayed there a little while. My lesson was very hard and not very well prepared today, still I did not miss a question in the school. Profs. Dwight and Chase both were in the school. I got letters from Col. Wright, Mrs. Smith, Ii, and Ishigro. Col. Wright acknowledged in his letter that the bill had been erroneously made. Prof. Dwight delivered his lecture in regard to the course of legal study and expressed his opinions about the admission of the law students to the bar. But I was little too late to attend and I regretted very much. Went bed at 11 p.m.

TUESDAY, February 8

A nice day Thero. 35°

I was up at about 7 a.m. I found the room very comfortable this morning for the fire had been kept all the night. Studied as usual. Went to the school from 2<sup>45</sup>. Profs. Dwight and Chase both were in the school. After the school was over I went to the library to look for some cases, but found very few. I sent my soiled clothings [sic] to get washed. I bought a paper which contained the lecture of Prof. Dwight. After the dinner I went out with Mr. Asaina to see the fire on the Broadway. It burned about two or three houses. After I got home I copied [sic] today's lecture and studied a little while and went to bed at 11<sup>45</sup>.

WEDNESDAY, February 9

A clouded day. Thero. 36°

Got up at 7 a.m. and had the breakfast immediately. Studied as usual and went to the school. Our lessons in Blackstone was [sic] completed today. After the dinner I went out to take a walk and called on Mr. Hart. I bought one lb. of Vermicelli and one doz. of eggs. We studied till 11p.m. After that we went bed at 1 a.m. Now the stove is fixed nicely and everything is all right, except food.

THURSDAY, February 10

A beautiful day. Thero. 47°

I got up at the usual time and studied as usual. We commenced the study of Real Estate by Washturn from today. Profs. Dwight and Chase both were in the school. I got letters from Japan, one from Mr. Nishimura and the other from Mr. Makuhara. Received from Japan \$912.26 in American gold which was 950 yen in Jap. Ii—500,—Soma—350, Ishigro—100. This bill of exchange was drawn upon (Bank of British North America) 52 Wale St. Mr. Nishimura's letter said that he had sent a box by the P. M. S. Co. for which I received its receipt. Got letter from Miss Lencks. Went bed at 12 p.m.

FRIDAY, February 11

A clouded day. Thero. 43°

As I had gone to bed last night very late I was very sleepy when I was awaked by the breakfast



bell. I studied my moot court case all the morning. Went to the school. Prof. Chase was in the school and heard the moot-court's discussions. Mr. Asano called to see us this after noon. I had finished the writing of my moot court case just before the dinner, and went to W 23 St. We had a nice meeting. Mr. Agee and Mr. Asano came with me to home and studied a while. Went bed at 12<sup>30</sup>.

#### SATURDAY, February 12

A very fine day. Thero. 44°

Got up at about 8 a.m. Soon after the breakfast Asaina, Asano and myself went out to the town. Stopped at Jap. Consulate. Inquired at the nation's express office about the bill of [layding]. Got cashed the bill of exchange which I received from Japan at B. North American Bank and deposited in Park Bank \$900 in gold with the name of Mr. Asaina. Bought a lecture book. Took our dinner on the Broadway. Bought 2 pencils copied [sic] three day's lectures after got home. In evening, Messrs. Agee and Asano came to see us and made a Jap. table, which was very nice. Went bed at 1<sup>30</sup> a.m. (advanced for Mr. Asano \$8.75)

#### SUNDAY, February 13

A nice morning and clouded after noon. Thero. 49°

Got up at 8 a.m. Mr. Ohta called on us and gave us his pictures. Wrote letters to Col. Wright. Mrs. Peck, Ii and Ishigro. After noon Ohta, Asano, Asaina and myself went to the Central Park and had a nice walk. I settled all my account with Mr. Asaina and paid to him \$2.<sup>00</sup>. At the evening Shimidz called here and Mr. Asaina made Jap. Shushi and we had a very nice time. After we had finished we went out to take a walk. Wrote a letter to S. to send by Mr. Asano. Went bed at 12<sup>30</sup>.

#### MONDAY, February 14

A rainy day. Thero. 40°

Got up at 7<sup>30</sup>. Yesterday I went to Col. Wright to place on my credit in his book the amount of the errors \$11<sup>36</sup>. Paid for the changes of the box which came from Japan. Received from Asano \$8.75. Went to the school. Profs. Dwight and Chase both at the school. Sent a card to Ii and Ishigro. Got letters from them. Bought Tabaco [sic] at \$1.50. Sent my soiled clothings [sic] to wash. I went bed at 11<sup>15</sup>. It commenced raining very hard.

#### TUESDAY, February 15

A rainy morning and fine after noon. Thero. 40°

Got up at 7 a.m. studied as usual. Asano left for Japan. Received a box from Japan in which contained Jap. tins, papers, inks, tooth powders, silks, papers of Hikone corporation and letters from Nishimura, Mukasa, Tani, Tanabe, Ohigash and Ishigro. It was mentioned in Nishimura's letter and also in Mukasa's that 350 yen which I had received was not entirely this half year's expense, but 100 yen was for last year's which they advanced according to my request. And also received Jap. news paper. Went (to) the school as usual. A lecture on cruelty to animals was delivered this evening in the lecture room. Went to bed 11<sup>30</sup>.

#### WEDNESDAY, February 16

A beautiful day. Thero. 28°

Got up at usual time and studied as usual. Last night I wrote letters to Ii, Ishigro and Donald (and) Wright and sent to them. Letters came from Japan. Went to School. Profs. Dwight and Chase were in the school. Mr. Ohta was in my room when I came home from the school. After the tea I went out with Asaina to take a walk and thence I went to the school. The debate between Columbia and Barnard clubs was excellent. Prof. Dwight gave a decision in favor of the Barnard club. Studied two hours after I came home and went bed at 12 p.m.

THURSDAY, February 17

A nice morning and little snow in after noon. Thero. 24°

Got up at 7<sup>35</sup> and studied as usual. Went to the school. Profs. were at the school. Got a letter from Mr. Donald in which enclosed Ii's. I corrected his letter to home and sent to Peekskill. After I came back the school, I read the papers which received from Japan. I was very much pleased with the success and advancement in the undertakings of our friends in Hikone. Went about twice in the evening to take a walk. I read again the remaining papers. We made Jap. Somen and had a nice time. Went to bed at nearly 2 a.m.

FRIDAY, February 18

A beautiful morning Thero. 29°

Got up at 7<sup>30</sup>. Soon after I finished my breakfast I commenced again the reading of the paper which I received from Japan. Went to the school. Prof. Chase heard our moot court discussion. After I got home from the school I copied [sic] my lecture note as usual. Right after the tea I went to 23 St. with Mr. Asaina. We had a nice moot court this evening. I asked them after our regular exercises were over. "What can and must we do to suppress the political parties of Japan from preventing the [ ] progress." Each made some speech. Went bed 1<sup>30</sup>.

SATURDAY, February 19

A fine day Thero. 28°

I got up at 8 a.m. and commenced writing letters to Japan and continued till the night. I wrote to the following persons, Father, Nishimura, Mukasa, Ohigashi, Omihara, Ishigro, Mokuhara and Ikeda. I sent the last half year's report of Ii and Ishigro to their homes. I got a letter from Taro in which he inclosed a letter to his father. After dinner I went out with Asaina and called on Ohta and went to see the museum. Got home about 10<sup>30</sup>. I went bed about 12<sup>15</sup>.

SUNDAY, February 20

A very fine day Thero. 35°

Got up at 9 a.m. After the breakfast, I went in the parlor and had some conversations with the boarders. One of them took me to the Masonic Temple 23 St. and 6 Ave. to hear Dr. Frothingham's doctrine. It was quite interested to me, but I thought that it is impossible to make people better in their morals by his doctrine. I was intended to mail letters when Ii send me his, but as I heard that the mail will close tomorrow, so I mailed ours without waiting from him. I wrote letters to Mrs. Smith, Ii and Ishigro. Megata and Ohta called here. Went bed at 11 p.m.

MONDAY, February 21

A fine morning and little snow in the evening . Thero. 24°

Got up at 7 a.m. Studied as usual. Went to the school. Profs. Dwight and Chase were in the school.

Got letters from Ii, Ishigro and Mrs. Smith. In the evening, I went out (with) Mr. Asahina and took a walk about a 1½ hours. Sent to my wash. As I have little trouble with my left eye since yesterday and did not read last and expect to go to bed early this evening. I got another letter from Ii this evening. Went to bed 11<sup>30</sup>.

TUESDAY, February 22

A beautiful day. Thero. 33°

Got up at 8 a.m. Wrote two letters—one to Franky Lencks and the other to Fukazawa in which I requested about boarding place for next summer. We had no school today on account of Washington's birth day. Mr. Ohta came to see us and we made Jap. Somen. After noon, I went with Mr. Asahina to Central Park and took a walk and got home about 6 p.m. In evening, Mr. Megata came to see us and stayed till 12<sup>15</sup> p.m. I got cold and had bad headache. My eye was not quite well yet. Went bed 12<sup>30</sup>.

WEDNESDAY, February 23

A nice cold day. Thero. 19°

When I got up at 7 a.m. I had still bad headache and felt very feverish. Although I did not feel like to study at all, but did as much as I could for I hated to stay at home without going to the school. After the tea I went to the school though I felt very bad. Profs. Dwight and Chase both in the school. I bought a bottle of ginger on the way to home. I got some Jap. Nori from Mr. Tomita. As I did not feel well I went bed very early. It was very cold evening. Thero. 13°. Retired at 9<sup>30</sup>.

THURSDAY, February 24

A fine morning Thero. 9°

Got up at 7 a.m. I had still bad headache and felt very weak for I had [Mozo] this morning. Still I prepared my lesson and went to the school. Profs. Dwight and Chase both were in the school. Mr. Wiegima stayed here from this morning to this after noon. I bought a dozen of eggs for I wanted to take raw one every morning for my health. As I felt very bad a whole day long I could not study much, but copied [sic] the lecture promptly. I took had brandy just before I went bed. It was at 10 p.m.

FRIDAY, February 25

A fine day. Thero. 26°

As I felt still unwell and had no fire in the room I stayed in bed until about 10<sup>30</sup> a.m. and took my breakfast in the same. When I got up I found somewhat better but did not feel like to do anything nor dare to go outside. Mr. Agee came to visit us and stayed till the noon. I went down for lunch and had little meat. Got a card from Fukuzawa and he accepted my requests. Yesterday I wrote letters to Ii and Ishigro. After noon, Ohta, Megata and others came to see us. I can found in my room all the day along. I did not go down to the dinner, but took Somen in evening. Went bed 10<sup>30</sup>.

SATURDAY, February 26

A fine day Thero. 19°

Got up at about 8 a.m. I was still unwell and not able to study much. I wrote letters to Ii and Ishigro. I went to the school. Profs. Dwight and Chase were in the school. The moot court was very interested. I bought some pills for Mr. Asaina. Though I had three meals, but felt very miserable

all the day along. I excused myself from our Jap. L. C. meeting. They held no meeting on account of many sickness. Just before I went bed I made hot Jap. Somen and took it as much as I could take. I went to bed at about 10<sup>30</sup>.

SUNDAY, February 27

A clouded day. Thero. 29°

Got up at about 8 a.m. I found my feeling better and went down for my breakfast and took eggs and little of meat. I read news paper all the morning. I had my dinner little. I wrote a card to Fukuzawa. I did not do anything much this after noon only read news papers and little of my study book. Mr. Asaina had been sick too and he was worse to-day. No friends came to see us. I felt better all the day along and I expected to be quite well by to-morrow. I took hot drink and went to bed at 10<sup>30</sup>.

MONDAY, February 28

A rainy day Thero. 28°

Got up at 7 a.m. I felt quite better this morning and I had my breakfast. I studied all the morning. I had the tea too. I went to the school. Profs. were in the school. I got letters from Ii and Ishigro. sickness [sic] was prevailing in the academy and Mrs. Wright was very sick. I was all the day better and I hope will be quite well by tomorrow. Asahina was worse and called a doctor in the evening. I took hot ginger just before I went to bed. I went to bed at 11 p.m. I wrote a card to Ii requesting to write an answer to Ishigro.

TUESDAY, February 29

A dark day and little snow. Thero. 28°

I got up at 7 a.m. I felt quite better this morning and studied all the forenoon. Mr. Shimidzu came to visit us and he bought a box for J. L. Club. I went to the school. When I got home, I found Ohta in my room. He stayed till the dinner time. Agee came too, to visit Mr. Asahina. I got a letter from Mrs. Peck. I closed my cashbook this evening and found that I had spent more than last month, and also settled all account with Mr. Asahina except that \$16<sup>00</sup>. I felt quite better all the along and I expected to be quite well tomorrow. Went bed at [sic].

### March 1876

WEDNESDAY, March 1

A dark day and snow Thero. 30°

I got up at 7 a.m. Miuras almost entirely well this morning. I studied as much as usual. Went to the school. Read the paper that the Korea government had received our ambassadors and gratified myself that there was a probability of no war. Wrote a letter to Mrs. Smith. It is a spring but never look so— It has been snowing since yesterday and everything look more like a winter. I had a nice conversation with Mr. Asahina about home. Went to bed at 10<sup>30</sup> p.m.

THURSDAY, March 2

A snow morning and nice after noon Thero. 26°

I got up at 7 a.m. and studied as usual. I was almost well. Went to the school. After I got home from the school, I went to take a walk. Mr. Ohta called on us and he persuaded me to accompany to a theater with him. So, I went with him to the Union Square theatre, and we enjoyed very

much. When I got home it was about 11 p.m. I had a little talk with Mr. Asahina and went to had about 12<sup>15</sup> p.m. Today I borrowed \$5<sup>00</sup> from Mr. Asahina.

#### FRIDAY, March 3

A beautiful morning. Thero. 19°

I awaked little before 7 a.m. after the breakfast, I copyed [sic] the yesterday's lecture and read a law book. Went to the school. The moot court was held and had nice discourses. I was appointed for next moot court. Mr. Tomita came to see Asahina who was better in his sickness. Jap. mail has arrived today but no letter came to me. No particular news was heard from Japan. In the evening I went to Jap. L. Club meeting and we had a nice meeting. Got a letter from Mr. Hart. Got home about 11 p.m. Went bed at 12 p.m.

#### SATURDAY, March 4

A fine day. Thero.

I got up at 7<sup>30</sup>. I had [Modzs] again this morning and I thought I was not quite well yet. After the breakfast I went to the school to make an arrangement about our next moot. I was appointed on the defendant's side by this lot. I stayed in the library with Mr. Green who was appointed on the defendant side till about 1 p.m. and then I went down to the S. S. Bank and drew out \$50<sup>00</sup>. Bought a box of envelops, a package of commercial notes and some other things. I took my lunch on the Broadway. I came home once and went to the library again and stayed till about 6 p.m. I paid back \$16<sup>00</sup> to Mr. Asahina. Studied all the evening and retired to bed at 11<sup>30</sup> p.m.

#### SUNDAY, March 5

A beautiful day. Thero.

I was up at about 8 a.m. Mr. Ohta called here in the morning. I went out to take a walk and stopped to see Mr. Agee and got home at the dinner time. After noon Tomita and Megata came here and stayed some hours and I went with them to their home and stayed after the tea. I came home Ohta at 9 p.m. and he stayed till after 10 p.m. After he went home I studied little. I settled with Mr. Asahina. Gave 50 cents to William. I have done. I went bed at 12 p.m. Mr. Asahina is still sick. Mr. Shimidzu was here too.

#### MONDAY, March 6

A beautiful day Thero.

I got up at just 7 a.m. Studied as usual in the morning and went to the school right after the lunch. I read some cases in order to prepare for the next moot court. I recited my lesson to-day. After the tea I went to Mr. Shimidz's house to borrow Kent Vol. II and so I did. I got letters from Mrs. Smith, Ii and Taro. In the evening, I copyed [sic] today's lecture and wrote something for the moot court and wrote a card to Ii and told him to write his letter to his brother over again. Retired to bed at 12<sup>15</sup>.

#### TUESDAY, March 7

A warm nice day Thero.

Got up at 7 a.m. studied as usual. Went to the school right after the lunch and stayed till the dinner time. I read some cases in order to prepare for the moot court. A mail arrived from Japan, but I have not yet received any letters. I studied till 12<sup>15</sup> p.m. and retired to bed.

WEDNESDAY, March 8

Rainy morning. Thero. 50°

Got up at 7 a.m. and studied as usual. Went to the school. After I got home from the school I spent all my time in preparing my moot court case. I went to bed at 12 p.m.

THURSDAY, March 9

Lovely morning Thero. 30°

I was up at the regular time and studied as usual. Went to the school. I spent all the evening in writing my moot court case, and retired to my bed at 1 a.m. Prof. Dwight was not in the school and Prof. Chase heard our lesson.

FRIDAY, March 10

A beautiful morning Thero. 30°

Got up at 7 a.m. After the breakfast I went to the school library to read some cases, and returned home at about 10 a.m. and then studied my regular lesson. Went to the school again and I took a part in the moot court, which I opened the case. On the way to home I took bath on the Broadway. After the tea I went Jap. L. C. meeting and we had a nice meeting. I bought fruits and candy to take up to Peekskill. Mr. Wye-gima came home with me. He was going to leave here tomorrow for England. I retired at 1 a.m.

SATURDAY, March 11

Clouded day Thero. 30°

I was up awaked by Mr. Asahina at about 6<sup>15</sup> a.m. I took my breakfast at just 7 a.m. and left home for Peekskill. I took 8 a.m. train from Grand Central Depot. I got in the village at about 9<sup>30</sup>. I took a carriage to the school. I found all friends except Mrs. Wright, at home. Ii was little sick with head ack [sic]. We sat quite late in the evening in Mrs. Smith room. I went to bed at 1<sup>15</sup> a.m. The bed was very cold. I took a walk to the village with Mrs. Peck. I received \$20<sup>00</sup> from Mrs. Smith.

SUNDAY, March 12

A dark morning. Thero. 32°

I got up at the time when all the boys were called by a dram. It was about 7 a.m. I did not go to a church, but stayed at home. I talked with Ii and Ishigro about their studies. I talked with Mrs. Smith and Peck great deal. When Mr. Donald got through his bible class, I had a long conversation in regard to Ishigro's study for the coming year and also in regard to the school in which I might enter. We had again a nice time at the evening. Retired to bed at about 11 p.m.

MONDAY, March 13

A rainy morning. Thero. 40°

I was awaked by a strong sounder and lightening and I got up at 6 a.m. I had intended to come back yesterday but could not do so. I took 6<sup>50</sup> a.m. train from there and got home at about 10 a.m. I commenced soon my study. I went to the school. Prof. Dwight was not in the school and Prof. Chase heard our lesson. I brought down Ii and Ishigro's letters to send to their homes. Ii was not quite well yesterday. I copied the lectures of the past days. Went to bed at 11 p.m. Mr. Shimizu and Ohta came to see us.

TUESDAY, March 14

A beautiful day. Thero. 20°

I got up at 6<sup>30</sup> and studied before the breakfast. We had agreed to go up early in morning and retire early in night. Studied all day as usual. Went to the school. Dwight was in the school and heard our lesson. Mr. Asahina went down to get exchanged my gold to paper money, but the gold was still 14¼, so, he did not get exchanged. After the dinner, I went out to take a walk and stopped to see Mr. Hart. Retired at 10<sup>35</sup>.

WEDNESDAY, March 15

A fine day Thero. 20°

I was up at little before 7 a.m. After the breakfast I studied as usual, went to the school and stopped in the library about an hour. I wrote a card to Ii and Ishigro and sent it to them today. I copied all lectures which I had not copied the last week. After the dinner I went out with Mr. Asahina and stopped to see Mr. Shimidzu and I called Mr. Ohta to take walk and we took a long walk and he came to my room and stayed a little while. Mr. Shimidzu gave me a bottle of champagne. Retired at 11 p.m.

THURSDAY, March 16

A rainy day. Thero. 30°

I got up at 7 a.m. and studied a little while before the breakfast. I studied all the morning as usual. I got a letter form Franky Lencks and knew that Abisha had been married. Mr. Hart called on me in the evening and we went together to the Barnard L. C. meeting. I was appointed for a [sic] associate judge for the evening, but I did not give my opinion about the case. I was appointed for a Counsel on the respondent side for the next meeting. Paid wash, I retired at 11<sup>30</sup> p.m. Mr. Asahina paid my wash for I paid his last week.

FRIDAY, March 17

A rainy morning. Thero. 36°

I got up at 7 a.m. After the breakfast I commenced writing letters and wrote letters to Father, Grandmother, Ikuta, Ishigro and Nishimura and Mukasa. And after noon wrote to Miss Hoyt and Mrs. Smith. I went to the school. The moot court in the school was very interesting. In the evening I went to the J. L. C. meeting and we had a nice meeting. After the regular meeting Mr. Agee proposed a subject in regards to the laws on rules of admitting lawyers at bar in Japan. And we argued quite a while. I came home at 11<sup>20</sup> p.m. and retired at 12 p.m.

SATURDAY, March 18

A fine day though cold. Thero. 29°

I got up at 7 a.m. and a letter to Messrs. Tani and Tanaby. After the lunch I went out (with) Mr. Asahina to get exchanged my gold, but I did not sell for gold was only 14¼. I bought Law books worth \$18.25. We stopped at the Consulate about an hour and came home. It was very cold with cutting wind. After dinner we went out again to buy something for the use of Jap. Sushi. I copied yesterday's lecture in the evening. We went out again to get a drink. I took a hot ginger and retired to bed at 11<sup>15</sup> p.m.

SUNDAY, March 19

A very beautiful day. Thero. 14°

A beautiful morning. I got up at 8 a.m. I copied last Friday's lecture and studied for preparing the case for next moot court. I did not go out at all. After noon, Agie, Shimizu and Ohta came to see us and the latter two stayed to take Jap. Sushi. We had a nice tea party and enjoyed very much. They went home at about 10 p.m. I wrote letters to Mr. Donald, Ii and Ishigro. I retired at 12 p.m. I expected to get up early tomorrow morning.

MONDAY, March 20

A clouded morning and snowing after noon. Thero. 19°

I was up at about 7 a.m. I studied as usual. After noon, I went to the school. The snow commenced while I was in the school. I stopped in the library to read some cases for the next moot court. I got home at about 6<sup>30</sup> p.m. I got letters from Mrs. Smith and Ishigro. I copied today's lecture in the evening and then studied the moot court case, but I found very difficulty in preparing it for it was very complicated. I retired at 11<sup>30</sup>. I expected to think more closely my case in the bed. It was very stormy night.

TUESDAY, March 21

A nice day. Thero. 46°

I got up at the usual time and studied as usual. I went to the school. I had a hard time in preparing my case for next moot court. I have not yet completed. I retired at 12 p.m. I did not go out at all today except to the school.

WEDNESDAY, March 22

A fine morning Thero. 26°

I got up at 6<sup>30</sup> and went to my studies as usual. I attended in the school. Mr. Asahina took down my gold \$12<sup>00</sup> to sell and the gold was very low 13 or 13 ½ %, so he did not sell it. After noon, Mr. Tomita came to see us and he studied a little while. I had a quite busy time in preparing my moot court case for tomorrow evening. I have nearly completed it. I went to bed at 12<sup>30</sup>.

THURSDAY, March 23

A lovely day Thero. 26°

I was up at my usual time. After the breakfast I went to see Mr. Shimizu, but he was not, so I took a little walk. After I got home I finished my moot court case and studied my lesson. I went to the school. The moot court of Barnard club was quite interesting and I took a part as I had been anticipated. When I got home from there, I found Mr. Asahina was still out, so I went to see Agee for I supposed Mr. Asahina was there, and we stayed there till 12 p.m. and came home and retired. I got letters from Japan.

FRIDAY, March 24

A fine day Thero. 30°

Got up at 7 a.m. After the breakfast I went to take a walk and stopped to see Mr. Hart. I got home at about 9 a.m. I copied the previews day's lecture. Went to the school. The moot court was quite interested. I stayed to hear the senior's reviewing on Parson's [sic]. I came home (with) Mr. Miura. After the dinner we three went to 23 St. We had a nice meeting in which I took a part. We agreed



that we argue something regards to Jap. news paper. We stopped to take a drink and got home at 11<sup>40</sup> and soon retired. I wrote letters to Ii and Ishigro.

#### SATURDAY, March 25

A rainy day. Thero. 35°

I got up at 8 a.m. I read Jap. news paper all the morning and wrote a letter to Lencks. After the lunch, I went down town with Messrs. Asahina and Shimizu. Gold was 114, so we did not sell our gold today. I went to see Abisha's sister as he wanted me to do so. But she has left 70 Broadway and met with her husband at the place where they used to live. I stopped at L. book store and came to the Consulate and stopped about an hour and came to home. We made in the evening Jap. Sushi and retired at 12 p.m. A letter from Ii.

#### SUNDAY, March 26

A beautiful morning. Thero. 39°

It was quite late when I got up. After I finished my breakfast I went to see Mr. Shimidz and Ohta. I went with the latter to the Masonic Temple, I was very much interested in his lecture. In the after noon Mr. Megata called on us and I went out with him to take a walk for which we enjoyed very much. I stopped in his house and came to Mr. Shimidz's house to wait for Messrs. Asahina and Ohta to go to a French restaurant. We four went to there and had a good time. They stopped on the way to home. I went to bed at 11<sup>30</sup>. I wrote letters to Smith and Ii and Shimizu.

#### MONDAY, March 27

A beautiful morning Thero. 36°

I got up at 7 a.m. and studied as usual. Went to the school and stayed to listen (to) the senior's review on Parson's [sic]. After the dinner I went out to take a walk with Asahina and got home at about 8 p.m. I got letters from Mrs. Smith, Ii and Ishigro, I copied today's lecture and commenced to write a letter to Carrie Bett. But I did not finish it. I got a card from the Consulate and informed me that a package was arrived at there. I retired at 11 p.m.

#### TUESDAY, March 28

A clouded day. Thero. 34°

I got up at 6<sup>40</sup> and studied. Went to the school and gave the Jap. news paper to Agee. I stayed to listen (to) senior's recitation. I requested Mr. Asahina to get expressed box which came to the Consulate. I copied today's lecture, wrote a letter to Carrie Bettman. We took a little drink before we went to the bed. Retired at 11<sup>30</sup>. It began a quite storm after 8 p.m. Paid for express 30 cents.

#### WEDNESDAY, March 29

A beautiful day. Thero. 42°

I was up before the breakfast bell ring. I studied as usual. Went to the school. After the dinner I went to see Mr. Ohta and took a walk with him. In the evening I copied today's lecture. After that Mr. Asahina took me to take a drink and we had a nice time. I bought postage stamp from Mr. Asahina. Retired to bed at 11<sup>30</sup>. We had a quite storm last night and it made some damage in the city.

#### THURSDAY, March 30

A clouded day. Thero. 37°

I got up at 6<sup>40</sup> a.m. Studied as usual. I received a box from Jap. in which contained 2 boxes of Candy and Nori and paper. I packed it again to send to Ii and wrote a letter to him. In evening I went to the school to hear a debating exercise. It was quite interesting. Mr. Asahina sold my gold \$912<sup>00</sup> for me at 13 7/8%, which was \$1037.<sup>66</sup>. Agee called to see us and stayed till 11<sup>30</sup> p.m. I retired at 12 p.m.

FRIDAY, March 31

A nice morning. Thero.

I was up at the usual time. I went with Mr. Asahina to deposit money in bank. I deposited \$600<sup>00</sup> in the German's Savings Bank, and also \$16<sup>20</sup> as a trustee for the Jap. L. C. in the same bank. And \$300<sup>00</sup> in the Seaman's Savings Bank. I stopped at the Consulate and came home with Mr. Asahina. Went to the school. The moot court was quite interesting. When I got home, I found Mr. Donald was waiting for me. He took dinner with me. We went out together and he went to hear Moody. I went to Jap. L. C. meeting. The regular meeting went on nicely but we found some trouble in Jap. news paper case. Agee came home with me and stayed over night.

### April 1876

SATURDAY, April 1

A fine day. Thero. 40°

Mr. Asahina went to Phila. Pa yesterday after noon. I got up at 7 a.m. Agee went home before the breakfast. After the breakfast, I went out to take a little walk. I copied the lectures. Wrote letters to Mrs. Smith and Miss Franky Lencks. In the after noon I went to see Agee and we took a walk on Broadway. There we met with Mr. Donald and I took him to [Dussmariro] to take a dinner. I left him on the 6 Ave. and went to see Mr. Tomita and stayed there till 11 p.m. Retired at 12 p.m.

SUNDAY, April 2

A fine day. Thero. 40°

I got up at 8 a.m. I went out to attend in a service at the Hippodrome, but it was not the time. I wrote letters to Miss Peck, Donald, Ii and Ishigro. In the after noon I read news papers. After the tea I called on Mr. Ohta but he was not at home so I went to the Hippodrome again to hear Moody and Sankey. There were many thousands of people and the large building was full. Mr. Megata called on me while I was not. I retired at 11<sup>15</sup> p.m.

MONDAY, April 3

A rainy day. Thero. 40°

I got up at 7 a.m. studied as usual. Mr. Asahina came home this morning. Went to the school. Got letters from Ii and Ishigro. Wrote a card to them and told them that if they cannot come down themselves, I would come up to take them down. I retired at 12 p.m.

TUESDAY, April 4

A rainy day. Thero. 42°

I was up at 7 a.m. Studied as much as usual. Went to the school. Mr. Agee came to see us and I got letters from Ishigro and news papers from Japan. After the dinner I went to the school to read some cases for my moot court case, but the door was locked, so I returned and studied at home.

After 10 p.m. I went out to take a drink and read little of Japanese news paper after I got home. Retired at 11<sup>10</sup> p.m.

WEDNESDAY, April 5

A beautiful day. Thero. 46°

Got up at 7 a.m. I studied as usual. Went to the school in morning to read some cases for my moot court case and stayed there about one and half hours. In the after noon attended in the regular school class. I took a bath on the way to home. Got a letter from Mrs. Peck. In evening, Mr. Ohta called on us. After I finished my work, we went out to take a drink. I sent to Mr. Asahina \$100<sup>00</sup> some time ago. I went to bed at 12 p.m.

THURSDAY, April 6

A very fine day. Thero. 45°

I got up at the usual time and studied as usual. Went to the school. Mr. Sato arrived in the city this morning, but did not see him. Messrs. Shimidz, Takei and Matsudaira called here this after noon. After the tea I went to call on Abisha's sister and I found her and her husband at home. I took a package of candy to her boy. I stayed about an hour. I studied for preparing the next moot court case. Mr. Asashina bought for me pins and pencils. Retired at 12 p.m. Received \$100 from Mr. Asahina which had lent him.

FRIDAY, April 7

A nice day. Thero. 42°

I got up 7 a.m. and studied as usual. Went to the school. Mrs. Wright brought down Ii to my house. I had a talk with her just a few minutes. Ishigro came in the after noon. I went to Japanese L. Club. meeting. We have decided that we shall take our moot court cases from Boston L. school, for in our school we have no more moot court. After I got home I made Japanese Somen for the boys and we enjoyed it very much. They stayed in our room. We retired at 12<sup>30</sup> p.m.

SATURDAY, April 8

A fine day. Thero. 42°

Got up at 7 a.m. After the breakfast I took the boys to buy their clothings [sic]. Went to Devlin and C459 and 461 Broadway and bought them. After supper I took the boys to Central Park and we enjoyed very much. Messrs. Hasegawa and Matsui called on us and the latter gave me his picture. In the evening we made Japanese Sushi for the boys for which they pleased very much. We retired at 12 p.m.

SUNDAY, April 9

A beautiful day. Thero. 35°

It being a Sunday, I got up 8 a.m. I copied the lecture. Let the boys write letters to Japanese and I corrected them. Messrs. Sato and Date came to see me and stayed till 12<sup>30</sup> a.m. In that after noon Messrs. Ohta, Megata and a gentleman came to see us. Messrs. Asahina, Ohta and myself went to Green Point and got home at 6.30 p.m. Mr. Asahina went to Boston this evening. Agee came to see us. I made Japanese Sushi for them. Retired at 12 p.m.

MONDAY, April 10

A fine day. Thero. 35°

I got up at 7 a.m. I studied as usual. Went to the school. As the Prof. Dwight was absent we had no recitation and instead of that we wrote the lecture for 1½ hours. Ishigro went to home. Let him express a package to his home. Miura came here with me from the school and went away before the dinner. After the dinner I went out with Ii. After we got home, I heard his lesson which he had studied at the academy. Retired at 12 p.m.

TUESDAY, April 11

A beautiful day. Thero. 40°

I got up at 7 a.m. and studied as usual. I sent out Ii to the street to find where the new post office is. He did go through I was very unwilling, but I could not find Japanese Consulate. I went to the school. I gave to Ii several examples of arithmetic, but he worked only 2 or 3. I had very hard time in examining Ii in his studies. And I spent almost all the evening, though I copied all the lectures. After we finished our studies, we went out and took a refreshment at a oyster's house. Retired 10<sup>30</sup> p.m.

WEDNESDAY, April 12

A clouded day. Thero. 55°

I got up at 7 a.m. and studied as usual. Ii went out to get a new key, for he had broken our [sic] last evening. Went to the school. Got a letter from Ishigro and knew that he had returned safely. After the dinner, we went to see Mr. Tomita and stayed in his room about a half an hour. I heard Ii's lessons. He was very good in arithmetic and rather poor in grammar. I spent about 2 hours in teaching him, and after that I copied today's lecture. I retired at 11<sup>30</sup> p.m.

THURSDAY, April 13

A clouded day. Thero. 55°

I was up at the usual time and studied as usual. Went to the school. I examined Ii. He was very good in arithmetic and geography but very poor in grammar. In the evening I took Ii to the French restaurant and we had a nice time. Mr. Asahina returned today. Mr. Hiraoka came with him. I spend \$2<sup>00</sup> for wash which [sic] \$1<sup>00</sup> for Mr. Asahina. I sent out Ii to buy a gift to Mrs. Wright. He bought a basket of fruits. I ordered a spectacle frame for \$2<sup>50</sup>. Retired at 12 p.m.

FRIDAY, April 14

A clouded day. Thero. 50°

I got up at 7 a.m. and copied yesterday's lecture in the morning. We left our house at 10 a.m. and took 11 o'clock train from Grand Central Depot to Peekskill. We met with Mrs. Peck at the depot and we rode together on a carriage up to the academy. I found all well. Miss [Sarlia] Bard here. Mr. Donald got home from the north this evening. In the evening I went out to call on Mr. Hart. He was not at home but I met him on the street. We had a nice [sic] in the evening. Retired at 12<sup>30</sup> p.m.

SATURDAY, April 15

A very beautiful morning. Thero. 54°

I got up at 7 a.m. In the morning I went down town and got fixed my watch. After noon I went to see Mr. Hart and we took a little walk with him. I met with Mr. Coffin on the street. After the tea

we went up to Mr. Hyatt's house. Mrs. [ ] came to there and we went with her. Paid the schoolings of Ii and Ishigro, through my credit of the last account being forwarded. We had a nice time in the evening and retired at 11 p.m. I spoke to Ishigro about his painting on Saturday.

SUNDAY, April 16

A fine day. Thero. 52°

I got up at 7<sup>30</sup>. I stayed at home with Mrs. Smith and Peck. I talked with Ii about his study and recommended him to study more industriously. After lunch I went to Mr. Hyatt's house with Mrs. Peck. I asked Messrs. Wright and Donald their pictures to send to the boys homes. I took 4<sup>30</sup> p.m. train and got in the city at about 6<sup>30</sup> p.m. When I got home I found Komuchi, Megata and Ohta making Jap. Sushi. Agee came too. So we had a nice time. Went to bed at 12 p.m.

MONDAY, April 17

A nice day. Thero. 48°

Got up at 9 a.m. Studied as usual. Went to get my spectacles which I had sent to get mended. I sent a telegraph to Mr. Miura about the lecture book. Went to the school. Prof. Chase was not in the school so we had no lecture. Mr. Miura came with the lecture book. We got to commence the 3 vol. [sic] of Washburn from tomorrow. In the evening, I went out with Mr. Asahina and bought a pair of slippers. Wrote letters to Japan — to Father, Ishigro, Ohmihara and retired 12 p.m.

TUESDAY, April 18

A fine day. Thero. 38°

I was up at 7 a.m. Studied as usual. Went to the school. In the evening, Mr. Agee called to see me. I wrote a letter to Jeu shi Ii. Mr. Asahina bought a plentiful beer. And we had a nice time at home. Retired at 11<sup>30</sup> p.m. I wrote a card to Ii and Ishigro.

WEDNESDAY, April 19

A nice day. Thero. 38°

Got up at the usual time and studied as usual. Went to the school and remained to listen (to) the senior's recitations. After the dinner, I went out and called on Mr. Hart and took a walk with him. Copied [sic] the lecture. Mr. Asashina got a bottle of beer and I took some before I went to bed. I finished letters to Japan. I was going to send Col. Wright's and Mr. Donald's pictures to Jeu shi Ii and Ishigro and also Ii's pictures to his brother. I sent also the reports of Ii and Ishigro for 10 weeks. Retired at 11<sup>30</sup> p.m. I wrote letters to the following persons 井伊、西村、武笠、相馬、大河内、石黒.

THURSDAY, April 20

A beautiful day and rainy evening Thero. 35°

I was up at 7 a.m. Studied as usual. Went to the school. Mailed letters to Japan. After the dinner Mr. Agee called here and we went to Mr. Ohta's house and stayed till 11 p.m. I retired at 12<sup>30</sup>.

FRIDAY, April 21

A beautiful day. Thero. 52°

I(t) was just 7 a.m. when I got up and I immediately went down for the breakfast. After the breakfast I read a book for our moot court case. Went to take a bath and to get haircut. After the

lunch, I studied Parson's [sic] to attend in the senior's recitation. Went to the school and stayed till 6 p.m. We had the lecture for two hours. When I got home I found Miura in my room. I invited him to take a dinner with me and after that we went to Jap. L. Club. We had rather a poor meeting. I stopped with Agee to take a drink and got home about 11<sup>40</sup> and wrote a letter to Mrs. Smith. Went bed at 1 a.m. next.

SATURDAY, April 22

A nice day. Thero. 55°

It was after 7 a.m. when I was up. Went out to see Messrs. Mito. And Tutchiura. After that I went to call on Agee and I went with him to down town. I ordered a tall hat at \$8<sup>00</sup> in Broadway. Went to the Consulate and thence went to see Sato. We stayed there quite long and went together to take a lunch. I bought Jap. pictures from him which cost me \$4<sup>50</sup> @ 75<sup>ct</sup> piece. Bought two lecture books at \$2<sup>80</sup>. After I got home, copied nearly all the lecture given on Friday. Went out to take some to eat and retired at 12 p.m.

SUNDAY, April 23

A very nice day. Thero. 56°

I was up at 7<sup>30</sup> a.m. Soon after the breakfast I went with Mr. Asahina to call on Mr. Tomita. We stayed till the dinner time. After noon Mr. Ohta came to see us and in the evening we had Jap. Sushi which we enjoyed very much and went out together to take a walk. It was nearly 12 p.m. when we got home. Day before yesterday, I got a letter from Lencks' folks. I wrote letters to Charly Bettman and Ii and Ishigro. Retired at 12 p.m.

MONDAY, April 24

A fine day Thero. 44°

I was up at 7 a.m. and studied as usual. Went to the school. Mr. Agee came to see me and took my law book and the charts. Got letters from Ii, Taro and Smith. I wrote letters to Ii, Taro and Donald and I corrected Ii's letter. I sent a catalogue of Amherst college which I received from Tomita to Mr. Donald. I wrote to them about Ishigro's study. I went to bed at 12 p.m.

TUESDAY, April 25

A beautiful day. Thero. 46°

I was up at 7 a.m. Studied as usual. Went to the school and stayed till 4<sup>15</sup> p.m. in the library. After the dinner went out with Mr. Asahina to take a walk and stopped at a museum on the Broadway. Got home at 9 p.m. Wrote a card to Fukazawa. Retired at 11<sup>30</sup>.

WEDNESDAY, April 26

A fine day. Thero. 40°

I got up at 6<sup>30</sup> and studied little before the breakfast, and continued as usual till 3 p.m. Went to the school and stopped in the library a few minutes. It was the day to receive letters from Japan, but none came to me. After the dinner I went out with Mr. Asahina to take a walk and I (s)topped to see Mr. Hasegawa and returned home at about 8 p.m. Copped [sic] today's lecture. Retired at 11<sup>30</sup> p.m.

THURSDAY, April 27

A nice day. Thero. 45°

I got up little earlier than any other day. It was about 6 a.m. when I was up and studied as usual till the school time. Wen to the school. Got a letter from Ishigro and a card from Yegawa. I expected to get some letters from Japan but no letter came. After the tea I went out with Mr. Asahina and had a long walk. Came home at about 8 p.m. I thought something about on moot court argument. Retired at 11 p.m. Mr. Megata came here to inform me about the change of his Broadway place.

FRIDAY, April 28

A clouded day Thero. 52°

I was up at 7 a.m. Went out to call on Agee and stopped at the school with Prof. Dwight. I went again to the school to see the Prize Examination. There were about 25 students to be examined. I got my tall hat and also I bought a silk handkerchiefs and neckties. Mr. Megata came to see us and stayed till the meeting. The Jap. L. Club meeting was held in this room and all members were present except Komuchi. The subject which we discussed was the regulation of news paper. The meeting was over 11<sup>30</sup> and I went out with Asahina to take some to eat. Retired at 12<sup>15</sup> p.m.

SATURDAY, April 29

A fine day. Thero. 46°

It was about 8 a.m. when I was up. After the breakfast I went to Jap. Consulate with Mr. Asashina and stayed till 12<sup>30</sup> a.m. When we got home, it was just 1 p.m. I made index of the lecture on criminal Law. After the dinner I went out again and called on Agee and we had a long talk on Law. We took a little walk in the Broadway and had a glass of beer. I got home at 11<sup>30</sup> p.m. Retired at 12 p.m. I wrote a letter to Mr. Tomita last night in requesting him to get a law book from Mr. Yoshida.

SUNDAY, April 30

A fine morning and cloudy noon. Thero. 50°

I was up at 8<sup>30</sup> a.m. After the breakfast I read Jap. news paper and Mr. Tomita called here. After dinner I went to see Sato and Miura and got home at about 5<sup>30</sup> p.m. Messrs. Agee and Ohta were here and they stayed till supper. After the supper I went out with Mr. Asahina to take a walk and when we got found Matsui in our room, he stayed till 11<sup>30</sup>. We made Somen. I wrote letters to Ii and Ishigro. Retired at 12<sup>30</sup> p.m.

## May 1876

MONDAY, May 1

A fine day. Thero. 38°

I was up at 7 a.m. I studied all the morning as usual, though my mind was not clear to day, so I did not understand my lesson very clearly. Went to the school. After the school was over I came home with Miura and we questioned each other many points given in the Prize Examination paper. After the dinner I went out to take a walk and stopped at Mr. Hart's house and we had again several questions in regards to many points of law. Got letters from Mrs. Peck, Smith, Ii and Taro. Retired at 11 p.m.

TUESDAY, May 2

A nice day. Thero.

Got up at 7 a.m. I did all my work as usual. Went to the school. Mr. Miura came here with me and stayed a little while. After the dinner I went out with Mr. Asahina to take a walk and we as far as to the 2 Ave. After I got home I copied today's lecture and read few pages in Parson [sic] for next moot court case. I lent to Mr. Asahina \$10<sup>00</sup>. I got a letter from Charles Bettman and I heard the death of his father last Sunday. Retired at 11<sup>30</sup> p.m.

WEDNESDAY, May 3

A clouded day Thero. 49°

I got up at 7 a.m. and studied as usual. Went to the school and stayed in the library till 6 p.m. After the dinner, I copied my lecture as usual and I went out to take a little walk with Mr. Asahina and we stopped to get a drink. We got (home) at about 11<sup>30</sup> and soon retired.

THURSDAY, May 4

A fine day Thero. 48°

I got up at the usual time and studied my lesson as usual. Went to the school. It was the closing day of our Barnard L. Club, and we had a dinner at a restaurant. There were about 30 members present. After we got through our dinner, many of us made some speech. I made a speech in Jap. language. Our contribution was \$1<sup>50</sup> each. I got home at 12<sup>30</sup> p.m. Mr. Agee gave to me a ticket for the law school commencement.

FRIDAY, May 5

A nice day. Thero. 48°

I was up at 7 a.m. Shortly after the breakfast, I went down to Japanese Consulate with Mr. Megata and we went together to the law library at the new post office building. It was about 12<sup>30</sup> when I got home. After the supper I went to the school to read some cases. I had a hard time in preparing the moot court case, for it was a bad case for my side. We had a lecture for 1½ hours. We had our Jap. L. Club meeting in my room. I proposed one thing in regards to our club. That was to establish some contribution to affirm the organization. I retired at 12 p.m.

SATURDAY, May 6

A fine warm day. Thero. 53°

It was after 7 a.m. when I got up. After the breakfast I went down town with Mr. Asahina, I went to Mr. Sato's office to see his goods to be sold. Then I came to the Jap. Consulate. Messrs. Fukazawa and Iwanaga were there. They were going to leave this country for Japan by the steamer which will leave San Francisco 1<sup>st</sup> June. We got home at about 1 p.m. I copied all my lectures. Wrote letters to Ii and Mrs. Smith. I had had headache. Retired at 10<sup>30</sup> p.m.

SUNDAY, May 7

A very fine day. Thero. 65°

I was up at about 8 a.m. It was very hot all the day along. The theromometer [sic] indicated 90° at the mid-day. I went out to take a walk with Mr. Asahina and called on Ohta and we walked together and all came to our room. I wrote letters to Ishigro, Mrs. Peck, A and F. Lencks. In the evening Mr. Shimidz came here and we had Jap. dinner. I did not feel well since yesterday on account of such sudden change of the weather and I would not sleep well in the night.



MONDAY, May 8

A nice morning and rain after noon Thero. 72°

As I could not sleep comfortably on account of the warm night, I was rather late to get up. It was about 7<sup>15</sup> a.m. I studied as usual. Mr. Tomita came to see us. I went to the school. Our recitation closed today, and the Prof. Dwight told us that it would be advantageous for us to read the same ground what we have give [sic]. I got letters from Japan — Nishimura, Mukasa, Ikuta, Hirose and Mokuhara and also from Ishigro and Tani and Tanabe. Got \$91<sup>73</sup> in gold for Ishigro. I went to see Fukazawa at 23 St. And went to a saloon. Got home at about 12 p.m. and retired at 1 a.m.

TUESDAY, May 9

A rainy day. hero. 60°

Got up at 7 a.m. Mr. Tuchiya and [Master] Kikkawa came here before our breakfast. I went to 23 St. to see Fukazawa. I went to the Consulate to see Mr. Tomita in regard to the matter of Tanaka. I spoke to him for Tuchiya's sake. Fukazawa and Tuchiya and Kikkawa went to Phila. Mr. Asahina and myself went to the Jersey City to see Tuchiya and Kikkawa off. I ordered my coat in the Broadway No.459 at the price of \$25 which I paid \$5 in advance. In the evening I went to see Agee. Had a bath. Wrote a letter and sent Ishi's letter from home to him. Retired at 11.15.

WEDNESDAY, May 10

A rainy day. Thero.

I was up at 7 a.m. Matsudaira and Komai came to see Mr. Asahina. I went to the school to see the senior's graduating examinations. The examination was made by Prof. Dwight. There were the gentlemen numbering about 5 from the N.Y. Bar Association. Prof. Chase was there too. The recitation room was crowded by the students. I came home at 12 p.m. Got Jap. news paper. I stayed at home all the after noon. Messrs. Tomita and Megata came to see us and I made tea for them. After the dinner I went to see Mr. Hart. Got home about 8 p.m. Retired at 12 p.m. It was still raining.

THURSDAY, May 11

A nice day Thero. 54°

I was up at the usual time. After the breakfast I went to see Mr. Shimidz but I did not see him. He called here while Mr. Megata was here and we together to the school to see the graduating examination. I got home at 1 p.m. Got a letter from Miss Hoyt. In the after noon Mr. Megata and Hiraoka came here and we had talkings [sic]. Hiraoka stayed here. I went to the school again. I read the lecture very little today. We had Jap. Meshi. Retired at 11<sup>30</sup>.

FRIDAY, May 12

A rainy day. Thero. 58°

Got up at 7 a.m. I went to the Bar. Association Library to read some cases. It is situated in the 29<sup>th</sup> St. between the Broadway and 5<sup>th</sup> Ave. It rained quite hard while I was searching the building and also while staying there. I got home at about 3 p.m. I wrote a letter to Miss Hoyt. Got a letter from Ii in which I enclosed the letters to Japan. We had our Jap. L. meeting in my room. Megata and Miura were present. I talked about the summer [     ]. They went home at 11 p.m. and I retired at 12 p.m.

SATURDAY, May 13

A beautiful day Thero. 54°

Got up at 7 a.m. Went down to the town with Mr. Miura to see Mr. Brown. Sold the gold \$91.73 at 12 3/8% which was \$102.98. Wrote an answer to Ii and corrected his letters to Japan. After the tea I went to the Dry goods store to get my ordered coat, but it was not well made so I left it at the store. I wrote letters to Japan namely to Father, Mikasa, Nishimura, Ikuta, Hirose, Ishigro and Mokuhara and requested them to send letters to the Jap. Consulate. Retired at 12<sup>30</sup> p.m.

SUNDAY, May 14

A very fine day. Thero. 55°

It was after 8 a.m. when I was up. After the breakfast, I read Jap. news paper and then went to the church of Strangers to attend the service. In the after noon, I went to the Central Park with Mr. Asahina. It was very pleasant in the Park—everything green with tender foragis [sic]. Wrote letters to Ishigro and Smith. Messrs. Ohta and Megata called here in the evening and they stayed till 11 p.m. I went to bed at 12 p.m.

MONDAY, May 15

A nice day. Thero. 55°

I was about 7 a.m. when I was up. Right after the breakfast I went to the tailor but my coat was not done. I contracted to buy a vest. They promised to me to send this evening but they did not so. Went to the school. We had a short lecture on account of waiting the morning session to catch us. I got two general invitation cards and sent them to Woods and [ ] and [ ]. In the evening, I went to see Mr. Hart and we talked great deal on the religious subject. Got a cards for Megata from him. Bought a package of cards. Copied [sic] all my lecture. Retired at 12 p.m.

TUESDAY, May 16

A nice day. Thero. 54°

Got up at 7 a.m. Copied [sic] lecture all the morning. Went to the school. We had the only lecture. My ordered cloths did not come, so I went to the store where I ordered them, but it was closed. I called to see Agee, he came with me to my room and we had conversations till 11 p.m. Then we went out to take some Sake. We got home about 12<sup>30</sup>. I went out at noon to buy a pair of shoes. Retired at 1 a.m.

WEDNESDAY, May 17

A clouded day. Thero. 52°

I was up at 7 a.m. Copied the lecture all the morning. Went to the school. Mr. Hart came with me to my room. In the evening, we went to the Academy of Music. It was the annual commencement of Columbia L. school. There was crowded with the people. Prof. Dwight made an address. It was entirely upon the principle of law which was very valuable for us. Agee was graduated and also received an honorable mention on Political Science. I got home at about 12 p.m. Retired soon. My coat and vest were done today.

THURSDAY, May 18

A clouded day. Thero. 56°

I got up at the usual time and copied my lecture. In the after noon went to the school. I got very

tired by writing. I have decided not to attend the lecture and to borrow the lecture book from Mr. Merson. As I knew that Mrs. Smith was at Green Point by the letter from Mr. Donald which I received yesterday, I went there to see her. I found Mrs. Wright there too. We had the game of card and stayed till 10 p.m. and got home 11 p.m. Mr. Hiraoka was here, he was going to leave for Japan tomorrow. We had Sake and retired at 1 a.m.

FRIDAY, May 19

A very nice day. Thero. 60°

I was up at 7 a.m. Mr. Hiraoka stayed with me last evening. Copied the lecture on Equity all the day along. Mr. Tuchiya, Hiraoka and Kikkawa left here for Japan. I did not go to the school to take note today for I expected to borrow the book from Mr. Merson. We had Jap. L. Club meeting in my room. All the members were present. We argued to adopt a written constitution of the club. Agee and myself were chosen for a committee. I retired at 12 p.m.

SATURDAY, May 20

A fine day. Thero. 61°

I was up at 7 a.m. I met with Mr. Tomita when I was going to see Agee. As Agee was not at home I went to thence to Jap. Consulate There I met with Fukazawa, Iwanaga and others. In the after (noon) I called at a hotel to see them off, for they were going to leave for Japan. We took a Lunch at the 23 St. and I went then to Peekskill. I found all folks well. Mrs. Smith was still out of home. We sat in Mrs. Peck's room till about 11 p.m. and retired. I wrote a letter to Tsda [sic] in regard to our arrangement to start for Phila, Pa.

SUNDAY, May 21

A nice day Thero. 67°

It was a nice morning when I was up at about 7 a.m. I went to a church with Mr. Biggs. I talked with Ii and Ishigro about their studies and conduct. After noon I went with Mrs. Peck and [Gerty] to Mr. Hyatt's house and we took the tea with him. It became very dark with thunder and lightening. I sat in Mrs. Wright's room a little which in the evening and stayed in Mrs. Peck's room till 11 p.m. and retired .

MONDAY, May 22

A dark morning. Thero. 70°

It was about 630 a.m. when I got up. I took a 10<sup>15</sup> train to N.Y. I met with Mr. Hart at the Peekskill Depot and we rode together down to the city. I found Mr. Asahina at the home. It was about 12 o'clock. I copied lecture all the after noon except that I went to see Agee to talk about organizing our club constitution. He came here again with me. I copied again the lecture in the evening. After 10 p.m. I went out with Mr. Asahina to eat something and got home at about 11 p.m. I slept in a chair until 2 a.m.

TUESDAY, May 23

A nice day Thero. 57°

I was up at 7 a.m. I sent a book to Ishigro with a card and a letter to Japan. I went to see Mr. Hart but he was not at home. I copied the lecture on Equity all the morning. After noon again went to see Hart, I met with on the street on way to home, and requested him to ask Mr. Merson about his

lecture book. After the dinner I went to see Agee to finish the writing of our Jap. L. C. constitution. And so we finished. I and he went to a restaurant to order our fair well dinner. Megata was still here and he went away at about 12 p.m. and I retired at 12<sup>30</sup> a.m.

WEDNESDAY, May 24

A nice day. Thero. 46°

I was up at 7<sup>20</sup> a.m. I copied the lecture all the morning. I wrote cards to Ishigro and Mr. Merson. After the lunch I went to take a little walk at the Washington Park. Mr. Asahina packed my books for which I helped little. Mr. Hart came to see me and told me about the answer from Mr. Merson. After the dinner I went to the meeting and we all agreed except Mr. Megata to adopt the constitution as we wrote and corrected. Got home at 12<sup>50</sup> a.m. We agreed to meet again tomorrow at 2 p.m. I retired at 1 a.m.

THURSDAY, May 25

A beautiful day. Thero. 61°

I was up at the usual time. Got a letter from Mr. Merson in which he promised me to let me have his lecture book. I copied my lecture book all the morning. After the supper I went to the 23 St. to complete our law club constitution. We have decided after a long contest. After the dinner I went out with Asahina to take a walk and also to find such a book suitable to write Japanese but found none. I retired at 11<sup>30</sup>.

FRIDAY, May 26

A nice day Thero. 58°

I got up at 7 a.m. I copied the lecture all the morning. After the lunch, I went to see Mr. Hart and thence went to the L. school. I borrowed a lecture book from Mr. Merson. We had a dinner party for Mr. Agee at 52 University place. There were 13 friends. We completed the constitution of the club. And all signed. After the dinner party was over most of them came to my room and stayed till about 12 p.m. Miura stayed over the night. I retired at nearly 1 a.m.

SATURDAY, May 27

A very nice day. Thero. 62°

As I had fearful headache this morning I stayed in bed till about 10 a.m. I had no breakfast. I went down the town and stopped at the Consulate and Sato's office. It was 1 p.m. when I got home. After lunch I finished the copying of lecture on Equity and went to take bath. Mr. Asahina went to Norwich by a 5 p.m. boat. After the dinner I went to call on Ally and Nat at 86<sup>th</sup> St. Nat was at home but Ally was out. I stayed with Nat till after 9 p.m. and returned. Wrote a letter to Bettman. Retired at 12 p.m.

SUNDAY, May 28

A beautiful day. Thero. 70°

I was up at about 8 a.m. I copied [sic] my lecture all the day along, and after the dinner I went to see Mr. Tomita and stayed there till 11 p.m. Wrote a letter to Miss Bard and asked about my coming on 10<sup>th</sup> or 11<sup>th</sup> next and also write one to Charles Bettman and asked about my coming on the 16 or 17<sup>th</sup> next and also one to Mrs. Smith in which I enclosed a puzzle for Mrs. Peck. Retired at 1 a.m.

MONDAY, May 29

A nice morning, Rainy and thunder after noon. Thero. 70°

I was up at 7 a.m. and copied the lecture all the day along. Mr. Asahina got home after noon. Mr. Wood came to see me in the evening. We made Jap. tea for him and enjoyed very much. Mrs. Shimidz came here too. They went away at about 11 p.m. I retired at 11<sup>30</sup>. Got letters from Ii and Ishigro. And I wrote the answer to them.

TUESDAY, May 30

A nice day. Thero. 62°

I was up at 7 a.m. Soon after the breakfast I commenced copying the lecture. At about 10 a.m. I went out with Mr. Asahina to see the procession at the Union Square. This was the Decoration Day for the soldier's grave. I copied [sic] the lecture all day long. Then Mr. Shimidz came here. After the dinner I went to bring back the lecture book to Mr. Merson. I found him at home but his next book was not copied yet. He wanted me to call again next Friday. Called Mr. Hart too, but he was not at the house. Went to a saloon. Retired at 10<sup>30</sup> p.m.

WEDNESDAY, May 31

A nice day. Thero. 55°

I was up at 7 a.m. and read the lecture all the morning. In the after noon, Miura and Shimidz came here. We had a Jap. dinner for which we enjoyed very much. Mr. Tomita came here too and stayed till 11 p.m. I went out with him to take a little walk and got home at about 11<sup>30</sup>. Got a letter from Mrs. Smith. Retired at 12<sup>30</sup>.

## June 1876

THURSDAY, June 1

A nice day. Thero. 58.

I was up at the usual time and read the lecture all the day along. After the lunch I took a little walk. Mr. Taku came here. I got a letter from Miss Bard and she wanted me to come up on the 11<sup>th</sup> [    ]. After the dinner I went out again to take a walk and bought a silk cap. In the evening read the lecture a little while and settled the last month's account. Then commenced of the reading Jap. news paper. Retired at 11.30.

FRIDAY, June 2

A beautiful day Thero. 61.

I got up at 7 a.m. I read the lecture in the morning and after noon packed the trunks. In the evening I went to see Mr. Merson at his house 432 5<sup>th</sup> Ave. And met with his friend from Germany. We went together to Mr. Faye's house and played the 2 games of Billiard. When I got home it was about 12 p.m. and Mr. Asahina was already in bed. Retired at about 1 a.m. Got a letter from Miss Hoyt and soon answered, also a letter from Ishigro. I borrowed a lecture book from Mr. Merson.

SATURDAY, June 3

A very fine warm day. Thero. 68°

It was about 7 a.m. when I got up. Mr. Asahina left here for 7 West 32 St. I had something to do on account of his leaving here and after that I went out for shopping. I commenced the writing lecture from about 11 a.m. and continued till 5<sup>30</sup> p.m. after the dinner I went to take a walk and

met with Mr. Asahina and we went to a opera at 16<sup>th</sup> St. and I got home about 11 p.m. I wrote cards to Ishigro and Tsuda. Retired at 12 p.m.

SUNDAY, June 4

A cloudy morning and rain after noon.

I got up at 8 a.m. Mr. Hary came in my room and we had some conversations. After he went out I wrote lectures till the dinner. Hary and Miss and Mrs. Renna came in my room and I showed them several Jap. things. I read Jap. papers again. Wrote a letter to Mrs. Smith. After the tea I went to see Mr. Tomita and met with Mr. Asahina. We stayed in Mr. Komuchi's room a little while. I got home after 10 p.m. and retired at about 11 p.m.

MONDAY, June 5

A fine cold day.

I was up at 6<sup>30</sup> and copied the lecture before the breakfast. I sat in a chair all the before noon and copied the lecture. After the lunch I went to see Mr. Asahina to give letters which came to here, but he was not at home. I deposited \$12<sup>00</sup> in the German Saving Bank for the Jap. Law Club. I got letters from Ishigro, Ii, Mr. Donald and Mrs. Smith. I wrote answers to Ii and Ishigro and also to Abisha and told him I shall come there by the first part of August. Mr. Asahina came here. In the evening I met with Mr. Bettman and we went to a church and he came to my room. I retired at 11 p.m.

TUESDAY, June 6

A very nice day.

I got up at 6<sup>30</sup> and copied the lecture. After the breakfast I went out to take a little walk and after that continued the copying of the lecture. Miura came here and took a lunch with me. Went to get a picture which was given by Agee to the Jap. L. Club, and he took it to his home. Just a few minutes before the dinner, I took a walk again and I met with Hasegawa on the Washington Square and we walked together. Sato's three friends came here I stayed at home till 8 p.m. for Mr. Bettman promised me to call here. But as he did not come. I went to see Mr. Asahina and there met with Megata and I got home at 11 p.m. and soon retired.

WEDNESDAY, June 7

A very beautiful day.

I was after 8 a.m. when I got up. As I had a [Mozo] last night I was very tired this morning. When I was copying the lecture Agee came here and we talked about our house then went to the house where he had been boarded to get this things and he stayed here till after 1 p.m. After I finished the lecture I went to see Mr. Asahina and went to High Bridge. It was a very lovely sail. We took our dinner there. We returned by boat and got out at 23 St. We went to see Agee but he was not in the hotel, so we went to see Komuchi and got home about 9<sup>15</sup> p.m. I brought back to him his lecture book. I left it with a servant. Retired at 10<sup>20</sup> p.m.

THURSDAY, June 8

A nice morning.

I got up at 7 a.m. After the breakfast I went to Mr. Shimidz's house to borrow his lecture book and copied [sic] all the remaining lecture. I requested Asahina to ask Taku to take Agee's lecture book

to Japan. Got home at the noon. Mr. Asahina came here after noon and I borrowed from him \$110<sup>00</sup>. It was fearfully hot and I could not do any thing. After the dinner I went to see Mr. Tanaka and others at St. Nicholas hotel. There I met with Tomita, Megata and Miura and also Taneda. I got home once and went out again and returned at about 9<sup>30</sup> p.m. Wrote a card to Miss Bard. Retired at 11 p.m. Wrote also a letter to Mr. Donald.

#### FRIDAY, June 9

A beautiful day but very hot.

I got up at 7 a.m. After the breakfast I had a bath and hair cut. After noon I went to call on Mrs. Wood's folks. I went thence to Mrs. Hallett with Nat but she was not at home. So we went in the Central Park and got home at 6 p.m. After the dinner I went to Komuchi's room to have Jap. dinner. There were friends in the city with whom always I met and had a nice time. I got home about 12 p.m. Agee and Shimidz came here with me, but they went away soon. I retired at 12<sup>30</sup> p.m. Gave Jap. L. Club constitution to Miura.

#### SATURDAY, June 10

A very fine day. Very warm.

I got up at 6<sup>30</sup> a.m. and commenced packing trunks before the breakfast. I sent a table, a lamp, a hatbox and an umbrella to Mr. Asahina by the express. Got a card from Mr. Donald. After noon Mr. Asahina came and we went together to see Mr. Agee off, and got home by 5 p.m. I expressed my 2 trunks by American Express to P. M. A. In the evening, I went to see Tomita and Komuchi to bid good bye and thence I went with Tomita to see Asahina. He was not at home but we met on the street and we went in a saloon and had a nice time. Got home by 11 p.m. and soon retired.

#### SUNDAY, June 11

A very nice morning and a shower in the after noon.

I got up at 6<sup>30</sup> a.m. and left the house at 7<sup>15</sup> and took the breakfast on the Broadway and came to the G. C. Depot by a car and took the 9<sup>15</sup> train to Pleasantville. Mr. Charles Bard came to the depot with his buggy to meet and we rode to his home. It was fearfully hot and commenced a heavy shower about 2 hours after we got in the house. I found all the folks at home except Mrs. Peck's children. Mr. Pepp came to see Miss Bard. We sat in the piazza quite long and I retired at 10 p.m.

#### MONDAY, June 12

A clouded day and cold.

I was up at about 6<sup>30</sup> and we had a breakfast right after I got up. I went to the field and walked there and here. I had the Games of Back-Gammon with Miss Bard. Mrs. Bard went to Peekskill. In the evening I played the game of cards with [Junna]. I read little of a Law Book. It was quite cold all the day and ready to rain, but it did not rain until I went sleep, Retired at nearly 10<sup>30</sup> p.m.

#### TUESDAY, June 13

A clouded day.

I was called to get up at 7 a.m. I went out to take walks many times, but did not go very far from the house. We had a prayer meeting at the house. Mr. Hall who is the president of the Christian young men's society, conducted the meeting. I retired at 11 p.m.

WEDNESDAY, June 14

A nice day.

I was up at about the same time as yesterday. I stayed in the house and took a little walk round the house. After noon I went to Mrs. Carpenter's house with Miss Bard and saw there Mrs. Carpenter, Mr. and Mrs. Hall. We got many flowers from her yard. In the evening, we went to see a young lady named Ella and had a pleasant time. Retired at 11 p.m.

THURSDAY, June 15

A very fine day.

I was up at about 6<sup>30</sup>. I left the house with [juniors] at about 8.30 and came to Sing Sing on a buggy within 1½ hours. I took the 10<sup>35</sup> a.m. train to Peekskill and got here safely. I met with Mr. Riley in the car and came together. The commencement literal exercise was very good. It commenced from 2 p.m. and continued till about 5 p.m. Then they had a drill which was excellent. The evening reception commenced from 8 p.m. and ended at 12 p.m. There were quite many people. Platt slept on my room until 12<sup>30</sup> p.m.

FRIDAY, June 16

A very fine day.

I was up at 7 a.m. all the boys went away this morning except a few. After the dinner I went down the town and changed my money and bought a set of croquet. Mrs. Smith, Mrs. Emu, Wright and myself played 3 or 4 games. After the tea we went to a rowing and enjoyed very much. I went to see Mr. Hart and stayed there till 10 p.m. When I got home, I found all gone to the bed except Mrs. Smith and Folt. I presented our gifts to Mr. & Mrs. Wright. Got a letter from Charles Bettman. Retired at 10<sup>30</sup>.

SATURDAY, June 17

A clouded day.

I was up at 6 a.m. and took my breakfast at 7 a.m. Went to Highland Falls by Bondman and stayed at Bettman's house. Mrs. Bettman and Charles were not well. I met three with J. Mornse and Ally [Wheeln] and we had game of croquet. In the evening, I took them to their homes. I enjoyed very for seeing my old friends. I retired at 11<sup>30</sup>. For(e) noon I went to Mr. Mornse and stayed there till noon.

SUNDAY, June 18

A clouded morning.

Got up at 7 a.m. We went to a church and thence I went with Mr. Mornse to his house and took a dinner with him. There I met with Dr Feri's daughters on the way. I stopped at Mr. Green's house and met all his folks. I got to Bettman's house just before tea time. In the evening I went the church with Kate and came home with her and J. Mornse. Then I went to her house with her. After I got home we sat in the parlor till 12 p.m. and retired. Carrie was little sick.

MONDAY, June 19

A rainy day.

I was up at 7 a.m. The rain prevented me from coming and I stayed there till 3 p.m. and I took Bordman to home. I met again with J. M. in the street and Carrie see me off from the rock of



Parry house. I got home by 5<sup>30</sup>. After the tea, we played games of croquet. I gave Jap. lesson to Ii and Ishigro. Got news paper from Japan and a letter from Simidz. We sat in Mrs. Smith room till about 11 p.m. and retired.

TUESDAY, June 20

A nice day.

I was up at 5<sup>30</sup> and commenced my studies. After the breakfast I continued the study till the 12 a.m. After the dinner I heard the lesson of Ii and Ishigro and from about 3<sup>30</sup>. I went to Mr. Hart's house to study together. And got home just few minutes before the tea. We commenced our study with Parson's [sic] and today went only 30 pages. After tea we played the games of croquet and corrected Ii's writings. We sat together in Mrs. Smith room till nearly 12 p.m. and retired.

WEDNESDAY, June 21

A rainy morning and fine after noon.

I got up at 5<sup>30</sup> and studied all the morning till the noon. I heard the boys lessons. Went to Mr. Hart's house to study together. After the tea we went to Mr. Hyatt and got home after 8 p.m. I heard again the boys lessons. I went in Mrs. Smith room a little while and returned to my room. Got letters from Mr. Asahina and Miss Hoyt. Wrote a letter to Tomita. Retired at 11 p.m.

THURSDAY, June 22

A nice day. Thero.

I was up at 6<sup>40</sup> and studied as usual. After the dinner I gave lessons to the boys. Went to Mr. Hart's house for study. In the evening we sat in Mrs. Smith room and after that Mr. Donald came to my room. I wrote a letter to Charles Bettman. Retired at 12 p.m.

FRIDAY, June 23

A very fine day.

Got up at 5<sup>40</sup> and studied as usual. Mr. Hart came to see me to speak about our study. I heard the boy's lessons as usual. As Mr. Hart was unwell I did not got to his house. I played a game of croquet with Mr. Glen. I went down to the town with Mrs. Smith and took a little walk. We sat in Mrs. Smith room till 11p.m. and retired. I got letter from Miss Hoyt and Tsuda.

SATURDAY, June 24

A fine day, hot after noon.

I was up at 7 a.m. As I was not very well, I studied very little today. In the after noon, we went to Mr. Hart's house for our study. After the tea we played a game of croquet. I went down to the village to get a powder and took it after I got home. I gave lessons to the boys as usual. Got a letter from Tomita. Wrote a card to Mr. Asahina. I retired at 10<sup>50</sup>.

SUNDAY, June 25

A nice hot day.

I was up at 7<sup>30</sup>. I did not take my breakfast as I did not feel well. I stayed in the house all the day along. I wrote letters to Father, Ishigro (,) Asahina and Miss Hoyt. I was very miserable the all day. Retired at 11 p.m. I lent to Mrs. Wright my trunk straps, take with her to [ ]. I was requested to deposit 2 checks to the Bank and to sign bills when came by Col. Wright. I borrowed

his pistol and took to my room.

MONDAY, June 26

A nice day.

I was up at 6<sup>30</sup>. I was quite better. I studied nearly all the morning. I went down to the town to deposit some money for Col Wright. I asked Mr. Hart to come up here to have our study for I was still unable to go down to his house. As Col. & Mrs. Wright went away this morning, I had the charge of the house. In the night I slept in Mr. Smith room for they wanted me to stay near them. We sat in the piazza till about 11 p.m.

TUESDAY, June 27

A nice hot day.

I was up at 6 a.m. I could not sleep well last night. I studied as usual and heard the boys lessons. Went to Mr. Hart's house to study our law books. I got letters from Tomita, Asahina and answered to Tomita, I bought a suit of cloth for each, Ii and Ishigro. I promised to pay Mr. Hamp \$17<sup>00</sup> for the suit next week. In the evening, I bought Ice cream to congratulate Mrs. Peck's 10<sup>th</sup> anniversary. We sat on the piazza till.

WEDNESDAY, June 28

A nice day.

I was up at 6 a.m. Studied as usual. Gave lessons to the boys. Went to Mr. Hart's house for our study. Got a [ ] from [ ] Merson. Col. and Mrs. Wright got home, we stayed on the front piazza quite late and then went up to Mrs. Smith room. Retired at 11 p.m.

THURSDAY, June 29

A nice day.

I got up at 6 a.m. Wrote letters to Japan namely to Jeu shi Ii, Father, Nishimura, Mukasa and Ishigro. Heard the boy's lessons. We had no lesson for Mr. Hart went away, and also wrote a letter to Miss Jennie [Nunro]. Mrs. Peck got home. I went down to the village twice. We sat on the piazza till about 10.30 then went up again to Mrs. Smith's room and stayed quite late. I requested Mrs. Smith to keep my Bank books and watches till I got home. Retired at 12<sup>30</sup>. Gave my sleeve buttons to Ishigro.

FRIDAY, June 30

A fine day.

I was up at 5<sup>30</sup> a.m. We took our breakfast before the folks and left there 6<sup>30</sup> and came to N.Y. by a boat. Met with Tomita and Matudaira at the Jap. Consulate. I left a note to Mr. Asahina in regard to the money. We took the 12<sup>30</sup> train to Phila, for which we bought excursion tickets at \$5<sup>00</sup> each. We got in Philly by 4 p.m. and found the boarding house without trouble though we had a wrong address. Met with Mrs. Carr in a St. car. Arima and Miyabara were boarding in the same house. Took a walk in the evening. Retired at 11 p.m.

**July 1876**

SATURDAY, July 1

A beautiful day.

I got up at 6<sup>30</sup> a.m. We finished our breakfast at 8 a.m. and went to the Centennial Exhibition ground. We visited the main building and art gallery in the morning, then went to the Jap. building to get Jap. Lunch. We stayed there about 3 hours, then we visited the Macinery [sic] Hall. Agricultural and Horticultural buildings and returned to home at 5<sup>30</sup> p.m. I went and returned by the steam car. We met with Mr. Muramatz and he treated us dinner. Retired at 11 p.m.

SUNDAY, July 2

A clear and hot day.

I was up at 7<sup>30</sup> a.m. I went with Ishigro to Mrs. Carr and got home by the noon. I stayed in the house all the after noon for it was very hot. After a lunch I went to see Megata, but he was not at home, and I met with Tanaka and others and got home by 9 p.m. I wrote a letter to Mrs. Smith. We played Jap. chase. In the evening Mr. Muramatz and others came to see me and handed me the articles sent by Ihshigro. I retired at 11<sup>30</sup> p.m.

MONDAY, July 3

A beautiful day.

I got up at 7 a.m. Soon after the breakfast, went to the Centennial. We saw today, almost all the buildings in the ground except Agricultural and Horticultural buildings. We took our lunch at the Jap. building and then we met with K. Saito, Kodama and some others. I got home by 6 a.m. and got very well tired. In the evening we went to Broad St. to see the procession and got home by 11 p.m. We retired at 12 p.m.

TUESDAY, July 4

A nice and hot day.

I was up at 6 a.m. Went to Chestnut St. to see the procession of soldiers and the Centennial seremony [sic] at the State House. It was crowded with the people and could not see very well. It was fearfully hot. I stayed there till 11<sup>30</sup> and came home. In the evening we went to the fire works at East Fairmount Park. It was splendid but the rain commenced before the performance was over and we run home and got wet. Ii was not well and did not go out at all today.

WEDNESDAY, July 5

A beautiful day.

I got up at the usual time. We went to the Centennial ground, and there we met with Mrs. Carr and many Japanese. We went in the Photograph garary [sic] main building, Art garary [sic], Agricultural Hall. Horticultural Hall and some other places. We got home by 5 p.m. Ii was unwell and did not go with us. After the tea we went to take ice cream and eat and drink at home, retired at 11 p.m.

THURSDAY, July 6

A very fine day.

I was up at the usual hour. After the breakfast we went to see the Independence Hall and also visited the Carpenter's Hall. We stayed at home all the after noon. After tea I went with Tsuda to a garden and stayed there about an hour. At the evening we went to take ice cream. I [take] a chair and paid \$2<sup>00</sup> for it. While we were staying there we met with Arima(,) Miyabara, Takahashi, Inouye, and many others. Retired at 11<sup>30</sup>.

FRIDAY, July 7

A nice day.

I got up at 7 a.m. We left the house at 9 a.m. and took the 11 o'clock train to N.Y. and arrived in the city by 2<sup>30</sup>. Here we separated from Tsuda and Matsudaira, I met with Yokoyama in the car. We took our boat from the city to Peekskill and got home by 7.30. We stayed in the piazza till 10 p.m. and retired. Got letters from home—Father, Grand-mother, Aunt and Asahina and a letter from Donald.

SATURDAY, July 8

A nice day.

I was up at 7 a.m. I read Jap. news paper in the morning. I wrote letters to Mr. Donald, Tomita and Asahina. I did not feel very well and ate very little food. I stayed at home whole the day. we sat in the front piazza till after 10 p.m. I retired at 11<sup>15</sup>.

SUNDAY, July 9

A very fine and warm day

I got up at 7 a.m. I did not go to the church but stayed at home and wrote letters to Father, Grand-mother and Aunt. I read very little a news paper today. It was fearfully hot and the thermometer [sic] stood at 94° in the shade. In the evening we sat in the piazza till 10<sup>30</sup> and retired.

MONDAY, July 10

A nice and hot day.

I was up at 5 a.m. and studied till the breakfast. I sent a letter to Muramatsu and a card to Mr. Hart. I drew \$20<sup>00</sup> from P. Saving Bank and paid \$17<sup>00</sup> for Ii and Ishigro's clothing. I lent to Mrs. Smith \$5<sup>00</sup>. I got a card from Asahina. Mr. Hart came to see me and he wanted to commence our study from tomorrow. So in the after noon I read the lecture. I heard the boy's lesson. We sat on the piazza till 10 p.m. and retired.

TUESDAY, July 11

A nice hot day. rained after noon.

I was up at 7 a.m. I studied all the morning. I heard the boy's lesson as usual. In the after noon I went to Mr. Hart's house to have our study. I took the tea with him and stayed till 8<sup>15</sup> p.m. While I was staying there it rained very hard. Mr. Wright went to Albany. I got a letter from Tomita and a card from Asahina. I gave lessons to the boys in the evening and after that I sat a little while in Mrs. Smith's room and retired at 11<sup>30</sup> p.m.

WEDNESDAY, July 12

A nice day.

I got up at 6 a.m.

I studied all the morning. I gave the boys lessons as usual. I went to Mr. Hart's house for our lesson. After the tea I went down the town and bought a hat. I sent to Mrs. Wright \$1<sup>10</sup> I made Jap. tea in Mrs. Smith's room. We sat on the front piazza till about 11 p.m. and retired. I sent card to Tomita and Asahina and invited them to come up on Saturday. Col. Wright did not get home from Albany.

THURSDAY, July 13

A nice day.

I was up at 7 a.m.

I studied whole the morning. Gave the boys lessons as usual. I went to Mr. Hart's house. Mr. Asahina sent to me a box of tea and some Jap. cakes. Col. Wright got home in the evening. We made tea in my room and we three had a tea party. Mrs. Wright returned the money which I had lent to her yesterday. It was not so hot as the preceding 2 or 3 days. I wrote a letter to Mr. Asahina. We sat on the piazza till 10<sup>30</sup>. I retired at 11<sup>30</sup> p.m.

FRIDAY, July 14

A nice morning and rainy after noon.

I was up at 6 a.m. I studied as usual and also gave the boys' lesson. In the after noon, I went to the Mr. Hart's house for our studies. We were invited to Miss Ferris house to have a game of croquet, so we went there after the tea and had a nice game. I got home by 9<sup>40</sup> and stayed in Mrs. Smith room a little while and retired. I sent a card to Asahina.

SATURDAY, July 15

A nice cold day. I got up at 5<sup>30</sup> a.m. to see Mr. & Mrs. Wright and Mrs. Smith off. The first two went to Phila. and the latter to New York. I studied all the morning. I got letters from Asahina, Tsuda and Agee. I went to Mr. Hart's house for our study. I sent a card to Asahina this morning. He and Tomita may come next Saturday. We sat on the piazza till about 10 p.m. and came up to Mrs. Smith's room and sat a while and retired. I slept in her room.

SUNDAY, July 16

A nice day. Cold too.

I was up at 7<sup>30</sup>. I did not go to a church but stayed at home. I wrote letters to Mrs. Ohigashi and Ishigro. I corrected Ii and Ishigro's letters for their homes. After tea I went to take a walk. In the evening I wrote letters to Messrs. Tsuda and Asahina. We sat in Mrs. Smith's room till 11 p.m. and retired.

MONDAY, July 17

A nice cold day.

I was up at 7 a.m. I had intended to get up at 6, but I could not for I felt very sleepy. I studied as usual and heard the boys lessons. Went to Mr. Hart's house as usual. On the way from there I stopped at the village and got the mail and bought something. Gave the lessons to the boys in the evening. Mr. and Mrs. Hyatt were here. We sat in Mrs. Smith's room till 11<sup>30</sup> and retired.

TUESDAY, July 18

A fine day.

I was up at 7 a.m. I studied as usual, heard the boy's lesson, went to Mr. Hart's house as usual. In the evening when I heard the boys' lesson again I gave a good talk to Ishigro in regard to his conducts and manners. We sat in Mrs. Smith's room till quite late and retired. I wrote a letter to Mr. Mukasa.

WEDNESDAY, July 19

A nice and hot day.

I was up at 7 a.m. I studied all the morning. Went to Mr. Hart's house for our study. Gave the lessons to the boys. Got a letter from Asahina, Miss Hall(,) T. Stevens and F. Hall came here and stayed over night. We sat in the house till 10 p.m. and came to Mrs. Smith's room and made soda water and stayed quite late.

THURSDAY, July 20

A nice morning and heavy rain in the after noon.

I was up at 7 a.m. I studied as usual, and heard the boys lessons. Went to Mr. Hart's house for our studies. I was invited to Mr. Nalson's house for a party but I did not go. Mrs. Smith got home in the evening. I wrote a letter to Abisha Lencks. We bought a water melon and had in the evening. We retired at 11 p.m. and I slept in Cal's room. In the midnight we heard some noise in the house, so I went down to see about it and I found nothing. I mailed a letter to Japan this morning.

FRIDAY, July 21

A nice day.

It was a cold morning and continued the lovely breeze all the day along. I was up at 6<sup>30</sup> and studied as usual. I heard the boy's lesson. Went to Mr. Hart's house. In the evening Col. & Mrs. Wright got house. We sat on the piazza till 10<sup>30</sup> and came up to Mrs. Smith's room and stayed till 11 and retired.

SATURDAY, July 22

A nice day.

I got up at 7 a.m. I studied all the morning as usual and heard the boys lesson. Went down to Mr. Hart's house. It was a quite nice and cold day. I wanted very much to go down to the town but I did not. I did not get my washes. Mrs. Forth went away. Mrs. Smith was sick. I retired at 11 p.m.

SUNDAY, July 23

A nice morning but rained at noon and cleared at evening.

I was up at 7 a.m. I went to a church(.) Wrote letters to Mr. Riggs(.) Misses Carrie Bettman and S. Bard. In the evening I took [ ] and Helen to Mrs. Hyatt to meet their mother for which Mr. Wright got so much worried as we have not told her where we were going. We sat in Mrs. Smith's room till 10 p.m. and retired at 10<sup>15</sup>.

MONDAY, July 24

A nice day and cold.

I was up at 6 a.m. and studied all the morning. Gave the lessons to the boys. Went to Mr. Hart's house to recite our lessons. In the evening I went with Mr. Hart to call on Miss Nalson. We stayed at is house till 9 p.m. I got home at 9<sup>30</sup>. We sat in Mrs. Smith's room till 11<sup>30</sup> and retired.

TUESDAY, July 25

A nice day—cold and little rain in the evening.

I was [sic] got up at 6<sup>40</sup>. Studied as usual. Heard the boys' lessons as usual. Got three cards, one from Asahina, one from Matsudaira, and the other from Mr. Hart. He wanted me to come his house at 7<sup>30</sup> p.m. When I went to there he come to see me, so I was waited him and while that

time I had a game of croquet with the ladies. When he got home it was too late, so we put our study till tomorrow. I got home by 9 p.m. and retired at 10 p.m.

#### WEDNESDAY, July 26

A nice day. I was up at 7 a.m.

Studied all the morning and gave the lessons to the boys as usual. Went to Mr. Hart's house to have our lessons. Wrote a card to Mr. Matsudaira. After tea I went with Mrs. Smith to take a walk and had about two hours walk. Gave the lessons to the boys in the evening. Retired at 10<sup>40</sup> p.m.

#### THURSDAY, July 27

A nice day.

I was up at 4<sup>30</sup> a.m. I studied as usual and gave the lessons to the boys. Went to Mr. Hart's house. We went to a rowing on the river. Mr. Donald brother was with us. It was a nice race. In the evening, I went to Mr. Hart's house again to finish our lessons. I met there with Miss Adey [Shuroder] and many other young people. Got letters form Charles Bettman and Abisha Lencks, and a card from Asahina. I wrote answers to Asahina and Lencks. Retired at 11<sup>15</sup> p.m.

#### FRIDAY, July 28

A nice rainy day.

I was up at the usual time and studied as usual. I heard to boy's lessons in the morning and in the evening I went to Mr. Hart's house to recite our lessons. In the morning I went down to the town and got hair cut and bought some candy. I invited Mr. Hart to my room in the evening and I made Japanese tea for him. Mr. and Mrs. Reley came here to visit Mrs. Smith. I retired at 11 p.m.

#### SATURDAY, July 29

A fine day.

I was up at 5 a.m. and took my breakfast and went down to the landing to go to N.Y. I was mistake in time and it was about one hour too sooner. After waiting about one hour, I took the Boat to N.Y. and got to the Jap. Consulate at 10<sup>30</sup> a.m. It was a splendid sail on the river. I met with Messrs. Asahina, Ohta and Komuchi at the office, I went with Mr. Asahina to Sato's office and I bought a tea set for present. I drew \$400<sup>00</sup> from German's Savings Bank and paid to Mr. Asahina \$113<sup>00</sup> which I had borrowed from him some time ago. Went to his house and stayed with him. In the way Ohta and Komuchi came there and we had a nice time and retired at 12 p.m.

#### SUNDAY, July 30

A rainy day.

I was up at 8 a.m. It commenced a rain when I wanted to go out. I stayed in the house all the day. Messrs. Miura and Tsumagi came to see me and they stayed quite late in the evening. We had Japanese dinner yesterday and this evening for which I enjoyed very much. We played games all the day along. We retired at 11<sup>30</sup> p.m.

#### MONDAY, July 31

A nice day.

I got up at 5 a.m. and started to Central depot, but there was no train until 7 a.m. So I waited for it about one hour and a half for the train. I took my breakfast at a restaurant near the depot. I got

home by 9<sup>15</sup> a.m. and commenced my study right away and I heard the boys lesson and went to Mr. Hart's house. In the evening we had large Jap. tea party in Mrs. Smith room and enjoyed. We retired at 11 p.m.

### August 1876

TUESDAY, August 1

A nice day.

I was up at 5<sup>45</sup> a.m. I saw Mr. & Mrs. Reley off. They returned to N.Y. city. I studied as usual and heard the boy's lessons and went to Mr. Hart's house. After the tea I went to take a walk with Mr. Smith and got home by the twilight. I got a letter from Mr. Donald yesterday. I retired at 10<sup>45</sup>. I sent a card to Mr. Asahina this morning.

WEDNESDAY, August 2

A nice day.

I was up at 5<sup>30</sup> a.m. and wrote to Lake Gorge to inquire about a boarding place. I studied as usual. Heard the boys lessons. Went to Mr. Hart's house. I went down twice in morning and in the afternoon. Yegawa came here and was going to stay some days. Got letters from Asahina and Shimidz. In the evening, we sat on the piazza to wait for Mrs. Wright—she went to Sing Sing. I retired by 10<sup>30</sup> p.m.

THURSDAY, August 3

A nice day.

I was up at 6<sup>30</sup> and studied as usual. Heard the boy's lesson and went to Mr. Hart's house. I wrote to Mr. Donald to F. Lencks and to Mr. Tsuda. In the evening Mrs. Smith, Yegawa and myself went to take a walk and we enjoyed very much. I stayed in Mr. Smith's room little while in the evening and retired at 10 p.m. I had some pain in my head all the day along and did not feel very much.

FRIDAY, August 4

A nice day.

I got up at 7 a.m. I studied as usual, heard the boys lessons. Went to Mr. Hart's house. In the evening I went to call on Miss Ferris with Mr. Hart and stayed till about 9 p.m. I had a nice time in the room of Mrs. Smith and we retired at 11 p.m. Got a card from Miura and also I wrote to him this morning.

SATURDAY, August 5

A nice day.

I was up at 5<sup>30</sup> and read some books. I stopped my study from this morning though I heard the boys' lessons. I got a telegraph from Asahina and he said he and Tomita could not come. I went down to the town and bought a knife for \$2<sup>00</sup> to be presented to [     ]. I got a letter from Lake George for the reply to my request. The board there from \$12 to 20 for week. We sat on the piazza till 9<sup>30</sup> and I came to my room and packed my trunk and retired at 11<sup>30</sup>.

SUNDAY, August 6

A nice day

I was up at 7 a.m. we went to hear Mr. Beacher at the Baptist church. It was very warm. The



sermon was very good. In the after noon I went to tea with Mr. Hart and got home by 9 p.m. I sat in Mrs. Smith's room a little while and retired. It was very hot all the day along. Wrote letters to Father, Nishimura and Mukasa.

MONDAY, August 7

A beautiful day.

I was up at 6 a.m. Wrote a letter to Mr. Tomita. Mr. Haffell came here and I was introduced to him, I paid my board \$53<sup>71</sup>. I requested Mr. Smith to keep and take care of my Bank books which few in number. Gave to Ishigro \$3<sup>00</sup> for his pocket money. In the evening I went to Miss [Seatry] but she was out at home. We had Jap. tea in Mrs. Smith's room. Mailed Jap. letters this morning. Got letters from Asahina, Matsui and Mrs. Jackson. Miura was very ill. I retired at 12 p.m.

TUESDAY, August 8

A nice day.

I got up at 6 a.m. and got ready to start for my trip to the north. I left the academy with Ii at 9 a.m. and took the 9<sup>55</sup> train to Albany. After having had a nice ride we got in Albany by 1 p.m. There we bought our clothings [sic] and took our dinner. Thence we took the 3 p.m. train to Cobleskill. Then we met with Abisha, his wife and his sister, and we rode to his father's house and got there by 6 p.m. I found all people here were well. We stayed in the house all the morning and retired at 10 p.m.

WEDNESDAY, August 9

A beautiful day.

I was up by 6 a.m. and took a walk around the house before breakfast. We had some game of card and stayed home all the for(e)-noon. I wrote letters to Mrs. Smith, Asahina, Ishigro. Miss Hoyt and to the Post master of Lakeville. In the after noon, we went to the post office and stopped Abisha's house. After the tea we went to one of the neighbors to play game of croquet, and got home by 10 p.m. and soon retired.

THURSDAY, August 10

A nice day.

I was up at 6<sup>30</sup> a.m. and took a little walk around the house in the morning. We played cards. In the after noon Miss Jennie and Effie came here and we had another game. After tea I went with to one of her neighbor's house to play croquet and stayed till about 10 p.m. After I got home I sat on piazza for a little while and retired.

FRIDAY, August 11

A fine day

I got up at 6 a.m. and went out to take a walk and got home by 7<sup>15</sup>. I stayed at the house all forenoon. In the after noon we went to Miss Jennie's house and had games and we stayed till after the tea. We got home by 9 p.m. and I sat on the piazza till about 10 p.m.

SATURDAY August 12

A nice day

I was up at 7 a.m. We went fishing in the for(e)noon, and caught many fishes [sic] and in the after

noon we went to Sharon Spring(s) and stayed till 12 p.m. We walked round the place and took tea with Mr. Peter's. Mr. Wood (a member of the Congress) made a good speech on the political subject, in regards to the presidential election. It was about 1 a.m. when we got home. Got letters from Mrs. Smith, Ishigro, Asahina, Riggs and Miura and also Jap. paper from Asahina.

SUNDAY, August 13

A nice day

I was up at 7 a.m. I stayed at home in the morning and went to Abisha's house to take dinner with him. We had a very nice time at his house and we went to the sypher [sic] spring in the after noon and got home by 6<sup>30</sup>. I sat on the piazza till 10 p.m. and retired.

MONDAY, August 14

A nice day.

I was up at 7 a.m. I stayed at house all for morning. In the after noon I went with Mrs. Billings to Miss Jennie's house to play a game of croquet and stayed till the tea time. In the evening we went again to Abisha's house and played till 10<sup>30</sup> and came home. I sat on the piazza with Mrs. Lencks quite and retired at 12 p.m.

TUESDAY, August 15

A fine day

Got up at 6<sup>30</sup>. Ii, Abisha and myself went to the Howes Cave with a wargon [sic]. The cave was curious and interesting. It is said about 10 miles long, but we went in only about 2 miles. (Japanese entry omitted) We took the dinner at the Howes Cave house and got home by 5 p.m. We had a large company at the house in the evening. Retired at 11<sup>30</sup>.

WEDNESDAY, August 16

A fine day.

I was up at 6<sup>30</sup> a.m. After the breakfast I went out to play a game of croquet and got home by 10<sup>30</sup>. I got letters from Ishigro and Tsuda. I wrote a letter to Mrs. Smith. Mrs. St. John came here and in the after noon we went to Miss Jennie's ground to play a game of croquet and got home by 6 p.m. I invited Frunky, Mrs. Billings, Mr. Lencks and Abisha to go to Saratoga with us tomorrow. I retired at 9 p.m. I lent \$5<sup>00</sup> to Wilham Lencks till next Saturday.

THURSDAY, August 17

A clouded day. Fine after noon.

I got up at 5 a.m. and soon took our breakfast. Then we went to the Cobleskill by a wagon and thence we went in a excurtion [sic] car to Saratoga. We left Cobleskill at 8<sup>15</sup> and got to Saratoga by 11<sup>45</sup> and visited all most all the springs there and some other interesting places and we enjoyed very much. I paid for J. Lencks, Miss Frunky, Mrs. Billings and Abisha \$1<sup>50</sup> each. I lent to Abisha \$2<sup>00</sup> and \$1<sup>00</sup> to J. Lencks. We left Saratoga at 4<sup>35</sup> and got home by 9<sup>30</sup> p.m. I got very well tried and retired soon.

FRIDAY, August 18

A nice day.

I was up at 7 a.m. and read the lecture. I stayed in the house all the day along. After the tea I

went with Frunky to Miss [Shaspis] house and played a game of croquet. We met with Abisha's sister in law and she went there with us. And got home by 9 p.m. I gave a 50 silver piece to Ii. I retired at 10 p.m.

SATURDAY, August 19

A nice rainy morning and clear at noon and rained again in the evening.

I was up at 6<sup>30</sup>. I stayed at home all morning and after noon I went to Cobleskill to meet with Mr. St. John and came home just after sun set. After the tea I went to the grove dancing and before we started towards home it commenced a heavy rain and we made a run to home though we got little wet. I retired at 12 p.m. Got letters from Asahina, Shimidz, Mrs. Smith, Lakevill's P. M. (Post Master) and Mr. Hallet of Lake George. Wrote letters to Ishigro and Ohta.

SUNDAY, August 20

A nice day

I was up at 7 a.m. I did not go to a church but went to the spring with Mrs. Billings. In the afternoon I took a walk around the place. In the evening I went to see Mrs. Lencks home to Miss Jennie's house. I retired at 10<sup>30</sup>. Wrote a letter to Mr. Tsuda and a card to Mr. Asahina.

MONDAY, August 21

A fine morning but quite cold.

It had become quite cold since yesterday. And they built the fire in a stone. I was up at 6<sup>30</sup> a.m. I went with Mr. St. John to see a hole. I took several walks around the place. I retired at 10 p.m. Ii was not very well today.

TUESDAY, August 22

A nice day.

It was up the usual time and took a little walk. I read the lecture book in great deal. Miss Georgia came home. I wrote a letter to Mrs. Smith and told her all about our expedition to Saratoga and all news here. Mr. St. John went away this morning. I retired at 10 p.m.

WEDNESDAY, August 23

A beautiful day.

I got up at 6<sup>15</sup> and took a walk to the mountain about a mile from here. After the breakfast I went to the store to buy some paper and envelopes, and stopped at Abisha's house and had the game of croquet. We had a game of cards at home. In the afternoon I went with Georgia to Jennie to play croquet and stayed too late to be home at the tea time. Got letters from Mr. Donald, Hart, Ishigro, Abisha and Miss Hoyt. Retired at 10<sup>15</sup> p.m.

THURSDAY, August 24

A beautiful day.

I was up at the usual time. Abisha, Ii and myself went fishing to a small lake which was situated about 4 miles from here by a wargon [sic] and had a nice time though we caught a very little of fishes [sic], and got home by the noon. In the afternoon I went to the store to get my shoes and bought a pair of lady's shoes for no man's shoes were fit my feet. In the evening we went to Abisha's house and they had a little party. Got home by 12 p.m. and retired.

FRIDAY, August 25

A clouded day.

I got up at the usual time and read the lecture little. We had a school picnic at the Sharpe's grove which was about a mile from the house and we all went to there. It was fearfully hot on the way to there, but it was quite cool in the grove and we had a nice time. In the evening they had a dancing party at the same place, but I did not go for I was very tired, and retired at 10 p.m.

SATURDAY, August 26

A nice day.

I was up at 7 a.m. and read the lecture till about 10<sup>30</sup>. then I commenced to write letters to Mr. Donald, Miss Hoyt and Ishigro. Got letters from Mrs. Smith, Tomita and cards from Messrs Asahina and Miura. I went in the evening to Abisha's house and played games and stayed after tea. We had a company in the evening and retired at 10<sup>30</sup>.

SUNDAY, August 27

A nice day.

I was up at 7 a.m. I read the lecture and went to a church. The church service continued about 2¼ hours and I got very tired. In the after noon I went with the girls to the spring. I went to Mr. Sleighland's house with Mrs. Lencks, but I did not go in. we had our supper in the evening and sat a little while in the sitting soon and retired at 9<sup>30</sup> p.m.

MONDAY, August 28

A nice day.

Got up at the usual time and read my lecture book. I went to Miss Jennie' ground to play a game of croquet. And read again all the forenoon. After dinner I went to Mr. W. Lencks and stayed after the tea, and played a game on Miss Brown's ground. Got home by 8 p.m. and retired at 10 p.m.

TUESDAY, August 29

A nice day.

I was up at 7 a.m. and studied nearly all the for(e)noon. The hop picking commenced from this morning and I went to see it. In the after noon I picked little for Mrs. St. John. We had a quite large company in the evening at our house. We sat on the piazza till 10<sup>30</sup> and retired. I read through the 2<sup>nd</sup> lecture book. Retired at 10<sup>40</sup>

WEDNESDAY, August 30

A nice day

Got up at 7 a.m. I read the book little in the morning. and wrote letters to Mrs. Smith, Ishigro and cards to Tomita, Asahina and Miura. In the after noon I went to hunting to the woods but I shot no game. Got letters from Japan (Nishikawa, G. Hirose, Tagai, Mokuhara and Ishigro) and also from Taro and Mr. Donald. I went with Georgia to take a walk in the evening and after that I got on the piazza until 9 p.m. and retired.

THURSDAY, August 31

A nice day.

I was up at the regular time and after the breakfast I went to hunting about 4 miles, the place

called "Bear Swamp" I got home by 12<sup>30</sup> and got very tired. I read the lecture in the after noon. I was invited to Abisha's house to take a tea with the hop-pickers, and stayed till about 9<sup>30</sup> with Lidy. All folks there and here went to the grove dancing. I retired at 11<sup>30</sup> p.m.

### September 1876

FRIDAY, September 1

A very fine day, but it rained very hard towards the evening.

I was up at the usual time. Right after breakfast I went with Mr. Lencks to a riding and went to the Sharen Spring and I took a bath at there. It was a good bath. There were then very few people in the place. Got home by 1<sup>30</sup> and took our dinner at home. As the rain commenced in the evening I did not go out and stayed at home played game of cards and retired at 11 p.m.

SATURDAY, September 2

A nice day.

I was up at the regular time and read the lecture. In the after noon I went to the post-office and then went to see the honey. In the evening I took a walk with Georgia and got home by 9 p.m. We sat on the piazza till 10<sup>30</sup> and retired. I wrote to Asahina, and Ishigro. Got letters from Mr. Donald, Mrs. Smith, Mr. Tsuda and Asahina, Mr. St. John came here.

SUNDAY, September 3

A nice day.

Got up at 7 a.m. and read the lectures. We went to the solpher [sic] spring. I read the lecture nearly all the for(e) noon. In the after(noon) I went to Abisha's house to take dinner. And Georgia and Lidy and myself went to take a walk and after we got home we went again to a semetery [sic] by a wargon [sic] and got home just before dark. We sat on the piazza till 11 p.m. and retired.

MONDAY, September 4

A beautiful day, though it rained little in the after noon.

I was up at 7 a.m. and read the lecture. I went after the breakfast to the woods and stopped at Miss Jennie's yard and played coquet and got home by 11<sup>30</sup> a.m. I read all the after noon. I was intended to start from here today but could not on account of being no wargon [sic] here. In the evening I walked little around the house and went to the hop-house several times and retired at 10 p.m.

TUESDAY, September 5

A nice day. though very cold.

I was up at the regular time and read the lecture. Miss Margaret's brothers came to see me and we went together to the Abisha's house and took dinner there. I read the lecture again till the evening. In the evening we intended to make a call at the house where Franky was staying, but we did not for they came down to our place. We sat a little while in the parlor and I took a walk with Georgia on the piazza till quite late and retired at 11 p.m.

WEDNESDAY, September 6

A nice day.

I got up at 6<sup>30</sup> a.m. and finished my lecture book. We left there with Mr. and Mrs. St. John by a

wargon [sic] to Cobleskill and Miss Georgia came there to see us off. It was a nice day and had splendid ride. We took 12<sup>30</sup> a.m. train to Albany and stayed with Mr. St. John till the next morning. I went down to the streets with Mr. St. John and visited his school and bought undershirts and [trousers]. I was quite tired and retired at 9 p.m.

THURSDAY, September 7

A beautiful day.

I was up at 7 a.m. and went down to the streets with Ii to buy his shirts and got home by 8 o'clock. Mr. Donald came there. We left Mr. St. John's house at 9<sup>50</sup> and came to the depot with Mr. St. John and there met with Mr. Donald and we came together to Peekskill by 10<sup>30</sup> a.m. train, and got here by 2<sup>40</sup> p.m. I found our folks here well and Mrs. Bard was here. I sat in the evening in Mrs. Smith room a little while and retired.

FRIDAY, September 8

A rainy day.

I was up at 7 a.m. I intended to go down to New York this morning, but was prevented till after noon by the rain. I took the 2<sup>40</sup> p.m. train to N.Y. and went to see Messrs. Shimidz and Asahina, I stayed there and went to see a theater as Mr. Tomita was not in the city. And got home by 11 p.m. and retired at 12 p.m. There I met with Tsuchiya and Ohta.

SATURDAY, September 9

A nice day

I was up at the 7 a.m. and after the breakfast I went with Asahina and Tsuchiya to the American fair at 63 St. It was just opened and everything was uncompleted. We stopped at Sato's house and saw him and Miura also. And there we went to Jap. Consulate and stayed a little while. We took our lunch at Aster House. Retired at 12 p.m.

SUNDAY, September 10

A rainy day.

I was get [sic] up at 8 a.m. I stayed in the house all day and read Jap. news papers and wrote a letter to Georgia Anna Lencks. Yesterday I received a package of Japan tea from Japan and sent some of it to Mr. Lencks and Mr. St. John. In the evening Miura and Ohta came and we had a Jap. dinner party by 11 and we retired at 12 p.m.

MONDAY, September 11

A clouded day.

I was up at 7 a.m. and read news papers. Mr. Katsu came there and after lunch I went to Jap. Consulate with him to meet with Mr. Tomita. He was back from Phila. and we had some conversations. I came back with Asahina. Messrs. Shimidz and Tsuchiya went to Phila. After we finished our dinner we went to Mr. Tomita's house and we took a departing drink. It was 11<sup>30</sup> when we got home and had some talks and retired at 1 a.m.

TUESDAY, September 12

A clouded day.

I was up at 6 a.m. and took my breakfast. I left Mr. Asahina at 7<sup>15</sup> and took the 8 a.m. train to

Peekskill, and arrived here by 9<sup>25</sup>. I stayed in the house all the day except I went to see Mr. Hart who was not at home. We sat quite late in Mrs. Smith's room, and retired at 11 p.m.

WEDNESDAY, September 13

A nice day.

I was up at 7 a.m. Most of the borders came back to the school today. For it was the opening day of the school. In the morning I helped Mr. Donald in covering school books and in the after noon I wrote letters to Japan. In the evening I sat in Mrs. Smith's room and retired at 10 p.m.

THURSDAY, September 14

A nice day.

I was up at 6<sup>30</sup> and wrote letters to Japan before the breakfast and after the breakfast I went to see Mr. Hart but he was not at home. In the after noon I wrote letters again one to Mr. Hart and other to Asahina and sent to Japan. We went to take a little walk and got home by the tea time. In the evening I went in the prayer meeting and after that came in Miss Smith room and retired at 10 p.m.

FRIDAY, September 15

A nice day.

I was up at 6<sup>30</sup> and wrote letters all the for(e)noon and mailed them in the after noon. They were to Father, Mukasa, Nishimura, Mokuhara, Iketa, Hirose, Ishigro, Fukuzawa, Agee and Yamawaki, In the after noon I took a walk up to Mr. Hyatt's road. It was Mr. & Mrs. Wright the 8<sup>th</sup> anniversary wedding day and they celebrated [sic] at the tea. We had a Japanese tea party in Mr. Donald's room. Wrote a letter to Charles Bettman. Retired at 11 p.m.

SATURDAY, September 16

A nice day

I was up at the usual time and commenced the reading of Parson's [sic] on contract for we have not finished other time. After the breakfast I went with Mr. Glen and Prof. [Nuturnia] to take a walk and had a rowing in the river. I read some in the after noon and talked with Ii about his studies. We got letters from Japan. I got from Mukasa, Ikuta and Hirose. Mukasa said he sent the money but it did not come yet. Wrote a card to Mr. Asahina. Went to Mr. Hyatt's house.

SUNDAY, September 17

A rainy day.

I was up at 7 a.m. As it rained quite hard I did not go to a church and stayed at home and read my law book. I was in the house all the day along. We had a Jap. tea party in Mrs. Smith's room in evening, and retired at 10 p.m.

MONDAY, September 18

A clouded day.

I was up at 6 a.m. and studied till the breakfast. I walked on the back piazza about one hour then Mr. Hart came to see me and I requested him about the boarding place in the city. I studied all the for(e)noon. After the dinner I read little and took a walk around the yard, and heard Ii's lessons. In the evening I heard Ii's lessons again and read my book again. I got a letter from Japan

containing \$1079<sup>30</sup> in gold in a check, which was in Jap. money 500 yen for Ii, 350 yen for Soma 100 yen for Ishigro.

TUESDAY, September 19

A nice day

I was up at the regular time and studied after the breakfast. I studied again till the dinner time. I took a little walk in the after noon, I wrote a letter to Mr. Mukasa in acknowledging the receipt of the money. We sat in Mrs. Smith's room in the evening with Mrs. Peck. Wrote a card to Mr. Asahina and to Mrs. St. John. Retired at 11 p.m.

WEDNESDAY, September 20

A fine day

I got up at the usual time and read the law book all the for(e)noon. After the dinner I read little again and went to take a walk to a [creek] about a mile from here, and did shopping on the way to home. I heard Ii's lesson as usual. Got a letter from Charles Bettman and invited me to come there on Saturday. I sat in Mrs. Smith's room in the evening and retired at 11 p.m.

THURSDAY, September 21

A nice day.

I was up at 6 a.m. and read the law book. After the breakfast I continued the reading till noon and finished with the last vol. of Contracts. After noon I went to see Mr. Hart but he was not home, then I went to see Mr. E. Wells and stayed there about 2 hours, and received several information in regards to law books. After the tea I went to see Mr. Coffin but he was not at home. Got letters from Mr. Hart and Mr. Shimidz. Wrote cards to Lencks, Asahina and Mr. St. John. Had a tea party in Mrs. Smith's room and retired at 11<sup>30</sup> p.m.

FRIDAY, September 22

A rainy day.

I was up at the regular time and read a book little. In the after noon I went out with Mrs. Smith to take a walk and got home just before the tea time. I wrote letters to Mr. Shimidz and Asahina. I sat in Mrs. Smith's room a little while in the evening and retired.

SATURDAY, September 23

A clouded day.

I was up at the regular time and fixed to go out and right after the breakfast I stayed to Highland Falls and took a book and got there by 9 a.m. C. Bettman was waiting at the landing and I went to his house. I found all his folks well. I took a walk with him around the town before the noon. We went to a hunting in the woods and shot 3 squirrels. It commenced the rain in the after noon and stayed in the house. In the evening we had a company at the house and had a nice time. Retired at 10<sup>30</sup> p.m.

SUNDAY, September 24

A rainy day.

I was up at 8 a.m. I did not go to a church as it rained quite hard, and stayed in the house all the day along. In the evening, the rain stopped so I went to a church and heard a sermon preached by



a young lady and I liked it very much. After we got home, we sat in the sitting room quite late and retired at 11 p.m.

MONDAY, September 25

A nice day.

I was up at 7 a.m. Soon after the breakfast I left the house and come to the landing with Charles, and there I bid a good bye to him and came to Garrisons by a boat and thence I took a train to Peekskill and got here before noon. I got a letter from Miss Lillie Van Valkenburg and wrote an answer, and a card fro Mr. Asahina for which I answered also. In the after noon I took a walk with Mrs. Smith to a creek. After the tea, I went down to the town. Retired at 10 p.m.

TUESDAY, September 26

A rainy day

I was up at 6 a.m. Read a law book all the after noon and finished it. I did not go out all the day and read some books. I got letters from Georgia Lencks and Mr. Asahina. Mr. Asahina asked me about the arrangement of the rooms in the same house where he wished to go. I wrote an answer and agreed to stay in the same house if I can get through with \$8 or \$8<sup>50</sup> per week. We stayed quite late in Mrs. Smith's room and retired at 11<sup>15</sup> p.m.

WEDNESDAY, September 27

A nice day.

I was up at the regular time and read books. Went to see Mr. Hart, but he was not at home. I went to the woods to get some chestnuts and got home by 3<sup>30</sup> p.m. In the evening I went out to take a walk and got home before 9 p.m. I made Jap. tea in the spare bed room, and retired at 10 p.m.

THURSDAY, September 28

A nice day.

I was up at 6 a.m. and read a book. After the breakfast I went with Mr. Wright to take a walk, and got home by 10 a.m. In the after noon I went with Mrs. Smith and Gertrude into the woods to get some nuts and got home by 3 p.m. I got a letter from J. Lencks and a telegraph from Mr. Asahina. Went to see Mr. Hart but he was not rtrned yet. Retired at 9<sup>30</sup> p.m. I lent \$5<sup>00</sup> to Mrs. Smith.

FRIDAY, September 29

A very fine day.

I got up at 5<sup>50</sup> a.m. and took my breakfast. I started with [old] Mr. Wright for N.Y. and took a boat from Peekskill to N.Y. We had a nice sail. I called on Mr. Asahina and went with him to see my boarding place. At last I have decided to take a room at No. 30 Great Jones St. Then we went to down the town. I sold Gold check \$1079.30 and again sold Gold \$550 at 10 1/8% = \$605.68 and deposited \$529.<sup>00</sup> in gold with Mr. Sato. Went to see a theater in the evening with Asahina and Shimidz, and stayed with them over a night.

SATURDAY, September 30

A rainy day.

I was up at 8 a.m. I was suffering with cold since yesterday, and doctored myself last night. I felt still bed. I had my breakfast and left there at 10 a.m. and took the 11<sup>40</sup> train to Peekskill. I

deposited in the Peekskill saving banks \$150. Paid the boy's schooling \$253.92. I came to the academy and stayed there over the night. I had several medicines. Retired at 10 p.m. Yesterday I sold the gold \$550 at 10 1/8% and deposited [sic] \$529.<sup>00</sup> in U. S. Gold coin with Sato. I placed \$437.48 on Soma's account, \$ 125.80 on Ishigro's \$529<sup>00</sup> in gold \$42.40 in paper money on Ii's account.

### October 1876

SUNDAY, October 1

A nice day.

I was up at 7 a.m. I stayed in Mrs. Smith's room all the forenoon and wrote letters to Platt and Bettman and cards to Tsuda and Lencks. In the after(noon) we went out to take a walk and got home by 4 p.m. I did not feel well and doctored all the day. we stayed in Mrs. Smith's room in the evening and retired at 11 p.m. I took a hot ginger tea and slept very warmly.

MONDAY, October 2

A nice day.

I was up at the 7 a.m. After the breakfast I went down to the town and ordered the express man to take down my trunk to N.Y. and took a walk. I left the academy at 2<sup>15</sup> p.m. and came to here (30 Great Jones St.) Messrs. Shimidz and Asahina are here already. My [sic] has not yet come. I paid \$.62 for it at Peekskill. After the dinner I went out for shopping with Mr. Asahina. I feel better today. I took a warm ginger tea and retired at 10 p.m. Got a letter from A. Lencks.

TUESDAY, October 3

A nice day.

I was up at 7 a.m. I wrote a letter to Mrs. Smith. Went to the school and paid the fee \$100<sup>00</sup>. I went to the express office No. 61 Hudson St. to see about my trunk. It came here in the after noon. I got mended my small trunk. I unpacked my trunk and fixed my room. In the evening we went out to a saloon. In the after noon, Mr. Hart came here. Retired at 10 p.m.

WEDNESDAY, October 4

A nice day.

I was up at 7 a.m. I wrote letters, one to Mukasa and one to Ishigro then went to the school though we had nothing today. Thence I went with Mr. Morse to the criminal law court to see the bar and got house before the lunch. After the lunch I wrote letters to Mr. Donald and to Georgia Lencks. In the evening I went out for shopping. Mr. Hart came to see me and went out with him and called on Mr. Ohta, but he was out. Retired at 10 p.m.

THURSDAY, October 5

A rainy day.

I was up at 7 a.m. I read the lecture book all the forenoon and in the after noon I went down to the town to buy my study books but I did not get them all. I bought a clock with \$3.00. We stopped at the consulate for a few minutes and returned home/ in the evening I wrote letter to Mrs. Peck and read a book little while and retired at ....

FRIDAY, October 6

A clouded day.

I was awaked by the struck of a clock at 5<sup>50</sup> and got up immediately. I read the law books. I went down to the town to buy my study books. I bought them. In the after noon I went to the school and met with Prof. D. and had a short conversation. We have been signed for our attending in Prof. Burgess' lecture and got home by 6 p.m. In the evening I read [Bremtif's] and retired at 10<sup>50</sup>. I lent \$27<sup>00</sup> to Asahina which added with the last lent amounted \$127.

SATURDAY, October 7

A nice day.

I was up at 6 a.m. and read the law books till the noon. After noon I went to see Mrs. Smith at 135 E. 72. St. and we went to the Central Park to take a walk and I took dinner with her at Mr. A. F. Riley's house. Thence I came to W. 23 St. to attend to our annual law club meeting and have decided the days of our local meeting and the amount to be paid in at every meeting. All the members were present except Agee. I got home by 11 p.m. and retired 12<sup>50</sup>.

SUNDAY, October 8

A nice day.

I was got [sic] up at 8<sup>40</sup> a.m. and took my breakfast. I read the news paper all the forenoon. After the dinner I went with Asahina to Mr. Ohta's house and stayed about 2 hours. Then we went out to take a walk and we all came to our house. Mr. Megata came here too and we agreed to establish a kind of society in which every one of us shall keep our money till we go home or some unexpected trouble will happen. They went away by 10 p.m. I wrote cards to Ii and Ishigro. Retired at 10<sup>40</sup> p.m.

MONDAY, October 9

A nice day

I got up at 6 a.m. and studied after the breakfast. I went out to take a walk about ½ hour, and studied till 1<sup>45</sup> p.m. then went to the school to hear Prof. Burgess lecture. He was going to deliver the lecture on political and laws of nations. I have decided to attend in his class and see how much I can study beside my regular studies. I stayed in the Junior's registration and got through with our lessons at 6 p.m. in evening I walked one hour with Mr. Asahina and retired at 10<sup>45</sup> p.m.

TUESDAY, October 10

A nice day.

I was go up at the regular time and studied till the breakfast and went to take a walk and stopped at the book store and bought political books. I studied again all the forenoon. Miura came here at 1 p.m. and receive together over lessons. Then went to the school and our own classes. After the tea I took a walk with Mr. Shimidz and got home by 7<sup>30</sup> and studied till 10<sup>45</sup> p.m. and retired.

WEDNESDAY, October 11

A fine day.

I got up at usual time and studied as usual before the breakfast. After the breakfast I took a little walk. I attended in Medical and Political Lectures and also in the regular session. The mail came from Japan, but no letter to me. After the dinner I went to see M. Hart but he was not at home. In the evening I studied as usual and retired at 11<sup>15</sup> p.m.

THURSDAY, October 12

A nice day.

I was up at the regular time and studied as usual before the breakfast and after the breakfast took a walk. Went to the school to hear medical jurisprudence lecture. Miura came here and we had several questions of laws and after the lunch went to the school again and got home by 6 p.m. After the dinner I took another walk and got home by 8 p.m. Commenced to copy the Prof. lecture and retired at 11 p.m.

FRIDAY, October 13

A nice day.

I was up at the regular time and did all the work of the day and took my regular walks and also went to the school. Mr. Santa came here in the evening and we had some talks, retired at 11<sup>50</sup> p.m. Got wash.

SATURDAY, October 14

A nice day.

Was up at 7 a.m. and read the books. Went to the down town with Mr. Asahina and stopped at the Consulate. I have deposited \$4.00 in Jap. money raising club. We went to the Seaman's Savings Bank to deposit the club's money. Mr. Asahina's name was placed in the bank book as the [mastery]. I bought at Mr. Smith Wharton's on Criminal Law for \$5<sup>50</sup>. I took bath. I changed my room and roomed together with Mr. Asahina. Retired at 11<sup>15</sup> p.m.

SUNDAY, October 15

A rainy morning.

I was up at 8<sup>30</sup> a.m. I read little of Law book and read Japanese news paper. Wrote letters to Ii. Ishigro, Tsuda and also to Japan—to Father and Mukasa. In the after noon Mr. Miura came here and we had a review in Evidence and Blackstone. Then I went out with him to take a walk and came back here again. He stayed till about 10 p.m. After he went home I read the Jap. news paper and retired at 11<sup>15</sup>. it snowed last night and very cold today.

MONDAY, October 16

A rainy day.

I was up at 6<sup>30</sup> and studied as usual and went to the school. In the evening I called on Mr. Hart and stayed a little while. Got letters from Mrs. Smith, Ii and Ishigro. Retired at 11 p.m.

TUESDAY, October 17

A nice cold day.

I was up at the regular time and studied and went to the school as usual. Mr. Miura came here and went to the school together. In the evening I went out with Mr. Asahina and took a little walk. Studied as usual in the evening and retired at 11 p.m. Got a letter from Mrs. St. John which came from Peekskill.

WEDNESDAY, October 18

A nice day.

I was up at the regular hour and went to the school as usual and studied regularly too. I took my

regular walks in morning and in the evening. It was warmer than yesterday. The news paper came from Japan. I had little pain in my left eye and did not read in the evening and retired at 11 p.m.

THURSDAY, October 19

A nice day and warmer.

I was up at the regular time and studied and went to the school as usual. Got a letter from E. F. Platt in the evening. I went with Miura to attend in the Barnard Club. We had elected officers for  $\frac{1}{2}$  year. Got the law books (Kent's Commentary and Wharton's on Criminal Law) which paid \$12<sup>00</sup> for the former and \$5<sup>50</sup> for the latter. Went to take a walk in the evening and retired at 11 p.m.

FRIDAY, October 20

A nice day.

I was up at the regular hour and studied as regularly and went to the school as usual. In the evening I went out with Mr. Asahina to take a walk and got home by 9 p.m. and retired at 11 p.m.

SATURDAY, October 21

A rainy day

I was up at regular time and wrote something about in regard to the subject given in Jap. Law Club. Wrote a letter to Mrs. Smith and cards to Ii and Ishigro. In the evening I started to call on Mr. Miura but did not go there and returned on account of the rain. Mr. Komuchi went to Phila. and sent a note informing his not being at home this evening so we postponed our meeting till next week. I went with Mr. Shimidz to a theatre. Miura came here. Retired at 12<sup>30</sup>.

SUNDAY, October 22

A rainy day

I was up at 8 a.m. I copied the lecture about 1 $\frac{1}{2}$  hours. As my eye was not very well I read Blackstone only a little while. After noon I went to see Mr. Miura and we reviewed together Evidence and got home by 7<sup>30</sup> Mr. Ohta was here and we sat quite late and retired at 11 p.m.

MONDAY, October 23

A rainy day.

Got up at regular time and studied as usual and went to the school. Got letters from Miss L. Van [Varkenburgh], Yegawa, Ii, Ishigro, Mrs. Smith and Mrs. Peck. The lectures on Criminal Law commenced this evening for which I was attended. Bought a pair of shoes and paid for wash. Retired at 10<sup>15</sup> p.m.

TUESDAY, October 24

A nice day

I was up at the regular time and studied as usual and went to the school. Mr. Miura came here. I received \$50<sup>00</sup> from Mr. Asahina which he is still owing me \$50<sup>00</sup>. In the evening I took a walk with Asahina and called to see Mr. Ohta at several houses but we did not find the right one, so we did not see him after all. We went in to see the models of Spanish and French punishments. Retired at 10<sup>30</sup>. My eye was better today.

WEDNESDAY, October 25

A nice day.

I was up at the regular hour and studied and went to the school. I took twice my regular in morning and in evening. Got a letter from Mrs. Smith and she wanted me to postpone my going there till next week for she was going to Phila.

THURSDAY, October 26

A nice day.

I got up at the usual hour, studied as usual and went to the school regularly. In the evening after I got home from Criminal Lecture, we went to the streets to see a torch light procession. It was a democratic procession and Gov. S. Tilden was present at Union Square where a large platform was elected for the purpose of speaking. They had nice fire works in the front of the stage and a large number of people was gathered together. We got home by 12 and soon retired.

FRIDAY, October 27

A nice day.

I woke up at the regular hour and studied and went to the school as usual. In the evening we had our Jap. Law Club meeting in Mr. Shimidz's room. Messrs. Shimidz and Miura and myself were present. After the meeting was over they came to my room and Miura stayed till 11 p.m. We retired at 12 p.m.

SATURDAY, October 28

A rainy day.

I was up at 7 a.m. and read news paper. Went to the down town to buy some law books and stopped at Consulate for a few minutes and came home just before the lunch. I stayed at home all the after noon and read news papers. In the evening I went to Mr. Riley's house and there met with Mrs. Smith and Peck. I played some games with the boys and stayed till about 11 p.m. and returned and soon retired.

SUNDAY, October 29

A nice day.

I was up at 8 a.m. and after the breakfast went up to the 72 St, and thence went to the park with Mrs. Smith and Mrs. Peck and others and got home by 1 p.m. I paid \$20<sup>00</sup> to Mrs. Peck for the American Picturesque which she contracted to sell. She is going to send it to Peekskill. Mr .Miura came here in after noon and we had our review of the last weeks studies as usual. and after that we read Jap. news papers and Laws. Mr. Matsui and Ohta were here too. Retired at 11<sup>15</sup> p.m.

MONDAY, October 30

A nice day.

I was up at the regular hour and went to the school. I studied all the day along and in the evening I went to the Criminal Law lecture. Got letters from Taro and Ii and I wrote answers to them. Messrs. Tokugawa and Tsuchiya came here to see Mr. Asahina. We had the five in our room since last Saturday and for which we got to pay \$2<sup>00</sup> extra. Retired at 11 p.m.

TUESDAY, October 31

A nice day.

I was up at the regular hour and studied and went to the school and also I took my regular walks. I went to the German's Savings Bank with Mr. Miura to deposit our Jap. Law Club's money. Mr. Asahina went to Phila this morning. In the evening one of the best lawyers in this city gave a lecture on the subject of Roman Legislation at our school, which was very much interested Mr. Miura came to here and stayed quite late. Retired at 12 p.m.

### November 1876

WEDNESDAY, November 1

A nice day

Got up at the regular hour and walked and went to the school as usual. In the evening I went to see Mr. Hart and got home by 9 p.m. and read a book little while and retired. Got a letter from Ishigro.

THURSDAY, November 2

A nice day.

I was up at the regular time and did all the works and exercises required for the day. In the evening I went to the Criminal Law Lecture and then went in the Barnard Club meeting in which I was unexpectedly appointed for an associate justice. Got home by 10<sup>30</sup> and retired at 11 p.m.

FRIDAY, November 3

A nice day.

I was up at the regular hour and studied and went to the school. They had the first moot court this year. It was very good and interesting. In the evening we had our Jap. Law Club meeting in Mr. Shimidz's room. After the meeting was over we went out to celebrate our national holiday of 天長日 and enjoyed very much. Got home by 12 p.m. and retired soon.

SATURDAY, November 4

A nice day.

I got up from the bed at 7 a.m. and took my breakfast. I copied about 6 pages of the Law lecture before 9<sup>30</sup> a.m. I left home at 10 and came to the H. R. Depot and took 11<sup>50</sup> train to Peekskill. I found Mrs. Smith at home but the rest were out. Ii and Ishigro were well. In the evening we sat in Mrs. Smith's room and retired at 11<sup>30</sup> p.m.

SUNDAY, November 5

A nice day.

I was up at 7 a.m. After the breakfast I talked with Ii and Ishigro in regard to their studies. I did not go to a church and stayed in Mrs. Smith's room and read the news paper. In after noon I went in Mr. Donald's room and stayed a little while and after that I made our other talk with Ii about his studies. I took 4<sup>39</sup> train down to N.Y. city. When I got home I found Messrs. Asahina and Sato were going to take a farewell dinner with Mr. Date, so I went with them and had a nice time. There were about 13 friends and after the dinner they all came to my room and had regular Jap. time. Retired at 12 p.m. Yesterday I received the American Picturesque at Peekskill from Mrs. Peck and left with Mrs. Smith to keep for me. Received from Mr. Asahina \$50<sup>00</sup> which I lent to him some time ago and all our account is now settled.

MONDAY, November 6

A clouded day

I was got [sic] up at 7 a.m. and studied, walked and went to the school as usual. In the evening I attended in the Criminal Law lecture. Mr. [Vaubee] came here. Got a letter from Ishigro and retired at 11<sup>30</sup> p.m.

TUESDAY, November 7

A rainy day

I was up at 7 a.m. and wrote letters to Mrs. Smith, Mrs. Peck, Mr. Tsuda, Ii and Ishigro. Got a letter from Miss Georgia Lencks. Sato, Miura and Arai came here. Miura and I had the review of the studies. In the evening I went out with Mr. Asahina to take a walk and stopped to see an amusement in 6 Av. I bought a paper in the evening after 10 p.m. but it was still uncertain that which party will gain at the Ballot but in the city Democrats have great majority. Retired at 11<sup>15</sup> p.m.

WEDNESDAY, November 8

A nice day.

I was up at the regular time, studied and went to the school as usual. In the evening I went to get gloves for Mr. Donald as I was requested, but I could not find the suitable ones. Wrote a cards to him. The mail arrived from Japan, but no letter to me except one from Agee. In the evening I went to take a walk with Mr. Asahina. Retired at 11<sup>15</sup> p.m.

THURSDAY, November 9

A beautiful day.

I got up at the regular hour went to the school and studied as usual. In the evening I went to the school to attend the Criminal Law Lecture. In the evening I read Jap. news and retired at 11 p.m.

FRIDAY, November 10

A cloudy day

I was up at the regular hour studied and went to the school as usual. Got a card from Mr. Donald. The junior class of the school had a moot court—the arguments in both sides are not so good as last week. I studied my case in the evening and retired at 11<sup>15</sup> p.m.

SATURDAY, November 11

A cloudy day

I was up at 7<sup>30</sup> a.m. After the breakfast I went to Jap. Consulate. We put off our money raising meeting till next week. Mr. Asahina went Phila with Mr. Matsudaira. Miura came here and stayed till the evening. Paid the Barnard \$8<sup>00</sup>. Lent \$2<sup>00</sup> to Mr. Shimidz and \$1<sup>00</sup> to Mr. Asahina for the board of Mr. Matsudaira. Retired at 10<sup>15</sup> p.m.

SUNDAY, November 12

A nice day

I was up at 7<sup>15</sup> a.m. and read Parson [sic]. After the breakfast I went out to take a walk and read news paper. I wrote cards to Mr. Donald and Ii. Mr. Miura came here and we received Evidence. Mr. Ohta came here too and we played some game in Mr. Shimidz's room and at about 8<sup>30</sup> we went



out and took oysters and came home at 10 p.m. and retired at 11 p.m. Lent \$.75 to Mr. Shimidz.

MONDAY, November 13

A nice day.

I was up at the regular hour and studied and went to the school. Mr. Asahina came home from Phila. Got letters from Ii, Ishigro and Mrs. Smith. In the evening I attended in Criminal lecture and read Parson [sic] after I got home and retired at 11 p.m.

TUESDAY, November 14

A nice day.

I was (up) at the regular hour and studied and went to the school and attended in the Medical Jurisprudence lecture. Miura came to here after the school and in the evening we went together to attend in the Lecture on Roman Law given by Van Winkle. It was the second time though the lecture was just introductory. Read Person and retired at 11 p.m.

WEDNESDAY, November 15

A rainy day.

I was up at the regular time and studied and went to the school and attended the lecture as usual. In the evening I took a walk with Mr. Asahina and read Person and retired at 11 p.m. Got letters from Mr. Donald and Ishigro.

THURSDAY, November 16

A nice day

Got up at the regular hour studied and went to the school as usual. In the evening a lecture on "Title of Real Estate" delivered at the school by a lawyer named Mr. Richard. It was very practical one and very useful for students who will practice law in N.Y. city, but not very interesting to me. Read Parson [sic] in the evening and retired at 11 p.m. Ishigro sent me his letter which I had corrected. I wrote a card to Ii and requested to send his letter soon.

FRIDAY, November 17

A nice day.

I was up at the regular time studied and went to the school. Someday came to see me but I was out, so I did not see him. Retired at 1 a.m. I got so late as I was preparing the next Moot Court Case.

SATURDAY, November 18

A cloudy day

I was up 7<sup>30</sup> a.m. and wrote little the moot court case and went down the town and bought Law books for Mr. Komuchi at Smith. Took a lunch with Komuchi and others. Got home by 3<sup>30</sup> p.m. and wrote and finished the moot court case .Retired at 12 p.m.

SUNDAY, November 19

A rainy day

I was up at 8 a.m. and read news paper. After the dinner I commenced to write letters to Japan one to Nishimura and Mukasa and to Ishigro. In the letter to Nishimura and Mukasa I stated

about the condition of Ii and also my view about his future progress within 2 years from next summer. I wrote to Ishigro to send his son's expenses soon. In the evening, Mr. Matsui came here and stayed quite late and I retired at 12<sup>15</sup> p.m.

MONDAY, November 20

A rainy day

I was up at the regular hour studied and went to the school as usual. Got letters from Ii, Ishigro, and Mrs. Smith. In the evening I went to attend the lecture in criminal Law. Wrote a letter to my Father, and also corrected Ii's letter to his brother and wrote one to him and sent them to Peekskill. Retired at 11<sup>30</sup> p.m.

TUESDAY, November 21

A nice day.

I was up at the regular hour, studied and went to the school as usual. I mailed a package of letters and news paper. In the evening, we had a lecture on Roman law, Miura came here with me and stayed about one hour and went to home. After he left here I read Parsons, and retired 11<sup>30</sup> p.m.

WEDNESDAY, November 22

A clouded day.

I was up at the regular time went to the school and attended all my studies as usual. In the evening we had Jap. L. Club meeting in Mr. Shimidz's room. Messrs. Miura, Shimidz and myself were present. I was appointed for the plaintiff's counsel. After the meeting was over I read Parson's [sic] and retired at 11 p.m.

THURSDAY, November 23

A nice day

I was up at the usual time and studied and went to the school. After the dinner I went out with Mr. Asahina to take a walk and stopped to see Mr. Miura but he was out. I went to the school in the evening and attended in B. Club, They had a great discussion in regard to some questions of the Constitution. Got home by 11 p.m. and retired.

FRIDAY, November 24

A fine day

Got up at the regular hour and studied and went to the school. The moot court was rather poor today. In the evening I went with Messrs. Asahina and Shimidz to Lyceum Theatre. Mr. Booth played "Hamlet" and it was splendid. We took a lunch at a oyster saloon and got home by 12 p.m. and I wrote letters to Mr. Donald and Mrs. Smith and retired at 1 a.m. next day.

SATURDAY, November 25

A nice day

I was up at the regular hour and after the breakfast I wrote a letter to Mr. Georgia Lencks, I went to get my hair cut and thence went to the taylor [sic] to get my pants. Read news paper a little while. Mr. Miura came here at the noon and he stayed about 2 hours and we went out together, I went in the school to read some cases, and then went to take a bath and got home by the dinner time. Mr. Miura came here in the evening and we read a Jap. Law Book. Retired at 12 p.m.

SUNDAY, November 26

A rainy day.

I was got up 8 a.m. Since last night I did not feel well and had some pain in my mouth, it was caused by cold. Read news paper all the morning. In the after noon I was going to Mr. Miura's house to study together our law lessons, but I could not do so on account of my poor feeling. In the after noon he came here and we had our studies and stayed till 11 p.m. I retired at 12 p.m. Wrote a card to Ishigro and told him to come on THURSDAY.

MONDAY, November 27

A rainy day

I was up at the regular hour, studied and went to the school though I did not yet feel quite well. In the evening I attended in criminal law lecture and after that read Parsons. Wrote a card to Mr. Donald and requested him to send the boys to here on the THURSDAY morning. Got letters from Mr. Donald, Mrs. Smith, Ii and Ishigro. Retired at 11<sup>30</sup> p.m.

TUESDAY, November 28

A nice day

I was up at the usual hour, went to the school and did all my works. In the evening, I attended in Mr. Van. Winkle's lecture on Marriage. Mr. Miura came here and stayed a little while and went home. Retired at 11<sup>30</sup> I borrowed \$50<sup>00</sup> from Mr. Asahina. Got the bills from Mr. Wright.

WEDNESDAY, November 29

A fine day

Got up at the regular hour, studied, and went to the school as usual. Got a telegraph from Ishigro in which informed us about their coming. Received news papers from Japan, but no letter came to me. Though one from Mr. Agee. In the evening I went with Mr. Asahina to take a walk and stopped at Mr. Sato's store and stayed quite late. I lent my lecture book to Mr. Hart. Retired at 11 p.m.

THURSDAY, November 30

A cloudy day.

I was up at the regular hour and soon after went to the G. H. & C. depot to meet with the boys. I took them into my house. We went out after noon and visited some amusements. And in the evening we went to the Hippodrome and enjoyed very much and on way to home we stopped at an oyster's house and got home by 11 p.m. and retired at 12 p.m. Got letters from Messrs. Donald and Abisha.

### **December 1876**

FRIDAY, December 1

A clouded day and snowed little.

I was up at 8 a.m. Ishigro went away this morning. we went to the down town and bought an air pistor [sic] for Ii and stopped at the Consulate of Japan. Thence we went to Bowery St. and went in to see a show of a big woman and small persons. We took our lunch out and got home by 2 p.m. In the evening went to the Union Square theatre for which we enjoyed very much and got home by 11 p.m. and soon retired.

SATURDAY, December 2

A clouded day

I was up at 7<sup>30</sup> a.m. I stayed in the house all the morning. In the after noon I took Ii to the G. C depot and let him take 4<sup>15</sup> train to Peekskill and got home by 4<sup>30</sup> p.m. After tea I went out with Mr. Asahina to take walk and got home by 8<sup>15</sup> p.m. and read news papers and retired at 12 p.m.

SUNDAY, December 3

A clouded day.

Got up at 8 a.m. After the breakfast I wrote a letter to Abisha Lencks and read Japanese news papers. In the after noon Mr. Miura came here and we had our regular review of our lessons. He stayed all the evening and Mr. Asahina made Jap. Somen for us and we had a nice time. I retired at 11 p.m.

MONDAY, December 4

A nice day

I was up at the regular hour, and studied and went to the school. In the evening I attended in criminal lecture. Mr. Asahina took Ii's pistor [sic] to get changed with another one and for which I paid 75 cents more. Retired at 11 p.m. Got a letter from Ishigro in the morning and another from Ii in the evening.

TUESDAY, December 5

A nice day

Got up at the regular hour, took regular walk, studied and went to the school, I did not attend to any lecture today for I was very busy in preparing my regular study, and also the moot court case. Got a letter from Mr. Peck. In the evening I sat till nearly 1<sup>30</sup> to get finished my moot court case, and was very tired when retired.

WEDNESDAY, December 6

A nice day

I did all my works required but I did not attend to the Medical Jurisprudence lecture for I did not have time to do so. We agreed to admit Mr. Tsuda as a member of our club. We had a discussion in regard to the method of raising money, but we did not decide it. All the members in the city were present except Mr. Shimidz. Retired at 12 p.m.

THURSDAY, December 7

A nice day

I was up at the regular hour, studied and went to the school as usual. In the evening I went out with Mr. Asahina to take a walk and stopped at Mr. Sato's store and there I bought Jap. cups to be used for Christmas present. Then I went in the Criminal lecture. Mr. Miura came here with me and stayed about one hour. I retired at 12 p.m. I wrote a letter to Mrs. Peck.

FRIDAY, December 8

A fine day

Got up at the regular hour, studied and went to the school as usual. They had a moot court—I had a tooth ache again and not able to eat much. Ii and I stayed at home all the evening. Got a letter

from Miss Bard. Retired at 10 p.m.

SATURDAY, December 9

A windy day.

I was up at 8 a.m. and read Equity a few hours. And then I read news paper. I did not quite well yet and stayed at home all the day. Messrs. Miura and Hasegawa came here. Wrote a letter to Mr. Tsuda with regard to the Jap. Law. Club business. We talk quite late and retired at 12 p.m.

SUNDAY, December 10

A rainy and snowing day.

I was up at the regular Sunday hour and after the breakfast went to Mr. Miura's room to receive our lesson. He came here in after to finish what we had left morning. After tea we sat in Mr. Megata's room and made several speeches. Retired at 11 p.m. Wrote a letter to Mrs. Smith and another to Ishigro.

MONDAY, December 11

A clouded day.

It snowed last night and it marked quite deeply on the ground this morning. I was up at the regular hour, studied and went to the school. In the evening I attended in the Criminal law lecture. The course of the lecture was ended this evening. I took a little walk with Mr. Miura and got home by 9<sup>15</sup> p.m. and then I read Parson's [sic]. Went to bed at 11<sup>50</sup> p.m. Got letters from Ishigro, Ii and Mr. Tsuda and wrote cards to Ii and Tsuda in reply.

TUESDAY, December 12

A cloudy day

Got up at the regular hour, studied and went to the school. In the evening I attended in the Roman Law lecture and after that I took a little walk with Mr. Miura. I read Parsons and retired at 11 p.m. Got a letter from Mrs. Smith. I bought a bottle of cologne to be used for Christmas present.

WEDNESDAY, December 13

A fine day

I was up at the regular hour, studied and went to the school. After the tea I went out with Mr. Asahina to take a walk and stopped at Sato's store. Got home by 8<sup>30</sup> and read Parsons. Went to the school at 11 p.m. Got a letter from N. Ii.

THURSDAY, December 14

A nice day

I went to the school and did all things required. Jap. mail came but no letter to me, though the news paper came. In the evening Mr. Miura came here and we read little of Jap. Law. Mr. Hart came here too and want(ed) us to attend to the Barnard Club meeting, so we did. They had the same discussion we had last time. Got home by 10<sup>30</sup> and copied the lecture and retired at 11<sup>30</sup> p.m.

FRIDAY, December 15

A cloudy day

I was up at the regular hour, went to the school in the evening. I took a walk with Mr. Asahina and bought some of Christmas presents. Retired at 11 p.m. Got a letter from Ishigro in which Mr. Donald requested me to come there to spend the holidays.

SATURDAY, December 16

A very windy day.

I was up at 7<sup>30</sup> a.m. and wrote a note for Jap. L. meeting. I went down to the down town with Mr. Shimidz to buy Law Books. And stopped at the Jap. Consulate and saw Mr. Takaki and others. In the after noon I went to see Miura and went Sato's store and thence to [Bathtime] and bought Jap. pictures to present to Prof. Dwight. We took a bath. We had been Jap. L. meeting and several arguments in regard to the Constitution of the club and its interest in order to inform to Agee some matters by Komuchi who was going (to) Jap. next month. We went to take a farewell dinner and had a nice time. Retired at 11 p.m.

SUNDAY, December 17

A cold day.

I was up at 8<sup>30</sup> a.m. and read news paper. Mr. Miura came here in the after noon and we received our lesson. He went home after 10 p.m. and soon I retired. I wrote a letter to Mrs. Smith and a note to Ii and Ishigro.

MONDAY, December 18

A cold morning and snowing hard.

I studied all the morning and went to the school. I got a card from Mrs. Peck in which she informed about her departure to the south. I read in the evening Parson [sic] and Equity. I retired at 1 a.m. next. Wrote a card to Mr. Tsuda and asked him about changing the day of visit here.

TUESDAY, December 19

A nice day.

I was up at 6<sup>40</sup> a.m. and read Equity before and after the breakfast. I attended in the morning class for I wanted to go to see Mrs. Peck off this after noon. After I got out from the school, and went out to send a package to Peekskill by the express and went to the post office to buy stamps. I left home at 4 p.m. and went to the Jersey City depot and waited there about one hour until Mrs. Peck and her children came. Mr. Donald, Mr. Wright, Mrs. Bard and some others were there. We saw Mrs. Peck and the children off safely and I got home by 7 p.m. and took my dinner out and went to the Roman Law Lecture. After I got home read little while and copied the lecture and retired 11 p.m.

WEDNESDAY, December 20

A nice day.

I was up at 7.30 a.m. and read the lesson. Went to the school as usual. Mr. Asahina had suddenly taken a sick and not able to move. He was very sick and had terrible ache on his back and not able to come up to his room, so I took him first in Mrs. [Clasely's] room and after I carried him into Mr. Megata's room and put in the bed. That was about noon time though he got sick from the morning. Retired at 11 p.m.

THURSDAY, December 21

A snowing day

I was up at the regular hour, studied and went to the school. In the evening Mr. Miura came here and we talked again about the matter of a letter to Prof. Dwight. I went to the Barnard Club for I was appointed as a chief justice. They had again another argument in regard to the Constitution. Retired at 12<sup>15</sup> p.m.

FRIDAY, December 22

A snowing day.

I was up at the regular hour and studied. I went out to take a walk and stopped at Prof. Dwight's house and left on Christmas presents with a servant of the house. I went to the school. Prof. Dwight presided at the moot court. After the dinner I went out to take a walk and stopped at a store and bought a book for Christmas present. Mr. Megata came in my room and talked about the interest of our club. And after that read a book for moot court case. Retired at 1 a.m. Got a card from Tsuda and a letter from Ishigro.

SATURDAY, December 23

It was a cold day.

I got up at the regular hour and read law books in preparing for the next moot court case and read also news papers. In the evening I expected to go to Cooper institute with Mr. Miura but as he did not come so I did go, but I went to see him and took a walk and bought gloves and pens. Mr. Asahina was not well yet. I retired at 12 p.m. I and Megata made some Jap. speeches [sic].

SUNDAY, December 24

A nice cold day

I was up at 8<sup>30</sup> a.m. After the breakfast I read news paper. In the after noon I waited Mr. Miura but he did not come so, I went out with Mr. Megata to take a walk and got home just before the tea time. Mr. Sato and some other came to visit Mr. Asahina. In the evening Mr. Miura came and we had several Jap. speeches [sic]. Mr. Tsumagi stayed with me over a night and retired at 12 p.m.

MONDAY, December 25

A nice day.

I was up at 8<sup>30</sup> a.m. after the breakfast I left home and took 11 a.m. train to Peekskill. I found all folks at the academy away except Mrs. Smith and the boys. Ishigro was almost well but Ii got a chicken-pox and was confined in his bed. All got home by the evening and we had a nice conversation. I got several Christmas presents. Wrote a letter to Mr. Asahina. Retired at 11 p.m.

TUESDAY, December 26

A cold day.

At about 1<sup>30</sup> a.m. Ii came down and went in Ishigro's room. He could not sleep last night and thinking everything and finally got scared by some sound in the town. He said "Some one is [worshipping] for or against him." So I left Ishigro in my room and left Ii in his room. He could not sleep alone so I stayed with him till the morning. I called the doctor for him. He got cold and made him worse. I took care of him all the day and also sat with him in the night till 4<sup>30</sup> a.m. next. Mr.

Donald sat after that time till morning.

WEDNESDAY, December 27

It was a snowing day.

I was up at 7 a.m. Ii was some better but I attended him all the day along. I wrote a new year's letters to Japan. I left very sleepy and tried to take a nap but I did not. The doctor came and said "Ii is better and he may sleep tonight." In the evening, Mr. D. attended him till all the night so I retired at 9 p.m.

THURSDAY, December 28

A snowing day.

I was up at 7 a.m. Ii was better than yesterday. Dr. came and said "Ii is great deal better." I attended his medicine all the day. I wrote a new year's letters to Japan. In the evening I attended his medicine till 12 p.m. But as he seemed he could get along without any body sitting by him, I retired. He slept nicely till the tomorrow morning.

FRIDAY, December 29

A snowing day.

I was up at 7 a.m. Ii was much better. The Dr. came and told me to change Ii's cloth and fix the bed. So I let him dressed and took him into Mrs. [Forth's] room, there he sat till after noon until I left there. I walked down to the depot and took 3<sup>30</sup> p.m. train to N.Y. and got home by 5<sup>40</sup> p.m. I was very tired, so retired soon after the dinner. It was about 7 p.m. When I got home I found Mr. Asahina better. But Mr. Tsuda did not come as he was sick.

SATURDAY, December 30

A nice day.

I slept till 10 a.m. and too late for the breakfast. When I got up I felt that I got little rested. After the lunch I went out to take a walk and went in Sato's store and bought a tea pot to send to Mrs. Wright and went to St James hotel to see Mr. Muramatsz but he was not there, so I got home. Mr. Tsuda came here and we had our regular Jap. L. Club meeting in the evening and everything went on nicely. After the meeting was over we had several speeches [sic] and retired at 12 p.m.

SUNDAY, December 31

A nice day.

I was up at 7<sup>00</sup> a.m. Since Mr. Tsuda was here I stayed at home all the alone. Mr. Miura was here also. At about 4 p.m. we went out and called on Mr. Komuchi and got home by 6 p.m. We sat on (in) Mr. Megata's room and had several conversations. We waited 12 p.m. and went to bed. I was quite well all the year and accomplished nearly all what I had wished at the beginning of the year.

## ②Diaries of Nagatane Soma – 1877 Diary

Daily Memoranda  
January 1877

MONDAY, January 1



A nice day and snowing evening.

I was up at 7<sup>30</sup> a.m. I wrote some letters in morning. In the afternoon I went out to get some things for the evening entertainments. At about 4 p.m. Messrs. Miura and Komuchi came here and we went on to make a preparation for the evening. Here were the following persons Asahina, Shimidz, Megata, Miura, Komuchi, Tsuda and myself. At 5<sup>30</sup> p.m. we began our a [sic] new year's banquet. And we made several speeches and played some games. Mr. Tsumagi came here in the evening. We set till about 12 p.m. and retired after we had hour fully enjoyed.

TUESDAY, January 2

A nice day.

It snowed very hard last night and the snow was about 15 inch deep.

I was up at 7<sup>30</sup> a.m. and wrote a letter to Mrs. Wright and a note to Ii. Mr. Tsuda went home this morning. I went out to send by the express a tea pot to Mrs. Wright and a book to Ii and bought some thing for Mr. Asahina. I finished my letters and a report to Jeu shi Ii. This time I asked him about his brother (N. Ii's) allowance to stay in this country after this summer and I informed him all about his brother. In this evening I went out to see Mr. Muramatsu but he was not at home. Mr. Miura was here. Got a letter from Mrs. Smith and knew Ii was better.

WEDNESDAY, January 3

A fine day.

I was up at the regular hour, and went to the school to look some cases. The school commenced to-day. We had the lecture on torts. Prof. Chase took the charge of our class during the lesson on torts. In the evening I wrote a decision of the case argued at the moot court in Barnard Club and retired at 12 p.m. I got a letter from Ishigro in which he send the letters to Japan. A mail arrived from Japan, but no letter came to me nor to the boys.

THURSDAY, January 4

A nice day.

I was up at the regular hour. I copied the lecture in torts and went to the school. We had only the lecture. In the evening Mr. Muramatsu came to see me and stayed about an hour. He was going to leave here for Japan this evening. After he went away I went to the meeting of Barnard Club and delivered very judgment of the case argued there last week. It was about 10 p.m. when I got home. Then I went out to get some brandy. Retired at 11 p.m. Mr. Megata went to Boston. I received a box of our Jap. L. Club from him to be kept. Got news papers from Japan and letters from Mrs. Smith and Ii.

FRIDAY, January 5

A fine day.

I was up at the regular hour and studied. Went to the school at about 4:30 p.m. and heard a part of the moot courts' arguments. We had our first lesson (recitation) on torts. In the evening Mr. Miura came here and we studied together Jap. law. He went home at about 10<sup>20</sup> p.m. and I retired at 11 p.m. In the morning I went to the post office to send Jap. news papers to Ii and a letter to Ishigro. I got a letter from Mr. Tsuda. I took my clothings [sic] to a tailor, but his store was closed so I came back with my clothings [sic].

#### SATURDAY, January 6

A cloudy day and snowed in the night. I was up at the regular hour and read. Mr. Sato came here and gave me the interest of the money to him. I wrote a letter to Mr. Tsuda. Got a letter from Ii. Went to the consulate of Japan and met with Messrs. Takagi, Ohta, Fukui and others. Got home by 12<sup>30</sup>. A registered letter came from Ishiguro containing a bill \$209<sup>09</sup> in gold. I took my clothings [sic] to a taylor [sic] again and left with him to be mended. I corrected Ii and letters to Ishiguro which came from his father and grand mother. I took both. Wrote an answer to Ishiguro (father) and a letter to Mukuhara. Read news paper and retired at 11 p.m.

#### SUNDAY, January 7

A cloudy day.

I was up at 5 a.m. I read newspaper and copied the tort's lecture. Mr. Miura came here in afternoon and we had our reviewing on Parsons. After the tea Mr. Asahina made Jap. Meshi and we enjoyed of it very much. After Miura and Tsumagi went away I wrote a letter to Mrs. Smith and after that I work some account for Mr. Asahina and retired at 11 p.m. We had some game in Mr. Shimidz's room this afternoon and evening. It was very warm day but I did not go out for the melting snow made the streets very bad.

#### MONDAY, January 8

A beautiful day, but not very clear. It was quite warm. I was up at 7<sup>30</sup> a.m. After the breakfast I went out to take a walk and mailed a letter to Mrs. Smith and went to Addam's express Co. to call to take Mr. Megata's trunk to Boston. I studied as usual and went to the school. Prof. Dwight heard the junior's recitation. Mr. Asahina was quite better and went out to the consulate of Japan. In the evening I read papers and looked cases to study up the case 9. I retired at 10<sup>30</sup> p.m. I expected to receive some letters from Peekskill but none came. As it was very warm the snow began to melt and it made the streets very muddy.

#### TUESDAY, January 9

A cloudy day. It was quite cold. Thero. 14° I was up at the regular hour and studied as usual. I went to the school. Got letters from Ii and Ishiguro and also. A card from Ishiguro for which I sent an answer. After the dinner I went out to take a walk and stopped at the post office and thence I went to Mr. Sato's store. I deposited with Mr. Sato \$209<sup>09</sup> in gold which I had recently received from Japan in a Bill of exchange at the Bank of British North America. But he did not give me any receipt, but he promised to me to give me a book to keep the accounts. Went in Roman L. Lectures. Read Parsons. Retired at 11<sup>10</sup>.

#### WEDNESDAY, January 10

A cloudy day, but snowed in the evening. It was very cold day. Thero. 14° I was up 7<sup>30</sup>. After the breakfast I took a little walk and studied as usual. Attended in the school. In the evening I took again a little walk. And after I got home, read papers and other books. Got letters from Megata and Mrs. Wright. Sent a card to Ishiguro. Retired at 11 p.m.

#### THURSDAY, January 11

A nice morning but rained little in the evening. I was up at the regular time and studied all the morning and the afternoon. I went to the school. In the evening I went out with Mr. Asahina to

take a walk and stopped at Sato's store and we stayed there about one hour and half. I got a book to keep the accounts with him. When I got home I found that Mr. Miura had been here to read Jap. Law together. But I was entirely forgotten about it. After that I tried to write my moot court case but I did not succeed so, I went bed at 11 p.m.

FRIDAY, January 12

A nice morning and snowing evening. I was up at the usual time and studied all the morning and after noon till I went to the school. In the morning right after the breakfast I took a walk and stopped to Mr. Miura. We had a regular moot court discussion in the Junior Class. When I was going in the school room some one called me by name. When I looked at he was [Felies] from West Point. We had a little talk there and I requested him to call me in the evening. As he came in the evening with his brother and we talked about our old times. I had commenced to write my moot court case before he came but I was interrupted by him, so, I went on again after he went home and continued till 1 a.m. next and retired.

SATURDAY, January 13

A fine day, but it was very cold. I was up at 8 a.m. After the breakfast I went with Messrs. Asahina and Miura to the Consulate of Japan. I deposited in the Money raising club \$15<sup>00</sup> and I went to the Seaman's Savings Bank and drew [sic] \$500<sup>00</sup>. I paid to Mr. Asahina all the debt which I owed to him till this day. The afternoon I went in the library and looked some cases. I spent all the after noon in preparing my moot court case. We had the meeting in Mr. Shimidz's room. We agreed to send our argument to Mr. Tsuda. Got a letter from Mr. Megata which continued his speech. Mr. Tsuda sent his argument of the moot court case. We plaid [sic] card and retired at 11<sup>05</sup>.

SUNDAY, January 14

A nice day.

I was up at 8<sup>30</sup> a.m. Mr. Asahina and myself took a walk up to the 24<sup>th</sup> St. And home by about 12 a.m. I read news paper. In the afternoon Mr. Megata and Miura came here. We had our regular review and finished at 4 p.m. Mr. Asahina made Jap. Meshi and some other things for us and we had a nice time. I wrote a letter to Mr. Tsuda in regard to the club matters and also a speech to Mr. Megata in reply. Retired at 12 p.m.

MONDAY, January 15

A snowing day.

I was up at 7<sup>30</sup> a.m. After the breakfast I went to the post office to mail letters and soon returned. I studied all the morning and the after noon also and went to the school. I got my clothings [sic] which I sent to get repaired [sic]. In the evening I read Parsons and copied the lecture. I got letters from Ii, Ishiguro and Mrs. Smith. Ishiguro wanted me to get some socks and handkerchiefs. Wrote a letter to Ii and also one to Ishiguro and corrected his letter to his grand mother. Retired at 11<sup>30</sup> p.m.

TUESDAY, January 16

A cloudy day and rained little.

I was up at the regular hour. After the breakfast I went out to take a walk and brought back my

over coat to the taylor [sic] for it was damaged. I studied all the day as usual and went to the school. After the dinner I copied the lecture and went to the school to attend the Roman Law lecture. After the lecture was over I took a little walk with Mr. Miura and got home by 9<sup>20</sup>. After that I read Parson's [sic] on contract and retired at 12 p.m. Got a letter from Georgia Lencks .

WEDNESDAY, January 17

A nice morning and cloudy evening.

I got up at the regular hour and studied till about 10 a.m. Then went out with Mr. Asahina and stopped at the taylor's [sic] shop and asked about the coat. The lady said that the coat was fixed by her husband who died a few days, and the damage was done by him. Also she told me about the sad story of her condition after her husband death. I felt very sorry for her and I did not claim any thing for the damage done. Thence we went to Mr. Miura's house, we met with him at his door and Mr. Asahina went to a taylor [sic] with him, so I came home and resumed my study. Went to the school. In the evening I wrote a letter to my grand mother and finished all letters to Japan. Read Parson's. Got letters from Mr. Tsuda and Ishigro. Retired at 11 p.m.

THURSDAY, January 18

A nice day.

Got up at the regular hour. After the breakfast I went out to send the letters and news papers to Japan and studied all the morning and went to the school. Mr. Miura came here in the evening and we had a study Jap. Laws. He went home at 11<sup>30</sup> p.m. and retired at 12 p.m. I sent a letter to Mr. Donald in inquiring about his health.

FRIDAY, January 19

A nice day.

I was up at the regular hour. After the breakfast I took a regular walk about 1/4 hour. Studied all the morning and went to the school right after the lunch and looked some of reports to prepare my moot court case. We had a moot court in the Junior Class. After I got home I read Townshend on standee to prepare my moot court case and retired at 10 p.m. I felt some pain on my back when I got up this morning and became worse by the afternoon. So I doctored all the day and took some brandy when I went bed. I thought it was caused by cold.

SATURDAY, January 20

A rainy day.

As I did not feel well, I stayed in bed till noon, but Mr. Asahina made a mixture of Brandy and egg for my breakfast. I sat to read the news paper all the after noon and wrote letters to Mrs. Smith and Ii. I was some better and took my dinner as usual, but still I was very feversh [sic]. In the evening Mr. Asahina went out, so stayed alone in my room and read the news again, and retired at 11 p.m. I had a Mo[ ] this morning which made me very weak. I took a hot drink again just before I went bed. It was a very unpleasant day, and raining nearly all the day.

SUNDAY, January 21

A cloudy snowing day.

I was not well yet so I stayed in the bed till the noon. After I took my lunch we came up and

played some game in Mr. Shimidz's room. Mr. Miura came and we reviewed our lessons on Torts. In the evening Mr. Asahina made some Jap. somen and we had a nice time. At the evening I felt great deal better and retired at 11<sup>30</sup> p.m.

MONDAY, January 22

A snowing day.

I was up at the 7<sup>30</sup> a.m. And commenced my regular work. I felt better this morning. Went to the school. Mr. [Calolague] came out today and given to all the students. Mr. Megata came from Boston and stayed in the house. Got letters from Komuchi, Donald, Ii and Ishigro. In the evening I read Parsons and also some cases for the moot court and retired at 11<sup>30</sup> p.m. I wrote an answer to Ii in inquiring about his shirts.

TUESDAY, January 23

A cloudy day.

I was up at the regular hour and studied as usual. Went to the school. We finished Addison's on torts, and the Junior's finished Parson's on contract. In the evening I attended the Roman Law lecture. After the lecture Mr. Miura came here with me and we had several Japanese speeches in Mr. Megata's room and enjoyed very much. Mr. Miura went home at about 11<sup>30</sup> and I retired at 12 p.m.

WEDNESDAY, January 24

A nice day.

I was up at 7<sup>30</sup> a.m. After the breakfast I read my study book a little while and went out to take a walk and continued the reading until I went to the school. Mr. Megata went away. We got through with Addison's on torts yesterday and continued today a reviewing. The Junior's class also finished Parsons and took upon Blackstone again to begin with Real Estate. I got a letter from Mrs. Smith and also a card from Mr. St. John. I wrote an answer to Mr. St. John. In the evening I read Blackstone, and retired at 11<sup>30</sup> p.m.

THURSDAY, January 25

A nice day.

I was up at the regular hour and studied and went to the school as usual. I took a little work before I went to the school and went in the library to read some cases. In the evening Mr. Miura came here and we read together Japanese law. Mr. Miura went away and retired at 12 p.m.

FRIDAY, January 26

A nice day.

I was up the regular hour and studied as usual and went to the school. They had a moot court discussion and it was very good. We had a recitation on the torts lecture. After the dinner I went out with Mr. Asahina to take a walk and stopped at Sato's store and got home by 8<sup>15</sup> p.m. I was intended to stopped [sic] at the school to read some cases in the library, but I did not do so, for I found no light in the room. I tried to write my moot court case but did not succeed and retired at 12 p.m.

SATURDAY, January 27

A fine day.

I was up at the regular and read some law reports and went to the school to read more reports. I got home at the noon and spent all the afternoon in preparing my moot court case and finished just before the meeting was opened. We had a nice meeting and got through by 10 p.m. After that I went out with Mr. Miura and took a long walk up to the 23 St. and got home by 11 p.m. and soon retired.

SUNDAY, January 28

A fine day.

I was up at 8<sup>30</sup> a.m. After the breakfast I went up to 72 St. to see Mrs. Smith and took a dinner with them. It was about 3 p.m. when I got home. Mr. Miura waited here for me and we had our regular reviewing. We got through with them at the tea time. Mr. Miura and Tsumagi stayed here and we had the games of cards and they went home at 10<sup>30</sup> and I soon retired. Since yesterday I did not feel very with cold, so I took a hot mixture of ginger and Brandy just before I went to the bed.

MONDAY, January 29

A nice day.

I was up at the regular hour and studied as usual. I attended to the lecture on Political science. Prof. Burgess is to commence a International lecture from Wednesday and 4 days in a week. We the senior's class commenced the recitation on shipping and Prof. Dwight took the change of the class. Got letters from Japan, one from 久保田伯母 and other from 武笠氏 and still another from 松居鈴太郎 and I learned the welfare [sic] of my own folks and my grand mother had been pleased with my letters 武笠 said that he had communicated what I had written to him. Master Ii to 従四位公 and he wished let Ii remain here longer. Jap. news paper came also. Got letters from Ii and Ishigro as usual. Mr. Mori came from Boston and stayed, he went to a theater with Mr. Shimdz and Asahina, but took only a walk and got home very soon and read Blackstone, and retired at 11<sup>30</sup> p.m.

TUESDAY, January 30

A nice day.

I was got up at the regular time and studied and went to the school. In the evening I went out to take a walk with Mr. Asahina and others. They went to a theatre so I got back to home and read my study books, and retired at 12 p.m.

WEDNESDAY, January 31

A nice day but rained at night.

I was up at the regular hour and studied and went to the school as usual. Prof. Burgess commenced his lecture on International law. He gave today just introduction lecture. In the evening I went to Mr. Riley's house to visit Mrs. Smith. There I met with Miss Allywood and her brother and we had a nice time. I gave a box of Jap. tea to Mrs. Reley and a tea pot to Mrs. Smith. It commenced the rain when we started to house. I got house 11 p.m. and soon retired.

## February 1877

THURSDAY, February 1

A nice day.

I was up at the regular hour and studied as usual. After the lunch soon I went to the school and attended the International law lecture. The lecture was entirely historical and it seemed to me not very interesting to me. In the evening I copied [sic] the lecture a little while and commenced our Jap. law reading when Mr. Miura came here. Mr. Asahina got some things nice to eat and we had a nice time by his treatment. I retired at 12 p.m. Got a letter from Mr. Tsuda.

FRIDAY, February 2

A rainy day.

I was up at the regular time, and after the breakfast I went out to take a walk and bought the clothings [sic] for Ii. I studied as usual and went to the school. The Junior Class had a moot court discussion in the case 12. I went in Prof's office and had a quite long talk with Prof. Dwight upon law subject and about our country. In the evening the siniors [sic] had a class. Meeting I went in. They talked about an arrangement for the commencement, but nothing was done. Mr. Miura came with me and we had a quite that I read Jap. news paper after all went away and retired at 1 a.m. next.

SATURDAY, February 3

A cloudy day.

I was up at 8<sup>15</sup> a.m. After the breakfast I wrote the lecture and started the house at 10 a.m. and took the 11 a.m. train to Peekskill. I found all folks well except Ii. Ii got little cold. Dr. Donald was there and also Miss Bard. I gave some lessons to Ii and examined on all his studies. We had a tea party in Mrs. Smith's room and enjoyed very much. It was very natural to see the school again. Retired at 11 p.m.

SUNDAY, February 4

A fine day.

I was up at 7<sup>30</sup> a.m. Soon after I was up, the boys marched to the breakfast, so we had our breakfast at 7:50. I staid [sic] at the house while most the folks went to a church. I examined Ii again in his all studies and talked about his purpose and the object of education. I was persuaded to stay till the evening, so I had another nice time in Mrs. Smith's room and Mr. Donald. I took 6<sup>12</sup> p.m. train to N.Y. and got home by about 8<sup>30</sup> p.m. Ishiguro came to the Peekskill depot. When I got home I found many friends here and had another good time in Mr. Shimidz's room and retired at 12 p.m.

MONDAY, February 5

A nice day.

I was up at the usual time and studied as usual. Attended in the International law lecture and also both in the Junior and our own class as usual. In accordance with the request of Mr. Donald I sent \$150<sup>00</sup> in a check to him for which I promised to pay back after the 3 months. This money I borrowed from Mr. Asahina as I had not in my hand just then. Got a letter from Ishiguro to send to his father. In the evening I wrote letters to Japan – 久保田伯母、父上様、従四位公、石黒并江木氏 and retired at 12 p.m.

TUESDAY, February 6

A nice day.

I was up at the regular hour. After the breakfast I took a short walk, studied as usual and went to the school and attended all the classes. Got a letter from Mr. Donald in which he enclosed his promissory note for the payment of the money which I sent to him yesterday. I expected to receive a little from Ii to send to Japan, but it did come so I mailed my letters to Japan. In the evening I took a little walk with Mr. Asahina and went to the school to learn Van Winkle's lecture in adoption. After the lecture I took another walk with Mr. Miura and got home by 8<sup>30</sup> p.m. and then I read Washburn and retired at 11<sup>40</sup> p.m.

WEDNESDAY, February 7

A nice day.

I was up at the regular time. After the breakfast I went out to take a short walk. Studied as usual and went to the school and attended all the lectures and lessons. Right after the lunch, I went to get hair cut. Got a letter from N. Wood – He invited me to spend Thursday coming at his house. Got a letter from Ii in which he enclosed a letter to Japan. Jap. mail came today but no letter to us. I drew [sic] \$209<sup>09</sup> in gold. In the evening Mr. Miura came here and we read together Jap. law book. After I went away read Washburn little and retired at 12 p.m.

THURSDAY, February 8

A nice day.

I was up at the regular hour and studied as usual. I finished Parsons at 12 a.m. and went to take a bath and got home by 1 p.m. Went to the school and attended the International law lecture. After the dinner I went to visit Mr. Nat Wood. There were many friends and had a dancing and some games. They had arise [sic] refreshment. It was about 12 p.m. when I got home. I read Jap. News Paper and retired at 2 a.m. Ally Wood looked very nice and Miss Bell was so too.

FRIDAY, February 9

A nice day.

I had a Mo[ ] this morning at about 5 a.m. and was very tired. I got up at the regular hour and studied. After the lunch I went in the library and read some cases. The junior class had the regular moot court discussion. We finished Parsons and our next text book was Code of procedure. After the dinner I went out to take a walk with Mr. Asahina and home by 8 p.m. and read books for the preparation of the moot court case and copied yesterday's lecture and retired at 11<sup>30</sup> p.m.

SATURDAY, February 10

A nice day.

I was up at the regular hour and read books to prepare the moot court case. I went down the town with Mr. Asahina and stopped at the Jap. Consulate and went down to the bank to deposit the money for the M. R. Club. I left the order at Smith and Co. to send up a Code of procedure and I paid for it in advance \$1<sup>25</sup>. I sold the gold \$209<sup>00</sup> at 5 3/4% = \$221<sup>02</sup>. We got home by 1 p.m. After the lunch I went to the school to read some cases. I finished my moot court case by 5<sup>30</sup> p.m. We had our moot court meeting. We adjourned our meeting till May 19<sup>th</sup> for we are getting busy with our school works. Mr. Miura stayed here till 12 p.m. I retired at 12<sup>30</sup> p.m.



Paid back to Mr. Asahina \$150<sup>00</sup>

SUNDAY, February 11

A nice day.

I was up at 8<sup>40</sup> a.m. After the breakfast I read a news paper a little while and went out with Mr. Asahina and called upon Mr. Ohta. We stayed about one hour and got home by 1 p.m. Mr. Miura came in the afternoon. When we commenced our regular reviewing Mess. Fukui and Matsui came and we had a quite talk. They went away by 5 p.m. After that we finished our reviewing by 8 p.m. We played some game. After all went away I wrote letters to Mrs. Smith, Ii and Ishigro and retired at 12 p.m.

MONDAY, February 12

A nice day, but rained little in the afternoon. I was up at the regular hour and studied all the morning and after noon. Went to the school and attended all classes. We commenced today the Code of procedure. It was very hard to me at the first. In the evening I went out with Mr. Asahina to take a walk and took about 2 hours walk. Mr. Miura came here in the evening but went away soon. Got letters from Ii and Ishigro. I read Washburn in the evening and retired at 12 p.m.

TUESDAY, February 13

A nice day.

I was up at the regular time and studied and went to the school as usual. In the evening I attended the Roman Law lecture. After I got home I read Washburn and retired 12<sup>30</sup> p.m. Smith & c. sent me the book (small code) which I had ordered. Got the bills and reports from Col. Wight.

WEDNESDAY, February 14

A nice day.

I was up at the regular time. After the breakfast I went to take a walk and studied all the morning and went to the school in the afternoon and attended all the classes. In the evening I took a long walk with Mr. Asahina. After we got home I read Washburn and also newspaper and retired at 12 p.m.

THURSDAY, February 15

A fine day.

I was up the regular hour. After the breakfast I went out to take a walk and studied all the morning and went to the school and attended all the classes. In the evening Mr. Miura came to here and we read together Jap. Law Book and retired at 12 p.m.

FRIDAY, February 16

I was up at the regular hour. It was a nice day. I studied as usual and went to the school to attend our own class. In the evening I went to a theatre with Mr. Asahina and enjoyed very much and retired at 12 p.m. Got a letter from Mrs. Smith.

SATURDAY, February 17

A nice day.

I was up at the regular hour and read a lecture book. Went to the down town and got written an interest in my deposit book at Seaman's savings Bank and thence went to Mr. Sato's office. I requested him to sell my gold and drawn \$300<sup>00</sup> in paper money from him and got home by the noon. I read news paper and read lecture too. In the evening I read Washburn and retired at 12 p.m. I paid back \$300<sup>00</sup> to Mr. Asahina which I borrowed from him a check this morning.

SUNDAY, February 18

A nice day.

I was up at 8<sup>30</sup> a.m. After the breakfast I read news paper and went out with Mr. Asahina and went to the central park and got home by the noon. In the afternoon Mr. Miura came and we had our regular reviewing. In the evening Mr. Megata came too and we had a quite chat. They went away by 11 p.m. and I retired at 12 p.m. We wrote a letter to Messrs. Agee and Komuchi.

MONDAY, February 19

A nice day.

I was up at the regular hour and studied as usual. Went to the school and attended the International law lecture. We had no recitation, for Prof. Dwight was away. But we had the dictation for one half hour. But I did not go. The mail arrived from Japan and I got a letter from 武笠并江木并棕原 and news papers and a letter came to Ii. Heard a great change in the Jap. Government. Wrote letters to the followings parties 從四位公、西村、大海原、大東、武笠、石黒并父上様 and also a note to 江木氏, and also sent the school reports to Ishigro and Jeu shi Ii. Retired at 12 p.m.

TUESDAY, February 20

A nice day.

I was up at the usual hour and studied as usual. Prof. Dwight was still away, so we had no recitation. But had the dictation for the whole hours. In the evening I went to attend the Roman Law lecture. I copied the lecture all the evening. I mailed all the letters to Japan this morning. Got the receipt of the school bill from Peekskill and also letters from Ii and Ishigro and soon I wrote answers to them. Retired at the 11 p.m. I had Mozo day before last night and last night and I did not feel well to-day.

WEDNESDAY, February 21

A nice day.

I was up at the regular time and studied and went out to take a walk and left my clothings [sic] at a taylor [sic] to be mended. Went to the school and attended in the International law lecture. Prof. Dwight was not in the school and Mr. Chase heard our class and also the junior's. In the evening I went out with Mr. Asahina and took a nice walk. After we got home I read Jap. news papers and retired at 12 p.m.

THURSDAY, February 22

A beautiful day.

I was up at the regular hour and read newspaper all the morning. It was The Washington's birth day and we had no school. At the noon Mr. Igarashi came to see Mr. Shimidz and Mr. Miura

came also and we went out to take a walk. The streets were crowded with the people, but nothing was going on. We stopped at a Museum where exhibited several living fishes and got home by 5<sup>30</sup> p.m. After the tea Mr. Miura came and we went together to the Cooper Institute. As we could not get a seat I got back and read the lectures and retired at 10<sup>30</sup> p.m. Got letters from Ii and Ishigro. I explained a letter which came to Ii from his brother and wrote answers to them.

#### FRIDAY, February 23

A nice day.

I was up the usual hour and studied a little while after the breakfast and after the breakfast I read again a little while and went out to buy some medicine which Miss Bard suggested to buy to use, but I [ ] get it. I studied again all the time till I went to the school. Mr. Miura took a part in the moot court which he did very nicely. In the evening I went to see Mr. Hart and stayed about one hour and after I got home read Washburn and retired at 11 p.m.

#### SATURDAY, February 24

A rainy day.

I was up the regular hour and read news papers and read also some lecture books. In the evening I went to visit Mr. Riley's folks to return the umbrella which I borrowed some time ago. We had some games of card and I got home by 11 p.m. and soon retired. But I wrote a letter to Mrs. Smith before I went to the bed.

#### SUNDAY, February 25

A nice day.

I was up at the regular time. After the breakfast I read news paper and took a walk with Mr. Asahina. In the afternoon Mr. Miura came and we had our regular reviewing. We finished our study at 4 p.m. Mr. Ohta and Tsumagi came here and we had games of cards. They went away at 10<sup>30</sup> and I retired at 11<sup>00</sup>.

#### MONDAY, February 26

A nice day.

I got up at my regular time and studied all the morning as usual. Went in the afternoon to the school and attended the International Law lecture as well as both the junior and senior [sic] classes. I got a telegram from Mrs. Wright in which I invited me to attend the wedding of Miss Bard at the academy. But I declined her invitation, for I could not leave from the school. I made the answer by the telegraph and also wrote a letter in the evening. Got letters from Ii and Ishigro as usual. Retired at 12 p.m.

#### TUESDAY, February 27

A nice day.

I was up at the regular time. After the breakfast I went out to mail a letter to Mrs. Wright. I took a little walk. I studied all the morning as usual and in the afternoon I went to the school. They had no International lecture today. In the evening, right after the dinner I copied the lecture and went out with Mr. Asahina to take a walk. I stopped at the school and attended the Roman law lecture. After I got home I read Washburn and retired at 11<sup>40</sup> p.m.

WEDNESDAY, February 28

A nice day.

I was up at the regular hour and studied all the forenoon. I attended all the classes in the school as usual. In the evening I took a long walk with Mr. Shimidz and got home by 8<sup>30</sup> and read Washburn and retired at 11<sup>30</sup> p.m.

### March 1877

THURSDAY, March 1

A nice day.

I was up at the regular hour and studied as usual. In the afternoon I went to the school, attended all the classes. In the evening Mr. Miura came here and we read together Jap. Law book a little while and then went to the school to hear the Debate between Columbia and Barnard Clubs, which Prof. Dwight presided. They argued quite fairly. The Prof. decided in favor of the Columbia Law Club. It was over at about 10<sup>30</sup> then I took a little walk and got home and soon retired. I got a letter from Ii and I corrected his letter to his brother and wrote one to him.

FRIDAY, March 2

A cloudy morning and rained afternoon and evening.

I was up at the regular hour and studied and went to the school as usual. They had a regular moot court. The discussion was very poor today. In the evening I did not go out to take a walk on account of the rain. So I read Washburn all the evening and after that read newspaper a little while and retired at 11:15. I got a letter from Mrs. Smith.

SATURDAY, March 3

A very nice day.

I was up at the usual time and read the lecture book till the noon. After the lunch I went to see Mrs. Hallett and thence went to see Miss Ally Wood, but she was not at the house and saw her mother only. I stopped at [ ] office and talked with him a little while and came home by the dinner time. After the dinner I went out with Mr. Asahina and met with Miura and we all came home and had some talks. The forenoon I took a bath. Retired at 12 p.m.

SUNDAY, March 4

A good fine day.

I was up at the regular Sunday time. When I finished my breakfast and commenced to read a newspaper Mr. Miura came and we had our regular reviewing. He went home by 1 p.m. In the afternoon Mr. Matsui and Ohta came here and afterward Miura came too and we had several conversations upon many topics. Mr. Ohta told me that 西郷桐野其他同志ノ者兵ヲ起シテ大事ヲ為ス報アリ and I was very much surprised. They staid [sic] till quite late and we had a game of card. I retired at 12 p.m.

MONDAY, March 5

A nice day.

I was up at the regular hour and studied as usual and went to the school and attended in all the classes. Prof. Dwight gave up 4 subjects for our prize essay. After the dinner I went out with Mr. Asahina to take a walk and called upon Mr. Sato to ask about his sickness. Got letters from

Ii and Ishigro. Sent the news papers to Jeushi Ii. Read Washburn and also little in Parsons and retired at 12<sup>15</sup> p.m.

#### TUESDAY, March 6

A nice day.

I was up at the regular hour and studied and went to the school as usual. There was no International Law lecture, so I went in the library and read some cases for our essay. It was decided by the class of 1877 that we shall have no class officers, not valedictory. But we shall have 5 communities to arrange all the matters for the commencement and asked the Prof. Dwight to give some lectures at that day. I went in the Roman law lecture. The great fire occurred on the next street at about 8 p.m. and continued till about 1 a.m. One large house burn down. I went to see it with Mr. Asahina and retired at 1 a.m.

#### WEDNESDAY, March 7

A nice day.

I got up at the regular hour and studied and went to the school as usual. I went to the library a little while and then went in the International law lecture. In the evening I took a walk with Mr. Asahina and got home by 8 p.m. and I read Washburn and copied the lecture and retired at 11 p.m.

#### THURSDAY, March 8

A cloudy day.

I was up at the regular hour and studied and went to the school and attended in all the classes. I was in the library about 2 hours. Got letters from Japan. 2 from my Father and one from Mr. Agee. All my folks at home were well. I got also a letter from my brother. In regard to Mr. Saigo and others movement it was not said very clearly in any of these letters. Mr. Miura came and we read Jap. law and copied the lecture.

Retired at 12 p.m.

#### FRIDAY, March 9

A rainy day.

I was up at usual hour and studied as usual. Soon after the lunch I went to the school and read some cases and attended to our class. In the evening Mr. Miura came here and had the review of the Code and we went out together and had some refreshment and retired at 12 p.m.

#### SATURDAY, March 10

A nice day.

I was up 7<sup>30</sup> a.m. After the breakfast I read the lecture about 2 hours and went to Peekskill. I took the 11 a.m. train to Peekskill. I got there when they were at a lunch. So I went in the dining room and took my lunch. I found all the folks at home. I took some Banana to them and boys. I examined Ii on Arithmetic. I sat in Mrs. Smith's room in the evening and retired at 10<sup>15</sup> p.m. Got a letter from Miss Hoyt through Mrs. Smith.

#### SUNDAY, March 11

A fine day.

I was up at 7 a.m. and went out to the garden. It was very cold. After I took a little walk I came in the house. I took the breakfast with all the boys. I did not go to a church, but stayed at home and talked with Ii about his studies. Mr. Donald was not very well and stayed in bed till noon. In the afternoon I was mostly in Mrs. Smith room and wrote a letter to Mrs. Peck and went up to Mr. Donald's room and had some conversations. I took the 612 p.m. train down to the city. When I got home I found Mr. Miura and Tsumagi here. I retired at 11:15 p.m.

MONDAY, March 12

A nice day.

I was up at the regular time and studied as usual. Right after the lunch I went to the school and stayed in the library to read some cases and did not go to the International law lecture. In the evening I read Washburn and coppied [sic] the lecture and retired at 12 p.m.

Got a letter from Ii.

TUESDAY, March 13

A nice day.

I was up at the regular hour and studied as usual and went to the school as usual. I did not go in the International law lecture but stayed in the library and read some cases. In the evening I went to take a walk with Mr. Asahina and thence went to the school and attended the Roman law lecture and took another walk with Mr. Miura and got home by 9<sup>30</sup> and read Washburn and retired at 12 p.m. Got a letter from Ishigro which he wanted me to send to his father.

WEDNESDAY, March 14

A rainy day.

I was up at the regular hour and studied as usual. Right after the lunch I went to the school and went in the library and read some cases and attended both junior and senior classes. In the evening I intended to go out, but I was prevented to do so by the rain. Mr. Asahina bought pens for me. In the evening I read Washburn little and coppied [sic] the lecture and read the lecture also and retired at 11 p.m.

THURSDAY, March 15

A nice day.

I was up at the regular hour and after the breakfast I took a walk and studied as usual. Went to the school right after the lunch and went in the library. In the evening Mr. Miura came here and we read together Jap. Law. After he went home I retired at 12 p.m.

FRIDAY, March 16

A snowing day.

I was up at the regular hour and studied all the morning. Went to the school right after the lunch and went in the library and stayed till the recitation hour. In the evening I read the lecture and after that I tried to write a letter to Miss Hoyt, but did not finish it and retired at 12 p.m.

SATURDAY, March 17

A snowing day.

I was up at the regular hour and read Washburn a little while and went to the school to read some cases. I got home by noon and after the lunch I went there again to read some more cases. I went to the down town and stopped at the Jap. Consulate and went to Mr. Smith's store and bought Law Books and got home by about 4 p.m. It was St. Patolic [sic] day and the Catholics had a large prosession [sic] on Broad way. In the morning I wrote an answer to Miss Hoyt. In the evening I wrote letters to my father, brother and to Jeushi N. Ii. I retired at 12 p.m.

SUNDAY, March 18

A cold day.

I was up at 8<sup>30</sup> a.m. After the breakfast I read newspaper. Mr. Miura came then I wrote a letter to Mr. Agee. Mr. Miura was not well, so we did not have our regular reviewing. In the after I went out with Mr. Asahina to take a walk and met with Mr. Miura and we came home together. We found Mr. Megata here waiting for us. We had a regular lawyer-like conversation at about 7 p.m. Mr. Asahina made Jap. Meshi for us and we had a nice time. After they went home I (wrote) a letter to Mrs. Smith and retired at 12 p.m. I wrote letters to Ii and Ishigro.

MONDAY, March 19

A snowing day.

I was up at the regular hour. After I studied a little while I went to the post office to mail the letters to Japan and to other places. I went to the school and went to the library and read some law cases and got home by 11 p.m. I studied again till I went to the school again at 3<sup>30</sup> p.m. In the evening I coppied [sic] the lecture and went to visit Mr. Miura for he had been sick since yesterday, thence I went to Sato's store and got home by 8 p.m. Mr. Asahina was with me all these time. Then I read Washburn and read also the lecture book and retired at 11 p.m. Got a letter from Ii.

TUESDAY, March 20

A nice day thought not very clear.

I was up at the regular hour and studied all the morning and went to the school, right after the lunch and read some cases and attended all the classes. In the evening I went out to take a walk and stopped at the school to attend the Roman Law lecture. In the evening after I got home I read Washburn and lecture and retired at 12 p.m.

WEDNESDAY, March 21

A cloudy day and rained very hard in the evening. I was up at the regular hour and studied all the morning. Mr. Miura came here at the noon. He was better today. Went to the school right after the lunch and read a case and attended the classes. In the evening I was obliged to stay at home on account of the rain and read Washburn and lecture and also a little of Patterns [sic] and retired at 11<sup>30</sup> p.m.

THURSDAY, March 22

A nice day.

I was up at the regular hour and went to the school and did all my duty, or works as usual and no extraordinary thing happened and retired at 12 p.m.

FRIDAY, March 23

A nice day.

I was up at the usual hour and studied as usual and went to the school to read some cases in the morning and went again in the noon to attend to our own class. In the evening I went out with Asahina to take a walk and met with Mr. Matsui and we came together to home and they had some game while I studied. I retired at 12 p.m.

SATURDAY, March 24

A nice day.

I was at the regular hour and commenced to write my essay [sic]. I went to the school to read some cases and got home by noon. In the afternoon I tried to write the essays [sic] but done very little. In the evening I went out to take a walk with Mr. Asahina and got home by 8 p.m. and after that I tried a little while write the essay [sic] and retired at 12 p.m.

SUNDAY, March 25

A nice day but rained in the night.

I was up at the 8 a.m. After the breakfast I tried to write a part of my essay [sic] but accomplished very little. I wrote some questions for the examination this afternoon. In the afternoon Mr. Miura came here and Mr. Shimidz and myself had a written examination. In the evening Mr. Ohta came here. He brought a letter from Japan to me. It was from Mr. Mukuhara and a bill of lading was enclosed in it. We had a Jap. dinner and played a cards. Retired at 12 p.m.

MONDAY, March 26

A rainy day.

I was up at the regular hour and went to my work as usual. Soon After the lunch I went to the school and read some cases and attended in all the classes. In the evening I studied till 12 p.m. and retired. We finished our Code lesson and were to commence our lesson on the Prof's lecture from Tomorrow [evening]. I got letters from Ii and Ishigro and wrote the answers to them.

TUESDAY, March 27

A rainy day.

I got up at the general hour and studied all the morning. Mr. Asahina went to the Jap. Consulate and got news paper from Japan and I learned that an actual fighting took place at Kumamoto on the 22 [ ] and the country is in the state of war and also saw in the paper that Mr. [Ohhigai] was arrested at [Tokei]. In the evening I read Washburn and the lecture and retired at 12 p.m.

WEDNESDAY, March 28

A rainy day.

I was up at the usual time and studied as usual and went to the school as usual. As I got a notice from Mr. Ohta that the box came from Japan to the consulate. I went there to get it. It contained a letter to me from Ishigro and one from the same person to Taro and a box and a letter to Ii. I forward the box to Ii immediately. In the evening I studied as usual and retired at the usual hour.



THURSDAY, March 29

I was up at the usual hour and after the breakfast I went to a taylor [sic] to order a pants and studied as usual and went to the school. Got a letter from Ishigro and answered him right way. In the evening I studied as usual and retired at the regular time.

FRIDAY, March 30

A nice day.

I was up at the regular hour and wrote the essays all the day. Just before the dinner I went to take a walk with Mr. Asahina and got home by the dinner time. After the dinner I went to see Mr. Miura and came home with him. Then we talked about the law. We went out together and Mr. Asahina and myself went in a [sic] oyster saloon and got home by 12 p.m. and soon retired.

SATURDAY, March 31

A nice day.

I was up at the regular hour and wrote my essay till the noon. Then went to take a bath and got home just before the lunch time. Mr. Imadate came here. In the afternoon I wrote the same again and continued till the dinner time. After the dinner I went out and met with Mr. Hoyt and we took a little walk and I called on Mr. Miura but he was not at home so I went to Mr. Sato and went up to his room and stayed a while and got home. Then found Mr. Miura here. Retired at 12 p.m.

### April 1877

SUNDAY, April 1

A rainy day.

I was up at the regular Sunday hour and studied a little while I went out with Mr. Asahina then the rain commenced and we run to home but got wet little. In the after noon Mr. Miura came and we had our regular reviewing on all our past studies. In the evening Messrs. Ohta and Fukui came and we had a regular Jap. dinner, and enjoyed very much and retired at 12 p.m.

MONDAY, April 2

A rainy day.

I was up at the regular hour and studied all the morning and went to the school as usual. In the evening I went to the library to read some cases. Mr. Imadate went home this evening. I read little in the evening and retired at 12 p.m. Got letters from Ii and Ishigro.

TUESDAY, April 3

A nice day.

I was up at the regular hour and studied all the morning and went to the school. In the evening I took a walk with Mr. Asahina. When we got home I found Mr. Miura here. He read the equity lecture for me and I listened to him. He went home by 11 and I soon retired.

FRIDAY, April 6

A nice day.

I was up at the regular hour and went to the school. Got letter from Mr. Agee, but not from any of my folks.

SATURDAY, April 7

A nice day.

I was up at the regular hour and wrote my essay. After the lunch I went to the Jap. Consulate to read news papers. The fighting between Satsuma and government was not get over though we heard lately by telegraph that it was settled. In the evening I went to see Mr. Miura and took a little walk with him and came home and read equity and retired at 12 p.m. Wrote letters to Tsuda and Ii.

SUNDAY, April 8

A nice day.

I was up at the regular Sunday time. After the breakfast I wrote a letter to Messrs. Agee and Komuchi. I read Equity and went out to take a walk. In the afternoon Mr. Miura came and we had our regular reviewing. In the evening Mr. Asahina made a Jap. dinner for us and we had a nice time. Mr. Ohta, Matsui and Tsumagi were here too and we plaid [sic] a cards and retired at 12 p.m.

THURSDAY, April 12

A nice day.

I was up at the regular hour and studied all the morning. In the afternoon Mr. Asahina fell down from the stares [sic] and was seriously injured. But he was quite better in the evening. I went to the school and after the dinner took a walk and soon got home and copied [sic] the lecture and read equity. I packed all my old books and clothings [sic] with Mr. Shimidz's book in a box to send to Japan, but on account of the Mr. Asahina's injury the packing was not finished. Retired at 11<sup>30</sup> p.m.

FRIDAY, April 13

A nice day.

I was up at the regular hour and studied all the morning and went to the school. I got a letter from Charles Bettman. After the lunch I took a walk to Mr. Sato's office and soon got home. Mr. Miura was here and we wrote a card to Mr. Megata in regard to our Club Meeting. Read Equity and retired at 12 p.m.

SATURDAY, April 14

A nice day.

I was up at 7 a.m. and took my breakfast and started to my trips. I took 9<sup>15</sup> train to Peekskill and got there by 11 a.m. I found all the folks well. Except Mr. Donald he did not feel well. I asked to correct my essay and he did save. I had several conversations with Mr. & Mrs. Wright and Mrs. Smith. In the evening I corrected Ii and Ishigro's letter to their folks in Japan. I received \$50<sup>00</sup> from Mr. Donald.

SUNDAY, April 15

A nice day.

I was up at 7 a.m. I got down in the library and read some news papers. After the breakfast I came out from the school and took 9<sup>20</sup> train down to N.Y. and got home by 11 a.m. Then I wrote some questions to be used this afternoon. In the afternoon Mr. Miura came and we had our

regular reviewing. In the evening many friends came here and we had a [game] of cards. I read little of equity and retired at 11<sup>30</sup> p.m. I settled all the account with Mr. Asahina.

MONDAY, April 16

A nice day.

I was up at the regular hour and studied as usual and went to the school. In the evening after we got from our walk I wrote my essay and retired at 12 p.m. I got a long letter from Mrs. Peck.

TUESDAY, April 17

A fine day.

I was up at the regular hour and studied as usual and went to the school. After the dinner I went out with Mr. Asahina to take a walk and stopped at a store and bought several cheap things. Mr. Miura came here to stay with us until he can get his boarding place. In the evening I wrote one page of essay and read tort and retired at 12 p.m. Got a card from Mr. Megata.

WEDNESDAY, April 18

A nice day.

I was up at the regular hour and studied all the morning and went to the school. I did not take any walk, because it commenced the rain in the evening. I got a letter from Ishigro to send to Japan. Retired at 11<sup>30</sup> p.m.

THURSDAY, April 19

A rainy day.

I was up at the regular hour and studied all the morning and in the afternoon went to the school. Mr. Miura brought Mr. Nakayama to this room and introduced him to us. After the dinner I took a walk with Mr. Asahina and got home by 8 p.m. I finished my essay today. Got a letter from Ii to send to Japan. Retired at 11<sup>40</sup> p.m.

FRIDAY, April 20

A rainy day.

I was up at the regular hour and studied all the morning. After the lunch I read a little while and then went to the school. In the evening I read tort and Mr. Miura was here. We waited Mr. Asahina to be home till 1 a.m. But he did not come so we retired, then he soon got home.

SATURDAY, April 21

A nice day.

I was up at the 7 a.m. and studied till 11<sup>30</sup> then went out to take a bath and got hair cut. I got home by the lunch time. In the afternoon I read again and continued till the dinner. After the dinner I took a little walk and soon got home and again commenced the reading and retired at 11 p.m.

FRIDAY, April 27

A nice day.

I was up at 7 a.m. and read the Code. At about 9<sup>30</sup> I went out to take a walk and went in the school at 9<sup>40</sup>. This was our prize examination day. There were about 35 students who

computed the examination. We commenced our work at 10 a.m. and continued till 1 p.m. and again after the lunch commenced 2 p.m. to 5<sup>30</sup> p.m. I had answered nearly all the questions, but I felt 3 or 4 questions without any answers for the time was up. In the evening we went to visit Mr. Miura and got home by 11 p.m. and soon retired.

SATURDAY, April 28

A rainy day.

I was up at the regular hour and read news papers. As I was very tired I did not do my thing all the day, but only wrote letters to Mrs. Smith, Charles, Bettman and to the boys. In the afternoon Mr. Miura came here. In the evening I went out with Mr. Asahina and got home by 8 p.m. Master Tsumagi came here and stayed with me over the night. And retired at 11 p.m.

SUNDAY, April 29

A nice day.

I was up at 7<sup>30</sup> a.m. After the breakfast we went out to call on Mr. Miura and then with him went to see Mr. Ohta and we all together went to the Central park and took a nice walk and got home by 1<sup>30</sup> p.m. After the dinner many friends came here and we played some games and had a dinner in the evening. All went home by 11 p.m. and soon retired.

MONDAY, April 30

A nice day.

I was up at the regular hour and after the breakfast I took a little walk and soon got home and read the [sic] my study books. In the afternoon Mr. Matsudaira and Komai came to visit Mr. Asahina. I expected to receive letters from Japan but they did not come yet. Went to the school as usual. Got letters from Ii and Ishigro. Retired at 10<sup>15</sup>.

### May 1877

TUESDAY, May 1

A nice day.

I was up at the regular hour and studied all the morning and went to the school. I got letters from Japan — from Ii's house, Ishigro, and Mukuhara and also received money in gold \$878<sup>40</sup> and also news paper. The war there was still continuing. I felt very sorry to hear that many of my friends were arrested. In the evening I read the news paper and retired at 11 p.m.

WEDNESDAY, May 2

A nice day.

I was up at the regular hour and studied all the morning and went to the school. After the dinner I went to see Mr. Miura and took a walk and got home by 8<sup>30</sup> and wrote letters to Japan — to Father, Mukuhara, and retired at 11<sup>30</sup> p.m.

THURSDAY, May 3

A nice day.

I was up at the regular hour and studied all the morning and the after noon and went to the school. We commenced the reviewing on Equity. After the dinner I went out to take a walk and got home by 8<sup>30</sup> and wrote letters to Ishigro Sinior [sic], and to the folks of Ii's family and retired

at 11<sup>30</sup> p.m.

FRIDAY, May 4

A nice day.

I was up at the regular hour and studied all the morning and a part of the afternoon and went to the school. The committee of our class gave us 2 tickets of preserved sheets for our commencement to each of us. In the evening I went to take a walk and stopped to see Mr. Miura, but he was not at home so I got home, then I found him here. Retired at 11 p.m.

SATURDAY, May 5

A fine day.

I was up at 6 a.m. and read the breakfast I went down the town and ordered 1/2 dozen of shirts of \$10<sup>50</sup> and a suit at \$15<sup>00</sup> and obtained the money from the bank of British North America \$878<sup>40</sup> in gold and sold 78<sup>00</sup> at 14 7/8% which was 83<sup>35</sup>. Got home by 1 p.m. In the afternoon Mr. Miura came here and we had our regular reviewing. In the evening I took a walk with him and got home by 8 p.m. and wrote a letter to Mrs. Smith and retired at 11 p.m.

SUNDAY, May 6

A fine day.

I was up at 8 a.m. and after the breakfast I read news paper and went out to take a walk. At the after noon Mr. Miura came and we had our reviewing on Real property. In the evening Mr. Ohta and other came and we had some game of cards. I went out with them and soon got home. Wrote a letter to Ishigro. Yesterday I mailed the letters to Japan. Retired at 11 p.m.

TUESDAY, May 8

I was up at the regular hour and studied as usual and went to the school. This was our own last recitation day. I deposited \$500<sup>00</sup> in gold with Mr. Sato and Sold gold \$300<sup>00</sup> at 7% = \$321.00.

WEDNESDAY, May 9

A nice day.

I was up at the 6 a.m. and studied nearly all the morning in preparing for the examination. I went in the school in the morning to see the examination. My turn came in the evening, so I studied all the afternoon and went in the examination in the evening. I was examined on the subject of surety and guaranty. It was about 10<sup>30</sup> when I got through soon got and retired at 11 p.m.

THURSDAY, May 10

A nice morning and rainy afternoon. I studied all the morning after I got up at 4 a.m. I was examined in the subject of Estate from year to year, for years and at will. I got through at about 4<sup>30</sup> p.m. In the evening I took a walk with Mr. Asahina and studied after I got home and retired at 11 p.m. Mr. Asahina got home this morning. I paid him back \$259<sup>54</sup>.

FRIDAY, May 11

A nice day.

I was up at the 6 a.m. and read the Code and went to the school at 9<sup>30</sup> a.m. to be examined. I was

examined on the object of Admission and confession. It was about 11 a.m. when I got through. After the lunch I went to Mr. Sato's office with Mr. Asahina and stopped at the consulate and got home by 4 p.m. I wrote a letter to Ii and take a walk in the evening and retired at 11 p.m.

SATURDAY, May 12

A nice day.

I was up at 6 a.m. and read Torts and went in the school to see the examination. In the afternoon I read again Torts and after the lunch I went out with Mr. Asahina to take a walk and got to the school by 8 p.m. I was examined on the subject of arrest and I passed satisfactory and got home by 9 p.m. and went out with Mr. Asahina and took a lunch and got home by 11 p.m.

SUNDAY, May 13

A nice day.

I was up 8<sup>30</sup> a.m. In the morning I took a walk with Mr. Asahina and got home by the dinner time. I wrote a letter to Mr. Haraguchi in requesting about the school. In the afternoon Mr. Miura and others came and we had some games and in the evening we had Jap. dinner. I sent several postage cards to many parties to inquire about boarding place and retired at 12 p.m.

MONDAY, May 14

A nice day.

I was up at 7<sup>30</sup> a.m. I took a bath and went to see Mr. Miura and got home by the lunch time. At the afternoon I fixed my book box with Mr. Asahina's assistance. In the evening we went to the Union Squir [sic] theatre and got home by 11<sup>40</sup> p.m. I got letters from Mr. Donald, Ii and Ishigro.

TUESDAY, May 15

A nice day.

I was at 7<sup>30</sup> a.m. I went to buy some file and gimlet and in the way to home I stopped at the Broadway to see the procession. The celebration of Carnival [sic] was introduced into the city first time and they had several carnivals [sic] shows and went through the streets, both at the noon and in the evening(.) I went with Mr. Mornse and his wife. In the evening we went to Mr. Bantine's star to see the show passing the Broadway. Mr. Sato and others were there. We got home by 12 p.m. and soon retired. I sent a card to Mr. Donald.

WEDNESDAY, May 16

A nice day.

I was up at the usual hour and after the breakfast I went to the 72 St. to see Mrs. Smith and there I took a lunch and we went to see Nat Wood and went in the Park and got home by 4<sup>30</sup> p.m. I went to buy some gloves. After the dinner we started to the Academy of Music. Our exercise commenced at 8 p.m. Prof. Dwight made an address which was very interesting and useful to us. After him Mr. C. Ocana made an address which was equally interesting. After that the prizes were given and then the diploma were given. It was about 11 p.m. when I got home. I could not find any of my friends, so I came house alone.

THURSDAY, May 17

A nice —.

As I had as much beer last night I had a fearful headache and could do nothing till the noon time, though I was up at 8 a.m. In the evening I took a walk with Mr. Shimidz. Went to the school to make a presentation to the Professors. They made good speech. Mr. Miura was here and we played some games. I wrote letters to Jeushi M, Ii, Nishimura, my Father. Retired at 12 p.m.

FRIDAY, May 18

A nice day.

I was up at the regular hour and after the breakfast I went out to get some present for May as it was his birth day. I wrote a letter to Ishigro sr. We moved from the upsteers [sic] to the extention [sic] room. At the afternoon I went to the Consulate and we made Jap. dinner there. Mr. Ohta came here with us and we had some games and retired at 12 p.m. I wrote a letter to Mrs. B. Peck.

SATURDAY, May 19

A nice day.

I was up at the regular hour. After the breakfast I went to see Prof. Dwight. He was not at home so I waited there until he came home. While I was waiting I had several conversations with Mrs. Dwight and Miss Rely Dwight. I asked him about the advice from my studies. At the noon Mr. Megata, Tsuda and Miura came here and we held our regular annual meeting. Mr. Tsuda was unwell. We adopted all the resolutions which introduced by the last meeting and put them on the constitution and also we agreed to write some law articles and publish it in Japan and we wrote to the members of the club in Japan about this plan.

SUNDAY, May 20

A nice day.

I was up at the regular hour we finished all the remaining work.

I wrote a letter to Mr. Tomita. Mr. Asahina and Sato were agreed to establish a mutual stock company and spoke to me about it so I agreed to enter and I wrote a constitution and the rules of the company. Here were about 12 friends whom wished to join this organization. We got through at about 5 p.m. then we went to take Mr. Shimidz and Asahina farewell dinner. We had a good time and got home by 8<sup>30</sup> and here we played games and had some other entertainment and retired at 12 p.m. Wrote a letter to Ishigro.

MONDAY, May 21

A nice day.

I was up at the regular time and read a book. I received letters from Japan — Jeushi N. Ii, his [Radgew], Ikuta and Hirose. I wrote a letter to N. Ii and sent a letter to him which came from his brother. In the evening I went out with Mr. Asahina and stopped to see Miura and also at Sato's office. We went to see the Heller's Wonder on Broadway and got home by 11<sup>30</sup> and soon retired. Got letters from N. Ii and T. Ishigro.

TUESDAY, May 22

A nice morning and rainy afternoon.

I was up the usual hour and wrote letters to Japan, to my father, grand mother, Ikuta, Hirose.

In the letter to the father I wrote that I shall present to him \$5<sup>00</sup> and to the grandmother \$10<sup>00</sup>. These letters are going to send by Mr. Asahina when he go home. I wrote also a letter to Jeushi by which I acknowledged the receipt [sic] of his and promised to take care of his brother N. Ii, one to my father. Those are going to send by a mail. In the evening I went to hear in lecture on the subject of the African Civilization & c. I got home by 11 p.m. and soon retired.

WEDNESDAY, May 23

A nice day.

I was up at the 8 a.m. and wrote a letter to Mr. Murase and another to Ishigro sr. and also to Ii's [Radgea]. I went to see Mr. Miura for he was sick and talked about an arrangement of boarding place and got home by the lunch time. In the afternoon I wrote several cards to inquire about a boarding place. In the evening I went to take a walk and got home by 8 p.m. Mr. Sato was here and we talked about our new organization. I went to bed at 12 p.m.

THURSDAY, May 24

A nice day and little rain in the afternoon. I was up at 8 a.m. After the breakfast I went to see Mr. Miura and received the cash book which belonged to the Jap. L. Club and deposited \$21<sup>50</sup> in the savings bank in its favor. Mr. Miura came here with a letter of introduction from Prof. Dwight to Mr. Wheeler. After the lunch we went with the letter to see Mr. Wheeler, but he was not at the office, so we decided to go there again tomorrow. I give \$16<sup>00</sup> to Mr. Asahina to give to my grandmother and father when he gets to Japan. Mr. Sato came. We took our regular walk in the evening and retired at 11 p.m. Wrote a letter to Mrs. Smith.

FRIDAY, May 25

A nice morning and rainy noon.

I was up at 8 a.m. I went with Miura to see Mr. Wheeler, but we could not have any conversation as he was very busy. Thence we went to see Mr. Sato and I stopped at the consulate. It was about 1 p.m. when I got home. In the afternoon I read little and in the evening I went to see the theatre. Miss [Millson] played the Lady of [Lyre], and Romeo and [Phetel]. It was very interesting. We got home by 12 p.m. and soon retired.

SATURDAY, May 26

A nice day.

I was up at the regular hour and packed the trunks. In the afternoon may friends came to here and had some games. I went out to buy undershirts. Mailed letters to Japan. In the evening I went to see Mr. Hart. I gave the Bank book to the club to Mr. Miura to be kept for me. I retired at 11 p.m.

SUNDAY, May 27

A nice day, but rained little.

I was up the regular sunday hour and after the breakfast I went with Mr. Asahina to the Central park and took a nice walk and got home by 1 p.m. In the afternoon many friends came and we had a nice time. They stayed till after the tea. I retired at 11 p.m. We gave to all the ladies in the house a presents Mrs. Crossely gave to each of us a pair of slippers.



MONDAY, May 28

A fine day.

I was up at 7 a.m. After the breakfast I prepared for my departure and left the house at 8 a.m. and took 9 a.m. train to Peekskill. I found all the friends well. I gave a good talk to both Ii and Ishigro about their studies. After the tea we went to the down town and took a little walk. We sat in Mrs. Smith's room and retired at 10<sup>40</sup> p.m.

TUESDAY, May 29

A nice day.

I was up at 6<sup>30</sup> a.m. and walked the garden till the breakfast time. We left there about 8<sup>30</sup> a.m. and took 9 a.m. train to Troy. We took a lunch at the depot and came to Mr. Haraguchi's house. We found him at the house. We called to see Mr. Platt. Mr. Hirai came there and we accompanied [sic] to his house and stayed there we went to see Cohose [sic:Cohoes] Fall(s) about 4 miles from the city. We came to Troy house and took our lunch. In the evening we went to see Mr. Haraguchi and got home by 11 p.m. and soon retied.

WEDNESDAY, May 30

A nice day.

We were up at 7 a.m. we took out breakfast at the hotel. We went to Mr. Haraguchi's house and thence we went to the school. I was introduced to the director (Adams). We left Ishigro in the school to be examined and came to the streets. In the afternoon I went with Mr. Hirai to Lenseror [sic:Rensselaer] park to see a ball match and got home by 6 p.m. Ishigro passed all the examinations except algebra. We took our dinner and tea with Mr. Hirai. We took a walk in the evening and we stopped in a hotel and retired at 11 p.m.

THURSDAY, May 31

A nice day.

We left the hotel at 7 a.m. and came to Mr. Hirai's room and we went to take our breakfast. Mr. Haraguchi came there. We left Troy by 10<sup>30</sup> train and Ishigro went back to Peekskill while we came to Albany. We went to Mr. McCord's friend's office and left our bags. We went to the Normal School and saw Mr. St. John. We went to see the new capital. I went to Mr. St. John's house and there I met with all his folks. Miss Scram came there too. I left there at 9 p.m. and went to a hotel and retired at 10 p.m.

## June 1877

FRIDAY, June 1

A nice day.

I was up at 8 a.m. and took my breakfast. I went out to the streets and stopped to see a lawyer but he was not at the office. I took 10<sup>50</sup> to Garrisons. It was about 4 p.m., when I got to Mrs. Bettman's house. Mrs. Bettman and I went to Charles's house. We took a tea with him. We went down to the village and stopped at the yard. The girls came back from the church by 9<sup>30</sup>. We set on the piazza and retired at 11 p.m.

SATURDAY, June 2

A nice day.

I was up at 7 a.m. I stayed in the house till the noon. I went to Charles' house to take a dinner. Jennie Monroe was there and we had a nice time. I left there 3<sup>15</sup> p.m. and Charles and his wife came down to the landing. I took a boat to Peekskill. I found Mrs. Smith at home, but others were away. Mr. Donald got home by the evening. We sat on Mrs. Smith's room and retired at 10<sup>30</sup> p.m.

SUNDAY, June 3

A fine day.

I was up at 7 a.m. went to a church. I stayed in the house all the afternoon. We sat in Mrs. Smith's room and retired at 10 p.m.

MONDAY, June 4

A cloudy day. I was up at 6<sup>30</sup> a.m. I went to the streets to get discounted a check which I have received from Mr. Donald. I left there by 3 p.m. train and got to 30 Great Jones St. by 4<sup>40</sup>. I found all the friends here ready to start for Japan. We retired at 11 p.m. I found a letter from Mr. Megata containing \$1<sup>00</sup> and postage stamps valued 50 ct.

TUESDAY, June 5

A nice day.

I was up at 7:30 a.m. After the breakfast I went to see Mr. Matsudaira and also Tsumagi at St. Nicholas hotel. I found Mr. Matsudaira but Tsumagi was not there. At about 4<sup>30</sup> p.m. we left the house and went to Aster house to take a dinner and thence we went to Ery [sic:Erie] railroad depot there we saw Messrs. Asahina, Shimidz, Mori, Matsudaira and Tsumagi off, they left there by 7 p.m. train. When I got home it was about 8<sup>30</sup> and soon retired. I got letters from Japan — Ishigro, Ohhigashi, Mukuhara and Ii's servant.

WEDNESDAY, June 6

A nice day.

I was up at the regular hour and commenced to write letters to Japan and wrote to Ohhigashi, Ishigro, and to Ii's servant. Mr. Miura came here and we made an arrangement to go to New Haven tomorrow. As I had a sore foot I did not go out and wrote letters all the day. I wrote a letter to Messrs. Agee and Komuchi. I retired at 10<sup>30</sup> p.m. I read Jap. news papers.

THURSDAY, June 7

A rainy day.

I was up at the usual hour. Mr. Miura came and stayed a little while. I went to an express office and sent my baggs [sic] to New Haven. Went to Jap. Consulate and deposited \$15 with Mr. Ohta for money [club]. Got home by 1 p.m. I left the house at 2:30 and took the boat from 23<sup>rd</sup> St. to New Haven. We had a nice sailing but it rained most of the time. We had a nice dinner and came to Mr. Tsuda's house by a carriage. We took our room in a next house and meal with Mr. Tsuda. We retired at 10<sup>15</sup> p.m. Mailed a letter to Japan.

FRIDAY, June 8

A cloudy day.

I was up at 6<sup>30</sup> a.m. We went little after the breakfast to make an arrangement for our boarding

to the Whitney lake. We engaged with Mr. Smith (a son in law) of Mr. Meach to board for a few weeks at \$6<sup>00</sup> each. We went to the lake and looked around that part of the country. We got home by 11<sup>30</sup> a.m. In the evening we went out with Mr. Tsuda and took a nice walk. We saw the Yale college buildings. We retired at 11 p.m. Got a letter from Mr. Asahina and also me from Mr. Shimidz.

SATURDAY, June 9

A cloudy day.

We were up at 6<sup>30</sup> a.m. After the breakfast we wrote letters to several friends in informing our new address. I wrote to Mr. Donald, Ii, Ishigro, Mrs. Smith, Charles Bettman, Haraguchi, Ohta and to Mr. Asahina on reply. In the afternoon we read some books and in the evening we took a walk and bought our fishing instruments and got home by 9 p.m. and read and played and retired at 11 p.m.

SUNDAY, June 10

A rainy day.

I was up at 7 a.m. We took a walk in the morning and after that we read a little while. In the afternoon we read. After the lunch Mr. Mitsukuri came and we took another walk and got home by 9<sup>30</sup> and soon retired. We wrote a letter to Mr. Megata.

MONDAY, June 11

A fine day.

I was up at 7 a.m. after the breakfast we left Trumbull St. and came to Mr. J. Smith's house. Soon after we got here we went to a fishing in the river which is right near the house and caught some fishes and again we went to the same place in the evening. This is the place about 2 miles from the city and a few minute walk to the lake called "Whitney Lake." The house is quite small and don't look nice. Here is a garden around the house and it is just the time for strawberys [sic] and we have every day. Retired at 9 p.m.

TUESDAY, June 12

A nice day.

I was up at 6 a.m. the regular hour of the breakfast in this house is 6<sup>30</sup> a.m. We went a fishing to the river and caught a few fishes. In the evening we all went a fishing to the lake, but caught very little fishes. We left our boat on the lake so as we could go there any time. It was about 9 p.m. when we got home and soon retired.

WEDNESDAY, June 13

A fine day.

I got up at 6 a.m. and read a little while and walked the garden. At the afternoon we went a fishing and caught some few fishes and got home by 5 p.m. After the tea we attempted to fish in the river but the water was too low, so we went to the lake and caught some fishes and got home by 9 p.m. and soon retired.

THURSDAY, June 14

A nice morning and a shower in the afternoon.

I was up at 6 a.m. and after the breakfast we went a fishing. As it was a nice boat we could not catch many fishes. In the afternoon I wrote letters and read a book. In the evening we went a fishing again and caught quite many fishes. It was about 10 p.m. when we got home and soon retired. I got letters from Sato, Ii, Ishigro.

FRIDAY, June 15

A nice day.

We were up at the regular hour and read some books and wrote letters. In the afternoon I went to the store and hired a boat to row in the lake and went up to the end of it. After the tea went a fishing to the lake and caught some fishes and got home by 9<sup>30</sup> and soon retired. I got letters from Mrs. Smith and from Mr. A.

SATURDAY, June 16

A cloudy day. I was up at 6 a.m. and soon after the breakfast we went a fishing to the lake and caught some fishes. We stayed at home all the after noon and right after the tea we went again a fishing by a boat and got home by 9<sup>30</sup>. We caught very little of fishes and soon retired.

SUNDAY, June 17

A nice day.

I was up at 8 a.m. After the breakfast we went to take a walk along the river. In the afternoon we went to the woods with Mr. [Adise]. In the evening Messrs. Tajiri and Mitsukuri came here and we took a walk to the city and got home by 10 p.m. and soon retired. I wrote a letter to Mrs. Smith.

MONDAY, June 18

A fine day.

I was up at the regular hour and read some and went to the river to fish eels and got home and retired at 10 p.m. Wrote letters to Mr. Megata and Haraguchi and a card to Mr. Ohta.

TUESDAY, June 19

A fine day.

I was up at 5:30 a.m. Right after the breakfast I went with Mr. Miura to the landing to go on the excursion to New Port. We left the landing at about 8 a.m. We had a nice sail on the sound, but it was not a pleasant one for there were very large number of people on the board. We got to New Port by 13<sup>40</sup> and took a walk around the nice places in that city. There were great many nice houses which were purported for the summer resort. The boat left there by 5 p.m. and got in New Haven by 3 a.m. next morning. It was 4 a.m. when we walked up to the house and soon retired. It was a very tiresome trip and we got very tired for we could not find any seat to sit, for there were so many people and more over they were poor and low class of the people.

WEDNESDAY, June 20

A nice day.

We went to a sleep after we got home from the excursion and got up at the noon. After the dinner I read news papers. Messrs. Tsuda and Mitsukuri came over and we went to a rowing. After the tea we went to a fishing to the river and caught many eels and retired at 11 p.m. Got a

letter from Mrs. Crussely and also from Ii and Ishigro.

THURSDAY, June 21

A cloudy day.

I was up at 6<sup>40</sup> a.m. and read newspaper and made fishes to eat at the dinner. In the afternoon I wrote letters to Ii and Ishigro. In the evening we went to the river to fish but the boat was not there, so we went to the lake. The rain commenced and we soon retired to home and we played cards and retired at 10 p.m.

FRIDAY, June 22

A nice day.

I was up at the usual hour and read a book and news paper. In the afternoon I went to Mr. Tsuda's house to read Japanese news paper. Mr. Ohta sent to me a Jap. news paper. In the evening we went a fishing and caught many eels. Retired at 10 p.m.

SATURDAY, June 23

A beautiful day.

I was up at the regular hour and soon after the breakfast we went to the river to fish and caught a large eel and many small ones. We cooked them for the dinner. In the afternoon we went to the store to get our paper. We met with Mr. Tsuda and another and they came to here. After the tea we went to his house and played the Croquet and cards and got home by 11 p.m. I got a letter from Mrs. Smith.

SUNDAY, June 24

A nice day.

I was up 8 a.m. I read news paper and went to the River. In the afternoon I slept a little while and read a book. After the tea I went to take a walk and got home by 9 p.m. and soon retired.

MONDAY, June 25

A nice day.

I was up at 8 a.m. I read a little while and went a fishing and we went again in the afternoon. Mr. Tsuda came here and stayed till the tea time. After the tea we went out to take a walk and stopped at Mr. Meach's house and got home by 10 p.m. and I wrote a letter to Miss Hoyt and retired at 11 p.m. I got a letter from Miss Hoyt.

TUESDAY, June 26

A nice morning and cloudy after noon and rainy evening.

I was up at 8 a.m. After the breakfast I read news papers and stayed around the house. After the dinner I took a short nap and went a fishing and got home by 3<sup>30</sup> p.m. and read a book. After the tea it commenced raining. I went to the store to get a newspaper, but it was not sold. We played a game cards and retired at 10<sup>30</sup> p.m. I got letters from Ii and Ishigro and wrote one answer to Ii. The next day I went to see the Yale college commencement. It was quite interesting and there were many people.

WEDNESDAY, June 27

A nice day.

I was up at the usual hour and after the breakfast I read a little while and went a fishing. After the dinner we went to Mr. Tsuda's house. There we met with Messrs. Ohta, Hiraoka and Iwaya. They came recently from Japan. We went to attend the Yale law school commencement. It was very interesting and Mr. Cox made a speech which was very nice one.

THURSDAY, June 28

A fine day.

I was up at the regular hour. Mr. Miura went to New York this morning. After the tea I went with Mr. [Adeis] to a neighbor's house to play croquet and thence we went down to the town. I met with Messrs. Tsuda and Megata coming to see me. So I accompanied [sic] with them to Mr. Tsuda house and stayed till 10<sup>30</sup> p.m. Mr. Megata came here to talk about our summer meeting which we have had some talks. We agreed to spend a week or two in some country place and talk about the subject of law. Got a letter from Mrs. Smith.

FRIDAY, June 29.

A nice day.

I was up at the regular hour and read. As Mr. Miura was not home I stayed at home nearly all the morning, but went a fishing in the afternoon and also in the after noon and got some eels. In the evening I went to Mr. Meach's house. I found there Mrs. Tsuda, Ohta and other. They went away that evening. I got a letter from Mr. Asahina. I found Mr. Miura at home when I got home. Retired at 12 p.m.

SATURDAY, June 30

A nice day.

I was up at the regular hour and read a little while and went to get some worms for bait. In the afternoon we went a fishing and caught some eels and cooked [sic] for our tea. After the tea we went again a fishing in the lake and got home by 8<sup>30</sup> p.m. and soon retired. I got a letter from Ii and a card from Ohta. I wrote a letter to Mr. Megata and another to Ii and also corrected his brother to Jeushi Ii.

## July 1877

SUNDAY, July 1

A cloudy morning and rained in the evening.

I was up at 8 a.m. and read a book nearly all the day and walked around the house and retired at 11 p.m. I wrote a letter to my father and another to Mr. Shimidz.

MONDAY, July 2

A nice day.

I was up at the regular hour and after the breakfast we went down to the town and bought some fishing instruments and my shoes. I got home by 10 a.m. and read my book till the dinner time. After the dinner we went eeling and caught some large ones and had for the tea. After the tea, we went on the lake and tried a hunting but caught nothing. We got home by 9 p.m. and played some game of cards and retired at 11 p.m. I mailed my letters to Japan.

TUESDAY, July 3

A nice day. I got letters from Japan. It contained a bill of exchange \$189<sup>15</sup> in gold. The letters were from Ishigro, Mukuhara and Kaneda and others.

FRIDAY, July 6

I was up at the regular hour. It was very nice morning but rained very hard in the after noon. I read a book in the morning and at about the noon I got a telegraph from Miss Hoyt wishing me to come to N.Y. to meet her. I answered I shall come tomorrow. In the after noon we went with Mrs. Brister and her sister to an eeling, but as soon as we got there it commenced a heavy storm so we stayed a little while and came home. After the tea we took there again to a raining and had a nice time. I packed my trunk to get ready for tomorrow and retired at 12 p.m.

SATURDAY, July 7

A fine day.

I was up at 6 a.m. Soon after the breakfast I left the house and came to Mr. Tsuda's. I talked with him about our meeting place. I took 9:30 train to N.Y. I put up at Mr. Adams and went to see Miss Hoyt at Brandreth house. I was very glad to see her for we had not met for a long time. We went together to Central Park and in the evening we went to [Gelmeris] Garden and had a nice time. I took her to the hotel and I got home by 12 p.m. and soon retired.

SUNDAY, July 8

A nice day.

I was up at 8 a.m. As I had promised Miss Hoyt to go to hear Mr. Beacher with her. I went to Brendreth house and went with her to Brooklyn and heard his carmen. It was very good. We got back to the hotel by 1 p.m. and soon I got to my boarding place to take my dinner. I left the house at 2<sup>30</sup> and came to see Mr. Sato and also stopped to see Mr. Ohta. I came to Grand Central depot with Mr. Ohta. There I met with Miss Hoyt and we came on the same train and I got off at Peekskill while she went on to Troy. I found all the folks here except Mr. Donald. I stayed in an old sick room and retired at 10 p.m.

MONDAY, July 9

A pleasant day.

I was up at 7 a.m. and stayed around the house. In the evening I went down to the town to take a walk and mail my letters. I wrote letters to Mr. Miura and Mrs. Classly and cards to Mr. Haraguchi and to Tsuda. After that I went to see Mr. Hart and got home by 9 p.m. and set in Mrs. Smith's room a little while and soon retired.

TUESDAY, July 10

A nice day.

I was up at 7 a.m. After the breakfast I read newspapers a little while and commenced to write letters to Japan. After the dinner I heard Ii's lesson and also wrote letters to Japan. I wrote in all three letters – one to Jeushi Ii and one to Ishigro sr. and the other to my father. I received a box from Japan which had been forwarded by Mr. Ohta. It contained fans and papers. We gave the fans to Mrs. Wright, Mrs. Smith and [     ]. I wrote cards to Miura, Megata, Ohta and Ch. Bettman and retired at 12 p.m.

WEDNESDAY, July 11

A nice day.

I was up at 7 a.m. and finished my letters to Japan. I went down to the town. In the afternoon I spent most of the time in teaching Ii and commenced to read some novels. After the tea we went up to Mr. Hyatt and after our return from there we stayed in the front piazza and retired at 11 p.m.

THURSDAY, July 12

A nice day.

I was up at the regular hour and read the novel (East Lane). In the evening I went to call on Miss Ferris with Mr. Hart and got home by 10<sup>15</sup> p.m. and soon retired.

SUNDAY, July 15

A nice day.

I was up at the regular hour and read the novel all the day. I went to a church and [ ] home with Mr. & Mrs. Hyatt and retired at 11 p.m.

MONDAY, July 16

A nice day.

I was up at the regular hour and read the novel all the day. Frede Riley came here. I retired at 11 p.m.

TUESDAY, July 17

A cloudy morning and it rained in the afternoon.

I was up at the regular hour and prepared to go for a picnic but it was so cloudy. And we decided not to go, so I finished my novel. In the evening I took a walk with Frede and sat on the piazza and in Mrs. Smith's room and retired at 11 p.m.

THURSDAY, July 19

I wrote a letter to Mr. Riggs requesting to make an arrangement of board for Ishigro. I also wrote a card to Mr. Miura to make an arrangement of board for us.

FRIDAY, July 20

A nice day.

I was up at the regular hour and read and played all the day along. Mrs. Wright went away.

SATURDAY, July 21

A nice day.

I was up at 7<sup>30</sup> a.m. I went down to the town and draw all the money which I had deposited in P.S.Bank—\$177<sup>42</sup>. I stopped at several places. I deposited \$150<sup>00</sup> with Wright and Donald to be paid to Ishigro. In the evening I took a walk with Mr. Donald and also went down to the town with Mrs. Smith and took some ice cream. I retired at 11 p.m.

SUNDAY, July 22

A nice day.



I was up at the usual hour. Read and went to a church. I stayed at home all the afternoon and evening and retired at 11 p.m.

MONDAY, July 23

A beautiful day.

I was up at the regular hour and read and played. I sent Ii's trunk to New Haven. I gave \$20<sup>00</sup> each to Ii and Ishigro for their expenses. We set on the piazza and retired at 11 p.m. I gave \$5<sup>00</sup> to Mrs. Smith to make the dresses for me.

TUESDAY, July 24

A nice morning.

I was up at 5 a.m. We finished our breakfast at 6<sup>15</sup> and started to the landing. We left Peekskill by a boat and got in N.Y. by 10<sup>20</sup>. Mr. Donald came to the city with us. We stopped at Jap. Consulate. I went to see Mr. Sato and took my account book from him. I went to Banks to put interest in the book. I drew [sic] \$150. and interest 5.35. I stopped at 30 G.J. to return the [Key] to Mrs. Crossley. We took a boat from 23<sup>rd</sup>. St. at 3<sup>15</sup> p.m. and had a nice sail on the sound. We got to the house by 8<sup>40</sup> and Ishigro and Ii went to city with Mr. Bristol. I retired at 12 p.m.

WEDNESDAY, July 25

A nice day.

I was up at 6 a.m. After the breakfast I went to see the boys and took them to the lake. We went to a [sic] eeling and caught some, but not many. In the afternoon we cocked [sic] them and ate them and had some game of croquet. In the evening we went to play croquet and got home by 9:30. And wrote a letter to Mr. Haraguchi. I retired at 10:30. It was a very hot day. I sent Mr. Miura \$20<sup>00</sup>.

THURSDAY, July 26

A nice day.

I was up at the regular hour. After the breakfast I went with Ii to the town and stopped at Mr. Meache's house and met with Tay's brothers. I bought a night shirt for Mr. Miura and I paid for it. I gave \$20<sup>00</sup> to Ii and \$15<sup>00</sup> to Ishigro. We played croquet in Mr. Bristol's ground in the afternoon and also in the evening. There came many ladies so we went to a rowing on the lake and got home by 11 p.m. and soon retired. I wrote a letter to Mr. 原口.

SATURDAY, July 28

A nice day.

I got letters from Ishigro's Father and also one from Agee.

MONDAY, July 30

A cloudy day.

I did not feel well so I stayed in my bed till noon. I took my dinner and went to Mr. Bristol's house and spent all the afternoon there. Mr. Tsuda came there and we talked about our going to Durham. In the evening I went there again and stayed a little while and came to home and wrote letters to Messrs. Asahina and Tomita. I got a letter from Mr. Tomita and also news papers from Japan. I retired at 10 p.m.

TUESDAY, July 31

A nice day.

I was up at the regular hour. I felt better, so I decided to go to Durham. I spent most of the time at Mr. Bristol's house. I left with Mr. Miura the house at 4 p.m. and stopped at Mr. Tsuda's house and we took 5<sup>35</sup> train to Durham. I got off from the train at Middlefield and rode on wagon to Mrs. Parson's house. Mr. Megata did not come so we retired at 11 p.m.

### August 1877

WEDNESDAY, August 1

A cloudy day.

I was up at 7 a.m. I was almost well but still I had some feverish feeling. We played game of croquet and walked around the town. Mr. Megata came at noon and we had some speeches[sic] in regard to this meeting. In the afternoon we went to investigate a place for speaking. I found a suitable one. We played a game of croquet in the evening and other games and retired at 11 p.m. Wrote to Ii and Ishigro.

SATURDAY, August 4

A nice day.

I was up at the regular hour and played some games and talked about the translation. In the afternoon we went to a lake by carriage and had a nice time. We got home by 7 a.m. and played some game at home. I retired at 11 p.m. I wrote a letter to Mr. Donald.

SUNDAY, August 5

A nice day.

I was up at the regular hour and took a walk and stopped in a shade and made some speeches [sic]. We wrote a letter to Jap. Law Club members. In the evening we took another walk and retired at 11 p.m.

MONDAY, August 6

A nice day.

I was up at the regular hour and did all our regular works and in the afternoon we went to the woods and made our regular speech [sic]. We received a letter from our members in Japan proposing Mr. Yenouye to our membership. We held a special great meeting and all voted in favor of the proposal. I got letters from my Father and Matsumoto and Mokuhara. I wrote a letter to Ishigro and received one from him. Retired at 11 p.m.

SATURDAY, August 11

A nice day.

I was up at the usual hour and we worked on translation as usual. In the afternoon we consisting about 12 persons went to a picnic to a lake about 3 miles. And had a nice time. We got home by 8<sup>30</sup> p.m. and soon retired. I wrote a letter to Ii.

TUESDAY, August 14

A cloudy day.

I was up at the regular hour. Mr. Megata left the house before noon. We left the house about

3<sup>15</sup> p.m. and came to the depot by a wagon and took 4 p.m. train to New Haven. We got in New Haven by 6 p.m. I came to Mr. Smith's house and took the same room as before. Mr. Miura came with us and spent the evening at Mr. Bristol's house. He went to New York by a night boat. I retired at 10 p.m.

WEDNESDAY, August 15

A rainy day.

I was up at 6<sup>30</sup> a.m. After the breakfast I went to Mr. Bristol's house and talked with the boys. I wrote letters to father, T. Matsumoto, Ikuta and Asahina. In the evening I went with Mr. Tsuda to see one of the professors of the College, but he was not at the house as we went to shopping and soon got home. I got a letter from Mrs. Smith.

THURSDAY, August 16

A nice day.

I was up at the regular hour and soon after the breakfast, we went to [claming] and stayed till about 1 p.m. And it was 2 p.m. when we got home. We played croquet at Mr. Bristol's ground. In the evening I went with Miss Hart to the lake and had a nice time. Retired at 10 p.m. Got letters from Megata and Arai.

FRIDAY, August 17

A nice day.

I was up at the regular hour and worked on making the dictionary. In the afternoon I went to Mr. Tsuda's house to call together on the professor. As he was not at home, we came back to his house and stayed quite late and retired at 12 p.m.

SATURDAY, August 18

A nice morning and rained in the afternoon.

I was up at the regular hour and worked on the dictionary. In the afternoon I went to see Mr. Tsuda and we called on Prof. Wayland and inquired about the courses of studies in the law school. I went to see our boarding place. I stopped at Mr. Bristol on way to home and retired at 11 p.m.

SUNDAY, August 19

A nice day.

I was up at the regular hour and worked on the dictionary as usual. I spent the afternoon at Mr. Bristol's house and in the evening I took a walk with Miss Hart and stayed at her house till 9 p.m. and came back soon retired. Wrote cards to Megata and Donald.

FRIDAY, August 24

A nice day.

I was up at the regular hour and worked on the dictionary as usual. I went to see Mr. Tsuda and called on Mr. Tuttle and made a contract to hire the his [sic] rooms at \$7<sup>00</sup> per week from next week. I met with Mr. Okabe and we three went on the lake to row and had a nice time. I spent the evening at Mr. Bristol and retired at 11 p.m.

SUNDAY, August 26

A nice day.

I was up at the regular hour and worked little on the dictionary and wrote letters to Japan. Namely to Jeushi N. Ii, Jugoi A. M. Shimidz, H. Asahina, T. Ishigro, H. Mukuhara. I spent the evening at Mr. Bristol and retired at 10 p.m. I wrote a letter to Mrs. Smith.

TUESDAY, August 28

A fine day.

I was up at the regular hour and spent the morning in packing my things. I left Mr. Smith's house and came to Mr. Tuttle's to board in the afternoon. I received my trunk and a book box from Mr. Sato. In the afternoon I went to see a dentist with Mr. Tsuda for I had still teeth ache but nothing was done to them. After the tea I went to Mr. Smith to get rest of my things and stopped at Mr. Bristol to get home by 10 p.m. and unpacked my trunk and retired.

WEDNESDAY, August 29

A nice morning and rained little in the afternoon.

I was up at 6<sup>30</sup> a.m. Mr. Tsuda and Ishigro came here and the other helped me in unpacking my book box. I worked little on the dictionary and went down to the street to get something. I wrote to Mr. Megata. In evening I went to see Mr. Tsuda and wrote a letter to Mr. C. Hart.

THURSDAY, August 30

A nice day.

I was up at the regular hour and worked on the dictionary. Ii came here and I corrected his composition. In the afternoon I went with Mr. Tsuda to Fair Haven to call on Miss Shige, but she was not home. In the evening I went to Whitney ville and took a walk with Ishigro and Miss Hart. I got a letter from Miss Parsons.

### September 1877

SATURDAY, September 1

A nice day, though it has been cloudy.

I was up at the regular hour and right of the breakfast I went down to go to fishing, but my friends did not come, so I went to Mr. Bristol's house to the boys and stayed till the afternoon. I went with Mr. Tsuda to take a tea with Miss Abbot and saw Miss Yamakawa and Shigey got home by 10 p.m. and retired at 11 p.m. Received books from G. Smith.

SUNDAY, September 2

A nice day.

I was up at the regular hour and went to a church. I finished my dictionary. In the evening Mr. Tsuda came here and we took a walk and stopped at his house and returned at 9<sup>40</sup> p.m. and soon retired. Wrote to May Crossley and Miura.

MONDAY, September 3

A nice day.

I was up at 6<sup>30</sup> a.m. And read the Nation nearly whole the forenoon. In the evening I went to see the boys, but Ishigro was not home so I came back without seeing him and retired at 11<sup>30</sup> p.m. I wrote letters to Mr. Haraguchi and Ohta.

TUESDAY, September 4

A nice day.

I was up at the regular hour and read the Nation. Ishigro came here and I talked with him about his studies. He left here for Peekskill. I came here and I took to see Miss Stoler and made an arrangement about his study. In the evening I went with Tsuda to see Prof. Baldwin but he was not at home, so we went to see Mr. [Bordwin] but he was not home.

WEDNESDAY, September 5

A nice day.

I was up at the regular hour and read the Nation. In the evening I took a walk with Mr. Tsuda. I wrote letters to Japan – Nishimura and Ii's [Kagew]. I retired at 11 p.m.

THURSDAY, September 6

A nice day.

I was up at the regular hour and read little of the Nation. Mr. Miura came here. I got from Sato \$600<sup>00</sup> in check. I wrote letters to Miss Parsons and Sato. In the evening I went to see Mr. [Bannem] with Mr. Tsuda and Miura.

FRIDAY, September 7

A rainy day.

I was up at the usual time. I went see Mr. Tsuda. And I stayed there about the noon. In the afternoon I went with Mr. Tsuda to the National New Haven Bank and deposited \$450<sup>00</sup>. In the evening I went to see Miss Hart and got home by 10<sup>20</sup> and read Jap. news paper till 12, and retired. I got letter from Miss Ogin Hirose and also from Jap. Law club in Japan.

SATURDAY, September 8

A nice day.

I was up at the regular hour and read the News a little while and went to Mr. Tsuda's house and thence I went with Mr. Miura to get taken my pictures. In the evening I took a walk with Ii and went to a shopping. Mr. Tuttle was in my room this afternoon. Retired at 11 p.m. Got letters from Shimidz, Asahina and also Taro Ishigro.

SUNDAY, September 9

A nice day.

I was up at the regular hour and went up to East Rock and got home by noon. I wrote something all the afternoon and took a walk in the evening and retired 11 p.m.

MONDAY, September 10

A nice day.

I was up at the regular hour and worked all the morning. In the afternoon took a walk with Tsuda and Miura and went to the Law Librally. In the evening I called with Miura on Miss [Mastuies] and retired at 11 p.m. Got a letter from Miss Hart and also from Ishigro.

TUESDAY, September 11

A fine day.

I was up at the regular hour and worked all the morning. In the afternoon I wrote a letter to Miss Hart and went to the streets and ordered a new clothings [sic] at \$15<sup>00</sup>. In the evening I went to see Mr. Chesney. I heard Ii's lesson as usual and retired at 11 p.m. I sent a book to Miss Hart.

WEDNESDAY, September 12

I mailed letters to Japan – to Mr. Asahina, Shimidz, Ikuta, Hirose and also one to Tagai in China.

THURSDAY, September 13

A nice day.

I was up at the regular hour and coppied [sic] the notes which I had taken at C. Law School. Our Yale law school commenced today. I attended in the school and heard also about the arrangement of classes. I had thought to take some special studies both in junior and senior classes but I came to the conclusion to take my special studies only in Graduate course. Retired at 10 p.m. Wrote a letter to Mr. Smith.

FRIDAY, September 14

A fine day.

I was up at the regular hour (5<sup>30</sup> a.m.) and studied all the morning. I got my book stand and lamp from Mr. Sato and I fixed them. I went to Prof. Platt's office and made an arrangement of our studies on General Jurisprudence. I went to the office by 5 p.m. and got home by 5<sup>30</sup>. My clothings [sic] came but they did not fit good so I returned them. I went to see Mr. Smith and Bristol.

SATURDAY, September 15

A fine day.

I was up at 5<sup>30</sup> a.m. I studied all the morning and went to Prof. Baldwin's office to recite our lesson. I got books from Smith, but some of them did not come, so I wrote to him again to and [sic] the rest. In the evening Mr. Tsuda came here and we took a walk and heard Ii's lesson and retired at 11 p.m.

SUNDAY, September 16

A fine day.

I was up at the regular hour and studied. I went with Mr. Tsuda to the College chapel and heard a sermon. I went in the evening to a Jewish senagogue [sic]. It was very interesting. Retired at 10 p.m.

MONDAY, September 17

A nice day.

I was up at the regular hour and studied as usual and attended in the Junior Class – International law. In the evening I went to see Mr. Tsuda and took a walk. I heard Ii's lesson and retired 10<sup>30</sup> p.m. I got a letter from Miss Hart and a card from Ishigro.

TUESDAY, September 18

A nice day.

I was up at the regular hour and studied as usual. In the evening I went to Mr. Robinson's office to recite and after I got home I heard Ii's lesson as usual. I sent \$34<sup>85</sup> in check to Mr. [Ges. W.] Smith and sent [book] Austin's [pris], which I got for Mr. Miura. I got a letter from Mrs. Smith.

WEDNESDAY, September 19

A nice day.

I was up at the regular hour and read news papers and copied [sic] the notes. In the afternoon Miura and Tsuda and other came here. In the evening I took a walk with Mr. Tsuda and after that I heard Ii's lesson as usual and retired at 10<sup>30</sup> p.m.

FRIDAY, September 21

A nice day.

I did every thing as usual. I commenced to translate Elements of Law, by Markby into Japanese. I wrote a letter to Miss Hart.

SATURDAY, September 22

A nice day.

I was up at the regular hour and studied as usual and went to the office to recite my lesson. In the evening I went to see Mr. Tsuda but he was not at home. Retired at 10 p.m.

SUNDAY, September 23

A nice day.

I was up at the regular hour and took a little walk in the morning and read my lesson. In the afternoon I went to Whitneyville and visited to friends there. In the evening I took a walk with Mr. Tsuda and retired at 10<sup>15</sup> p.m.

THURSDAY, September 27

A nice day.

I was up at the regular hour and studied. Ii and myself went a fishing with Mr. Smith to the East River and had a nice time. We got home by 6 p.m. I got a book of tea from Japan and letter from Mukasa and Jeushi Ii. I wrote a letter to Ishigro a card to Ohta. I saw in the paper that Saigo and the other were stained in the 24 just.

FRIDAY, September 28

A cloudy day.

I was up at the regular hour and studied all the day and went to the recitation and heard Ii's lesson as usual. I got a letter from Miss Hart. I took my regular walk in the evening and retired at 10 p.m.

SUNDAY, September 30

I wrote letters to Jeushi Ii and told him that N. Ii will not be able to study in Kazoku school and also a letter to Mr. Mokuhara.

## October 1877

MONDAY, October 1

A nice day.

I was up at the regular hour and studied and went to the school. I drew [sic] \$130<sup>00</sup> from N. H. N. Bank and sent \$30<sup>00</sup> in check to Ishigro and gave \$30<sup>00</sup> to Ii. I wrote letter to my father and Mukasa. I separated from Mr. Tsuda this evening.

TUESDAY, October 2

Mr. Tsuda went away this morning but I did not go to see him off for I had so much work to do.

WEDNESDAY, October 3

A nice day.

I studied all the day and heard Ii's lesson as usual. I mailed the letter to Japan. I sent a picture to Jeushi Ii and also one to my father. I got two letters from Ishigro.

THURSDAY, October 4

A cloudy morning and rained in the evening.

I was up at the regular hour and studied all the day and in the evening I went to Mr. Meach's house and heard Ii's lesson as usual and retired at 10:15 p.m.

SUNDAY, October 7

A nice day.

I went to the College chapel and took a walk in the afternoon to Whitneyville.

MONDAY, October 8

A nice day.

I was up at the regular hour and studied as usual and went to the school and heard Ii's lesson as usual. I got a card from Mr. Tsuda and wrote an answer and sent Megata's letter to him. I delivered his pictures to Mr. Mansfield. I borrowed a new book from the C. Library. Retired at 10<sup>15</sup> p.m.

WEDNESDAY, October 10

A nice day.

I was up at the regular and studied. I went to the Yale College to pay my tuition which was \$35<sup>00</sup>. In the afternoon I took a walk and stopped at Mr. Bristol's house. I got a letter from Mr. Asahina. I heard Ii's lesson as usual. Retired at 11 p.m. I sent \$8<sup>00</sup> to Ishigro.

THURSDAY, October 11

I wrote a letter to Mr. Asahina and also one to Jap. L. club in which I sent my strong desire to making the members of the club independent individuals.

SUNDAY, October 14

A nice day.

In the afternoon I went to see Miss Hart and stayed till after the tea and went to a church with her and got home by 10 p.m. and read news papers and retired at 11<sup>30</sup> p.m.

MONDAY, October 15



A fine day.

I went to the school and in the afternoon I went with Miss Platt to the lake and had a nice time. I went to see Mr. Tajiri in the evening to return the news paper. I wrote a letter to Mrs. Smith and retired at 10<sup>30</sup>.

TUESDAY, October 16

A nice day.

I was up at the regular hour and studied as usual and went to the court to see the murder trial. I got letter from Japan – from Father, Grandmother, Ishigro, Kaneda and Mukuhara and also from Jap. Law Club in which contained the admission of Mr. Yenouye into the club. I wrote cards to Tsuda and Sato.

WEDNESDAY, October 17

A nice day.

I was up at the regular hour and worked as usual. I got letters from Japan – one from Mr. Asahina and one from Jap. Law Club. I got also news paper, two letters from Mr. Tsuda. I got telegraph from Sato. I wrote an answer to the Jap. Law Club and proposed to establish a law school. I sent it to Mr. Megata to get his opinion about it and wrote to him a long letter.

THURSDAY, October 18

A nice day.

I was up at the regular hour and studied as usual. I went to hear the arguments at the murder trial. I mailed the letter which I had written yesterday to Mr. Megata and a letter to Tsuda and cards to Sato and Arai. I did not feel very well and retired at 10<sup>15</sup> p.m.

SUNDAY, October 21

A rainy day.

I went to a church and took a walk and the rain stopped. I studied some and wrote letters to Japan – to Messrs. Asahina, Agee, Father, Grandmother and Ikuta. I requested Agee to ask Mitsubishi Co. to make a contract of employment and retired at 11 p.m.

MONDAY, October 22

A rainy morning. I was up at the regular hour and studied and went to the school. I got letters from Tsuda and Sato. I mailed the Japan letter and also one to Megata and other to Tsuda and also answered to Sato. Heard Ii's lesson as usual and retired at 10<sup>30</sup> p.m.

WEDNESDAY, October 24

A nice day.

I left New Haven by a boat at 10<sup>15</sup> a.m. and came to New York. I went to Sato's office and talked about the matter of exchange and called at consulate and came to Mr. Ohta's house and stayed the night. We played some game and retired at 12 p.m.

THURSDAY, October 25

A nice day.

I was up at 7 a.m. and soon after the breakfast I left the house with Mr. Ohta and went to see Prof.

Dwight and also to see Mrs. Crossley's folks and then came to the Consulate and stopped at Smith's book store. I made the arrangement with Mr. Sato of the exchange money, that is to received our yearly expense from Sato and pay to him in Japan. I received from him \$1150<sup>00</sup> in gold which was the amount to be sent from Japan and deposited \$1181<sup>62</sup> with him. I wrote a letter to Hayashida and Kaneda that I had made the arrangement with Sato and received from him \$1150 in gold and requested them to pay that some in Japan to Mr. Tachibana. I sent a receipt and request of it. I got home by 8<sup>15</sup> p.m. and went out to get my lunch and wrote letters to Ishigro (father) and Kaneda and Hayashida and retired at 12 p.m.

FRIDAY, October 26

A rainy day.

I was up at 7 a.m. and studied all the day and went to the school. I mailed the letter to Japan and worked all the day and heard Ii's lesson and retired at 11 p.m.

SATURDAY, October 27

A cloudy day.

I was up at the regular hour and worked as usual and went to the school. I went in the afternoon to see Miss Anna Graves and in the evening to see Miss Hart and got home by 10 p.m. and soon retired.

SUNDAY, October 28

A nice day.

I went to the College Chapel to hear Dr. Dail from England and in the afternoon I took a walk to near to East Rock Park and read news papers in the evening and retired at 11 p.m.

MONDAY, October 29

A nice day.

I was up at the regular hour and studied and went to the school and stopped at the library to return the Book. In the afternoon I got letters from Tsuda and I went to see Miura and played croquet there and got home by 5 p.m. and read in the evening and heard Ii's lesson as usual and retired. I wrote a letter to Tsuda and Megata and also to Arai and sent my picture to him.

### **November 1877**

THURSDAY, November 1

A nice day.

I was up at the regular hour and went to the school for the International law class was held today. In the afternoon I went to the woods and stopped at Mr. Bristol's house. I sent the money to Ishigro. I wrote card to Ohta and Haraguchi. I retired at 11<sup>15</sup> p.m.

SATURDAY, November 3

A nice day.

I studied as usual and went to the recitation. We commenced Montesquieu's Spirit of Law. In the evening I called on Miss Storer, but she was not at home. I wrote letters to Japan – Ishigro, Kaneda and Hayashida, Asahina and sent the letter which I had written [sic] sometime ago to the J. L. Club in which proposed to establish a law school.

SUNDAY, November 4

I wrote a letter (to) Mrs. Smith and requested her to make my dressing gown before the Christmas.

TUESDAY, November 6

A nice day, but very windy.

I studied as usual and went to the school and every thing was was [sic] as usual and retired at 11 p.m.

FRIDAY, November 9

A nice day.

I received letters from Japan – Asahina, Father, Ishigro and Jap. Law Club. I went in the evening to Miss Abbott's house to attend a meeting. It was quite interesting and I was proposed to be an honorary member of the club and studied and went to the school and did all my works as usual.

SUNDAY, November 11

A nice day.

I went to a church and in the afternoon I took a walk. I spent most of the day in reading. Retired at 11 p.m.

MONDAY, November 12

A nice day.

I went to the school but there was no recitation. I studied all the day and heard Ii's lesson as usual. I sent the Jap. Law books to Mr. Tsuda according to his request and also the receipt of the [ ]. Retired at 11<sup>30</sup>.

TUESDAY, November 13

A nice day.

I was up at the regular hour and studied and went to the school and heard Ii's lesson as usual. I wrote a letter to Sato requesting to sent \$50<sup>00</sup> to Mr. Asahina to invest in Fuji shia and also requested of him to send me money \$400<sup>00</sup>. I got a letter from Ishigro and wrote an answer.

WEDNESDAY, November 14

A nice day.

I was up at the regular hour and studied and went to hear the lecture on Parliamentary [sic] Law by Judge Foster. In the after noon I took a bath and read little and retired at 11<sup>15</sup> p.m. I wrote a card to Sato.

THURSDAY, November 15

A nice day.

I was up at the regular hour and studied and went to the school and did all the works as usual. In the evening I called on Miss Storer. I retired at 10<sup>30</sup> p.m.

SATURDAY, November 17

I wrote a letter to Mrs. Smith.

SUNDAY, November 18

A nice day.

I was up at 8 a.m. As I had bad headach [sic] I did not go to a church and stayed at home and wrote letters to Japan – Father, Ishigro, Asahina and Kaneda and Hayashida. Mr. Bourdon and Tuttle came to my room and I made Jap. tea for them.

MONDAY, November 19

A nice day.

I was up at the regular hour and went to the school and stopped at the court and heard a case. After I got home I read the Jap. history. In the afternoon I went with Tuttle to [ ] House and took a nice walk. I mailed Jap. letters. In the evening a large fire broke out in the city and we went to see it. I heard Ii's lesson as usual and retired at 10<sup>30</sup> p.m.

WEDNESDAY, November 21

A nice day.

I went to the school to hear the lecture on Parliamentary [sic] Law. I went to see Miss Hart and got home by 5 p.m. I received from Sato \$600<sup>00</sup> and deposited the same in the N.H. Bank. I sent to Ishigro \$20<sup>00</sup>. We had [ ]ing in the house. I heard Ii's lesson as usual and retired at 11<sup>30</sup>.

FRIDAY, November 23

A nice day.

I did all my duty as usual and in the evening I went to Miss Abbott's house to attend the meeting. Mr. Mitsukuri went with me. I retired at p.m.11. I wrote a letter to Mr. Donald.

SATURDAY, November 24

A nice day.

I was up at the regular hour and went to the school and did all my regular work. I got a letter from Miss Abbott inviting me to thanksgiving dinner party. I got also a card from Sato. He acknowledged that he sent \$50<sup>00</sup> to Asahina for me.

TUESDAY, November 27

A nice day.

I was up at the regular hour and studied and went to a court to hear some cases. In the evening I went to our class. I got letters from Ishigro and Hart (Lawyer). I retired at 10<sup>15</sup> p.m.

THURSDAY, November 29

A rainy day.

It being thanks-giving day I was invited to Miss Abbott to take a dinner and from the after noon I went there with Mr. Ii and had a nice time. We got home by 10 p.m. and after that I had some from at home and retired at 12 p.m.

FRIDAY, November 30

I received letters from Japan – Ikuta and Matsumoto and also from the Jap. L. Club.

### December 1877

SATURDAY, December 1

A nice cold day.

I was up at the regular hour and wrote my essay in the subject of the Jap. family. I received letters from Japan – Asahina, Shimidz and Ikuta. I drew [sic] from the Bank \$75 and sent a check of \$30 to Ishigro. Retired at 12 p.m.

WEDNESDAY, December 5

A nice day, though it rained all day.

I went to the school and studied and read. I received a letter from Mr. Donald wanting me to loan my money to him. I sent \$150<sup>00</sup> to him in check. He said he will pay back at any time when I need it. Retired at 11 p.m.

FRIDAY, December 7

I went to the meeting at Miss Abbott's house and I read my essay on the Japanese family.

SATURDAY, December 8

I wrote letter to Japan – Asahina, Ikeda, Matsumoto, Shimidz and Tomita. In the evening I went to see Miss Braves with Miura.

SUNDAY, December 9

I went to a church and wrote a letter to Jap. Law Club in Japan.

WEDNESDAY, December 12

Received letters from Japan. Miss Jew, Asahina, Nishimura and Ishigro.

THURSDAY, December 13

Received from Mr. Megata \$4<sup>00</sup> for the Jap. L. Club.

FRIDAY, December 14

Received from Mr. Takagi \$50<sup>00</sup> an account of Mr. Asahina. I wrote cards to Ohta, Sato and Megata and a letter to Mrs. Smith.

SUNDAY, December 16

I wrote letters to Japan – Nishimura, Asahina, Kaneda, Hirose and Ikeda and Ishigro. I took a walk with Tajiri and other. Mr. Mitsukuri came here in evening.

MONDAY, December 17

I was up at the regular hour and studied and went to the Post office to mail letters to Japan. I sent a letter to Miss Hart. In the evening I took a walk with Tuttle and studied. Retired at 10<sup>40</sup> p.m.

TUESDAY, December 18

I studied and went to the examination on International law. I forget to attend the recitation in

the evening. I retired at 11 p.m. All the school works for this year were ended.

WEDNESDAY, December 19

I received letters from Mrs. Smith, Ishigro and a card from Ohta. I sent \$10 to Ishigro in check. I worked in my lecture. Retired at 12 p.m.

THURSDAY, December 20

I wrote my lecture nearly all the day. In the evening I went to the meeting of Chikurin Club.

SATURDAY, December 22

I went to the streets to get something for Christmas presents. I called to see Mr. H. Mason and he gave me the kind informations [sic] in regard to Insurance matters.

SUNDAY, December 23

Went to a church, took a walk and wrote my lecture and finished it partly and retired at 11 p.m.

MONDAY, December 24

I went to the library and got a book. I went to Miss Abbott to make presents for Christmas. We made some presents to all the folk in the house. I received a [sic] inkstand from them. I played some [game] on the Christmas tree. I retired at 12<sup>30</sup> p.m.

TUESDAY, December 25

A nice day.

I went to [send] the evening to Miss Abbott and had a nice time. After I got home I played cards and retired at 12 p.m. I received a letter from Mrs. Harts.

WEDNESDAY, December 26

I read some in regard to Insurance Matters. I went to the library to return the book which I borrowed a few days ago. I wrote a letter to L[ ]. Retired at 11 p.m.

THURSDAY, December 27

A nice day.

I left New Haven at 9<sup>33</sup> a.m. and came to New York. I stopped at the Jap. consulate and went to see Sato. Sato wanted me to spend over a night with him and so I did. We talked about his business matters. I left my account book with Sato to get ballances [sic]. Retired at 12 a.m.

FRIDAY, December 28

A fine day.

I parted from Sato promising to come to him again and 9<sup>10</sup> p.m. train to Peekskill. I found all folks here well. Mrs. Wright was not at home. I took a walk with Mr. Donald. I spent the evening in Mrs. Smith room and retired at 10<sup>30</sup> p.m.

SATURDAY, December 29

Ishigro came to Peekskill in the evening. I received a letter from Ii and sent to him a card.

SUNDAY, December 30

I went to see Mr. Hart.

MONDAY, December 31

I spent the evening in Mr. Donald's room and waited the New Year's day.

## 《史料紹介》相馬永胤日記

—1897年（明治30）4月19日から1899年（明治32）12月31日—

大谷正（専修大学文学部教授）

本稿は、専修大学創立者の一人である相馬永胤の遺した「相馬永胤日記」の1897年4月19日から1899年12月31日までの、2年8ヶ月余り部分の翻刻を試みたものである。

「相馬永胤日記」は、現在、専修大学大学史資料課が所蔵する「相馬家文書」のなかに収められており、本稿で翻刻した部分は、「相馬永胤日記」の下記の5冊の手帳に記されている。

- ① 「明治三十年其一（九月二十五日マデ）」〔1897年4月19日～9月25日〕
- ② 「明治三十年其二・同三十一年其一（三月末マデ）」〔1897年9月26日～12月31日、1898年1月1日～3月31日〕
- ③ 「明治三十一年其二（十月末日マデ）」〔1898年4月1日～10月31日〕
- ④ 「明治三十一年其三・同三十二年其一（七月末日マデ）」〔1898年11月1日～12月31日、1899年1月1日～7月31日〕
- ⑤ 「明治三十二年其二・完」〔1899年8月1日～12月31日〕

この時期の日記は、縦7.5cm×横5cmあるいは縦8cm×横5.5cmの小型の手帳に、鉛筆書き（現代的な鉛筆と鉛の棒の鉛筆が混在しているようである）で記されている。手帳が小型なために、蠅の頭のような小さな文字で、相馬の相当に癖のあるくずし字で記されている上に、経年劣化と一部水損によって判読しがたくなっている部分もある。そのため、『専修大学百年史』（1981年刊行）編纂時に作成されたと思われる相馬永胤日記の読み本と原本の写真版を対照しながら判読を試み、一部の判読困難な箇所は原本に当たって確認したが、判読できない部分や誤って翻刻している部分が残っていると思われる。読者のご叱正をお願いする次第である。

なお、日記には本文以外に、表紙裏、巻頭、巻末にメモが記されている。本来はこれらのメモは重要な資料であるので翻刻すべきであるが、今回は省略した。将来、完全な翻刻を行う際には、メモも含めなければならないと考える。

さて、1897年から1899年までは相馬にとってどのような年であったかについて簡単に説明する必要がある。相馬は1882年に大蔵省より横浜正金銀行取締役（官選取締役）を命じられ、一時、取締役を退任したことがあったが、1890年に再度取締役に選任され、次第に正金銀行内での地位を高めてきた。日清戦争の下関講和条約の結果、日本は清国賠償金（庫平銀2億3千万両、英貨3800万ポンド）をロンドンで受け取った。日本政府は、この賠償金の一部を外国で支払いを要する政府支出金に充当するためにロンドンに残しておき、残りを英金貨または金銀塊の現送の方法か、あるいは為替手段によって日本に回送する決定を行った。政府は日本銀行にこの事務の取り扱いを命じ、正金銀行は日本銀行の代理として実質的にこの回送を取り扱うことになった。そのため、1896年5月には、園田孝吉正金銀行頭取と山本達雄正金銀行取締役兼日本銀行営業局長が、ロンドン支店の賠償金取扱事務を指揮するために、イギリスに向かった。相馬は園田頭取不在中の頭取職務代理となり、さらに園田頭取は1897年1月に帰国した後も、病気のため事務を執ることができなかつたので、相馬は同年3月初めまで頭取代理を務めた。

山本達雄は帰国後、日本銀行理事に昇格したため正金銀行取締役を辞め、ついで4月、園田頭取が病気を理由に辞任を申し出たので、相馬取締役が頭取に就任し、高橋是清取締役兼本店支配人が副頭取に昇格した。相馬はこの後、1906年3月に頭取を辞するまで、10年に亘って頭取の職にあった。時の日本銀行総裁は三菱財閥総帥の岩崎弥之助であったが、岩崎は日本銀行と正金銀行の関係を密接にすることに心を砕き、相馬の就任に当たっては、「正金銀行は普通の営利会



社でないことをつねに考慮し、日本銀行と相い親和提携してますます対外貿易の発展に尽くし、内外商人の間に立って交際の媒介をも務めることが必要である」という希望を示した。

1897年4月19日の相馬日記に、「四月十九日 日本銀行総裁岩崎氏余ヲ招キ、園田氏頭取辞職申出タルニ付余ニ其後任タランコトノ相談アリタリ、且其時日本銀行ノ正金銀行ニ対スル希望ヲ述ヘラレタリ、余ハ熟考ノ上返答スヘク答ヘヲ引取りタリ、此事ニ付テハ其前既ニ園田氏ヨリ談話アリタレハ、総裁ノ相談ヲ園田氏ヘ語レリ」と記されているのもこのことを示している。以後、相馬は正金銀行頭取として、大蔵省（大蔵大臣、次官、理財局長）、日本銀行、外務省とつねに連絡しつつ、正金銀行の業務を行っていることが日記の記述から明らかである。この時期の大蔵省には、相馬と関係の深い、田尻稻次郎、目賀田種太郎、駒井重格、阪谷芳郎らが幹部として在職していたので、力強い支えとなったと想像される。

本科研報告書と同時期に刊行予定の『専修大学史紀要』第8号には、「相馬永胤日記」の1900年1月から1901年12月までの2年分の翻刻を別に掲載しているので参考にさせていただきたい。両方を併せると、相馬が正金銀行頭取に在任した期間の前半5年間の日記が翻刻されたことになり、相馬の伝記研究のみならず、正金銀行研究にも有益な資料となるはずである。今後、残り5年間の日記翻刻に努めたい。

なお、本報告書には、日記本文の翻刻に加えて、相馬の関係した経済団体とクラブに関する解説論文を掲載する予定であったが、筆者の力不足で果たせなかった。近いうちに、専修大学の学内紀要に論文として掲載を期したいと考えている。

#### 【凡例】

- ・ 翻刻に際しては、仮名づかいは清濁、振り仮名など原則として原文の通りとした。
- ・ 漢字は常用漢字を用い、変体仮名、合字は通行の字体に改めた。  
（例） ㄱ→コト、 ㄱ→トキ ㄱ→トモ
- ・ 原本において抹消されていた箇所は省略した。
- ・ 誤った漢字はそのまま翻刻して「(マ)」とした場合と、明らかな誤字を「(○○カ)」と訂正した場合とがある。
- ・ なお、史料中に現在では使用しない不適切な表現が含まれている場合があるが、歴史的な観点からそのまま掲載した。
- ・ 簡単な注記を「[ ]」内に施したが、そのおもな典拠は下記の通りである。

ジャパンナレッジ [<http://japanknowledge.com/personal/index.html>]

渋沢社史データベース [<http://shashi.shibusawa.or.jp/>]

学校法人専修大学編『相馬永胤伝』（専修大学出版局、1982年）

寺寄弘康「横浜正金銀行員の肖像写真—川島忠之助資料から」

（『神奈川県立博物館研究報告』40号、2013年）

東京銀行編『横浜正金銀行全史』第1巻（東京銀行、1980年）

秦郁彦編『戦前期日本官僚制の制度・組織・人事』（東京大学出版会、1981年）

宮地正人・佐藤能丸・櫻井良樹編『明治時代史大辞典』（吉川弘文館、2011年）

相馬永胤頭取時代の横浜正金銀行および関係機関主要人事

年月	正金銀行頭取	正金銀行副頭取	正金銀行取締役	本店支配人	大蔵大臣	大蔵次官	監督局長(銀行局長)	理財局長(金融局長)	日本銀行総裁	備考
1897年4月	相馬永胤(第6代)	高橋是清	園田孝吉(第5代頭取)・木村利右衛門・原六郎(第4代頭取)・若尾逸平	山川勇木(高橋支配人の副頭取昇格に伴う代行)	松方正義(第2次松方内閣・蔵相兼任)	田尻稻次郎	添田寿一	松尾臣善	岩崎弥之助	第5代頭取園田孝吉病氣のため辞職。山川勇木は元ロンドン支配人
1898年1月					井上馨(第3次伊藤内閣)					
1898年6月					松田正久(第1次大隈内閣)	添田壽一	栗原亮一(憲政党代議士)			
1898年10月									山本達雄	
1898年11月					松方正義(第2次山県内閣)	田尻稻次郎	廃止			
1899年3月		(高橋副頭取、日銀副総裁就任のため辞任)欠員		三崎亀之助(取締役・支配人兼務・1899.4)						清国業務拡大のため山川勇木を神戸支配人に(1899.1)
1899年9月			園田孝吉・木村利右衛門・原六郎・若尾逸平・中井芳楠							中井芳楠はロンドン支配人兼取締役
1900年3月		三崎亀之助		戸次兵吉(支配人代行)						相馬頭取、1900年4月～9月・欧米視察(高橋が頭取代行)、同年11月上海視察
1900年10月					渡辺国武(第4次伊藤内閣)					
1901年6月					曾祢荒助(第1次桂内閣)	阪谷芳郎				
1903年10月			園田孝吉・木村利右衛門・原六郎・若尾逸平・山川勇木							
1903年10月								水町袈裟六	松尾臣善	
1906年1月					阪谷芳郎(第1次西園寺内閣)	若槻礼次郎				
1906年3月	高橋是清(第7代)	欠員	相馬永胤・園田孝吉・木村利右衛門・原六郎・若尾逸平・山川勇木・小田切萬壽之助	山川勇木(取締役・支配人兼任)						

東京銀行編『横浜正金銀行全史』第6巻および秦郁彦『戦前期日本官僚制の制度・組織・人事』を参照。

# ①〔手帳表紙〕「明治三十年其一（九月二十五日マデ）」

明治三十年

四月十九日

日本銀行総裁岩崎氏〔岩崎弥之助、三菱財閥第2代総帥、1896年11月から98年10月まで第4代日本銀行総裁に就任〕余ヲ招キ、園田氏〔園田孝吉、薩摩出身の外交官僚、1890年3月から1897年4月まで第5代横浜正金銀行頭取〕頭取辞職申出タルニ付余ニ其後任タランコトノ相談アリタリ、且其時日本銀行ノ正金銀行ニ対スル希望ヲ述ヘラレタリ、余ハ熟考ノ上返答スヘク答ヘヲ引取リタリ、此事ニ付テハ其前既ニ園田氏ヨリ談話アリタレハ、総裁ノ相談ヲ園田氏ヘ語レリ

二十日

昨日岩崎総裁ヨリ談話ノ事ニ付、一応松方伯〔松方正義、当時は第2次松方内閣首相兼蔵相〕ヘ相談セント欲シ同氏ヲ訪ヒタレトモ、過日来病氣ニテ引籠中ニテ面談ヲ得ス

二十一日

岩崎総裁ヘ承諾ノ返答ヲ為セリ

二十二日

岩崎総裁ヨリノ招ニ依リ同氏宅ニ到シ処、同氏ノ正金銀行ニ対スル希望ヲ書面ニ認メ余ニ示サレタリ、余ハ之レニ同意ヲ表セリ、依テ同氏ハ之ヲ他ノ重役ニ示シ、且園田氏ノ辞職并余ヲ頭取高橋氏〔高橋是清〕ヲ副頭取ニ為スヘキ事ヲ談話スヘキコトヲ語ラレタリ

二十三日

岩崎総裁ノ招ニ依リ正金銀行ノ重役一同并日本銀行ノ理事同氏宅ヘ午後五時集リタル処、同氏ヨリ昨日述ヘラレタル通り談話アリタリ、正金銀行重役ハ一同園田氏ノ辞職并ニ余ヲ頭取高橋氏ヲ副頭取ト為スコトニ異議ナキ旨ヲ答ヘ、且総裁ノ正金銀行ニ対スル希望ニ同意スル旨ヲ答ヘタリ、依テ同氏宅ニ於テ直ニ重役會議ヲ開キ其事ヲ決定セリ

二十四日

頭取副頭取就任願ヲ大蔵大臣ニ差出セリ

二十五日

日曜

二十六日

一昨日ノ願書許可ニナリタリ、諸所ニ就任ノ届ヲ出セリ

二十七日

重役會議ヲ開キ左ノ事ヲ議決セリ

- 一 岩崎総裁ノ希望書ニ対シ同意ノ返書ヲ出スコト
- 一 臨時總會ヲ開キ營業年限延期ノ事并ニ定額改定ノ事ヲ議スルコト
- 一 其他兩三件

昨二十六日ノ総勘定表ニ抛リ園田氏ヨリ事業ノ引継ヲ受ケタリ

二十八日

午前出勤午後帰京

二十九日

午前八時十五分ニテ出勤シ、夫ヨリ松方伯ヲ富島ニ訪ヒ、午後五時帰浜ス、新任披露ノ為メ社員ヲ日盛楼ニ招キ夕飯ヲ供セリ

三十日

午前出行午後大越氏ヲ訪ヒ五時ニテ帰京ス

五月一日

午前大蔵省ニ到添田氏〔添田寿一大蔵省監督局長〕ニ面会、横浜正金銀行ニ関スル書類借り入方并營業期限延期ノ事ニ付談話シ、夫ヨリ日本銀行ニ行キ総裁并理事ニ面会セリ、偶松尾氏〔松尾臣善

大蔵省理財局長〕来内国公債龍動支払ノ事ニ付引取并換算方ノ相談アリタリ、午後在宅

二日

午前馬場ニ行き、午後大弓ヲ引キ、鈴木小川朝比奈妻木氏〔朝比奈一、妻木頼黄は相馬永胤の友人〕来レリ

三日

午前銀行へ出勤途中岩崎総裁并ニ三野村理事ト同行セリ、午前取締役会議ヲ開キ、午後上野西洋軒ニテ開会スル日本經濟会ニ出席セリ、当日ハ伊藤大隈井上西郷其他現今ノ政治家ノ出席アリ、伊藤大隈等ノ演説アリタリ

四日

午前銀行へ出勤午後帰京、昨日戸次氏〔戸次（ベッキ）兵吉、ロンドン支店勤務、帰国後本店副支配人心得〕帰朝ノ電報ヲ発シ、本日鍋倉〔鍋倉直香港出張所主任〕西巻氏〔西巻豊佐久上海出張所主任〕等ニ六月下旬ニ一時帰朝スヘキヲ書状ニテ申送レリ

五日

午前銀行ニ出勤午後帰京ス

六日

午前銀行ニ出勤、午後余等新任披露ノ為メ日本銀行員ヲ三谷（山谷カ）ノ八百善ニ招キ、十一時帰宅ス

七日

午前銀行ニ行き、午後横浜ノ紳士ヲ余等新任披露ノ為メ佐の茂楼ニ招キ、十時ニ帰京ス

八日

午前西村氏〔西村捨三、旧彦根藩士、農商務次官から北海道炭鉱鉄道社長〕ヲ訪ヒ、日本銀行ニ行き、午後長谷川氏ノ葬式ニ臨ミ、夕刻ヨリ岩崎氏ノ招ニテ瓢屋へ行きグロヴル氏ニ会ス

九日

日曜、午前馬場ニ行き、午後降雨ノ為メ在宅セリ

十日

午前銀行ニ出勤ス、重役ノ会議ナレトモ高橋氏ノ外誰レモ出席ナシ、日本銀行ヨリ山本氏〔山本達雄、日本銀行理事、1898年10月より第5代目日銀総裁〕来レリ、午前（マ）余并高橋氏新任披露ノ為メ東京ノ紳士ヲ紅葉館〔芝公園の会員制料亭〕ニ招キ、十時ニ帰宅ス

十一日

午前銀行ニ出勤ス、龍動〔ロンドン〕支店ヨリ日本公債ヲ政府ニテ彼ノ地ノ引受人ニ売却スル風聞アル旨ノ電報アリ、午後帰京ス、須崎氏〔須崎芳三郎、異母妹まつの夫〕六時ノ汽車ニテ岡山へ帰レリ

十二日

午前日本銀行ニ行き、日本公債売却并引受人等ノ事ヲ総裁ニ問ヒ、本行モ其引受人ノ仲間タルヘキコトヲ請求セリ、夫ヨリ銀行へ出勤高橋氏右ノ事ヲ談話シ、午後同氏同行ニテ日本銀行ニ行タレトモ総裁ハ帰宅後、理事等ト談話シ七時ニ帰宅シ、明日集会ノ案内状ヲ重役等ニ出セリ

十三日

午前日本銀行ニ行き総裁ニ面会シ、昨日依頼セシ事ヲ運ヒ呉レラレタル札ヲ述へ、且果シテ本行ニ於テ公債売却引受人ノ仲間入スルヤ否ハ昨日龍動支店へ電報セシニ付其返事アリシ上ニテ決シタキ旨ヲ述ヘタリ、テヤトル銀行モ右ニ加入セシ由承レリ、龍動支店ヨリ引受人中へ加入シタキ返事アリ、依テ其旨通知セン為メ直ニ帰京、岩崎氏ヲ日本銀行并住宅ニ訪ヒタレトモ不在ナリ

十四日

午前日本銀行ニ行き、龍動ヨリ返電アリシニ付引受人中へ加入ノ事ヲ申込ミタリ、夫ヨリ銀行へ出勤セリ、龍動支店ヨリ三十万磅引受ケ加入シタル旨電報アリタリ、依テ直ニ其旨ヲ総裁ニ電話セリ、午後五時帰京ス

十五日

岩崎氏ヨリ書状アリ、早天ヨリ染井ノ同氏宅ヲ訪ヒ公債ノ事ヲ談シ、夫ヨリ大蔵省ニ至リ松尾氏并添田氏ニ面会シ、日本銀行ニ到リ高橋氏ト会合シ總裁ニ面会シテ公債引受仲間ニ相談スルコトヲ打合せタリ、同日ハ銀行ヘ出勤セス、午後西村氏来訪セリ

十六日

日曜日ナレトモ雨天ニテ在宅、午後少シク乗馬ス

十七日

午前銀行ヘ出勤、取締役会ヲ開キ定款改正并内規改正ノ事及ヒ園田氏ニ二万円慰勞金トシテ贈与スルコトヲ決セリ、中井氏〔中井芳南ロンドン支店支配人〕ニ書面ヲ出シ五時ニテ帰京ス

十八日

午前横浜ニ出勤セリ午後 Chartered BK ノ Budd & Mains 来訪、又 Hong Kong Shanghai BK , Bennis & SS Co. ノ Michel 来訪シ、今回ノ公債売買ノ仲間入ヲ許スニ付テハ、将来正金銀行カ公債ヲ発行スルトキニハ彼等ヲ仲間サスヘキ事ヲ申出タリ、此事ニ付テハ日本銀行總裁ヲ経ヘ(マ)テ政府ノ承諾ヲ得ルコト必要ナル旨ヲ答ヘタリ、第一銀行支店ノ招ニ依リ佐野茂ニ行キ、十時帰京セリ

十九日

午前日本銀行ニ行キタレトモ總裁ハ富島ニ行カレタル趣ニテ不在ナリ、依テ昨日外国銀行ヨリ談話ノ事ヲ川上氏ニ談シ置キタリ、原氏〔原六郎、第4代正金銀行頭取、第百銀行頭取〕ヲ帝国銀行ニ訪ヒ同氏ノ案内ニテ鈴木氏等ト共ニクラブニテ午飯ヲ喫セリ、電話ニテ銀行ヘ出勤ヲ断リ、帰途大東氏〔大東義徹、旧彦根藩士で衆院議員、近江鉄道初代社長〕ヲ訪ヒ近鉄ノ事ヲ相談シ、西村氏ニ来会シ、八時ニ帰宅セリ

二十日

高橋氏ヨリ昨日龍動ヨリノ電報ヲ報告セリ、午前日本銀行ニ行キ總裁ニ面会シ外国銀行ヘ返答方ヲ相談シ、夫ヨリ今村氏ヲ訪ヒ近鉄ノ事ヲ談シ、十一時ニテ横浜ヘ出勤セリ、午後高橋氏ト共ニ外国銀行并領事館等ヲ訪問セリ、五時過ノ汽車ニテ帰京ス

二十一日

午前大東氏来訪近鉄ノ事相談アリタリ、園田氏宅ニ行キ慰勞金ヲ同氏ニ渡シ銀行ノ事ヲ談話シ、十一時ノ汽車ニテ横浜ニ出勤セリ

二十二日

午前馬場ニ行キ、午後岩崎氏ノ園遊会ニ臨ミ、七時ニ帰宅

二十三日

午前馬場ニ行キタリ、大東西村氏来訪近鉄ノ事ニ付相談アリタリ、午後ヨシ子〔次女宜(宜の俗字)、セン又はヨシと呼ぶ〕ヲ連レ大久保ニ行キタリ

二十四日

午前横浜ニ出勤、取締役会ヲ開キ、二時ニ汽車ニテ帰京シ英公使館ノ園遊会ニ臨ミ、六時ニ帰宅ス、香港上海銀行ノ支配人ハ公債引受加入ノ事ニ付今朝發電セシ旨ヲ語ラレタリ、原氏ヨリ鍋倉氏ノ事ニ付談話アリタリ

二十五日

午前大蔵省ニ立寄松尾添田氏等ニ面会シ、日本銀行ニ行キタリ、十一時ノ汽車ニテ横浜ニ出勤セリ、午後三時半ニテ帰京ス、森氏出京セルニ付同氏并西村大東氏等ヲ招キ夕飯ヲ供セリ、今夕雷雨甚シ

二十六日

午前松方伯ヲ官舎ニ訪ヘリ、夫ヨリ直ニ横浜ニ出勤セリ、中村氏来リ外人ヨリ公債抵当ニテ借入金保証ノ事ヲ相談アリ、抵当差入ラルハ其額丈保証スルコトヲ承諾セリ、五時ニテ帰京ス、今夕頭部ノ工合悪シ

二十七日

午前英公使館へ礼参リヲ為シ、九時半ニテ横浜ニ出勤セリ、午後五時帰京ス

二十八日  
午前日本銀行ニ行き百万磅返済ノ事ニ付相談セリ、坂谷氏〔阪谷芳郎大蔵省主計局長カ〕モ来合セ居リタレハ同氏ニモ其事情ヲ述へ置キタリ、午後在宅夕菫塚氏〔菫塚次郎、異母妹くわの夫〕来訪セリ

二十九日  
午前横浜へ出勤、午後三時半帰京ス

三十日  
日曜、午前馬上ニテ運動シ、午後商工銀行ノ招ニテ上野西洋軒ニ行き、六時ニ帰宅ス

三十一日  
午前銀行ニ出勤取締役会ヲ開キ午後四時ニ帰京ス、日本銀行へ百万磅返済困難ノ事情陳述書ヲ出セリ、中井氏ニ書状ヲ出シ日本銀行ト引受人トノ約定書ヲ送レリ

六月一日  
午前横浜ニ出勤、午後五時帰京、今朝大東氏来訪明日ヨリ彦根へ出立ノ事ヲ連絡セラレタリ

二日  
午前横浜ニ出勤、午後五時帰京、新橋ニテ大東氏ノ彦根行ヲ送レリ

三日  
午前日本銀行ニ行キタリ、総裁ハ出勤ナシ、依テ直ニ横浜ニ出勤、午後五時帰京ス

四日  
午前横浜ニ出勤、中井長崎青木氏〔長崎剛十郎ニューヨーク出張所主任、青木鐵太郎サンフランシスコ出張所主任〕へ書状ヲ出シ四時ニテ帰京ス

五日  
午前日本銀行へ行き、夫ヨリ大蔵省ニ立寄り、田尻〔田尻稻次郎大蔵次官、専修学校創設者〕添田氏等ニ面会シテ資金ノ事ヲ談セリ、当日ハ横浜ニ行カス、午後駒井氏〔駒井重格大蔵省参事官、専修学校創設者〕諏訪氏等ヲ訪ヒタレトモ不在ナリ、六時頃ガルバ氏ヨリ電信ニテヒサゴ屋ニ招カレ、岩崎氏等ト共ニ饗応ヲ受ケタリ

六日  
午前馬場へ行き、夫ヨリ中村老人ノ墓ニ詣テ一時ニ帰宅ス、午後朝比奈宮川氏等来訪セリ

七日  
午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後一時ヨリ中村老人ノ法事ニ列シ夕飯ノ饗応ヲ受ケ、八時ニ帰宅ス

八日  
午前横浜ニ出勤、中井氏へ書状ヲ認メ、四時ニテ帰京ス、夕飯後気分悪敷降雨ナレハ早ク寝ニ就ケリ

九日  
午前日本銀行ニ行タレトモ総裁不在ニテ面会セス、十二時ニテ横浜ニ出勤、五時ニテ帰京ス

十日  
午前横浜ニ出勤ス、本日ハ幾田〔父右平次ノ姉、1896年10月没〕并徳胤〔相馬永胤ノ長男、1891年8月6日没〕ノ法事ニ付十二半ニテ帰京セントスル処日本銀行ヨリ電話アリ、直ニ同行ニ行き本行為替資金ノ事ニ付目下預リ居ル百万磅ハ資金ノアル間ハ継続シ、其無ナリタルトキハ日本銀行ヨリ補助ス、其時ニハ年三朱以上ノ利子ヲ直ニ支払ハシムルコトモアルヘシトノ事ナリ、尚ホ本行独立営業ノ道ヲ経画（マ）スヘキコトノ談アリタリ、五時ニテ帰宅シ親類ヲ招キ夕飯ヲ供セリ

十一日  
午前日本銀行ニ行き総裁ニ対シ昨日重役ヨリ談話アリシコトノ返答ヲ為セリ、夫ヨリ東京クラブニ立寄り入金ヲ払ヒ、十一時ニテ横浜ニ出勤セリ、午後五時帰京ス

十二日

午前銀行ニ出勤、午後三時半帰京ス

十三日

午前馬場ニ行き、午後朝比奈太田氏等来訪セリ

十四日

午前銀行ニ重役会ヲ開キ、午後四時帰京ス、富井氏兼松氏等来訪セリ

十五日

午前日本銀行ニ行き横浜ニ出勤、午後五時帰京、東京クラブニテグラバ氏〔トーマス・グラバー、三菱財閥顧問〕并同氏知人ジャヂンマヂソンノ神戸店ノ支配人等ホヲム氏ト共ニ夕飯ヲ喫シ、十時ニ帰宅ス

十六日

午前横浜ニ出勤ス、眼ノ血管破レタレハ帰途眼医者ニ到リ、夫ヨリ近藤氏ノ招ニテ常盤屋ニ到リ、十時過ニ帰宅ス

十七日

午前横浜ニ出勤、午後四時帰京ス、大東へ書状出ス

十八日

午前日本銀行ニ行き総裁ニ面会シ、直ニ横浜ニ出勤、午後四時帰京ス

十九日

眼氣治療ノ為メ横浜へ出勤セス、午後墓参シ、夕飯ニ小田柿武次郎氏ヲ招キ捨次郎〔相馬の書生から三井物産社員〕ノ事ヲ語レリ、同氏ヨリ結婚ノ事依頼アリタリ

二十日

日曜、午前馬場ニ行き、午後高橋今西氏等来訪碁ヲ囲メリ、西村氏モ来訪セラレシモ不在ニテ面会セス

二十一日

総裁ヨリ書状アリ午前日本銀行ニ行キタリ、総裁ハ本日西京へ向テ出立ノ由、配当ノ事ハ松伯ト相談ノ上返事スルトノ事ナリ、余ハ直ニ横浜ニ出勤セリ、午後四時半総裁ヲ停車所ニテ見送り直ニ帰京セリ、夕飯後西村氏ヲ訪ヒ、十一時帰宅セリ

二十二日

英女皇即位六十年祝ノ為メ銀行ハ休業セリ、午前渋谷へ馬上ニテ行き、午後在宅セリ

二十三日

午前銀行ニ行き、午後四時帰宅セリ、高橋氏神戸行ノ事ヲ取極メタリ

二十四日

午前日本銀行ニ行き、百万磅利子一朱ノ事并〇〇銀行ヲ替約定ノ事ヲ相談シ、午後横浜ニ出勤、五時ニ帰京ス、園田氏出勤種々行務ヲ談セリ

二十五日

両三日前ヨリ背部ニ痛ヲ感セリ、依テ森本氏ニ診察ヲ受ケタリ、午前出勤、四時帰京セリ、夕飯後朝比奈氏来訪セリ

二十六日

大東之細君死去ノ報ニ接シ同家ニ行き、夫ヨリ横浜ニ出勤セリ、帰途再ヒ大東へ立寄り主人ノ帰宅ヲ待タリ

二十七日

日曜日、午前在宅、午後大東へ行き葬式等ノ世話ヲ為セリ、中村未亡人来訪セリ文庫ノ事ニ付相談アリ〔故中村正直（敬字）の文庫を岩崎弥之助が購入、静嘉堂文庫蔵書とする件〕

二十八日

午前大東へ行き、夫ヨリ順天堂ニ到リ進先生〔佐藤進、陸軍軍医で順天堂第3代堂主〕ノ診察ヲ受

ケ一旦帰宅シ、夫ヨリ大東家ノ葬式ニ行キ、五時ニ帰宅セリ、佐藤先生ノ新法ニテ森本ヨリ受診セリ

二十九日

午前日本銀行ニ行キ、夫ヨリ横浜ニ出勤、午後帰宅ス

三十日

午前横浜ニ出勤、重役会ヲ開キ当季損益勘定ヲ相談シ、上海香港為替資金増加ノ事ヲ決セリ、午後出納方ヲ検査シ、八時ニ帰京セリ

七月一日

午前銀行ニ出勤、チャトル銀行ノ Budd 氏ノ招ニ依リ Lunber & Midlter 氏等ト共ニグランドホテルニテ午飯ヲ喫セリ、此時 Mr. Budd ヨリ公債ノ事ニ共ニ尽力セン事ノ相談アリタリ、午後四時ニ帰京、大東氏初七日ノ招ニ応シ同家ニ行キ、九時ニ帰宅セリ

二日

午前森本氏ノ診察ヲ受ケ、夫ヨリ日本銀行ニ行キ、神戸支店ニテモ政府売為替取扱ノ事ヲ相談シ、夫ヨリ銀行ニ出勤セリ、午後四時帰京

三日

午前九時松方伯ノ帰京ヲ新橋ニテ迎へ、直ニ横浜ニ出勤セリ、百万磅預り替ノ許可アリ、西卷氏午飯ヲ喫セリ、岩崎総裁帰京ノ電報アリ、午後三時半帰京ス

四日

午前森本氏方ヘ行キ診察ヲ受ケ、夫ヨリ順天堂ニ行キ進先生ノ診察ヲ受ケ、帰途中村ニ立寄文庫ノ事ヲ相談シ午後帰宅セリ、午後在宅加養セリ、増島氏〔増島六一郎、旧彦根藩士で弁護士、中央大学創設者〕ニ馬ヲ貸セリ、荒西氏〔異母弟荒西鏡次郎、海軍軍人〕昨夜帰京ス

五日

午前横浜ニ出勤ス、重役会日ナレトモ木村〔木村利右衛門、横浜貿易商〕添田ノ外出勤ナシ、高橋氏ヨリ来書返書ヲ出ス、午後四時過帰京ス、今夕高田氏ヨリ招アリタレトモ病後ノ為メ断レリ

六日

午前大蔵省ニ到リ松尾氏ニ面会シ、夫ヨリ日本銀行ニ行キタレトモ総裁ハ出勤ナシ、正午ヨリ横浜ニ出勤、五時ニ帰京ス

七日

午前松方伯ヲ訪ヒタレトモ面会ヲ得ス、直ニ横浜ニ出勤ス

八日

午前西卷氏ト共ニ大蔵省ヲ訪ヒ松尾氏ニ面会、夫ヨリ日本銀行ニ行キ総裁ニ面会シ、昼頃ヨリ横浜ニ出勤、五時ニ帰京ス

九日

午前文部省ニ行キ都筑氏〔都筑馨六文部次官〕ニ面会、敬字文庫ノ事ヲ談シ、夫ヨリ横浜ニ出勤、五時ニ帰京ス

十日

午前在宅、午後中村家ヘ行キ敬字文庫ノ事ニ付文部省ト打合セタル結果ヲ談話シ、夫ヨリ専修学校ノ卒業式ニ臨ミ同窓会ニ立寄り、九時ニ帰宅ス

十一日

午前十一時五十分ノ汽車ニテ陸井鈴子〔陸は相馬永胤夫人、鈴子は三女〕ヲ連レ鎌倉ヘ行キ、坂ノ下安藤ノ貸家ニ寓居セリ、添田氏ニ面会セリ

十二日

午前八時ノ汽車ニテ横浜ニ出勤、重役会ヲ開キ、午後四時半ニテ鎌倉ヘ帰ル、高橋鍋倉両氏帰店セリ

十三日



午前横浜ニ出勤、午後四時過東京ニ帰ル、松方伯ヲ訪ヒ戸次氏帰朝ノ事并シンガポールニ於ケル一円銀ノ景況及厦門ノ地所買入ノ事ヲ談話セリ

十四日

午前西村氏来訪、近鉄ノ事ノ相談アリ、夫ヨリ戸次氏ト共ニ日本銀行并大蔵省ニ到リ、東京クラブニテ午飯ヲ喫シ、午後横浜ニ出勤、四時半ニテ鎌倉ニ帰ル、第百銀行〔東京川崎財閥の中核銀行〕ヨリ百円、正金銀行ヨリ五十円受取りタリ

十五日

午前横浜ニ出勤、午後鎌倉ニ帰ル

十六日

午前横浜ニ出勤、チャトル銀行ヲ訪ヒタリ、東條氏ニ面会敬字文庫ノ事ヲ談セリ、午後四時東京へ帰ル、帰途東京クラブニ立寄りグラバ氏ニ面会セリ

十七日

午前大蔵省ニ到添田松尾氏ニ面会、夫ヨリ日本銀行ニ行キタレトモ総裁出勤ナシ、横浜ニ出勤、午後二時半鎌倉へ帰ル、夕飯後松本氏ヲ三ツ橋〔鎌倉長谷下の高級旅館〕ニ訪ヘリ

十八日

午前九時ニテ平塚へ行き、鍋倉氏ト共ニ地所ヲ見物シ、午後四時ニ鎌倉へ帰ル

十九日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ催シ、午後鎌倉へ帰ル、平塚ノ地所測量ヲ戸田栄三氏ニ依頼ス、本日ヨリ支店出ス

二十日

午前横浜出勤シ、夫ヨリ東京へ行き日本銀行ニ到リ、四谷へ帰り、午後五時ヨリ紅葉館ニテチャトル銀行新旧支配人ヲ饗応シタリ

二十一日

午前横浜ニ出勤、午後東京へ帰り、夕刻ヨリ三ツ井クラブニ行キチャトル銀行新旧支配人等ト共ニ饗応ヲ受ケタリ

二十二日

午前横浜ニ出勤、午後帰京、六時過ヨリ深川ノ岩崎邸ニ行キ夕飯ノ饗応ヲ受ケタリ、是レ亦チャトル銀行新旧支配人ノ為メ催サレタリ

二十三日

午前日本銀行ニ行き、夫ヨリ横浜ニ出勤、午後東京へ帰ル、軍事公債五千元ヲ九十八円六十銭ノ割合ニテ売却セリ、平塚ノ地所ヲ一坪一円ノ割合ニテ代金九千三百二十二円ニテ買取り、登記料百二十円支払タリ

二十四日

午前横浜へ出勤、午後鎌倉へ帰ル

二十五日

午前小供ヲ連大船ニ行き、大船ニテ父上〔相馬右平次〕ト会シ、共ニ平塚ニ行き地所ヲ再見シ、午後鎌倉へ帰ル、夕飯後散歩セリ

二十六日

午前横浜へ出勤、重役会ヲ為シ、午後ヨリ支店長会ヲ開キ、五時五十分ニテ鎌倉へ帰ル

二十七日

午前横浜ニ出勤、支店長会ヲ継続シ、午後五時五十分帰鎌ス、本日チャトル銀行支配人ヲ問ヒ(マ)、十月一日以後金貨入用ノ高ヲ問イタリ、パアソンス氏ニ招カレ同氏ノ山宅ニテ夕飯ヲ喫セリ

二十八日

午前陸ト共ニ鎌倉ヲ出立、余ハ横浜ニ行き、午後帰京シ、陸ハ直ニ帰京セリ、中井氏ニ書状ヲ出セリ

二十九日

午前横浜ニ出勤、主任等ノ会議ヲ結了セリ、午後四時半帰鎌セリ、夕飯後金井氏ト共ニ大保田氏ヲ訪ヘリ

三十日

午前金井氏ト共ニ魚取りニ出掛、午後横浜ニ出勤セリ、午後四時東京ヘ帰ル

三十一日

午前日本銀行ニ立寄総裁ニ面会シ、第百銀行ニ行キ池田氏ト北海道行ノ事ヲ相談シ、夫ヨリ横浜ニ出勤、四時半帰京ス

八月一日

日本銀行ノ連中ヲ招キ置キタレハ、午前六時ヨリ玉川ヘ出掛ケ、午後九時帰宅ス

二日

午前大東氏ヲ訪ヒ鉄道ノ事ヲ相談シ、夫ヨリ横浜ニ出勤セリ、午後鎌倉ヘ帰ル

三日

午前横浜ニ出勤、午後鎌倉ヘ帰ル

四日

午前横浜ニ出勤、午後東京ヘ帰ル、夕刻ヨリ大東石黒田部堀部氏〔大東義徹、石黒務、田部密、堀部久勝カ、全員旧彦根藩士〕等ヲ招キ鉄道ノ事ヲ相談セリ

五日

午前森本氏ヲ訪ヒタレトモ不在、又日本銀行ニ行キタレトモ総裁出勤ナシ、池田氏ヲ訪ヒ北海道行ノ事ヲ約シ横浜ニ出勤、三時鎌倉ニ帰ル

六日

午前横浜ニ出勤、午後東京ヘ帰ル、此夜森本氏ノ診察ヲ受ク

七日

午前岩崎氏ヲ訪ヒ、夫ヨリ順天堂ニ到リ佐藤氏ノ診察ヲ受ケ、大蔵省ニ立寄り、九時半ニテ横浜ニ出勤セリ、午後鎌倉ニ帰ル

八日

終日鎌倉ニ在リ、鏡次郎来リ昼頃ヨリ綱引ヲ為セリ

九日

午前七時五十分ニテ陸ト共ニ帰京ス、今朝ヨリ腹合悪敷森本氏ニ診察ヲ乞ヒ服薬セリ、午後鍋倉氏来レリ、終日在宅加養セリ

十日

今朝モ腹合十分ナラサレトモ、押テ午前八時ニテ池田氏ト共ニ東京ヲ出立、横浜ヨリ和歌ノ浦丸ニ乗込ミ函館ヘ向ケ出帆セリ、海上静穏腹合モ亦差シタルコトナカリシ

十一日

午前五時ヨリ起キタリ、今朝モ海上静穏、正午荻ノ浜〔野蒜の外港、石巻市内〕ニ着船、池田氏ト共ニ暫時上陸セリ、料理店ニテ一休シテ帰船二時ニ出帆セリ、午後モ海上静穏ナリ

十二日

午前六時ニ起タリ、此日モ天気晴朗海上至静穏、午後三時半函館ニ着船、直ニ上陸勝田屋ニ投宿夕飯後市中ヲ散歩セリ、本間氏モ同宿同氏ハ夜青森ニ出発セリ、来着早々留守宅ヘ發電セリ

十三日

午前公園迄散歩シ午後二時出帆セリ、昨日ヨリ今日ノ暑気ハ東京ト異ルコトナシ、午後ヨリ雨ヲ催セリ

十四日

雨天ナレトモ九時半頃ヨリ晴レ、十時ニ小樽ヘ着直ニ上陸越中屋ニ投宿セリ、午後三時同所ヲ汽車ニテ出発、五時札幌ニ到着、池田氏知人酒田氏出迎ヒ居ラレ同氏ノ案内ニテ山形屋ニ投宿セリ、夕

刻ヨリ同氏ノ案内ニテ料理店ニ行キ夕飯ヲ喫シ、十時過ニ帰宿ス

十五日

午前九時頃ヨリ酒田氏ノ案内ニテ市中ヲ見物シ、午後藤村氏ノ案内ニテ料理店ニ行キ、十時ニ帰宿ス、藤村茨城氏等來訪セリ、又料理店ニハ日本銀行主任始メ五六名來會セリ、昨日來当地ハ六十五、六度ノ温氣ニテ寒カリケリ

十六日

午前八時札幌出立午後四時室蘭ニ到着、途中平田東助〔枢密院書記官長〕藤村伴氏同車セリ、室蘭ヲ午後十一時出帆セリ

十七日

午前七時函館ニ着ス、函館銀行三井銀行ノ連中來訪セリ、午後五稜郭ヲ見物シ、夕右銀行連并加藤政ノ助ノ招ニテ谷地〔函館郊外の温泉地〕ニテ饗応ニナレリ、午後十二時ニ出帆ス

十八日

午前七時頃青森ニ到着、同所ニテ朝飯ヲ喫シ十時ノ汽車ニテ仙台ヘ向ケ出立ス、午後十二時仙台ニ着シ仙台ホテルニ投宿ス

十九日

午前八時半同所ヲ出立、松島停車場ヲ經テ松島ニ到リ松島ホテルニ投宿ス、時ニ午前十時半ナリ、同所ノ風景ハ実ニ妙ナリ、午後小艇ヲ雇フテ島廻リヲ為シタリ、午後六時頃大ニ下痢ヲ為シ腹合甚悪敷、依テ直ニ服薬手当ヲ為セリ

二十日

今朝ハ腸胃ノ工合甚悪敷頻リニ加養セリ、午後二時ヨリ押テ同所ヲ出立シ、小舟ニテ塩釜ニ到リ、同所ヨリ汽車ニテ仙台ニ帰り仙台ホテルニ投宿ス、食後暫ク市中ヲ散歩ス

二十一日

今朝モ尚ホ腸胃悪敷、昨日來碌ニ食事セサリシ為メ大ニ疲労シタレトモ、押テ六時半ノ汽車ニテ東京ヘ向キ出立セリ、午後七時無事帰宅ス

二十二日

過日来ノ疲労ニテ大ニ身体ノ衰弱ヲ覺ヘタリ、依テ早速森本氏ノ診察ヲ乞ヒ、終日在宅加養セリ

二十三日

銀行ヘハ兩三日出勤セサル事ヲ申遣シ、午前森本氏ヲ訪ヒ診察ヲ受ケ、終日加養セリ

二十四日

午前西村氏ヲ訪ヒタレトモ同氏ハ既ニ大坂ニ帰ラレタリ、終日在宅加養セリ

二十五日

須崎氏ヨリ母上ニ岡山ヘ來リ呉レ度旨申越セシニ付、午前渋谷ヘ行キ其事ヲ相談セリ、午後在宅加養セリ、大東新見氏等ヘ書状ヲ出セリ

二十六日

午前横浜ニ出勤、午後鎌倉ヘ行ケリ、本日鶴〔異母妹、三宅光彦と結婚〕帰宅、陸鈴子ヲ連レ鎌倉ヘ來レリ、夕飯後腹痛下痢セリ、明後廿八日近鉄払込金七百五十円ノ小切手ヲ認メタリ

二十七日

腹合差シタルコトニナク、午前横浜ニ出勤シ、午後鎌倉ヘ帰ル

二十八日

午前横浜ニ出勤、午後鎌倉ニ帰ル

二十九日

午前魚釣ニ出掛ケ、午後妻木松居氏等來訪セリ

三十日

午前横浜ニ出勤、午後東京ヘ帰り、富士見軒ニテ専修学校ノ事ニ付集会セリ

八月三十一日

午前日本銀行ニ到リ総裁ニ面会シ、夫ヨリ横浜ニ出勤、午後鎌倉ニ帰ル  
九月一日  
午前横浜ニ出勤、午後二時ヨリ東京ニ帰ル、父上病気ノ為メ陸モ同車シテ帰京ス、夕飯後父上ヲ佐藤病院ニ訪ヘリ、父上腫物治療之為メ本日入院セリ  
二日  
午前横浜出勤重役会議ヲ開キ、午後鎌倉ニ帰レリ、父上今日治療ヲ受ケタルニ経過宜シ、平塚ノ地所千七百九坪余ヲ千八百円ニテ鍋倉氏ニ売リタリ  
三日  
午前横浜ニ出勤、午後三時帰京、□□□（欠字）ヲ訪ヒ帰宅シ、夕飯後父ヲ佐藤病院ニ訪ヒタルニ経過甚宜シ  
四日  
午前横浜ニ出勤、午後鎌倉ニ帰ル、三宅氏〔三宅光彦カ〕来ル  
五日  
午前降雨、午後暫時海浜ヲ散歩スレハ又雨ヲ催セリ、戸次宮下氏来訪セリ  
六日  
午前横浜ニ出勤取締役会ヲ開ケリ、賞与金分配方ヲ園田高橋氏等ト相談シ、正副頭取ノ交際費ヲ十一ノ七ト四トニ定メリ、午後東京ニ帰ル、桜井氏ニ来日曜招客ノ事ヲ托セリ  
七日  
午前横浜ニ出勤、午後鎌倉ニ帰ル  
八日  
午前横浜ニ出勤、雨天ニテ鎌倉ヘ帰ル、夜ニ入り大風雨  
九日  
午前四時頃ヨリ大嵐トナレリ、七時ニ止ム、夫ヨリ横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル  
十日  
午前横浜ニ出勤、午後株主總會ヲ開キ総テ原案通可決ス、社員ト共ニ日盛様ニテ夕飯ヲ為シ、九時ニテ帰京ス、小供等鎌倉ヨリ帰ル  
十一日  
午前松方伯ヲ訪ヒ昨日總會ノ結果ヲ報告シ、横浜ニ出勤賞与金等ノ分配ヲ為シ、五時ニ帰京  
十二日  
午前順天堂ニ父ヲ訪ヒ、進先生ニ面会シテ父再度ノ治療ヲ乞、夫ヨリ森本氏ヲ訪ヒ薬ノ相談ヲ為セリ、昼頃高木氏〔高木貞作、旧桑名藩士で神戸支店勤務、同年 12 月神戸支店支配人〕来リ、午後飯塚茂太郎松崎高捨〔高橋捨六、正金銀行顧問、弁護士〕等ヲ招キ学校ノ事等ヲ相談セリ  
十三日  
午前横浜ニ出勤セリ、本日八千円第百ニ預ケタリ  
十四日  
午前日本銀行大蔵省等ニ行き、一旦帰宅シ父上ヲ病院ニ尋ネ、夫ヨリ専修学校講師会ニ行き、九時ニ帰宅ス  
十五日  
午前横浜ニ出勤、高木氏并ニ課長等ヲ千歳楼ニ招キ夕飯ヲ供シ、十一時ニ帰宅ス  
十六日  
午前横浜ニ出勤、午後四時十五分帰京ス、高木氏神戸ヘ帰ル  
十七日  
午前順天堂ニ父上ヲ訪ヒ、東京倶楽部ニ立寄り仕払ヲ為シ、横浜ニ出勤、午後四時十五分帰京ス、恒岡若杉氏等来訪セリ  
十八日

午前横浜ニ出勤、中井長崎青木其他ヘノ書状ヲ認メ、三時半ニテ帰京ス、夕飯後大東氏ヲ訪ヒタリ  
十九日

午前馬場ヘ行き、夫ヨリ病院ニ父上ヲ見舞、十二時帰宅ス、浅野朝比奈宮脇三宅氏等来レリ  
二十日

午前横浜ニ出勤取締役会ヲ開キ、午後四時帰京ス  
二十一日

午前横浜ニ出勤、午後五時半帰京ス  
二十二日

午前松方ヲ訪ヒ朝鮮鉄道貸金ノ事〔ソウル・仁川間ノ京仁鉄道布設権を米人モールスから日本側引受組合に売却する際、モールスに日本円 100 万円を政府から正金経由で貸与する問題〕相談アリ、夫ヨリ岩崎総裁ヲ訪ヒ、外務省ニ到リ大隈〔大隈重信外務大臣兼農商務大臣〕ニ面会同事件ニ付談話セリ、午後横浜ニ出勤、四時半帰宅ス、大東氏来訪セリ

二十三日  
午前馬場ニ行き、午後病院ニ父ヲ訪ヒタリ

二十四日  
午前七時岩崎総裁ヲ訪ヒ、夫ヨリ松方ヲ訪ヒ朝鮮鉄道ノ件ヲ談シ、横浜ニ出勤セリ、午後外務省ニ行き朝鮮鉄道貸金ノ事ノ相談ヲ聞ケリ、松方大隈岩崎田尻小村〔小村寿太郎外務次官〕等会合終ニ政府責任ヲ負担スルコトニ決セリ

二十五日  
午前日本銀行ニ行き総裁ニ面会セリ、鉄道貸金ノ資金ハ日本銀行ヨリ融通スヘキコトニ決セリ、夫ヨリ横浜ニ出勤、午後五時帰京ス

## ②〔手帳表紙〕「明治三十年其二（完）・同三十一年其一（三月末マデ）」

九月二十六日  
午前馬場ニ行き父ヲ病院ニ訪ヒ、午後在宅セリ

二十七日  
午前銀行ニ出勤重役会ヲ催シ、午後帰京ス、妻木氏来行建築ノ事相談セリ

二十八日  
午前銀行ニ出勤、午後園田氏来種々行務ノ相談ヲ為シ鉄道貸金ノ事モ相談セリ、午後帰宅

二十九日  
午前岩崎氏ヲ訪ヒ、夫ヨリ渋沢氏〔渋沢栄一、第一銀行頭取で財界世話役、京仁鉄道初代社長〕ヲ訪ヒ京仁鉄道引受ノ事ニ付談話シ、夫ヨリ日本銀行ニ到リ岩崎氏ニ面談シ、直ニ外務省ニ行き大隈伯小村氏ニ面会シ、渋沢氏談話ノ模様ニテハシンヂケイト引受ノ事覚束ナキ事ヲ談シ置キタリ、午後銀行ニ出勤、夕刻帰京ス

三十日  
午前外務省ニ到リ大臣并次官ニ面会シ、渋沢氏ヘ談話ノ決果（マ）并政府負担ノ手續ノ事ニ付談話セリ

十月一日  
午前横浜ニ出勤、午後四時帰京ス、金貨引替ノ初日其高十七万余円ナリ

十月二日  
午前松方伯ヲ訪ヒ、京仁鉄道ニ付政府負担金ノ事及引受人責任ノ事ノ談アリ、岩崎総裁モ来リテ共ニ相談セリ、帰途小村氏ヲ外務省ニ訪、十二時帰宅ス、午後父ヲ渋谷ニ訪ヒタリ

三日

午前九時ニテ平塚ニ出掛ケ地所ヲ見物シ、大木山ノ井等ニ面会シ地ナラシノ事ヲ大木氏ニ托シ、五時ニ帰京ス

四日

午前八時横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後五時帰京ス

五日

午前日本銀行ニ行き総裁ニ面会シ、夫ヨリ大蔵省ニ到リ松尾氏ニ面会シタリ、三菱ノ瓜生〔瓜生震三菱合資副支配人〕物産ノ益田〔益田孝三井物産社長〕等ヲ尋ネタレトモ見当ラス、東京クラブニテ昼飯ヲ喫シ、四時過ニ帰宅セリ

六日

午前横浜ニ出勤、午後四時帰京ス、黒沢氏ノ事ニ付大越氏ニ書状ヲ出ス

七日

午前横浜ニ出勤、午後四時帰京、□□会委員会ニ出席六時半帰宅ス風邪ノ気味ニテ服薬セリ

八日

風邪ノ為メ終日在宅加養セリ、奥居氏来リ平塚地所ノ事相談シ三千円地所代ヲ托セリ

九日

風邪ナレトモ午前押テ出勤、午後三時半帰京、大東鍋倉高木桜井久之助へ書状ヲ出セリ

十日

風邪ノ為メ午前在宅加養、午後青山ニ墓参セリ

十一日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ為シ、午後四時帰京ス

十二日

午前横浜ニ出勤、午後四時帰京

十三日

午前菊地大麓氏ヲ訪ヒ須崎氏ノ事ヲ依頼シ、大蔵省ニ到リ松尾氏ニ面会シ、日本銀行ニ行き総裁ニ面会シ、夫ヨリ第百銀行ニ行き高田池田氏ニ面会シ、夫ヨリ横浜ニ出勤、四時帰京ス、高捨石川氏等来訪セリ

十四日

午前横浜ニ出勤ス、平塚ノ大工来リ新築一坪三十三円ニテ注文セリ、午後五時帰京ス、宮脇石川氏等来訪セリ

十五日

午前森本氏来診、腹合悪敷モ差シタルコトナシ、横浜ニ出勤セリ、午後一時帰京、外務大臣ノ通知ニ依リ直ニ大蔵省へ出頭セリ、大隈松方岩崎次官等打寄り京仁鉄道貸金ノ事ニ付相談アリ、五時ニ帰宅ス

十六日

午前大隈伯方へ行き、澁沢次官等打寄り京仁鉄道貸金ノ事ニ付相談シ、夫ヨリ横浜ニ出勤、六時ニ帰京ス、夕飯後四谷ヲ散歩ス、農工商高等会議員ニ推撰ノ事ノ承諾書ヲ大石氏〔大石正巳農商務次官〕ニ出セリ

十七日

午前九時高田氏ト共ニ平塚ニ行キタリ、新築地所ノ見物ヲ為シ、地ナラシ松直シ井戸代トシテ五十円奥居氏ニ托セリ、午後八時半帰京ス

十八日

午前九時横浜ニ出勤取締役会ヲ開キ、午後五時帰京ス、平塚ノ大工ニ新築請負金ノ内八百円渡セリ

十九日

午前第百銀行ニ行き、夫ヨリ日本銀行ニ行き総裁ニ面会シ京仁鉄道貸金ノ事ヲ談話シ、横浜ニ出勤、午後五時帰京ス

二十日

午前横浜ニ出勤、午後三時半帰京、経済会ニ出席、九時半ニ帰宅ス、東京ノ大工ニ百円支払

二十一日

午前横浜ニ出勤、午後四時帰京ス、鍋倉氏ニ私信ヲ出シ同氏ノ所為ニ付忠告セリ

二十二日

午前外務省ニ行き京仁鉄道ノ事ニ付相談シ、大方正金銀行ヨリモワルス氏へ百万円貸与スル事ニ決セリ、夫ヨリ銀行ニ出勤セリ、高橋氏ト相談ノ末政府ヨリ右保証ノ（モワルス氏貸金）為メ金員預ケ入ノ事ヲ請求スルコトニ決シ、其旨夕刻ヨリ田尻氏ヲ訪ヒ相談セリ

二十三日

午前日本銀行ニ行き総裁ニ面会シ田尻氏へ談話次第ヲ通シ置キタリ、夫ヨリ横浜ニ出勤、午後箱根へ行き社員等ヲ福住ニ招キタリ

二十四日

午前宮ノ下近傍迄散歩シ、社員ト共ニ午飯ヲ喫シ、午後九時ニ帰宅セリ

二十五日

午前大蔵省ニ行きモワルス氏貸金ノ事ニ付相談シ、夫ヨリ横浜出勤ス、午後四時半帰京ス、樋口氏来訪セリ

二十六日

午前日本銀行ニ行き、京仁鉄道ノ事ニ付大蔵省ニ差出ス書面ヲ総裁ニ見セ、夫ヨリ大蔵省ニ到書面ヲ出セリ、夫ヨリ横浜ニ出勤、午後四時半帰京ス

二十七日

午前横浜ニ出勤中井長崎等へ書状ヲ認メ、午後四時帰京ス

二十八日

午前横浜ニ出勤ス、午後岩崎氏ノ招ニテ同氏深川別荘ニ行き、十一時帰宅ス

二十九日

午前横浜ニ出勤、午後二時半帰京ス、夕飯ニ長戸次氏等ヲ招キタリ

三十日

午前遊獵ニ出掛ケタリシモ汽車不通ノ為メ止メ、日本銀行大蔵省ニ行、午後帰宅、午飯後小供等ヲ連觀菊ニ入谷ニ行き、夕口帰宅ス、小村氏ヨリ要書ヲ落手ス

三十一日

午前平塚ニ行き地形ヲ見分シ井戸堀ヲ命セリ、午後五時帰宅ス

十一月一日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キタレトモ原木村共出勤セス、モワルス氏来京仁鉄道貸金ノ事ニ付話アリタリ、又カン氏両人来訪セリ、帰途山村氏ヲ訪ヒモワルスト約定案ニ関スル伺書ヲ出セリ

二日

午前横浜ニ出勤セリ、午後モワス氏ニ面会、約定書ヲ改定シテ前金貸ヲ為スヘキコトヲ話セリ、午後四時半帰京ス

三日

午前境近傍ニ遊獵ニ出掛ケ日暮ニ帰宅ス

四日

午前大東氏ヲ訪ヒ預リノ株券ヲ戻シ、夫ヨリ横浜ニ出勤セリ

五日

午前横浜ニ出勤

六日

午前外務省ニ行きモワルス氏トノ約定案ノ事ヲ依頼シ帰宅シ、午後在宅高橋邦三氏来リ暮ヲ囲メリ

七日

午前馬場ニ行き、午後在宅シテ懸賞論文ヲ読ミタリ

八日  
午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後京仁鉄道布設者モールス氏ト百万円貸与ノ契約書ニ調印セリ、午後四時半帰京ス

九日  
午前大蔵省ニ行き百万円ノ預ケ入金ノ請求書ヲ出シ、日本銀行ニ行き総裁ニ面会シ横浜ニ出勤ス、モールス約定書ニ領事ノ奥書ヲ取り持参セリ

十日  
午前横浜ニ出勤セリ

十一日  
午前松方伯ヲ訪ヒ、外務省ニ立寄りデニソン氏〔ヘンリー・ウイラード・デニソン、外務省法律顧問〕ト面会シ、クラブニ寄リグラバ氏ニ書面ヲ認メ、横浜ニ出勤、午後四時半帰京、益田氏来店同社決算書ヲ出セリ

十二日  
午前大蔵省ニ行き、夫ヨリ日本銀行ニ行き総裁ニ面会シ、一旦帰宅シ大隈伯ヲ訪ヒ、三時ニ帰宅シ、六時ヨリ常盤屋ニテデニソン氏グラバ氏等ヲ饗応シ、十時ニ帰宅ス

十三日  
午前横浜ニ出勤、午後一時帰京、直ニ大隈伯邸ニ行き観菊之宴ニ応セリ、八時ニ帰宅ス

十四日  
午前六時四十分ニテ川崎近傍ニ遊獵ニ出掛ケ、午後四時帰宅ス、四谷ニ大火アリ夜二時

十五日  
午前横浜ニ出勤重役会ヲ開ク、木村山本添田氏ノ外ハ何レモ不参ナリ、五時帰京ス

十六日  
午前大蔵省ニ立寄り銀碗売却方ニ付相談シ、十一時ニテ横浜ニ出勤ス、午後四時半帰京

十七日  
午前横浜ニ出勤、午後三時半帰京、夕飯後碁師ヲ招キテ一時過迄碁ヲ囲メリ

十八日  
午前大隈邸ニ到リ過日招待ノ礼ヲ述、文部省ニ立寄り手島氏ニ面会、須崎氏ノ事ヲ依頼シ横浜ニ出勤、午後荒川氏ヲ訪ヒ別ヲ告ケ、四時帰京ス

十九日  
大蔵省ニ到リ松尾氏ニ銀碗売却方ノ事ヲ談シ日本銀行ニ立寄り、横浜ニ出勤セリ、今朝石黒氏来訪セリ

二十日  
午前横浜ニ出勤、紐育桑港香港上海神戸へ書状ヲ出シ、午後三時帰京ス

二十一日  
午前六時四十分汽車ニテ川崎近傍ニ遊獵ニ出掛ケ、夕景帰宅セリ

二十二日  
午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キタリ、高橋氏ノ洋行川島氏ノ孟買行ノ事ハ次会ニ於テ決スルコトニ為セリ、是レハ園田氏欠席ノ為メ延セシナリ

二十三日  
午前馬場ニ行き十二時ニ帰宅ス、午後誕生日ニテ親類ヲ招キ、又碁客ヲ招キタリ

二十四日  
午前横浜ニ出勤午後四時帰京ス、夕飯後ヨリ碁師来リテ十二時過迄碁ヲ囲メリ

二十五日  
午前横浜ニ出勤、午後大谷氏ノ園遊会ニ臨ミ、五時ニ帰京ス



二十六日

午前大蔵省ニ行き銀碗売却ノ事并鍋倉氏台湾銀行ノ事ヲ相談シ、日本銀行ニ行キタリ、同行大坂支店支配人来合セ居リ綿花会社貸金延期ノ事ノ相談アリタリ、夫ヨリ横浜ニ出勤、神戸支店へ綿花会社ノ事ニ付電信ヲ発セリ

二十七日

午前馬場ニ行き、午後布哇公使館ニ行き、夫ヨリ安井息軒翁門下同窓会ニ行き、午後八時帰宅ス

二十八日

午前馬場ニ行き午後在宅セリ

二十九日

午前横浜ニ行き重役会ヲ開キタレトモ木村氏ノミ出席、午後四時半帰京ス

三十日

午前日本銀行ニ行き総裁ニ面会シテ、大坂ノ日本綿花会社ニ関スル神戸支店ノ所分方ヲ報シ、横浜ニ出勤セリ、鍋倉氏帰朝シテ初メテ面会シ共ニ横浜ニ行ケリ

十二月一日

午前横浜ニ出勤、爾後片岡氏ノ招ニテヒサゴ屋ニ行き、十一時ニ帰宅ス

同二日

午前晚ク横浜ニ出勤セリ

同三日

午前横浜ニ出勤ス、園田氏病中帰京ニ付波止場迄出迎ヒタリ、鍋倉氏并支配席ノ者ヲ千歳楼ニ招キ香港営業上ノ事ニ付談話シ、九時ニ帰京ス

同四日

午前横浜ニ出勤、午後三時帰京、帰途大東氏ヲ訪ヒ井伊家〔当主は井伊直憲〕ノ事話セリ、同氏ハ今朝彦根ヨリ帰京ス、松居十三郎氏来訪セリ

十二月五日

午前山川氏ト府中近傍ニ遊獵ニ出掛ケ、日暮帰宅ス

六日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後四時半帰京、増島氏ヲ訪ヒタリ

七日

午前大蔵省ニ立寄り、日本銀行ニ行キタレトモ総裁欠勤ニテ面会セス、十一時五十分ニテ横浜ニ出勤ス、午後四時半帰京、増島氏ト共ニ石黒氏ヲ訪ヒ井伊家ノ事ヲ相談セリ

八日

午前大蔵省ニ立寄ヨリ(ママ)、銀碗ヲ上海ニ積出方并三井物産会社へ売渡ノ事ニ付談話シ、夫ヨリ日本銀行ニ行キ帰途園田氏ヲ訪ヒ銀行之要務ヲ談話セリ、一旦帰宅シ午後七時ヨリ東京クラブノ晚餐会ニ行き、十時ニ帰宅ス

九日

午前横浜ニ出勤、午後四時帰京ス、妻木氏ヲ訪ヘリ

十日

午前横浜ニ出勤、午後四時帰京ス、今朝妻木氏来訪セリ

十一日

午前大蔵大臣ヲ訪ヒタレトモ不在、夫ヨリ日本銀行ニ行キタリ、途中クラブニ立寄り日下氏ニ書状ヲ出セリ、十一時ニテ横浜ニ出勤ス妻木氏来レリ、午後四時ニテ帰京ス

十二日

午前九時ヨリ平塚ニ出掛ケ別荘ノ棟上ヲ見物セリ、花咲氏ヲ頼ニ行キ木材ノ吟味ヲ為サシメタリ、井戸側代七十三円七十五銭ヲ大木氏ニ渡セリ、午後八時帰宅大東并荒西来訪セリ

十三日

午前横浜ニ出勤、重役会ヲ開キ内規改正ノ事ヲ相談シ、午後河上氏等送別ノ為メ日本銀行ノ連中ヲヒサゴ屋ニ招キ晚餐ヲ饗セリ

十四日

午前日本銀行ニ行キ総裁始メ理事等ト大坂神戸取引先取扱方ニ付相談シ、夫ヨリ横浜ニ出勤、午後五時帰京ス

十五日

午前六時鍋倉氏ト共ニ東京出立、午後五時名古屋ニ着秋琴楼〔名古屋広小路の高級旅館〕ニ投宿ス、原氏ニ停車所ニテ面会セリ

十六日

午前九時名古屋出立、午後四時神戸着社員等停車所ニ出迎へ居リ、直ニ東常盤ニ投宿セリ

十七日

午前九時銀行ニ出勤事務ヲ弁シ、午後大坂日本銀行支店ニ鍋倉氏ト共ニ行キ支配人ニ面会シ五時ニ帰神、高木氏ノ招ニテ常盤花壇ニ行キ宴会ニ列シ、立見少将〔立見尚文、旧桑名藩士で台湾総督府軍務局長〕モ来会甚愉快ヲ尽シ、十時ニ帰宿セリ

十八日

午前十時ニ出店事務ヲ聞キタリ、東京ノ宅ヨリ父上無事治療済ノ報告ヲ得タリ、社員等ヲ自由亭（自由亭カ）ニ招キ晚餐ヲ供セリ

十九日

午前高木鍋倉等ト共ニタルミノ家ヲ見物シ、夫ヨリ舞子ニ行キ夕刻帰宅、下宿ニテ小宴ヲ催セリ

二十日

二十一日

終日銀行ニ出勤、夕刻ヨリ神戸ノ紳士等ヲ常盤花壇ニ招キ饗応セリ

二十二日

午前銀行ニ出勤、夕刻ヨリ神戸ノ紳商并取引先ヲ花壇常盤ニ招キ饗応セリ

廿三日

午前支店ニ出勤、午後大坂ニ行キ日本銀行支店ニ片岡氏ヲ訪ヒ、夫ヨリ大坂ノ紳商銀行者等ヲ堺館ニ招キ盛宴ヲ張り、十二時ニ神戸ニ帰レリ、神戸紳商等ヨリ自由亭ニテ午飯ノ饗応ヲ受ケタリ

廿四日

午前支店ニ出勤、午後成瀬氏ト共ニ高砂へ遊獵ニ出掛ケ同所ニ一泊セリ

廿五日

午前遊獵、午後二時神戸ニ帰り直ニ支店ニ行キタリ、川島氏来着セリ、紡績業者総代トシテ難波金沢ノ両氏来訪、談話ノ結果左ノ如シ

- 一、本邦ヨリ上海向キ荷為替八十日又ハ十五日渡シノ期限ニシテ、其抵当価格ハ本店相談通り七掛ヨリ七半掛ケ迄トスルコト
- 一、先方ヨリハ長期ノ円金手形ヲ希望セシモ拒絶セリ
- 一、先方ヨリハ香港モ上海同様取扱ヲ希望セラレタレトモ、是レハ追テ其手段出来タル上返答スルコトトセリ
- 一、貸金ニ振替ノ期限ハ六ヶ月迄トス
- 一、上海ニ資金ノ出来サル内ハ貸金振替出来サルニ付、普通ノ為替ノ外ハ取組サルコト
- 一、右上海ニ資金ノ出来候迄ハ内地ニ於テ普通ノ利子ヲ以テ一時貸金ヲ為ス（此場合ニ於テハ先方ノ望ミニ依リ其抵当物ハ上海ニ積出サシムルコト）

午後高木氏病氣ヲ見舞、夫ヨリ鍋倉氏招ニテ社員ト共ニ常盤花壇ニ行キ、大酔シテ十一時ニ帰宿ス、須崎氏来訪同宿セリ

廿六日

午前十時神戸出立、午後六時名古屋ニ来着秋琴楼ニ投宿、大海原氏〔大海原尚義、旧彦根藩士、ド

イツ留学後内務・司法省に勤務] 来会、十時過迄閑談セリ、鍋倉川島杉山氏等神戸迄同車セリ

廿七日

午前八時名古屋ヲ出立、停車所ニテ大海原氏ニ別レタリ、午後十時帰宅ス

廿八日

午前大東氏来訪近鉄ノ事ニ付談話シ、夫ヨリ横浜ニ出勤、午後五時帰京ス

廿九日

午前大東氏来訪同氏帰彦ノ事ヲ告ク、夫ヨリ日本銀行ニ行キ、正午ヨリ横浜ニ出勤、午後五時帰京ス

三十日

午前九時横浜ニ出勤、午後四時帰京ス、当日ハ重役会議ヲ開キ半季決算社員増給其他必要ノ件ヲ議定セリ

三十一日

午前浅の惣一郎氏〔浅野総一郎、浅野セメント・東洋汽船社長〕来リ東洋汽船会社ノ為メ保証ノ事ノ相談アリ、五十万円迄ヲ五分ノ一半ノ手数料ニテ、新造船三艘ヲ抵当トスレハ承諾セリ、夫ヨリ松方伯ヲ訪ヒ、十二時横浜ニ出勤セリ、現金ノ検査ヲ終へ八時ニ帰京ス

## 明治三十一年

一月一日

午前七時ニ起キ元旦ヲ祝シ、九時ノ汽車ニテ山川川津氏等ト共ニ厚木近傍ニ遊獵ニ出掛ケ、同所ニ一泊ス

二日

午前七時ニ起キ午後四時迄遊獵シ、十時ニ帰宅ス

三日

午前七時ニ起キ九時頃ヨリ馬上ニテ鍋倉氏ヲ訪ヒ、夫ヨリ渋谷ニ行キ十二時過帰宅ス、午後桜井蕪塚等ト碁ヲ囲ミ鍋倉氏ヲ招キ共ニ夕飯ヲ喫セリ

四日

午前横浜ニ出勤、午後四時半帰京ス

五日

午前在宅、午後新橋ニテ子供年玉ヲ買ヒ、東京倶楽府（マ）ニ行キ計算ノ調査ヲ為シ、夫ヨリ三井倶楽府ニ行キタリ、同夕ハ同所ニテ実業紳士等伊東侯爵（マ）ヲ招キ小宴ヲ張レリ、十時ニ帰宅ス

六日

午前大蔵省ニ行キ、夫ヨリ日本銀行ニ立寄り、十二時ニテ横浜ニ出勤、三時半ニテ帰京ス、此夕碁ノ先生ヲ招キ碁ヲ囲メリ

七日

午前九時四十分ニテ横浜ニ出勤セリ、午後五時ヨリ支配席及課長等ヲ千歳楼ニ招キ小宴ヲ開キ、十時ニ帰京セリ

八日

午前十一時ノ汽車ニテ横浜ニ出勤、午後四時帰京

九日

午前父診察ノ為メ大磯ノ佐藤先生ニ電信ヲ出シ、八時過ヨリ馬場ニ行キ一時ニ帰宅ス、午後神田ニ行キ沓ヲ挑（詠カ）へ、桜井高捨并中村ヲ訪ヒ、夕刻帰宅シ早ク寝ニ就ケリ

十日

午前九時ニテ横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後四時五十分帰京ス

十一日

午前九時ニテ平塚ノ新築見分ニ出掛ケタレトモ大工不在、午後七時半帰京ス

十二日

午前岩崎総裁ヲ訪ヒ、夫ヨリ東京クラブニ立寄り、夫ヨリ松方伯ヲ訪ヒ同氏六男死去ノ悔ヲ述へ、一旦帰宅シ午後一時ヨリ松方家ノ葬式ニ青山ニ行キタリ、午後駒井氏其他碁客来リ十二時迄碁ヲ囲メリ

十三日

午前九時四十五分ニテ横浜ニ出勤、午後五時ヨリ横浜銀行者ノ宴会ニ臨ミ、九時帰宅ス

十四日

午前大蔵省ニ行キ井上大臣〔1月12日、第3次伊藤博文内閣成立、大蔵大臣に井上馨が就任〕ニ面会シ、夫ヨリ横浜ニ出勤、四時五十分ニテ帰京ス、夕飯後四谷ヲ散歩ス

十五日

早朝高野瀬氏来リ農商務省ニ対スル為替延期ノ事ノ談話アリ、九時四十五分ニテ横浜ニ出勤、午後四時十五分ニテ帰京、東京クラブニ立寄り勘定ニ記名シ、夫ヨリグラバ氏ノ誘ニテ増田屋へ行キタ飯ヲ喫シ、十時ニ帰宅ス

十六日

午前在宅、午後一時ヨリ高橋氏ト共ニ井上大蔵大臣ヲ訪ヒ銀行業務上并資金ノ事ニ付上申セリ、此席松尾添田氏等モアリタリ、又大臣ヨリ京仁鉄道貸金ノ事ハ認諾スルヤ否未決ナル旨ノ談話アリタリ、五時帰宅ス

十七日

午前九時ニテ横浜ニ出勤ス、重役会ハ原氏ノミ出勤セリ、午後五時ヨリ高橋氏送別ノ為メ支配席ヲ佐の茂ニ招キ夕飯ヲ供シ、九時ニテ帰京ス

十八日

午前日本銀行ニ立寄り総裁ニ面会シ、鶴原氏ニ帝国商業銀行貸金ノ事ヲ談シ、クラブニ寄りクラバ氏へ書状ヲ認銀行ニ出勤セリ、総裁ヨリ台湾銀行ノ事ノ相談アリタレハ其事ヲ高橋氏ニ談シ置キタリ、午後四時帰京専修学校講師ノ集会ニ行キ、九時ニ帰宅ス

十九日

午前大東氏来訪近鉄ノ事ニ付談話アリ、夫ヨリ横浜ニ出勤セリ、木村氏昨朝焼失セシニ付午後同氏ヲ見舞ヘリ、モリス氏ニ第三回ノ支払ヲ為セリ、四時ニ帰京、クラバ氏ト共ニ増田屋ニテ夕飯ヲ喫シ、十時ニ帰宅ス

二十日

午前横浜ニ出勤ス、午後クラブニテ原氏ニ面会帝国商業銀行割引ニ付抵当ノ事ヲ談シ、七時半ニ帰宅ス

二十一日

午前横浜ニ出勤、午後四時帰京、郵船会社ノ招ニテ常盤屋ニ行キ、十時ニ帰宅ス

二十二日

午前馬場ニ行キ銀行へハ出勤セス、午後帝国ホテルニテ大東西村氏等ニ会シ鉄道ノ事ヲ談シ、八時ニ帰宅ス

二十三日

午前六時ヨリ国府寺(マ)ニ行キ、川津氏ト共ニ大洗ノ河原ニ遊獵ヲ為シ、雨ニ逢フテ十二時ニ止メ、四時半ニ帰宅ス

二十四日

降雨、午前九時ニテ横浜ニ出勤、重役会ヲ開キ高木氏ニ特別手当ヲ贈与スルコトヲ議シ、三時半ニ帰京、直ニ浅の氏ノ宅ニ行キ夕飯ノ饗応ニナリ、十時半ニ帰宅ス

二十五日

午前十時ニテ横浜ニ出勤、午後四時帰京、クラブニテ妻木氏ニ面会建築ノ事ヲ相談シ共ニ夕飯ヲ喫シ、十時ニ帰宅ス

二十六日

午前高田氏ノ近鉄委任状ヲ自分ノ共ニ大東ニ送レリ、九時四十分ニテ横浜ニ出勤、三時半ニテ帰京、  
今夕碁会ヲ催セリ

二十七日

午前大蔵省ニ立寄り、日本銀行ニ行き、第百銀行ニ寄り、午後一時ニテ横浜ニ出勤、四時ニテ帰京  
ス

二十八日

午前九時横浜ニ出勤、午後四時帰京ス

二十九日

両三日胃痛ヲ起シ安眠ヲ得ス、森本氏ノ診察ヲ受ケ服薬セリ、且風邪ノ気味ニテ終日在宅加養セリ

三十日

午前六時ヨリ山川氏ト共ニ大丸ノ河原ニ遊獵ニ出掛ケ、七時ニ帰宅ス

三十一日

午前九時横浜ニ出勤、重役会ヲ開キ妻木氏ヲ招キ新築ノ設計ヲ聞キ、仮建築ヲ動カシ充分ニ新築ス  
ルコトニ決セリ、午後三時半帰京、直ニ大蔵大臣ノ官舎ニ至レリ、同夕ハ大臣ノ招キニテ重ナル銀  
行者集会シ、大臣ノ談話ヲ聞キ夕飯ノ饗応ニナレリ、十一時帰宅ス

二月一日

午前十時横浜ニ出勤、午後四時帰京シ、夕飯後散歩セリ

二日

午前大蔵省ニ立寄り松尾氏ニ面会シ、日本銀行ニ行き、十二時ニテ横浜ニ出勤ス、益田氏来訪紡績  
業者ト約定ノコトニ付相談アリ、夕刻ヨリ高木氏ノ招ニテ千歳楼ニ行き、八時ニテ帰京ス

三日

午前十時ニテ横浜ニ出勤、四時帰京、直ニ岩崎総裁ノ宅ニ行き高橋氏送別宴会ニ列セリ、午後九時  
帰宅ス

四日

午前大蔵大臣ヲ訪ヒタレトモ不在、夫ヨリ大蔵省ニ到着シ、添田氏ニ面会紡績業者調書ヲ渡シ、日  
本銀行ニ行き総裁ニ面会、夫ヨリ横浜ニ出勤、四時ニテ帰京、クラブニテ原氏ニ面会、小野田セメ  
ント会社ノ割引手形ノ事ニ付相談アリタリ、六時ニ帰宅、夕飯後散歩セリ

五日

午前九時四十分ニテ横浜ニ出勤、三時半帰京、増島氏ヲ訪ヒクラブニ立寄り、七時ニ帰宅

六日

午前馬場ニ行き、昼佐藤百三郎氏来訪、午後高木氏等ヲ栞田屋ニ招キ、十時ニ帰宅ス

七日

午前銀行ニ行き重役会ヲ開キ、午後大隈伯ノ招ニ依リ早稲田邸ニ行き饗応ナリ、十時過ニ帰宅ス

八日

午前井上大臣ヲ訪ヒ、大蔵省ニ行き正貨流出ノ事ヲ談シ、横浜ニ出勤午後四時帰宅、夕飯後妻木氏  
ヲ訪ヘリ

九日

午前日本銀行ニ行き横浜ニ出勤、四時ニテ帰京、夕飯後広セ氏来リ碁ヲ囲メリ

十日

午前横浜ニ出勤、五時過ヨリ課長会ニ臨ミ、十時ニ帰京ス、今朝大隈伯方ニ到リ過日ノ礼ヲ述ヘタ  
リ

十一日

午前堀部氏ヲ訪ヒ、大東氏運動費補助ノ事ニ付談話シ、夫ヨリ駒井氏ヲ訪ヒ碁ヲ囲ミ、十時ニ帰宅  
ス

十二日

午前松居氏来タレハ三ツ井氏ノ様子并縁談ノ事ニ付相談セリ、夫ヨリ大蔵省ニ到リ松尾氏ニ面会シ、順天堂ニ行き佐藤先生ニ面会シテ父ノ病状ヲ尋ネタリ、夫ヨリ横浜ニ出勤、午後三時ヨリ偕楽園ノ経済会委員会ニ出席、九時ニ帰宅ス

十三日

午前馬場ニ行き、午後駒井氏来リ碁ヲ囲メリ

十四日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後五時帰京ス、夕飯後散歩シテ玉突ヲ為セリ

十五日

午前大蔵省ニ立寄り、日本銀行ニ行ケリ、総裁ヨリ三百万円ノ通知預リ金ノ廃止談アリ、夫ヨリ横浜ニ出勤、高橋氏他ニ書状ヲ出シ、六時ニ帰京、夕飯後散歩セリ

十六日

午前九時半横浜ニ出勤、午後四時帰宅ス、夕飯後碁師来リ十時迄碁ヲ囲メリ

十七日

午前大蔵省ニ立寄り横浜ニ行き、午後帰京

十八日

午前日本銀行ニ行き、夫三菱会社ノ生瓜氏〔瓜生震カ〕ヲ訪ヒ、横浜ニ出勤、午後高田氏ノ招ニテ常盤屋ニ行き、十時ニ帰宅ス

十九日

午前馬ニ乗り、午後日本銀行ノ総会ニ臨ミ、午後妻木氏来リ新築ノ事ニ付相談セリ

二十日

午前平塚へ行筈ナリシカ天気悪敷ニテ見合、中村元嘉氏ヲ訪ヒ長崎地所ニ関スル意見ヲ聞キタリ、午後妻木氏ヲ訪ヒ、夕仙田氏来訪セリ、正夫ヲ父ノ方ヘ遺シ様子ヲ訪ネタリ

二十一日

午前九時ニテ横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後四時帰京ス

二十二日

午前横浜ニ出勤、午後三時半帰京、瓢屋ニテ日本銀行支配役以下ヲ饗応セリ

二十三日

午前横浜ニ出勤、四時ニテ帰京ス、又原方ヨリ帰宅ス、廣セ来リ碁ヲ囲メリ

二十四日

午前日本銀行ニ立寄り横浜ニ出勤セリ

二十五日

午前大蔵大臣ヲ訪ヒ横浜ニ出勤、五時帰京、龍動ヨリ同地ニテ支那ノ公債募集ノ電報アリ、夜ニ入り滋賀県ノ水力利用ノ発起人等来レリ

二十六日

午前大蔵省ニ立寄り横浜ニ出勤、三時ニ帰京、ヒサコ屋ニ立寄り帝商銀行ノ招ニテ常盤屋ニ行き、十時過帰宅ス

二十七日

午前在宅、十二時ノ汽車ニテ子供等ヲ連レ蒲田ノ梅見ニ行き、帰途大東氏ヲ訪ヒ、八時ニ帰宅

二十八日

午前妻木岡本氏等来リ、九時四十分ニテ横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、夕刻ヨリ銀行創業十八回祝ノ社員宴会ニ臨ミ、十時ニ帰京ス

三月一日

午前横浜ニ出勤、午後三時半帰京、直ニ岩崎総裁ノ招ニテ深川ノ別荘ニ行き、大蔵大臣始メ大蔵省并銀行者ノ談話ニ臨ミ、十一時ニ帰宅ス

二日

午前横浜ニ出勤、午後四時帰京、八百勘ニテ彦根人ノ集会ヲ催シ、十時ニ帰宅ス

三日

午前大蔵省ニ行き、夫ヨリ日本銀行ニ行き三百万円通知預リ金ノ事ニ付高橋氏ノ意見ヲ述ヘタリ、夫ヨリ松方伯ヲ訪ヒ、一旦帰宅五時ヨリ勸業銀行ノ招ニ依リ常盤屋ニ行き、十時帰宅

四日

午前横浜ニ出勤、午後四時帰京、総裁等ヲ瓢屋ニ招キ、十時ニ帰宅

五日

午前横浜ニ出勤、午後三時帰宅、増島氏ヨリ園遊会ノ招アリタレトモ断リ、クラブニ立寄り、七時過ニ帰宅

六日

午前馬場ニ行き、午後帰宅、鍋倉氏来レリ、夕飯後玉突ニ行き、十時帰宅

七日

午前九時ニ横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後四時帰京

八日

午前十時ヨリ大蔵省ニ行き、夫ヨリ日本銀行ニ行き支那公債ノ事ヲ依頼セリ、十二時ヨリ横浜ニ出勤、四時帰京ス

九日

午前大蔵大臣ヲ訪ヒ支那公債引受ケノ事ヲ相談シ、横浜ニ出勤、四時ニテ帰京ス、今夕ハ碁会ノ人來リシモ余ハ頭部ノ工合悪敷只傍觀セリ

十日

午前横浜ニ出勤、午後株主總會ヲ開キ、夕刻ヨリ社員ト晩食ヲ共ニシ、八時ニテ帰京ス

十一日

午前十時ニテ横浜ニ出勤、午後四時帰京

十二日

日本銀行ニ行き午前横浜ニ出勤、午後四時半帰京、クラブニ立寄り七時帰宅

十三日

胃痛ニテ終日在宅、腦ノ工合悪敷森本氏ノ診察ヲ受ケタリ

十四日

午前九時横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後四時帰京、夕飯後散歩ニ行ケリ

十五日

午前大蔵省并日本銀行ニ行き、夫ヨリ横浜ニ出勤、四時ニテ帰京、夕並木氏来ル

十六日

午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ行き、九時帰宅ス

十七日

午前増島氏ヲ訪ヒ横浜ニ出勤、午後四時帰京、クラブニ依リ藤井氏ト共夕飯ヲ為シ、十時ニ帰宅ス

十八日

午前横浜ニ出勤、重役臨時会ヲ開キ頭取副頭取ノ互撰ヲ為シ総テ重任ト決シ、四時ニ帰京ス

十九日

午前日本銀行ニ行き、午後加藤氏ノ園遊会ニ臨ミ、夕飯後玉突ニ行き、十時帰宅ス

二十日

午前十二時頃ヨリ馬ニ乗り二時帰宅、夫ヨリクラブニ行き、六時ニ帰宅ス

二十一日

午前九時ニテ横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後四時帰宅ス

二十二日

午前大蔵省ニ立寄り横浜ニ出勤、四時帰京、東京クラブノロラル氏送別会ニ列シ、十一時ニ帰宅ス  
二十三日

午前横浜ニ出勤、午後四時帰京、夕飯後碁会ヲ催シ、十二時過ニ寝ニ就ケリ  
二十四日

午前日本銀行ニ立寄り横浜ニ出勤、午後五時帰京  
廿五日

午前横浜ニ出勤、午後四時帰京、夕飯後平川天神迄散歩セリ  
廿六日

午前横浜ニ出勤、田中市兵衛〔関西財界の重鎮〕ノ招ニテ夕刻ヨリ常盤ニ行き、十時ニ帰宅ス  
二十七日

午前馬場ニ行き、午後在宅、須崎桜井氏等来訪、夕飯後大東氏ヲ訪ヒ、十時ニ帰宅ス、頭部ノ工合  
悪敷安眠ヲ得ス

二十八日  
午前横浜ニ出掛ケ重役会ヲ開キ、午後四時帰京、伊藤家ノ夜会アリタレトモ頭部ノ工合悪敷出席セ  
ス、八時ニ寝ニ就ケリ

二十九日  
午前伊藤家ニ礼参リヲ為シ横浜ニ出勤、午後時（マ） 帰京、クラブニ立寄り妻木氏ニ面会シ、七時  
帰宅晚餐後玉突ニ行ケリ

三十日  
午前横浜ニ出勤、午後四時帰京

三十一日  
午前日本銀行ニ行き、午後森岡氏ノ葬式ニ臨ミ、夕刻ヨリ三井クラブニ行き井上大隈等講演会ニ行  
ケリ

### ③〔手帳表紙〕「明治三十一年其二（十月末日マデ）」

#### 明治三十一年

四月一日

午前横浜ニ出勤、午後四時帰京、晚餐後散歩玉突

二日

午前横浜ニ出勤、午後三時帰京、荒西ノ法事ニ行ク

三日

午前七時ヨリ宜子ヲ連レ酒匂松濤園ニ行ケリ、当日ハ同所ニ社員ヲ招キタレトモ雨天ニテ興少シ、  
午後八時ニ帰宅ス

四日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後五時帰京、夕飯後玉突ニ出掛ケタリ

五日

大蔵省并日本銀行ニ行き横浜ニ出勤、午前〔午後カ〕 四時ヨリ亀清楼ニ行キタリ、同日ハ福井氏新  
築落成ノ祝ノ招キナリ

六日

午前九時横浜ニ出勤、午後四時帰京ス、夕刻ヨリ廣セ氏来リ須崎氏松居氏等ト碁ヲ囲メリ

七日

午前大蔵省ニ立寄り正午横浜ニ出勤、四時帰京、クラブニテ三井物産ノ上田ニ面会シテ為替減少ノ  
事ヲ談話シ、六時ニ帰宅、晚餐後玉突ニ行ケリ



八日

午前横浜ニ出勤、午後四時帰京、クラブニテ高田商会〔高田慎蔵が代表の軍需品輸入商社〕ノ高田氏ニ面会、為替減少ノ事ヲ話セリ

九日

午前日本銀行ニ行き、正午帰宅、直ニ家族ト共ニ上野ニ花見ニ出掛ケタレトモ不幸ニシテ降雨、余ハ夫ヨリクラブニ行き、午後五時ヨリ開花楼ニテ大倉組〔大蔵喜八郎が創設した陸軍御用商社〕社員送別ノ為メ宴会ヲ開キ、十一時帰宅ス

十日

午前馬上ニテ運動シテ、午後在宅夕刻ヨリ玉突ニ出掛タリ、本日ハ奠都三十年祭ノ為メ市中ハ賑合ヒタリ

十一日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後五時帰京、夕飯後玉突ニ行キタリ

十二日

午前横浜ニ出勤、午後四時帰京クラブニ立寄り七時帰宅、夕飯後四谷ヲ散歩ス、昨夜今夜共安眠ヲ得ス

十三日

午前森本氏ノ来診ヲ乞フ、夫ヨリ日本銀行ニ行き、十二時半横浜ニ出勤ス、午後四時帰京、クラブニ立寄り七時帰宅ス

十四日

午前横浜ニ出勤、午後三時半帰京、夕飯後岡村老人ノ死去ヲ弔シ玉突ニ行き、九時帰宅ス

十五日

午前九時陸同伴平塚ニ行き七時過帰京ス、頭部ノ工合未ダ宜カラス

十六日

午前九時横浜ニ出勤、午後三時帰京ス、途中クラブニ立寄り

十七日

午前馬上ニテ運動シ、午後向島ニ行き日本銀行ノ端船競争会ニ臨ミ、高捨ト共ニ八百善ニテ夕飯ヲ喫シ、八時ニ帰宅ス

十八日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後四時帰京

十九日

日本銀行ニ立寄り横浜ニ出勤、午後四時帰京

二十日

午前横浜ニ出勤ス、春田氏来リテ孟買ノ為替ノ事ニ付相談アリ、梅田平兵ニ市債五万円引受ノ事ヲ談セリ、妻木氏来リテ建築ノ事ヲ相談アリ、四時帰京、大海原氏来訪セリ

二十一日

午前大蔵大臣ヲ訪ヒ、棉花為替資金ノ事及ヒ公債証書ヲ龍動ニテ売却方ノ事ニ付談話シ、夫ヨリ大蔵省ニ行き再ヒ相談ノ上、三百万磅為替売下ケ并ニ龍動ヘ電報ニテ公債ノ事ヲ相談スルコトヲ決シ、十二時ニテ横浜ニ行き、直ニ其ノ手續ヲ為セリ、午後四時半帰京、クラブニテ大海原妻木氏等ニ会シ、共ニ夕飯ヲ喫シ玉突ヲ為シ、十時半帰宅

二十二日

午前日本銀行ニ行き昨日大蔵大臣ト相談ノ結果ヲ談話シ、横浜ニ出勤、四時半ニテ帰京ス、夕飯後番町迄散歩ス

二十三日

午前横浜ニ出勤、午後三時半帰京

二十四日

午前大海原氏ヲ訪ヒ、共ニクラブニ行キ終日玉突ヲ為シ、浜ノ家ニテタ飯ヲ喫シ、十時ニ帰宅ス  
二十五日  
午前日本銀行ヘ立寄り、横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、四時ニ帰京ス、龍動ヨリ公債売却ニ対スル返電  
来レリ  
二十六日  
午前大蔵大臣ヲ訪ヒタレトモ不在、夫ヨリ小村氏ヲ訪ヒ、大蔵省ニ行キ松尾氏ニ龍動ニテ公債ニ関  
スル返電ノ事ヲ談シ、横浜ニ出勤、二時帰京、直ニ紅葉館ニ行キ米人歓迎会ニ臨ミ、十時ニ帰宅ス  
二十七日  
午前日本銀行ニ行キ龍動ノ公債ニ関スル龍動ノ返電ヲ示シ、夫ヨリ横浜ニ出勤、五時ニ帰京ス、大  
工音五郎ニ四百円支払、今朝島氏原之蔵島本氏等来訪アリ  
二十八日  
午前大蔵大臣ヲ訪ヒ公債ノ事ニ付相談シ、三ヶ年割払ノ方法募集ノ事ニ付龍動ヘ電報ヲ発シタリ、  
午後一時帰京、夕刻ヨリ英国公使ノ招ニテ晚餐ノ饗応ニナリタリ、今夕ハシンガポールノ知事チヤ  
レス・ミシエル氏夫婦大蔵大臣内外ノ重ナル銀行者実業者等ノ客ナリ  
二十九日  
午前梅津立ノ助氏高岡ノ代人ト共ニ来リ手形延期ノ事強談アリ、夫ヨリ横浜ニ出勤ス  
三十日  
午前大蔵大臣ヲ訪ヒ、紡績業者補助ノ件ニ付上海ノ情況取調方引受ケ、横浜ニ出勤、夕英公使館ニ  
夕飯ニ招カレタリ  
五月一日  
午前馬場ニ行キ、帰宅シテ帝国ホテルノ板垣伯返礼委員会ニ臨ミ、午後帰宅、三時頃ヨリ大海原  
大東増島ヲ招キ小宴ヲ為セリ  
二日  
早朝後藤伯ヲ訪ヒ、横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後三時帰京、クラブニテ□□□□談シ、夫ヨリ板  
垣伯ニ対スル返礼会ニ臨ミ、十時帰宅ス  
三日  
午前日本銀行ニ行キ、夫ヨリ銀行集会所ニ立寄り委員会ニ出席、午後横浜ニ出勤、四時半帰京、ク  
ラブノ米公使館書記官ノ送別会ニ出席セリ  
五月四日  
午前横浜ニ出勤、午後四時半ニテ帰京ス、日本経済会ニハ出席セズ、夕飯後碁ヲ囲メリ  
五日  
午前大蔵省ニ行キ、松尾氏ト為替先モノ売出シ孟買送付ノ為メ一同協議ノ趣ノコトヲ相談シ、横浜  
ニ出勤、午後四時帰京  
六日  
午前日本銀行ニ行キタレトモ総裁不在、十一時横浜ニ出勤、午後四時半帰京、森本氏来リ共ニ帰京  
ス  
七日  
早朝岩崎総裁ヲ訪ヒ関東銀行会演説ノ事ヲ依頼シ、第百銀行ニ行キ池田氏ニ面会シ、横浜ニ出勤ス、  
三時半帰京、クラブニ立寄り、七時帰宅ス  
八日  
午前父妻同道ニテ平塚ニ行キ、新築ヲ見分シ植木氏ニ相談シ、八時帰宅ス  
九日  
午前山池ノ事ニ付伊豆ノ人来レリ、九時横浜ニ出勤重役会ヲ開キタレトモ木村氏ノ外来会ナシ、午  
後一時帰京、関東銀行会ニ臨ミ、午後九時帰宅ス  
十日

午前大蔵省ニ立寄り横浜ニ出勤、午後四時帰京、三ツ井高保家ノ晩餐会ニ臨ミ十時帰宅、総理大臣大蔵大臣日本銀行総裁英国公使其他ノ人来会セリ

十一日

午前日本銀行ニ行き総裁ニ面会シ、昨日高橋氏ヨリ電信ノ五十万磅預ケ入ノ事ヲ依頼セリ、横浜ニ出勤ス、四時半帰京、此夜碁会ヲ催シタリ

十二日

午前日本銀行ニ立寄り、総裁ヨリ五十万磅預ケ入承諾ノ事ヲ聞キ、又一円銀ヲ香港銀行ニ売渡ノ事ノ相談アリ、夫ヨリ横浜ニ出勤、右一円銀ノ事ニ付ビヴイス氏ト相談セリ、五時帰京、夕飯後玉突ニ行ク

十三日

午前大蔵省ニ立寄り円銀売却ノ相庭ヲ相談シ、日本銀行ニ行き総裁ニ其事ヲ報告シ、横浜ニ出勤セリ、香港銀行ノビヴイス氏ヨリ一円銀ヲ 250ニテ五百万円買度旨ノ相談アリ、直ニ大蔵省ニ報知シタレトモ其相庭ニテハ出来サル旨ノ返電アリ、依テ之ヲ断リタリ、午後四時帰京

十四日

午前横浜ニ出勤、午後三時帰京、クラブニ立寄り、七時帰宅ス

十五日

午前平塚ニ行き新築ノ庭作りヲ見分シ、九時帰宅ス

十六日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、妻木氏来リテ新築ノ事ニ付談話アリ、午後五時ヨリ横浜ノ紳士ヲ佐野茂ニ招キ、十一時帰宅

十七日

午前日本銀行ニ行き総裁ニ償金使用方ニ付龍動ノ事情ヲ述へ、大蔵省ニ行き大臣并松尾氏等ニ面会シ、一時過ニ帰宅ス、神奈川県知事 中野氏〔中野健明、佐賀県出身の外務・内務官僚〕葬式ニ臨ムコトヲ得ス、午後大東氏ヲ訪ヒタレトモ不在ナリ

十八日

午後横浜ニ出勤、大谷氏ニ面会シテ外債問題ニ関スル意見ヲ述へ、ヒギンボヲサム氏ヲ尋ネ、二時四十分ニテ帰京、東京ノ紳士連ヲ紅葉館ニ招キ、十時ニ帰宅ス

十九日

午前大蔵省ニ立寄り為替手数料ノ事ヲ相談シ、横浜ニ出勤ノ汽車ニテ園田氏ニ面会セリ、午後四時帰京シ葦塚家ノ法事ニ行き、九時ニ帰宅シ直ニ寝ニ就ケリ

二十日

午前横浜ニ出勤ス、ジャクソン氏ビヘヴイ氏ト共来訪セリ、ハアレン商会損失ニ逢ヒタルコトヲ聞ケリ、午後五時帰京

二十一日

午前大蔵省ニ立寄り松尾氏ニ面会ス、御用為替手数料ヲ 2.3%以内ニテ取ルコト并金塊買入手数料減額ノ相談ヲナシタリ、夫ヨリ日本銀行ニ立寄り其相談ヲ為シ、十一時ニテ横浜ニ出勤、ジャクソン氏ヲ訪ヒ、四時ニ帰京シ総裁ノ招ニテ深川別荘ニテジャクソン氏等ト共ニ晩餐ノ饗応ニナリ、十一時帰宅ス

二十二日

午前九時半ニ神奈川ニ行き銀行社員ノ競艇会ニ臨ミ、午後五時ニテ帰京ス、夕飯後玉突ニ出掛ケタリ、大谷氏宅ニテ全国商業会議所ノ園遊会ニ招カレタレトモ時間ナク止メタリ

二十三日

午前七時岩崎総裁ヲ訪ヒ印度証券買入方ノ指持ヲ受ク、横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、一時ニ帰京、大倉氏園遊会ニ臨ミ、五時ニ帰宅ス、夕飯後四谷ヲ散歩ス

二十四日

午前九時ニテ横浜ニ出勤、午後一時帰京、英公使館園遊会ナレトモ雨天ニテ見合せ、夕刻ヨリ西村氏ヲ訪ヒ、九時帰宅

二十五日

午前日本銀行大蔵省ニ立寄り横浜ニ出勤、三時帰京、紅葉館ニテ取引先ヲ招キ、十時帰宅

二十六日

午前九時横浜ニ出勤、ヲカイル氏来店アレニス商会荷物引受ノコトヲ相談セリ、午後五時帰京

二十七日

午前日本銀行ニ行き総裁ニ面会シ、紡績業者ノ申出ノ事ニ付相談シ、横浜ニ出勤午後六時ヨリ課長会ヲ開キ、十時帰宅ス

二十八日

午前大東氏ヲ訪ヒ中学基金使用ノ事ニ付談話シ、横浜ニ出勤、三時帰京、クラブニ立寄り妻木氏ニ会シ、夫ヨリクラブ氏ノ招ニテ同氏宅ヘ行き晚餐ノ饗応ニナリ、十一時帰宅ス、平塚ニ荷物ヲ送り出セリ

二十九日

午前十時ノ汽車ニテ陸ト共ニ平塚ニ行き同所ニ泊ル

三十日

午前八時半ノ汽車ニテ横浜ニ行き重役会ヲ開キ、午後四時東京ニ帰り、クラブニ立寄り、七時帰宅

三十一日

午前大蔵省ニ行き、日本銀行ニ立寄り、夫ヨリ横浜ニ出勤、午後四時平塚ニ帰ル、昨日平塚ノ大工ニ約金悉皆支払ヒ、其内三百円園田氏ノ当座ニ預ケ入ル

六月一日

午前八時半横浜ニ出勤、午後四時平塚ニ帰ル、大木平作古谷氏等ニ夕飯ヲ馳走セリ

二日

午前横浜ニ出勤ス、陸東京ニ帰ル、大工ニ百五十円与ヘタリ、午後四時帰京、夕飯後四谷ヲ散歩ス

三日

午前大蔵大臣ヲ訪ヒタレトモ不在面会ヲ得ス、大蔵省ニ行き松尾氏ニ面会紡績業者ニ関スル事ヲ談シ、日本銀行ニ行き、午前横浜ニ出勤、五時帰京、クラブ氏ノ家族ヲ夕飯ニ招キタリ

四日

午前横浜ニ出勤、午後二時帰京、大蔵大臣ヲ議院ニ訪ヒ公債ニ関スル高橋氏ヨリノ電信ノ事ヲ報シ、クラブニ立寄、七時帰宅ス

五日

昨日子供平塚ニ行タルニ付、同所ヘ行ク積リナリシモ、大風雨ニテ見合せ、午後妻木氏ヲ訪ヒタリ

六日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、妻木氏新築ノ雛型ヲ持参シ相談セラレタリ、午後平塚ニ帰ル

七日

午前横浜ニ出勤、午後五時東京ニ帰ル

八日

午前大蔵省ニ行き松尾氏ニ面会、銀魂神戸売捌ノ事ヲ相談シ、日本銀行ニ行き総裁ニ面会、横浜ニ出勤、青木国蔵氏来リ同氏ノ手形買取ノ事ヲ相談セリ、四時ニテ平塚ニ帰ル、花咲氏来ル

九日

午前横浜ニ出勤ス、今朝大工ニ三十三円余支払タリ、午後二時帰京、大蔵大臣官舎ニ行き増税案ノ事ニ付談話アリ、当日ハ幾田其ノ他ノ法事ヲ営ミ親戚ヲ招キ夕飯ヲ供セリ、夫ヨリ大東氏ヲ訪ヒ地価修正并増税ノ事ニ付談話シ、十二時帰宅ス

十日

午前大蔵大臣ヲ訪ヒ一旦帰宅、十二時横浜出勤セリ、午後五時帰京

十一日

午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

十二日

午前浜辺ヲ散歩シ、午後東京ニ帰り、直ニ亀清楼ニ近江人懇親会ニ臨ミ、八時ニ帰宅ス

十三日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、原氏ヘ地所ノ事ニ付電報ヲ発シ、午後浅田知事歓迎会ニ行キ、八時東京ニ帰ル

十四日

午前大蔵省并日本銀行ニ行キ横浜ニ出勤、六時平塚ニ帰ル、山川氏神戸ヨリ帰ル

十五日

午前花咲氏来リ虫征伐ノ事ヲ工風ス、夫ヨリ横浜ニ出勤、午後四時帰京、直ニ渋沢氏招待会ニ亀清楼ニ行キ、九時帰宅ス

十六日

午前大蔵省并日本銀行ニ行キ横浜ニ出勤、午後四時帰京、直ニ増島氏宅ニ行キ夕饗ノ馳走ニナリ、十時帰宅

十七日

早朝岩崎氏ノ宅ニ行キ、公債売却ノ事ニ付龍動支店ヘ打電ノ命ヲ聞キ、横浜ニ出勤龍動ヘ発電、四時帰京ス

十八日

午前大蔵大臣ヲ訪ヒ、香港上海紡績等ノ報告ヲ為シ、公債ニ関シ高橋氏ニ打電ノ談ヲ為シ、横浜ニ出勤ス、二時半平塚ニ帰ル

十九日

終日平塚ニ在リ海辺ヲ散歩シタリ

二十日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後四時半ニ東京ニ帰り、晚餐後散歩

二十一日

午前大蔵省ニ立寄り日本銀行ニ行キ、正午横浜ニ出勤セリ、午後四時ニテ帰京、クラブニ立寄り、七時帰宅ス

二十二日

午前九時横浜ニ出勤、汽車中ニテ中村弥六ニ談話シタリ、午後四時半ニテ平塚ニ帰ル

二十三日

午前横浜ニ出勤、午後四時帰京

二十四日

午前総裁ノ宅ニ行キ龍動預ケ金ノコトヲ相談シ、大蔵省ニ立寄り紡績業者ノ事ヲ相談シ、横浜ニ出勤、午後四時半平塚ニ帰ル

二十五日

午前八時半ヨリ横浜ニ出勤、午後二時帰京、五時ヨリ大東家ノ法事ニ行キ、八時帰宅

二十六日

午前西村氏ヲ訪ヒタレトモ不在、夫ヨリ帰宅終日在宅セリ、終日雨降

二十七日

午前九時横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後四時半帰京、直ニ総裁ヲ訪ヒ公債ニ関スル龍動電報ヲ示シ、帰途須崎氏ヲ訪ヒ六時ニ帰宅、夕飯後大東氏ヲ訪ヒ新内閣組織ノ様子ヲ聞キタリ〔6月30日、憲政党を背景に第1次大隈内閣が成立。大東義徹は司法大臣に就任したので組閣事情に詳しく〕

二十八日

午前大蔵省ニ立寄り横浜ニ出勤、午後四時帰京、クラブニ立寄り、七時半帰宅

二十九日

午前七時総裁ヲ訪ヒ内閣交跌〔更迭カ〕ニ付同氏ノ意見ヲ聞き、且高橋川上進退ニ関スル電報ノ指  
持ヲ受ケ、夫ヨリ日本銀行ニ立寄り横浜ニ出勤、高橋氏ニ電報ヲ発シ三時半帰京、直ニ益田氏ノ宅  
ヘ行き、十一時帰宅

三十日

午前横浜ニ出勤、金銀出入メ切後現金ノ検査ヲ為シ、八時ニ帰京ス

七月一日

午前大蔵省ヲ訪ヒ松尾氏ニ面談シ、夫ヨリ三田ニ松方伯ヲ訪ヒ、十一時ニテ横浜ニ出勤ス、午後四  
時平塚ニ帰ル

二日

午前横浜ニ出勤、午後二時四十五分平塚ニ帰ル

三日

終日平塚ニアリ、須崎氏来ル

四日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後四時東京ニ帰ル、汽車ニテ陸ノ帰ルニ逢ヒ同行セリ

五日

午前大蔵省ニ立寄り、日本銀行ニ行き、十一時ニテ横浜ニ出勤、高捨氏来リ□□ノ事ヲ依頼シタリ、  
兵庫倉庫貨物不足ノ事ヲ聞ケリ〔兵庫倉庫会社ヘノ貸金延滞事件が発覚〕、午後平塚ニ帰ル

六日

午前横浜ニ出勤、午後三時東京ニ帰り、クラブニテ妻木氏ニ面会、七時帰宅ス、当日腹合悪敷、小  
田柿氏来訪アリ

七日

午前横浜ニ出勤、妻木氏来リ接客所新築ノ計画ヲ依頼セリ、同氏ニ報酬千円交付セリ、午後四時帰  
京、クラブニ立寄り、七時帰宅

八日

午前七時大隈伯ヲ訪ヒ、松田大蔵大臣〔長崎県出身の自由党系政治家、第1次大隈内閣で大蔵大臣〕  
ヲ訪ヒ、大東氏ヲ訪ヒタレトモ同氏ハ不在、夫ヨリ横浜ニ出勤、四時半平塚ニ帰ル

九日

午前横浜ニ出勤、午後二時東京ニ帰り、クラブニテ高捨氏ニ面会同氏ニ神戸行ヲ依頼シ、七時東京  
ニ帰ル

十日

午前馬場ニ行き、午後専修学校卒業式同窓会ニ臨ミ、八時ニ帰宅ス

十一日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後東京ニ帰ル

十二日

午前大蔵省并日本銀行ニ立寄り、横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

十三日

午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

十四日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰り大海原氏ヲ島屋ニ訪ヒ、七時ニ帰宅ス

十五日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰り、大東氏ノ官舎ニテ大海原氏ト共ニ晚餐ヲ受ケタリ

十六日

午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル、大海原氏共ニ来宿セリ

十七日

銀行支配席并課長連ヲ平塚ニ招キ網引其他ノ饗応ヲ為セリ

十八日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後平塚ニ帰ル

十九日

午前横浜ニ出勤、午後東京へ帰り、夕刻ヨリ三ツクラブ〔三井倶楽部カ〕ニ行キ饗応ヲ受ケタリ

二十日

午前大蔵省ニ行キ、日本銀行ニ立寄り、夫ヨリ横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

二十一日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル、夕飯後岩崎総裁ヲ訪ヒ網打ニ招キタリ、同邸ニテ大酔、十時過  
帰宅ス

二十二日

胃痛ヲ起シ終日在宅加養セリ

二十三日

病ヲ押シテ午前横浜ニ出勤、午後帰京ペルリ氏ノ歓迎会ニ行キ、六時ニ帰宅ス

二十四日

午前七時ヨリ鮫洲ニ行キ日本銀行ノ連中ヲ招キ、九時ニ帰宅ス

二十五日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後平塚ニ帰ル

二十六日

午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

二十七日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル

二十八日

午前大蔵省并日本銀行ニ行キ横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル

二十九日

午前井上伯ヲ訪ヒタレトモ不在、大東氏モ不在、クラブニ立寄り十時ノ汽車ニテ綾子〔長女アヤ（綾子）〕菊地氏等ト共ニ横浜ニ来ル、綾子等ハ直ニ平塚ニ行キタリ、午後四時半ニテ平塚ニ帰ル

三十日

午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

三十一日

終日平塚ニ在リ、奥居菊地氏等来訪セリ

八月一日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後東京ニ帰ル、妻木氏トクラブニ立寄ル

二日

早朝馬ニ乗り横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル

三日

午前大東氏ヲ訪ヒ帰宅シ、夫ヨリ大蔵省并日本銀行ニ行キ、クラブニテ午飯ヲ喫シ、午後横浜ニ出勤、平塚ニ帰ル

四日

午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル、夕食後網打ニ出掛タリ

五日

午前横浜ニ出勤、午後三時東京ニ帰ル

六日

午前大蔵省ニ行キ横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

七日

終日平塚ニ在リ

八日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後東京へ帰ル

〔8月9日から16日まで記事なし〕

十六日

十七日

午前大蔵省日本銀行ニ行き横浜ニ出勤セリ、午後平塚ニ帰ル、今夜両度下痢シテ大ニ疲労セリ

十八日

昨夜下痢ノ為メ疲労甚敷、病院ノ玉井氏ヲ招キ診察ヲ乞ヒ終日加養セリ、下痢ハ止リタリ

十九日

病氣未タ快カラス、終日在宅シテ加養ス

廿日

終日在宅加養セリ、妻木氏等来レリ

廿一日

日曜ナレハ終日在宅加養セリ、今朝妻木氏帰ル、小田柿ヨリ縁談取消ノ書状来レリ

廿二日

病氣大ニ快ク、午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後東京ニ帰ル、森本氏ヲ招キ診察ヲ乞ヒ薬ヲ貰ヒタリ

廿三日

午前大蔵省日本銀行ニ行き、正午横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル、中島氏厦門ニ向ケ銀碗買入ノ事ニ付来談アリ

廿四日

午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

廿五日

午前汽車ノ都合悪敷十一時半ニテ横浜ニ出勤、午後四時半帰京、夕飯後大東氏ヲ訪ヒ株券ヲ戻ス

廿六日

午前大蔵省并日本銀行ニ行き、横浜ニ出勤、午後帰京

廿七日

午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル、葦塚ノ家族来ル

廿八日

終日平塚ニ在宅、高野氏来訪、午後三宅氏来リ碁ヲ囲ム

廿九日

午前横浜ニ出勤、重役会ヲ開キ配当報告ヲ議決セリ、午後東京ニ帰ル

三十日

午前大蔵省ニ立寄り横浜ニ出勤、大蔵証券ノ事ニ付龍動ニ發電シ、午後郵船会社ノ新造船見物ニ行き、午後七時東京ニ帰ル

三十一日

日本銀行ノ配当金并原氏ヨリ受取りタル□□代受取方及ヒ第百銀行ニ預ケ入方ヲ桜井氏ニ託シ、専修学校ニ二百円貸出タリ、午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル、菊名氏来訪セリ

九月一日

午前菊名氏ト共ニ横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル、正夫ヲ平塚ニ遣ハス

二日

午前大蔵省并日本銀行ニ行き、クラブニ行き午飯ヲ食シ、原氏ニ面談シ、夕刻ヨリヒサゴ屋ニ行き渡辺専次郎氏ノ為メ小宴ヲ開ケリ

三日



午前大蔵大臣ヲ訪ヒ、生糸組合請願書ノ事ニ付談話シ、横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル

四日  
午前駿河台ニ岩崎氏ヲ訪ヒ、夫ヨリ駒井中村ヲ訪ヒ、正午帰宅、終日在宅、夕飯後赤坂へ散歩ス

五日  
午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後平塚ニ帰ル

六日  
午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル、此夜大嵐

七日  
午前大蔵省并日本銀行ニ行キ、正午帰宅、夕刻ヨ渡辺専次郎氏等ヲヒサゴ屋ニ招キ、十二時ニ帰宅  
大酔セリ

八日  
昨夜大酔ノ為メ腸胃ヲ損ヒタレトモ、押シテ午前横浜ニ出勤、汽車不通ノ為メ平塚へ行ク事ヲ得ス、  
東京ニ帰り森本氏ニ診察ヲ乞ヒ薬ヲ貰ヒタリ

九日  
午前大隈総理ヲ訪ヒ、横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル

十日  
午前九時横浜ニ出勤、午後二時半ヨリ株主總會ヲ開キ、夫ヨリ社員ノ慰勞会ニ臨ミ、九時東京宅ニ  
帰ル

十一日  
午前八時半ノ汽車ニテ平塚へ出掛ケ一泊ス、馬入川ノ船渡□□□開始セリ

十二日  
午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キタリ、賞与金等ヲ分配セリ、午後五時東京ニ帰ル

十三日  
午前大蔵省并日本銀行ヲ訪ヒ横浜ニ出勤、四時半帰京、クラブニ立寄り、七時ニ帰宅、森本氏来診  
セリ

十四日  
小田柿氏縁談取消ノ承諾書ヲ出シ、十時半横浜ニ出勤、午後四時半帰京

十五日  
午前駿河台ニ岩崎氏ヲ訪ヒ、直ニ横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル、大海原氏来訪セリ

十六日  
午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル、夕刻ヨリ桂陸軍大臣〔桂太郎、長州出身で第3次伊藤・第1次  
大隈・第2次山縣の各内閣の陸相〕方ニ招カレタ飯ノ饗応ヲ受ケ、台湾協会ノ為メ五百円寄附スル  
事ヲ約セリ

十七日  
午前横浜ニ出勤、午後三時ニ帰京、クラブニ立寄り大海原妻木氏等ト玉突ヲ為シ共ニ夕飯ヲ喫シ、  
十一時ニ帰宅ス

十八日  
午前渋谷ニ父ノ病氣ヲ見舞、午後頭部ノ工合悪敷終日在宅セリ

十九日  
午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後帰宅、今夕森作太郎氏来訪セリ

二十日  
午前大蔵省并日本銀行ニ行キ横浜ニ出勤、午後四時半東京ニ帰ル、妻木大海原氏等ト八百圓ニテ一  
酌シ、十時帰宅

二十一日  
午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

二十二日  
午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル、高橋是清今朝帰朝ス

二十三日  
休日ニ付午前在荘、午後陸ト共ニ大磯ニ行キ、夕刻平塚ニ帰ル

二十四日  
午前横浜ニ出勤、午後江ノ島ニ行キ一泊ス、同所ニ社員等ヲ招キタリ

二十五日  
社員等一同午後ニ来集セシモ雨天ニテ外出スルヲ得ス、共ニ午饗ヲ喫シ一場ノ演説ヲ為シ、三時頃ヨリ解散セリ、余ハ高橋氏ト平塚ニ帰ル

二十六日  
午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後高橋氏ト共ニ大隈総理ヲ訪ヒ、五時帰宅ス

二十七日  
午前大蔵省并日本銀行ニ行キ、藤井三郎氏ノ死去ヲ弔シ、横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル、荒西氏来レリ

二十八日  
午前横浜ニ出勤、午後帰京、ヒサコ屋ノ口人会ニ行キ、十時帰宅

二十九日  
午前横浜ニ出勤、午後帰京、帝国ホテルニ行キ矢野公使〔矢野文雄清国駐劄公使〕等ノ演説ヲ聞キ、九時帰宅

三十日  
頭部ノ工合悪敷、終日在宅加養セリ、夜妻木氏来訪セリ

十月一日  
午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

二日  
午前海岸ニ遊獵ニ行キタリ、長倉妻木三宅氏等来訪セリ、午後再ヒ海岸ニ行キ、妻木氏ハ一泊セリ

三日  
午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後東京ニ帰り、クラブニ立寄り、七時帰宅ス

四日  
午前大蔵省并日本銀行ニ行キ横浜ニ出勤、午後東京ニ帰り、クラブニテ酒匂氏池田氏等ト共ニ晚餐ヲ食シ、十時帰宅ス

五日  
午前横浜ニ出勤河上氏ノ帰朝ヲ迎へ、午後四時東京ニ帰り、クラブニ立寄り、七時帰宅ス

六日  
午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

七日  
午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル、矢野小村内田〔内田康哉カ〕小田切氏〔小田切万寿之助上海領事〕等ヲ常盤屋ニ招キ夕飯ヲ共セリ

八日  
午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

九日  
終日平塚ニ在リ、近傍ヲ遊獵ニ出掛ケ、午後鍋倉氏来一泊ス

十日  
午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後東京ニ帰ル

十一日  
午前大蔵省日本銀行ニ行キ、午後安田氏ノ園遊会ニ行キ、横浜ニ出勤セス、松居鈴太郎来訪二百五

十円返金セリ

十二日

午前岩崎総裁ヲ訪ヒ同氏辞任ノ事ニ付相談シ、横浜ニ出勤セリ、午後平塚ニ帰ル

十三日

午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル、当夜鈴木氏共ニ来リ一泊ス

十四日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル、クラブニテ小村氏ノ送別会アリタリ

十五日

午前大蔵省并日本銀行ニ立寄り横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

十六日

午前近傍ニ遊獵ニ出掛ケ、午後三時帰宅、東京ヨリ家族等来レリ

十七日

午前馬入川へ散歩ス、午後家族東京へ帰ル

十八日

午前横浜ニ出勤臨時重役ヲ会ヲ開キ、午後東京ニ帰り、クラブニテ鍋倉岡田妻木高捨等ト共ニ晚餐ヲ喫セリ

十九日

午前大蔵省日本銀行ニ立寄り横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル高田氏来訪セリ

二十日

午前横浜ニ出勤、午後帰京、第一銀行ノ佐々木氏ニ面会倉庫会社所分（ママ）方ヲ相談シ、近江人親睦会ニ臨ミ九時ニ帰宅ス

二十一日

午前山本氏ヲ訪ヒ総裁就任ヲ賀シ、岩崎前総裁ヲ訪ヒ、横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

二十二日

午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

二十三日

早朝ヨリ玉井氏ト共ニ金井氏方ニ遊獵ニ出掛ケ薄暮ニ帰宅ス

二十四日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後東京ニ帰ル

二十五日

午前大蔵省并日本銀行ニ行き、外務省ニ□□□□資金延期伺書ヲ出シ、横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル

二十六日

午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

二十七日

午前横浜出勤、午後日本銀行新旧総裁送迎会ノ為メ上野西洋軒ニ行き、十時帰宅

二十八日

午前板倉氏来訪鉄道会社ノ事ニ付談話アリ、夫ヨリ横浜ニ出勤、夕刻ヨリ在浜商業学友会ノ招ニテ佐野茂ニ行き、十一時ニ帰京

二十九日

グラバ氏ヨリ犬ヲ貰受ケタリ、午前横浜ニ出勤、午後山川川津氏ヲ伴ヒ平塚ニ帰ル

三十日

午前六時ヨリ山川川津氏ト共ニ厚木近傍ニ遊獵ニ出掛、薄暮平塚ノ宅ニ帰ル

三十一日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル、重役会ヲ開キ園田氏建築委員ヲ辞シ高橋氏ヲ委員ニ極メリ、小

田柿須崎等来訪共ニ晚餐セリ

④〔手帳表紙〕「明治三十一年其三（完）・同三十二年其一（七月末日マデ）」

十一月一日

午前横浜ニ出勤、午後帰京、大東氏ヲ訪ヒ、十一時帰宅ス

二日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル

三日

天長節ニテ終日在宅、午後九時ヨリ大隈外務大臣ノ夜会ニ行キ、十二時帰宅

四日

午前横浜ニ出勤、午後四時帰京ス、高木貞作氏銀行ニ来訪セリ

五日

午前人見氏等来リ房総鉄道ノ事ニ付相談アリ、夫ヨリ横浜ニ出勤、三井銀行ノ井上氏来倉庫会社所分ノ事ニ付相談アリ、午後平塚ニ帰ル、夕飯迄獵銃ヲ肩ニシテ近傍ヲ散歩セリ

六日

午前横浜ニ行キ常備艦隊ノ歓迎会ニ行キ、午後東京ニ帰ル

七日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後東京ニ帰ル

八日

午前大蔵省并日本銀行ニ行キ、午後横浜ニ出勤、四時半東京ニ帰ル、妻木氏ト共ニクラブニ寄ル

九日

午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル、玉井氏来訪セリ

十日

午前横浜ニ出勤、グラントホテルニ Mr. Live 氏并ニ Dr. Wiligand 氏ヲ訪ヒ、午後一時半ニ帰京、外務省ニ立寄り帰宅ス

十一日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル小田柿氏来リ結婚ノ事ニ付相談アリタリ、今朝松方伯ヲ訪ヘリ〔第1次大隈内閣が倒れ、11月8日、第2次山県内閣が成立、松方正義が大蔵大臣に復職〕

十二日

午前大蔵省ニ立寄り横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル、木村氏ニ獵犬ヲ譲リ受タリ

十三日

午前川津一ノ井氏等ト共処沢近傍ニ遊獵ニ出掛ケ、六時半帰宅ス

十四日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後大隈伯園遊会ニ陸ト同伴シ六時帰宅、玉突ニ行キ十一時帰宅

十五日

午前岩崎氏ヲ訪ヒ大蔵省ニ出勤、夫ヨリ横浜ニ行キ、午後東京ニ帰ル、高捨桜井氏等来宅、夕飯後高捨氏ト玉突ニ行キ、十一時帰宅

十六日

午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

十七日

午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

十八日

午前横浜ニ出勤、午後帰京、三井ノ園遊会ニ行、七時帰宅ス

十九日

午前大蔵省ニ立寄り、横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル、父来ル

二十日

午前六時ヨリ玉井氏ト同伴厚木近傍遊獵ニ出掛ケ、六時帰宅

二十一日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後東京ニ帰ル、五時ヨリ日本銀行新旧総裁并重役方ヲ常盤屋ニ招キ、十時帰宅

二十二日

早朝ヨリ園遊会答礼ノ為メ大隈伯ヲ訪ヒ、大蔵省ニ立寄り、横浜ニ出勤、夕刻ヨリ横浜有志者ノ山本総裁招待会ヘ千歳楼ニ行キ、十時帰宅

二十三日

大祭日ナレドモ降雨ノ為メ終日在宅

二十四日

午前日本銀行ニ行キ横浜ニ出勤、午後東京ニ帰り、クラブニ立寄り、七時ニ帰宅ス

二十五日

午前五時ヨリ所沢ヘ遊獵ニ出掛ケ、午後三時帰宅、余ノ誕生ヲ祝シ親族ヲ招キ夕飯ヲ喫セリ

二十六日

午前横浜ニ出勤、十二時出帆ノ河内丸ニテ神戸ヘ出立セリ、夕刻ヨリ大風雨ニ出逢ヒ困難セリ

二十七日

午前好天気ニ付甲板上ヲ暫ク運動セ、午後又風吹き夜十一時ニ神戸着、一時過上陸東常盤ニ投宿ス

二十八日

午前支店ニ出勤、午後五時ヨリ高谷菅沼鍋倉氏ヲ下宿ニ招キ倉庫会社ノ事ニ付相談セリ

二十九日

午前支店ニ出勤、夕刻ヨリ鍋倉氏ノ招ニテ花壇常盤ニ行キ、同所ニ一泊セリ

三十日

午前支店ニ出勤、午後三井物産会社ノ招ニテ花壇ニ行、十時ニ帰宿ス、本日ヨリ銀行ノ検査ヲ始タリ

十二月一日

午前支店ニ出勤検査ヲ続ケリ

二日

午前銀行ニ出勤、タマスワリン氏ノ招ニテ午飯ノ饗応ヲ受ケ、銀行ニ帰り杉山菊名穂積氏等ヲ下宿ニ招キ夕飯ヲ供セリ

三日

午前社員一同ヲ舞子ニ招キ、帰途花壇ニ立寄り一泊セリ

四日

午前タマスワリン氏ヲ訪ヒ、銀行ニ出勤、岩崎氏ニ停車場ニテ面会シ、六時諏訪山ニ帰ル、杉山菊名谷津井氏等来ル

五日

午前銀行ニ出勤、午後六時帰宿ス

六日

午前銀行ニ出勤、午後大坂ニ行キ、日本銀行ヲ訪ヒ木村氏ヲ尋ネ、日本銀行連中ヲ伝法屋ニ招キ夕飯ヲ供シ、同所ニ一泊ス

七日

森弘世氏等ト共ニ奈良見物ニ行キ、大坂ニテ木村氏ノ饗応ニナリ、十時ニ神戸ニ帰ル

八日

午前銀行ニ出勤、午後大坂ニ行き日本銀行ノ片岡氏ヨリ饗応ニナリ、十時ニ神戸ニ帰ル  
九日  
午前岩崎男ヲ停車場ニ迎へ、銀行ニ出勤、夕刻ヨリ同氏ヲ花壇ニ招キ饗応セリ  
十日  
午前岩崎氏ヲ見送テ銀行へ出勤セリ、委員銀行并倉庫会社社員等ト約定書ヲ決定セリ  
十一日  
日曜日ナレトモ午前ヨリ銀行ニ出勤、支配人課長等ニ業務上ノ事ヲ談シ、彼等ヲ花壇ニ招キ夕飯ヲ  
供セリ  
十二日  
午前十時半神戸出立、大坂ニテ呉氏ト同車シ名古屋ニ一泊ス、同所ニテハ三井物産支店寺島氏万事  
取扱ニテ大ニ馳走ニナリ、ホテルニ宿ス  
十三日  
午前八時ニ出立、午後十時帰宅ス  
十四日  
午前大蔵省ニ立寄り横浜ニ出勤、四時帰京ス、今朝森本氏ニ痛ミ所ノ診察ヲ受ケタリ  
十五日  
午前横浜ニ出勤、午後帝国ホテルニ催サレタル実業家ノ集会ニ臨ミ、六時半帰宅ス、当日ノ集会マ  
テハ地租増加案議會通過ニ尽カスルコトニ付種々議決アリ  
十六日  
午前日本銀行ニ立寄り横浜ニ出勤、四時帰京ス  
十七日  
午前十時ヨリ横浜ニ出勤、一時半帰京  
十八日  
病氣ノ為メ終日在宅加養セリ  
十九日  
午前横浜ニ出勤、重役会ヲ開キ神戸検査ノ結果ヲ報告セリ、午後四時帰京ス  
二十日  
午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル  
二十一日  
過日来病氣ヲ押シテ出勤シ居タレトモ、病所強クナリタレハ終日在宅シテ加養セリ、松方伯ヨリ茶  
話会ノ招ヲ受ケタレトモ断リタリ  
廿二日  
終日在宅加養セリ、松尾吉士〔ボンベイ出張所主任に任命〕夫婦ノ告别ニ来レリ、高捨氏ニ用立金  
ノ事ヲ諾セリ  
廿三日  
終日在宅加養セリ  
廿四日  
午前押テ銀行ニ出勤、午後四時帰京  
廿五日  
午前大蔵大臣ヲ訪ヒ大蔵省ニ行き、夫ヨリ日本銀行ニ行き、貴族院ニ行き松尾氏ニ面会シ、クラブ  
ニテ渋沢氏ニ会シ、四時帰宅ス  
廿六日  
日曜ナレハ終日在宅加養セリ  
廿七日  
午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後帰京ス

廿八日

午前横浜ニ出勤、午後高是氏ト日本クラブニ会シ、同氏ヨリ山本総裁課税案ニ付心配シ居ルコトヲ聞キ、之ヲ補助スルコトニ相談セリ、五時帰宅

廿九日

午前横浜ニ出勤、重役臨時会ヲ開キ当半季決算ノ相談ヲ為シ、又日本銀行課税案ノ事ニ付山本総裁ヲ補助スル為メ臨時交際トシテ五万円迄ヲ支出スル事ヲ決シ、午後高是氏ト共ニ山本氏ニ渡シ、三万円ヲ同氏ニ交付シ、九時帰宅ス、本日正金銀行ヨリ五万円引出シ、一万円ハ高是氏ニ渡シ同氏ノ名義ニテ他ニ預ケ置キ、一万円ハ自分ノ名義ニテ第百銀行ノ当座ニ預ケ置キ、追テ尚ホ必要アルトキ支出スル筈

三十日

午前横浜ニ出勤、益田氏来リ左ノ三件ノ相談アリ

- 一、京仁鉄道引受組人へ百八十万円ヲ借受ケ度事并モヲル氏ヨリ右鉄道買受手續ノ事
- 一、紡績業者銀貨貸金ト利子六朱ヲ四朱ニ減スルコト
- 一、本行ハ支那貿易事業ヲ大拡張スルヤ否ノ事

午後四時過帰京ス

三十一日

午前横浜ニ出勤、午後四時半帰京、無事越年ス

## 明治三十二年

一月一日

午前十時ノ汽車ニテ平塚ニ行キ、駒井氏来遊セリ

二日

終日在荘、午後飯塚氏モ来リ、終日囲碁

三日

終日在荘、高見氏其他兩三名来訪セリ、終日囲碁

四日

終日駒井氏ト碁ヲ囲メリ

五日

午後一時出立東京ニ帰ル

六日

午前横浜ニ出勤、午後四時帰京ス

七日

午前大蔵省日本銀行ニ立寄り、十二時横浜ニ出勤、午後二時帰京

八日

午前井伊家并中村ニ年始ノ祝儀ニ行キ、午後高捨諏訪氏等来訪、碁ヲ囲メリ

九日

午前横浜ニ出勤、午後四時半帰京ス、山川氏〔山川勇木本店支配人〕ニ神戸支店詰并支那地方巡視ノ事ヲ談話シ同氏承諾セリ

十日

午前大蔵大臣ヲ訪ヒ、大蔵省ニ立寄り、日本銀行ニ行キ十一時横浜ニ出勤セリ、午後東京ニ帰ル

十一日

頸部ニシヨリ出来森本氏ノ診察ヲ受ケ塗り薬ヲ貰ヒ、午前銀行ニ出勤、午後四時帰宅ス、夕飯後杉山氏来訪セリ

十二日

頸部ノシヨリ愈悪敷且頭部ニモ痛所出来セシニ付、森本氏ノ診察ヲ乞ヒタルニロワズ痛ナルコト相

分り、直ニ其治療ニ取掛リタルニ午後ヨリ熱發強ク直ニ寝ニ就ケリ、終日寝ニ在リ加養ス  
十三日

ロゾズ追々増進シ、三十八度以上ノ熱度ニ登リ終日苦ミタリ

十四日

ロゾズ殆ント頭ノ全部ヲ侵シ、熱度三十九度以上ニ登リ苦痛甚シ、佐藤佐氏ノ診察ヲ乞ヒタリ

十五日、十六日、十七日

此三日間ハ病勢極点ニ達シ、熱度三十九度ヨリ四十度ノ間ヲ往来シ苦痛最モ甚シ

十八日

ロゾズハ面部迄モ侵シ尽シ今日ヲ以テ病勢減縮ノ期ニ到レリ、熱度モ三十八度台ニ下レリ

十九日

病勢少シク衰へ、熱度モ三十八度台ニ止マレリ

二十日

大ニ苦痛ヲ減シタレトモ身体ノ疲労甚敷ヲ覺ヘタリ

二十一日～二十七日

二十一日ヨリ追々輕快ヲ覺へ、二十四日ニハ室内ヲ散歩シ、二十六日ニハ庭内ヲ散歩スルヲ得ルニ到レリ、從テ食物モ進ミ来タリ

二十八日

小供等ヲ連レ午後十時ノ汽車ニテ平塚ノ別荘ニ来リタリ

二十九日

降雨ノ為メ終日外出ヲ得ス

三十日

雨止ミ午前海浜ヲ小供等ト散歩シタリ、小供等午後東京ニ帰ル、植木屋来リ松ノ植替ヲ始メタリ

三十一日

午前庭辺ヲ散歩シ十時過ヨリ銃ヲ携ヘテ馬入川ノ近傍迄散歩ス、午後植木屋ノ仕事ヲ指持（マ）セリ

二月一日

終日在莊植木屋ノ松植ヲ指持セリ、夕飯後玉井氏來訪セリ

二日

午前花水川ノ近傍迄遊獵ニ出掛ケタリ、午後朝比奈氏來訪アリ、午後植木屋ヲ指持セリ、此夜十二時ニ寝ニ就キタレトモ三時迄眠ルヲ得ス、又熱度モ三十七度以上ニ登レリ

三日

昨夜安眠ヲ得ス、今朝モ亦熱度三十七度以上ナレハ九時頃迄眠ヲ試ミタレトモ七時後ハ眠ルヲ得ス、不得止九時ニ起キタリ、終日三十七度以上ノ熱アリテ戶外ニ出ス、玉井氏ヲ招診察ヲ乞ヒタレトモ別ニ異状ナシトノ事ナリ、午後九時寝ニ就キタル処熱モ下リテ安眠ヲ得タリ

四日

午前七時ニ熱度三十六度台ナリシカ八時ニ起キ暫クスルト三十七度以上ニ登レリ、終日三十七度以上ナリ、玉井氏來診セシモ異状ナシト云ヘリ、朝比奈氏帰京ス、山川氏來訪セリ、夜九時ニ寝ニ就キタレハ熱モ追々下リ安眠ヲ得タリ

五日

午前七時三十六度七分ノ熱度アリ、八時ニ起キ帰京ノ支度ヲ為シ九時四十分ノ汽車ニテ帰京、直ニ森本氏ヲ招キ診察ヲ乞ヒタレトモ別ニ異状ナシ、熱度ノ上ルハ疲労シ居ル為メナリト云ヘリ

六日、七日、八日

終日在宅加養セリ、熱度ノ上ル事モ追々減シ三十七度四分位迄トナリ

九日

当日ハ銀行ニ出勤スル積リナリシガ強風ノ為メ見合終日在宅加養セリ



十日

午前横浜ニ出勤シ欠勤中ノ事務ヲ聞キ、午後平塚ニ行ク

十一日

終日平塚ノ別荘ニ在リ、午前近傍ニ遊獵セリ

十二日

終日在荘、午前園田氏ヲ訪ヒ、午後馬入川辺へ遊獵セリ、豊川氏来訪

十三日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後東京ニ帰ル

十四日

午前松方伯ヲ訪ヒタレトモ病中ニテ令夫人ニ面会セリ、夫ヨリ大蔵省ニ行キタレトモ誰レモ不在、日本銀行ニ行キ、東京クラブニテ松方正夫〔正雄カ〕氏ニ面会シ、午後迄同所ニテ遊ヒ、四時大東氏ヲ訪ヒ、八時帰宅ス

十五日

午前横浜ニ出勤、午後四時半帰京ス

十六日

午前横浜ニ出勤、午後五時ヨリ山川氏ノ送別并自分病氣全快祝ノ為メ課長連并今西氏等ヲ佐の茂ニ招キ、九時帰京ス、当日大雪ニテ困却セリ

十七日

午前横浜ニ出勤、午後三時ヨリ平塚ニ帰ル、奥村氏帰朝面会ス

十八日

午前横浜ニ出勤、十一時之汽車ニテ日本銀行総会ニ行キ、五時帰宅ス

十九日

雨天ニ付午前在宅、午後東京クラブニ行キ、六時帰宅

二十日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後四時半帰京

二十一日

午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

二十二日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰り妻木氏トクラブニ立寄り、七時帰宅

二十三日

午前大蔵省ニ立寄銀行取締役ニテ支店支配人ヲ兼ル事ヲ相談シ、日本銀行ニ行キタレトモ総裁出勤ナシ、十二時横浜ニ出勤、午後帰京

二十四日

午前横浜ニ出勤、午後帰京クラブニ立寄り、六時帰宅

二十五日

午前横浜ニ出勤、午後三時平塚ニ帰ル

二十六日

午前近傍ニ遊獵ニ出掛ケ一時帰宅、専修学校横浜同窓会ヲ別荘ニ開十名計来会ス、高木貞作園田氏等来訪アリ

二十七日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後四時帰京

二十八日

午前横浜ニ出勤、午後四時帰京クラブニテ園田氏ニ面会シ、夫ヨリ大蔵大臣ヲ訪ヒ高橋氏日本銀行副総裁転任ノ事ヲ聞キ、夫ヨリ山本総裁ヲ訪ヒ同所ニテ高橋氏ニモ面会セリ

三月一日

午前九時横浜ニ出勤、午後四時帰京

二日

午前横浜ニ出勤シ臨時重役会ヲ開キ、高橋氏後任者又ハ支配人ノ事ヲ相談シ且高橋氏ニ贈与ノ事ヲ決セリ、午後東京ニ帰ル

三日

午前日本銀行ニ行き添田氏ヲ支配人ニ為スコトニ付相談シ、午後横浜ニ出勤五時ニテ帰京クラブニテ加藤雄氏ニ面会シテ株主中ニ議論アルコトニ付談話シ、夫ヨリ大蔵大臣ヲ訪ヒ添田氏ノ事ニ付依頼シ、九時帰宅ス

四日

午前添田氏ヲ訪ヒタレトモ不在ナリ、夫ヨリ直ニ横浜ニ出勤、午後二時半帰京、大蔵大臣ヲ貴族院ニ訪ヒ添田氏ノ事ノ返事ヲ聞キタリ

五日

午前平塚ニ行き車中ニテ浅田徳則氏ニ面会、共ニ別荘ニ行午飯ヲ喫シ散歩シタリ

六日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ支配人ノ事ヲ相談シ、四時帰京クラブニ立寄り、七時帰宅ス

七日

早朝ヨリ若尾逸平佐伯勢一郎氏等来訪アリ、松方伯ヨリ招ニ依リ官邸ニ行き支配人ノ事ノ談話アリタリ、又支那鑛山貸金ノ事ノ相談アリタリ、夫ヨリ日本銀行ニ行き支配人ノ事ヲ相談セリ、十二時ニテ横浜ニ出勤、四時半帰京、原氏ニクラブニテ会合シテ総会之事ニ付相談シ、七時帰宅ス、浜岡稲垣氏来訪蓆輸入為替ノ事ニ付相談アリタリ、又服部氏来リテ株主紛議ノ模様ヲ報告セリ

八日

午前山本総裁ヲ訪ヒ株主紛議ノ事ニ付相談シ、夫ヨリ大蔵大臣ヲ訪ヒ其模様ヲ談話シ、又原氏ヲ御殿山ニ訪ヒ此事ニ付相談シ、十一時横浜ニ出勤木村氏ト相談セリ、午後四時半帰京、クラブニテ原氏ニ面会シテ尚ホ相談シ、七時半帰宅ス

九日

午前内蔵頭渡辺氏〔渡辺千秋、渡辺国武の兄〕ヲ訪ヒ株主紛議ノ模様ヲ報告シ、夫ヨリ大蔵大臣ヲ訪ヒ同所ニテ高橋園田氏等ニ会合シ、園田氏ト共ニクラブニ行き同所ニテ相談ノ上日本銀行ニ行き、同行ニ原氏モ来リ正副総裁トモ相談之上今回更ニ増資ヲ為シ、本年下半季利益中ヨリ二三百万円ノ特別配当ヲ為シ、之ヲ新株ノ払込ノ一部ニ充ツル計画ナルコトヲ株主ニ明言シ、且此際調査役一名ヲ増シ紛議者中ヨリ之ヲ撰ムコトニテ平和ノ相談スルコト山本総裁ニ依頼シ、紛議者ノ主動者ト相談セシニ夫レニテ承諾セリ、三時半ノ汽車ニテ横浜ニ出勤、午後五時帰京、クラブニテ園田氏ニ面会シ共ニ夕飯ヲ喫シ玉突ヲ為シ、十一時帰宅

十日

午前大蔵大臣ヲ訪ヒ昨日相談ノ結果ヲ報告シ横浜ニ出勤、午後ヨリ株主総会ヲ開キ配当案役員撰挙総テ望ミ通り運ヒタレトモ、調査役一名増加ノ事ハ次ノ総会迄延スコトニ為セリ、閉会后社員ト共ニ晩食ヲ為シ十一時帰宅ス

十一日

午前大蔵大臣ヲ訪総会ノ結果ヲ報告シ、横浜ニ出勤賞与金ノ配当ヲ為シ、四時ニテ帰京、日本クラブニ行近衛公送別会ニ臨メリ、十時帰宅

十二日

午前平塚ニ行き鍋倉氏来訪セリ、午後同氏ト海浜ヲ散歩シ園田氏ヲ訪フ

十三日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後六時帰京

十四日

午前大蔵省ニ行き清国鑛山抵当貸金ノ事ニ付相談アリ、夫ヨリ日本銀行ニ行き再ヒ大蔵省ニ行き、

午後五時横浜ニ出勤、七時帰京ス、今朝山本総裁ヲ訪ヒタリ

十五日

午前横浜ニ出勤、木村氏ヨリ株主中紛議者ノ模様ヲ聞ケリ、午後三時帰京園田氏ヲ郵船会社ニ訪ヒ、夫ヨリ三野村氏ノ招ニテ浜町ノ別荘ニ行キ、十時帰宅ス、高捨氏ニ面会菅沼氏報酬ノ事ヲ相談セリ

十六日

午前九時横浜ニ出勤、停車所ニテ高捨氏ヨリ奥田氏ノ事ヲ聞キタリ、午後東京ニ帰ル

十七日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル

十八日

午前大東氏ヲ訪ヒ、夫ヨリ横浜ニ出勤午後二時半平塚ニ帰ル、守谷氏ヲ連レ近所ヲ遊獵セリ

十九日

午前川津氏ト共ニ花水川ノ近傍ニ遊獵ニ出掛タリ、午後新井銀一郎氏来リ一泊セリ

廿日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後東京ニ帰り大蔵大臣ヲ訪ヒタレトモ不在ナリ

廿一日

午前大蔵大臣ヲ訪ヒ支那ノ事ニ付相談セリ、午後在宅セリ

廿二日

午前大蔵大臣官舎ニテ公債募集ノ事ニ付大蔵省并日本銀行連中ト会議アリ、午後横浜ニ出勤、午後五時帰京、クラブニテ晚餐ヲ食シ再ヒ大蔵大臣官舎ニ到リ公債ノ事ニ付相談ヲ為シ、十一時帰宅

廿三日

午前横浜ニ出勤、龍動上海ニ書状ヲ認メ、五時帰京、園田氏ノ招ニテ常盤屋ニ行キ午後十時帰宅

廿四日

午前横浜ニ出勤、早川氏〔早川千吉郎大蔵省日本銀行監理官〕ノ龍動行ヲ船迄見送リタリ、外債ニ関スル電報ヲ中井氏ニ打タリ、午後五時帰京

廿五日

午前大蔵大臣ヲ訪ヒグラバ氏妻君ノ死去ヲ弔シ、横浜ニ出勤午後二時半平塚ニ帰ル

廿六日

午前銃ヲ携ヘ近傍ヲ散歩ス、小供等正午来ル、午後庭内ニテ松露ヲ集メ、夕刻ヨリ降雨夜ニ入り嵐トナル

廿七日

嵐止ミ日光ヲ見ル、八時横浜ニ出勤、午後五時ヨリ千歳楼ノ高橋氏送別会ニ臨ミ、九時帰京

廿八日

午前横浜ニ出勤、午後四時半平塚ニ帰ル

廿九日

午前横浜ニ出勤、午後一時帰京大蔵大臣ヲ訪フ、大蔵大臣ヨリ三崎氏〔三崎亀之助、自由党衆院議員・内務官僚・貴族院議員を経て正金入行、本店支配人から副頭取〕支配人ノ事都合出来ト返答アリ、夫ヨリ日本銀行ニ行キ右三崎氏ノ事ニ付相談シ、尚ホ本人ニ面議スル事ニ決シ、本人ニ面会シ、樺山大臣〔樺山資紀文部大臣〕并松方大臣ニ再ヒ相談スル事ヲ決シタリ

三十日

午前大蔵大臣ヲ訪ヒ三崎氏ノ事ニ付相談シ、夫ヨリ樺山大臣ヲ訪ヒタレトモ不在ナリ、三崎氏ト面会ノ上午後再三樺山大臣ヲ訪ヒ、面会ノ上三崎氏ヲ要スル事情ヲ陳述セリ、クラブニテ妻木氏ト共ニ夕飯ヲ喫シ玉突ヲ為シ、十時帰宅

三十一日

午前大蔵大臣ヲ訪ヒ同処ニテ山本総裁并三崎氏ニ面会セリ、三崎氏支配人ノ事ハ遂ニ相談纏リ、十時ノ汽車ニテ横浜ニ出勤セリ

四月一日

午後横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

二日

銀行ノ支配席并課長等及長崎市川氏等ヲ別荘ニ招キタリ

三日

午前小供等ト郊外ニ散歩青ヲ摘ミ午後在荘

四日

午前横浜ニ出勤、午後クラブニテ原氏ニ面会シテ三崎氏ヲ支配人ト為スコトニ付談話セリ

五日

午前横浜ニ出勤、重役会ヲ開キ三崎氏ヲ支配人ト為スコト并ニ不平株主ノ主ナル者ヲ招クコトヲ説明シ、午後四時半東京ニ帰り、三崎氏ヲ招キ同氏雇入ノ事ヲ決答セリ

六日

午前日本銀行ニ行き兼テ高橋氏ヨリ相談アリタル二万円ヲ同氏ニ交付セリ、重役決議ノ臨時交際五万円ハ之レニテ仕払ヒ尽セリ、夫ヨリ横浜ニ出勤、三崎氏ニ辞令ヲ渡セリ、午後二時半帰京大倉氏ノ別荘ヘ行き、九時帰宅ス

七日

午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

八日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰り山本高橋催ノ園遊会ニ紅葉館ニ行き、帰途クラブニ立寄り、八時帰宅

九日

午前向島ノ端艇競争会见物ニ出掛ケ、□□□(欠字)ト共ニ植半ニテ午飯ヲ喫シ、六時帰宅

十日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、十一時東京ニ帰ル、今朝 Denny 氏訪フ、午後七時ヨリ外人ノ招ニテツリエンタルホテルニ行

十一日

午前大蔵省并日本銀行ニ行き横浜ニ出勤、午後五時東京ニ帰ル

十二日

午前大蔵大臣ヲ訪ヒ龍動ヘ電報ノ事ニ付談話シ横浜ニ出勤、午後五時ヨリ株主ノ不平連ヲ紅葉館ニ招キ、十時帰宅ス

十三日

午前九時横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル

十四日

午前横浜ニ出勤、午後三時東京ニ帰ル、クラブニ立寄り大蔵大臣ノ招ニテ取締役一同五時ヨリ官館ニ到リ、大臣ノ訓諭ヲ聞キ夕飯ノ饗応ヲ受ケ、十時半帰宅ス

十五日

午前横浜ニ出勤午後四時平塚ヘ帰ル、父病氣ノ事ニ付荒西氏ヘ書状ヲ出セリ

十六日

午前近傍ニ遊獵ニ出掛ケ、午後在荘

十七日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後帰京、日本銀行員ヲ紅葉館ニ招キ三崎氏ノ披露ヲ為セリ

十八日

午前横浜ニ出勤、午後横浜ノ紳士ヲ千歳楼ニ招キ三崎氏新任ノ披露ヲ為セリ、十一時ニ帰宅ス

十九日

午前横浜ニ出勤、午後佐の茂ニテ横浜ノ銀行者連并実業家ヲ招キ三崎氏ノ披露ヲ為シ、十時帰京

二十日

午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

二十一日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル、紅葉館ニテ東京之紳士取引先ノ者ヲ招キ三崎氏ノ披露ヲ為セリ

二十二日

午前大蔵省并日本銀行ニ行き横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル

二十三日

午前森本氏ニ診察ヲ乞ヒ、早昼飯ニテ本郷ニ墓参シ、川田氏ノ園遊会ニ行き、六時帰宅、親族ヲ招キ祖父三十七回忌ノ法事ヲ為シタリ

二十四日

午前大蔵省ニ立寄り横浜ニ出勤、重役会ニハ木村氏ノミ出席、午後三時ヨリ園田氏方ニ行きフスタイメル氏等ニ会合セリ、此夕戸次氏来訪セリ

二十五日

午前大蔵省ニ立寄り横浜ニ出勤、午後三時帰京、高木豊三氏ヲ訪ヒ定款ノ事ヲ依頼シ、夫ヨリ銀行集会所宴会ニ八百松楼ニ行き、九時帰宅ス

二十六日

午前横浜ニ出勤、午後四時半帰京、三ツ井物産ノ招キニテ同家ノクラブニ行き、十時半帰宅

二十七日

午前理髪十時四十分横浜ニ出勤、午後四時半帰京大蔵省ニ行き、夫ヨリ神戸銀行ノ招ニテ常盤屋ニ行き、十時帰宅

二十八日

午前大蔵省并日本銀行ニ行き横浜ニ出勤、午後四時半平塚ニ帰ル、胃悪敷安眠ヲ得ス

二十九日

午前横浜ニ出勤、午後帰京大隈伯ノ招ニテ同家ニ行き、八時帰宅ス

三十日

午前外債用ニテ田尻氏宅ニ行き、午後青山博士ヲ招キ父ノ診察ヲ乞ヒ、夕刻ヨリ大弓ヲ引キ夕飯後四谷ヲ散歩セリ

五月一日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後平塚ニ帰ル、玉井氏転任ニ付謝礼ス

二日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル

三日

午前大隈伯方ニ礼参リヲ為シ、大蔵省并日本銀行ニ行き出張所ニ立寄り、十二時横浜ニ出勤、午後三時帰京紅葉館ニテ Arthur Hill 氏ヲ招キ、十時帰宅

四日

午前大蔵省ニ立寄り横浜ニ出勤、午後龍動ヨリ来電ニ付大蔵省ニ行き、六時帰宅、夕飯後大東氏ヲ訪

五日

午前岩崎弥之助氏ヲ訪ヒ、大蔵省并日本銀行ニ行き東京出張所ニ立寄り、一時半ニテ横浜ニ出勤、午後大蔵省ニ行き帰宅ス

六日

午前松尾氏ヲ訪ヒ横浜ニ出勤、午後降雨ノ為メ平塚行ヲ止メ東京ニ帰ル

七日

終日在宅、午前山川氏来リ支那巡視ノ報告ヲ聞き、夕刻戸次氏龍動電報ヲ持参スル筈ナレトモ来ラス

八日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後二時帰京、大蔵省ニ行キ、日本鉄道会社ノ招ニテ紅葉館ニ行キ、十時帰宅

九日

午前横浜ニ出勤掛ケ大蔵省ニ立寄り外債ノ事ニ付談話シ、十時ノ汽車ニテ出勤、午後平塚ニ帰ル

十日

午前横浜ニ出勤、午後五時より山川帰朝ヲ祝スル為メ、支配席其他ノ両三名社員ヲ千歳楼ニ招キ、十時帰京ス

十一日

午前十時横浜ニ出勤、午後大蔵省ニ行キ、六時ヨリ第十五銀行ノ招ニテ常盤屋ニ行キ、十時帰宅

十二日

午前横浜ニ出勤、午後一時ヨリ毛利公ノ園遊会ニ行キ、六時帰宅ス

十三日

午前増島氏ヲ訪ヒ曾良氏ノ事ヲ相談シ、直ニ横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル、直ニ新宿御園ノ園遊会ニ行キ、夕飯後吉武氏来ル

十四日

午前神奈川ニ行キ社員ノ端艇競漕会ニ臨ミ、九時帰京、直ニ田尻次官ノ宅ニ到リ龍動ヨリノ電信ヲ渡セリ

十五日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開ク

十六日

此日大蔵大臣帰京、午後九時□□□□□

十七日

午前大蔵省ニ行キ日本銀行并出張所ニ行キ、午後五時大蔵省ニ帰り、龍動ノ電報ヲ持チ乗竹氏持参セリ

十八日

午前大蔵大臣官舎ニ至リ公債ノ事ニ付相談シ、クラブニテ午飯ヲ食シ、夫ヨリ横浜ニ出勤、午後五時鶴原氏ノ送別会

十九日

午前横浜ニ出勤、午後龍動ヨリノ電信ヲ以テ松尾氏ヲ訪ヒ、七時帰宅ス、須崎夫婦来レリ

二十日

午前森本ニ行キ十時ニテ横浜ニ出勤ヨリ電信到着、午後五時帰京、直ニ松尾氏ヲ訪フ、八時帰宅

二十一日

午前大蔵大臣宅ヘ大蔵省連中ト会合シ、公債ノ事ヲ議シ終ニ相談一決、夫ヨリ直ニ横浜ニ到リ龍動ヘ電信ヲ発シ、三時半帰京、当日ハ日曜ナレトモ終日多忙ナリ

二十二日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後四時半帰京、高橋是清氏ヲ訪ヒ日本銀行引受公債価格ノ事ヲ談シ、夫ヨリ日本クラブニ行キ鶴原氏ノ送別会ニ列シ、十時帰宅

二十三日

午前横浜ニ出勤、病氣ニテ午後三時帰京ス

二十四日、二十五日

病氣ニテ終日在宅加養セリ

二十六日

病氣ノ為メ終日在宅加養

二十七日

病氣ノ為メ終日在宅加養セリ、此夜男子〔次男亀雄〕誕生母子無事ナリ  
二十八日  
病氣ノ為メ終日在宅加養セリ、波多野敬直〔佐賀出身の司法官僚〕其他種々ノ人來訪セリ  
二十九日  
重役会ノ日ナレトモ病氣ノ為メ出勤セス、午後原氏來訪青木氏ノ事ニ付談話アリ、同氏ヲ副支配人  
ニ心得ニ為スコトニ決セリ  
三十日  
午前押テ大蔵大臣官舎ニ到リ、公債ノ事ニ付談話シ、夫ヨリ横浜ニ出勤、午後五時歸京ス  
三十一日  
終日在宅加養セリ、頭部并胃部共少シ宛快方ナリ  
六月一日  
終日在宅加養セリ  
二日  
午前大蔵大臣并ニ日本銀行ヲ訪ヒ、出張所ニ立寄り十一時出勤、午後四時半歸京ス、次男ヲ亀雄ト  
名付ケリ  
三日  
午前横浜ニ出勤、園田氏來訪公債ノ始末ヲ談セリ、午後四時歸京  
四日  
午前加藤高明氏ヲ訪ヒ午前帰宅、夫ヨリ終日在宅、父ノ病甚重シ  
五日  
午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後二時歸京、父危篤  
六日  
午前三時父死去セリ  
七日、八日  
終日在宅、葬式其他ノ事ヲ指持セリ  
九日  
午前八時ヨリ父葬式ヲ青山墓地ニ営ミ、十二時帰宅  
十日  
午前墓參、終日在宅  
十一日  
午前墓參、終日在宅、腹合悪シ  
十二日  
午後二時圓通寺ニ於テ法事ヲ為シ、四時ヨリ親類亡父ノ旧友ヲ招テ夕飯ヲ供シ、父最後ノ世話ヲ為  
シ呉レタル親類ヘ金員ヲ贈与セリ  
十三日、十四日、十五日、十六日  
病氣ノ為メ在宅、或ハ近傍ヲ歩行シテ加養セリ  
十七日  
午前押シテ横浜ニ出勤、四時帰宅ス  
十八日  
午前墓參、夫レヨリ井伊家中村其他ニ回礼シ、夕刻ヨリ出入ノ者ヲ招キ夕飯ヲ供セリ  
十九日  
午前妻木氏方ニ回礼シ、横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後四時半歸京  
二十日  
午前大蔵大臣ヲ訪ヒ、大蔵省日本銀行并東京出張所ヘ行き、歸途岩崎其他ニ回礼シ、一時帰宅ス  
二十一日

午前早朝森本氏方へ行九時ニテ横浜ニ出勤、午後四時半帰京  
二十二日  
午前大蔵省并日本銀行ニ行き、出張所ニ立寄り正午横浜ニ出勤、午後四時半帰京  
二十三日  
午前九時横浜ニ出勤、午後四時半平塚ニ帰ル  
二十四日  
午前横浜ニ出勤、午後四時半平塚ニ帰ル  
二十五日  
午前ヨリ奥村三崎戸次氏等来訪、午後九時去ル  
二十六日  
午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後四時東京ニ帰ル  
二十七日  
午前大蔵大臣ヲ訪ヒ、大蔵省ニ行松尾氏ニ面会、日本銀行ニ行き午後横浜ニ出勤、五時半帰京、本日日本銀行ニテ同行引受外債価格ノ事ニ付高橋氏ヨリ談話アリタレトモ余ハ意見ヲ異ニセリ  
二十八日  
午前横浜ニ出勤、午後四時半平塚ニ帰ル、昨日ヨリ鈴子お鶴お貞等来  
二十九日  
午前横浜ニ出勤、臨時重役会ヲ開キ半季決算并社員増給ノ事ヲ相談シ、四時半平塚ニ帰ル  
三十日  
午前横浜ニ出勤半季ノ決算ヲ為シ、午後八時東京ニ帰ル  
七月一日  
午前横浜ニ出勤社員ノ昇給ヲ行ヒ、四時半平塚ニ帰ル、今朝大東ヲ訪フ  
二日  
終日平塚ニ在リ、午前飯塚氏来  
三日  
午前横浜ニ出勤重役ハ木村氏ノミ出勤依リ別段会議ヲ為サス、午後四時半東京ニ帰ル  
四日  
午前大蔵省ニ立寄銀貨払下相場ノ事ニ付相談ヲ為シ、正午横浜ニ出勤、五時半帰京、長崎氏来訪  
五日  
午前大蔵省并日本銀行ニ立寄り、龍動ニテ百万磅返納ニ付更ニ一千万円本部ニテ預ケ入ノ書面ヲ出シ、十一時横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル  
六日  
午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル  
七日  
午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル、出掛大蔵省ニ立寄ル  
八日  
午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル  
九日  
午前在宅、午後圓通寺ニ於テ亡父ノ仏事ヲ営ミ、夕親類ヲ招キ粗飯ヲ供セリ  
十日  
午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後東京ニ帰ル、昨日ヨリ咽喉ニカタルヲ起シ不快ヲ感セリ、森本氏ノ診察ヲ受ケ服薬セリ  
十一日  
終日在宅加養セリ  
十二日



午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

十三日

午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

十四日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル

十五日

午前森本氏ノ診察ヲ受ケ横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル、長崎氏来ル

十六日

終日平塚ニ在リ長崎氏ト碁ヲ囲メリ、山川氏モ来レリ

十七日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開ケリ、原氏モ出席、公債手数料日本銀行ヘ分配ノ事同氏同意セリ

十八日

午前大蔵省并日本銀行ニ立寄り横浜ニ出勤、午後帰京

十九日

午前横浜ニ出勤、夕刻ヨリ課長会ヲ開キ、十時帰京ス

二十日

午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

二十一日

少々不快ニテ終日平塚ニ在リ、小供等来レリ

二十二日

午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

二十三日

終日東浜ニ在リ、浅の夫婦来ル

二十四日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル

二十五日

午前大蔵省ニ立寄り定款改正無必要ノ件ニ関スル上申書ヲ差出シタレトモ受理不相成、夫ヨリ日本銀行ニ行キ公債募集手数ノ内一万五千磅ヲ同行ニ分配スルコトニ付相談シ、且増資六百万円重役ノ意見ヲ述ヘ同行ノ意見ヲ尋ネ置キタリ、午後横浜ニ出勤、四時半平塚ニ帰ル、今朝堀部氏ヲ訪ヒタリ

二十六日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル

二十七日

午前大蔵大臣ヲ訪ヒ増資ノ事ニ付相談シ、東京クラブニテ原氏ト会談シ、午後帰宅、五時ヨリ亀清ノ支那人招待会ニ臨ミ、十時帰宅

二十八日

午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

二十九日

午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

三十日

終日平塚ニ在リ、高橋捨六氏来訪終日碁ヲ囲メリ

三十一日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ東京ニ帰ル、午後六時ヨリ三ノ村氏ノ招ニテ浜町ノ別荘ニ行キ、兼松房次郎〔大阪の貿易商・兼松商会創設者〕ニ面会セリ

⑤〔手帳表紙〕「明治三十二年 其二 完」

八月一日

午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

二日

午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

三日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰りクラブニテ原氏ニ面会シ、七時帰宅

四日

午前森村氏ノ葬式ニ行き、夫ヨリ原氏ト共ニ日本銀行ニ行き増資ノ事ニ付相談シ、午後三時帰宅、五時ヨリ横浜ニ行き条約改正祝賀会ノフォーリエントアルホテルノ晚餐会ニ臨ミ、十二時帰京ス

五日

午前東京クラブニテ徳富猪一郎氏〔ジャーナリスト・国民新聞社主〕ニ面会シ、国民新聞ノ為メ五百円ヲ同氏ニ交付セリ、九時半ニテ横浜ニ出勤、午後四時半平塚ニ帰ル

六日

日曜ニテ終日在浜、松尾妻木朝比奈氏等来訪セリ

七日

午前横浜ニ出勤、若尾氏ヲ出浜セシメ総取締役出席会議ヲ開キ、増資ノ事ヲ左ノ通り議決セリ

一、更ニ資本金一千二百万円ヲ増加シ其半額ヲ明年三月払込ムコト

一、右ニ付日本銀行総裁并大蔵大臣ニ申請シテ其意見ヲ聞クコト

一、調査役一名ヲ増加スル為メ定款ヲ改正スルコト

右ノ外シヤンド氏并社員等公債募集ニ付尽力シタルモノニ贈与又ハ特別手当ヲ支給スル

午後四時平塚ニ帰ル

八日

午前横浜ニ出勤シ、午後東京ニ帰り常盤屋ニテ小田切領事三橋氏等ヲ招キ小宴ヲ催セリ、午後十時帰宅

九日

午前山本氏総裁ヲ訪ヒ増資ノ事ヲ相談シ、夫ヨリ日本銀行ニ行き高橋氏ニモ相談、出張所ニ立寄り一時横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル

十日

午前五時上野ヨリ並木氏同伴奈須(マ)ノ温泉場ニ行き、松方伯ニ面会シ倍額増資ノ事ノ承諾ヲ得、同所ニ一泊セリ

十一日

午前六時半同所出立、午後六時帰宅ス

十二日

奈須行道路ノ悪敷為メ非常ニ疲労セシヲ以テ終日休養セリ

十三日

日曜日ナレバ日本銀行連中ヲ立川ニ招キ鮭取ノ饗応ヲ為セリ、八時帰宅

十四日

午前渡辺内蔵頭ヲ訪ヒタレトモ不在、直ニ横浜ニ出勤重役会ヲ為シ、午後平塚ニ帰ル、羅災者ノ為メ三百円寄付ス

十五日

午前横浜ニ出勤、午後東京へ帰ル

十六日

午前高是氏ヲ訪ヒ、夫ヨリ渡辺内蔵頭ヲ訪ヒ増資ノ事ヲ談シ横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

十七日

午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

十八日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル

十九日

午前在宅、午後日本銀行総会ニ行き出張所立寄り五時帰宅、夕刻ヨリ荒西大東ヲ訪ヒ、十一時半帰宅

二十日

一番汽車ニテ添田氏ノ台湾行ヲ大磯迄見送り、同所ニテ大隈岩崎氏等ヲ訪ヒ、十一時半ニ平塚ニ帰ル

二十一日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キタレトモ木村氏ノミ出席、午後平塚ニ帰ル

二十二日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰り園田氏火災ヲ見舞、六時帰宅

二十三日

午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

二十四日

頭部工合悪敷為メ銀行ヲ休ミ、子供等ヲ連レ箱根ニ行き宮ノ下ニ投宿ス

二十五日

同所ニ滞在近傍ヲ散歩ス

二十六日

午前同所出立、正午平塚ニ帰ル

二十七日

日曜ニテ終日休息、奥居金井氏外ニ一二名来訪セリ

二十八日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後東京ニ帰ル、子供等モ平塚ヨリ同シ汽車ニテ帰京ス

二十九日

午前横浜ニ出勤午後東京ニ帰ル、此夜旧友草間三五郎氏来訪セリ

三十日

午前大蔵省日本銀行ニ行き出張所ニ立寄り二時帰宅、五時半ヨリ清人ノ招ニテ紅葉館ニ行き、九時帰宅

三十一日

午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

九月一日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル

二日

午前日本銀行并大蔵省ニ行き通知預リ金ノ事ヲ相談シ、クラブニテ午飯ヲ喫シ横浜ニ行き、夕刻ヨリ千歳楼ノ大谷氏送別会ニ臨ミ、十時帰京ス

三日

午前十時ニテ平塚ニ行き、頭部ノ工合悪敷終日加養セリ

四日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ当季配当ノ割合ヲ定メ総会ノ事ヲ相談セリ、早川氏英国ヨリ米国ヲ経テ帰着セリ、午後東京ニ帰ル

五日

午前横浜ニ出勤ス、今朝伊東小三郎氏来リ月給五十円以上ニ非レハ雇入ヲ断リタリ、午前横浜ニ出

勤、午後東京ニ帰ル

六日

午前日本銀行ニ行き総会議案并演説ノ事ニ付相談シ、第百銀行ニ行池田氏ヲ訪ヒ、午後横浜ニ出勤、五時帰京、園田氏ニクラブニテ面会シ演説旨意変更ノ事ヲ相談シ、六時帰宅

七日

午前三崎氏ヲ病院ニ訪ヒ横浜ニ出勤、木村氏演説旨意変更ノ事ヲ談シ、午後五時帰京、山川氏来着

八日

昨日伊東小三郎氏来リ再ヒ雇入ノ事ヲ依頼アリ、今朝下坂氏来訪台湾銀行ト約定ノ事ニ付依頼アリ、十時ニテ横浜ニ出勤セリ、今朝電話ニテ演説旨意変更ノ事ヲ原氏ニ相談セリ、渡辺氏調査員ヲ辞スルコト主張セラルニ付、後任者ノ事ニ付木村氏ト相談シ、夫ヨリ同氏同道ニテ帰京、クラブニテ原園田両氏会合シ、相談ノ結果阿部彦太郎氏ヲ前総会ノ行掛リ上撰挙スルコトニ決シ、十時帰宅ス

九日

昨夜ヨリ痔疾一層増長セシモ押テ横浜ニ出勤、午後ヨリ総会ヲ開キ総テ原案通り決シ午後五時帰京ス、渡辺氏ノ事ハ荒尾平沼両氏引受ケニテ再撰スルコトニ決セリ

十日

昨夜ヨリ痔疾疼痛甚敷出勤スルヲ得ス、終日平臥加養セリ、山川乘竹両氏ヲ招キ要談ヲ為シ、賞与金配当ノ事ヲ木村氏ニ依頼セリ

十一日

終日在宅加養セリ、本日ハ腹痛ヲ生セリ

十二日

痔疾ノ疼痛ハ少シク減シタレトモ腹合悪敷、終日困難セリ

十三日

腹痛ヲ生スルコト止ミタレハ、押テ十時ヨリ横浜へ出勤、特別配当等ヲ為シ、五時帰京

十四日

痔疾快方ナレトモ腹合悪ク、終日在宅加養セリ

十五日

在宅下剤薬ヲ服シ腹部ヲ一掃セリ、然レトモ腹合全治セス

十六日

腹合全治セサレトモ押テ九時半出勤、午後平塚ニ帰ル

十七日

日曜ナレハ終日平塚ニ在リ、飯塚奥居氏来訪セリ

十八日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後東京ニ帰ル

十九日

午前大蔵省ニ行所得税ノ事ニ付相談シ、日本銀行ニ行き支店ニ立寄り、十二時横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル

二十日

午前松方伯ノ病氣ヲ三田邸ニ見舞、トヲキヨウノメール新聞社ニ寄附金承諾ノ事ヲ話シ、横浜ニ出勤、午後五時半東京ニ帰ル

二十一日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル、大海原氏来訪セリ

二十二日

午前横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

二十三日

終日平塚ニ在リ、大海原浅野氏来訪

二十四日

終日平塚ニ在リ、大海原氏帰り、松居鈴太郎来リ鶴縁談ノ事ニ付談話アリ、陸子供ヲ連テ来ル

二十五日

午前横浜ニ出勤、午後大蔵大臣宅ニ到リ、支那貨幣制度改革ノ事ニ付香港上海銀行ト相談ノ上清国政府へ申立ヘキコトヲ天津出張所ニ申遣スヘキ旨ノ命ヲ聞ケリ、六時半帰宅

二十六日

早朝高平外務次官ヲ訪ヒ支那貨幣制度改革ニ関スル事情ヲ聞キ、九時二十五分ニテ横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

二十七日

午前横浜ニ出勤、奥村氏〔奥村忠三郎天津出張所主任〕より「記名シテ宜敷哉命令アリタシ」ト電報来レリ、之レハ昨日当方ヨリ貨幣制度改革ニ付香港上海銀行出張員ト協議シテ清国政府へ申込ヲ為ス手續ヲ為スヘシト云電信ニ対スルモノナリ、依テ矢野公使ヨリ外務大臣へ電報ノ通りナレハ記名スヘシト返答セリ、夫ヨリ奥村氏ニ書状ヲ出シ、二時ニテ帰京シ園田氏ニ右事件ヲ内話シ、大蔵大臣ヲ訪ヒ外務次官ト面会シテ奥村氏ヨリ電報ノ次第ヲ告、六時帰宅ス

二十八日

奥村氏ヨリ手續済ミタル旨ノ電報アリ、大蔵大臣ニ其旨ヲ報シ、外務大臣ヲ私邸ニ訪、過日来奥村氏ト往復ノ次第且右事件ヲ引受クヘキ事ヲ談シ、横浜ニ出勤、木村氏ニ右清国貨幣事件并神戸倉庫会社ノ事ヲ談セリ、午後四時平塚ニ帰ル

二十九日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰り建碑ノ事〔旧井伊直弼記念碑建立の相談〕ニ付大海原堀部其他ト八百勘ニ会シ、九時帰宅

三十日

午前日本銀行ニ行き、クラブニテ奥村氏ヨリノ電報ヲ読取り、外務大臣ヲ訪ヒ其事ヲ報告シ、クラブニテ昼飯ヲ食シ、大蔵大臣ヲ訪ヒ電報ノ事ヲ報告シ、四時帰宅ス

十月一日

午前青山ノ地所ヲ見物シ、午後原氏ノ邸ニテエイル会ノ催セシラッド博士招待ノ園遊会ニ行き、帰途クラブニテ大海原氏ニ出逢ヒ共ニヒサゴ屋ニ行き、十時帰宅ス

二日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後平塚ニ帰ル

三日

午前横浜ニ出勤、陸平塚ヨリ東京ニ帰ル筈ナリシカ急病ニテ帰ラレサル旨電話アリ、依テ午後二時半平塚ニ帰ル

四日

陸ノ病氣差シタルコトニ非レハ、午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル

五日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル、今朝鈴木口賢氏来訪雇入ノ事決ス、昨夜下痢薬ヲ服セシ為メ腹合悪シ

六日

午前横浜ニ出勤、午後帰京、増島氏方ニ行大東大海原氏等ト会食セリ

七日

少々頭痛セリ出勤ヲ見合せ加養セリ、大海原氏来訪午後暴風雨

八日

午前平塚へ行き近傍へ遊獵ニ出掛ケ五時帰宅、昨日ノ暴風雨ノ時波ハ非常ナリシ由

九日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル

十日

午前大蔵省日本銀行東京出張所ニ行き、午後二時帰宅、午後鶴三宅ト結婚、六時ヨリ親族ヲ招キ宴会ヲ開キタリ

十一日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰り、八百勘ニ大東西村大海原堀部氏等ヲ招キ小宴ヲ催セリ

十二日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル、今朝森本氏ヘ行診察ヲ受ク

十三日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル

十四日

午前横浜ニ出勤、午後川津氏ト共ニ平塚ニ帰ル

十五日

川津氏ト共ニ近傍ニ遊獵ニ出掛雨ニ逢ヒ二時半帰宅

十六日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開ク、木村氏ノミ出席、午後東京ニ帰り日本クラブニテ稲垣氏ノ送別ニ臨ミ、九時帰宅

十七日

社員ヲ江ノ島ニ招キ、午前七時ヨリ同所ニ出掛ケ、午後六時平塚ニ帰ル

十八日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル

十九日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル

廿日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル、帰途大東方ニ立寄り建碑ノ事ニ付増島河上氏等ト相談セリ

廿一日

午前日本銀行ニ行き高橋氏ニ面会、支那為替□□ノ為メ金碗買入ノ相談ヲ受ケ、横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル

廿二日

午前八十吉ト地所ノ見物ニ出掛ケ、午後綾子見合ノ為メ山本光亀（マ）氏ヲ招キ会見セリ

廿三日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、日本銀行ヨリ申込ノ金碗買入并孟買ニテ買為替引上等ノ事ヲ相談シ、五時帰宅

廿四日

午前横浜ニ出勤掛日本銀行ニ行き、支那ニテ金碗買入并孟買ニテ為替相庭引上ノ事ニ付談話シ、午後横浜ニ行き、七時帰京

廿五日

大蔵大臣ヨリノ命ニ依リ大蔵省ニ行キタレトモ大臣出省ナシ、依テ日本銀行ニ行き孟買為替ノ事ニ付論議シ、終ニ高橋氏出張ノ孟買ノ買相庭引上ノ事ハ不同意ノ決答ヲ為シ、午後横浜ニ出勤間モナク大蔵大臣ヨリ電話アリ、同大臣ヲ訪ヒ金碗買入并孟買為替相庭引上ノ事ニ付余ノ意見ヲ陳述シ、七時帰宅ス

廿六日

午前八時大蔵大臣官舎ニ田尻松尾山本高橋三崎氏等ト会シ、大臣ノ面前ニ於テ金碗買入并孟買為替相庭引上金貨輸出防止方等ニ付評議シ、遂ニ正金銀行ハ孟買為替相庭ヲ引上ケ、日本銀行ハ金貨ノ輸出ヲ防止スル手段ヲ取ルコトニ決シ、十二時横浜ニ出勤、午後六時帰京

廿七日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル

廿八日

午前大蔵省并日本銀行ニ立寄り横浜ニ出勤、午後平塚ニ帰ル

廿九日

午前川津氏ト金メ近傍ニ遊獵ニ出掛ケ、雨ニ逢テ五時平塚ニ帰ル

三十日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、過日来日本銀行ト談話ノ結果ヲ報告セリ、午後東京ニ帰ル

三十一日

午前山本龜光巖父ノ死亡ヲ弔シ、横浜ニ出勤、午後四時半帰京

十一月一日

午前大蔵大臣ヲ訪ヒブリクレイ氏ニ贈与セシコトヲ報シ、横浜ニ出勤、午後四時半帰京、昨日ヨリ頭部工合悪敷シ

二日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル

三日

午前一ノ井氏ト同伴、川越鉄道ニテ入曾近傍へ遊獵ニ出掛ケタレトモ、時節早キ為メ多クノ鳥ヲ見ス、六時帰京

四日

午前横浜ニ出勤、午後三時帰京クラブニ立寄り、六時帰宅

五日

午前ヨリ鶴送別ノ為メ子供等ト共ニ滝ノ川ニ行キ、五時帰宅

六日

午前横浜ニ出勤途中外務大臣官舎ニ立寄り夜会招ノ礼ヲ述ヘタリ、重役会ヲ開キ午後四時帰京

七日

午前大蔵省日本銀行ニ行キ、東京出張所ニ立寄り一時帰宅、午後大隈伯園遊会ニ行キ、五時帰宅

八日

午前横浜ニ出勤、夕飯ニ山川氏支配席課長等ヲ千歳楼ニ招キ、九時帰京、今朝大久保ノ地所ヲ見物セリ

九日

午前横浜ニ出勤、午後四時半帰京常盤屋ノ鰻会ニ臨ミ、十一時半帰宅

十日

午前横浜ニ出勤、午後一時帰京、大東方ニ立寄り、子供等モ同伴増島氏ノ園遊会ニ行キ、六時帰宅、今回ノ外債募集ニ付尽力セシ廉ヲ以テ銀杯一組ヲ賜リタリ

十一日

午前横浜ニ出勤、午後帰京福沢氏ノ園遊会ニ行キ、午後四時帰宅

十二日

雨天ノ為メ遅延セシカ十時ヨリ川津氏ト立川へ遊獵ニ出掛、六時帰宅

十三日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、四時帰京クラブニ立寄、七時帰宅

十四日

午前西公使ヲ訪ヒタレトモ不在、夫ヨリ大蔵大臣大蔵省日本銀行ヲ訪ヒ、横浜ニ行キ、三時帰京、三田ノ松方伯邸ノ觀桃会ニ行キ、六時帰宅

十五日

午前福沢先生方へ園遊会ノ答礼ニ行キ、夫ヨリ横浜ニ出勤、午後五時帰京

十六日

午前横浜ニ出勤、午後ヨリ定款改正案ノ調製ニ取掛リ、午後十時ニテ帰京ス

十七日  
午前横浜ニ出勤、定款改正案ノ調製ヲ為シ、税務所ヲ招ニテワリエントルホテルノ宴会ニ行き、十時帰京

十八日  
午前大蔵省并日本銀行ニ行き出張所ニ立寄り、午後一時ヨリ渡辺洪基氏結婚ノ園遊会ニ行き、夫ヨリ大蔵大臣ヲ三田ニ訪ヒ、七時帰宅ス

十九日  
午前五時ヨリ一ノ井戸次氏等ト共ニ所沢近傍ニ遊獵ニ出掛ケ、午後六時半帰宅

二十日  
午前横浜ニ出勤、重役会ヲ開キ定款改定案ヲ提出シタリ、日本銀行ニ於テ正貨流出防止ノ為メ同行勘定ニテ龍動為替売出ノコトノ手續ヲ為シ、五時帰京、高橋氏来ル

二十一日  
午前大蔵大臣ノ官舎ニ行き、松尾氏ニ面会シ定款改正案認可ノ事ヲ依頼シ、山本高橋氏等モ来会、神戸横浜ニテ兌換引替廢止ノ事ノ相談アリ、余ハ必ス金紙ノ間ニ相庭ノ差ヲ生シ商人等ヨリ苦情ヲ申立ルコトアルヘキモ、夫サヘ承知ノ上ナレハ外ニ差問ハナカルヘシト答ヘ置キタリ、十時四十五分横浜ニ出勤、午後五時帰京

二十二日  
午前横浜ニ出勤、午後四時半東京ニ帰ル、銀行クラブ晚餐会ニ臨ミ、十時帰宅ス

二十三日  
午前七時平塚ニ行き川津戸次氏等ト共ニ近傍ニ遊獵シ、六時帰宅ス

二十四日  
午前平塚ヨリ横浜ニ出勤、午後五時帰京

二十五日  
午前横浜ニ出勤、午後五時ヨリ帝国ホテルノ関東銀行会ニ行き、十時帰宅

二十六日  
午前大蔵大臣ヲ訪ヒ日清銀行ノ事ニ付様子ヲ聞キ、夫ヨリ原氏ヲ訪ヒ東京クラブニテ午後飯ヲ喫シ、商業会議所新築祝ニ行き、四時帰宅ス、須崎氏来訪セリ

二十七日  
午前大蔵省ニ行き、日本銀行ニ立寄り定款改正ノ事ニ付談話シ、出張所ニ立寄り、一時横浜ニ出勤、午後五時帰宅

二十八日  
午前六時五十分ノ汽車ニテ原園田氏等ト共ニ横浜ニ出勤、定款改正案ヲ評議シ了レリ、午後五時帰京

廿九日  
午前横浜ニ出勤、午後五時半帰京、平塚ヘ行ク積リニテ止メタリ

卅日  
午前渋谷ヘ行き、午後一時ヨリ横浜ニ出勤、午後五時半帰京、鍋倉氏ト共ニ田中屋ニテ夕飯ヲ喫シ、十時帰宅

十二月一日  
午前横浜ニ出勤、午後ロイト会社新造船ヲ見物、四時帰京、日本クラブノ近衛公爵歡迎晚餐ニ行き、十時帰宅

二日  
午前大蔵省ニ行き、日本銀行ニ立寄、出張所ニ行き、十二時ニテ横浜ニ出勤、午後地鎮祭ヲ執行建築掛ノ者ヲ夕飯ニ招キ、八時ニテ平塚ニ帰ル



三日

午前七時ヨリ要村近所ニ遊獵ニ出掛ケ、六時帰荘

四日

午前八時横浜ニ出勤重役会ヲ開、十二時東京ニ帰り、陸ト共ニ柳谷氏結婚園遊会ニ行き、夕飯後松尾氏宅ニ行発声ノ稽古ヲ始メ、十一時過帰宅

五日

午前横浜ニ出勤、午後三時東京ニ帰り、常盤屋ニテ日本銀行并正金銀行ノ重役ヲ招キ銀杯拝受ノ祝宴ヲ催セリ、十時帰宅

六日

午前横浜ニ出勤、午後五時東京ニ帰ル

七日

午前横浜ニ出勤、午後五時東京ニ帰ル、須崎氏来リ共ニ夕飯ヲ喫ス

八日

午前大東氏妻君ノ病氣ヲ訪ヒ、十時横浜ニ出勤、午後四時帰京、近衛公爵ノ招ニテ常盤屋ニ行き、午後十時帰宅

九日

午前横浜ニ出勤、午後二時半平塚ニ帰ル

十日

午前ヨリ銀行社員ヲ招キ銀杯拝領ノ祝宴ヲ催シタリ

十一日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後三時帰京、三ツ井集会所ニテ催シタル実業紳士ノ集会ニ行き、井ノ上伯ノ談話ヲ聞、十時帰宅

十二日

午前大蔵大臣ヲ訪ヒ、日本銀行ニ行き、出張所ニ立寄、横浜ニ出勤、午後五時帰京、松尾氏方ニ行き、十二時帰宅

十三日

午前横浜ニ出勤、午後五時同伸会社ノ招キニテ佐の茂楼ニ行、八時帰京

十四日

大東氏ノ妻君昨夜ヨリ危篤トノ報アリ、九時ヨリ赤十字病院ニ同君ヲ見舞ヒタルニ、終ニ十一時頃死去セラレタリ、午後五時ヨリ子供祝ノ為メ親類ヲ招キ小宴ヲ開キ、九時ヨリ大東ヘ行き、二時帰宅

十五日

午前横浜ニ出勤、午後四時半帰宅、日本クラブノ晚餐会ニ行、十時帰宅

十六日

午前横浜ニ出勤、午後四時帰京、大東ニ行き、三時帰宅

十七日

午前大東ノ葬式ニ行き一時帰宅、午後在宅、須崎小田柿氏等来ル

十八日

午前横浜ニ出勤重役会ヲ開キ、午後五時帰京

十九日

午前横浜ニ出勤、午後一時半帰京、小田柿氏結婚式ニ臨ミ、午後九時帰宅

二十日

午前大蔵大臣ヲ訪ヒ、大蔵省日本銀行ニ行き、出張所ニ立寄、横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル

二十二日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル、銀行クラブノ忘年会ニ行き、十一時帰宅

二十三日

午前横浜ニ出勤、午後臨時総会ヲ聞キ、五時帰京、井上伯ノ集会ノ為メ三井クラブニ行キ、十時帰宅、同集会ヲ有楽会ト名ケリ

二十四日

午前在宅、午後子供ヲ連銀座ニ行キ、夕飯後松尾氏宅ニ行キ、十一時半帰宅

二十五日

午前横浜ニ出勤、山川氏モ来リ談話セリ、同氏并支配席ノ者ト共ニ夕飯ヲ喫シ、十一時帰宅、常盤ノ払ヲ為セリ

二十六日

午前大蔵大臣ヲ三田ニ訪ヒタレトモ鎌倉ヘ行カレタル後ナリ、夫ヨリ横浜ニ出勤、午後二時半ヨリ大蔵大臣ヲ鎌倉ニ訪龍動電信ノ事ヲ告ケ、平塚ニ行キ一泊ス、税金并大工等ノ支払ヲ為セリ

二十七日

午前横浜ニ出勤、午後東京ニ帰ル

二十八日

午前横浜ニ出勤、午後東ニ帰ル

二十九日

午前横浜ニ出勤、午後五時半東京ニ帰ル

三十日

午前横浜ニ出勤、午後五時半東京ニ帰ル

三十一日

日曜日ナレトモ年末ナルヲ以テ銀行営業ヲ為シ、午後九時ヨリ銀行ニ出勤、重役会ヲ開キ半季ノ決算并役員昇級等ノ事ヲ相談シ、金庫ノ検査等ヲ為シ、六時過キ汽車ニテ帰京、帰宅シテ年ヲ送レリ

## 《目録》 相馬家文書

作成：専修大学総務部大学史資料課

本目録は、専修大学が所蔵する相馬家文書を目録化したものである。相馬家文書を4つに分類している。1つ目は『専修大学百年史』編纂過程において、孫の相馬勝夫氏から寄贈された日記類を含む相馬永胤に関わる資料群（相馬家文書A）、2つ目は、大学史資料課書庫に風呂敷で包んだ状態で保管されていた相馬家に関わる近世文書（相馬家文書B）、3つ目は、相馬勝夫氏のご子息より寄贈された相馬勝夫氏に関わる資料群（相馬家文書C）、そして4つ目は、相馬永胤の姪にあたる小田千代子氏が所蔵していた資料群（相馬家文書D）である。

この目録は、その4つの文書群に通し番号を振って、すべて1つの文書群としてまとめた。備考欄にある「旧A1」とあるのは、旧番号にあたる。

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
1	(英文日記)	差出・相馬永胤	明治9年1月1日～12月31日	1	表紙破損、旧A1
2	(英文日記)	差出・相馬永胤	明治10年1月1日～12月31日	1	旧A2
3	(英文日記)	差出・相馬永胤	明治11年1月1日～12月31日	1	旧A3
4	(英文日記)	差出・相馬永胤	明治12年1月1日～12月31日	1	メモ12枚あり、旧A4
5	(英文日記)	差出・相馬永胤	明治13年1月1日～6月30日	1	旧A5
6	(メモ)	差出・相馬永胤	明治13年11月26日～11月27日	1	旧A6
7	(和文・英文日記)	差出・相馬永胤	明治13年7月1日～明治14年10月24日	1	旧A7
8	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治15年1月1日～4月23日、 同11月1日～12月29日	1	旧A8
9	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治16年1月1日～4月3日	1	杉浦久夫の名刺挟み込み、旧A9
10	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治16年7月17日～8月23日	1	旧A10
11	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治16年8月16日～11月27日	1	旧A11
12	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治16年9月4日～9月22日	1	旧A12
13	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治17年1月1日～8月24日	1	旧A13
14	(英文日記)	差出・相馬永胤	明治17年9月14日～12月31日	1	旧A14
15	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治17年8月13日～8月20日	1	13に一部転記、旧A15
16	(英文日記)	差出・相馬永胤	明治18年4月5日～7月28日	1	旧A16
17	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治21年1月1日～12月31日	1	相馬勝夫のメモ2枚あり、旧A17
18	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治23年1月1日～4月20日	1	会計は12月31日まで記帳、旧A18
19	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治24年1月1日～4月14日	1	会計は12月31日まで記帳、旧A19
20	(英文日記)	差出・相馬永胤	明治24年5月19日～6月11日	1	上海出張、旧A20
21	(和文・英文日記)	差出・相馬永胤	明治25年11月17日～12月9日(和文)、 同12月21日～12月27日(英文)	1	旧A21
22	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治26年1月1日～5月24日	1	旧A22
23	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治27年5月5日～6月30日	1	欧米旅行記、旧A23

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
24	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治27年7月1日～ 10月31日	1	欧米旅行記、旧A24
25	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治27年11月1日～ 12月31日、 明治28年1月1日～5 月13日	1	旧A25
26-1	(包紙)			1	「明治廿七、八年世界 巡遊日記稿本」と記載 あり、旧A26-1
26-2-1	巡回日記	差出・相馬永胤	明治27年4月13日～ 同年4月24日	1	旧A26-2-1
26-2-2	(巡回日記)	差出・相馬永胤	明治27年4月25日～ 同年4月28日	1	旧A26-2-2
26-2-3	(巡回日記)	差出・相馬永胤	明治27年4月28日～ 同年5月7日	1	旧A26-2-3
26-2-4	(巡回日記)	差出・相馬永胤	明治27年5月8日～ 同年5月31日	1	旧A26-2-4
26-3-1	(巡回日記)	差出・相馬永胤	明治27年6月1日～ 同年6月13日	1	旧A26-3-1
26-3-2	(巡回日記)	差出・相馬永胤	明治27年6月13日～ 同年6月21日	1	旧A26-3-2
26-3-3	(巡回日記)	差出・相馬永胤	明治27年6月22日～ 同年7月10日	1	旧A26-3-3
26-3-4	(巡回日記)	差出・相馬永胤	明治27年7月11日～ 同年7月18日	1	旧A26-3-4
26-3-5	(巡回日記)	差出・相馬永胤	明治27年7月19日～ 同年8月8日	1	旧A26-3-5
26-4-1	(巡回日記)	差出・相馬永胤	明治27年8月9日～ 同年8月21日	1	旧A26-4-1
26-4-2	(巡回日記)	差出・相馬永胤	明治27年8月22日～ 同年8月27日	1	旧A26-4-2
26-4-3	(巡回日記)	差出・相馬永胤	明治27年8月28日～ 同年9月11日	1	旧A26-4-3
26-4-4	(巡回日記)	差出・相馬永胤	明治27年9月12日～ 同年9月27日	1	旧A26-4-4
26-4-5	(巡回日記)	差出・相馬永胤	明治27年9月28日～ 同年10月12日	1	旧A26-4-5
26-5-1	(巡回日記)	差出・相馬永胤	明治27年10月13日 ～同年10月19日	1	旧A26-5-1
26-5-2	(巡回日記)	差出・相馬永胤	明治27年10月20日 ～同年10月24日	1	旧A26-5-2
26-5-3	(巡回日記)	差出・相馬永胤	明治27年10月25日 ～同年10月30日	1	旧A26-5-3
26-5-4	(巡回日記)	差出・相馬永胤	明治27年10月31日 ～同年11月9日	1	旧A26-5-4
26-5-5	(巡回日記)	差出・相馬永胤	明治27年11月10日 ～同年11月16日	1	旧A26-5-5
26-5-6	(巡回日記)	差出・相馬永胤	明治27年11月17日 ～同年11月27日	1	旧A26-5-6
26-5-7	(巡回日記)	差出・相馬永胤	明治28年1月2日～ 同年1月27日	1	旧A26-5-7

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
26-6-1	(巡回日記)	差出・相馬永胤	明治27年11月28日 ～同年12月6日	1	旧A26-6-1
26-6-2	(巡回日記)	差出・相馬永胤	明治27年12月7日～ 明治28年1月1日	1	旧A26-6-2
27	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治29年5月1日～ 12月26日	1	旧A27
28	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治30年4月19日～ 9月25日	1	旧A28
29	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治30年9月26日～ 12月31日、 明治31年1月1日～3 月31日	1	旧A29
30	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治31年4月1日～ 10月31日	1	旧A30
31	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治31年11月1日～ 12月31日、 明治32年1月1日～7 月31日	1	旧A31
32	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治32年8月1日～ 12月31日	1	旧A32
33	(和文・英文日記)	差出・相馬永胤	明治33年1月1日～4 月24日(和文)、 同4月25日～9月3日 (英文)	1	旧A33
34	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治33年9月3日～ 12月31日、 明治34年1月1日～ 12月31日	1	旧A34
35	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治35年1月1日～ 12月31日	1	旧A35
36	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治36年1月1日～ 11月7日	1	旧A36
37	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治36年11月8日～ 12月31日、 明治37年1月1日～6 月30日	1	旧A37
38	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治37年7月1日～ 12月31日、 明治38年1月1日～6 月30日	1	旧A38
39	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治38年7月1日～ 12月31日、 明治39年1月1日～3 月31日	1	旧A39
40	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治39年4月1日～ 11月30日	1	旧A40
41	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治39年12月1日～ 12月31日	1	旧A41
42	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治39年8月27日～ 9月5日	1	旧A42

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
43	(銃獵日記)	差出・相馬永胤	明治39年10月15日 ～明治40年4月2日	1	旧A43
44	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治40年1月1日～ 11月30日	1	旧A44
45	(銃獵日記)	差出・相馬永胤	明治40年10月15日 ～10月30日	1	旧A45
46	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治40年12月1日～ 12月31日、 明治41年1月1日～ 12月31日	1	旧A46
47	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治42年1月1日～ 12月28日	1	旧A47
48	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治43年1月1日～ 12月31日	1	旧A48
49	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治44年1月1日～ 12月31日	1	旧A49
50	(和文日記)	差出・相馬永胤	明治45年1月1日～4 月4日	1	旧A50
51	(和文日記)	差出・相馬永胤	大正3年1月1日～3 月27日	1	旧A51
52	(和文日記)	差出・相馬永胤	大正4年1月1日～8 月12日	1	旧A52
53	(和文日記)	差出・相馬永胤	大正5年1月1日～12 月31日	1	旧A53
54	(和文日記)	差出・相馬永胤	大正6年1月1日～12 月31日	1	旧A54
55	(和文・英文日記)	差出・相馬永胤	大正7年1月1日～4 月17日	1	旧A55
56	(和文日記)	差出・相馬永胤	大正8年1月1日～12 月31日	1	東京商業高等学校・陸 軍大学ジョン・アイル ズの名刺挟み込み、旧 A56
57	(和文日記)	差出・相馬永胤	大正9年1月1日～12 月31日	1	旧A57
58	(和文日記)	差出・相馬永胤	大正10年1月1日～ 12月31日	1	旧A58
59	(和文日記)	差出・相馬永胤	大正11年1月1日～ 12月31日	1	旧A59
60	(手帳)	差出・相馬永胤	大正11年1月1日～ 12月31日	1	未記入多し、旧A60
61	(和文日記)	差出・相馬永胤	大正12年1月1日～ 12月31日	1	旧A61
62	(和文日記)	差出・相馬永胤	大正13年1月1日～1 月17日	1	旧A62
63	明治九年- (A) 相馬永胤 日記	写・相馬勝夫ほか1名		1	写本ノート、旧A106
64	明治九年相馬永胤日記-B	写・相馬重子		1	写本ノート、旧A107
65	明治十年相馬永胤日記 (写本ノート) - (A)	(写・相馬家)		1	写本ノート、旧A108
66	明治十年相馬永胤日記 写本ノート- (B)	(写・相馬家)		1	写本ノート、旧A109-1

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
67	相馬永胤手記一覧 (日記及び宿所帳ほか整理状況につき)	差出・相馬勝夫	昭和48年6月16日	1	旧A109-2
68	宿所帳	差出・相馬永胤	(大正4年頃～12年頃)	1	旧A110
69	(宿所帳)	差出・相馬永胤	(明治4年～12年)	1	滞米時代、旧A111
70	(宿所帳)	差出・相馬永胤	(明治20年代カ)	1	旧A112
71	彦根出身在官者ノ姓名簿		(明治15年頃)	1	旧A113
72	(小遣帳)	差出・相馬永胤	明治8年	1	英文、巻末に住所録あり、旧A114
73	(銀行小切手帳)		(明治10年～12年)	1	「The National New Haven Bank」ほか、旧A115
74	相馬永胤翁懷舊記	著者・相馬永胤	(大正10年頃)	1	旧A116-1
75	相馬信齋先生傳	著者・中里日勝／撰・東京赤坂圓通寺住持沙門日勝	発行・大正14年1月25日	1	漢文、旧A117-1
76	相馬信齋先生傳 (稿本)	(著者・中里日勝)	大正14年1月	1	旧A117-3
77-1	相馬永胤翁遺風 (稿本)	著者・薄田斬雲	(昭和22年～23年頃)	1	封筒共、77-2と一括、旧A118-1
77-2	薄田斬雲氏のこと	差出・相馬勝夫		1	77-1と一括、旧A118-2
78-1	(葉書、永胤先生伝は其後お送りの日記を清書につきほか)	差出・薄田斬雲／受取・相馬勝夫様		1	78-1～7まで一括、旧A123-1
78-2	(葉書、昨二日出京につき当分滞在の旨)	差出・薄田斬雲／受取・相馬勝夫様	(昭和)4月3日	1	78-1～7まで一括、旧A123-2
78-3	(葉書、小生軽い脳溢血で足が不自由につきお出を待つ旨)	差出・薄田斬雲／受取・相馬勝夫様	(消印・昭和28年)5月9日	1	78-1～7まで一括、裏面に地図あり、旧A123-3
78-4	(書状、専修大学の昇格年月日ほか問合せにつき)	(差出・薄田斬雲／受取・相馬勝夫様)		1	78-1～7まで一括、封筒共、旧A123-4
78-5	(書状、永胤先生在米時の日記も挿入につき賑やかになる予定の旨ほか)	差出・薄田斬雲／受取・相馬勝夫侍史	(昭和21年11月23日)	1	78-1～7まで一括、封筒共、裏面「頭山満翁の眞面目」、旧A123-5
78-6	(封筒)	差出・相馬勝夫／受取・薄田貞敬様	(9月24日)	1	78-1～7まで一括、書籍在中と記載あり、旧A123-6
78-7	(相馬永胤日記参考資料)	(差出・相馬勝夫)		1	78-1～7まで一括、旧A123-7
79	相馬永胤先生略伝 田尻稻次郎先生年譜	発行・専修大学	発行・大正13年11月22日	1	旧A125
80	巡廻記 乾	(著者・相馬永胤)	明治27年4月13日～8月27日	1	欧米出張記録、旧A126-1
81	巡廻記 坤	(著者・相馬永胤)	明治27年8月28日～明治28年1月26日	1	欧米出張記録、旧A126-2
82	相馬信齋君墓碑	撰・仏智山円通寺沙門日勝	大正14年1月	1	旧A128



ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
83	大観院経邦信齋日誠居士 大祥忌展墓并引		大正15年1月4日	1	旧A129
84	履歴 (相馬永胤履歴書)	(差出・相馬永胤)	明治14年12月日	1	元老院の朱筆あり、旧 A130
85	履歴 (相馬永胤履歴書)	(差出・相馬永胤)	大正6年	1	旧A131
86	履歴書 (相馬永胤)	差出・相馬永胤	大正6年11月	1	旧A132
87	履歴 (横浜商業会議所内 横浜市史編輯に付起稿の 旨)	差出・相馬永胤	(明治39年)	1	旧A134
88	(相馬永胤講話草案骨 子、米国への留学及び見 聞談につき)	差出・相馬永胤	(大正)	1	袋「相馬永胤遺稿」に 在中、旧A135
89	(相馬永胤講話稿本、米 国への留学及び見聞談に つき)	差出・相馬永胤	(大正)	1	袋「相馬永胤遺稿」に 在中、旧A136
90	(書状、永胤先生事蹟に 関する森作太郎氏の寄稿 送付につき)	差出・鶴岡伊作／受取・ 相馬勝夫様梧下	昭和11年3月28日	1	封筒共、96と同封、旧 A137
91	第二補足 (書状、相馬君 駒町善国寺谷の教授所に 入塾につき補足の旨)	差出・森作太郎／(受 取・阪谷芳郎殿)	大正14年7月2日	1	封筒共、95と同封、旧 A138
92	弔辞 (相馬永胤葬儀につ き)	差出・専修大学教職員総 代・理事・小林丑三郎	大正13年1月31日	1	弔詞入・包紙共、旧 A139
93	弔辞 (相馬永胤葬儀につ き)	差出・専修大学学生会総 代・山本覚逸	大正13年1月31日	1	包紙共、旧A140
94	(弔詞、相馬永胤葬儀に つき)	差出・専修大学同窓会	大正13年1月31日	1	包紙共、旧A141
95	弔辞 (相馬永胤葬儀につ き)	差出・専修大学同窓会台 湾支部長・津久井誠一郎	大正13年1月31日	1	包紙共、旧A142
96	『英米売買法』	著者・相馬永胤	緒言・明治14年11 月	1	表紙に「自用」、本文 に朱筆あり、旧A143
97	『英米売買法 再版 THIRD EDITION』	著者・相馬永胤	三版・明治17年9月 16日	1	旧A144
98	『動産ノ売買法』	講義・相馬永胤／筆記・ 三浦恒吉	(明治)	1	目次と大尾には「英米 売買法」とあり、旧 A145
99	『動産売買法』	講義・相馬永胤／筆記・ 三浦恒吉	(明治)	1	合冊製本 (『英国訴訟 法』)、旧A146
100	(売買法草稿)	(差出・相馬永胤)	(明治)	1	旧A147
101	英米流通証書法 (稿 本)	(著者・相馬永胤)	(明治)	1	旧A149
102	『相続法 全』	講義・相馬永胤先生／筆 記・専修学校生徒	印行・明治15年12 月	2	旧A150
103	『米国紐育州訴訟法』	講義・相馬永胤先生／筆 記・専修学校生徒	(明治)	1	旧A151-1
104	『米国紐育州訴訟法 全』	講義・相馬永胤先生／筆 記・専修学校生徒	印行・明治16年第2 月	1	専修学校教科書、旧 A151-2

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
105	『増補米国訴訟法 完』	著者・相馬永胤	出版・明治17年3月	1	専修学校教科用本、旧A152
106	『日本現行訴訟法要領 完』	著者・相馬永胤	出版・明治16年9月	1	専修学校教科用本、旧A153-1
107	『日本現行訴訟法要領 完 第貳版』	著者・相馬永胤	出版・明治17年9月	1	専修学校教科用本、旧A153-2
108	著作権免許之證（『日本現行訴訟法要領』の著作権免許につき）	差出・内務卿・山田顕義（／受取・相馬永胤）	明治16年9月13日	1	旧A154
109	（日本現行訴訟法稿本）	（著者・相馬永胤）	（明治）	1	4綴、旧A155
110	『英国破産法』	講義・相馬永胤	（明治）	1	㊟（相馬蔵書）あり、旧A156
111	科外講義筆記第一回（稿本、科外銀行取引概論）	講述・相馬永胤／筆記・大原哲治	（明治）	1	旧A157
112	科外講義第二回（稿本、科外銀行取引概論）	（講述・相馬永胤／筆記・大原哲治）	（明治）	1	旧A158
113	法律大意草案	差出・相馬氏（永胤）	（明治）20年3月上旬	1	第4章～第14章、旧A159
114	法律大意（草案）	（差出・相馬永胤）	（明治）20年3月上旬	1	第1章～第3章、旧A160
115	国際私法（稿本）	（差出・相馬永胤）	（明治）	1	旧A161
116	強認法要領（稿本）	（差出・相馬永胤）	（明治）20年頃カ）	1	『明法志林』130～135号に掲載カ、旧A162
117	権理ノ説（稿本）	差出・相馬永胤	（明治）	1	旧A163
118	英国倒産法抜萃（稿本）	（差出・相馬永胤）	（明治）	1	旧A164
119-1	改纂英国破産条例（稿本）	（差出・相馬永胤）	（明治）	1	第1条～第14条、綴の始めに第17節から第23節までの条文あり、119-1～3まで一括、旧A165-1
119-2	（英国破産法稿本）	（差出・相馬永胤）	（明治）	1	第15条～第20条、119-1～3まで一括、旧A165-2
119-3	（英国破産法稿本）	（差出・相馬永胤）	（明治）	1	第45条～第51条、119-1～3まで一括、旧A165-3
120	（英米流通証書法稿本）	（差出・相馬永胤）	（明治）	1	一部分のみ、旧A166
121-1	（為替手形法稿本）	（差出・相馬永胤）	（明治）	1	第1篇～第2篇、121-2と一括、旧A167-1
121-2	（為替手形法稿本）	（差出・相馬永胤）	（明治）	1	第1篇～第2篇、121-1と一括、旧A167-2
122	（英国結婚婦の財産法稿本）	（差出・相馬永胤）	（明治）	4	各一部分のみ、旧A168
123	『横浜正金銀行史 第一章』		（大正9年頃カ）	1	未定稿、旧A169
124	『横浜正金銀行史 第二章』		（大正9年頃カ）	1	未定稿、旧A170
125	『横浜正金銀行史 第三章』		（大正9年頃カ）	1	未定稿、旧A171
126	『横浜正金銀行史 第四章』		（大正9年頃カ）	1	未定稿、旧A172

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
127	『横浜正金銀行史附録 甲巻ノ二』		大正9年11月印刷	1	表紙・裏表紙破損、旧 A173
128	『横浜正金銀行史附録 甲巻ノ三』		大正9年11月印刷	1	旧A174
129	『横浜正金銀行史附録 乙巻』		大正9年11月印刷	1	旧A175
130	(書状、横浜正金銀行史 第一章・第二章未定稿送 付につき)	差出・編纂委員／受取・ 相馬永胤殿	大正8年12月31日	1	旧A176
131	(書状、横浜正金銀行史 第三章草稿送付につき)	差出・横浜正金銀行史編 纂係／受取・相馬永胤様 侍史	大正9年3月24日	1	封筒共、旧A177
132	(書状、横浜正金銀行史 第四章草稿送付につき)	差出・横浜正金銀行・梶 原仲治／受取・相馬永胤 殿	大正9年5月13日	1	封筒共、旧A178
133	『専修大学相馬田尻文庫 図書目録』	発行・専修大学	印刷・大正2年8月 10日	1	旧A179
134	(書状、書籍寄贈につき 感謝の旨)	差出・専修学校 <sup>㊤</sup> ／受 取・相馬永胤殿	明治44年9月12日	1	封筒共、寄贈書籍の目 録あり、旧A180
135	相馬先生還暦記念文庫寄 附人名		明治44年	1	箱共、卷子、旧A181
136	『安井息軒先生』	著者・若山甲蔵	発行・大正2年12月 26日	1	旧A182
137	息軒先生会ノ会員宿所		(大正4年)	1	包紙共、旧A183
138	列席諸君(安井翁祝賀会 列席者名につき)		(大正4年12月)	1	旧A184
139	証(安井翁祝賀会飲食代 金26円受領の旨)	差出・富士見軒・青柳唯 吉／受取・安井翁祝賀会 御中	大正4年12月12日	1	旧A185
140	『明法志林』(第1号～第 12号)		(発行・明治14年3 月15日～明治14年9 月1日)	1	合冊、旧A186
141	『明法志林』(第25号～ 第36号)		(発行・明治15年3 月15日～明治15年9 月1日)	1	合冊、旧A187
142	『明法志林』(第77号～ 第88号、第90号)		(発行・明治17年6 月1日～明治18年1 月1日)	1	合冊、旧A188
143	THE PEEKSKILL ACADEMY Graduate's Certificate. For the Commercial Course (卒業 証書)	差出・Principai・ Charles. S. Wright Robert Donald／受取・ 相馬永胤	明治8年6月17日	1	ピークスキルアカデ ミー 商業課程卒業、 旧A189
144	THE TRUSTEES OF COLUMBIA COLLEGE, In the City of New York (卒業証書)	受取・NAGATANE SOMA	明治10年5月	1	コロンビアカレッジ卒 業、旧A191
145	及第証書(東京馬術練習 所規定教程の中等3級に及 第につき)	差出・幹事長大勲位貞愛 親王 <sup>㊤</sup> ／受取・相馬永胤	明治22年11月24日	1	旧A193

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
146	卒業証書 (東京馬術練習所規定教程卒業につき)	差出・幹事長正三位勲一等子爵三浦梧楼 <sup>㊤</sup> ／受取・相馬永胤	明治29年4月12日	1	旧A194
147	大札記念章之証	差出・賞勲局総裁従二位勲三等伯爵正親町実正 <sup>㊤</sup> ／受取・従五位勲三等相馬永胤	大正4年11月10日	1	旧A195
148	(表彰状、多年教育に功労につき学制頒布五十年記念に際し表彰の旨)	差出・文部大臣正四位勲二等鎌田栄吉／受取・専修大学長・従五位勲三等相馬永胤	大正11年10月30日	1	418にメダルあり、旧A196
149	(書状、学制頒布五十年記念祝典欠席に付記念品の旨)	差出・学制頒布五十年記念祝典準備委員長・下村寿一／受取・相馬永胤殿	(大正11年)11月10日	1	封筒共、旧A197
150	(書状、特旨を以て正五位に叙任につき位記及び辞令送付の旨)	差出・大蔵大臣秘書官 <sup>㊤</sup> ／受取・相馬永胤殿	大正13年1月30日	1	324に辞令あり、旧A198
151	Robert Dweld書簡	受取・相馬永胤	明治12年8月5日	1通	「保存すべき米国先生書状入」①、旧A199
152	Robert Dweld書簡	受取・相馬永胤	明治13年6月5日	1通	「保存すべき米国先生書状入」②、旧A200
153	Simeon E. . BALDWIN書簡	受取・相馬永胤	明治13年6月16日	1通	「保存すべき米国先生書状入」③、旧A201
154	Simeon E. . BALDWIN書簡	受取・相馬永胤	明治13年1月19日	1通	「保存すべき米国先生書状入」④、旧A202
155	(書状、相馬永胤逝去につき哀悼の旨ならびに永胤の履歴切望につき)	差出・Marion L. . Phillips／受取・相馬永胤家族	昭和8年12月20日	1通	英文、相馬勝夫の返信草稿共、旧A203
156	A Short Story (3人の子どもをもった老人の物語)	差出・N. Soma	(明治6～7年頃カ)	1	英文、旧A204-1
157	The Short History of Japan (日本小史稿本)	差出・N. Soma	明治6年10月12日	1	英文、州立農業大学時代、旧A205-1
158	(稿本、嵐にあった女性の物語)	(差出・相馬永胤)		1	英文、旧A206-1
159	Progress in Japan (日本の進歩)	差出・N. Soma		1	英文、旧A207-1
160	The impossibility of performance as defence to an action upon Contract (稿本)	(差出・相馬永胤)	(明治)	1	英文、履行不可能の契約防止行為カ、166と同封、旧A208-1
161	New York, Jan 4, 1877 Moot Curt, Case7. Eastman v. Manufacturing Co (稿本)	(差出・相馬永胤)	(明治)	1	英文、判例カ、165と同封、旧A208-2
162	Book III Real Estate (不動産講義筆記)	(差出・相馬永胤)	明治10年1月14日～4月23日	1	英文、168と同封、旧A209-1
163	相馬永胤滞米中の文書 (関係資料一覧書上)	(差出・相馬勝夫)		1	英文、167と同封、旧A209-2

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
164	(判例研究ノート)	(差出・相馬永胤)	明治10年	1	英文、裏表紙に「紀元千八百七十七年四月廿七日虎龍尾矢法律学校褒賞試験」と記載あり、旧A210
165	Junior Class Note Book I (講義ノート)	(差出・相馬永胤)	明治10年10月9日～11月23日	1	英文、表紙に「誰知人世似浮舟 大日本学生相馬永胤 米国新府「コロンビヤ」法律学校」と記載あり、旧A211
166	(判例研究ノート)	(差出・相馬永胤)	(明治)	1	英文、裏表紙に「大日本学生相馬永胤」と記載あり、旧A212
167	(判例メモ及び米国の移民問題につき)	(差出・相馬永胤)	(明治)	1	英文、和文、旧A213
168	(判例メモ)	(差出・相馬永胤)	(明治)	1	英文、旧A214
169	(判例メモ)	(差出・相馬永胤)	(明治)	1	英文、旧A215
170	(動産ノ売買法稿本)	(差出・相馬永胤)	(明治)	1	英文、和文、旧A216
171	日本法律会社記録		明治9年10月7日～11年3月25日	1	旧A217
172	日本法律社会計簿		明治9年1月21日～12月31日、明治10年1月13日～5月19日	1	英文、旧A218
173	憲法 (日本法律会社の規約につき)		明治9年5月26日	1	正誤よび追加・増補あり、旧A219
174	Dictionary of Law Terms Vol. I (稿本)		(明治11年頃カ)	1	法律語彙を訳出したもの、A～Oまで、旧A220
175	法詞訳集 (稿本)		(明治12～13年頃カ)	1	法律上の専門用語を訳出したもの、A～Dまで、旧A221
176	THE MINT OF THE UNITED STATES ANNUAL ASSAY 1894 (アメリカ造幣局製メダル)		明治27年	1	裏面に「REM ACU」と記載あり、旧A222
177	NEW YORK MILITARY ACADEMY U. S. N. Y (ニューヨーク陸軍士官学校徽章)		(明治27年カ)	1	箱共、旧A223
178	5TH WELCOME FRESHMAN (専修大学体育会本部メダル)		昭和41年4月20日	1	箱共、箱に「祝新人歓迎会専修大学体育会本部」と記載あり、旧A224
179-1	専修大学学生襟章		(昭和40年11月22日)	1	箱共、箱裏に「学生襟章着用心得」の記載あり、179-2と一括、旧A225-1
179-2	(専修大学弓道部襟章)	製造・KK光工芸		1	箱共、179-1と一括、旧A225-2
180	『歴史参考往古江戸全図』	編集・発行・鈴木豊	発行・明治37年11月	1	旧A226

ID	資料名 (内容)	差出・差出など/受取	対象年月日	数量	備考
181	証 (其方へ家督相讓候につき)	差出・相馬右平次 <sup>㊟</sup> ほか1名/受取・相馬永胤殿	明治12年10月8日	1	封筒共、旧A227
182	落手証 (四谷仲町の家作其他讓渡につき)	差出・大東徹/受取・相馬永胤殿	明治14年8月30日	1	旧A228
183	(平塚別荘開墾地価修正につき通知)	差出・大磯税務署長山崎清之助 <sup>㊟</sup> /受取・相馬永胤	明治42年3月28日	1	旧A229
184	(相馬永胤邸奉公人担当表)		(明治43年12月4日以後カ)	1	旧A230
185	(書状、御用のため礼服用出陣の旨)	差出・元老院/受取・滋賀県士族相馬永胤	明治13年1月17日	1	封筒共、旧A231
186-1	(辞令、月俸金100円の旨)	差出・元老院/受取・相馬永胤	明治13年1月19日	1	包紙共、186-2と一括、旧A232-1
186-2	(相馬永胤履歴書、第一課職務掛より差出の旨)		(明治13年1月19日)	1	186-1と一括、旧A232-2
187	(辞令、第二課附属申付候につき)	差出・元老院/受取・相馬永胤	明治13年1月19日	1	旧A233
188	(辞令、訴訟法取調委員局掛申付候につき)	差出・元老院/受取・相馬永胤	明治13年1月19日	1	旧A234
189	(書状、元老院雇中取扱の残務の為引続当分出陣の旨)	差出・三好権大書記官/受取・附属代言人相馬永胤殿	明治13年6月29日	1	旧A236
190	(書状、御用のため礼服用出陣の旨)	差出・元老院/受取・相馬永胤	明治13年7月26日	1	封筒共、旧A237
191	(封筒)	差出・元老院/受取・滋賀県士族相馬永胤殿	(明治13年カ)	1	旧A238
192	(辞令、雇中訴訟法取調残務特別励精に付金100円手当支給の旨)	差出・元老院/受取・司法省附属代言人相馬永胤	明治13年7月27日	1	旧A239
193	(大審院権限及び上告することを得可き裁判ほかにつき調査書)		(明治13年頃カ)	1	旧A240
194-1	(書状、目賀田種太郎および相馬永胤在日領事裁判所にて開業許可につき)	差出・在日米国領事館領事(/受取・相馬永胤)	明治12年12月15日	1	英文、194-1~3まで一括、封筒共、旧A241-1
194-2	(横浜米国領事裁判所代言人免許状)	差出・総領事・Jhoe. B. Van Buren/受取・相馬永胤殿	明治12年12月16日	1	英文、194-1~3まで一括、旧A241-2
194-3	(領収書、事務室報酬2ドル受領の旨)	差出・裁判所事務官 MeoC. Rice (/受取・相馬永胤)	明治13年1月13日	1	英文、194-1~3まで一括、旧A241-3
195	(書状、御用のため司法省に出頭する旨)	差出・元老院/受取・雇・相馬永胤殿	明治13年6月25日	1	旧A242
196	(辞令、附属代言人申付候につき)	差出・司法省/受取・相馬永胤	明治13年6月25日	1	封筒共、旧A243
197	(通達、司法省付属代言人廃止につき代言仕掛りの事件に限り代人としての取扱いを認める旨)	差出・東京裁判所検事大塚盛巍/受取・相馬永胤	明治14年2月22日	1	旧A244

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
198	(書状、履歴書入用につき差出の旨)	差出・三好司法大書記官／受取・相馬永胤殿	(明治)14年2月19日	1	封筒共、旧A245
199	(書状、御用につき礼服着用にて参官の旨)	差出・内閣書記官／受取・相馬永胤殿	明治14年3月7日	1	旧A246
200	(辞令、判事任命につき)	差出・太政大臣従一位勲一等三條實美／受取・相馬永胤	明治14年3月8日	1	旧A247
201	(辞令、年俸1200円下賜につき)	差出・太政官／受取・相馬永胤	明治14年3月8日	1	旧A248
202	(書状、出頭の義明日午後1時に変更の旨)	差出・三好大書記官／受取・相馬永胤殿	(明治14年)3月8日	1	封筒共、旧A249
203	(辞令、横浜裁判所詰任命につき)	差出・司法卿田中不二麻呂／受取・判事相馬永胤	明治14年3月9日	1	旧A250
204	(書状、御用につき御出省の旨)	差出・三好司法大書記官／受取・相馬判事殿	(明治14年)3月9日	1	旧A251
205	(辞令、正七位に叙任につき)	差出・太政大臣従一位勲一等三條實美／受取・相馬永胤	明治14年7月15日	1	包紙共、旧A252
206-1	(書状、叙位宣旨の御請につき別紙雛形の通り御請書并に御礼状差出の旨)	差出・庶務課二口属 <sup>㊤</sup> ／受取・相馬判事殿	明治14年7月19日	1	206-2と一括、旧A253-1
206-2	(雛形、宣下謹て御受につき礼状ほか)	差出・正七位相馬永胤／受取・徳大寺宮内卿殿ほか1名	(明治14年)7月19日	1	206-1と一括、旧A253-2
207	(書状、叙位の宣旨送付につき)	差出・中村判事／受取・相馬判事殿	明治14年7月19日	1	旧A254
208	(辞令、東京始審裁判所詰任命につき)	差出・司法卿田中不二麻呂／受取・判事相馬永胤	明治14年10月15日	1	旧A255
209	(書状、詞令一葉送付につき)	差出・横浜裁判所／受取・相馬判事殿	(明治14年)10月17日	1	旧A256
210	(辞令、願に依り本官を免ずる旨)	差出・太政官／受取・判事相馬永胤	明治15年9月25日	1	旧A257
211	『勲章佩用心得』	発行・賞勲局	(明治)	1	旧A258
212	(辞令、横浜正金銀行取締役任命につき)	差出・大蔵省／受取・相馬永胤	明治15年10月14日	1	旧A259
213	(辞令、月給金150円并に大蔵省と横浜正金銀行往復手当として毎月金30円支給につき)	差出・大蔵省／受取・横浜正金銀行取締役相馬永胤	明治15年10月14日	1	旧A260
214	(辞令、横浜正金銀行取締役選任につき左に命令する条々守るべき旨)	差出・大蔵卿松方正義 <sup>㊤</sup> ／受取・滋賀県士族相馬永胤	明治15年10月14日	1	封筒共、旧A261
215	(伺書、白洲退蔵分ほか賞与金につき)	差出・横浜正金銀行取締役兼外国部支配人・村田一郎 <sup>㊤</sup> ほか2名／受取・国債局長石渡貞夫殿	明治16年2月2日	1	封筒共、旧A262

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
216	(伺書、村田一郎分ほか賞与金の取計方につき)	差出・横浜正金銀行取締役・相馬永胤 <sup>㊟</sup> ほか2名 ／受取・国債局長石渡貞夫殿	明治17年1月14日	1	旧A263
217	(伺書、賞与金の取計方につき)	差出・横浜正金銀行取締役・相馬永胤 <sup>㊟</sup> ほか1名 ／受取・国債局長石渡貞夫殿	明治17年7月	1	旧A264
218-1	(辞令、海外出張につき大蔵省と横浜正金銀行との往復手当不支給の旨)	差出・大蔵省／受取・横浜正金銀行取締役・相馬永胤	明治17年8月28日	1	封筒共、218-2と一括、旧A265-1
218-2	(書状、別紙辞令書送付につき領収の旨)	差出・国債局／受取・相馬永胤殿	(明治)17年8月28日	1	218-1と一括、旧A265-2
219	(通達、給与の件本月以降は横浜正金銀行より支給の旨ほか)	差出・大蔵大臣伯爵松方正義 <sup>㊟</sup> ／受取・相馬永胤	明治19年2月9日	1	旧A266
220	(辞令、アタムソンベル社関係事件取調のため上海へ出張申付候につき)	差出・横浜正金銀行 <sup>㊟</sup> ／受取・取締役相馬永胤	明治24年5月12日	1	旧A267
221	(辞令、上海に出張所設立のため出張申付候につき)	差出・横浜正金銀行 <sup>㊟</sup> ／受取・取締役相馬永胤	明治26年3月21日	1	旧A268
222	(賞状、倫敦における公債募集に尽力につき銀杯一組賜う旨)	差出・賞勳局総裁正三位勲一等子爵大給恒 <sup>㊟</sup> ／正七位相馬永胤	明治32年11月10日	1	旧A269
223	(書状、重役へ記念品相贈候様株主希望につき金杯一組呈上の旨)	差出・横浜正金銀行副頭取・三崎亀之助／横浜正金銀行頭取・相馬永胤殿	明治33年9月	1	封筒共、旧A270
224	(書状、重役へ記念品相贈候様株主希望につき金杯一組呈上の旨)	差出・横浜正金銀行頭取・相馬永胤／相馬永胤殿	明治33年9月	1	封筒共、旧A271
225	(書状、浜町常盤屋へ御懇招につき拝趨の旨)	差出・山本達雄ほか2名 ／受取・相馬永胤様侍史	(明治34年)1月21日	1	旧A272
226	(目録、勲五等瑞宝章を受章につき銀花瓶贈呈の旨)	差出・横浜正金銀行員各連名	明治37年2月28日	1	包紙とも、旧A273-1
227	(蘇黄二家法帖)			4冊	箱共、小田切万寿之助横浜正金銀行取締役が北京より携帰の拓本、旧A273-2-1
228	(書状、帰朝につき蘇黄二家法帖贈呈の旨)	差出・(小田切) 萬壽之助侍／相馬大人侍史	1月6日	1	旧A273-2-3
229-1	(書状、多年本行の御尽力につき慰労金進呈の旨)	差出・横浜正金銀行頭取・高橋是清 <sup>㊟</sup> ／相馬永胤殿	明治39年3月12日	1	封筒共、229-2と一括、旧A274-1
229-2	目録 (慰労金4万円)	差出・横浜正金銀行 <sup>㊟</sup> ／受取・相馬永胤殿	明治39年3月12日	1	229-1と一括、旧A274-2
230	(礼状、臨時事件公債募集に関し御尽力につき)	差出・阪谷大蔵大臣／受取・相馬永胤殿	明治39年3月21日	1	封筒共、旧A275



ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
231	(礼状、臨時事件公債募集の件申込総額好成绩につき)	差出・松尾臣善／受取・相馬永胤殿	明治39年3月22日	1	封筒共、旧A276
232	(書状、横浜正金銀行頭取退任につき慰労会招待の旨)	差出・池田謙三ほか6名／受取・相馬永胤殿	明治39年11月5日	1	封筒共、旧A277
233	(雛形、横浜正金銀行頭取退任慰労会につき礼状)	(差出・相馬永胤)	(明治39年11月)	1	旧A278
234-1	(礼状、明治37、8年事件の功により勲三等旭日中綬章受章に際し木杯御恵与につき)	差出・横浜正金銀行東京支店内・村石徳三ほか27名／受取・従五位勲三等相馬永胤殿	明治40年11月25日	1	234-1～4まで一括、旧A279-1-1
234-2	(書状、木杯拝受につきお礼および叙勲を祝し青銅製大漁置物贈呈につき)	差出・戦役当時横浜正金銀行在行々員一同／差出・相馬永胤閣下	明治40年12月	1	234-1～4まで一括、封筒共、旧A279-1-2
234-3	目録 (包紙)			1	234-1～4まで一括、旧A279-2
234-4	(勲章図柄)		(明治40年)	2	234-1～4まで一括、木杯デザインカ、旧A279-3
235	横浜正金銀行海外為換事業拡張ニ関スル意見 (草稿)	差出・相馬永胤／受取・大蔵大臣・松方正義殿閣下	明治20年1月	1	旧A280
236	横浜正金銀行ニ関スル意見書 (草稿)	(差出・相馬永胤)	(明治20年頃カ)	1	旧A281
237	欧米ニ於ケル経済上之變動	著者・相馬永胤	明治28年3月	1	欧米巡廻時の経済界の現況調査報告、旧A282
238-1	(欧米ニ於ケル経済上之變動草稿)	(差出・相馬永胤)	明治28年	1	238-1～3まで一括、旧A283-1
238-2	『SUPPLEMENT TO THE ECONOMIST. COMMERCIAL HISTORY & REVIEW OF 1894.』 (雑誌)		発行・明治27年2月16日	1	238-1～3まで一括、旧A283-2
238-3	(封筒)	差出・田尻稲次郎／受取・相馬永胤殿		1	238-1～3まで一括、旧A283-3
239	英国ニ於ケル千八百九十四年度ノ外国貿易并殖民地貿易上ノ数量并価額ヲ千八百九十三年度ト比較セシ表	(差出・相馬永胤)	(明治27年)	1	旧A284
240	(欧米出張後の帰朝談話草稿)	(差出・相馬永胤)	(明治28年)	1	袋「相馬永胤遺稿」に同封、旧A285
241	各国同盟両本位 (金銀貨幣問題につき草稿)	(差出・相馬永胤)	(明治26年頃カ)	1	旧A286
242	明治三十四年三月九日第四十二回株主定式總會ニ於テ 相馬頭取演説大意筆記		(明治34年3月9日)	1	旧A287

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
243	(書状、横浜正金銀行に対する負債につき陳情)	差出・菊地忠三郎百拝／受取・頭取・相馬永胤様閣下	明治39年3月6日	1	封筒共、旧A288
244	支那殊に満州の貨幣一定に就いて(草稿)	著者・前横浜正金銀行頭取・相馬永胤	明治39年4月以降	1	袋「相馬永胤遺稿」に同封、旧A289
245	希望条件(重役には腹藏なく諸事相談すべき旨ほか草稿)	(差出・相馬永胤)	(明治)	1	封筒共、旧A290
246	(メモ、戦時中より本行の営業異常の膨張につき当分緊縮整理の方針の旨)	(差出・相馬永胤)	(明治)	1	旧A291
247	(在外正貨所分に関する講話草稿)	(差出・相馬永胤)		1	袋「相馬永胤遺稿」に同封、旧A292
248	(仕事上の為替のつき銀行員への講話草稿)	(差出・相馬永胤)	(大正3年～大正7年頃カ)	1	袋「相馬永胤遺稿」に同封、旧A293
249	外国貿易ト金融機関ノ行働(演説草稿)	(差出・相馬永胤)	(明治41年頃カ)	1	袋「相馬永胤演説草稿」に同封、旧A294
250	外国貿易ハ何如ニ決算セラルハヤ(演説草稿)	(差出・相馬永胤)		1	袋「相馬永胤演説草稿」に同封、旧A295
251	慾ハ開化ノ資本(演説草稿)	(差出・相馬永胤)		1	袋「相馬永胤演説草稿」に同封、旧A296
252	(演説草稿、彦根における中学校新築移転式の祝辞ほか草稿)	(差出・相馬永胤)		1	旧A297
253-1	(招待状、横浜正金銀行北京支店開設につき)	(受取・相馬永胤)	明治35年1月	1	封筒共、253-1～6まで一括、旧A298-1
253-2	(菜品および酒品ほかメニュー)			1	253-1～6まで一括、旧A298-2
253-3	(名札、日本横浜正金銀行大総辦 相馬永胤)			5	253-1～6まで一括、旧A298-3
253-4	(名札、慶親王)			2	253-1～6まで一括、旧A298-4
253-5	(名札、那桐)			1	253-1～6まで一括、旧A298-5
253-6	(名札、胡燏棻)			1	253-1～6まで一括、旧A298-6
254-1	(招待状)	(受取・相馬永胤)	(3月6日カ)	1	254-1～3まで一括、旧A299-1
254-2	(札、鹿傳霖)			2	254-1～3まで一括、裏面に㊦(専誠拝謁不作別用)ほかあり、旧A299-2
254-3	(札、蔡源深)			2	254-1～3まで一括、裏面に㊦(宣武門内東太平街中間路北大門)あり、旧A299-3
255	(草稿、出洋大臣載沅殿下并に尚・李両閣下御来着につき歓迎の辞)	(差出・相馬永胤)	(明治38年カ)	1	「相馬永胤遺稿」袋に在中、旧A300

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
256-1	(序文草稿、乗竹肅堂の遺稿出版につき)	(差出・相馬永胤)	(明治45年)	1	256-2と一括、「相馬永胤遺稿」袋に在中、旧A301-1
256-2	(乗竹肅堂の遺稿出版につき序文)	(差出・相馬永胤)	明治45年6月	1	256-1と一括、旧A301-2
257	銀行雑誌ノ発行ヲ祝ス(草稿)	(差出・相馬永胤)	(明治21年カ)	1	『銀行雑誌』初号掲載のもの、旧A302
258	(書状、故相馬永胤頭取の写真額本店総会室に掲げる旨および一面は貴家へ贈呈につき)	差出・児玉謙次／受取・相馬勝夫殿	昭和2年1月13日	1	封筒共、旧A303
259	(書状、借用資料送還および相馬日記の調査依頼につき)	差出・田部徳義／受取・相馬勝夫様侍史	昭和15年5月20日	1	裏書あり、旧A304
260	大正十年度偕楽会(会員姓名表并に会計報告につき)		大正10年度	1	封筒共、旧A305
261	明治四十四年度偕楽会員姓名録	差出・世話掛・徳田多助	明治44年度	1	封筒共、旧A306
262	偕楽会幹事表	差出・世話掛・徳田多助	明治43年度～44年度	1	明治43年度は赤の斜線で削除、旧A307
263-1	明治四拾叁年度偕楽会々々計報告書	差出・世話掛・徳田多助	明治44年1月	1	旧A308-1
263-2	偕楽帖(会員肖像及び揮毫につき)		(序文・明治37年晩秋)	1	旧A308-2
263-3	(書状、偕楽帖贈与につき)	差出・安田生拝(善次郎)／受取・相馬老堂御座右	明治38年4月16日	1	封筒共、旧A308-3
264	『有楽会規程』		(決定・明治33年1月29日)	1	旧A309
265-1	『第拾壹回第拾貳回 有楽会報告書』		(第11回・明治34年1月28日／第12回・明治34年2月1日)	1	265-2挟み込み、旧A310
265-2	砂糖消費税法案修正意見書		(明治34年)	1	265-1に挟み込み、旧A311
266	(書状、うなぎ会御案内につき御請の旨)	差出・木村清四郎ほか1名／受取・相馬永胤様	(明治34年)6月21日	1	旧A312
267	(案内状、相馬永胤衆議院議員立候補につき演説および懇親宴会の旨)	差出・阪田郡有志者・宇部原十衛ほか23名	明治23年6月	1	封筒共、「衆議院其他要書入」(1)とあり、旧A313
268	(書状草稿、衆議院議員候補者内定につき懇親会開催の件拝承の旨)	差出・相馬永胤／受取・坂田郡有志総代・上田喜陸殿ほか1名	(明治23年)6月14日	1	「衆議院其他要書入」(2)とあり、旧A314
269	(書状草稿、衆議院議員候補者内定につき懇親会開催の件拝承の旨)		(明治23年6月14日)	1	「衆議院其他要書入」(3)とあり、旧A315
270	(政談演説につき要領草稿)	(差出・相馬永胤)	(明治23年6月)	1	「衆議院其他要書入」(4)とあり、旧A316

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
271	(書状、衆議院議員通常選挙執行につき当選の旨通知)	差出・滋賀県知事・岩崎小二郎 <sup>㊟</sup> ／受取・相馬永胤殿	明治23年7月4日	1	封筒共、旧A317
272	(書状草稿、衆議院議員選挙当選人通知につき承諾の旨)	差出・相馬永胤／受取・滋賀県知事・岩崎小次郎殿	明治23年7月6日	1	旧A318
273	衆議院議員之証	差出・滋賀県知事・岩崎小二郎 <sup>㊟</sup> ／受取・正七位・相馬永胤	明治23年7月9日	1	封筒共、「衆議院其他要書入」(5)とあり、旧A319
274	(受領書草稿、衆議院議員之証領収につき)	差出・相馬永胤／滋賀県知事・岩崎小次郎殿	明治23年7月11日	1	「衆議院其他要書入」(6)とあり、旧A320
275	衆議院議員席次表		(明治23年)	1	「衆議院其他要書入」(7)とあり、旧A321
276	(衆議院議席番号表)		(明治23年)	1	「衆議院其他要書入」(8)とあり、旧A322
277	(衆議院着席一覧表)		(明治23年)	1	「衆議院其他要書入」(9)とあり、旧A323
278	『衆議院議員名簿』		印行・明治23年10月23日	1	「衆議院其他要書入」(10)とあり、旧A324
279	(書状、議員辞職の趣許可につき)	差出・衆議院書記官・長曾禰荒助 <sup>㊟</sup> ほか1名／相馬永胤殿	明治24年2月27日	1	「衆議院其他要書入」(11)とあり、旧A325
280	契約書(専修学校経費不足金の件貴殿御立替につき地所ほか抵当の旨)	差出・専修学校 <sup>㊟</sup> ほか右維持員総代・目賀田種太郎 <sup>㊟</sup> ほか3名／受取・相馬永胤殿	明治26年11月	1	封筒共、旧A326
281	地券(第4大区2小区今川小路2丁目8番地 宅地559坪8合5勺)	差出・東京府／受取・同所持主・田中芳夫	明治11年9月18日	1	包紙共、明治17年12月16日に田尻稲次郎に名義変更、旧A327
282	『私立専修学校学則』	発行・私立専修学校	印刷・明治44年2月15日	1	旧A328-1
283	『私立専修学校学則』		印刷・明治45年2月15日	1	旧A328-2
284-1	仮受領証(専修大学基金として金2万円拝受につき)	差出・専修大学理事・高橋捨六 <sup>㊟</sup> ／相馬永胤殿	大正6年12月31日	1	284-2と一括、旧A329-1
284-2	(小切手控 金員2万円)	差出・横浜正金銀行(／受取・相馬永胤)	大正6年12月31日	1	284-1と一括、封筒共、旧A329-2
285	仮借用証(大学令による政府供託用として金258,000円借用につき)	差出・専修大学幹事・鶴岡伊作 <sup>㊟</sup> ／相馬永胤殿	大正12年7月28日	1	旧A330
286	受領証(本大学維持基金として金1万円拝受につき)	差出・専修大学学長・阪谷芳郎 <sup>㊟</sup> ／相馬勝夫殿親権者・相馬鈴子殿	大正13年11月26日	1	旧A331
287	(書状、新学制に対応するため寄付募集につき)	差出・専修大学総長・今村力三郎／受取・相馬勝夫殿	昭和23年6月9日	1	封筒共、旧A332
288	『社団法人専修大学定款』(控)		(大正2年～9年頃カ)	1	鉛筆で訂正加筆あり、旧A333
289	『専修大学基金募集趣意書』	差出・専修大学	大正6年8月	1	旧A334

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
290	『昇格基金募集趣意書』	差出・専修大学学長・相馬永胤ほか5名	大正11年7月	1	附録「専修大学ノ過去及現在」あり、旧A335
291	『昇格基金募集委員氏名』	差出・専修大学	(大正11年)	1	旧A336
292	『昇格基金寄附申込校友芳名録』	差出・専修大学	大正11年10月	1	旧A337
293	(教育に関する勅語30年記念会に於ける訓辞草稿)	(差出・相馬永胤)	(記念会・大正9年10月30日)	1	封筒共、「相馬永胤/専修大学ニ於ケル演説草稿」封筒(1)とあり、旧A338
294	(卒業式式辞草稿)	(差出・相馬永胤)	(明治41年10月以降)	1	「相馬永胤/専修大学ニ於ケル演説草稿」封筒(2)とあり、旧A339
295	大正五年七月専修大学卒業式演説要点(草稿)	(差出・相馬永胤)	(卒業式・大正5年7月9日)	1	「相馬永胤/専修大学ニ於ケル演説草稿」封筒(3)とあり、旧A340
296	挨拶ノ要旨(校友諸君から専修学校創立30周年記念講堂および書庫寄付につき草稿)	(差出・相馬永胤)	(開催日・明治44年11月19日)	1	「相馬永胤/専修大学ニ於ケル演説草稿」封筒(4)とあり、旧A341
297	(新入生歓迎会における演説要旨及び式辞草稿)	(差出・相馬永胤)		2	「相馬永胤/専修大学ニ於ケル演説草稿」封筒(5)とあり、旧A342
298	大正十二年卒業式ニ於テ(式辞要旨)	(差出・相馬永胤)	(卒業式・大正12年3月25日)	1	「相馬永胤/専修大学ニ於ケル演説草稿」封筒(6)とあり、旧A343
299	専修学校卒業式演説大意(草稿)	(差出・相馬永胤)	(大正)	1	「相馬永胤/専修大学ニ於ケル演説草稿」封筒(7)とあり、旧A344
300	卒業式辞(草稿)	(差出・相馬永胤)	(大正)	1	「相馬永胤/専修大学ニ於ケル演説草稿」封筒(8)とあり、旧A345
301	歓迎ノ辞(社会政策学会開催につき草稿)	(差出・相馬永胤)	(開催日・大正元年10月19日)	1	「相馬永胤/専修大学ニ於ケル演説草稿」封筒(9)とあり、旧A346
302	専修大学卒業式演説項目(草稿)	(差出・相馬永胤)	(大正2年以後)	1	「相馬永胤/専修大学ニ於ケル演説草稿」封筒(10)とあり、旧A347
303	横浜講演会ニ於テ挨拶案(専修大学同窓会開催につき)	(差出・相馬永胤)	(開催日・大正11年11月5日)	1	「相馬永胤/専修大学ニ於ケル演説草稿」封筒(11)とあり、旧A348
304	(専修大学横浜支部講演会につき挨拶草稿)	(差出・相馬永胤)	(開催日・大正11年11月5日)	1	「相馬永胤/専修大学ニ於ケル演説草稿」封筒(12)とあり、348の草稿、旧A349
305	演説要領(卒業式につき式辞草稿)	(差出・相馬永胤)		1	「相馬永胤/専修大学ニ於ケル演説草稿」封筒(13)とあり、旧A350
306	専修大学演説案(卒業式につき式辞草稿)	(差出・相馬永胤)	(大正2年以降)	1	「相馬永胤/専修大学ニ於ケル演説草稿」封筒(14)とあり、旧A351
307	(卒業式式辞草稿)	(差出・相馬永胤)	(大正2年7月)	1	「相馬永胤/専修大学ニ於ケル演説草稿」封筒(15)とあり、旧A352

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
308	専修学校卒業式演説大要 (草稿)	(差出・相馬永胤)	(大正2年以前)	1	「相馬永胤/専修大学ニ 於ル演説草稿」封筒 (16)とあり、旧A353
309	(招待状、本年御還暦に つき祝賀会開催の旨)	差出・総代・高橋捨六ほ か9名／受取・相馬先生 虎皮下	明治43年12月6日	1	封筒共、旧A354
310	(葉書、凱旋祝賀会開催 につき招待の旨)	差出・陸軍大臣・寺内正 毅ほか1名／受取・相馬 永胤殿	明治39年4月15日	1	旧A355
311	(専修学校予算表)		(明治44年9月～45 年7月)	1	封筒共、旧A356
312	式次 (入学式次第)		(大正6年～12年 頃カ)	1	旧A357
313	代理法并組合法試験問題		(10月8日)	2	封筒共、旧A358
314	(書状、本学評議会にお いて貴下を評議員に御推 薦申上候事に決定につき 御依頼の旨)	差出・専修大学学長・男 爵・阪谷芳郎／受取・相 馬勝夫殿	大正13年6月24日	1	旧A359
315	(辞令、本学道家経済研 究所支部長兼務を命ずる 旨)	差出・専修大学総長・小 泉嘉章㊟／受取・講師・ 相馬勝夫	昭和20年7月1日	1	旧A360
316	(辞令、手当月額100円の 旨)	差出・専修大学総長・小 泉嘉章㊟／受取・軽井沢 寮監・相馬勝夫	昭和20年7月1日	1	旧A361
317	(書状、御用につき通常 礼服着用相当の名代人出 頭すべき旨)	差出・爵位局／受取・正 七位相馬永胤殿留守宅御 中	明治33年6月5日	1	318と同封カ、封筒 共、旧A363
318	注意 (通常礼服は燕尾服 の旨ほかにつき)		(明治33年6月5日)	1	317と同封カ、旧A364
319	(辞令、特旨を以て位三 級進めらる旨)	差出・宮内省／受取・正 七位相馬永胤	明治33年6月6日	1	旧A365
320	(辞令、従五位に叙任の 旨)	差出・宮内大臣従一位勲 一等子爵田中光顕宣㊟／ 受取・正七位相馬永胤	明治33年6月6日	1	旧A366
321	(賞状、清国事変に於ける 功に依り勲五等瑞宝章を 授け賜う旨)	差出・賞勲局総裁・正三 位勲一等子爵大給恒㊟／ 従五位相馬永胤	明治35年12月28日	1	旧A367
322	(辞令、維新史料編纂会 委員仰せ付け候旨)	差出・内閣／受取・従五 位勲三等相馬永胤	大正7年2月18日	1	封筒共、旧A368
323	(辞令、特旨を以て位一 級進めらる旨)	差出・宮内省／受取・従 五位勲三等相馬永胤	大正13年1月28日	1	旧A369
324	(辞令、正五位に叙任の 旨)	差出・宮内大臣従二位勲 一等子爵牧野伸顕宣㊟／ 受取・従五位勲三等相馬 永胤	大正13年1月28日	1	旧A370
325	(賞状、勲二等瑞宝章授 ける旨)	差出・賞勲局／受取・正 五位勲三等相馬永胤	大正13年1月28日	1	右上に「假記」とあ り、旧A371
326	(式辞、相馬永胤胸像除 幕式につき)	差出・小田柿捨次郎	大正9年5月30日	1	包紙共、旧A372

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
327	(答辞草稿、相馬永胤胸像除幕式につき)	(差出・相馬永胤)	大正9年5月30日	1	封筒共、旧A373
328	報告(故井伊直弼銅像除幕式につき事業経過の件)	差出・建設委員総代・相馬永胤	明治42年7月11日	1	旧A374
329	横浜掃部山井伊直弼公銅像建設沿革		(明治42年)	1	封筒共、329～331まで同封カ、旧A375
330	(草稿、故井伊直弼朝臣銅像保存会会則及び請願書)	(差出・相馬永胤)	(明治42年頃)	1	封筒共、329～331まで同封カ、旧A376
331	建碑委員総代ノ演述(草稿、故井伊直弼公銅像除幕式につき)	(差出・相馬永胤)	(明治42年7月)	1	封筒共、329～331まで同封カ、旧A377
332	(書状、中学校への寄付金につき其賞として木杯一個送付の旨)	差出・光田達栄ほか1名／受取・相馬永胤様台下	3月11日	1	旧A378
333	謝状(早稲田大学基本資金として金500円寄贈につき)	差出・早稲田大学校長・鳩山和夫 <sup>㊤</sup> ほか2名／受取・相馬永胤殿	明治35年11月25日	1	封筒共、旧A379
334	謝状(戸塚村分会のため多大の援助を与えられたるにつき会杯贈与の旨)	差出・帝国在郷軍人会会長・陸軍大将従二位勲一等功一級伯爵・寺内正毅 <sup>㊤</sup> ／受取・相馬永胤殿	大正2年4月18日	1	旧A380
335	(書状、支那公使来訪につき21日は参上仕兼候旨)	差出・中村正直／受取・相馬永胤様	明治23年12月20日	1	封筒共、旧A381
336	(書状、画卷2巻都名所図会11冊差出候につき)	差出・(中村)正直／受取・相馬(永胤)様	8月16日	1	封筒共、「中村正直氏筆蹟」封筒(1)とあり、旧A382
337	(書状、玉子御恵投につき礼状)	差出・中村正直／受取・相馬永胤様	9月18日	1	封筒共、「中村正直氏筆蹟」封筒(2)とあり、旧A383
338	(書状、御令嬢様石川家へ御入輿につき御披露宴出席の旨)	差出・坂正臣／受取・相馬永胤殿ほか1名	(明治36年)12月9日	1	封筒共、旧A384
339-1	(書状、横浜正金銀行哈爾濱出張所設置の件につき9月早々重役会にて御詮議相願度旨)	差出・(井上)準之助／受取相馬老台(永胤)侍史	(消印・大正元年8月)30日	1	339-2と一括、封筒共、旧A385-1
339-2	(封筒)	差出・横浜正金銀行・井上準之助／受取・相馬永胤殿	(消印・大正6年4月25日)	1	339-1と一括、旧A385-2
340-1	(書状、鶴倉殿を経て金350円贈与につき礼状)	差出・川合玉堂／受取・相馬永胤殿侍史	(消印・大正2年)3月25日	1	340-2と一括、封筒共、旧A386-1
340-2	証(絹本達磨図潤筆拝受につき)	差出・佐久間鉄園／受取・相馬様	8月22日	1	340-1と一括、旧A386-2
341	(書状、岡本氏履歴書差上并に修善寺行御断候につき)	差出・日下部東作／受取・相馬永胤様	(消印・大正4年)1月5日	1	封筒共、旧A387

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
342	(書状、御別荘に於ける碁会の件必罷出候につき)	差出・日下部東作／受取・相馬永胤大人	11月15日	1	封筒共、旧A388
343	(書状、横浜正金銀行東京支店広告の件国民新聞相漏候につき日々新聞同様に御組込下され度旨)	差出・(松方) 正義／相馬尊台	(消印・大正4年)6月4日	1	封筒共、旧A389
344	(書状、為替資金問題につき)	差出・梶原仲治／受取・相馬尊台	(消印・大正7年)7月31日	1	封筒共、旧A390
345	舌代(書状、御申越の金子30円さし上并に兩三日の内上京の旨ほか)	差出・中村母(鉄子)／受取・(相馬) おりく殿	(明治)11月30日	1	封筒共、旧A391
346	(書状、永胤様御手づから御つりの塩肴ほかにつき礼状)	差出・中村母(鉄子)／受取・(相馬) おりく様	(明治)9月7日	1	封筒共、明治24年カ、旧A392
347	(書状、書中見舞のお菓子ほか受取につき礼状)	差出・豊／受取・さく間様		1	336～337と同封カ、旧A393
348	(書状、拙著試刷につき関係ある彦根人ほかへ批評・告知を請ひたき旨ほか)	差出・(島田) 三郎／受取・西村老台待曹	(明治)11月12日	1	封筒共、旧A394
349	(書状草稿、西村氏へ御照会の件につき回答)	差出・相馬永胤／受取・島田老台机下	(明治)11月17日	1	旧A395
350-1	古稀所感(漢詩)	書・(相馬) 永胤	大正8年11月22日	1	350-1～3まで一括、原稿用紙に350-2と共に貼付、旧A396-1
350-2	(漢詩)	書・(相馬) 永胤	大正8年11月22日	1	350-1～3まで一括、原稿用紙に350-1と共に貼付、旧A396-2
350-3	(漢詩下書)	(書・相馬永胤)	(大正8年)	1	350-1～3まで一括、350-1～2の下書きカ、旧A396-3
351	質実剛健(書)	(書・相馬永胤)		1	旧A397
352	淡交至久(書)	(書・相馬永胤)		1	旧A398
353	淡交至久(書)	(書・相馬永胤)		1	封筒共、旧A399
354	淡交至久(書)	(書・相馬永胤)		1	旧A400
355-1	(漢詩、古稀所感につき)	書・(相馬) 永胤	大正8年11月22日	1	355-1～9まで一括、旧A401-1
355-2	(漢詩)	書・(相馬) 永胤	(大正8年11月)	1	355-1～9まで一括、355-1の一部と同文、旧A401-2
355-3	(漢詩)	書・(相馬) 永胤	大正8年11月20日	1	355-1～9まで一括、355-2と同文、旧A401-3
355-4	(漢詩)	書・(相馬) 永胤	(大正8年11月)	1	355-1～18まで一括、355-2と同文、旧A401-4
355-5	(漢詩)	書・(相馬) 永胤	(大正8年11月)	5	355-1～18まで一括、355-2と同文、旧A401-5



ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
355-6	古稀所感 (漢詩)	書・(相馬) 永胤	大正8年11月	1	355-1～18まで一括、355-1の一部と同文、旧A401-6
355-7	古稀所感 (漢詩)	書・(相馬) 永胤	大正8年11月	2	355-1～18まで一括、355-6と同文、旧A401-7
355-8	古稀所感 (漢詩)	書・(相馬) 永胤	大正8年11月	2	355-1～18まで一括、355-6と同文、旧A401-8
355-9	古稀所感 (漢詩)	書・(相馬) 永胤	大正8年11月22日	2	355-1～18まで一括、355-6と同文、旧A401-9
355-10	朋友有信 (書)	書・永㊟		1	355-1～18まで一括、旧A401-10
355-11	分憂共楽 (書)	書・(相馬) 永胤		1	355-1～18まで一括、旧A401-11
355-12	遺美反笑 (書)	書・(相馬) 永胤		6	355-1～18まで一括、旧A401-12
355-13	祝発展 (包紙)	差出・相馬永胤		1	355-1～18まで一括、旧A401-13
355-14	(漢詩下書)	(書・相馬永胤)		1	355-1～18まで一括、旧A401-14
355-15	(手習、人名并に住所書上)	(差出・相馬永胤)		1	355-1～18まで一括、旧A401-15
355-16	(漢詩下書)	(書・相馬永胤)		1	355-1～18まで一括、半紙をこよりにて15枚綴ったもの、旧A401-16
355-17	(覚書、人名并に住所書上)	(差出・相馬永胤)		1	355-1～18まで一括、旧A401-17
355-18	(断簡)			1	355-1～18まで一括、旧A401-18
356-1	(書状、古稀所感ほか玉吟につき別紙朱筆の旨)	差出・(亀田) 英／受取・相馬大人舌下	(消印・大正8年10月15日)	1	356-2と一括、旧A402-1
356-2	(酔狂天賦今猶昔ほか漢詩添削につき)	差出・(亀田) 英 (／受取・相馬永胤)	(大正8年10月)	1	356-1と一括、旧A402-2
357	(名刺)	差出・衆議院議員・相馬永胤	(明治23年7月～24年2月)	2	旧A403
358	(年賀名刺)	差出・相馬永胤		2	旧A404
359	(年賀名刺)	差出・相馬永胤		2	旧A405
360	(名刺)	差出・従五位勲三等・相馬永胤	(明治40年頃)	2	旧A406
361	(名刺)	差出・従五位勲三等・相馬永胤	(明治40年頃)	2	旧A407
362	(名刺)	差出・横浜正金銀行頭取・横浜商業会議所議員・相馬永胤	(明治30年4月～39年3月)	2	旧A408
363	(名刺)	差出・横浜正金銀行頭取・相馬永胤	(明治30年4月～39年3月)	5	旧A409
364	(名刺)	差出・専修学校校長・相馬永胤	(明治43年12月～大正2年7月)	1	旧A410

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
365-1	(名刺)	差出・相馬永胤		2	365-1～5まで一括、旧A411-1
365-2	(名刺)	差出・相馬永胤	(明治43年12月以前)	2	365-1～5まで一括、旧A411-2
365-3	(名刺)	差出・相馬永胤		2	365-1～5まで一括、旧A411-3
365-4	(名刺)	差出・相馬永胤	(明治43年12月以降)	8	365-1～5まで一括、旧A411-4
365-5	(名刺)	差出・相馬永胤		2	365-1～5まで一括、旧A411-5
366	(名刺)	差出・私立専修大学校長・従五位勲三等・相馬永胤	(大正2年7月～8年8月)	1枚	旧A412
367-1	(名刺)	差出・Nagatane Soma		3	367-1～4まで一括、旧A413-1
367-2	(名刺)	差出・Nagatane Soma		2	367-1～4まで一括、旧A413-2
367-3	(名刺)	差出・Nagatane Soma		2	367-1～4まで一括、旧A413-3
367-4	(名刺)	差出・Nagatane Soma		2	367-1～4まで一括、旧A413-4
368	(名刺)	差出・Nagatane Soma Director The Yokohama Specie Bank. Limited.	(明治15年10月～明治30年4月カ、明治39年3月～大正13年1月カ)	2	旧A414
369	(名刺)	差出・Nagatane Soma Director The Yokohama Specie Bank.	(明治15年10月～明治30年4月カ、明治39年3月～大正13年1月カ)	2	旧A415
370-1	(名刺)	差出・Nagatane Soma President The Yokohama Specie Bank. Limited	(明治30年4月～明治39年3月)	4	370-1～3まで一括、旧A416-1
370-2	(名刺)	差出・Nagatane Soma President The Yokohama Specie Bank. Limited	(明治30年4月～明治39年3月)	3	370-1～3まで一括、旧A416-2
370-3	(名刺)	差出・Nagatane Soma President The Yokohama Specie Bank. Limited	(明治30年4月～明治39年3月)	2	370-1～3まで一括、旧A416-3
371	(名刺用銅版)	差出・Nagatane Soma		1	包紙・紐共、旧A417
372	(サイン)	差出・Nagatane Soma	(明治15年10月～大正13年1月)	1	横浜正金銀行罫紙使用、旧A418
373	(写真、相馬永胤)	撮影・EDDOWES BROS (NEW YORK)	明治27年5月20日	2	包紙共、旧A419
374	(写真、相馬永胤)			1	晩年、旧A420
375	(写真、相馬永胤)	撮影・東京九段坂写真館主・檀上新吉	大正4年3月	3	包紙共、旧A421-1
376-1	(写真、相馬永胤・井伊直達ほか彦根人)		(明治7年)	1	376-1～8まで一括、鶏卵紙、旧A421-2-1

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
376-2	(写真、井伊保三郎ほか)	撮影・東京浅草・横浜馬車道内田		1	376-1～8まで一括、鶏卵紙、旧A421-2-2
376-3	(写真、米国アナーバー時代の相馬永胤)	撮影・Sam. B. Revenaugh, Photographer	(明治6年頃)	1	376-1～8まで一括、鶏卵紙、旧A421-2-3
376-4	(写真、相馬永胤)	撮影・写真師・丸木利陽	明治36年	1	376-1～8まで一括、鶏卵紙、旧A421-2-4
376-5	(写真、相馬永胤)		(大正)	1	376-1～8まで一括、旧A421-2-5
376-6	(写真、室内にて)			1	376-1～8まで一括、旧A421-2-6
376-7	(写真、下戸塚の相馬邸庭園にて相馬永胤と若槻礼次郎)		(明治43年12月以降)	1	376-1～8まで一括、旧A421-2-7
376-8	(写真、下戸塚の相馬邸庭園)		(明治43年12月以降)	1	376-1～8まで一括、旧A421-2-8
377	校舎新築落成記念絵葉書		(明治39年頃)	7	3枚1組、パラフィン紙封筒共、旧A422
378-1	専修大学校舎建築事務報告	差出・専修大学	昭和3年4月	2	378-2と一括、封筒共、旧A423-1
378-2	専修大学新築校舎建築工事概要			2	378-1と一括、封筒共、旧A423-2
379	横浜正金銀行 絵葉書		明治37年頃	1	旧A424
380	相馬永胤の鞭			1	水牛角製の柄(犬型)と皮革、旧A425
381-1	『PEEKSKILL』(学校案内)		(昭和38年頃)	1	381-2と一括、旧A426-1
381-2	(覚書、相馬勝夫ピークスキル訪問につき人名書上)		昭和38年10月5日	1	381-1と一括、旧A426-2
382	『Directory of the Alumni and Former Students of The Peekskill Military Academy』(学生及び卒業生名簿)		明治37年5月	1	旧A427
383	『PEEKSKILL ACADEMY AND BOARDING SCHOOL』(学院及び寄宿学校案内)		嘉永元年4月	1	旧A428
384-1	COURTYARD AT ADMINISTRATION BUILDING VALERIA HOME, OSCAWANA, N. Y. (絵葉書)			1	384-1～5まで一括、相馬勝夫ピークスキル訪問時のもの、旧A429-1
384-2	FOUNTAIN AND ADMINISTRATION BUILDING VALERIA HOME, OSCAWANA, N. Y. (絵葉書)			1	384-1～5まで一括、相馬勝夫ピークスキル訪問時のもの、旧A429-2
384-3	ANNEX, VALERIA HOME OSCAWANA, N. Y. (絵葉書)			1	384-1～5まで一括、相馬勝夫ピークスキル訪問時のもの、旧A429-3

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
384-4	BOAT HOUSE, VALERIA HOME OSCAWANA, N. Y. (絵葉書)			1	384-1～5まで一括、相馬勝夫ピークスキル訪問時のもの、旧A429-4
384-5	LAKELAND HIGH SCHOOL, BUILT IN 1953 ON ROU (絵葉書)			1	384-1～5まで一括、相馬勝夫ピークスキル訪問時のもの、旧A429-5
385	READY FOR THE DRILL (写真)			1	Peekskill Military Academy、旧A430
386	AN OLD ENGRAVING OF THE ACADEMY AS IT APPEARED IN 1838 (写真)		天保9年	1	白インクおよび切込あり、旧A431
387	Miller's Restaurant Peekskill, New York (ランチヨンマット)		昭和38年10月5日	1	相馬勝夫ピークスキル訪問時のもの、旧A432
388-1-1	(書状、X'mas cardのお礼及び祖父のフルネームを教えてください卒業記録を探す旨)	差出・James B. Chandler Acting Superintendent／受取・Mr Katsuo Soma	昭和43年1月8日	1	388-1-1～388-4まで一括、388-1-1～4まで封筒一括、封筒共、英文、旧A433-1-1
388-1-2	(書状、新年の挨拶につき)	差出・James B. Chandler (／受取・相馬勝夫)	(昭和43年1月)	1	388-1-1～388-4まで一括、388-1-1～4まで封筒一括、英文、旧A433-1-2
388-1-3	絵葉書			1	388-1-1～388-4まで一括、388-1-1～4まで封筒一括、返信用封筒、切手貼付、旧A433-1-3
388-1-4	(書状、相馬永胤のアメリカにおける経歴につき)	差出・Katsuo Soma Rector of Seshu University／Mr. Chandler	昭和43年1月22日	1	388-1-1～388-4まで一括、388-1-1～4まで封筒一括、旧A433-1-4
388-2	(書状、相馬永胤のピークスキルアカデミーの卒業証明書を保管していた旨ほか)	差出・PEEKSKILL MILITARY ACADEMY／受取・Mr. Katsuo Soma	昭和43年2月23日	2	388-1-1～388-4まで一括、封筒共、英文、旧A433-2
388-3	(書状、新年の挨拶及び1966年9月から北米に戻り講義・研究をはじめている旨)	差出・桑原幸信／受取・相馬勝夫	昭和42年1月	1	388-1-1～388-4まで一括、封筒共、旧A433-3
388-4	(書状、X'mas cardのお礼及びピークスキル学院退職につき)	差出・James B. Chandler Acting Superintendent／受取・Rector Soma	(消印・昭和43年3月3日)	1	388-1-1～388-4まで一括、封筒共、旧A433-4
389-1	(写真、相馬永胤卒業時のコロンビア大学長 Frederick Barnard博士の肖像前での相馬勝夫)	撮影・問田直幹	昭和38年10月8日	2	389-2と一括、旧A434-1
389-2	(問田直幹、『人事興信録 第26版』コピー)	発行・人事興信所	発行・昭和46年11月14日	1	389-1と一括、旧A434-2
390-1	専修大学における保険関係の講義 (講義ノート草稿)	(差出・相馬勝夫)		1	390-1～4まで一括、旧A435-1

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
390-2	(保険関係講義の変遷表)			1	390-1～4まで一括、旧A435-2
390-3	(保険関係講義の講師変遷表)			1	390-1～4まで一括、旧A435-3
390-4	(保険関係講義及び講師変遷表)			1	390-1～4まで一括、旧A435-4
391	(挨拶文草稿、小林良正教授最終講義につき)		(昭和42年12月12日)	1	旧A436
392	小林良正教授最終講義・資料	編集・専修大学経済学部	昭和42年12月12日	1	旧A437
393	「全国高校生の共同研究」のあいさつ(草稿)	(差出・相馬勝夫)	(昭和36年頃)	1	旧A438
394	「専修大学80年史 Memo」(ノート)	差出・K. Soma	昭和32年	1	旧A439
395-1	(メモ、大学基準協会創立年ほか書上)	(差出・相馬勝夫)		1	395-2と一括、旧A441-1
395-2	(メモ、私大連盟への専修大学加盟年月日ほか書上)	(差出・相馬勝夫)		1	395-1と一括、旧A441-2
396	『専修大学新聞 第322号』	発行・専修大学新聞会	発行・昭和32年11月15日	1	旧A442
397	『創立七十周年記念 専修大学小史』	(専修大学)	(昭和24年10月)	1	旧A443
398	『専修大学沿革』		(昭和4年10月)	1	創立50周年記念、旧A444
399	(書状、安田生命保険株式会社借入金に関する契約書類につき写送付の旨)	差出・専修大学理事・道家斉一郎／受取・相馬勝夫殿	昭和6年3月7日	1	旧A445
400	金銭貸借証書謄本(金15万円貸借につき)	(債権者・共済生命保険株式会社／債務者・専修大学／公証人・松澤卓規)	作成・大正12年12月20日	1	旧A446
401	追加契約公正証書(連帯保証人ほか変更につき)	(債権者・共済生命保険株式会社／債務者・専修大学)	(昭和4年以降)	1	400の追加契約公正証書、旧A447
402	(書状、専修大学への御用立金につき連帯保証人の件)	差出・安田生命保険株式会社・常務取締役・柳谷巳之吉／受取・相馬勝夫殿	昭和6年6月12日	1	旧A448
403	(書状写、専修大学の担保付債務に関する保証人につき)	差出・相馬勝夫／受取・安田生命保険会社常務取締役・柳谷巳之吉殿	(昭和6年)6月19日	1	旧A449
404	(書状、専修大学貸付金につき一時代位弁済の件)	差出・安田生命保険株式会社常務取締役・柳谷巳之吉 <sup>Ⓔ</sup> ／受取・相馬勝夫様	昭和7年2月13日	1	旧A450

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
405	(書状写、専修大学の借入金につき代位弁済の旨)	差出・相馬勝夫／受取・安田生命保険会社常務取締役・柳谷巳之吉様	(昭和7年)2月11日	1	旧A451
406	債務弁済契約証書謄本(連帯保証人ほか変更につき)	(債権者・安田生命保険株式会社／債務者・専修大学／公証人・松澤卓規)	作成・昭和7年4月22日	1	旧A452
407	(公正証書正本、債務弁済契約につき)	(債権者・相馬勝夫／債務者・専修大学／公証人・伊藤浩蔵)	作成・昭和7年4月26日	1	封筒共、旧A453
408	(登記簿謄本、専修大学校地)		(昭和7年5月7日)	1	封筒共、旧A454
409	(書状、安田生命代位弁済に係る債権放棄および抵当権抹消の登記相済候につきお礼)	差出・専修大学総長・小泉嘉章／受取・相馬勝夫先生侍史	昭和21年5月1日	1	書込あり、旧A455
410	(書状、『我が町の詩 下戸塚』贈呈のつき)	差出・永井武彦／受取・相馬勝夫様侍史	(消印・昭和52年)2月2日	1	封筒共、旧A457
411	『我が町の詩 下戸塚』	編集・下戸塚研究会	発行・昭和51年10月10日	1	旧A458
412	(相馬永胤実印)			1	旧A459
413	(勲記、勲二等に叙し瑞宝章を授与につき)	差出・賞勲局総裁従三位勲三等子爵・仙石政敬 <sup>㊤</sup> ／受取・正五位勲三等・相馬永胤	大正13年1月28日	1	箱共、旧A460
414	(瑞宝章重光章)		大正13年1月28日	1	箱および略綬共、旧A461
415	(勲記、勲三等に叙し旭日中綬章を授与につき)	差出・賞勲局総裁従二位勲一等子爵・大給恒 <sup>㊤</sup> ／受取・従五位勲五等・相馬永胤	明治39年4月1日	1	箱共、旧A462
416	(旭日中綬章)		明治39年4月1日	1	箱および略綬共、旧A463
417	(勲記、勲五等に叙し瑞宝章を授与につき)	差出・賞勲局総裁正三位勲一等子爵・大給恒 <sup>㊤</sup> ／受取・従五位・相馬永胤	明治35年12月28日	1	箱共、旧A464
418	(学制頒布五十年記念表彰メダル)		大正11年10月30日	1	箱共、148に表彰状あり、旧A465
419	(写真、相馬永胤および陸夫妻結婚25年記念)	撮影・写真師・丸木利陽	明治37年7月	1	旧A466
420-1	(写真、米国留学時代の相馬永胤)		(明治)	1	420-1～7まで一括、銅版、旧A467-1
420-2	(写真、米国留学時代の相馬永胤と石黒太郎)		(明治7年～12年頃)	1	420-1～7まで一括、銅版、旧A467-2
420-3	(写真、米国留学時代の相馬永胤と井伊直達他)		(明治7年～12年頃)	1	420-1～7まで一括、銅版、旧A467-3
420-4	(写真、相馬永胤と大海原尚義)		(明治)	1	420-1～7まで一括、旧A467-4

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
420-5	(写真、相馬永胤)		(明治)	1	420-1～7まで一括、旧A467-5
420-6	(写真、相馬永胤と大塚道助と武藤誠一)	撮影・CRAMER, PHOTO SAN FRANCISCO	(明治4年～12年頃)	2	420-1～7まで一括、旧A467-6
420-7	(写真、相馬永胤)	撮影・CRAMER, PHOTO SAN FRANCISCO	(明治4年～12年頃)	1	420-1～7まで一括、旧A467-7
421	(写真、相馬永胤)	撮影・NOTMAN & CAMPBELL BOSTON		1	旧A468
422-1	(写真、相馬永胤)	撮影・LONDON STEREO SCOPIC COMPANY		1	422-2と一括、正面向き、パナフレイン紙共、旧A469-1
422-2	(写真、相馬永胤)	撮影・LONDON STEREO SCOPIC COMPANY			422-1と一括、右向き、パナフレイン紙共、旧A469-2
423-1-1	(写真、相馬永胤)	撮影・写真師・丸木利陽		1	423-1-1～423-3まで一括、正面向き、パナフレイン紙共、旧A470-1-1
423-1-2	(写真、相馬永胤)	撮影・写真師・丸木利陽		1	423-1-1～423-3まで一括、正面向き、台紙・パナフレイン紙共、旧A470-1-2
423-2-1	(写真、相馬永胤)	撮影・写真師・丸木利陽		1	423-1-1～423-3まで一括、左向き、パナフレイン紙共、旧A470-2-1
423-2-2	(写真、相馬永胤)	撮影・写真師・丸木利陽		1	423-1-1～423-3まで一括、左向き、台紙・パナフレイン紙共、旧A470-2-2
423-3	(写真、相馬永胤)	撮影・写真師・丸木利陽		1	423-1-1～423-3まで一括、後向き、パナフレイン紙共、旧A470-3
424-1	(写真、相馬永胤)	撮影・写真師・丸木利陽		1	424-1～5まで一括、旧A471-1
424-2	(写真、相馬永胤)			1	424-1～5まで一括、晩年、旧A471-2
424-3	(写真、相馬永胤)			1	424-1～5まで一括、旧A471-3
424-4	(写真、相馬永胤)			1	424-1～5まで一括、晩年、原版保存袋共、旧A471-4
424-5	(写真、相馬永胤)	撮影・写真師・丸木利陽	明治35年春秋	1	424-1～5まで一括、パナフレイン紙共、旧A471-5
425-1	(写真、相馬邸お手伝いさん4名)			1	425-1～7まで一括、旧A472-1
425-2	(写真、旧相馬邸内の一部)			1	425-1～7まで一括、旧A472-2
425-3	(写真、旧相馬邸内にて相馬永胤ほか9名)			1	425-1～7まで一括、旧A472-3
425-4	(写真、相馬永胤ほか家族6名)		明治38年正月20日	1	425-1～7まで一括、旧A472-4
425-5	(写真、園遊会風景)			1	425-1～7まで一括、旧A472-5
425-6	(写真、男性1名)			1	425-1～7まで一括、相馬右平次カ、旧A472-6

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
425-7	(写真、男性9名)	撮影・沖縄那覇・久野写真館		1	425-1～7まで一括、旧A472-7
426-1	『まとい 巻の五』	(編集・相馬家書生)	発行・明治35年5月25日	1	426-2と一括、相馬永胤「清国旅行談」所収、旧A473-1
426-2	『まとい 巻の六』	(編集・相馬家書生)	発行・明治35年6月28日	1	426-1と一括、相馬永胤「清国旅行談」所収、旧A473-2
427	(新聞切抜、「社交的婦人 相馬永胤氏夫人逝く」)		明治39年2月16日	1	出典は『報知新聞 第10363号』、旧A474
428-1	(葉書、2ヶ年余病床につき越ヶ谷より大和市福田へ転住の旨)	差出・谷邨一佐／受取・相馬勝夫様	(消印・昭和36年1月12日)	1	428-2と一括、旧A475-1
428-2	(葉書、谷邨一佐翁御容態につき御通知の旨)	差出・長尾庚七／受取・相馬勝夫様	昭和36年1月26日	1	428-1と一括、旧A475-2
429	戸塚町全図	印刷発行・一新舎	発行・大正15年7月	1	封筒共、縮尺三千五百分ノ一、旧A476
430	東京府豊多摩郡戸塚町勢要覧		(昭和5年10月頃)	1	旧A477
431	(書状、祖父拝借金80両の件急ぎ上納すべき旨申来候につき御猶予願)	差出・相馬右平次／受取・廣郷左衛門様	5月11日	1	旧A478
432	(書状、大阪兵学寮入費相嵩候につき修行料の件願書)	差出・相馬信一郎ほか1名	(明治3年頃)	1	旧A479
433	(東征出張中尽力致候者加増および賞金につき覚書)		(明治)	1	旧A480
434	(書状、衣類の段当方には見苦しき品一枚につき松居御伯母様へ預けた品早々御廻し下され度旨ほか)		(明治2年頃)	1	旧A481
435-1	(写真、米国留学時代の相馬永胤・井伊直達・石黒太郎)		(明治7年頃)	1	435-1～5まで一括、ピークスキル滞在時、旧A482-1
435-2	(写真、横浜正金銀行頭取時代の相馬永胤)		(明治30年～39年)	1	435-1～5まで一括、旧A482-2
435-3	(写真、相馬永胤)	撮影・写真師・丸木利陽		1	435-1～5まで一括、パラフィン紙共、旧A482-3
435-4	(写真、相馬永胤)	撮影・東京駿河台・氣賀秋畝		1	435-1～5まで一括、晩年、旧A482-4
435-5	(写真、相馬永胤ほか10名)			1	435-1～5まで一括、裏に9名分のサインあり、パラフィン紙共、旧A482-5
436-1-1	御書付之写(用向出精相勤候につき儀候として江州綿3把の旨)	差出・脇内記殿ほか3名／受取・相馬右平次	10月5日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、旧B1-1-1



ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
436-1-2	御書付之写 (留守中用向出精相勤候につき褒詞の旨)	差出・中野小三郎殿／受取・相馬右平次	2月13日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、旧B1-1-2
436-1-3	御書付之写 (用向出精相勤候につき褒美として佐野綿2把の旨)	差出・庵原助右衛門／受取・相馬右平次	11月24日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、旧B1-1-3
436-1-4	御書付之写 (弥恵婚礼用向相勤候につき祝儀として佐野綿2把の旨)	受取・相馬右平次		1	後欠、436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、旧B1-1-4
436-1-5	(件の趣申渡旨)	差出・年寄衆	11月19日	1	前欠、436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、旧B1-1-5
436-1-6	達書写 (昨春以来文武相応出精につき褒美として金100疋の旨)	受取・相馬三平	6月	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、旧B1-1-6
436-1-7	御書付之写 (おたす婚礼用向相勤候につき祝儀として江州綿2把の旨)	差出・庵原助右衛門／受取・相馬右平次	12月29日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、旧B1-1-7
436-1-8	御書付之写 (京都御用中留書役申付候につき)	差出・脇五右衛門殿ほか2名／受取・相馬右平次	12月28日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、旧B1-1-8
436-1-9	御書付之写 (年来役儀相勤候につき50石加増および目付役に帰役申付候旨)	差出・木俣土佐殿ほか5名／受取・相馬右平次	6月22日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、旧B1-1-9
436-1-10	達書写 (昨年中武芸小屋へ罷出出精につき褒詞の旨)	受取・隼人惣領相馬三平	正月	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、旧B1-1-10
436-1-11	御書付之写 (御城使に役替申付候につき)	差出・木俣土佐殿ほか5名／受取・相馬隼人	2月9日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、旧B1-1-11
436-1-12	御書付之写 (旅道具預り役申付候につき)	差出・木俣清左衛門殿ほか6名／受取・相馬隼人	6月6日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、旧B1-1-12
436-1-13	御書付之写 (御城使役に役替申付候につき増役料金子30両の旨)	差出・木俣土佐殿ほか5名／受取・相馬右平次	8月25日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、旧B1-1-13
436-1-14	御書付之写 (両役相応出精相勤候につき褒美として佐野綿2把の旨)	差出・庵原助右衛門殿／相馬右平次	12月27日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、旧B1-1-14
436-1-15	御書付之写 (お綾婚礼用向相勤候につき祝儀として佐野綿2把の旨)	差出・年寄衆／受取・相馬右平次	12月朔日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、旧B1-1-15

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
436-1-16	達書写 (毎々方々へ助仰せつけ候ところ出精につき褒美として佐野綿2把の旨)	受取・相馬隼人	6月	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、旧B1-1-16
436-1-17	御書付之写 (用多のところ出精相勤候につき麻上下1具取らす旨ほか)	差出・庵原齋宮殿ほか1名／受取・相馬右平ほか2名	8月8日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、旧B1-1-17
436-1-18	御書付之写 (役筋滞りなく相勤候につき紋付上下1具の旨)	差出・木俣大隅殿／相馬右平次	10月15日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、旧B1-1-18
436-1-19	御書付之写 (お稲婚礼用向相勤め候につき祝儀として江州綿2把の旨)	差出・庵原助右衛門殿ほか1名／相馬右平次	4月朔日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、旧B1-1-19
436-1-20	御書付之写 (お成婚礼用向相勤候につき祝儀として佐野綿2把の旨)	差出・在江戸西郷軍之助殿ほか2名／相馬右平次	正月28日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、旧B1-1-20
436-1-21	御書付之写 (佐野世田谷物成方用向出精につき褒美として佐野綿2把の旨)	差出・年寄衆／受取・相馬右平次	正月12日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、旧B1-1-21
436-1-22	御書付之写 (御加冠用向相勤候につき祝儀として金子300疋の旨)	差出・庵原助右衛門殿ほか2名／相馬右平次	3月22日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、旧B1-1-22
436-1-23	御書付之写 (御加冠用向相勤候につき祝儀として金子300疋の旨)	差出・脇伊織殿ほか3名／相馬右平次	4月18日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、旧B1-1-23
436-2-1	納煎熙切紙	差出・不識院謙信法印ほか6名／受取・中村勘六殿	享保17壬子天7月26日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-2は紐一括、旧B1-2-1
436-2-2	城取口伝ニ渡極秘切紙	差出・上杉官領入道・不識院謙信輝虎朝臣ほか5名		1	破損、436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-2は紐一括、旧B1-2-2
436-2-3	(初心のうちは善悪の差別もなく師の教えを信じる旨ほか心得につき)			1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-2は紐一括、旧B1-2-3
436-2-4	(書状、御養生につき御病中御尋として御品下置れ候旨ほか)	差出・内田源大夫／受取・中村勘六様	5月21日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-2は紐一括、旧B1-2-4
436-2-5	(切紙、要門兵法につき)	差出・不識院殿太軍祇・上杉官領入道輝虎朝臣ほか6名		1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-2は紐一括、旧B1-2-5

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
436-2-6	車懸 (切紙)	差出・上杉官領入道・不識院謙信輝虎朝臣ほか7名／受取・中村勘六殿	享保17壬子天7月26日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-2は紐一括、旧B1-2-6
436-3-1	(願書、去年夏中より浮腫の症相煩候につき御役儀御免の旨)	差出・相馬右平次 <sup>印</sup> ほか1名／助右衛門様		1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-3は紐一括、旧B1-3-1
436-3-2	御書付之写 (当屋敷見廻り役に役替申付候につき)	差出・木俣土佐殿ほか5名／受取・相馬右平次	10月15日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-3は紐一括、旧B1-3-2
436-3-3	御書付之写 (騎馬徒に呼出し候につき切米26表3人扶持申渡す旨)	差出・木俣土佐殿ほか3名／受取・右平次実子惣領相馬三平	正月27日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-3は紐一括、旧B1-3-3
436-3-4	(願書、去年夏中より浮腫の症相煩候につき御役儀御免の旨下書き)	差出・相馬右平次／受取・助右衛門様		1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-3は紐一括、旧B1-3-4
436-3-5	御書付之写 (役儀相免し候につき申渡)	差出・長野十郎左衛門殿／受取・相馬右平次	9月3日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-3は紐一括、旧B1-3-5
436-3-6	御書付之写 (数年役儀相勤其上少分限の者につき50石加増の旨)	差出・木俣土佐殿ほか5名／受取・相馬右平次	12月28日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-3は紐一括、旧B1-3-6
436-3-7	御書付之写 (祐筆頭に申付候につき)	差出・木俣土佐殿ほか5名／受取・相馬右平次	閏3月10日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-3は紐一括、旧B1-3-7
436-3-8	御書付之写 (親右平次先頃病死につき跡式150石申付候旨)	差出・木俣土佐殿ほか5名／受取・相馬三平	12月27日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-3は紐一括、旧B1-3-8
436-3-9	御書付之写 (中屋敷留守居役に役替申付候につき)	差出・木俣土佐殿ほか5名／受取・相馬右平次	11月朔日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-3は紐一括、旧B1-3-9
436-3-10	(件の趣お江戸増田治右衛門より申渡す旨)	差出・木俣土佐殿ほか6名	12月朔日	1	前欠、436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-3は紐一括、旧B1-3-10
436-3-11	御書付之写 (目付役に役替申付候につき)	受取・相馬右平次		1	後欠、436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-3は紐一括、旧B1-3-11
436-3-12	御書付之写 (留帳吟味書抜候様申付候処此節出来につき褒美として紋付上下1具の旨)	差出・西郷軍之助殿／受取・相馬右平次	12月27日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-3は紐一括、旧B1-3-12

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
436-4-1	達書写 (相州御備場御引渡の件御用多の処骨折出精につき褒美として佐野綿2把の旨)	受取・相馬隼人	閏7月	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-4は紐一括、旧B1-4-1
436-4-2	達書写 (異船渡来の節骨折出精につき褒美として御紋付御上下1具ほかの旨)	受取・相馬隼人	閏7月	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-4は紐一括、旧B1-4-2
436-4-3	達書写 (異船渡来の節骨折出精につき褒美として金子300疋の旨)	受取・相馬三平	閏7月	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-4は紐一括、旧B1-4-3
436-4-4	達書写 (昨年中弓術格別出精につき褒美として唐紙1束の旨)	受取・相馬隼人	5月	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-4は紐一括、旧B1-4-4
436-4-5	(少分限にて御使番相勤候につき右の通下され候旨)		12月	1	前欠、436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-4は紐一括、旧B1-4-5
436-4-6	達書写 (銀子5枚の旨)	受取・相馬隼人		1	後欠、436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-4は紐一括、旧B1-4-6
436-4-7	達書写 (表御用人留記写御用出精につき褒美として銀子20匁の旨)	受取・相馬三平	12月	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-4は紐一括、旧B1-4-7
436-4-8	御書付之写 (中屋敷目付役申付候につき)	木俣土佐殿ほか6名／受取・相馬隼人	8月朔日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-4は紐一括、旧B1-4-8
436-4-9	(免状、当流世話役席へ相加候旨)	差出・木村是茂／受取・相馬右平治殿	寅12月	1	新陰流カ、436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-4は紐一括、旧B1-4-9
436-4-10	(免状、新陰流打太刀席へ相加候旨)	差出・木村伝次郎／受取・相馬三平殿	(文化14年)9月17日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-4は紐一括、旧B1-4-10
436-4-11	(新陰流流儀書の内歌書伝達の旨)	差出・木村伝次郎／受取・相馬三平殿	(文化14年カ)10月	1	端裏書あり、436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-4は紐一括、旧B1-4-11
436-4-12	達書写 (昨年中武芸出精につき褒詞の旨)	受取・相馬隼人	8月	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-4は紐一括、旧B1-4-12
436-4-13	達書写 (昨年中武芸出精につき褒美として唐紙1束5帖の旨)	受取・相馬隼人	8月	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-4は紐一括、旧B1-4-13

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
436-4-14	御書付之写 (中屋敷目付役に帰役申付候につき)	差出・木俣土佐殿ほか5名／受取・相馬隼人	5月22日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-4は紐一括、旧B1-4-14
436-5-1	御書付之写 (京都への供相勤候につき6表加増申付候の旨)	差出・木俣土佐殿ほか5名／受取・相馬右膳	12月28日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-5は紐一括、旧B1-5-1
436-5-2	御書付之写 (親右平次先頃病死につき役職相違なく申付候旨)	差出・木俣土佐殿ほか6名／受取・相馬右膳	2月18日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-5は紐一括、旧B1-5-2
436-6-1	御書付之写 (役儀出精につき褒美として紋付小袖1の旨)	差出・年寄衆／受取・相馬右平次	(宝暦12年)12月28日	1	貼紙あり、436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-6は紐一括、旧B1-6-1
436-6-2	達書写 (昨年中槍術出精につき褒美として唐紙1束5帖の旨)	受取・相馬三平	4月	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-6は紐一括、旧B1-6-2
436-6-3	御書付之写 (願の通縁組申付候につき)	差出・年寄衆／受取・相馬右平次江	11月25日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-6は紐一括、旧B1-6-3
436-6-4	御書付之写 (役儀滞りなく相勤候につき役料米10表取らす旨)	差出・木俣土佐殿ほか6名／受取・相馬右平次	12月28日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-6は紐一括、旧B1-6-4
436-6-5	御書付之写 (鉄砲玉薬奉行に役替申付候につき)	差出・木俣清左衛門殿ほか7名／受取・相馬隼人	2月15日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-6は紐一括、旧B1-6-5
436-6-6	達書写 (相州において武芸出精および文事も相応出精につき金子100疋下さる旨)		7月	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-6は紐一括、旧B1-6-6
436-6-7	達書写 (昨年中弓術格別出精につき褒美として唐紙1束5帖の旨)	受取・相馬隼人	4月	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-6は紐一括、旧B1-6-7
436-6-8	達書之写 (昨年中講釈聴聞皆講仕候につき褒詞の旨)	受取・右平次惣領相馬三平	2月	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-6は紐一括、旧B1-6-8
436-6-9	御書付之写 (鉄砲玉薬奉行に役替申付候につき)	差出・木俣清左衛門殿ほか7名／受取・相馬隼人	2月15日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-6は紐一括、旧B1-6-9
436-6-10	達書写 (昨年中武芸出精につき褒美として唐紙1束の旨)	受取・相馬三平	5月	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-6は紐一括、旧B1-6-10

ID	資料名 (内容)	差出・差出など/受取	対象年月日	数量	備考
436-6-11	達書写 (昨年中御物見へ夜詰出精につき褒美として金子200疋の旨)	受取・相馬隼人	6月	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-6は紐一括、旧B1-6-11
436-6-12	達書写 (少分限につき銀子5枚の旨)	受取・相馬隼人		1	後欠、B1は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、B1-6は紐一括、旧B1-6-12
436-6-13	御書付之写 (役筋滞りなく相勤および少分限につき役料金10両取らず旨)	差出・木俣土佐殿ほか6名/受取・相馬右平次	12月21日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-6は紐一括、旧B1-6-14
436-6-14	御書付之写 (役筋出精相勤候につき役料10表相増候旨)	差出・木俣土佐殿ほか4名/受取・相馬右平次	閏12月21日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-6は紐一括、旧B1-6-15
436-6-15	御書付之写 (騎馬徒に呼出し候につき切米26俵3人扶持申渡す旨)	差出・木俣土佐殿ほか5名/受取・隼人惣領相馬三平	12月21日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-6は紐一括、旧B1-6-16
436-6-16	御書付之写 (願いの通り阿部飛驒守殿家来来栖五郎左衛門二男常右衛門養弟に申付け候につき)	差出・木俣土佐殿/相馬右平次	6月26日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-6は紐一括、旧B1-6-17
436-6-17	御書付之写 (願いの通り相馬右平次妹林民蔵へ縁組申付け候につき)	差出・三浦内膳殿	2月15日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-6は紐一括、旧B1-6-18
436-6-18	御書付之写 (願いの通り阿部飛驒守殿家来来栖五郎左衛門二男常右衛門養弟に申付け候につき)	差出・木俣土佐殿/相馬右平次	6月26日	1	436は封筒「中村勘六・相馬隼人・右平次関係」一括、436-6は紐一括、紐共、旧B1-6-19
437-1	(大名ほか所在地覚)			1	437は封筒「井伊家関係」一括、旧B2-1
437-2	御覚書之御書写 (近年武家貧窮におよび候面々救多く候につき心得の旨ほか)	差出・年寄衆ほか1名	8月	1	437は封筒「井伊家関係」一括、宝暦5年9月8日御目付斎藤一之丞より相廻候」とあり、旧B2-2
437-3	(封筒)	差出・直安/受取・小橋先生		1	437は封筒「井伊家関係」一括、旧B2-3
437-4	(先代掃部頭勤中精忠を尽し候につき其方においても遺志を継ぎ精忠を尽し候旨)	差出・井伊愛麿	6月朔日	1	437は封筒「井伊家関係」一括、旧B2-4
437-5	(先代掃部頭勤中精忠を尽し候につき其方においても遺志を継ぎ精忠を尽し候旨)	差出・井伊愛麿	6月朔日	1	437は封筒「井伊家関係」一括、旧B2-5
437-6	(万延元庚申年3月3日登城の節供方人名写)		作成・大正10年	1	437は封筒「井伊家関係」一括、包紙「桜田門の変」共、旧B2-6

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
438	(切紙、鎧装束之巻ほか要門兵法の旨)	差出・不識院権大僧都・大阿闍梨謙信法印ほか5名		1	旧B3
439-1	(初代中村勘六からの家系につき覚)			1	5代まで、439は封筒「相馬家系」一括、旧B4-1
439-2	(相馬右平次妻よしほか家族覚)			1	439は封筒「相馬家系」一括、旧B4-2
439-3-1	(相馬家家系図)			1	439は封筒「相馬家系」一括、439-3-1～3まで合綴、初代勘六まで、旧B4-3-1
439-3-2	(相馬家家系図)			1	439は封筒「相馬家系」一括、439-3-1～3まで合綴、永胤まで、旧B4-3-2
439-3-3	(相馬隼人および永胤の代の家族構成につき覚)			1	439は封筒「相馬家系」一括、439-3-1～3まで合綴、旧B4-3-3
439-4	(相馬家由緒書)	(差出・相馬右平次)		1	439は封筒「相馬家系」一括、旧B4-4
439-5-1	(中村勘六ほか経歴につき覚)	差出・相馬右平次		1	5代まで、439は封筒「相馬家系」一括、旧B4-5-1
439-5-2	相馬氏家系			1	7代まで、439は封筒「相馬家系」一括、旧B4-5-2
439-6-1	御書付之写 (願いの通り山角弥平太へ右平次弟相馬留也婿養子申付候につき)			1	後欠、紙片「調査済」・「は号 三代目右平次ノ二男留也届出」共、439は封筒「相馬家系」一括、439-6は紐一括、旧B4-6-1
439-6-2	覚 (二男相馬留也是迄病身に候得共此節丈夫に相成候につき下書)	差出・相馬右平次／受取・御目付衆中	文化13丙子年5月19日	1	端裏書に「下書」とあり、439は封筒「相馬家系」一括、439-6は紐一括、旧B4-6-2
439-6-3	御書付之写 (御城使役に役替申付候につき)	差出・木俣土佐殿ほか5名／受取・相馬隼人	12月28日	1	紙片「八号天保十二年十二月廿八日 四代目三平事隼人」共、439は封筒「相馬家系」一括、439-6は紐一括、旧B4-6-3
439-6-4	御書付之写 (千田谷屋敷留守居役に申付候につき)	差出・木俣土佐殿ほか5名／受取・相馬隼人	4月15日	1	紙片「五号天保四年四月十五日 四代目三平事隼人」共、439は封筒「相馬家系」一括、439-6は紐一括、旧B4-6-4

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
439-6-5	達書写 (少分限にて御使番助相勤候につき費用として銀子5枚下し候旨)	受取・相馬右平次	12月28日日	1	貼紙「十四号天保三年十二月廿八日 四代目三平事隼人」あり、439は封筒「相馬家系」一括、439-6は紐一括、旧B4-6-5
439-6-6	達書之写 (少分限にて御使番助相勤候につき費用として銀子5枚下し候旨)	受取・相馬右平次	12月	1	貼紙「十一号文政四年十二月十八日 四代目三平事隼人」あり、439は封筒「相馬家系」一括、439-6は紐一括、旧B4-6-6
439-6-7	御書付之写 (水野石見守殿屋敷出火の節相働消留候につき褒美として佐野綿2把の旨)	差出・宇津木兵庫殿／受取・相馬右平次	3月8日	1	貼紙「十三号文政三年三月八日 四代目三平事隼人」あり、439は封筒「相馬家系」一括、439-6は紐一括、旧B4-6-7
439-6-8	御書付之写 (内目付役申付候につき)	差出・木俣土佐殿ほか6名／受取・相馬右平次	8月9日	1	「二号寛政元年八月九日 三代目八十吉改右平次」と記された紙片共、439は封筒「相馬家系」一括、439-6は紐一括、旧B4-6-8
439-6-9	御書付之写 (玄蕃頭櫛役見習申付候につき)	差出・木俣土佐殿ほか5名／受取・相馬右膳	4月28日	1	貼紙「四号安永五年四月廿八日 三代目八十吉事右平次」あり、439は封筒「相馬家系」一括、439-6は紐一括、旧B4-6-9
439-6-10	御書付之写 (豊吉伽役に呼出し候につき20表3人扶持申渡す旨)	差出・在彦根木俣土佐殿ほか5名／受取・右平次惣領相馬八十吉	11月5日	1	貼紙「十五号安永二年十一月五日 三代目八十吉事右平次」あり、439は封筒「相馬家系」一括、439-6は紐一括、旧B4-6-10
439-6-11	御書付之写 (役儀赦免願候得共其俣相勤候様致べき旨)	差出・年寄衆ほか1名／受取・相馬右平次	8月3日	1	貼紙「九号安永九年五月一日 二代目右平次」あり、439は封筒「相馬家系」一括、439-6は紐一括、旧B4-6-11
439-6-12	御書付之写 (祐筆役申付候につき)	差出・長野十左衛門／受取・中村勘六	12月27日	1	紙片「一号天明元年八月三日 二代目右平次」共、439は封筒「相馬家系」一括、439-6は紐一括、旧B4-6-12
439-6-13	(役儀出精につき10俵加増申渡す旨)	差出・中居十次兵衛殿／受取・中村勘六	卯十二月廿二日	1	前欠、紙片「十六号正徳五年十二月廿七日 初代中村勘六事相馬庄左衛門」共、439は封筒「相馬家系」一括、439-6は紐一括、旧B4-6-13



ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
439-6-14	写 (願の通隠居申付候につき実子右平次に諸職申付候旨)	受取・相馬庄左衛門		1	貼紙「六号享保八年十二月二十二日 初代中村勘六事相馬庄左衛門」あり、439は封筒「相馬家系」一括、439-6は紐一括、旧B4-6-14
439-6-15	御書付之写 (久々役儀相務候につき役料金5両の旨)	受取・中村勘六		1	後欠、貼紙「二十二号元文三年十二月廿七日 初代中村勘六事相馬庄左衛門」あり、紙片「十九号享保四年七月一日 初代相馬庄左衛門二代〃右平次」共、439は封筒「相馬家系」一括、439-6は紐一括、旧B4-6-15
439-6-16	御書付之写 (役儀大切に相勤候につき増扶持申渡す旨)	差出・中村加助殿／受取・中村勘六郎	11月4日	1	439は封筒「相馬家系」一括、439-6は紐一括、旧B4-6-16
439-6-17	御書付之写 (右筆役申付候につき)	差出・三浦与右衛門殿／受取・相馬右平次	3月11日	1	貼紙「十八号享保十年十一月四日 初代中村勘六事相馬庄左衛門 此頃ヨリ勘六ヲ勘六郎ト云フカ如シ」あり、439は封筒「相馬家系」一括、439-6は紐一括、旧B4-6-17
439-6-18	御書付之写 (役筋滞りなく相勤其上少分限につき役料10表申渡す旨)	差出・在彦根木俣土佐殿ほか／受取・相馬右平次	12月晦日	1	後欠、貼紙「三号宝暦十二年十二月晦日 二代目右平次」あり、紙片「七号寛永三年三月十一日 二代目右平次」共、439は封筒「相馬家系」一括、439-6は紐一括、旧B4-6-18
439-6-19	御書付之写 (右平次当役留守初て出精相勤候につき褒美として佐野綿2把申渡す旨ほか)	差出・庵原齋宮殿／相馬右平次ほか1名	5月21日	1	439は封筒「相馬家系」一括、439-6は紐一括、旧B4-6-19
439-6-20	御書付之写 (留守中出精につき褒美として佐野綿2把申渡す旨)	差出・西郷軍之助殿ほか1名／受取・相馬右平次	4月12日	1	紙片「十二号安永四年五月二十一日 二代目右平次」共、439は封筒「相馬家系」一括、439-6は紐一括、旧B4-6-20
439-6-21	御書付之写 (用多候処出精につき褒美として佐野綿3把申渡す旨)	差出・長野百次郎殿／受取・相馬右平次	5月朔日	1	貼紙「十号安永八年四月十二日 二代目右平次」あり、439は封筒「相馬家系」一括、439-6は紐一括、旧B4-6-21

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
439-6-22	(御扶持方3人扶持下置かれ候につき)	受取・長左衛門嫡子中村勘六	2月6日	1	439は封筒「相馬家系」一括、439-6は紐一括、旧B4-6-22
439-6-23	(給人格に取立祐筆頭取に申付候につき)	差出・大橋惣右衛門殿／受取・受取・中村勘六	8月6日	1	貼紙「二十号享保八年八月六日 初代中村勘六事相馬庄左衛門」あり、紙片「二十一号元禄十四年二月六日 初代中村勘六コト相馬庄左衛門 中村長右門ノ嫡子ナリ」共、439は封筒「相馬家系」一括、439-6は紐一括、旧B4-6-23
439-6-24	御書付之写 (常々役儀出精につきほうひととして銀子2枚申渡す旨ほか)	差出・宇津木治部右衛門殿ほか1名／受取・中村勘六ほか1名	5月3日	1	貼紙「十七号享保七年五月三日 初代中村勘六事相馬庄右衛門」あり、439は封筒「相馬家系」一括、439-6は紐一括、旧B4-6-24
439-6-25	御書付之写 (中屋敷始賄役申付候につき切米5俵1人扶持加増の旨)	受取・中村七長左衛門	8月19日	1	439は封筒「相馬家系」一括、439-6は紐一括、旧B4-6-25
439-6-26	御書付之写 (中屋敷始賄役申付候につき引越料として銀子1貫目の旨)	受取・中村長左衛門	9月8日	1	貼紙「い号 初代中村勘六父中村七右衛門」あり、紙片「ろ号 初代中村勘六父中村長左衛門」共、439は封筒「相馬家系」一括、439-6は紐一括、紐共、旧B4-6-26
440-1	(養生仕度願上候旨)			1	前欠、440は封筒「不明梨雲齋 (溪雲齋)」一括、旧B6-1
440-2	溪雲齋 (応需につき)	差出・梨雲齋 <sup>㊟</sup> ／受取・相氏思成君	寛政己未(11年)9月	1	440は封筒「不明梨雲齋 (溪雲齋)」一括、旧B6-2
440-3	起請文前書 (今度御鉄砲玉菓奉行御役仰付けられ候につき)			1	440は封筒「不明梨雲齋 (溪雲齋)」一括、旧B6-3
440-4	(包紙、成島上書写)			1	440は封筒「不明梨雲齋 (溪雲齋)」一括、旧B6-4
440-5	(蝦夷地開格の儀先般御下間につき今後諸藩士族并庶民に至迄志願次第地処割渡開拓仰付け候旨ほか)	差出・太政官	7月	1	後欠、440は封筒「不明梨雲齋 (溪雲齋)」一括、旧B6-5
440-6	(士族卒族末々に至迄男女に拘わらず生年80歳以上の者取調候旨)	差出・軍監	正月	1	440は封筒「不明梨雲齋 (溪雲齋)」一括、旧B6-6
440-7	(恵慶法師和歌覚)			1	端裏書あり、440は封筒「不明梨雲齋 (溪雲齋)」一括、旧B6-7

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
440-8	(御達書岩田石之介方より相廻り候につき松居卯平次方へ相廻し候旨)	差出・森弘平	3月29日	1	440は封筒「不明梨雲齋(溪雲齋)」一括、旧B6-8
440-9	(6月12日より7月8日迄の旨)			1	440は封筒「不明梨雲齋(溪雲齋)」一括、旧B6-9
440-10	(来る17日より八坂野招魂祭御執行につき別紙の日割の通り物見仰付けられ候旨ほか)		(明治)	1	後欠、440は封筒「不明梨雲齋(溪雲齋)」一括、旧B6-10
440-11	大殿様御書付之写(我等此度隠居致候共掃部頭方彦根表の儀は不案内につき政事向暫く世話致候様仰せの旨)	差出・木俣土佐殿ほか3名	(文化9壬申年)2月27日	1	包紙共、440は封筒「不明梨雲齋(溪雲齋)」一括、旧B6-11
440-12	(書状、別紙1通遣候につき其旨書付を以て御申聞候旨)	差出・広瀬郷左衛門／受取・御本丸御番士衆	正月八日	1	包紙共、440は封筒「不明梨雲齋(溪雲齋)」一括、旧B6-12
440-13	(御達書原兵五郎方より相廻り候につき森弘平方へ相廻し候旨)	差出・岩田石之介	3月29日	1	440は封筒「不明梨雲齋(溪雲齋)」一括、旧B6-13
440-14	御書付之写(定府家中の者共近年奢侈増長致し候につき以来は節儉質素に相暮候様致すべき旨)			1	後欠、440は封筒「不明梨雲齋(溪雲齋)」一括、旧B6-14
440-15	水戸家江立寄之者共此度被召捕御吟味ニ相成候名前		午10月18日	1	440は封筒「不明梨雲齋(溪雲齋)」一括、旧B6-15
440-16	(英夷渡来関東の事情切迫につき大樹帰府の件ほか)		亥3月	1	440は封筒「不明梨雲齋(溪雲齋)」一括、旧B6-16
440-17	(書状、過日申上候營繕局の義訴状に入候人は東城留八郎の旨)	受取・貴酬	10月17日	1	440は封筒「不明梨雲齋(溪雲齋)」一括、旧B6-17
440-18	(書付写、土風正しく恥を弁候事第一急務に候間油断なく心掛候旨ほか)	差出・木俣土佐殿ほか3名	2月27日	1	前欠、包紙共、440は封筒「不明梨雲齋(溪雲齋)」一括、旧B6-18
440-19	(地名および茶具ほか覚)			1	破損、包紙共、440は封筒「不明梨雲齋(溪雲齋)」一括、旧B6-19
441-1	相馬家系図(人名没年戒名覚)			1	441は封筒一括、旧B7-1
441-2-1	(年賀状、当寺に相馬家墓あるにつき)	差出・龍潭寺住職北川宗暢ほか1名／受取・相馬勝夫様	昭和52年元旦	1	封筒共、441-2-1～2まで同封、441は封筒一括、旧B7-2-1
441-2-2	(書状、当寺墓所にある相馬家の墓ならびに過去帳の名前につき別紙に記す旨)	差出・(龍潭寺)住職北川宗暢(／受取・相馬勝夫)	(消印・昭和52年1月31日)	1	封筒共、441-2-1～2まで同封、441は封筒一括、旧B7-2-2-1

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
441-2-3	墓より (戒名没年覚)	(差出・龍潭寺住職北川宗暢)		1	封筒共、441-2-1～2まで同封、441は封筒一括、旧B7-2-2-2
441-2-4	明治以降の当寺過去帳より (戒名没年系譜覚)	(差出・龍潭寺住職北川宗暢)		1	封筒共、441-2-1～2まで同封、441は封筒一括、旧B7-2-2-3
441-3	『彦根市街図』	発行・ナンバー出版	発行・昭和50年	1	旧B7-3
441-4-1	(書状、小子の友人彦根にあり貴家の御本家住所取調べにつき報知の旨)	差出・久保田豊／受取・相馬勝夫様	(消印・昭和5年)4月27日	1	封筒共、441-4-1～2まで同封、441は封筒一括、旧B7-4-1
441-4-2	(小河原宗親墓碑写)	(差出・久保田豊)	(昭和5年4月27日)	1	封筒共、441-4-1～2まで同封、441は封筒一括、旧B7-4-2
441-5	『彦根市街地図 観光と産業案内』		(昭和)	1	書込あり、441は封筒一括、旧B7-5
441-6	(有限会社植田儀三郎本店地図)		(昭和)	2	青焼き、コピー同封、441は封筒一括、旧B7-6
441-7	(名刺)	差出・仏壇製造卸・若宮芳太郎	(昭和43年6月24日)	1	書込あり、441は封筒一括、旧B7-7
441-8	弘徳山龍潭護国禅寺 (臨濟宗妙心寺派) (縁起ならびに年中行事ほかの旨)	差出・井伊大老菩提所庭の寺龍潭寺	(昭和)	1	裏面に「龍潭寺十境」あり、441は封筒一括、旧B7-8
441-9	(栞)	(差出・龍潭寺)	(昭和)	1	龍潭寺方丈南庭の石庭ふだらくの庭の絵あり、441は封筒一括、旧B7-9
441-10	『あなたがつくる旅のプラン……交通公社のローカル旅程ガイド 琵琶湖・比叡山』	発行・日本交通公社国内旅行部	発行・昭和51年4月19日(第2版)	1	書込あり、441は封筒一括、旧B7-10
441-11	(相馬家由緒書)			1	貼紙「本書」あり、441は封筒一括、旧B7-11
441-12-1	(相馬家戸籍謄本)	差出・滋賀県犬上郡彦根町戸籍吏・加藤正秀	明治33年5月12日	1	441-12-1～4まで同封、封筒共、441は封筒一括、旧B7-12-1
441-12-2	(相馬家戸籍謄本)	差出・東京市淀橋区長・大迫元繁 <sup>㊟</sup>	昭和11年3月18日	1	441-12-1～4まで同封、封筒共、441は封筒一括、旧B7-12-2
441-12-3	転籍届 (下魚屋町より芹橋8丁目転籍につき)	差出・右戸主・相馬永胤 <sup>㊟</sup> ／受取・四谷区戸籍吏・津田彦十郎殿	明治33年5月15日	1	441は封筒一括、-12-1～4まで同封、封筒共、441は封筒一括、旧B7-12-3
441-12-4	転籍届 (下魚屋町より芹橋8丁目転籍につき)	差出・右戸主・相馬永胤 <sup>㊟</sup> ／受取・四谷区戸籍吏・津田彦十郎殿	明治33年5月15日	1	B7-12-1～4まで同封、封筒共、B7-12-3の旧籍住所を訂正したもの、旧B7-12-4
441-13	(相馬右平次家人別覚)		文政10丁亥年	1	裏書あり、441は封筒一括、旧B7-13

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
441-14-1	相馬氏家系 草稿			1	441-14-2挟み込み、441は封筒一括、旧B7-14-1
441-14-2	願行寺過去帳 (戒名没年覚)			1	441-14-1に挟み込み、441は封筒一括、旧B7-14-2
442-1	(ノート、相馬家系図調査につき覚)	差出・相馬勝夫	(昭和)	1	442-2～7まで挟み込み、旧B8-1
442-2	(彦根図書館にて相馬家系図調査につき覚)	(差出・相馬勝夫)	(昭和51年6月1日)	1	442-2～7までクリップ留めのうえ442-1に挟み込み、旧B8-2
442-3	神納証 (多賀大社造営奉賛会々費として金300円神納につき)	差出・多賀大社宮司・三浦重義 <sup>①</sup> ほか1名／受取・相馬勝夫殿	昭和43年6月23日	1	裏書あり、442-2～7までクリップ留めのうえ442-1に挟み込み、旧B8-3
442-4	(名刺)	差出・彦根市立図書館業務係長・大勝利一	昭和51年6月1日	1	442-2～7までクリップ留めのうえ442-1に挟み込み、旧B8-4
442-5	(名刺)	差出・守山不動産代表者・下地玄位	昭和51年6月1日	1	校友、442-2～7までクリップ留めのうえ442-1に挟み込み、旧B8-5
442-6	(名刺)	差出・内田義昭	昭和43年6月23日	1	442-2～7までクリップ留めのうえ442-1に挟み込み、旧B8-6
442-7	(栞)			1	442-2～7までクリップ留めのうえ442-1に挟み込み、旧B8-7
443	(相馬家系図調査につき覚)	(差出・相馬勝夫)		17	封筒共、旧B9
444	『わが回想』	著者・佐藤朔	発行・昭和57年10月30日	1	封筒共、非売品、佐藤朔先生の喜寿を祝う会案内状同封、旧C1
445	『社会保障と個人保障』	著者・庭田範秋	発行・昭和56年4月20日	1	箱共、旧C2
446	『自動車損害賠償責任保険における因果関係-保険給付の立場から-』	著者・武田昌之	発行・平成4年9月30日	1	箱共、旧C3
447	『竹野郷外史 (四) 』	著者・竹野郷土研究会／筆者・北條秀一	発行・昭和57年5月31日	1	非売品、旧C4
448	『保険学論集第二輯 戦争と保険』	編者・日本保険学会代表者・北澤宥勝	発行・昭和17年9月20日	1	旧C5
449	『本郷』	著者・木下順二	発行・昭和58年6月24日	1	箱共、旧C6
450	『ヨーロッパの美術館案内』	編著者・富永惣一	発行・昭和50年12月15日	1	旧C7
451	『生命の讃歌』	著者・谷口雅春	発行・平成2年1月15日 (10版)	1	旧C8
452	『改訂版 健康の自然法』	著者・野口晴哉	発行・昭和51年3月10日 (改訂7版)	1	旧C9
453	『ノイローゼ・心身症・そううつ病-その自力でのりこえるみち』	著者・青木薫久	発行・昭和45年1月10日	1	旧C10

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
454	『広重武相名所旅絵日記』	編者・檜崎宗重	発行・昭和51年4月5日	1	旧C11
455	『改正 西国立志編 全』	訳者・中村正直	発行・明治27年7月10日	1	旧C12
456	『読むということ-内田義彦対談集』	著者代表・内田義彦	発行・昭和46年11月5日	1	箱共、旧C13
457	『近代アメリカ会計発達史-イギリス会計の影響力を中心に-』	訳者・小澤康人ほか1名	発行・平成5年3月25日	1	献本送付状共、旧C14
458	『市民革命前夜のイギリス社会』	著者・常行敏夫	発行・平成2年5月21日	1	謹呈箋共、旧C15
459-1	『専修商学論集 第78号』	編集・専修商学論集編集委員会	発行・平成16年1月9日	1	459-2挟み込み、旧C16-1
459-2	(書状、論文集を製本につき相馬先生の霊前にお供えの旨)	差出・武田昌之／受取・相馬澄子様	差出・(平成16年)5月2日	1	459-1に挟み込み、旧C16-2
460-1	『志田博士喜壽記念保険論文集』	編集・志田博士喜壽記念保険論文集刊行会	発行・昭和19年8月20日	1	460-2挟み込み、旧C17-1
460-2	志田鉦太郎先生追悼会晩餐会出席者芳名			1	460-1に挟み込み、旧C17-2
461	『藤本博士還暦祝賀論文集』	編者・森田優三	発行・昭和19年2月20日	1	旧C18
462	『霞溪句集拾遺』	著者・岩崎霞溪／編集兼発行者・岩崎利一	発行・昭和55年5月1日	1	謹呈箋共、旧C19
463	『芳塵集』	著者・江澤讓爾	発行・昭和45年4月20日	1	旧C20
464	『山女魚と俳句』	著者・伊藤紫仙子 (本名・伊藤紫郎)	発行・昭和56年10月10日	1	箱共、旧C21
465	『角川選書64 奥の細道をたどる』	著者・井本農一	発行・昭和51年5月30日(再版)	1	旧C22
466	『馬車よ、ゆっくり走れ』	著者・東山魁夷	発行・昭和46年9月5日(3刷)	1	箱共、旧C23
467	『社会認識の歩み』	著者・内田義彦	発行・昭和46年9月30日	1	旧C24
468	『福澤記念選書18 ボードルールと私』	著者・佐藤朔	発行・昭和51年11月1日	1	旧C25
469	『痛みのまにまに』	著者・小林良正	発行・昭和51年12月29日	1	旧C26
470	『昭和三十年十月二十日志田先生遺影 於如水会館 追悼記念』		(発行・昭和30年10月20日)	1	封筒共、旧C27
471	『財産・責任保険総論』	著者・鈴木讓一	発行・昭和56年5月1日	1	箱・謹呈箋共、旧C28
472-1	『日本資本主義論争の回顧』	著者・小林良正	発行・昭和50年盛夏	1	472-2～4挟み込み、旧C29-1
472-2	(書状、過日顧問にご推薦にあずかりお引受につき礼状ほか)	差出・小林良正／受取・相馬学長殿机下	差出・(昭和49年)6月5日	1	472-1に挟み込み、旧C29-2
472-3	(書状、近況報告)	差出・小林良正／受取・相馬勝夫様	差出・昭和49年秋	1	472-1に挟み込み、旧C29-3

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
472-4	(書状、近況報告)	差出・小林良正／受取・相馬勝夫様	差出・昭和50年4月	1	472-1に挟み込み、旧C29-4
473	『保険講義要領 第二部』	著者・武田昌之		1	旧C30
474	『吉永榮助先生古稀記念 進展する企業法・経済法』		発行・昭和57年5月25日	1	箱・謹呈箋共、旧C31
475	『経営と労働の法理-孫田秀春先生米寿祝賀記念論集-』	編者・孫田秀春先生米寿祝賀記念論集刊行会	発行・昭和50年2月15日	1	旧C32
476	『飛翔』	著者・佐藤加奈子	発行・昭和53年12月15日(4版)	1	旧C33
477	『金銭だんぎ』	著者・沼田嘉穂	発行・昭和39年6月15日	1	旧C34
478	『楯円形の肖像』	著者・佐藤朔	発行・昭和52年5月30日	1	箱共、旧C35
479	『大林良一博士退官記念 保険学論集』	編集責任者・木村栄一	発行・昭和40年6月15日	1	箱共、旧C36
480	『加藤由作博士還暦記念 保険学論集』	編者代表者・大林良一	発行・昭和32年12月10日	1	箱共、旧C37
481	『保険理論の新展開-勝呂弘博士還暦記念-』	編者・勝呂弘博士還暦記念論文集刊行会	発行・昭和38年8月1日	1	箱共、旧C38
482	『専修商学論集 第22号』		発行・昭和52年3月15日	1	背表紙タイトル「奥村恒夫教授・森下澄男教授 退職記念論集」、旧C39
483	『東亜経済研究年報 第一輯』	編者・東京商科大学東亜経済研究所	発行・昭和17年12月20日	1	旧C40
484	『横濱高等商業学校創立二十周年記念 商学論文集』	編集兼発行者・横濱高等商業学校代表・徳増榮太郎	発行・昭和18年9月15日	1	旧C41
485-1	『経済学博士大塚光教授 在職40年記念論文集』		発行・昭和46年8月20日	1	箱共、485-2挟み込み、旧C42-1
485-2	(書状、在職40年の記念 論文集出版につきご贈呈の旨)	差出・大塚光／受取・相馬勝夫学長殿	発行・昭和49年11月3日	1	封筒共、485-1に挟み込み、旧C42-2
486	『北海道の自然6 タンチョウ』	著者・正富宏之	発行・昭和52年12月20日	1	旧C43
487-1	『さっぽろ文庫18 遠友夜学校』	編集・札幌市教育委員会文化資料室	発行・昭和56年9月1日	1	487-2挟み込み、旧C44-1
487-2	(書状、『遠友夜学校』 刊行につき別便で送付の旨)	差出・須田政美／受取・相馬勝夫様	(差出・昭和56年)	1	487-1に挟み込み、旧C44-2
488	『高橋長太郎遺稿集 精神の貴族 知られざる一哲学者の生涯』	編者・高橋さつ	発行・平成6年12月25日	1	謹呈箋共、旧C45
489	『私の大学観』	著者・沼田稲次郎	発行・昭和56年9月25日	1	謹呈箋共、旧C46
490	『仏像のみかた (技法と表現)』	著者・倉田文作	発行・昭和40年10月10日(3版)	1	箱共、旧C47

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
491	『日本の生活文化財』	編集・祝宮静	発行・昭和40年6月25日(3版)	1	箱共、旧C48
492	専修大学図書館蔵古典籍影印叢刊 第一期蜂須賀家本完全復刻(チラシ、第一期第九回刊行 和歌題林抄)	(差出・専修大学出版局)	刊行・昭和57年11月	1	旧C49
493-1	専修大学図書館蔵古典籍影印叢刊 第一期第三回配本『伊勢物語 藤原為氏筆 一帖』	編集・専修大学図書館蔵古典籍影印叢刊刊行会	発行・昭和54年10月31日	1	複製、493-1～3まで箱・風呂敷にて一括、旧C50-1
493-2	「伊勢物語(寂身本) 解題」	著者・中田武司	(昭和54年10月31日)	1	複製、493-1～3まで箱・風呂敷にて一括、旧C50-2
493-3	『専修大学図書館蔵古典籍影印叢刊刊行会会報第3号』		発行・昭和54年10月	1	493-1～3まで箱・風呂敷にて一括、旧C50-3
494-1	専修大学図書館蔵古典籍影印叢刊第一期第九回配本『和歌題林抄 一帖』	編集・専修大学図書館蔵古典籍影印叢刊刊行会	発行・昭和57年11月25日	1	複製、494-1～3まで箱・風呂敷にて一括、旧C51-1
494-2	「和歌題林抄 解題」	著者・中田武司	(昭和57年11月25日)	2	494-1～3まで箱・風呂敷にて一括、旧C51-2
494-3	『専修大学図書館蔵古典籍影印叢刊刊行会会報第3号』		発行・昭和57年11月	1	494-1～3まで箱・風呂敷にて一括、旧C51-3
495-1	専修大学図書館蔵古典籍影印叢刊 第一期第十回配本『恵慶集(春之部)』	編集・専修大学図書館蔵古典籍影印叢刊刊行会	発行・昭和58年5月25日	1	複製、495-1～4まで箱にて一括、旧C52-1
495-2	専修大学図書館蔵古典籍影印叢刊 第一期蜂須賀家本完全復刻(チラシ、第一期第十回刊行 恵慶集(春之部))		刊行・昭和58年5月	1	495-1～4まで箱にて一括、旧C52-2
495-3	「小堀遠州筆『恵慶集』 解題」	著者・中田武司	(昭和58年5月25日)	1	495-1～4まで箱にて一括、旧C52-3
495-4	『専修大学図書館蔵古典籍影印叢刊刊行会会報第10号』		発行・昭和58年5月	1	495-1～4まで箱にて一括、旧C52-4
496-1-1	専修大学図書館蔵古典籍影印叢刊 第一期第六回配本『三筆古今和歌集 二帖』	編集・専修大学図書館蔵古典籍影印叢刊刊行会	発行・昭和56年5月25日	1	複製、496-1～3まで箱にて一括、496-1-1～3まで風呂敷にて一括、旧C53-1-1
496-1-2	(添状、二條家為定卿ほか三筆共御真蹟につき)	差出・古筆了栄(花押)	(寛文元年初冬上旬)	1	複製、496-1～3まで箱にて一括、496-1-1～3まで風呂敷にて一括、包紙共、旧C53-1-2
496-1-3	三筆古今和歌集付札 六枚			1	複製、496-1～3まで箱にて一括、496-1-1～3まで風呂敷にて一括、旧C53-1-3



ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
497-1	専修大学図書館蔵古典籍影印叢刊 第一期蜂須賀家本完全復刻 (チラシ、第一期第六回刊行 三筆古今和歌集)		刊行・昭和56年5月	1	497-1～3まで箱にて一括、旧C53-2
497-2	「三筆古今和歌集 解題」	著者・中田武司	(昭和56年5月25日)	1	497-1～3まで箱にて一括、旧C53-3
497-3	『専修大学図書館蔵古典籍影印叢刊刊行会会報第6号』		発行・昭和56年5月	1	497-1～3まで箱にて一括、旧C53-4
498-1	専修大学図書館蔵古典籍影印叢刊 第一期第七回配本『和漢朗詠集 二帖』	編集・専修大学図書館蔵古典籍影印叢刊刊行会	発行・昭和56年11月25日	1	複製、498-1～3まで箱にて一括、「高辻殿長成卿清長卿両筆 両筆朗詠集折紙」共、旧C54-1
498-2	「和漢朗詠集 解題」	著者・中田武司	(昭和56年11月25日)	1	498-1～3まで箱にて一括、旧C54-2
498-3	『専修大学図書館蔵古典籍影印叢刊刊行会会報第7号』		発行・昭和56年11月	1	498-1～3まで箱にて一括、旧C54-3
499-1	専修大学図書館蔵古典籍影印叢刊 第一期第五回配本『源氏のおこり 豊臣秀吉筆 一帖』	編集・専修大学図書館蔵古典籍影印叢刊刊行会	発行・昭和55年11月25日	1	複製、499-1～3まで箱にて一括、旧C55-1
499-2	「源氏のおこり (秀吉筆) 解題・翻刻」	著者・中田武司	(昭和55年11月25日)	1	499-1～3まで箱にて一括、旧C55-2
499-3	『専修大学図書館蔵古典籍影印叢刊刊行会会報第5号』		発行・昭和55年11月	1	499-1～3まで箱にて一括、旧C55-3
500-1	『専修大学創立百年記念三十六人和歌』		発行・昭和54年9月16日	1	複製、500-1～2まで箱にて一括、旧C56-1
500-2	「三十六人和歌 解題」	著者・中田武司	(昭和55年11月25日)	1	500-1～2まで箱にて一括、旧C56-2
501-1	論文関係 (覚、後藤清先生ほか12名の稿本枚数および論題の件)			1	501-1～15-4まで封筒「孫田先生記念論集・孫田文庫」にて一括、㊟ (坂本) あり、旧C57-1
501-2	随想関係 (覚、相馬勝夫先生ほか16名の稿本枚数および論題の件)			1	501-1～15-4まで封筒「孫田先生記念論集・孫田文庫」にて一括、㊟ (坂本) あり、旧C57-2
501-3	(書状、恩師孫田先生米寿祝賀記念論文集編さんの際に格別の御高配に預り深謝の旨)	差出・日比野清次／受取・相馬学長殿	差出・10月24日	1	501-1～15-4まで封筒「孫田先生記念論集・孫田文庫」にて一括、旧C57-3
501-4-1	資料① (書状雛形、「法学博士孫田秀春先生の米寿祝賀記念文集刊行」につき発起人依頼の旨)	(差出・世話人・沼田稲次郎ほか2名)	(差出・昭和49年2月13日)	1	501-1～15-4まで封筒「孫田先生記念論集・孫田文庫」にて一括、57-4-1～8までホッチキス留め、旧C57-4-1

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
501-4-2	資料② (執筆依頼者一覧)			1	501-1～15-4まで封筒「孫田先生記念論集・孫田文庫」にて一括、501-4-1～8までホッチキス留め、旧C57-4-2
501-4-3	資料③ (書状雛形、孫田先生米寿につき記念論文集の稿本依頼の旨)	(差出・発起人有泉亨ほか10名)	(差出・昭和49年3月7日)	1	501-1～15-4まで封筒「孫田先生記念論集・孫田文庫」にて一括、501-4-1～8までホッチキス留め、旧C57-4-3
501-4-4	資料④ (書状雛形、「孫田秀春先生を囲む会」案内の旨)	(差出・専修大学長・相馬勝夫ほか1名)	(差出・昭和49年2月26日)	1	501-1～15-4まで封筒「孫田先生記念論集・孫田文庫」にて一括、501-4-1～8までホッチキス留め、旧C57-4-4
501-4-5	資料⑤ («孫田秀春先生を囲む会」出席者)		開催日・昭和49年3月11日	1	501-1～15-4まで封筒「孫田先生記念論集・孫田文庫」にて一括、501-4-1～8までホッチキス留め、旧C57-4-5
501-4-6	資料⑥ (書状雛形、孫田秀春先生米寿祝賀論集にご寄稿の件ご快諾につき稿本用紙送付の旨)	(差出・法学博士孫田秀春先生米寿祝賀論集刊行会・代表世話人・沼田稲次郎)	(昭和49年)	1	501-1～15-4まで封筒「孫田先生記念論集・孫田文庫」にて一括、501-4-1～8までホッチキス留め、旧C57-4-6
501-4-7	資料⑦ (書状雛形、孫田秀春先生米寿祝賀論集にご寄稿依頼の件、返事お願いの旨)	(差出・法学博士孫田秀春先生米寿祝賀論集刊行会・代表世話人・沼田稲次郎)	(差出・昭和49年)	1	501-1～15-4まで封筒「孫田先生記念論集・孫田文庫」にて一括、501-4-1～8までホッチキス留め、旧C57-4-7
501-4-8	資料⑧ (執筆受諾者および稿本枚数、論題一覧)		(差出・昭和49年)	1	501-1～15-4まで封筒「孫田先生記念論集・孫田文庫」にて一括、501-4-1～8までホッチキス留め、旧C57-4-8
501-5	(書状、孫田文庫図書整理目録の件)	差出・孫田秀春／受取・相馬学長侍史ほか1名	差出・昭和49年10月14日	1	501-1～15-4まで封筒「孫田先生記念論集・孫田文庫」にて一括、ホッチキス留め、旧C57-5
501-6	随想関係 (覚、相馬勝夫先生ほか26名の稿本枚数および論題の件)		(昭和49年)	1	501-1～15-4まで封筒「孫田先生記念論集・孫田文庫」にて一括、ホッチキス留め、旧C57-6
501-7	法学博士孫田秀春先生米寿祝賀論集刊行会活動中間報告	差出・法学博士孫田秀春先生米寿祝賀論集刊行会・世話人代表・沼田稲次郎／受取・専修大学長・相馬勝夫殿ほか1名	差出・昭和49年6月	1	501-1～15-4まで封筒「孫田先生記念論集・孫田文庫」にて一括、ホッチキス留め、旧C57-7

ID	資料名（内容）	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
501-8-1	孫田秀春博士米寿記念論文集刊行に伴う学内の取扱いについて		差出・昭和48年9月7日	1	501-1～15-4まで封筒「孫田先生記念論集・孫田文庫」にて一括、501-8-1～3までクリップ留め、旧C57-8-1
501-8-2	孫田秀春博士米寿記念出版（発起人および世話人一覧）			1	501-1～15-4まで封筒「孫田先生記念論集・孫田文庫」にて一括、501-8-1～3までクリップ留め、旧C57-8-2
501-8-3	（孫田秀春博士米寿記念出版発起人および世話人一覧）			1	501-1～15-4まで封筒「孫田先生記念論集・孫田文庫」にて一括、501-8-1～3までクリップ留め、旧C57-8-3
501-9	（書状、随想の執筆依頼につき孫田秀春ゼミナールメンバー9名選抜の旨）	差出・藤沢徳三郎／受取・相馬勝夫様	差出・（昭和49年）7月28日	1	501-1～15-4まで封筒「孫田先生記念論集・孫田文庫」にて一括、封筒共、クリップ留め、旧C57-9
501-10	（書状、法学博士孫田秀春先生の長寿を祝して随想集等出版につき寄稿依頼）	受取・専修大学長・相馬勝夫	差出・昭和49年8月16日	1	501-1～15-4まで封筒「孫田先生記念論集・孫田文庫」にて一括、旧C57-10
501-11	（書状、「法学博士孫田秀春先生の米寿祝賀記念論文集刊行」につき発起人依頼の旨）	差出・世話人・沼田稲次郎ほか2名／受取・相馬勝夫先生	差出・昭和49年2月13日	1	501-1～15-4まで封筒「孫田先生記念論集・孫田文庫」にて一括、「孫田秀春先生を囲む会」にて孫田が詠んだ俳句ほかメモ書きあり、旧C57-11
501-12	（書状、孫田先生論集の校正第一校送付につき）	差出・専修大学出版局／受取・相馬勝夫殿	差出・昭和49年12月6日	1	501-1～15-4まで封筒「孫田先生記念論集・孫田文庫」にて一括、「12/9坂本君に返送」ほかメモ書きあり、旧C57-12
501-13	（書状、孫田秀春先生米寿祝賀記念論集発行につき孫田先生へ捧呈の旨）	差出・論集世話人代表・沼田稲次郎ほか2名／受取・相馬勝夫殿	差出・昭和50年3月13日	1	501-1～15-4まで封筒「孫田先生記念論集・孫田文庫」にて一括、旧C57-13
501-14	稿本料支払明細書	差出・専修大学出版局／受取・相馬勝夫殿	（作成・昭和50年）	1	501-1～15-4まで封筒「孫田先生記念論集・孫田文庫」にて一括、旧C57-14
501-15-1	（「先生と私」草稿）	（差出・相馬勝夫）	（作成・昭和49年）	1	501-1～15-4まで封筒「孫田先生記念論集・孫田文庫」にて一括、コクヨ稿本用紙使用、501-15-1～4までクリップ留め、旧C57-15-1

ID	資料名 (内容)	差出・差出など/受取	対象年月日	数量	備考
501-15-2	(孫田秀春博士米寿記念論集関係草稿)	(差出・相馬勝夫)	(作成・昭和49年)	1	501-1~15-4まで封筒「孫田先生記念論集・孫田文庫」にて一括、コクヨ罫紙使用、501-15-1~4までクリップ留め、旧C57-15-2
501-15-3	(孫田秀春博士米寿記念論集関係メモ)	(差出・相馬勝夫)	(作成・昭和49年)	1	501-1~15-4まで封筒「孫田先生記念論集・孫田文庫」にて一括、専修大学罫紙使用、501-15-1~4までクリップ留め、旧C57-15-3
501-15-4	(書状、法学博士孫田秀春先生米寿祝賀論集にご執筆をご承諾につきほか)	差出・法学博士孫田秀春先生米寿祝賀論集刊行会・世話人代表・沼田稲次郎/受取・相馬先生	差出・昭和49年7月17日	1	501-1~15-4まで封筒「孫田先生記念論集・孫田文庫」にて一括、クリップ留め、旧C57-15-4
502-1	(「大泉さんの思い出」草稿)	(差出・相馬勝夫)	(作成・昭和56年)	1	502-1~3まで封筒にて一括、KOKUYO罫紙使用、旧C58-1
502-2	(「大泉さんの思い出」草稿)	(差出・相馬勝夫)	(作成・昭和56年)	1	502-1~3まで封筒にて一括、専修大学稿本用紙使用、旧C58-2
502-3	(書状、「大泉孝先生想出集」出版につき執筆依頼)	差出・(社)日本私立大学連盟内大泉孝先生想出集編集委員会・編集代表・佐藤直助/受取・相馬勝夫殿)	差出・昭和56年7月27日	1	502-1~3まで封筒にて一括、旧C58-3
503-1	(式辞草稿)			1	503-1~17まで封筒にて一括、稿本用紙使用、旧C59-1
503-2	場内放送稿本5/25 (専修大学の特別奨学生制度および育友会の案内の旨ほか)	(差出・相馬勝夫)		1	503-1~17まで封筒にて一括、コクヨ稿本用紙使用、旧C59-2
503-3	39.4.7入学式々辞(草稿)	(差出・相馬勝夫)		1	503-1~17まで封筒にて一括、コクヨ稿本用紙使用、クリップ留め、旧C59-3
503-4	新入生諸君に 学長相馬勝夫(入学式式辞草稿)	(差出・相馬勝夫)	作成・昭和39年3月7日	1	503-1~17まで封筒にて一括、東京文房堂製稿本用紙使用、クリップ留め、旧C59-4
503-5	1964年4月専修大学大学院入学式(式辞草稿)	(差出・相馬勝夫)		1	503-1~17まで封筒にて一括、罫紙使用、旧C59-5
503-6-1	(名刺)	差出・朝日新聞記者・仁田文三		1	503-1~17まで封筒にて一括、クリップ留め、手書きメモあり、旧C59-6-1
503-6-2	昭和三十九年三月卒業式(式辞草稿)	(差出・相馬勝夫)		1	503-1~17まで封筒にて一括、クリップ留め、旧C59-6-2

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
503-7	昭和39.4 育友会総会「建学精神」について(草稿メモ)	(差出・相馬勝夫)		1	503-1～17まで封筒にて一括、旧C59-7
503-8	(川島正次郎先生叙勲祝賀会祝辞草稿)	(差出・相馬勝夫)		1	503-1～17まで封筒にて一括、コクヨ稿本用紙、旧C59-8
503-9	(文学部開設祝賀会あいさつ文草稿)	(差出・相馬勝夫)	開催日・昭和39年4月7日	1	503-1～17まで封筒にて一括、コクヨ稿本用紙、旧C59-9
503-10	(入学式式辞草稿)	(差出・相馬勝夫)	開催日・昭和38年4月15日	1	503-1～17まで封筒にて一括、財団法人損害保険事業研究所稿本用紙ほか使用、クリップ留め、旧C59-10
503-11	昭和37・4・10. 入学式式辞(草稿)	(差出・相馬勝夫)		1	503-1～17まで封筒にて一括、財団法人損害保険事業研究所稿本用紙ほか使用、クリップ留め、旧C59-11
503-12	俳句(木枯しに吹かるゝまゝの葛にしき)	差出・相馬勝夫	作成・昭和43年1月2日	1	503-1～17まで封筒にて一括、旧C59-12
503-13	44・4・20「美唄入学式」式辞 学長(草稿)	(差出・相馬勝夫)		1	503-1～17まで封筒にて一括、専修大学稿本用紙使用、クリップ留め、旧C59-13
503-14	酔中のメモ。＝酔中めがね(神保格先生の告別式帰りにつき)	(差出・相馬勝夫)	作成・昭和40年12月7日	1	503-1～17まで封筒にて一括、コクヨ罫紙使用、旧C59-14
503-15	(書状、母が清瀬の国立療養所で医療手術を受けた旨下書き)	(差出・相馬勝夫)	作成・昭和40年12月7日	1	503-1～17まで封筒にて一括、罫紙使用、旧C59-15
503-16	(卒業式式辞草稿)	(差出・相馬勝夫)	開催日・昭和41年3月21日	1	503-1～17まで封筒にて一括、罫紙使用、クリップ留め
503-17	(経営学部開設祝賀会の挨拶文草稿)	(差出・相馬勝夫)	開催日・昭和37年	1	503-1～17まで封筒にて一括、罫紙使用、旧C59-17
504	(アルバム、長野清内路村の川島正次郎先生顕彰碑前ほか)			1	中扉に「森口忠造先生藍綬褒章受章記念」との貼紙あり、旧C60
505	(ノート、農業経営およびN. C. Wright卿に関する序言メモ)			1	旧C61
506	(書状、論文集御寄贈につき礼状)	差出・(藤本)幸太郎／相馬賢台侍史	差出・(昭和19年)3月29日	1	封筒とも、旧C62
507-1	(『相馬永胤伝』構成メモ)			1	507-1～2-2までクリップ留め、旧C63-1
507-2-1	稿本 相馬永胤伝内容検討会(議事録)		開催日・昭和53年11月17日	1	507-1～2-2までクリップ留め、507-2-1～2までホッチキス留め、コクヨ罫紙使用、旧C63-2-1

ID	資料名 (内容)	差出・差出など/受取	対象年月日	数量	備考
507-2-2	稿本 相馬永胤傳内容検討会 (議事録)		開催日・昭和55年3月7日	1	507-1~2-2までクリップ留め、507-2-1~2までホッチキス留め、コクヨ罫紙使用、旧C63-2-2
508-1	(メモ、立地論および経済地理学ほかの旨)			1	508-1~42まで封筒「大学問題」にて一括、専修大学罫紙使用、封筒共、旧C64-1
508-2	(メモ、アジア情勢ほか)			2	508-1~42まで封筒「大学問題」にて一括、専修大学罫紙使用、旧C64-2
508-3	(メモ、タイ難民収容所の番組放映の件)			1	508-1~42まで封筒「大学問題」にて一括、就職新聞罫紙使用、旧C64-3
508-4	(メモ、『ブリタニカ年鑑 1974年版』「法律」項目抜書き)			1	508-1~42まで封筒「大学問題」にて一括、クリップ留め、旧C64-4
508-5	(メモ、デカルトの至言ほかの旨)			1	508-1~42まで封筒「大学問題」にて一括、クリップ留め、旧C64-5
508-6	自学的行動の時代 (メモ、情報技術の成長による人間の意思決定行動に関する旨)			1	508-1~42まで封筒「大学問題」にて一括、クリップ留め、旧C64-6
508-7	(メモ、知識労働者ほかに関する旨)			1	508-1~42まで封筒「大学問題」にて一括、クリップ留め、旧C64-7
508-8-1	(メモ、国内外を取り巻く環境問題の件)			1	508-1~42まで封筒「大学問題」にて一括、508-8-1~3までクリップ留め、罫紙使用、旧C64-8-1
508-8-2	還境諸科学 (ストックホルムにおける人間環境に関する国連会議の件)		開催日・昭和47年6月	1	508-1~42まで封筒「大学問題」にて一括、508-8-1~3までクリップ留め、専修大学稿本用紙使用、旧C64-8-2
508-8-3	「石油危機で新局面 対応策の表現あいまい 環境白書」 (朝日新聞切抜)		発行・昭和49年4月26日	1	508-1~42まで封筒「大学問題」にて一括、508-8-1~3までクリップ留め、専修大学稿本用紙使用、旧C64-8-3
508-9-1	国庫予算支出率に現れた教育費対国防費の比較 (1971) (メモ、Britanica P.264の表)			1	508-1~42まで封筒「大学問題」にて一括、508-9-1~2までクリップ留め、罫紙使用、旧C64-9-1

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
508-9-2	(『ブリタニカ年鑑1973版』「教育」項目ほか抜書)			1	64-1～42まで封筒「大学問題」にて一括、64-9-1～2までクリップ留め、罫紙使用、旧C64-9-2
508-10	(『ブリタニカ年鑑1974版』「教育」項目ほか抜書)			1	508-1～42まで封筒「大学問題」にて一括、クリップ留め、罫紙使用、旧C64-10
508-11-1	(メモ、教育白書における大学改革に関する件)		対象・昭和45年11月	1	508-1～42まで封筒「大学問題」にて一括、ビニル紐綴じ、罫紙使用、508-11-1～6まで同封、旧C64-11-1
508-11-2	(メモ、1971年の世界の教育問題の件)			1	508-1～42まで封筒「大学問題」にて一括、ビニル紐綴じ、罫紙使用、508-11-1～6まで同封、旧C64-11-2
508-11-3	(中教審答申「今後における学校教育の総合的な拡充整備のための基本的施策について」草稿)		作成・昭和46年7月8日	1	508-1～42まで封筒「大学問題」にて一括、ビニル紐綴じ、罫紙使用、508-11-1～6まで同封、旧C64-11-3
508-11-4	(メモ、文部省の設置した「教育改革推進本部」における私立大学に関する諸問題の件)	差出・相馬 (勝夫)	作成・昭和46年9月2日	1	508-1～42まで封筒「大学問題」にて一括、ビニル紐綴じ、罫紙使用、508-11-1～6まで同封、旧C64-11-4
508-11-5	(『ブリタニカ年鑑1971版』「保険」項目抜書)			1	508-1～42まで封筒「大学問題」にて一括、ビニル紐綴じ、罫紙使用、508-11-1～6まで同封、旧C64-11-5
508-11-6	(『ブリタニカ年鑑1972版』「保険」項目抜書)			1	508-1～42まで封筒「大学問題」にて一括、ビニル紐綴じ、罫紙使用、508-11-1～6まで同封、旧C64-11-6
508-12	(メモ、北原就職指導委員長への辞令交付日ほか)			1	508-1～42まで封筒「大学問題」にて一括、罫紙使用、旧C64-12
508-13	(『ブリタニカ百科事典6巻』「教育」項目抜書)			1	508-1～42まで封筒「大学問題」にて一括、罫紙使用、旧C64-13

ID	資料名 (内容)	差出・差出など/受取	対象年月日	数量	備考
508-14	(『ブリタニカ百科事典 6巻』「測量」項目抜 書)			1	508-1～42まで封筒 「大学問題」にて一 括、罫紙使用、旧C64- 14
508-15	(『ブリタニカ百科事典 6巻』「短大」および 「高等教育」項目抜書)			1	508-1～42まで封筒 「大学問題」にて一 括、罫紙使用、旧C64- 15
508-16	(メモ、宇宙および人文 学の解説ほか)			1	508-1～42まで封筒 「大学問題」にて一 括、罫紙使用、旧C64- 16
508-17	(メモ、社会科学の解説 ほか)			1	508-1～42まで封筒 「大学問題」にて一 括、罫紙使用、旧C64- 17
508-18	(メモ、昭和48年大学院 在学者数)			1	508-1～42まで封筒 「大学問題」にて一 括、罫紙使用、旧C64- 18
508-19	(メモ、「修士」および 「大学院研究」の解説ほ か)			1	508-1～42まで封筒 「大学問題」にて一 括、罫紙使用、旧C64- 19
508-20	(メモ、「社会科学」の 解説)			1	508-1～42まで封筒 「大学問題」にて一 括、罫紙使用、旧C64- 20
508-21	(メモ、「経済学」およ び「教養学科」の解説ほ か)			1	508-1～42まで封筒 「大学問題」にて一 括、罫紙使用、旧C64- 21
508-22	(メモ、「地理学」の解 説)			1	508-1～42まで封筒 「大学問題」にて一 括、罫紙使用、旧C64- 22
508-23	(メモ、「国際貿易」お よび「外国貿易」の解 説)			1	508-1～42まで封筒 「大学問題」にて一 括、罫紙使用、旧C64- 23
508-24	(『ブリタニカ百科事典 9巻』「保険」項目抜 書)			1	508-1～42まで封筒 「大学問題」にて一 括、罫紙使用、旧C64- 24
508-25	(メモ、「人間の本性」 と「教育」に関する解説 ほか)			1	508-1～42まで封筒 「大学問題」にて一 括、罫紙使用、旧C64- 25
508-26	(メモ、English higher education support項目の 巻数ほか)			1	508-1～42まで封筒 「大学問題」にて一 括、罫紙使用、旧C64- 26



ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
508-27	(『ブリタニカ百科事典6巻』教育の経済学および教育の教育哲学項目抜書)			1	508-1～42まで封筒「大学問題」にて一括、罫紙使用、旧C64-27
508-28	(人間の諸価値とか人間精神の現れとかについては「教養」カリキュラムおよび文学部の諸学科とその大学院の諸専攻の中に展開されている旨ほか)			1	508-1～42まで封筒「大学問題」にて一括、学園書房稿本用紙使用、旧C64-28
508-29	1971年 文部省ヨーロッパの大学改革 (坂田文部大臣の訪欧記録)			1	508-1～42まで封筒「大学問題」にて一括、専修大学罫紙使用、旧C64-29
508-30	(メモ、「社会的身分 (social states system)」の解説)			1	508-1～42まで封筒「大学問題」にて一括、旧C64-30
508-31	(メモ、「雇用と失業」および「職種評価」の解説)			1	508-1～42まで封筒「大学問題」にて一括、旧C64-31
508-32	(メモ、「身分」の解説)			1	508-1～42まで封筒「大学問題」にて一括、旧C64-32
508-33	(メモ、経営・商学研究科の委員発令ほか大学院に関する件)		作成・昭和50年4月11日	1	508-1～42まで封筒「大学問題」にて一括、専修大学罫紙使用、旧C64-33
508-34	(メモ、「検閲と学問の自由の諸問題」ほか巻数の件)			1	508-1～42まで封筒「大学問題」にて一括、専修大学罫紙使用、旧C64-34
508-35	(メモ、人間は宇宙の孤児である旨ほか解説)			1	508-1～42まで封筒「大学問題」にて一括、罫紙使用、旧C64-35
508-36	(メモ、人間の日常生活の諸相ほか解説)			1	508-1～42まで封筒「大学問題」にて一括、罫紙使用、旧C64-36
508-37	(メモ、「社会構造と変化」および「産業化と近代化」のページ数ほか)			1	508-1～42まで封筒「大学問題」にて一括、罫紙使用、旧C64-37
508-38	(メモ、専修大学の特色および志願者数の件)			1	508-1～42まで封筒「大学問題」にて一括、専修大学罫紙使用、旧C64-38
508-39	私立大学財政の現状と将来-政府予算、授業料の問題 (メモ)			1	508-1～42まで封筒「大学問題」にて一括、一部で専修大学罫紙使用、クリップ留め、旧C64-39

ID	資料名 (内容)	差出・差出など/受取	対象年月日	数量	備考
508-40	(メモ、日本の大学卒と職業の関する件)			1	508-1~42まで封筒「大学問題」にて一括、一部で学園書房罫紙使用、旧C64-40
508-41-1	(メモ、漢字「職」に関する解説)			1	508-1~42まで封筒「大学問題」にて一括、508-41-1~5までクリップ留め、旧C64-41-1
508-41-2	(メモ、「profession」および「work」ほかの解説)			1	508-1~42まで封筒「大学問題」にて一括、508-41-1~5までクリップ留め、旧C64-41-2
508-41-3	(メモ、デカルト「われ思う。故にわれ在り」ほか解説)			1	508-1~42まで封筒「大学問題」にて一括、508-41-1~5までクリップ留め、旧C64-41-3
508-41-4	高校における職業準備のための教育 (メモ)			1	508-1~42まで封筒「大学問題」にて一括、508-41-1~5までクリップ留め、旧C64-41-4
508-41-5	(メモ、「occupation」および「vocational education」の巻数ほか)			1	508-1~42まで封筒「大学問題」にて一括、508-41-1~5までクリップ留め、旧C64-41-5
508-42	新入生への提言 (草稿)			1	508-1~42まで封筒「大学問題」にて一括、裏書あり、社団法人日本私立大学連盟罫紙使用、後欠、旧C64-42
509-1	(メモ、ロンドン大社会学教授レオナルド・ボブハウスほか)			1	509-1~14まで封筒「永胤伝第二分冊 相馬勝夫殿」にて一括、鉛筆書き、封筒共、旧C65-1
509-2	(メモ、入学式辞ほか)		開催日・昭和39年4月15日	1	509-1~14まで封筒「永胤伝第二分冊 相馬勝夫殿」にて一括、日本経済新聞用紙使用、旧C65-2
509-3	主な大学の入学時学生納付金 (新聞切抜)		発行・昭和56年1月23日	1	509-1~14まで封筒「永胤伝第二分冊 相馬勝夫殿」にて一括、旧C65-3
509-4	(メモ、正友会・林昇太郎ほか住所一覧)			1	509-1~14まで封筒「永胤伝第二分冊 相馬勝夫殿」にて一括、専修大学罫紙使用、『相馬永胤伝』送付先カ、旧C65-4

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
509-5-1	(『相馬永胤伝』相馬家関係配布一覧)			1	509-1～14まで封筒「永胤伝第二分冊 相馬勝夫殿」にて一括、専修大学罫紙使用、509-1-1ホッチキス留め、509-5-1～2ホッチキス留め、旧C65-5-1
509-5-2	(『相馬永胤伝』役員・評議員配布一覧)			1	509-1～14まで封筒「永胤伝第二分冊 相馬勝夫殿」にて一括、専修大学罫紙使用、509-1-1ホッチキス留め、509-5-1～2ホッチキス留め、旧C65-5-2
509-6	(メモ、河村隆一正友会遺族ほか住所)			1	509-1～14まで封筒「永胤伝第二分冊 相馬勝夫殿」にて一括、専修大学罫紙使用、『相馬永胤伝』送付先カ、旧C65-6
509-7	(メモ、小田切万寿之助ほか没年)			1	509-1～14まで封筒「永胤伝第二分冊 相馬勝夫殿」にて一括、旧C65-7
509-8	相馬永胤伝目次一覧	差出・年史資料課	作成・昭和56年6月9日	1	509-1～14まで封筒「永胤伝第二分冊 相馬勝夫殿」にて一括、罫紙使用、ホッチキス留め、旧C65-8
509-9	(書状、相馬永胤伝「まえがき」訂正および目次順序ほかの件)	差出・相馬勝夫／受取・有沢和夫殿	作成・(昭和56年)8月1日	1	509-1～14まで封筒「永胤伝第二分冊 相馬勝夫殿」にて一括、専修大学稿本用紙使用、旧C65-9
509-10	「若き藩士が留学 専修大創始者『永胤日記』に明記」(新聞抜刷)		作成・昭和56年4月21日	1	509-1～14まで封筒「永胤伝第二分冊 相馬勝夫殿」にて一括、旧C65-10
509-11	(メモ、相馬家関係者肖像写真一覧)			1	509-1～14まで封筒「永胤伝第二分冊 相馬勝夫殿」にて一括、罫紙使用、旧C65-11
509-12	(書状、相馬永胤伝「まえがき」および目次訂正の件)	差出・相馬勝夫／受取・有沢和夫殿	作成・(昭和56年)8月8日	1	65-1～14まで封筒「永胤伝第二分冊 相馬勝夫殿」にて一括、専修大学稿本用紙使用、旧C65-12
509-13	(メモ、相馬永胤伝「まえがき」追記および永胤交友録ほか)	(差出・相馬勝夫)		1	509-1～14まで封筒「永胤伝第二分冊 相馬勝夫殿」にて一括、専修大学稿本用紙使用、旧C65-13

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
509-14	(メモ、「History」および「歴史哲学」の解説)			1	509-1～14まで封筒「永胤伝第二分冊 相馬勝夫殿」にて一括、KOKUYO罫紙使用、旧C65-14
510	(アルバム、専修大学北海道短期大学校舎および第15回北鳳祭ほか)			1	ホッチキス留め、洋紙にセロハンテープにて貼付、旧C66
511-1	学校 専修大学美唄短大 (アルバム)			1	箱共、昭和47年卒業生懇親会ほか、511-2～3挟み込み、旧C67-1
511-2	専修大学敷地平面図 (専修大学北海道短期大学分)			1	書込みあり、511-1に挟み込み、旧C67-2
511-3	(書状、造園林学科新任先生来校につき実習地ほかアドバイスをいただいた旨ほか)	差出・田中勝美拝／受取・相馬勝夫先生机下	差出・(昭和57年)6月8日	1	封筒共、専修大学北海道短期大学罫紙使用、511-1に挟み込み、旧C67-3
512-1	(アルバム、専修大学創立百年記念祝典および同祝賀会)		開催日・昭和54年9月16日	1	512-2～3に挟み込み、旧C68-1
512-2	(袋、FUJICOLOR PRINT)	受取・総長		1	512-1に挟み込み、旧C68-2
512-3	(封筒)	差出・渡辺紀生子の婚家加藤家・新城歯科医院加藤吉次／受取・相馬先生	記載日付・昭和54年9月16日	1	512-1に挟み込み、旧C68-3
513	SCRAP BOOK 教育昭49.1～昭和52年5月～ (スクラップブック、教育関係新聞記事切抜)			1	旧C69
514-1	(コンパイラファイル)			1	514-2～36コンパイラファイルにて一括、旧C70-1
514-2	辞令 (専修大学教授委嘱および商経学部勤務を命ずる旨)	差出・専修大学長・小林良正◎／商経学部講師・相馬勝夫	差出・昭和27年1月1日	1	514-2～36コンパイラファイルにて一括、割印あり、旧C70-2
514-3	辞令 (短期大学部兼任教授を委嘱の旨)	差出・専修大学長・鈴木義男◎／商経学部教授・相馬勝夫	差出・昭和27年4月1日	1	514-2～36コンパイラファイルにて一括、割印あり、旧C70-3
514-4	辞令 (学生部長を委嘱の旨)	差出・専修大学長・鈴木義男◎／教授・相馬勝夫	差出・昭和27年8月15日	1	514-2～36コンパイラファイルにて一括、割印あり、旧C70-4
514-5	辞令 (本年度就職あつせん部の委員を委嘱の旨)	差出・専修大学長・鈴木義男◎／相馬勝夫殿	差出・昭和27年11月18日	1	514-2～36コンパイラファイルにて一括、割印あり、旧C70-5
514-6	(日本育英会専修大学委員部委員辞令)	差出・専修大学長・鈴木義男◎／教授・相馬勝夫	差出・昭和27年11月18日	1	514-2～36コンパイラファイルにて一括、旧C70-6
514-7	辞令 (昭和28年度学生部委員を委嘱の旨)	差出・専修大学長・鈴木義男◎／相馬勝夫	差出・昭和28年9月1日	1	514-2～36コンパイラファイルにて一括、割印あり、旧C70-7

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
514-8	辞令 (昭和28年度学生部長を委嘱の旨)	差出・専修大学長・鈴木義男㊟／相馬勝夫	差出・昭和28年9月1日	1	514-2～36コンパイルファイルにて一括、割印あり、旧C70-8
514-9	辞令 (昭和29年度学生部委員を委嘱の旨)	差出・専修大学長・鈴木義男㊟／相馬勝夫殿	差出・昭和29年4月1日	1	514-2～36コンパイルファイルにて一括、割印あり、旧C70-9
514-10	辞令 (昭和29年度学生部長を委嘱の旨)	差出・専修大学長・鈴木義男㊟／相馬勝夫殿	差出・昭和29年4月1日	1	514-2～36コンパイルファイルにて一括、割印あり、旧C70-10
514-11	辞令 (大学院経済研究科の講座保険論特論を委嘱の旨)	差出・専修大学長・鈴木義男㊟／商経学部教授・相馬勝夫	差出・昭和29年4月1日	1	514-2～36コンパイルファイルにて一括、割印あり、旧C70-11
514-12	委嘱 (昭和30年度学生募集委員を委嘱の旨)	差出・専修大学理事長・川島正次郎㊟ほか1名／受取・相馬勝夫殿	差出・昭和29年10月12日	1	514-2～36コンパイルファイルにて一括、旧C70-12
514-13	(書状、専修大学理事に選任につき就任承諾願)	差出・学校法人専修大学理事長・川島正次郎／相馬勝夫殿	差出・昭和29年11月26日	1	514-2～36コンパイルファイルにて一括、割印あり、旧C70-13
514-14	辞令 (商経学部長を委嘱の旨)	差出・専修大学長・木村国治㊟／受取・商経学部教授・相馬勝夫	差出・昭和30年4月5日	1	514-2～36コンパイルファイルにて一括、割印あり、旧C70-14
514-15	辞令 (本年度体育部委員会委員を委嘱の旨)	差出・専修大学長・木村国治㊟／受取・相馬勝夫殿	差出・昭和31年4月1日	1	514-2～36コンパイルファイルにて一括、旧C70-15
514-16	辞令 (本年度陸上競技部長を委嘱の旨)	差出・専修大学長・木村国治㊟ほか1名／受取・相馬勝夫殿	差出・昭和31年4月1日	1	514-2～36コンパイルファイルにて一括、旧C70-16
514-17	辞令 (理工科設置準備会常任委員を委嘱の旨)	差出・専修大学理事長・川島正次郎㊟／受取・相馬勝夫殿	差出・昭和33年1月17日	1	514-2～36コンパイルファイルにて一括、割印あり、旧C70-17
514-18	(書状、理工科設置委員特別委員委嘱につき協力願)	差出・学校法人専修大学理事長・川島正次郎／受取・相馬勝夫殿	差出・昭和33年2月5日	1	514-2～36コンパイルファイルにて一括、割印あり、旧C70-18
514-19	辞令 (本年度陸上競技部長を委嘱の旨)	差出・専修大学長・小林良正㊟ほか1名／受取・相馬勝夫	差出・昭和33年4月1日	1	514-2～36コンパイルファイルにて一括、旧C70-19
514-20	辞令 (本年度硬式野球部長を委嘱の旨)	差出・専修大学長・小林良正㊟ほか1名／受取・相馬勝夫	差出・昭和33年4月1日	1	514-2～36コンパイルファイルにて一括、旧C70-20
514-21	辞令 (本年度体育部委員会委員を委嘱の旨)	差出・専修大学長・小林良正㊟／受取・相馬勝夫殿	差出・昭和33年4月1日	1	514-2～36コンパイルファイルにて一括、旧C70-21
514-22	辞令 (昭和30年度体育部委員会委員を委嘱の旨)	差出・専修大学長・木村国治㊟／受取・理事・相馬勝夫	差出・昭和30年9月15日	1	514-2～36コンパイルファイルにて一括、割印あり、旧C70-22
514-23	辞令 (昭和33年度就職指導部委員を委嘱の旨)	差出・専修大学長・小林良正㊟／受取・教授・相馬勝夫	差出・昭和33年5月1日	1	514-2～36コンパイルファイルにて一括、割印あり、旧C70-23
514-24	辞令 (第二部対策委員会委員を委嘱の旨)	差出・専修大学長・小林良正㊟／受取・教授・相馬勝夫	差出・昭和33年10月1日	1	514-2～36コンパイルファイルにて一括、割印あり、旧C70-24

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
514-25	辞令 (昭和35年度体育部委員を委嘱の旨)	差出・専修大学長・小林良正 <sup>㊟</sup> ／受取・相馬勝夫	差出・昭和35年4月1日	1	514-2～36コンパイルファイルにて一括、割印あり、旧C70-25
514-26	辞令 (昭和35年度陸上競技部部長を委嘱の旨)	差出・専修大学長・小林良正 <sup>㊟</sup> ほか1名／受取・相馬勝夫	差出・昭和35年4月1日	1	514-2～36コンパイルファイルにて一括、割印あり、旧C70-26
514-27	辞令 (経営学部設置準備専門委員を委嘱の旨)	差出・専修大学 <sup>㊟</sup> 理事長・川島正次郎 <sup>㊟</sup> ／受取・相馬勝夫殿	差出・昭和35年6月15日	1	514-2～36コンパイルファイルにて一括、割印あり、旧C70-27
514-28	辞令 (昭和35年度就職指導部委員を委嘱の旨)	差出・専修大学長・小林良正 <sup>㊟</sup> ／受取・教授・相馬勝夫	差出・昭和35年4月1日	1	514-2～36コンパイルファイルにて一括、割印あり、旧C70-28
514-29	辞令 (経営学部設置準備会委員を委嘱の旨)	差出・専修大学 <sup>㊟</sup> 理事長・川島正次郎 <sup>㊟</sup> ／受取・相馬勝夫殿	差出・昭和35年6月15日	1	514-2～36コンパイルファイルにて一括、割印あり、旧C70-29
514-30	辞令 (体育部長の併任解除の旨)	差出・専修大学長・小林良正 <sup>㊟</sup> ／受取・教授・相馬勝夫	差出・昭和36年2月14日	1	514-2～36コンパイルファイルにて一括、割印あり、旧C70-30
514-31	辞令 (専修大学経営学研究所長を委嘱の旨)	差出・専修大学長・小林良正 <sup>㊟</sup> ／受取・専修大学教授・相馬勝夫	差出・昭和36年4月1日	1	514-2～36コンパイルファイルにて一括、割印あり、旧C70-31
514-32-1	(メモ、相馬勝夫経歴)	(差出・相馬勝夫)	対象・昭和27年1月まで	1	514-2～36コンパイルファイルにて一括、514-32-1～3までクリップ留め、KOKUYO罫紙使用、旧C70-32-1
514-32-2	(メモ、相馬勝夫職歴)	(差出・相馬勝夫)		1	514-2～36コンパイルファイルにて一括、514-32-1～3までクリップ留め、KOKUYO罫紙使用、旧C70-32-2
514-32-3	履歴書	差出・相馬勝夫 <sup>㊟</sup>	差出・昭和46年5月15日	1	514-2～36コンパイルファイルにて一括、514-32-1～3までクリップ留め、KOKUYO罫紙使用、書込みあり、旧C70-32-3
514-33-1	(メモ、相馬勝夫略歴)	(差出・相馬勝夫)	対象・昭和32年3月まで	1	514-2～36コンパイルファイルにて一括、514-33-1～8までクリップ留め、専修大学学会稿本用紙使用、旧C70-33-1
514-33-2	(メモ、相馬勝夫略歴)	(差出・相馬勝夫)	対象・昭和43年4月まで	1	514-2～36コンパイルファイルにて一括、514-33-1～8までクリップ留め、東京文房堂製稿本用紙使用、旧C70-33-2
514-33-3	履歴書	(差出・相馬勝夫)	(作成・昭和39年9月3日)	1	514-2～36コンパイルファイルにて一括、514-33-1～8までクリップ留め、旧C70-33-3

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
514-33-4	履歴書	差出・右相馬勝夫㊟	差出・昭和26年4月22日	1	514-2～36コンパイラファイルにて一括、514-33-1～8までクリップ留め、罫紙使用、旧C70-33-4
514-33-5	(メモ、相馬勝夫経歴)	(差出・相馬勝夫)	対象・昭和26年4月まで	1	514-2～36コンパイラファイルにて一括、514-33-1～8までクリップ留め、旧C70-33-5
514-33-6	昭和27年4月専大へ届出 (メモ、相馬勝夫経歴)	(差出・相馬勝夫)	対象・昭和27年4月まで	1	514-2～36コンパイラファイルにて一括、514-33-1～8までクリップ留め、旧C70-33-6
514-33-7	履歴 (下書)	(差出・相馬勝夫)	対象・昭和26年4月まで	1	514-2～36コンパイラファイルにて一括、514-33-1～8までクリップ留め、罫紙使用、鉛筆書きあり、旧C70-33-7
514-33-8	(メモ、相馬勝夫経歴)	(差出・相馬勝夫)	対象・大正13年4月まで	1	514-2～36コンパイラファイルにて一括、514-33-1～8までクリップ留め、相馬用箋使用、旧C70-33-8
514-34	学位申請願 (下書)	受取・専修大学長・小林良正殿	(昭和)	1	514-2～36コンパイラファイルにて一括、専修大学罫紙使用、旧C70-34
514-35	(人事興信録「相馬勝夫」欄抜刷)		(昭和)	1	514-2～36コンパイラファイルにて一括、コピーしたものを「明治100年記念出版 第24版人事興信録発行迫る」と印刷された洋紙に貼付したもの、第24版カ、旧C70-35
514-36	70年代初頭のご貴殿とご尊家が記録された第26版人事興信録を是非ご保存下さい (チラシ)	差出・株式会社人事興信所 (／受取・相馬勝夫)	差出・昭和46年	1	514-2～36コンパイラファイルにて一括、旧C70-36
515-1	専修大学図書館蔵 古典籍影印叢刊 第一巻別巻『古典籍への誘い』	著者・中田武司	発行・昭和58年7月23日	1	箱共、515-2と共に同包、旧C71-1
515-2	専修大学図書館蔵 古典籍影印叢刊 第一巻別巻『完全復刻の裏方たち』	編著者・古島敏雄	発行・昭和58年7月23日	1	箱共、515-1と共に同包、旧C71-2
516-1	(ノート、スケジュール覚)	(差出・相馬勝夫)	対象・昭和49年6月6日～6月9日	1	516-1～5は1冊のノート、旧C72-1
516-2	(ノート、ブリタニカ年鑑1982年版「世界の高等教育事情」抜書)	(差出・相馬勝夫)		1	516-1～5は1冊のノート、旧C72-2

ID	資料名 (内容)	差出・差出など/受取	対象年月日	数量	備考
516-3	(ノート、庭田範秋著『保険経営論』書評覚)	(差出・相馬勝夫)	作成・昭和52年5月24日	1	516-1～5は1冊のノート、旧C72-3
516-4	(ノート、北海道における予定覚)		対象・昭和41年8月13日～昭和43年4月13日	1	516-1～5は1冊のノート、旧C72-4
516-5	(日記)		対象・昭和43年4月1日～昭和45年9月16日	1	516-1～5は1冊のノート、旧C72-5
516-6-1-1	(メモ、専修大学北海道短期大学に係るあいさつ文下書)			1	516に挟み込み、516-6-1-1～2までクリップ留め、旧C72-6-1-1
516-6-1-2	(メモ、ブリタニカ年鑑1977年版「大学」に関する抜書)			1	516に挟み込み、516-6-1-1～2までクリップ留め、中欠、旧C72-6-1-2
516-6-2	セベック会館について(建物新築につきセベック会館と称する旨)	差出・専修大学北海道短期大学	差出・昭和51年1月14日	1	516に挟み込み、旧C72-6-2
516-6-3	(書状、石橋元松戸市長の葬儀に参列につき横田先生ご慰労の会ほか短大関係の件)	差出・能城/受取・相馬先生	差出・昭和49年6月6日	1	516に挟み込み、旧C72-6-3
516-7-1-1	(メモ、「諸科学の変化と永続性」に関する解説)			1	516に挟み込み、516-7-1～3までクリップ留め、旧C72-7-1-1
516-7-1-2	(メモ、「高等教育」に関する解説)			1	516に挟み込み、516-7-1～3までクリップ留め、旧C72-7-1-2
516-7-1-3	(メモ、「大学」に関する解説ほか)			1	516に挟み込み、516-7-1～3までクリップ留め、旧C72-7-1-3
516-7-2	(メモ、「人類学」に関する解説ほか)			1	516に挟み込み、旧C72-7-2
516-7-3	(メモ、「高等教育」に関する解説)			1	516に挟み込み、コクヨ罫紙使用、画像あり
516-7-4	委員会規定(案)(専修大学北海道短期大学各種委員会規定の件)		作成・昭和50年3月4日	1	516に挟み込み、クリップ留め、専修大学罫紙使用、旧C72-7-4
516-7-5	商学部、経営学部への編入について(専修大学北海道短期大学から専修大学への編入の件)	差出・短大事務所	作成・昭和50年1月31日	1	516に挟み込み、罫紙使用、裏書あり、旧C72-7-5
516-7-6	(メモ、専修大学北海道短期大学教員人事および下宿対策ほか充実計画等)			1	516に挟み込み、専修大学罫紙使用、旧C72-7-6
516-7-7	昭和50年度 志願者数(専修大学)	差出・専修大学広報課	作成・昭和50年3月8日	1	516に挟み込み、専修大学罫紙使用、旧C72-7-7
516-7-8	昭和50年度北海道短期大学入試状況		作成・昭和50年3月6日	1	516に挟み込み、㊟(余村)あり、旧C72-7-8



ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
517	SCRAP BOOK 保険昭49.1～(スクラップブック、保険関係新聞記事切抜)			1	旧C73
518-1	LEVER FAIL 私大退職金財団 昭和56- (レバーファイル)			1	518-2～10-6までレバーファイルで一括、旧C74-1
518-2	財団法人私立大学退職金財団 設立趣意書・寄附行為・退職資金交付業務方法書(冊子)			1	518-2～10-6までレバーファイルで一括、㊟(第8回常務理事会資料3)あり、旧C74-2
518-3	財団法人私立大学退職金財団 設立趣意書・寄附行為・退職資金交付業務方法書			1	518-2～10-6までレバーファイルで一括、旧C74-3
518-4	財団設立許可について(お知らせ)(書状、財団法人私立大学退職金財団の設立につき)	差出・私立大学等退職金団体設立準備委員会・委員長・大木金次郎／受取・準備委員ほか4名	差出・昭和56年9月7日	1	518-2～10-6までレバーファイルで一括、㊟(総長)あり、旧C74-4
518-5	「退職金支給の安定化がねらい ●スタートした私立大学退職金財団」(抜刷)	著者・内外教育編集部・原田和雄	(発行・昭和56年9月4日)	1	518-2～10-6までレバーファイルで一括、旧C74-5
518-6	振込依頼書	お受取人・私立大学等退職金団体設立準備委員会様		1	518-2～10-6までレバーファイルで一括、振込通知書および振込金受取書共、旧C74-6
518-7	『連盟広報 第39号』		発行・昭和56年4月30日	1	518-2～10-6までレバーファイルで一括、旧C74-7
518-8	昭和56.4.24 金曜会に於ける各大学の实情(退職財団加入および56年度ベア問題の件)		(作成・昭和56年4月24日)	1	518-2～10-6までレバーファイルで一括、旧C74-8
518-9	維持会員の募集について(連絡)(書状、各私立大学等学校法人理事長宛に印刷物発送につき)	差出・私立大学等退職金団体設立準備委員長・大木金次郎ほか1名／受取・準備委員ほか1名	差出・昭和56年4月27日	1	518-2～10-6までレバーファイルで一括、㊟(総長)あり、旧C74-9
518-10-1	私立大学等退職金財団設立に伴う加入並びに加入金の納入について(お願い)(書状、基本財団等必要につき加入学校法人から加入金相当額ご寄附の旨)	差出・私立大学等退職金団体設立準備委員会委員長・大木金次郎／私立大学等学校法人理事長殿	差出・昭和56年4月27日	1	518-2～10-6までレバーファイルで一括、旧C74-10-1
518-10-2	(別紙)私立大学等退職金財団について(設立に至る経緯ほかにつき)	差出・私立大学等退職金団体設立準備委員会ほか1名	(差出・昭和56年4月27日)	1	518-2～10-6までレバーファイルで一括、518-10-1の別紙、旧C74-10-2

ID	資料名 (内容)	差出・差出など/受取	対象年月日	数量	備考
518-10-3	『学校会計委員会報告第19号 私学退職金団体に対する負担金等に関する会計処理及び監査上の取扱いについて』	著者・日本公認会計士協会	発行・昭和50年5月7日	1	518-2～10-6までレバーファイルで一括、学校会計委員会副委員長による解説あり、518-10-1と同封されていたもの、旧C74-10-3
518-10-4	加入申込書	(受取・私立大学等退職金団体設立準備委員会委員長・大木金次郎殿)	作成・昭和56年	1	518-2～10-6までレバーファイルで一括、518-10-1の別添、旧C74-10-4
518-10-5	私立大学等退職金財団業務構想(案) 骨子			1	518-2～10-6までレバーファイルで一括、518-10-1と同封されていたもの、旧C74-10-5
518-10-6	財団法人私立大学退職金財団 設立趣意書・寄附行為・退職資金交付業務方法書			1	518-2～10-6までレバーファイルで一括、518-10-1と同封されていたもの、旧C74-10-6
519	SCRAP BOOK らくがき K・S (スクラップブック、相馬勝夫執筆記事切抜)		対象・昭和36年10月～昭和41年3月	1	旧C75
520	spiral SCRAP BOOK (スクラップブック、相馬勝夫執筆記事切抜(2))		対象・昭和41年4月～昭和47年3月	1	旧C76
521-1	spiral SCRAP BOOK (スクラップブック、相馬勝夫執筆記事切抜(3))		対象・昭和47年2月～昭和50年8月	1	旧C77-1
521-2	私立学校教職員共済組合法の一部改正による加入申出校(昭和49年10月末現在)	受取・相馬先生へ	作成・昭和29年3月28日	1	521-1に貼付けられたもの、旧C77-2
521-3	「教育学会々報」稿本(「環境問題に想う 専修大学長 相馬勝夫」)	(差出・相馬勝夫)	作成・昭和49年5月24日	1	521-1に挟み込まれていたもの、コクヨ稿本用紙使用、クリップ留め、旧C77-3
521-4	(メモ、「総長・学長就任披露の会」ご挨拶)	(差出・相馬勝夫)	開催日・昭和51年10月21日	1	521-1に挟み込まれていたもの、クリップ留め、旧C77-4
521-5	(昭和52年度入学式式辞稿本)	(差出・相馬勝夫)	開催日・昭和51年10月21日	1	521-1に挟み込まれていたもの、稿本用紙使用、クリップ留め、旧C77-5
522	『IDE調査研究報告第5集 海外大学教育総合調査団報告書』	編集代表・大泉孝ほか1名	発行・昭和39年11月30日	1	箱共、箱に「K. Soma」と署名あり、正誤表および『Summary of the IDE Higher Education Mission Report 1963』あり、旧C78
523-1	『専修大学百年小史』	編集・(株)ニューピーアール/発行・専修大学	発行・昭和54年8月20日	1	箱共、523-2挟み込み、旧C79-1
523-2	専修大学創立百年記念はがき			1	523-1に挟み込み、6葉1セット、旧C79-2

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
524-1	『専修大学スポーツ記録 1933～1983』	編集・株式会社ニューピーアール／発行・学校法人専修大学	発行・昭和58年11月30日	1	箱共、524-2～3と共に同包、旧C80-1
524-2	『専修大学体育会50年史・人国記』	編集・株式会社ニューピーアール／発行・学校法人専修大学	発行・昭和58年11月30日	1	箱共、524-1、524-3と共に同包、旧C80-2
524-3	(書状、体育会創立五十周年記念式典にご臨席かつご厚志を頂戴につき礼状)	差出・専修大学理事長・体育会長・森口忠造ほか1名	差出・昭和58年12月4日	1	箱・封筒共、524-1～2と共に同包、旧C80-3
525	『専修大学教育学会創立30周年記念論集』	発行・専修大学教育学会	発行・昭和57年11月21日	1	旧C81
526	『専修大学百年小史』	編集・(株)ニューピーアール／発行・専修大学	発行・昭和54年8月20日	1	旧C82
527-1	『創立100年記念出版縮刷版ニュース専修で見る専修百年』		発行・昭和54年9月16日	1	1979年9月9日の『毎日新聞』挟み込み、旧C83-1
527-2	『毎日新聞 第37153号』		発行・昭和54年9月9日	1	527-1の見返しに挟み込み、旧C83-2
527-3	ニュース専修百年史稿本要正誤箇所			1	527-1のp44-45に挟み込み、ホッチキス留め、旧C83-3
528	『専修大学一〇五年』	編集兼発行・学校法人専修大学	発行・昭和59年9月10日	1	旧C84
529	『専修大学115年』	編集兼発行・学校法人専修大学	発行・平成6年8月20日	1	旧C85
530	『専修大学120年 1880-2000』	編集兼発行・学校法人専修大学	発行・平成11年12月15日	1	旧C86
531	『15年の歩み』	(発行・専修大学北海道短期大学)	(発行・昭和58年)	1	旧C87
532	『専修大学総合体育館』	(発行・専修大学)	(発行・昭和58年)	1	旧C88
533	『専修大学社会科学研究所月報 No. 212』	発行・専修大学社会科学研究所	発行・昭和56年4月20日	1	故山田盛太郎先生追悼号、旧C89
534	専修大学体育会創立50周年記念式典・祝賀会実施要綱	差出・創立50周年記念事業実行委員会	開催日・昭和58年12月4日	1	p1. 2. 6. 7. 19. 20のみ、ホッチキス留め、旧C90
535-1	専修大学創立百年記念式典・祝賀会実施要綱	差出・創立百年記念事業事務局	開催日・昭和54年9月16日	1	㊟ (資料1-1) あり、535-2～4まで挟み込み、旧C91-1
535-2	専修大学創立百年記念 (レコード、専修大学校歌・専修大学北海道短期大学校歌・鳳は今日も羽ばたく (創立百年記念歌)・スター専修 (応援歌))	製造・東芝EMI株式会社		1	袋・ケース共、535-1に挟み込み、旧C91-2
535-3	専修大学創立100年記念式典 (式次第)	(差出・専修大学)	開催日・昭和54年9月16日	1	535-1に挟み込み、旧C91-3
535-4	専修大学創立100年記念式典 (式次第)	(差出・専修大学)	開催日・昭和54年9月16日	1	535-1に挟み込み、旧C91-4

ID	資料名 (内容)	差出・差出など/受取	対象年月日	数量	備考
536-1	『川島正次郎先生を偲んで』		(発行・昭和56年)	1	536-2～4まで挟み込み、旧C92-1
536-2	川島正次郎先生を偲んで 専修大学長 相馬勝夫 (『川島正次郎』掲載稿 本草稿)	差出・相馬勝夫	作成・昭和46年1月 15日	1	536-1に挟み込み、専 修大学稿本用紙使用、 旧C92-2
536-3	学長談話 (今朝川島総長 先生ご急逝につき)	(差出・相馬勝夫)	(作成・昭和45年11 月9日)	1	536-1に挟み込み、専 修大学罫紙使用、旧 C92-3
536-4	(メモ、川島正次郎略 歴)		(作成・昭和45年)	1	536-1に挟み込み、専 修大学罫紙使用、旧 C92-4
537	『川島正次郎先生を偲んで』		(発行・昭和56年)	1	旧C93
538	『政治と教育の一体化-川 島先生を偲ぶ-』	著者・村田栄吉/発行 者・川島先生を囲む会代 表・梅沢仙吉	発行・昭和46年2月 16日	1	旧C94
539	『森口忠造先生の叙勲を 祝って』	(差出・森口忠造先生の 叙勲を祝う会)	(発行・昭和55年)	1	旧C95
540-1	古今和歌集 春哥一首 藤原為定筆 (色紙)	(差出・専修大学図書館 蔵 古典籍影印叢刊行 会)		1	包紙共、540-2同包、 旧C96-1
540-2	天下為公 浩気長存 (色 紙)	差出・虔秀修		1	包紙共、540-1と同 包、旧C96-2
541-1	相馬永胤伝 第十一分冊			1	紐綴じ、541-1～12ま で包紙・ビニール紐に て一括、専修大学稿本 用紙使用、包紙・ビ ニール紐共、旧C97-1
541-2	相馬永胤伝 第十分冊			1	紐綴じ、541-1～12ま で包紙・ビニール紐に て一括、541-2～12ま でビニール紐にて一 括、専修大学稿本用紙 使用、ビニール紐共、 旧C97-2
541-3	相馬永胤伝 第九分冊			1	紐綴じ、541-1～12ま で包紙・ビニール紐に て一括、541-2～12ま でビニール紐にて一 括、専修大学稿本用紙 使用、旧C97-3
541-4	相馬永胤伝 第八分冊			1	紐綴じ、541-1～12ま で包紙・ビニール紐に て一括、541-2～12ま でビニール紐にて一 括、専修大学稿本用紙 使用、旧C97-4
541-5	相馬永胤伝 第七分冊			1	紐綴じ、541-1～12ま で包紙・ビニール紐に て一括、541-2～12ま でビニール紐にて一 括、専修大学稿本用紙 使用、旧C97-5

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
541-6	相馬永胤伝 第六分冊			1	紐綴じ、541-1～12まで包紙・ビニール紐にて一括、541-2～12までビニール紐にて一括、専修大学稿本用紙使用、旧C97-6
541-7	(相馬永胤伝 第五分冊「第七章明治中期の私学」差換え稿本)			1	クリップ留め・紐綴じ、541-1～12まで包紙・ビニール紐にて一括、541-2～12までビニール紐にて一括、専修大学稿本用紙使用、旧C97-7
541-8	相馬永胤伝 第五分冊			1	紐綴じ、541-1～12まで包紙・ビニール紐にて一括、541-2～12までビニール紐にて一括、専修大学稿本用紙使用、旧C97-8
541-9	相馬永胤伝 第四分冊			1	紐綴じ、541-1～12まで包紙・ビニール紐にて一括、541-2～12までビニール紐にて一括、専修大学稿本用紙使用、旧C97-9
541-10	相馬永胤伝 第三分冊			1	紐綴じ、541-1～12まで包紙・ビニール紐にて一括、541-2～12までビニール紐にて一括、専修大学稿本用紙使用、旧C97-10
541-11	相馬永胤伝 第一分冊			1	紐綴じ、541-1～12まで包紙・ビニール紐にて一括、541-2～12までビニール紐にて一括、専修大学稿本用紙使用、旧C97-11
541-12	相馬永胤伝 第二分冊			1	紐綴じ、541-1～12まで包紙・ビニール紐にて一括、541-2～12までビニール紐にて一括、専修大学稿本用紙使用、旧C97-12
542	玉堂美術館開館20周年記念 日本の心を描く 川合玉堂展 (半券)	(主催・読売新聞社ほか1名)	会期・昭和57年5月20日～6月1日	1	旧C98
543	『北斎展』 (図録)	製作・日本経済新聞社企画部	会期・昭和42年4月11日～4月23日	1	旧C99
544-1	『大原美術館作品選』 (図録)	編集・解説・嘉門安雄／制作・美術出版デザインセンター東京	発行・昭和40年	1	544-2～4まで挟み込み、旧C100-1
544-2	『大原美術館作品解説』	解説・嘉門安雄		1	544-1に挟み込み、旧C100-2
544-3	『大原美術館 目録』			1	544-1に挟み込み、旧C100-3

ID	資料名 (内容)	差出・差出など/受取	対象年月日	数量	備考
544-4	財団法人大原美術館 (半券)			1	544-1に挟み込み、旧C100-4
545-1	『第35回 一水会展目録』		(発行・昭和48年)	1	545-2挟み込み、旧C101-1
545-2	(書状、一水会展開催につき御案内の旨)	差出・谷合浩典		1	545-1に挟み込み、旧C101-2
546	『正倉院展目録』		(発行・昭和28年)	1	旧C102
547	『レンブラント名作展』(図録)	(制作・日本経済新聞社)	(発行・昭和43年)	1	謹呈箋共、旧C103
548	『中国戦国時代の雄 中山王国文物展』(図録)	編集・主催・東京国立博物館ほか2名	(発行・昭和56年)	1	旧C104
549	『中華人民共和国出土文物展』(図録)	編集・主催・日本中国文化交流協会ほか3名	(発行・昭和53年)	1	旧C105
550	『中華人民共和国古代青銅器展』(図録)	(主催・東京国立博物館ほか3名)	(発行・昭和51年)	1	旧C106
551-1	『LONGMAN DICTIONARY OF CONTEMPORARY ENGLISH』(英文辞典)			1	551-2挟み込み、旧C107-1
551-2	私学共済のしおり			1	551-1に挟み込み、旧C107-2
552	『岩波国語辞典 第三版』	編者・西尾実ほか2名	発行・昭和54年12月4日(第3版)	1	箱共、裏表紙に「昭和55年7月 日本点字図書館増改築記念」と印字あり、旧C108
553	『玉堂美術館開館20周年記念 川合玉堂展』(図録)	(主催・読売新聞社ほか1名)	会期・昭和57年5月20日～6月1日	1	旧C109
554	「火災保険に於ける被保険物と損害填補-ドイツ火災保険普通約款第二條乃至第四條の研究-」(抜刷)	著者・相馬勝夫	稿・昭和27年8月30日	1	表紙に「自用」と手書きあり、旧C110
555	「ドイツ火災保険約款の告知義務規程(ドイツ火災保険普通約款第五條の研究)」(抜刷)	著者・相馬勝夫	稿・昭和28年9月17日	1	表紙に「自用」と手書きあり、旧C111
556	「変動性ストックの火災保険(昭和28.12.2日本保険学会関東部会での報告)」(抜刷)	著者・相馬勝夫	報告・昭和28年12月2日	1	表紙に「自用」と手書きあり、旧C112
557	「ドイツ火災保険の危険増加に関する規定並に保安規定-ドイツ火災保険普通約款第六條及び第七條の研究-」(抜刷)	著者・相馬勝夫	稿・昭和29年1月19日(発行・昭和29年8月)	1	表紙に「自用」と手書きあり、旧C113
558-1	「十九世紀の英国火災保険」(抜刷)	著者・相馬勝夫	(発行・昭和31年8月)	1	書込み多数あり、558-2挟み込み、旧C114-1
558-2	(メモ、「19世紀における国内学者の成長」の頁数ほか)			1	558-1に挟み込み、稿本用紙使用、旧C114-2

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
559-1	「火災保険における残存責任」 (抜刷)	著者・相馬勝夫	(発行・昭和35年2月)	1	表紙に「自用」と手書きあり、書込み多数あり、巻末に559-2貼付、旧C115-1
559-2	(書状、火災保険の残存責任の問題について御研究発表につき)	差出・横尾登米雄／相馬勝夫先生	差出・昭和35年3月19日	1	559-1に貼付、コクヨ罫紙使用、旧C115-2
560	「市営火災保険問題」 (抜刷)	著者・相馬勝夫	(発行・昭和38年8月1日)	1	旧C116
561	「火災危険と保険」 (抜刷)	著者・相馬勝夫	(発行・昭和39年1月)	1	旧C117
562	「経営研究所20周年の思い出」 (抜刷)	著者・相馬勝夫ほか6名	(発行・昭和56年)	1	旧C118
563-1	「三井物産会社の経営史的研究 (要旨) - 「元」三井物産会社の定着・発展・解散 -」 (抜刷)	著者・梅井義雄	(昭和49年)	1	563-2挟み込み、旧C119-1
563-2	「博士学位論文審査要旨」 (抜刷)	論文提出者・梅井義雄／審査委員主査・岩尾裕純／副査・山下幸夫ほか1名	(発行・昭和51年9月25日)	1	563-1に挟み込み、旧C119-2
564	「法詞譯集-専修学校創設と外国法教育-」 (抜刷)	著者・宮坂宏	(発行・昭和44年)	1	旧C120
565	「合川正道の憲法講義-専修学校における法学教育の一考察-」 (抜刷)	著者・宮坂宏	(発行・昭和46年2月)	1	旧C121
566	「《資料紹介》明治初期の法律用語辞書草稿」 (抜刷)	著者・宮坂宏	(発行・昭和46年9月)	1	旧C122
567	「《資料紹介》専修学校の法律学講義について (三) -相馬永胤の「英米売買法」-」 (抜刷)	著者・宮坂宏	(発行・昭和51年10月)	1	旧C123
568	「明治初期の専門教育と専修学校の教課」 (抜刷)	著者・小峰保栄	(発行・昭和52年3月)	1	表紙に「昭52. 3. 20読了 K.Soma」とあり、旧C124
569-1	『ロシア絵画の巨匠レーピン名作展』 (図録)	編集・財団法人国際美術協会	(昭和53年)	1	569-2挟み込み、旧C125-1
569-2	ごあいさつ (ロシア絵画の巨匠「レーピン名作展」を開催につき)	差出・財団法人国際美術協会ほか1名	(昭和53年)	1	569-1に挟み込み、右半分欠、旧C125-2
570-1	『19世紀から現代 ロシア・ソビエト国宝絵画展』 (図録)	監修・ソ連邦文化省／解説・中村曜子／制作・月光荘	(昭和50年)	1	570-2挟み込み、旧C126-1
570-2	19世紀から現代 ロシア・ソビエト国宝絵画展 (チケット)		(昭和50年)	1	570-1に挟み込み、半券欠、旧C126-2

ID	資料名 (内容)	差出・差出など/受取	対象年月日	数量	備考
571-1	『紀元前6世紀より現代まで 大ペルシャ文明展 イラン国立考古学博物館特別出陳』 (図録)	企画・編集・日本放送協会事業部ほか1名	昭和52年	1	571-2挟み込み、旧C127-1
571-2	ペルセポリス全景図 (地図)			1	571-1に挟み込み、旧C127-2
572	『ドイツ民主共和国ドレスデン国立美術館所蔵 (アルテ・マイスター絵画館) ヨーロッパ絵画名作展』 (図録)	監修・国立西洋美術館	昭和49年	1	旧C128
573	『ロンドン展 シティの財宝と伝統』 (図録)	企画・編集・三越/制作・美術出版デザインセンター	(昭和44年)	1	旧C129
574	『モジリアニ名作展』 (図録)	監修・今泉篤男/編集・カタログ委員会	(昭和43年)	1	旧C130
575	『Insurance Its Principles and Practice in Japan』	by NORIAKI NIWATA	発行・昭和53年1月	1	旧C131
576	『一橋論叢 第五十一巻 第一号 大林良一名誉教授記念号』	編集所・一橋大学一橋学会一橋論叢編集所	発行・昭和39年1月1日	1	旧C132
577	『私学研修 第86号-昭和54年度海外研修・国内研修報告書-』	発行人・編集人・落合成郎	発行・昭和56年3月1日	1	旧C133
578	『日本の美術 文人画 第四号』	編集・飯島勇	発行・昭和41年8月1日	1	旧C134
579	『保険教育・保険と経済 月刊保険評論 廃刊号 (通巻No. 346)』	編集人・発行人・金子平次郎	発行・昭和51年11月10日	1	旧C135
580	『保険六法』	監修・生命保険協会ほか1名/編集・保険制度研究会	発行・昭和41年6月20日	1	箱共、旧C136
581	『明解漢和辞典 (新版)』	編著者・長澤規矩也	発行・昭和34年3月25日 (1刷)/昭和38年1月20日 (32刷)	1	箱共、旧C137
582	『模範最新世界年表 (四訂版)』	編纂者・三省堂編輯所・代表者・亀井豊治	発行・大正10年10月5日 (1版)/昭和13年2月10日 (4訂改版)	1	背表紙破損、旧C138
583	『Versicherungsvertragsgesetz』	ERICH R, PROLSS		1	保険契約法、旧C139
584	『Liebes altes Hamburg II』		昭和47年	1	旧C140
585	『Everyman's DICTIONARY OF ECONOMICS』	Revised edition compiled by Arthur Seldon and F. G. Pennance		1	旧C141
586	『岩波国語辞典』	編者・西尾実ほか1名	発行・昭和38年4月10日	1	箱共、旧C142



ID	資料名 (内容)	差出・差出など/受取	対象年月日	数量	備考
587	「二つの保険関係」 (抜刷)	著者・相馬勝夫	(昭和18年)	1	書込み多数、旧C143
588-1	『日産火災の現状』		発行・昭和56年9月	1	588-2挟み込み、旧C144-1
588-2	「日産火災の現状」の発行について (送付状)	差出・日産火災海上保険株式会社/受取・各位	差出・昭和56年9月30日	1	588-1に挟み込み、日産火災海上保険株式会社用紙使用、旧C144-2
589	「火災保険に於ける危険と損害 (ドイツ火災保険普通約款第一条の研究)」 (抜刷)	著者・相馬勝夫	(昭和27年3月31日)	1	表紙に「自用 「損害保険研究」 十四卷三号 正味二六頁」とあり、書込み多数、旧C145
590	『内田義彦 大佛次郎賞受賞記念講演「作品」への遍歴』	編集・専修大学社会科学研究所	発行・昭和57年10月30日	1	旧C146
591	『損害保険契約法 (各則) 改正試案・傷害保険契約法 (新設) 試案 理由書』	編者・保険法制研究会	発行・昭和56年7月10日	1	旧C147
592	『敬宇先生 自叙千字文・愛敬歌』	訳詞並に発行者・平林広人	発行・昭和36年6月7日	3	旧C148
593-1	『敬宇先生 自叙千字文・愛敬歌』	訳詞並に発行者・平林広人	発行・昭和36年6月7日	1	593-2~4挟み込み、旧C149-1
593-2	ご挨拶 (雛型、人物叢書「中村敬宇」出版につき送付状)	差出・曾孫・中村敬ほか3名	差出・昭和43年1月	1	593-1に挟み込み、旧C149-2
593-3	寄贈図書受領の件 (はがき、人物叢書『中村敬宇』寄贈者方住所不詳につき)	差出・静岡雙葉学園図書館図書係・松永斎/受取・吉川弘文館御中	差出・昭和42年1月21日	1	593-1に挟み込み、旧C149-3
593-4	「デンマークにおける図書館網と公共図書館」 (抜刷)	著者・(デンマーク文庫理事) 平林広人	(発行・昭和41年2月)	1	593-1に挟み込み、旧C149-4
594-1	「中村敬宇顕彰碑の建立によせて」	著者・佃正弘 (日本経済新聞社常務取締役)	(昭和46年11月3日)	1	594-2挟み込み、写真3点貼付、旧C150-1
594-2	(書状、小冊子作成につきご笑納の旨)	差出・佃正弘 (日本経済新聞社常務取締役)	(昭和46年11月3日)	1	594-1に挟み込み、旧C150-2
595	「火災保険約款の地震免責条項について」 (抜刷)	著者・金子暁実		1	旧C151
596	「英米火災保険における“Consequential Loss”について」 (抜刷)	著者・金子暁実		1	表紙に「昭和49年7月22日落手」とあり、旧C152
597	「火災の意義と保険者の責任」 (抜刷)	著者・金子暁実		1	表紙に「昭和四九年七月廿二日受領」とあり、旧C153
598	「火災保険における固有の欠陥および性質について」 (抜刷)	著者・金子暁実	(昭和51年5月)	1	旧C154
599	「弁護士 法学博士 孫田秀春述 孫田一族史観」	述・孫田秀春		1	表紙に㊟ (贈呈) あり、旧C155

ID	資料名 (内容)	差出・差出など/受取	対象年月日	数量	備考
600	『Hamburger Feuerkasse』		-1961	1	報告書カ、ドイツ語につき著者など解読できず、旧C156
601	『ENCYCLOPEDIA BRITANNICA WORLD ATLAS』			1	旧C157
602	相馬勝夫関係資料 (タイトル紙)			1	旧C158
603-1	『今村力三郎翁追想録』	(編集・専修大学総長今村先生追憶会)	発行・昭和30年6月12日	1	旧封筒共、603-2と同封、発行の挨拶状挟み込み、旧C159-1
603-2	「専門記者以上の相撲通であった」 (抜刷)	(著者・相馬勝夫氏)	(発行・昭和30年6月12日)	1	603-1と同封、2部あり、ホッチキス留め、旧C159-2
604	「年頭雑感」 (抜刷)	著者・相馬勝夫	(発行・昭和31年1月15日)	1	旧封筒共、旧C160
605	「新生には陣痛が必定 経営学部新設を望む」 (抜刷)	著者・相馬勝夫	(発行・昭和35年1月15日)	1	旧封筒共、旧C161
606	「新学長抱負を語る 経営学部を契機に躍進」 (抜刷)	著者・相馬勝夫	(発行・昭和36年10月15日)	1	旧封筒共、旧C162
607	「新設・経営学部 特集号によせて」 (抜刷)	著者・学長・経営研究所長相馬勝夫	(発行・昭和36年12月10日)	2	旧封筒共、旧C163
608	「今後は生田中心に 検討期に立つ学校行政」	著者・相馬勝夫	(発行・昭和37年1月15日)	1	旧封筒共、旧C164
609	祝辞 (福智高等学校入学式につき)	差出・専修大学長・相馬勝夫	(会期・昭和37年4月10日)	1	旧封筒共、専修大学罫紙使用、欄外に「大霜殿3/17閣@ (相馬)」とあり、書込みあり、旧C165
610	「新入生に期待する」 (抜刷)	著者・学長・相馬勝夫	(発行・昭和37年4月15日)	1	旧封筒共、旧C166
611	「本紙記者会見 総長、学長新春に語る」 (抜刷)	著者・川島総長ほか1名	(発行・昭和38年1月15日)	1	旧封筒共、旧C167
612	「思い出の記」 (抜刷)	著者・相馬勝夫	(発行・昭和38年1月15日)	2	旧封筒共、旧C168
613	「報恩精神で世界平和を」 (抜刷)	著者・相馬勝夫	(発行・昭和38年4月15日)	2	旧封筒共、旧C169
614	「学生に望む」 (抜刷)	著者・学長・相馬勝夫	(発行・昭和38年12月1日)	2	旧封筒共、旧C170
615	「欧米の旅から 東京→ホノルル→桑港 男女学生の超親密の姿に驚く」 (抜刷)	著者・学長・相馬勝夫	(発行・昭和38年12月15日)	2	旧封筒共、旧C171
616	「欧米の旅から パロアルト大学の見聞 一千万坪の広さを身をもって体験」 (抜刷)	著者・学長・相馬勝夫	(発行・昭和39年1月15日)	2	旧封筒共、旧C172

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
617	「教学の強化を計る 商学部は来春開講」 (抜刷)	著者・学長・相馬勝夫	(発行・昭和39年1月15日)	1	旧封筒共、旧C173
618	「新入生を祝して」 (抜刷)	著者・学長・相馬勝夫	(発行・昭和39年4月15日)	1	旧封筒共、旧C174
619	「特別寄稿 専大今昔談」 (抜刷)	著者・学長・相馬勝夫	作成・昭和39年9月25日 (／発行・昭和39年10月)	1	旧封筒共、ホッチキス留め、旧C175
620	「刊行の辞」 (抜刷、『鈴木義男』刊行につき)	著者・鈴木義男伝記刊行会会長・相馬勝夫	作成・昭和39年12月2日 (／発行・昭和39年12月24日)	1	旧封筒共、旧C176
621	「新入生諸君へ」 (抜刷)	著者・学長・相馬勝夫	(発行・昭和41年4月7日)	1	旧封筒共、旧C177
622	「分校は農業短大に 商学部にて会計学科新設」 (抜刷)		(発行・昭和41年9月10日)	1	旧封筒共、旧C178
623-1	『学園随筆 第6巻第6号』	編集兼発行人・和田吉次	発行・昭和43年5月20日	1	旧封筒共、623-2同封、書込みあり、旧C179-1
623-2	「ピークスキル」 (抜刷)	著者・相馬勝夫	(発行・昭和43年5月20日)	1	623-1同封、旧C179-2
624	教職員に対する学長談話 昭和四十四年八月三十日 生田校舎において (稿本)	差出・相馬勝夫	(昭和44年8月30)	1	旧封筒共、専修大学野紙および専修大学稿本用紙使用、書込みあり、旧C180
625	「研究・教育の分離と新結合」 (抜刷)	著者・専修大学長・相馬勝夫	(発行・昭和45年1月15日)	3	旧封筒共、ホッチキス留め、旧C181
626	相馬勝夫専修大学長談話 (昭和四十五年十一月九日正午) (稿本)		(作成・昭和45年11月9日)	1	旧封筒共、旧C182
627	「大学改革について」 (抜刷)	著者・相馬勝夫	作成・昭和45年6月17日	1	旧封筒共、ホッチキス留め、旧C183
628	「わたしの教育理念」 (抜刷)	著者・相馬勝夫	作成・昭和46年2月 (／発行・昭和50年12月10日)	2	旧封筒共、一部分のみ、旧C184
629	『月刊私学共済 第8巻第3号』		発行・昭和47年3月5日	1	旧封筒共、旧C185
630	「〈座談会〉今後の私学振興を語る」 (抜刷)		(発行・昭和48年4月15日)	3	旧封筒共、ホッチキス留め、旧C186
631	「私学共済未適用校に加入の道が開けて」 (抜刷)	著者・相馬勝夫 (専修大学長・本連盟常務理事)	(発行・昭和49年3月15日)	3	旧封筒共、ホッチキス留め、旧C187
632	「〈座談会〉私学振興法案をめぐる」 (抜刷)		(発行・昭和49年5月25日)	3	旧封筒共、ホッチキス留め、旧C188
633-1	学生諸君に訴える (稿本、新入生の学費増額につき)	差出・学長・相馬勝夫	(作成・昭和49年カ)	1	旧封筒共、専修大学野紙使用、633-2と同封、ホッチキス留め、旧C189-1
633-2	二部の学生諸君に訴える (稿本、新入生の学費増額につき)	差出・学長・相馬勝夫	(作成・昭和49年カ)	1	KOKUYO野紙使用、633-1と同封、ホッチキス留め、旧C189-2

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
634	「私立大学の運命-現状と見通し」 (抜刷)	著者・相馬勝夫	(発行・昭和50年3.20)	3	旧封筒共、ホッチキス留め、旧C190
635	「樋口一成君を偲ぶ」 (抜刷)	著者・相馬勝夫 (専修大学学長・本連盟常務理事)	(発行・昭和50年9月20日)	3	旧封筒共、ホッチキス留め、旧C191
636	『我苦鳥の歌』	著者・相馬勝夫	発行・昭和50年12月10日	1	旧封筒・箱共、旧C192
637-1	『ニュース専修 第83号』 (縮刷版切抜、1~2面)		発行・昭和51年4月20日	1	旧封筒共、637-1~4までホッチキス留め、旧C193-1
637-2	『ニュース専修 第94号』 (縮刷版切抜、1~2面)		発行・昭和52年4月20日	1	旧封筒共、637-1~4までホッチキス留め、旧C193-2
637-3	『ニュース専修 第105号』 (縮刷版切抜、1~2面)		発行・昭和53年4月20日	1	旧封筒共、637-1~4までホッチキス留め、旧C193-3
637-4	『ニュース専修 第116号』 (縮刷版切抜、1~2面)		発行・昭和54年4月20日	1	旧封筒共、637-1~4までホッチキス留め
638	「職員のための研修事業の刷新」 (抜刷)	著者・相馬勝夫	(発行・昭和53年3月20日)	3	旧封筒共、ホッチキス留め、旧C194
639	追悼のことば (専修大学創立百年物故者追悼式につき)	差出・専修大学総長・相馬勝夫	作成・昭和53年9月16日	1	旧封筒共、専修大学稿本用紙使用、ホッチキス留め、旧C195
640	「大泉先生の思い出」 (抜刷)	著者・相馬勝夫 (専修大学総長・本連盟常務理事)	(発行・昭和53年9月20日)	3	旧封筒共、ホッチキス留め、旧C196
641-1	創立五十周年の祝典に際して (祝辞稿本)	(差出・相馬勝夫)	会期・昭和53年12月4日	1	旧封筒・専修大学附属高等学校封筒共、専修大学附属高等学校封筒に書込みあり、コクヨ稿本用紙使用、641-2と同封、旧C197-1
641-2	(メモ、祝辞稿本作成につき、切りおよび枚数ほかの旨)	(差出・相馬勝夫)	会期・昭和53年12月4日	1	641-1と同封、旧C197-2
642	「大学通信教育問題管見」 (抜刷)	著者・相馬勝夫	作成・昭和53年10月5日 (／発行・昭和53年12月15日)	2	旧封筒共、ホッチキス留め、旧C198
643	「学則第一条について」 (稿本、昭和39年度入学式につき相馬学長式辞)		会期・昭和39年4月7日~8日	2	旧封筒共、ホッチキス留め、同様のものが『専修大学新聞 387号』に掲載、旧C199
644	本学百年史刊行祝賀会での挨拶 (稿本)	差出・相馬勝夫	会期・昭和56年4月15日	1	旧封筒共、コクヨ稿本用紙使用、旧C200
645	(絵葉書、ワシントンでのACEの大会にて成功をおさめ、只今バッファローに向う機中の旨)	差出・相馬生／受取・Mr. NoJo	差出・(昭和39年)10月12日	1	旧封筒共、Air Mail、旧C201

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
646-1	(メモ、法律17組満永先生クラスの機関誌発行につき創刊号への言葉の旨)		(締切・昭和41年4月9日)	1	旧封筒共、646-2共にクリップ留め、旧C202-1
646-2	創刊号によせて(法律第17組機関誌創刊につき)	差出・相馬勝夫	(作成・昭和41年)	1	646-1共にクリップ留め、欄外に朱筆(控)あり、専修大学罫紙使用、旧C202-2
647	(書状、『相馬永胤伝』刊行につき私自身の責任でやり通す旨お詫び)	差出・相馬勝夫／受取・倉沢剛様 玉案下	差出・昭和56年5月9日	1	旧封筒共、旧C203
648	弔辞(法学博士孫田秀春先生ご逝去につき)	差出・葬儀委員長・専修大学総長・相馬勝夫	差出・昭和51年11月13日	1	旧封筒共、旧C204
649-1	(新聞切抜、「欧米の大学制度視察 九月に出発 学長クラスが調査団」朝日新聞および「大学教育 海外調査団が出発」毎日新聞)		(発行・朝日新聞・昭和38年7月9日、毎日新聞・昭和38年9月19日)	1	旧封筒共、切抜を専修大学罫紙に貼付したもの、649-1～3までホッチキス留め、旧C205-1
649-2	(宛先人名の下にIDE Japanese Higher Education Missionをつける旨)			1	649-1～3までホッチキス留め、旧C205-2
649-3	CENTRAL AIR SERVICE, INC (相馬勝夫専修大学教授のフライト予定につき)		差出・昭和38年9月5日	1	649-1～3までホッチキス留め、旧C205-3
650	相馬勝夫(『一橋人物誌』「相馬勝夫」項目の旨)	(編集・真野公太)	(発行・昭和39年6月20日)	2	旧封筒共、旧C206
651	『大学展望 特集号』(新聞)		発行・昭和50年9月1日	1	旧封筒共、旧C207
652	『全米大学教育協議会第58回総会報告』	編集代表・時子山常三郎	発行・昭和51年3月30日	1	旧封筒共、付箋貼付、旧C208
653	「ある日の専修大学 教授・学生交歓セミナー訪問」(抜刷)		(発行・昭和51年7月20日)	3	旧封筒共、ホッチキス留め、旧C209
654	「学内だより 第183号」		発行・昭和51年10月1日	1	旧封筒共、旧C210
655	『朝日新聞 32961号』		発行・昭和52年9月23日	1	旧封筒共、旧C211
656-1	『月刊私学共済 第15巻 第11号』		発行・昭和54年11月1日	1	旧封筒共、656-2と同封、旧C212-1
656-2	「報恩奉仕の心脈々と流る-創立百年を迎えた専修大学- 親子二代の思想」(抜刷)		(発行・昭和54年11月1日)	1	656-1と同封、ホッチキス留め、旧C212-2
657	(封筒)			1	旧封筒共、旧C213
658-1	(稿本、『相馬永胤伝』まえがきほかの件)			1	旧封筒共、紐にて綴、658-1～15まで同封、旧C214-1

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
658-2	(メモ、『専修大学百年史』および『相馬永胤伝』の構成案ほかの件)	(差出・相馬勝夫)		1	ホッチキス留め、658-1～15まで同封、旧C214-2
658-3	(メモ、『相馬永胤伝』構成案の件)	(差出・相馬勝夫)		1	ホッチキス留め、658-1～15まで同封、旧C214-3
658-4	(メモ、相馬一族逝去年月日の件)	(差出・相馬勝夫)		1	658-1～15まで同封、旧C214-4
658-5	(メモ、『相馬永胤伝』送付先およびまえがきほかの件)	(差出・相馬勝夫)		1	ホッチキス留め、658-1～15まで同封、旧C214-5
658-6	(メモ、相馬永胤米国留学時代の研究を帰国後に専修大学の教材として使用した旨の解説を本学宮坂宏教授に依頼した件)			1	専修大学罫紙使用、658-1～15まで同封、旧C214-6
658-7	相馬家の墓地 (メモ、相馬家の墓地および遺されている資料の件)	(差出・相馬勝夫)		1	専修大学稿本用紙使用、クリップ留め、658-1～15まで同封、旧C214-7
658-8	(メモ、相馬永胤の趣味の件)	差出・相馬勝夫	作成・昭和53年5月2日	1	専修大学稿本用紙使用、ホッチキス留め、658-1～15まで同封、旧C214-8+
658-9	(稿本、『相馬永胤伝』序およびあとがき再校)	(差出・相馬勝夫)		1	ホッチキス留め、㊟(控)あり、書込みあり、658-1～15まで同封、旧C214-9
658-10-1	(書状、『相馬永胤伝』稿本の修正案につき)	差出・相馬勝夫／受取・有沢和夫殿	差出・(昭和57年)8月10日	1	専修大学稿本用紙使用、ホッチキス留め、658-1～15まで同封、658-10-1～2はホッチキスにて一括、旧C214-10-1
658-10-2	(稿本、『相馬永胤伝』序文の一部)	(差出・相馬勝夫)	(昭和57年)	1	専修大学稿本用紙使用、ホッチキス留め、658-1～15まで同封、658-10-1～2はホッチキスにて一括、旧C214-10-2
658-11	相馬永胤邸 (メモ、建物の配置図および邸宅内部の件)			1	658-1～15まで同封、旧C214-11
658-12-1	「相馬永胤伝」に掲載予定の借入れ写真 (メモ)	(差出・相馬勝夫)		1	658-12-1のコピーあり、658-12-1～2までホッチキス留め、658-1～15まで同封、旧C214-12-1
658-12-2	(メモ、相馬一族逝去年月日の件)	(差出・相馬勝夫)		1	658-12-1～2までホッチキス留め、658-1～15まで同封、旧C214-12-2

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
658-13	翁の遺言状 (『相馬永胤伝』 稿本)			1	ホッチキス留め、専修大学稿本用紙使用、658-1～15まで同封、旧C214-13
658-14	挨拶 (稿本、『相馬永胤伝』 刊行につき)	差出・相馬勝夫	差出・昭和57年6月16日	1	ホッチキス留め、専修大学稿本用紙使用、658-1～15まで同封、旧C214-14
658-15	(草稿、『相馬永胤伝』 まえがき)	(差出・相馬勝夫)		1	ホッチキス留め、専修大学稿本用紙使用、658-1～15まで同封、旧C214-15
659	「相馬メモ (2) 昭和五十三年八月十八日」	差出・相馬勝夫	作成・昭和53年8月18日	1	厚紙で表紙を作り紐にて綴、目次／一、専修の百年序説／二、昭和二十年敗戦前後の専修 (昭和20.1～20.11)／三、昭和二十一年 (今村総長の就任と人事大異動)～昭和二十六年 (相馬の専修復帰)、旧C215
660	「農事日記」	(差出・相馬勝夫)	発行・昭和21年1月5日	1	旧封筒共、鉛筆書き、背破損、巻末に人名録あり、旧C216
661	「相馬身辺メモ 戦中・戦後 (昭和20年～26年)」	差出・相馬勝夫	作成・昭和52年2月1日	2	旧封筒共、ホッチキス留め、一部の表紙は表紙タイトルの昭和26年が昭和27年に鉛筆で修正、旧C217
662	(手帳、人名録および農事関係ほかメモ)	(差出・相馬勝夫)	(旧封筒に昭和19年～昭和20年とある)	1	旧封筒共、第一信託株式会社の手帳カ、背破損甚大、鉛筆書きあり、旧C218
663	(手帳、ソ連事情に関するメモ)	(差出・相馬勝夫)	(昭和20年)	1	旧封筒共、旧C219
664	(日記)	差出・相馬勝夫	期間・昭和20年8月1日～昭和20年12月31日	1	旧封筒共、人名録および軽井沢駅時刻表ほかあり、旧C220
665	(日記)	差出・相馬勝夫	期間・昭和20年1月1日～12月31日	1	旧封筒共、鉛筆書きあり、人名録ほかメモ書きあり、旧C221
666	(農耕日記)	差出・相馬勝夫	期間・昭和20年12月9日～昭和22年1月30日	1	旧封筒共、期間中ほぼ抜け、鉛筆書きあり、旧C222
667	(日記)	差出・相馬勝夫	期間・昭和20年4月20日～7月31日	1	旧封筒共、鉛筆書きあり、人名録ほかメモ書きあり、旧C223
668	(日記)	差出・相馬勝夫	期間・昭和21年1月1日～5月15日	1	旧封筒共、鉛筆書きあり、人名録ほかメモ書きあり、旧C224

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
669	(日記)	(差出・相馬勝夫)	期間・昭和22年1月1日～10月17日	1	旧封筒共、鉛筆書きあり、人名録ほかメモ書きあり、クリップ貼付箇所あり、期間中抜け多し、旧C225
670	(日記)	(差出・相馬勝夫)	期間・昭和23年1月1日～12月31日	1	旧封筒共、表紙欠、鉛筆書きあり、人名録ほかメモ書きあり、旧C226
671	「THE KOBE STEEL WORKS, LTD.」(手帳、農事ほかメモ)	(差出・相馬勝夫)	(期間・昭和23年3月～)	1	旧封筒共、鉛筆書きあり、旧C227
672	「WEIGHT TABLES of METAL」(手帳、昭和23年度鉄鋼生産計画高ほかメモ)	(差出・相馬勝夫)	(期間・昭和23年)	1	旧封筒共、鉛筆書きあり、旧C228
673	(手帳、人名録および金銭出納ほかメモ)	(差出・相馬勝夫)	(期間・昭和23年)	1	旧封筒共、鉛筆書きあり、旧C229
674	(手帳、農事メモ)	差出・柿崎ニテK. Soma	期間・昭和22年9月12日～昭和25年11月1日	1	旧封筒共、鉛筆書きあり、旧C230
675	(手帳、金銭出納メモ)	(差出・相馬勝夫)	期間・昭和20年5月12日～昭和24年6月	1	旧封筒共、鉛筆書きあり、ノド破損、旧C231
676	(手帳)	(差出・相馬勝夫)	期間・昭和23年12月30日～昭和24年12月31日	1	旧封筒共、背破損、鉛筆書きあり、人名録あり、旧C232
677	(手帳、農事メモ)	(差出・相馬勝夫)	(期間・昭和24年以前)	1	旧封筒共、背破損、鉛筆書きあり、人名録あり、クリップ貼付箇所あり、旧C233
678-1	(手帳)	差出・相馬勝夫	期間・昭和25年1月1日～12月31日	1	旧封筒共、背破損甚大、鉛筆書きあり、人名録あり、678-2挟み込み、旧C234-1
678-2	(葉書、11日午前中御伺いにつき専修大学へも御案内願度旨)	差出・正立英道／受取・相馬勝夫様	差出・(消印・昭和25年)9月7日	1	678-1に挟み込み、切手貼付、鉛筆書きあり、旧C234-2
679	「炭礦手帖 1950 DIARY」(日記)	(差出・相馬勝夫)	期間・昭和25年1月1日～12月31日	1	旧封筒共、鉛筆書きあり、人名録あり、旧C235
680	(手帳)	(差出・相馬勝夫)	期間・昭和26年1月1日～12月31日	1	旧封筒共、鉛筆書きあり、人名録あり、旧C236
681	(手帳、学園復興運動関係ほかメモ)	差出・専修大学教授・相馬勝夫	(期間・昭和24年以降カ)	1	旧封筒共、鉛筆書きあり、クリップ貼付箇所あり、一部ページ破れ、中扉に「学校Memo 専修大学教授相馬勝夫 学園復興運動」とあり、旧C237
682	(手帳)	差出・相馬勝夫	期間・昭和27年1月1日～12月31日	1	旧封筒共、鉛筆書きあり、人名録あり、旧C238



ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
683	(手帳、専大関係ほかメモ)	差出・相馬勝夫	期間・昭和27年1月1日～12月31日	1	旧封筒共、鉛筆書きあり、人名録あり、旧C239
684	(手帳)	(差出・相馬勝夫)	期間・昭和27年1月1日～12月31日	1	旧封筒および鉛筆共、鉛筆書きあり、人名録・メモ書きあり、旧C240
685-1	(手帳)	差出・相馬勝夫	期間・昭和28年1月1日～12月31日	1	旧封筒共、人名録・専修大学関係ほかメモ書きあり、685-2と同封、旧C241-1
685-2	昭和28年専大関係事 (メモ)	(差出・相馬勝夫)	期間・昭和28年4月～12月	1	685-1と同封、紐にて一括、鉛筆書きあり、旧C241-2
686	(手帳)	差出・相馬勝夫	期間・昭和28年1月1日～12月31日	1	旧封筒共、鉛筆書きあり、人名録・専修大学関係ほかメモ書きあり、裏表紙欠、1/1～1/9まで日記、旧C242
687-1	(手帳)	(差出・相馬勝夫)	期間・昭和29年1月1日～12月31日	1	旧封筒共、鉛筆書きあり、人名録・専修大学関係ほかメモ書きあり、687-2と同封、旧C243-1
687-2	(手帳)	差出・相馬勝夫	期間・昭和29年1月1日～12月31日	1	鉛筆書きあり、人名録・専修大学関係ほかメモ書きあり、687-1と同封、旧C243-2
688	(手帳)	(差出・相馬勝夫)	期間・昭和29年2月～昭和30年2月	1	旧封筒共、鉛筆書きあり、専修大学関係ほかメモ書きあり、旧C244
689	(手帳)	(差出・相馬勝夫)	期間・昭和30年1月1日～12月31日	1	旧封筒共、鉛筆書きあり、人名録・専修大学関係ほかメモ書きあり、一部ページ破れ、1/1～1/9まで日記、旧C245
690-1	(手帳)	(差出・相馬勝夫)	期間・昭和30年1月1日～12月31日	1	旧封筒共、人名録・専修大学関係ほかメモ書きあり、690-2～6まで挟み込み、旧C246-1
690-2	昭和32年度特別区民税特別徴収税額の納税者への通知書	差出・東京都世田谷区長・長島壯行 <sup>印</sup> ／受取・相馬勝夫殿	差出・昭和32年5月1日	1	690-1に挟み込み、旧C246-2
690-3	借用証 (金4,000円授業料として借用の旨)	差出・商経学部商業学科三年生・村田正敏 <sup>印</sup> ほか1名／受取・専修大学殿	差出・昭和32年2月4日	1	690-1に挟み込み、書込みあり、旧C246-3
690-4	借用証 (金11,000円授業料として借用の旨)	差出・商経学部商業学科三年生・村田正敏 <sup>印</sup> ほか1名／受取・専修大学殿	差出・昭和31年9月25日	1	690-1に挟み込み、書込みあり、旧C246-4

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
690-5	借用証 (金6,800円借用の旨)	差出・相馬勝夫 <sup>㊟</sup> ／専修大学学長殿	差出・昭和32年5月7日	1	690-1に挟み込み、 <sup>㊟</sup> (32.5.9 <sup>㊟</sup> (野村))あり、富士銀行メモ用紙使用、旧C246-5
690-6	図書研究費について (昭和32年図書研究費は25,000円に決定した旨)	差出・大学事務局長／相馬先生	差出・昭和32年5月	1	690-1に挟み込み、旧C246-6
691	(手帳)	(差出・相馬勝夫)	期間・昭和31年1月1日～12月31日	1	旧封筒共、鉛筆書きあり、人名録・専修大学関係ほかメモ書きあり、1/1～1/2まで日記、旧C247
692	(手帳)	(差出・相馬勝夫)	期間・昭和32年1月1日～12月31日	1	旧封筒共、鉛筆書きあり、人名録・専修大学関係ほかメモ書きあり、旧C248
693-1	『三年連用当用日記-昭和三十四年版-』	(差出・相馬勝夫)	期間・昭和34年1月1日～昭和36年12月31日	1	箱・旧封筒共、1960～1961年はほぼ記述なし、693-2～8まで挟み込み、旧C249-1
693-2	(間紙、ライフの便箋と稿本用紙ほか紙質が良く印刷も鮮明の旨)	(差出・LIFE)		1	693-1に挟み込み、印刷染みあり、旧C249-2
693-3	(葉書、各駅停車に乗りし八時頃に到着した旨ほか)	差出・相馬澄子／受取・相馬保之様	(消印・昭和35年5月6日)	1	693-1に挟み込み、鉛筆書きのメモあり、旧C249-3
693-4	(葉書、30日おいでにつきお待ちしている旨ほか)	差出・相馬澄子／受取・相馬勝夫様	(消印・昭和35年8月26日)	1	693-1に挟み込み、旧C249-4
693-5	(葉書、文ちゃんほか6人滞在につき大賑やかな旨)	差出・相馬澄子／受取・相馬勝夫様	(消印・昭和35年8月18日)	1	693-1に挟み込み、旧C249-5
693-6	(葉書、来週始めに帰るつもりにつき折り返しそちらの様子をお知らせくださる旨)	差出・相馬澄子／受取・相馬勝夫様	(消印・昭和34年9月11日)	1	693-1に挟み込み、旧C249-6
693-7	(間紙、このノートは全国の大学生協の参加により共同仕入れされた旨ほか)			1	693-1に挟み込み、印刷染みあり、旧C249-7
693-8	(断簡)			1	693-1に挟み込み、旧C249-8
694	(手帳)	(差出・相馬勝夫)	期間・昭和41年1月1日～2月31日	1	旧封筒共、鉛筆書きあり、人名録・専修大学関係ほかメモ書きあり、表紙カバー破れ、旧C250
695	(手帳)	(差出・相馬勝夫)	期間・昭和41年12月20日～12月31日	1	旧封筒共、鉛筆書きあり、人名録・専修大学関係ほかメモ書きあり、旧C251

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
696	『歴史手帳1967』		期間・昭和42年1月1日～12月31日	1	旧封筒共、鉛筆書きあり、人名録・専修大学関係ほかメモ書きあり、旧C252
697	(手帳)	(差出・相馬勝夫)	期間・昭和43年1月1日～12月31日	1	旧封筒共、鉛筆書きあり、人名録・専修大学関係ほかメモ書きあり、旧C253
698-1	『社会日記 1968』	(差出・相馬勝夫)	期間・昭和43年1月1日～12月31日	1	旧封筒共、1/13以降記述なし、698-2～3挟み込み、旧C254-1
698-2	(挨拶状、正しい記録こそ人生に重大な意義がある旨)	差出・旺文社にて赤星好夫	差出・昭和42年12月	1	698-1に挟み込み、旧C254-2
698-3	(チラシ、雑誌・文庫・新書刊行につき)	(差出・旺文社)		1	698-1に挟み込み、旧C254-3
699	『CAPITAL MEMO』 (手帳)	差出・相馬勝夫	期間・昭和43年12月26日～昭和44年7月9日	1	旧封筒共、大学関係ほかメモ書きあり、旧C255
700	(手帳)	差出・相馬勝夫	期間・昭和44年1月1日～12月31日	1	旧封筒共、人名録・専修大学関係および「卒業生におくる言葉」ほかメモ書きあり、旧C256
701	『spiral CROWN』 (手帳)	差出・K. Soma	期間・昭和44年5月1日～9月27日	1	旧封筒共、専修大学および学生運動関係ほかメモ書きあり、表紙に「教学44.5.1～K. Soma」とあり、旧C257
702	『spiral CROWN』 (手帳)		期間・昭和44年9月29日～昭和45年12月19日	1	旧封筒共、専修大学関係ほかメモ書きあり、旧C258
703	(手帳)	(差出・相馬勝夫)	期間・昭和45年12月27日～昭和47年1月9日	1	旧封筒共、人名録および専修大学関係ほかメモ書きあり、旧C259
704	(手帳)	(差出・相馬勝夫)	期間・昭和46年12月27日～昭和48年1月9日	1	旧封筒共、人名録および専修大学関係ほかメモ書きあり、旧C260
705	(手帳)	差出・相馬勝夫	期間・昭和46年12月27日～昭和48年1月7日	1	旧封筒共、人名録および専修大学関係ほかメモ書きあり、旧C261
706-1	(手帳)	差出・相馬勝夫	期間・昭和48年1月1日～12月31日	1	旧封筒共、専修大学関係ほかメモ書きあり、706-2～7挟み込み、旧C262-1
706-2	(メモ、23日総会の旨ほか)	(差出・相馬勝夫)		1	706-1の表紙見返しに挟み込み、旧C262-2

ID	資料名 (内容)	差出・差出など/受取	対象年月日	数量	備考
706-3	(メモ、夜・法3吉川佳宣 9/281時間目教職20分遅刻 の旨ほか)	(差出・相馬勝夫)		1	706-1の表紙見返しに 挟み込み、裏面に勝夫 ほか相馬家人名書上あ り、リッキー・フリ コー日本興業銀行用紙 使用、旧C262-3
706-4	(メモ、私大における体 育の問題につき)	(差出・相馬勝夫)	作成・昭和48年11 月7日	1	706-1の表紙見返しに 挟み込み、旧C262-4
706-5	(メモ、孫田秀春先生米 寿記念論集につき)	(差出・相馬勝夫)	作成・昭和48年11 月7日	1	706-1の表紙見返しに 挟み込み、旧C262-5
706-6	(メモ、田中二郎氏より 文部次官・学長に話し必 ず認可させる旨)	(差出・相馬勝夫)	作成・(昭和48 年)11月7日	1	706-1の表紙見返しに 挟み込み、旧C262-6
706-7	(メモ、専任教員および 教育研究費の昭和48年経 常費補助金の件)	(差出・相馬勝夫)	(昭和48年)	1	706-1の裏表紙見返し に挟み込み、裏面に文 部省関係のメモ書きあ り、旧C262-7
707-1	(手帳)	差出・相馬勝夫	期間・昭和49年1月 1日～昭和50年1月5 日	1	旧封筒共、専修大学関 係ほかメモ書きあり、 アドレス帳および707- 2～8まで裏表紙見返し に挟み込み、旧C263-1
707-2	「防災白書 総理府編」 (新聞広告切抜)			1	707-1に挟み込み、旧 C263-2
707-3	「損害保険双書 田辺康 平・石田満編」(新聞広 告切抜)		(新聞発行・昭和49 年5月28日)	1	707-1に挟み込み、旧 C263-3
707-4	「文学よもやま話上下 池島信平対談集 心への こる温かさ」(新聞切 抜)	著者・慶応大学教授・池 田弥三郎		1	707-1に挟み込み、旧 C263-4
707-5	「保険理論の基礎 星野 良樹著ほか」(新聞広告 切抜)			1	707-1に挟み込み、旧 C263-5
707-6	(メモ、昭和50年分経 常費補助金および貸付額ほ かの問題点の件)	(差出・相馬勝夫)		1	707-1に挟み込み、 KOKUYO罫紙使用、旧 C263-6
707-7	(メモ、大学の使命であ る良い教育を提供するた めに教員はたえず研究に 努力できるようにする旨 ほか)	(差出・相馬勝夫)		1	707-1に挟み込み、旧 C263-7
707-8	(メモ、生協の問題点お よび大学のなすべきこと の件)	(差出・相馬勝夫)		1	707-1に挟み込み、旧 C263-8
708-1	(手帳)	差出・相馬勝夫	期間・昭和50年1月 1日～昭和51年1月 31日	1	旧封筒共、専修大学関 係ほかメモ書きあり、 708-2裏表紙見返しに 挟み込み、旧C264-1
708-2	(名刺)	差出・日本大学文理学部 長 文学博士・妻倉昌太 郎	(昭和25年10月31 日)	1	708-1に挟み込み、 ボールペンの書込みあ り、旧C264-2

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
709-1	(手帳)	差出・相馬勝夫	期間・昭和50年12月22日～昭和52年1月2日	1	旧封筒共、専修大学関係ほかメモ書きあり、709-2～まで挟み込み、旧C265-1
709-2	(メモ、育友・伊藤清基様住所ほかの件)	(差出・相馬勝夫)		1	709-1の表紙見返しに挟み込み、旧C265-2
709-3	(タクシー乗車券¥100)			10	709-1の表紙見返しに挟み込み、旧C265-3
709-4	(メモ、東邦生命保険(株)市場開発担当課長・池田清作電話番号ほかの件)			1	709-1の表紙見返しに挟み込み、旧C265-4
709-5	「損害保険双書 田辺康平・石田満編」(新聞広告切抜)			1	709-1の表紙見返しに挟み込み、旧C265-5
709-6	「利益保険の理解 山本種市著」(新聞広告切抜)			1	709-1の表紙見返しに挟み込み、旧C265-6
709-7	「私大につなぎ融資 文部省 入学一時金分割払い」(新聞切抜)			1	709-1の表紙見返しに挟み込み、旧C265-7
709-8	(新聞切抜、文部省の拡充整備計画につき該当大学の旨)		(新聞発行・昭和51年9月8日)	1	709-1の表紙見返しに挟み込み、書込みあり、旧C265-8
709-9-1	(メモ、谷川和穂君を励ます会事務局住所ほかの件)	(差出・相馬勝夫)		1	709-1の表紙見返しに挟み込み、旧C265-9-1
709-9-2	お振込先銀行(谷川和穂君を励ます会口座名の件)			1	709-1の表紙見返しに挟み込み、旧C265-9-2
709-10	(メモ、小山覚住所ほかの件)	(差出・相馬勝夫)		1	709-1の表紙見返しに挟み込み、旧C265-10
709-11	「私学補助大幅アップ」(新聞切抜)			1	709-1の裏表紙見返しに挟み込み、旧C265-11
709-12	「昨年度の私大財政白書赤字幅、やや縮まる 学生の教育費、国立の1/4」(新聞切抜)			1	709-1の裏表紙見返しに挟み込み、旧C265-12
710	『懐中日記 昭和52年版』		期間・昭和52年1月1日～12月31日	1	旧封筒共、日記は1/1～1/13まで、戦後の専修大学に関する記述あり、旧C266
711-1	『Banker's DIARY 1977 銀行員手帳』	差出・相馬勝夫／編集・発行・近代セールス社	期間・昭和51年12月20日～昭和52年12月31日	1	旧封筒共、専修大学関係ほかメモ書きあり、巻末にアドレス帳あり、711-2～3裏表紙見返しに挟み込み、旧C267-1
711-2	(新聞切抜、母米子儀永眠につきご通知の旨)	差出・喪主・武内徹太郎ほか5名	差出・昭和52年12月3日	1	711-1に挟み込み、旧C267-2

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
711-3	(下書、私ごと学長退職につき高橋長太郎選任の旨ほか)	(差出・相馬勝夫)		1	711-1に挟み込み、裏面にメモ書きあり、旧C267-3
712	『Addressbook』	(差出・相馬勝夫)		1	旧封筒共、旧C268
713	『人名簿』	(差出・相馬勝夫)		1	旧封筒共、ほとんど書込みなし、旧C269
714	辞令 (本年度諸規定起草委員を委嘱につき)	差出・専修大学長・鈴木義男 <sup>㊟</sup> (専修大学長印) / 受取・相馬勝夫殿	差出・昭和27年9月12日	1	旧封筒共、割印あり、タイトル紙 (相馬勝夫関係資料) 同封、旧C271
715	全国大学教授連合会員章	差出・全国大学教授連合会長・大内兵衛 <sup>㊟</sup> / 受取・会員・関東支部専修大学・相馬勝夫	発行・(昭和29年カ)1月27日	1	旧封筒共、割印あり、旧C272
716	団体生命保険加入証	差出・日本団体生命保険会社 <sup>㊟</sup> / 被保険団体・学校法人専修大学 / 保険契約者・常務理事・山田政太郎殿 / 被保険者・相馬勝夫殿	作成・昭和29年1月27日	1	旧封筒共、旧C273
717	『昭和三十三年度 日本保険学会大会出席者名簿』		(昭和33年)	1	旧封筒共、旧C274
718	(メモ、海外大学教育総合調査団の旅行日程の件)	(差出・相馬勝夫)	作成・昭和38年9月	1	旧封筒共、旧C275
719-1	(委嘱状、川崎市美化本部長の推薦により小林良正委員の後任として神奈川県美化推進委員に委嘱の旨)	差出・神奈川県美化運動推進本部長・神奈川県知事・内山岩太郎 / 受取・相馬勝夫殿	差出・昭和38年12月10日	1	旧封筒および「神奈川県美化推進委員・辞令在中」と記載された封筒とも、719-2~719-5-2と共にクリップ留め、旧C276-1
719-2	神奈川県美化推進委員設置規程		施行・昭和37年5月1日	1	719-1~719-5-2までクリップ留め、旧C276-2
719-3	神奈川県美化推進委員き章はい用規程 (内規)		施行・昭和37年6月11日	1	719-1~719-5-2までクリップ留め、旧C276-3
719-4	(辞令、神奈川県美化推進委員を委嘱につき)	差出・神奈川県美化運動推進本部長・神奈川県知事・内山岩太郎 <sup>㊟</sup> / 受取・相馬勝夫殿	差出・昭和38年12月10日	1	719-1~719-5-2までクリップ留め、旧C276-4
719-5-1	川崎市美化運動実施規程		施行・昭和37年10月8日 / 改正施行・昭和38年11月8日	1	719-1~719-5-2までクリップ留め、719-5-1~2までホッチキス留め、旧C276-5-1
719-5-2	川崎市美化運動実施規程		施行・昭和38年11月8日	1	719-1~719-5-2までクリップ留め、719-5-1~2までホッチキス留め、旧C276-5-2
720-1	(書状、学童文化推進会に格別の御厚意を賜り礼状ほか規約および願状送付の旨)	差出・新井健造 <sup>㊟</sup> / 受取・相馬先生玉机下	差出・(消印・昭和39年)9月14日	1	旧封筒および送付用封筒共、720-1~3までホッチキス留め、旧C277-1

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
720-2	お願い (辺地学校の図書室の補充或いは整備につき賛助校として御協力の旨)	差出・学童文化推進会・幹事・専修大学長経済学博士・相馬勝夫ほか3名	差出・昭和39年9月	1	720-1～3までホッチキス留め、旧C277-2
720-3	学童文化推進会規約		実施・昭和39年7月1日	1	720-1～3までホッチキス留め、旧C277-3
721	(書状、今回の参院選に際して御激励につき礼状)	差出・内藤誉三郎／受取・相馬勝夫様	差出・昭和41年8月	1	旧封筒および送付用封筒共、旧C278
722	(葉書、転居につき通知の旨)	差出・相馬勝夫／受取・板橋区双葉町四三・河合清殿	差出・昭和44年11月	1	旧封筒共、旧C279
723	(葉書、『我苦鳥の歌』申込書)	(差出・専修大学出版局)	(昭和25年)	1	旧封筒共、旧C280
724	奉賀帳 (一) (相馬勝夫学長勲二等旭日重光章受章につき寄付者の旨)	差出・田中実ほか118名	(作成・昭和50年6月)	1	旧封筒・箱共、購入した記念品の領収書ほか添付、神田校舎職員分、旧C281
725-1	奉賀帳 (二) (相馬勝夫学長勲二等旭日重光章受章につき寄付者の旨)	差出・篠攻ほか140名	(作成・昭和50年6月)	1	旧封筒・箱共、725-2～4まで挟み込み、旧C282-1
725-2	奉賀主旨 (学長相馬勝夫先生叙勲につき御協力願)	差出・発起人・大滝恵嗣郎ほか4名／受取・職員各位	差出・昭和50年5月19日	1	725-1に挟み込み、旧C282-2
725-3	奉賀金について (報告)	差出・発起人・大滝恵嗣郎ほか4名／受取・職員各位	差出・昭和50年6月6日	1	725-1に挟み込み、旧C282-3
725-4	奉賀趣旨 (相馬勝夫学長叙勲につきお祝品を贈りたい旨)	差出・発起人・大滝恵嗣郎ほか4名／受取・職員各位	(昭和50年5月16日)	1	725-1に挟み込み、旧C282-4
726-1	(葉書、相馬勝夫先生の叙勲を祝う会開催につきご案内の旨)	差出・相馬勝夫先生の叙勲を祝う会発起人会・代表・専修大学理事長・森口忠造ほか19名	差出・昭和50年6月6日	1	旧封筒共、726-2同封、旧C283-1
726-2	(葉書、相馬勝夫先生の叙勲を祝う会開催につきご案内の旨)	差出・相馬勝夫先生の叙勲を祝う会発起人会・代表・専修大学理事長・森口忠造ほか19名 (／受取・年史編纂室長・河合清殿)	差出・昭和50年6月6日	1	封筒共、726-1と同封、旧C283-2
727-1	学長の海外出張について (アメリカの私立大学財政事情調査及びACE年次大会参加につき)		期間・昭和50年10月3日～10月19日	1	旧封筒共、専修大学罫紙使用、727-1～2までホッチキス留め、旧C284-1
727-2	〔別紙2〕ACE大会参加及び視察日程表 (案)		作成・昭和50年7月22日	1	727-1～2までホッチキス留め、旧C284-2
728	(書状、国立国会図書館において『理財科講義』ほか専修学校の講義録・教科書発見の旨ほか)	差出・森下 (澄男)／受取・相馬先生 玉案下	差出・昭和51年8月17日	1	旧封筒共、赤字の書込みあり、KOKUYO罫紙使用、ホッチキス留め、旧C285

ID	資料名 (内容)	差出・差出など/受取	対象年月日	数量	備考
729-1	(パスポート)		(昭和52年)	1	旧封筒共、旧封筒に「香港、マカオ、中国に渡航の際のもの」とあり、729-1～729-3-1まで同封、旧C286-1
729-2-1	「海外旅行傷害保険ハンドブック」			1	巻末に「海外旅行傷害保険金請求書兼状況報告書」挟み込み、729-1～729-3-1まで同封、旧C286-2-1
729-2-2	「海外旅行傷害保険契約証兼保険料領収証」	(取扱旅行社・日本旅行開発)	領収日・昭和52年10月25日	1	「海外旅行傷害保険申込書」挟み込み、729-1～729-3-1まで同封、旧C286-2-2
729-3-1	「海外旅行傷害保険」			1	相馬勝夫の写真挟み込み、729-1～729-3-1まで同封、729-3-2～8まで挟み込み、旧C286-3-1
729-3-2	通関案内 外国旅行者の皆様へ (パンフレット)			1	729-3-1に挟み込み、旧C286-3-2
729-3-3	ACCIDENT & SICKNESS CLAIM FORM (事故・疾病報告書)			1	未記入、729-3-1に挟み込み、旧C286-3-3
729-3-4	予防接種国際証明書	(差出・Katsuo Soma)		1	破れ、729-3-1に挟み込み、旧C286-3-4
729-3-5	携帯品別送品申告書 (航空機旅客・居住者用)			1	未記入、729-3-1に挟み込み、旧C286-3-5
729-3-6	(領収書)			1	「FAMS GIFT SHOP」とあり、裏面に森口ほか人名覚書あり、729-3-1に挟み込み、旧C286-3-6
729-3-7	外国製品をお持ちの方に (出国の時税関に届け確認をうけておけば税金がかからない旨)			1	未記入、729-3-1に挟み込み、旧C286-3-7
729-3-8	入国時の記入欄 (日本国東京より北京へ行く旨)	差出・相馬勝夫		1	729-3-1に挟み込み、旧C286-3-8
730-1	(メモ、相馬勝夫の学位と受章の件)			1	旧封筒共、専修大学野紙使用、730-1～4まで同封、旧C287-1
730-2	(メモ、大霜鼎メモによる相馬勝夫略歴の件)			1	730-1～4まで同封、ホッチキス留め、旧C287-2
730-3	(メモ、相馬勝夫略歴の件)		対象・昭和54年4月現在	2	730-1～4まで同封、ホッチキス留め、旧C287-3
730-4	「相馬勝夫 (略歴)」			2	730-1～4まで同封、旧C287-4
731	特別乗車証	差出・小田急電鉄株式会社④/受取・相馬勝夫殿	期間・昭和57年10月1日～昭和58年3月31日	1	旧封筒共、「電車全線」と記載あり、旧C288



ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
732-1	田尻稲次郎先生筆 昭和五十六年十月 専修大学総長相馬勝夫 (箱書の下書)	(差出・相馬勝夫)	(昭和56年10月)	1	旧封筒共、732-1～3まで同封、旧C289-1
732-2	祝あけぼの寿司 (下書)	(差出・相馬勝夫)		1	旧封筒共、732-1～3まで同封、旧C289-2
732-3	(下書き、祝あけぼの寿司および瑞雲ほか)	(差出・相馬勝夫)		1	旧封筒共、732-1～3まで同封、旧C289-3
733	為三竹家 (下書き)	(差出・相馬勝夫)	(昭和56年頃)	1	旧封筒共、旧C290
734	『DIARY Meiji43』 (日記)	(差出・相馬又二郎カ)	期間・明治43年1月1日～12月31日	1	旧封筒共、勝夫の母・宜子逝去に関する記述あり、旧C291
735-1	昭和52年度秋季リーグ戦 駐車証	差出・東都大学野球連盟 <sup>㊟</sup>	(昭和52年)	1	旧封筒共、735-2と同封、旧C292-1
735-2	出欠通知	差出・専修教務課	期間・5月1日～5月31日	1	735-1と同封、旧C292-2
736	(専修大学学生手帳)		対象・昭和38年	1	旧封筒共、旧C294
737-1	(メモ、相馬勝夫親族名簿)	(差出・相馬勝夫)		1	旧封筒共、ホッチキス留め、737-2と同封、旧C296-1
737-2	相馬家関係名簿			1	『相馬永胤伝』配布関係、専修大学罫紙使用、737-1と同封、旧C296-2
738	(書状、故母・青山芳儀告別式に際し御会葬につきお礼の旨)	差出・喪主・相馬澄子ほか2名	差出・昭和53年11月19日	1	旧封筒および「御会葬御礼」と記載された封筒共、旧C297
739	(封筒)		(昭和54年3月4日)	1	封筒に「感謝状と記念品(台?)、明大総長加藤先生に頼まれて、中野刑務所で講義をした際の感謝状と記念品、保管場所奥の書架」とあり、旧C300
740	(封筒)		(昭和56年)	1	封筒に「下書き(瑞雲) 相撲の麒麟児と鳳凰にまわしを大学で贈呈した際に揮毫した。そのときの下書き、保管場所奥の書架」とあり、旧C301
741-1	(辞令、日本私学振興財団理事に任命の旨)	差出・日本私学振興財団理事長・時子山常三郎 <sup>㊟</sup> ／受取・相馬勝夫	差出・昭和47年7月1日	1	旧封筒共、741-1～8まで封筒「相馬勝夫関係資料」にて一括、割印あり、旧C319-1
741-2	文部省人事異動通知書 (教育職員養成審議会委員に任命の旨)	差出・任命権者・文部大臣・三原朝雄 <sup>㊟</sup> ／受取・相馬勝夫	差出・昭和49年11月18日	1	741-1～8まで封筒「相馬勝夫関係資料」にて一括、旧C319-2
741-3	文部省人事異動通知書 (教育職員養成審議会委員に任命の旨)	差出・任命権者・文部大臣・奥野誠亮 <sup>㊟</sup> ／受取・相馬勝夫	差出・昭和48年10月16日	1	741-1～8まで封筒「相馬勝夫関係資料」にて一括、旧C319-3

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
741-4	年頭に思う (挨拶文草稿)	差出・理事・相馬勝夫		1	741-1～8まで封筒「相馬勝夫関係資料」にて一括、日本私学振興財団稿本用紙使用、ホッチキス留め、旧C319-4
741-5	(辞令、日本私学振興財団理事に任命の旨)	差出・日本私学振興財団理事長・時子山常三郎 <sup>㊞</sup> ／受取・相馬勝夫	差出・昭和49年7月1日	1	741-1～8まで封筒「相馬勝夫関係資料」にて一括、割印あり、旧C319-5
741-6	私学振興の旗よひらめけ! (草稿)	差出・専修大学総長・相馬勝夫		1	741-1～8まで封筒「相馬勝夫関係資料」にて一括、コクヨ稿本用紙使用、ホッチキス留め、旧C319-6
741-7	「理事長に就任して」(抜刷)	著者・相馬勝夫		1	741-1～8まで封筒「相馬勝夫関係資料」にて一括、旧C319-7
741-8	「職員のための研修事業の刷新」(切抜)	著者・相馬勝夫	(発行・昭和53年3月20日)	1	741-1～8まで封筒「相馬勝夫関係資料」にて一括、紙に糊付、旧C319-8
742-1	広報紙創刊号発行にあたって (挨拶文草稿)	差出・相馬勝夫		1	旧封筒共、742-1～2まで封筒「相馬勝夫」にて一括、専修大学稿本用紙使用、旧C320-1
742-2	(相馬永胤伝完成祝賀会における挨拶稿本)	差出・相馬勝夫		1	742-1～2まで封筒「相馬勝夫」にて一括、専修大学稿本用紙使用、旧C320-2
743-1	「理事長に就任して」(草稿)	差出・相馬勝夫	(発行・昭和53年11月3日)	1	旧封筒共、743-1～6まで封筒「相馬勝夫自筆稿本(と思われる)」および紐一括、旧C322-1
743-2	「本会の展望管見-全私学のために-」(草稿)	差出・前理事長・相馬勝夫(専修大学総長)	(発行・昭和56年3月)	1	743-1～6まで封筒「相馬勝夫自筆稿本(と思われる)」にて一括、コクヨ稿本用紙使用、紐一括、旧C322-2
743-3	「私学研修福祉会理事長に就任の辞」(草稿)	差出・相馬勝夫	(発行・昭和53年11月)	1	743-1～6まで封筒「相馬勝夫自筆稿本(と思われる)」にて一括、社団法人日本私立大学連盟稿本用紙使用、紐一括、旧C322-3
743-4	『全私学新聞 第606号』(抜刷)		発行・昭和53年11月3日	1	743-1～6まで封筒「相馬勝夫自筆稿本(と思われる)」にて一括、1面のみ、旧C322-4
743-5	「理事長に就任して」(抜刷)	著者・相馬勝夫	発行・昭和53年11月	1	743-1～6まで封筒「相馬勝夫自筆稿本(と思われる)」にて一括、旧C322-5

ID	資料名 (内容)	差出・差出など／受取	対象年月日	数量	備考
743-6	「本会の展望管見-全私学のために」 (抜刷)		発行・昭和56年3月	1	743-1～6まで封筒「相馬勝夫自筆稿本 (と思われる)」にて一括、旧C322-6
744-1	「火災保険に於ける危険と損害 (ドイツ火災保険普通約款第一条の研究)」 (抜刷)	著者・相馬勝夫	(昭和27年3月31日)	2	旧封筒共、744-1～4まで封筒「相馬勝夫先生著 (損害保険研究抜刷)」にて一括、旧C323-1
744-2	「火災保険に於ける被保険物と損害填補-ドイツ火災保険普通約款第二條乃至第四條の研究-」 (抜刷)	著者・相馬勝夫	稿・昭和27年8月30日	2	744-1～4まで封筒「相馬勝夫先生著 (損害保険研究抜刷)」にて一括、旧C323-2
744-3	「ドイツ火災保険の危険増加に関する規定並に保安規定-ドイツ火災保険普通約款第六条及び第七条の研究-」 (抜刷)	著者・相馬勝夫	(発行・昭和29年8月／)稿・昭和29年1月19日	2	744-1～4まで封筒「相馬勝夫先生著 (損害保険研究抜刷)」にて一括、旧C323-3
744-4	「ドイツ火災保険約款の告知義務規程 (ドイツ火災保険普通約款第五條の研究)」 (抜刷)	著者・相馬勝夫	稿・昭和28年9月17日	2	744-1～4まで封筒「相馬勝夫先生著 (損害保険研究抜刷)」にて一括、旧C323-4
745-1	(相馬勝夫愛用のバインダー)		(昭和34年～昭和35年)	1	旧封筒共、745-1～2まで封筒「相馬勝夫関係資料」にて一括、745-2挟み込み、旧C324-1
745-2	(名刺)	差出・専修大学教授・相馬勝夫	(昭和34年～昭和35年)	1	745-1～2まで封筒「相馬勝夫関係資料」にて一括、745-1に挟み込み、旧C324-2
746	(写真、相馬宇平次姉妹)			1	相馬永胤の姪・小田千代子様旧蔵、旧D1
747	(写真、相馬永胤)			1	旧D2
748	(写真、相馬永胤)			1	晩年、旧D3
749	相馬本宅図面 (青焼き)			1	旧D4
750	相馬永胤家建築届			1	相馬家増築設計図 (清水工務店作成) あり、旧D5
751	相馬家戸籍謄本	差出・東京都千代田区	平成5年9月29日	1	旧D6
752	相馬永夫追想録	発行兼編輯代表者・馬場理成	発行・昭和17年12月26日	1	箱とも、旧D7
753	『下戸塚-我が町の詩-』	編集者発行者・下戸塚研究会	発行・昭和51年10月10日	1	箱とも、旧D8
754	(郵便はがき、相馬家住宅)			1	旧D9
755	(相馬家家族集合写真)	差出・東京九段・壇上写真館主・壇上新吉		1	裏面に永胤自筆の漢詩あり、旧D10
756	東京府豊多摩郡戸塚町全図 (青焼き)	調整者・林工務所		1	旧D11

## 後 記

本報告書は、科学研究費補助金 基盤研究（C）「相馬永胤家文書の基礎的研究-私立学校創立者の多面的分析のためのアプローチ-」（研究代表者：大谷正）の成果をまとめたものである。

専修大学が所蔵する「相馬永胤家文書」については、その全容についてあまり知られていなかったが、本報告書に収録した目録によって、どのような内容の文書群かわかっていただけだと思う。今後の課題の一つとして、本報告書で一部分翻刻を試みた「相馬永胤日記」の全面的翻刻を検討している。

今回の科学研究費補助金によって「相馬永胤家文書」のほとんどのデジタル撮影をすることができた。専修大学総務部大学史資料課に事前に連絡いただければ、閲覧も可能である。今後、「相馬永胤家文書」が広く活用されることで、さらに研究が深まっていくことを願っている。

### 相馬永胤家文書の基礎的研究 -私立学校創立者の多面的分析のためのアプローチ-

課題番号 25370792

平成 25 年度～平成 27 年度

科学研究費補助金 基盤研究（C） 研究成果報告書

発行日 2016 年 3 月 31 日

編集 研究代表者 大谷正

発行 専修大学総務部大学史資料課

〒101-8425 東京都千代田区神田神保町 3-8

電話 03-3265-5879

